

第3章 検出遺構と出土遺物

第4項 6・7区の遺構と遺物

1. 調査区の概要

6・7区は、遺跡の中央南寄りに位置し、両区は農道を境とする。隣接区は用水路を隔てて北に4区・5区、農道を隔てて南に8区の北端部が接する。また、両区はインターチェンジ料金所部分にあたり、料金所から一般道接続部については、平成15年4月～平成17年5月にかけて国道122号線道路改良事業に伴い「東今泉鹿島遺跡」として発掘調査される。この調査は、国道122号線の拡幅部を含むため、直接的に当遺跡に接する部分は、東今泉鹿島遺跡の4・5・6区である。(隣接する「東今泉鹿島遺跡」の一部は、別添の「鹿島浦遺跡全体図1/1,000」上に合成し掲載)

以下に調査区の概要を記す。

〈溝跡〉4区より延長の8・9号溝跡が6区東端部と7区南西端部で検出される。6・7区検出の1・2号溝跡については、東山道駅跡と推察される道路状遺構の北側および南側側溝、7区検出の3・4号溝跡については、その走行が側溝と平行・直交しているため、道路状遺構に関連する区画溝である可能性も考えられる。

〈道路状遺構〉本遺跡と同じく北関東自動車道関連の発掘調査により、西から八ヶ入遺跡・大道西遺跡・大道東遺跡を経て本遺跡までの約1kmの範囲で、中約12mを測る道路状遺構が検出され、古代官道である東山道駅跡と考えられ、その延長は金山丘陵西において「牛堀・矢ノ原ルート」に接続するものと推察される。

本遺跡内においての東山道駅跡跡は、決して良好な遺存状態で検出とは言えず、6区東端部においては前記の古代基幹用水路である8・9号溝跡と直交し重複しているものの、肝心な部分が後記の河川氾濫の影響を受け、削平・寸断された検出であり、その新旧あるいは橋梁を設けての併存か否か等も明らかとはならなかった。本遺跡の特徴は、この道路状遺構と重複する竪穴住居跡など他の遺構が少ないことである。大道東遺跡において見られるような、道路状遺構を前後する時期の竪穴住居跡群などの存在が、本遺跡の場合には見られない。僅かに7区において9・10号住居跡が北側側溝に近接するのみである。重複が少ない理由としては、ひとつに東山道駅建設以前の土地利用が少なく、周辺の集落が東山道駅建設以降に展開し、その選地には一定の制限を受けていたためではないかと推察される。また、東山道駅跡廃絶後についても、積極的な土地利用がなされなかったものと考えられる。

〈住居跡〉調査区内の住居跡は大きく3群に大別できる。ひとつは7区東山道駅跡北側の一群。2基の井戸跡を伴い、北側5区へと連なっていたものと推察される。次いで6区西端部の一。4軒の竪穴住居跡は、そのカマド構築方法が酷似する。井戸跡・竪柱建物跡を伴い、遺跡西へと連なるものと推察される。三つ目は7区東山道駅跡南側の一群。イレギュラーな竪穴住居跡が南側の東今泉鹿島遺跡へと連なる。

〈河川氾濫跡〉7区東端部から6区西端部にかけて、ほぼ東西方向の帯状に検出された水流の痕跡は、調査時に大溝跡として調査された。その幅員や深度は検出箇所により大きく異なり、特に7区東端部と6区西端部において、水流による底面の抉れ(ポッド)が認められた。また、隣接する5区のトレンチ調査結果においても、同様の水流によると考えられる落ち込みが検出されており、この水流痕は、5～7区の広範囲にかけて全体に不定形に蛇行し認められることから、溝跡のような人為的な遺構ではなく、河道若しくは大規模な河川の決壊による自然災害の痕跡と判断された。遺跡地は、渡良瀬川右岸1.7kmほどの所に位置し、水害は渡良瀬川増水に起因するものと考えられるが、川よりの直接的な氾濫ではなく、恐らくは調査区東側に接して矢場堰より取水の休泊堀用水經由の流入と推察される。この氾濫跡の時期については、最も新しい出土遺物としてカルピス瓶・各種薬瓶があり、昭和20年代のものとして推定される。この時期の渡良瀬川水系の決壊・氾濫事例として、昭和22年9月のキャサリン(カスリン)台風・翌23年のアイオン台風・24年のキティー台風による未曾有の水害が記録されている。中でもキャサリン台風時には、葉鹿橋より上流側600mで堤防を越流し、床下浸水などの被害をもたらした。5・6・7区検出の氾濫跡もこの水害によるものと推察される。

2、竪穴住居跡

6区1号住居跡 旧称6区 - 1

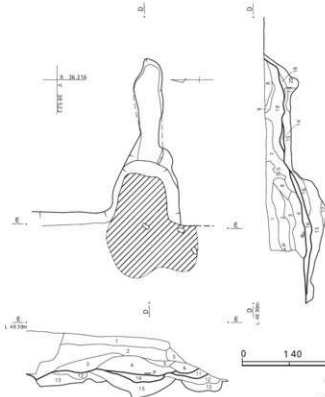
位置: X = Y = 主軸方向: N - E

規模: m m 平面形状: 隅丸長方形

残存深度: 埋没土; 主に白色軽石とロームブロックを含む暗褐色土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。床面: 掘り方埋土である明黄褐色粘質土で埋め固め、床面とする。カマド: 北東壁南東寄りに位置する。袖部は残らないものの、遺存状態は比較的良好。燃焼部使用面には焼土粒を含んだ灰層が広がる。煙道部は燃焼部から一段上がり、水平に ほど延びる。柱穴: 掘り方調査段階で検出された南東・北西のコーナー部に位置するピットが、柱穴となる可能性がある。

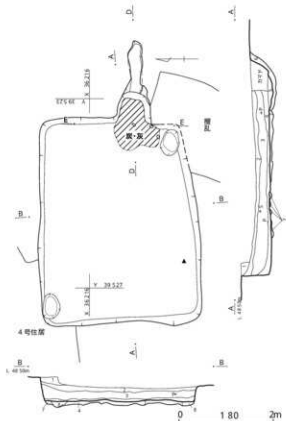
貯蔵穴: なし。 壁周溝: なし。

- | | |
|-------------|--------------------|
| 1号住居 埋土 | 白色軽石、ロームのロームブロック含む |
| 層 暗褐色土 | のロームブロック含む |
| 層 暗褐色土 | ロームブロック多い 炭化物を含む |
| 層 黄褐色土 | ロームブロック、炭化物、焼土含む |
| 層 灰層、灰、焼土含む | |
| 層 黄褐色土 | 焼土粒、黄褐色ロームブロック含む |
| 層 黄褐色土 | 粘質土 盛り土 |
| 層 明黄褐色土 | 炭化物、白色軽石含む |
| 層 黄褐色土 | 周溝埋土 |

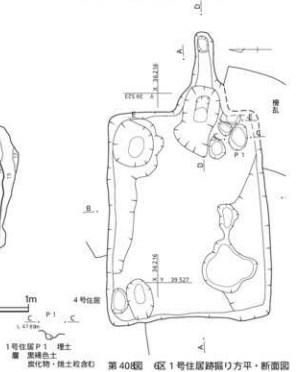


第407図 6区1号住居跡カマド平・断面図

- | | | |
|------------|---------------------|------|
| 1号住居カマド 埋土 | 黄褐色ロームブロック、焼土含む | 住居埋土 |
| 層 黄褐色土 | 層よりロームブロックの混ざり少ない | |
| 層 黄褐色土 | 黄褐色ロームの混ざりつけたブロック含む | |
| 層 暗褐色土 | 焼土、燃焼ローム土を含む | |
| 層 黄褐色土 | 焼土、炭化物含む | |
| 層 明黄褐色土 | 黄褐色ローム土の燃焼による変質 | |
| 層 暗褐色土 | 焼土、焼土ブロック、炭化物含む | |
| 層 暗褐色土 | 焼土、ブロック含む | |
| 層 暗褐色土 | 層より焼土少量含む | |



第406図 6区1号住居跡平・断面図



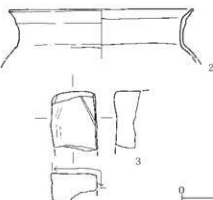
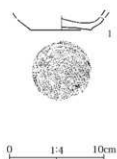
第408図 6区1号住居跡掘り方平・断面図

- | | | |
|-----------|---------|--------------|
| 1号住居P1 埋土 | 灰色土 | 灰層 |
| 層 黄褐色土 | 層 明黄褐色土 | 白色軽石含む、焼土含む |
| 層 黄褐色土 | 層 暗褐色土 | 黄褐色ローム混ざる |
| 層 黄褐色土 | 層 暗褐色土 | 灰、焼土粒、炭化物混ざる |
| 層 黄褐色土 | 層 黄褐色土 | 黄褐色ローム、焼土粒含む |
| 層 黄褐色土 | 層 黄褐色土 | 黄褐色ロームブロック入 |
| 層 黄褐色土 | 層 黄褐色土 | ブロック |
| 層 黄褐色土 | 層 黄褐色土 | しまりなし、粉カク乳) |
| 層 黄褐色土 | 層 黄褐色土 | 灰、黄褐色ローム混ざる |
| 層 黄褐色土 | 層 黄褐色土 | 灰に黄褐色ローム混ざる |

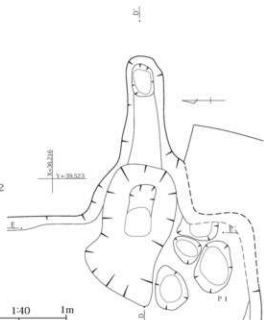
第3章 検出遺構と出土遺物

重複遺構:4号住居跡と重複し、遺構確認時の埋土の様相より、本遺構の方が新しいものと判断される。

掘り方:全体に地山ローム土を3~8cmほど掘り窪め、一部を土坑状に掘り下げる。 **出土遺物:**出土は僅かで、埋土中から須恵器杯片(No. 1)と砥石(No. 3)などが出土するのみである。



第409回 6区1号住居跡出土遺物



第410回 6区1号住居跡カマド掘り方平面図

6区1号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②構成 ③色調			成形手法 調整手法	備考	
				①胎土	②構成	③色調			
1	須恵器 杯	埋土中 或貯 成跡のみ残存	口径 6.5 底径 — 高さ —	① 羅紗粒・新砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(B1)	ロクロ整形。回転右回り。 外面:底部が糸切り。 内面:成跡が横ナデ調整。				
2	土師器 甕	電燈方埋土中 口縁部~胴部上端 破片	口径 19.2 底径 — 高さ —	① 羅紗粒 ② 還元焰 良好 ③ 褐色(R.7.9)	輪削み。 外面:口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。 内面:口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。				
番号	種別	器種	状態	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	石材	概要
3	石製品	砥石	一部片	6.3	4.8	2.2	125	風沢石	表面、右側面のみ使用か。

6区2号住居跡(旧称6区S1-2)

位置: X = 36218 Y = -39533 主軸方向: N-90° - E

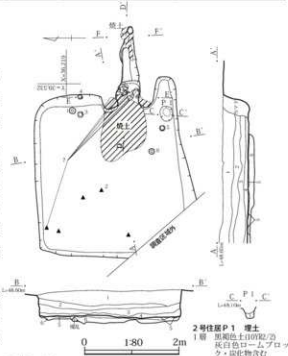
規模: 3.4m x 3.1m 平面形状: 隅丸長方形

残存深度: 52cm ~ 58cm 埋没土: 少量の白色軽石とロームブロックなどを含む暗褐色土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。床面: 掘り方埋土である暗褐色土で埋め固めたうえ、黒褐色粘質土を用いて薄く貼り床を敷設する。

カマド: 東壁の中央南寄りに位置する。遺存状態は良好。両袖基部は地山を掘り残す形で築かれ、使用面灰層は確認できなかったが、燃焼部からカマド前面にかけて焼土の広がりが認められた。煙道部は燃焼部から一段上がり、115cmほど水平に延びる。煙道部端はトンネル状に残っており、壁・天井部の著しい焼土化が認められた。

柱穴: なし。貯蔵穴: 調査時にP1としてカマド右脇に検出された径32 x 26cm、深さ28cmを掘る土坑が貯蔵穴と考えられ、埋没土に炭化物和灰白色ロームブロックを含むことから、カマド廃絶時に開口していたものと考えられる。

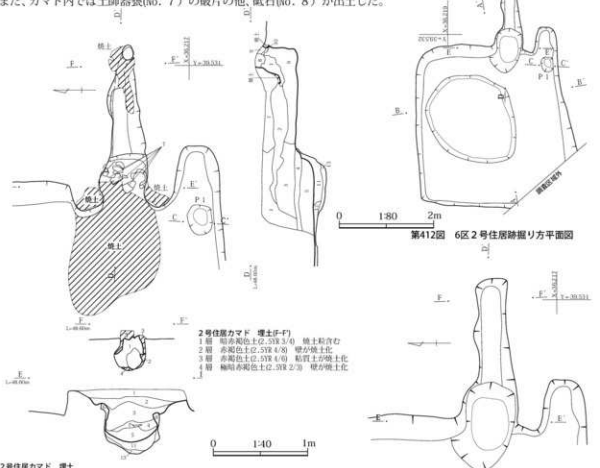
壁周溝: なし。重複遺構: 重複遺構はないが、南西コーナー一部が調査区域外にかかる。掘り方: 住居中央部から北壁寄りを14cmほど皿状に掘り窪める。



2号住居 埋土
1層 原褐色土の砂(①)
灰白色ロームブロック・炭化物含む
2層 暗褐色土①、S1R.3/4 白色軽石・ロームブロック含む
3層 暗褐色土①、S1R.3/4 ロームブロック・炭化物含む
4層 暗褐色土①、S1R.2/3 ロームブロック・炭化物含む
5層 原褐色土①(R.3.3) 粘質土(掘り方)
6層 暗褐色土①(R.2.3) 粘質土(粘土)と砂層の混ざり 炭分を含む(掘り方)

第411回 6区2号住居跡平・断面図

出土遺物：壁層で完形の土師器杯(No. 1)、須恵器杯(No. 3・5)が出土した他、埋土中から完形の須恵器杯(No. 4)や漆附着土器(No. 6)が出土している。また、カマド内では土師器甕(No. 7)の破片の他、磁石(No. 8)が出土した。



第412図 6区2号住居跡掘り方平面図

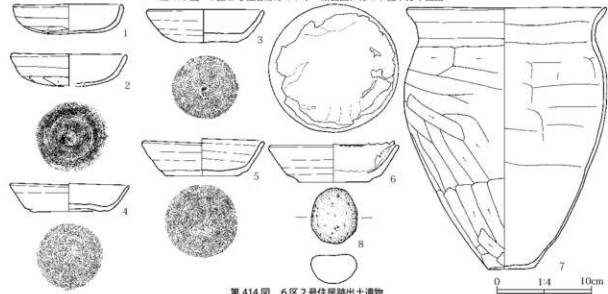
2号住居カマド 埋土(F-F)
 1層 暗赤褐色土(C.3YR 3/0) 焼土粒含む
 2層 赤褐色土(C.5YR 6/0) 壁が焼土土
 3層 赤褐色土(C.5YR 6/0) 粘質土が焼土土
 4層 輪切赤褐色土(C.3YR 2/0) 壁が焼土土

2号住居カマド 埋土

- 1層 黒褐色土(10YR 3/2) 黄褐色ロームブロック・焼土・炭化物含む
- 2層 黒褐色土(10YR 3/2) 1層より焼土多い
- 3層 黒褐色土(10YR 3/2) 黄褐色ロームブロック(人さめ)・焼土・炭化物含む 輪の天井の割れ跡さる
- 4層 黒褐色土(10YR 2/2) 焼土・炭化物多く含む
- 5層 黒褐色土(10YR 2/2) 黄褐色ロームブロック・炭化物を含む
- 6層 暗赤褐色土(5YR 3/0) 黄褐色ローム土が物をうけ含む
- 7層 暗褐色土(10YR 3/2) 磁石
- 8層 黒褐色土(10YR 3/2) 焼土ブロック(樽蓋断面)・磁石含む

- 9層 黒褐色土(10YR 2/2) 焼土含む
- 10層 黒褐色土(10YR 2/2) 焼土ブロック含む
- 11層 暗褐色土(10YR 3/2) 焼土粒・黄褐色ロームブロック含む [掘り方]
- 12層 赤褐色土(10YR 7/4) 黄褐色ロームブロック多・焼土・炭化物含む [掘り方]
- 13層 赤褐色土(10YR 5/0) 黄褐色ロームブロック多い・焼土・炭化物含む [掘り方]

第413図 6区2号住居跡カマド平・断面図、カマド掘り方平面図



第414図 6区2号住居跡出土遺物

第3章 検出遺構と出土遺物

6区2号住居跡出土遺物観察表

番号	種別	器種	出土位置	保存状態	計測値	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法	調整手法	備考
1	土師器	杯	惣形直下	完形	口径 11.4 底径 — 器高 3.1	① 細砂粒 ② 焼成良好 ③ 濃い赤褐色(5R 5/4)	外面：口縁部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちへう削り。 内面：口縁部～体部横ナデ、底部ナデ。		
2	土師器	杯	床面直上	完形	口径 12.0 底径 — 器高 2.7	① 細砂粒 ② 焼成良好 ③ 濃い赤褐色(5R 5/4)	外面：口縁部横ナデ、体部ナデ、底部手持ちへう削り。 内面：口縁部～体部横ナデ、底部ナデ。		
3	須恵器	杯	床面+2cm	完形	口径 12.1 底径 6.7 器高 3.4	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 やや不良 ③ 黒灰(10R 6/1)	口コロ整形、回転右回り。 外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転へう削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。		底部外面中央に「五」の遺書、内面にスス付着。
4	須恵器	杯	床面+53cm	完形	口径 12.5 底径 7.0 器高 3.9	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 良好 ③ 灰青(5/0)	口コロ整形、回転左回り。 外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転へう削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。		赤みがややあり。
5	須恵器	杯	床面+2cm	完形	口径 12.8 底径 7.8 器高 3.9	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 良好 ③ 灰青(5/0)	口コロ整形、回転右回り。 外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り後、底部周辺は回転へう削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。		
6	須恵器	杯	床面+13cm	完形	口径 13.5 底径 7.6 器高 3.9	① 細砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 青黒(1.7/1)	口コロ整形。 外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り後、へう調整。 内面：全体にむらつき遺書が付着。		漆付着土。底部外面にヘラ記号「7」。
7	土師器	甕	階下土中	完形	口径 20.9 底径 4.9 器高 27.7	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼成良好 ③ 暗赤灰(10R 3/1)	輪結み。 外面：口縁部横ナデ、胴上平織、下半部方向へう削り。 内面：口縁部横ナデ、胴部～底部へう削り。		

番号	種別	器種	状態	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	石材	概要
8	石製品	砥石	完形	5.8	4.8	2.9	39	ニッ房軽石	面中央部を使用。浅く面状に磨滅し度む。

6区3号住居跡(旧称6区5J-3)

位置：X = -36222 Y = -39538

主軸方向：N-88° - E

規模：不明×3.7m 平面形状：住居西半部が調査区域外にかかるため、不明。

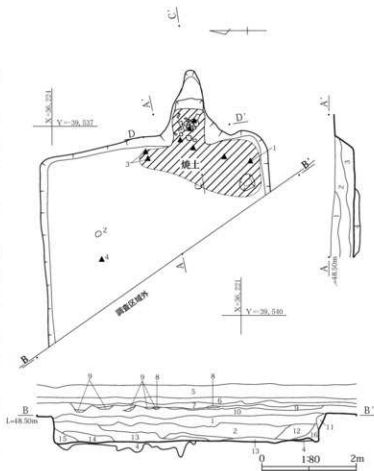
残存深度：28cm～43cm 埋没土：白色軽石とロームブロックなどを含む暗褐色～褐色土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。床面：ローム地山を床面とするが、一部にロームを主体とした黄褐色土で掘り方を埋め固めて床面としている。

カマド：東壁の中央南寄りに位置する。袖部は残らず、燃焼部使用面には焼土を含んだ厚い灰層が確認され、直上には天井部材の崩落が認められた。煙道部は燃焼部より一段上り緩やかに立ち上がる。柱穴：掘り方調査で南東コーナー部付近で1基を検出した。28×22cmの楕円形で、深さは40cmを測る。貯蔵穴：なし。壁周溝：調査範囲内に於いてはなし。重複遺構：なし。

掘り方：住居中央部から北壁寄りを17cmほど皿状に掘り窪める。

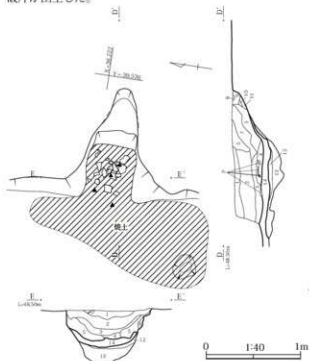
3号住居 埋土

- | | | |
|--------------------|------------------------|-----------------------|
| 1層 黒褐色土(5YR 3/0) | 白色軽石和・ロームブロックφ5～10mm含む | 6層 砂礫 |
| 2層 黒褐色土(5YR 5/0) | φ10～30mmのロームブロック含む | 7層 黒灰土(10R 6/0) AS-8割 |
| 3層 黒褐色土(5YR 4/0) | ローム和・炭化物・灰を含む | 8層 黒褐色土(10R 2/0) |
| 4層 黒褐色土(10R 5/0) | 砂礫にローム土を含む [掘り方] | 9層 白色軽石含む、粘質土 |
| 5層 濃い赤褐色土(10R 7/3) | 耕作土 | 10層 黒褐色土(10R 3/1) |
| 6層 灰褐色土(10R 5/4) | 耕作土、白色軽石含む | 11層 黒褐色土(10R 3/2) |
| 7層 灰褐色土(10R 3/2) | 8層に砂礫を | 12層 黒褐色土(10R 3/2) |
| | | 13層 黒褐色土(10R 3/2) |
| | | 14層 黒褐色土(10R 3/2) |
| | | 15層 黒褐色土(10R 3/1) |
| | | 16層 黒褐色土(10R 2/1) |



第415図 6区3号住居跡平・断面図

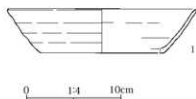
出土遺物：全体的にわずかな出土量である。埋土中から土師器杯(No. 1)や黒色土器鉢(No. 2)が出土している。また、カマド燃焼部で土師器甕(No. 3)の破片が出土した。



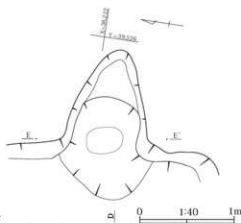
第416図 6区3号住居跡カマド平・断面図

3号住居カマド 埋土

- 1層 黒褐色土(00R 3/2) 黄褐色ローム・焼土・炭化物多く含む
- 2層 黒褐色土(00R 3/2) 黄褐色ローム・焼土・炭化物含む
- 3層 黒褐色土(00R 2/3) 黄褐色ローム土ブロック・焼土・炭化物含む
- 4層 暗褐色土(00R 3/4) 黄褐色ローム・炭化物含む
- 5層 [天井の崩落]
- 6層 暗褐色土(00R 3/3) 焼土含む
- 7層 にぶい黄褐色土(00R 4/3) 焼土ブロック・炭化物含む
- 8層 黒褐色土(00R 2/2) 焼土と砂含む
- 9層 暗褐色土(00R 5/6) 焼土
- 10層 黒褐色土(00R 2/2) 焼土多く含む
- 11層 明褐色土(00R 5/6) 焼土
- 12層 にぶい黄褐色土(00R 4/3) 焼土・炭含む
- 13層 暗褐色土(00R 3/3) 焼土・炭少量含む
- 14層 焼土・炭層面



第417図 6区3号住居跡掘り方平・断面図



第418図 6区3号住居跡カマド掘り方平面図

第419図 6区3号住居跡出土遺物

6区3号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調			成形手法 調整手法	備考
				①胎土	②焼成	③色調		
1	土師器 杯	底面+8cm	口径 19.8	① 細砂粒	② 酸化焼	良好	外面：口縁部～体部横ナデ。	
		破片	器高 -	③ にぶい・粗(5YR 6/4)			内面：口縁部～体部横ナデ。	
2	黒色土器 杯	底面+30cm	口径 -	① 細砂粒	② 酸化焼	良好	内外面同	
		体部下端～底部	底径 8.2	③ 色処理			外面：体部回転ナデ後、底部回転糸切り後、回転ヘラ削り。 内面：体部～底部回転ナデ調整後放射状へら磨き。	
3	土師器 甕	埋土中	口径 19.4	① 細砂粒・粗砂粒	② 酸化焼	良好	輪削み。	
		破片	器高 -	③ 粗(7.5YR 6/6)			外面：口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。 内面：口縁部横ナデ、胴部ヘラナデ。	

第3章 検出遺構と出土遺物

6区4号住居跡(旧称6区S1-4)

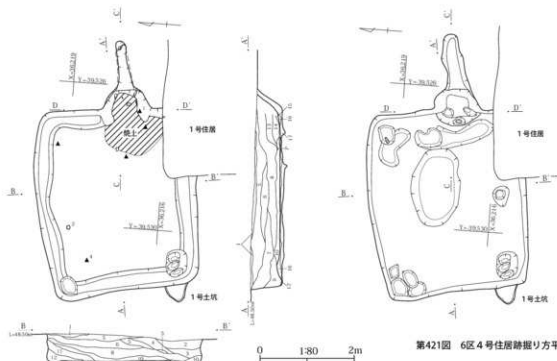
位置：X=36218 Y=-39528 軸方向：N-81°-E 規模：3.9m×3.3m 平面形状：隅丸長方形
 残存深度：43cm～61cm 埋没土：白色軽石とローム粒・ロームブロックを含む褐色土～黒褐色砂質土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。床面：浅い掘り方をローム主体とした黒褐色土で埋め戻した上に、にぶい黄褐色粘質土を用いて貼り床が敷設される。カマド：北東壁の中央やや南東寄りに位置する。燃焼部中央で灰層が確認され、この灰層の直上は焼土化した天井部材の崩落が認められた。袖基部は地山を掘り残す形で構築され、被熱で焼土化している。掘り方調査時に両袖部に接して小さな窪みが検出され、袖石を据えた痕跡の可能性はある。煙道部は燃焼部から一段上がり、水平に105cmほど延びる。なお、カマドの形態が重複する1号住居跡のものと酷似する。

柱穴：掘り方調査時において北西および南西コーナー部に検出されたピットが柱穴となるものと思われる。

貯蔵穴：なし。壁周溝：幅26～44cm、深さ4～8cmを測る壁溝が全周している。

重複遺構：1号住居跡、1号土坑跡と重複する。遺構確認～掘削時の埋土の様相より、本遺構は1号住居跡よりも古く、1号土坑跡より新しいものと判断された。掘り方：住居中央北東寄りを2～12cmほど浅く皿状に掘り窪める。

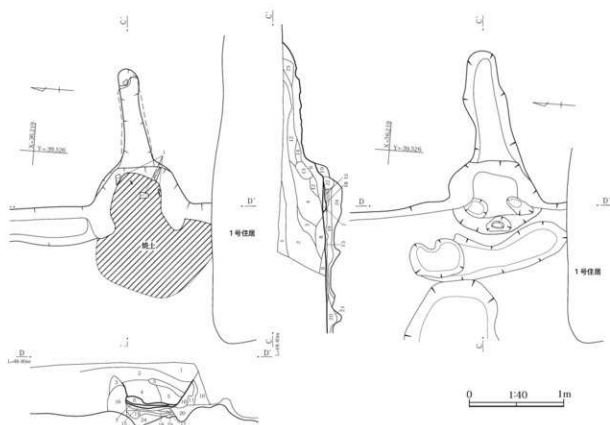
出土遺物：床面直上で須恵器の把手部(No. 4)が出土した他、埋土中から須恵器椀(No. 2)の底部を転用した硯が出土している。また、カマド内より土師器甕(No. 3)と漆の付着した須恵器杯片(No. 1)が出土している。



第420図 6区4号住居跡平・断面図

第421図 6区4号住居跡掘り方平面図

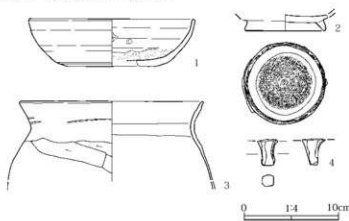
- 4号住居 埋土
- 1層 褐色土 白色軽石・ローム粒を含む
 - 2層 黄褐色土 大小のロームブロック・ローム塊を多く含む As(軽石混黒色土層(C混土)を含む)
 - 3層 黄褐色土 ロームの塊が主体 C混土ブロック含む
 - 4層 褐色土 C混土を主体とし φ20～40mmのロームブロックを少量含む
 - 5層 褐色土 C混土とロームの混生 稀散にローム塊があるが、あとはφ10mm程度のロームブロックが少量混在
 - 6層 褐色土 C混土が主体 φ10mm程度のロームブロック少量含む
 - 7層 褐色土 C混土の塊(φ100mm以上)を含む ロームはφ10～20mmのブロックで多く混在
 - 8層 褐色土 C混土が主体 φ10～30mmのロームブロックをやや多く含む
 - 9層 褐色土 C混土とロームがともにφ30～50mmのブロックで均等に混在
 - 10層 褐色土 Asをわずかに含む やや粘りあり φ30mm程度のローム塊をわずかに含む
 - 11層 褐色土 Asはほとんどなし φ10～20mmのロームブロックを多く含む 黄色土ブロックも含む
 - 12層 褐色土 ロームの塊が主体 黄色土 ロームブロック・褐色土がブロックともにφ10mm以下でダズクズ
 - 13層 褐色土 8層より白色軽石少ないロームブロックφ大きい
 - 14層 褐色土 13層に白色軽石含まず
 - 15層 同層
 - 16層 にぶい黄褐色土(0.05%) 粘り強い 掘り床
 - 17層 褐色土(0.05%) 黄褐色ロームブロックまざる



第422図 6区4号住居跡カマド平・断面図、カマド掘り方平面図

4号住居カマド 埋土

- 1層 黒褐色土(019R 2/3) 白色軽石・黄褐色ロームブロック含む
 - 2層 黒褐色土(019R 3/3) 白色軽石・黄褐色ローム多く含む
 - 3層 黒色土(019R 2/3) 白色軽石少量含む 粘土
 - 4層 黒褐色土(019R 3/3) ローム粘り
 - 5層 黒褐色土(019R 3/3) 白色軽石・ロームブロック含む
 - 6層 暗赤褐色土(019R 3/3) 粘土・ローム粘り
 - 7層 土層
 - 8層 黒褐色土(019R 2/3) ローム粘り
 - 9層 黒褐色土(019R 2/3) 粘土粘り
 - 10層 黒褐色土(019R 2/3) 白色軽石・粘土・炭を含む
 - 11層 暗赤褐色土(2.51R 2/3) 粘土
 - 12層 赤褐色土(2.51R 4/4) 粘土ブロックφ1~3mm含む
 - 13層 褐色土(2.51R 6/6) カマドブロック間くしまり残っている
 - 14層 赤褐色土(2.51R 4/4) 粘土 [天井部]
 - 15層 暗赤褐色土(2.51R 3/3) 粘土
 - 16層 褐色土(2.51R 6/6) ローム・土の堆土化
 - 17層 褐色土(019R 1.7/3) 炭・ローム混ざり
 - 18層 明褐色土(019R 7/7)
 - 19層 褐色土(019R 4/4) 炭・ローム混ざり 粘土粘り
 - 20層 褐色土(019R 4/4) ローム・黒色土の混ざり
 - 21層 黄褐色土(019R 5/5) ロームに黒色土少量混ざり
 - 22層 暗赤褐色土(019R 3/3) 6層に類似 しまりなし
- (断面によるカマド)
- 23層 赤褐色土(019R 4/4) 粘土・粘土混ざり
 - 24層 黄褐色土(019R 5/5) 砂混じり ロームの変質



第423図 6区4号住居跡出土遺物

6区4号住居跡出土土物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	甕埋土中	口径 17.2	① 細砂粒・粗砂粒	ロウク型取。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転へら削りか。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。漆付着。	漆付着土器。
		口径部～底部	底径 9.2	② 還元焰 良好		
		1/4	器高 5.0	③ 灰赤(6/0)		
2	須恵器 転用碗か	床面+4cm	口径 —	① 細砂粒	ロウク型取。回転石回り。 外面：底部回転へら削り。高台貼付。 内面：底部回転ナデ調整。縦使用によって擦れている。	須恵器輪軸底部を 転用。
		底部	底径 8.1	② 還元焰 やや不良		
		底部のみ残存	器高 —	③ 赤灰(2.51R 5/1)		
3	土師器 甕	甕埋土中	口径 19.3	① 細砂粒・粗砂粒	輪削み。 外面：口縁部横ナデ。胴部横方向へら削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部へらナデ。	
		口径部～胴部上端	底径 —	② 酸化焰 良好		
		破片	器高 —	③ 赤い相付(51R 7/4)		
4	須恵器 不明	床面直上	口径 —	① 細砂粒	把手貼付。把手の長さ2.7cm、巾1.3cm、高さ1.4cm。 把手部へら削り。	
		把手部	底径 —	② 還元焰 良好		
		器高 —	③ 黄灰(2.51 5/1)			

第3章 検出遺構と出土遺物

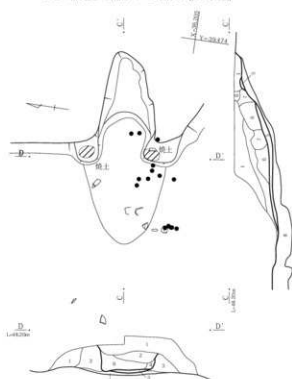
7区1号住居跡(旧称7区S1-1)

位置：X=36206 Y=-39477 主軸方向：N-82°-E

規模：3.2m×不明 平面形状：隅丸長方形を呈するものと思われるが調査区以外の為不明。 残存深度：28cm～39cm 焼土粒子含む暗褐色～褐色粘質土で埋没し、樹根による攪乱はあるものの、その堆積状態は自然埋没の様相を呈する。 床面：掘り方埋土であるロームを主体とした暗褐色土で埋め固め、床面としている。 カマド：東壁の南寄りに位置する。両袖共に残っており、全体的に遺存状態は良好。両袖は黄褐色粘質土で構築され、被熱による焼土化が著しい。煙道部は緩やかに立ち上がる。 柱穴：掘り方調査の段階で数穴を検出し、壁際の3穴が柱穴となる可能性がある。 貯蔵穴：調査区域外にかかり、確認できなかった。 壁溝溝：なし。 重複遺構：なし。 掘り方：全体に地山ローム土を6～20cmほど掘り窪め、住居中央カマド寄りを皿状に掘り窪める。 出土遺物：埋土中から須恵器杯(No. 1)・椀(No. 2)が出土している。

1号住居 埋土

- 1層 暗褐色土 粘性あり 白色軽石・焼土粘着む 鉄分が凝じる
- 2層 暗褐色土 1層に黄褐色土混ざる [樹根による力及]
- 3層 暗褐色土 粘性あり 鉄分凝じる 軽石・焼土粘着部に少ない
- 4層 褐色土 粘性あり 褐色土に黄褐色土混ざる
- 5層 暗褐色土 粘性あり 1層より焼土粒大い
- 6層 暗褐色土 粘性あり 黄褐色土がブロック状に凝ざる
- 7層 褐色土 粘性あり 白色軽石少量含む
- 8層 褐色土 粘性あり 白色軽石を含む 黄褐色土が凝ざる
- 9層 褐色土 粘性あり 黄褐色土(焼土)に焼土多量に混ざる [煙道部]
- 10層 暗褐色土 炭化物・ローム粘着む [掘り方埋土]

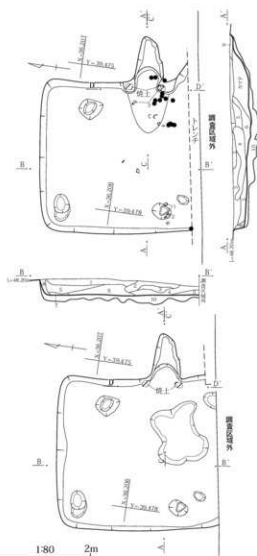


1号住居カマド 埋土

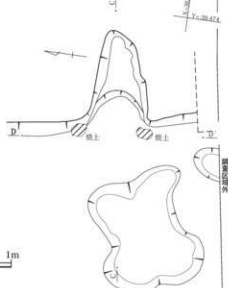
- 1層 暗赤褐色土(7.5YR 3/3) 若干の炭化物を含む
- 2層 暗赤褐色土(7.5YR 3/3) 粘土ブロック状
- 3層 黄褐色土(10YR 7/8) 粘質土 [床面]
- 4層 暗赤褐色土(7.5YR 3/4) 2層より明るい 粘土多い
- 5層 炭層
- 6層 黄褐色土(10YR 8/6) 天井の崩壊土
- 7層 にぶい黄褐色土(10YR 5/3) 粘土・焼土・炭化物混じる
- 8層 暗褐色土炭化物・ローム粘着む [掘り方埋土]

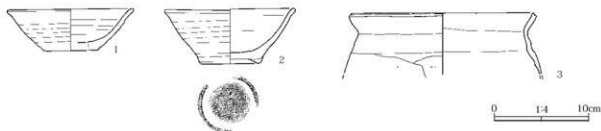
0 1:40 1m

第425図 6区1号住居跡カマド平・断面図、掘り方平面図



第424図 6区1号住居跡平・断面図・掘り方平面図





第426図 7区1号住居跡出土遺物

7区1号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	床面+32cm 1.1縁部~底部 1/3	口径 13.0 底径 5.8 器高 4.4	① 凝砂粒・粗砂粒 ② 酸化焼 ③ 灰赤・暗(7.5)R 6/4	口コロ整形。 外面:1.1縁部~底部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面:1.1縁部~底部回転ナデ調整。	
2	須恵器 椀	床面+34cm 1.1縁部~底部 1/3	口径 13.6 底径 6.9 器高 5.8	① 凝砂粒・粗砂粒 ② 酸化焼 ③ 相色R 6/9	口コロ整形。回転糸切り。1.1縁部外反。 外面:1.1縁部~底部回転ナデ。底部回転糸切り。高台付付。 内面:1.1縁部~底部回転ナデ調整。	
3	土師器 甕	床面+20cm。遺埋土中 1.1縁部~胴部上端 破片	口径 19.2 底径 — 器高 —	① 凝砂粒・粗砂粒 ② 酸化焼 良好 ③ 灰赤・相色R 6/4	輪積み。 外面:1.1縁部傾ナデ。胴部横方向へラ削り。 内面:1.1縁部傾ナデ。胴部ヘラナデ。	

7区2号住居跡(旧称7区S1-2)

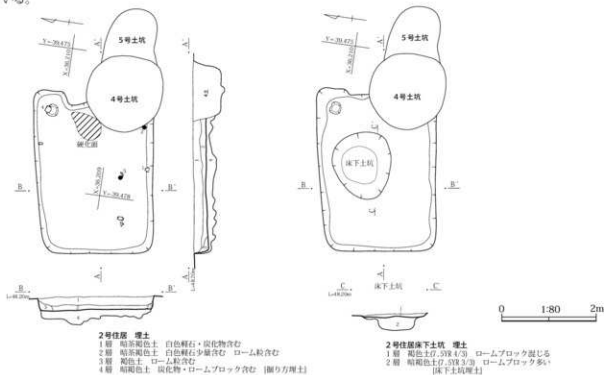
位置: X=36209 Y=-39477 主軸方向: N-83° -E 規模: 3.4m×2.5m 平面形状: 隅丸長方形

残存深度: 25cm~32cm 埋没土: 白色軽石と炭化物・ローム粒を含む暗褐色土で埋没し、その堆積状態は自然埋没の様相を呈する。床面: 掘り方埋土であるロームを主体とした暗褐色土で埋め固め、床面としている。

カマド: 北東壁の中央南東寄りと思われるが、重複する4号土坑跡によって消失している。

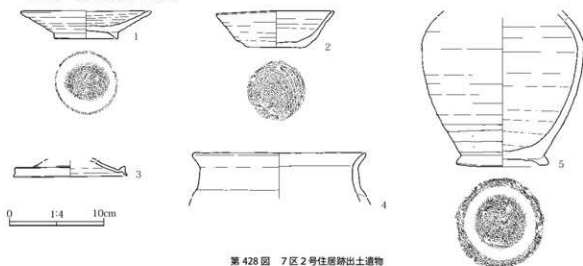
柱穴: 掘り方調査の段階で北東壁際において深さ22cmを測る穴を検出し、規模・形状より柱穴に当たるものと考えられる。

貯蔵穴: カマドと共に消失した可能性がある。壁周溝: なし。重複遺構: 4号土坑跡と重複し、遺構確認~掘削時の埋土の様相より、本遺構の方が古いものと判断される。掘り方: 全体に地山ロームを8~20cmほど掘り窪め、住居中央北よりを土坑状に掘り窪める。出土遺物: 床面直上で須恵器の高台付壺(No. 4)や高台付皿(No. 1)の破片が出土した他、埋土中からほぼ方形の須恵器杯(No. 2)や土師器甕(No. 5)と須恵器高盤(No. 3)の破片が出土している。



第427図 7区2号住居跡平・断面図、掘り方平面図

第3章 検出遺構と出土遺物



第 428 図 7 区 2 号住居跡出土遺物

7 区 2 号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状況	計測値 cm	①胎土 ②構成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 高台付皿	床面+3cm 口縁部~底部 2/3	口径 13.4 底径 6.7 高さ 3.0	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼化腐 良好 ③ 土(赤/赤) 赤褐色 (2_SYRS/3)	口ウロ整形。回転石回り。 外面：口縁部~胴部横ナデ。底面回転系切り。高台附付。 内面：口縁部~底部回転ナデ。	
2	須恵器 杯	床面+27cm ほぼ完形 口縁部一部欠損	口径 12.2 底径 6.1 高さ 3.9	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 普通 ③ 灰(00Y5/1)	口ウロ整形。回転石回り。口縁部外反。 外面：口縁部~底部回転ナデ。底部回転系切り。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	
3	須恵器 高盤	埋土中 脚部 破片	口径 12.0 縦径 - 横径 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰 (SY6/1)	口ウロ整形。 外面：脚部端部ナデ。 内面：口縁部~天井部回転ナデ。	
4	土師器 甕	床面+27cm 口縁部 破片	口径 18.2 底径 - 高さ -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼化腐 良好 ③ 粘 (SY87/6)	口ウロ整形。 外面：口縁部横ナデ。 内面：口縁部横ナデ。	
5	須恵器 長頸壺 (高台付)	壁跡直下 胴部~底部 口縁部~頸部欠損	口径 - 底径 8.8 高さ -	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 中礫 ② 還元焼 良好 ③ 灰 (N6/0)	口ウロ整形。回転石回り。 外面：胴部上+中位回転ナデ。下位回転へウ割り。底部回転系切り。高台附付。 内面：胴部~底部横ナデ。	

7 区 3 号住居跡(旧称 7 区 J-3)

位置：X=36217 Y=-39480

主軸方向：N-171°-E 規模：3.3m×3.5m

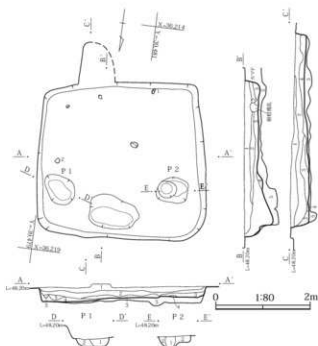
平面形状：隅丸長方形 残存深度：20cm～38cm

埋没土：白色軽石・ローム粒・焼土粒・炭化物を含む暗褐色～褐色土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。

床面：掘り方埋土であるロームを主体とした暗褐色土で埋め、床面としているが、床面は平坦ではなく、住居北壁際中央部には大きな落ち込みがあり、床面としての体裁を整えてはいない。

カマド：南壁の東寄り位置するものと思われるが、遺存状態は悪く、明確な使用面も検出されていない。掘り方調査の段階でカマドらしき落ち込みは確認できたものの、床面と同様にカマドとしての体裁を整えてはいない。柱穴：住居北半部において、径74×56cm 深度17cmを測るP1と径72×54cm 深度27cmを測るP2を検出し、位置的に柱穴跡と考えられる。

貯蔵穴：なし。壁溝溝：なし。重複遺構：なし。



3号住居、P1・2 埋土

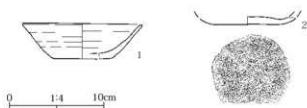
- 1層 黄褐色土 粘性あり 白色軽石・焼土粒・炭化物含む
- 2層 黄褐色土 1層に黄褐色土粒含む
- 3層 黄褐色土 2層に多くの黄褐色土まざる
- 4層 黄褐色土 粘性あり 黄褐色ローム土
- 5層 黄褐色土 ロームブロック・炭化物含む (掘り方埋土)

第 429 図 7 区 3 号住居跡平・断面図

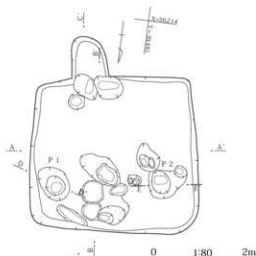
掘り方：全体に地山ロームを2～16cmほど掘り穿める。

出土遺物：埋土中から須恵器杯(No. 1)の破片や須恵器杯(No. 2)の底部を転用した碗が出土する。

所見：床面やカマドの状態から、構築途上において廃絶された竪穴住居跡ではないかと考えられる。



第430図 7区3号住居跡出土遺物



第431図 7区3号住居跡掘り方平面図

7区3号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	床面+25cm 口縁部~底部 1/2	口径 12.5 底径 6.2 器高 3.7	① 羅紗粒・粗砂粒 ② 還元焼 普通 ③ 灰(白/6/1)	ロクロ整形。口縁部や平外反。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
2	須恵器 転用碗	床面+31cm 底部 底部はぼん形	口径 — 底径 8.6 器高 —	① 羅紗粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰(7.5Y 6/1)	ロクロ整形。 外面：底部回転ヘラ糸切り後、回転ヘラ削り。 内面：底部回転ナデ。調整用によって磨かれている。	杯底部を転用。 底部外面中央に ヘラ記号「×」

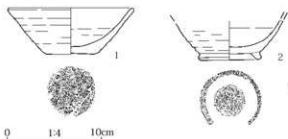
7区4号住居跡(旧称7区S-4)

位置：X=36220 Y=-39476 主軸方向：N-25°-E

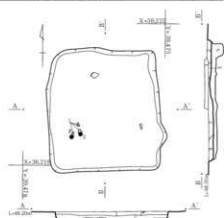
規模：2.4m×2.6m 平面形状：隅丸長方形

残存深度：10cm～19cm 埋没土：主に白色軽石・焼土粒を含む暗褐色粘質土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。

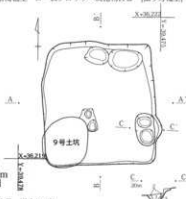
床面：掘り方埋土であるロームを主体とした暗褐色土で埋め込み、床面としている。カマド：掘り方調査の段階で東壁南寄りに検出された掘り込みが、埋土に粘質土を多く含むことから、カマドの掘り方である可能性が高い。柱穴：なし。貯蔵穴：なし。壁周溝：なし。重複遺構：9号土坑と重複し、遺構の検出状況より本住居跡の方が新しいものと判断されたが、9号土坑跡の位置より、本住居跡に伴う掘り方の一部である可能性もある。掘り方：全体に地山ローム土を6～12cmほど掘り穿める。出土遺物：床面直上で須恵器杯(No. 1)の破片の他、埋土中から瓦器の破片が出土している。所見：1辺が2.5mほどの小型竪穴住居であるがカマドが構築途上であり、前記の3号住居跡同様に構築途上において廃絶された遺構と考えられる。



第432図 7区4号住居跡出土遺物



- 4号住居 埋土
- 1層 暗褐色土 粘性強、白色軽石・焼土粒含む
 - 2層 暗褐色土 粘性強くしまりあり 埋土・ローム土少量まざる
 - 3層 暗褐色土 粘性強くしまりあり ローム土まざる
 - 4層 暗褐色土 粘性強、しまり弱
 - 5層 暗褐色土 ロームブロック・灰化物含む [掘り方埋土]



- 4号住居 埋土(C-C')
- 1層 暗褐色土 粘性あり 暗褐色ローム土少量含む
 - 2層 暗褐色土 粘性あり しまりあり 暗褐色土少量まざる
 - 3層 暗褐色土 ローム土ブロック

第433図 7区4号住居跡平・断面図、掘り方平面図

第3章 検出遺構と出土遺物

7区4号住居跡出土遺物観察表

番号	類別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調			成形手法 調整手法	備考
				①胎土	②焼成	③色調		
1	須恵器 杯	床面直上	口径 13.0	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼成弱 ③ にごい黄褐色(10黄7/4)	ロクロ整形。回転右回り。口縁部やや外反。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。			
		口縁部～底部 1/3	底径 5.1					
			器高 4.9					
2	須恵器 椀	床面+14cm	口径 一	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼成弱 良好 ③ オリーブ黒(7.59 3/1)	ロクロ整形。回転右回り。内・外面横し。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。高台懸付。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。			
		体部～底部	底径 6.5					
		破片	器高 一					

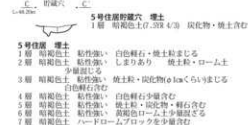
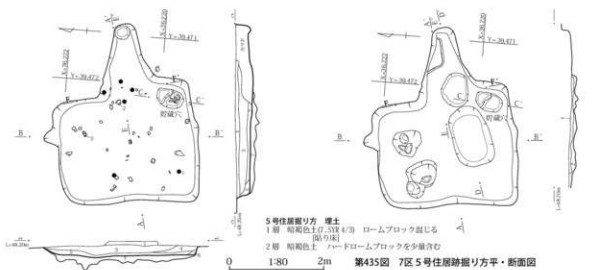
7区5号住居跡(旧称7区J-5)

位置：X=36220 Y=-39473 軸方向：N-81°-E 規模：2.3m×3.0m 平面形状：歪な隅丸方形

残存深度：16cm～28cm 埋没土：白色軽石・焼土粒・炭化物を含む暗褐色粘質土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。床面：ロームを主体とした暗褐色土で埋め固め、床面としている。カマド：東壁の中央やや南東寄りに位置する。燃焼部から煙道にかけての使用面に、良好な灰層の堆積が確認できたが、遺存状態は良くない。

柱穴：確認できなかった。貯蔵穴：住居南東コーナー部において、径60×40cm 深さ16cmを測る貯蔵穴と思われる土坑を検出した。埋土内には焼土粒と炭化物が含まれ、廃絶時のカマドよりの流入と考えられる。壁周溝：なし。重複遺構：なし。掘り方：全体に凹凸が多く、所々を土坑状に掘り窪める。出土遺物：床面直上で完形の須恵器杯(No. 1)と椀の破片が出土したほか、埋土中から須恵器皿(No. 4)・椀(No. 3)の破片が出土している。

所見：1辺が3mほどの小規模な整穴住居跡である。カマドの灰層の堆積状況から、長期の使用痕跡が認められる。





第437図 7区5号住居跡出土遺物

7区5号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 椀	床面直上 完形	口径 12.9 底径 5.0 器高 4.6	① 凝砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 灰白(2.5) 6/2	口ウロ整形。回転右回り。口縁部内外。 外面：口縁部～底部回転ナデ。底部回転車切り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	内面覆付着。
2	須恵器 椀	床面直上 胴部～底部 破片	口径 — 底径 5.0 器高 —	① 凝砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 灰白(2.5) 6/2	口ウロ整形。回転右回り。内面僅し。 外面：口縁部～底部回転ナデ。底部回転車切り。 内面：体部～底部回転ナデ調整。体部放射状喰文。	
3	須恵器 椀	床面+23cm 胴部下端～底部 破片	口径 — 底径 5.9 器高 —	① 凝砂粒 ② 酸化焰 ③ 粉色灰(6) 9	口ウロ整形。回転右回り。 外面：体部回転ナデ。底部回転車切り。高台附付。 内面：体部～底部回転ナデ調整。	
4	灰釉陶器 皿	埋土中 口縁部～底部 破片	口径 14.6 底径 8.0 器高 2.9	① 凝砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 灰白(2.5) 8/1	口ウロ整形。 外面：高台附付。施釉方法不明。 内面：ナデ。	大原2号窯式 明。

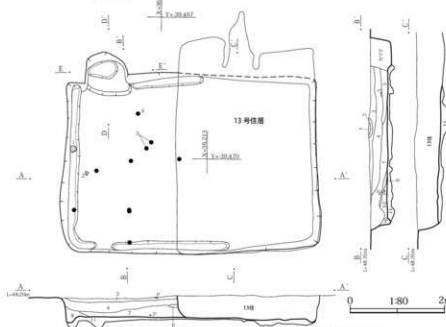
7区7号住居跡(旧称7区SJ-7)

位置：X=36213 Y=-39470 主軸方向：N-89°-E 規模：3.8m×5.3m 平面形状：隅丸長方形

残存深度：35cm～51cm 埋没土：白色軽石とローム粒・焼土粒・炭化物を含む砂質暗褐色粘質土・黒褐色土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。床面：掘り方埋土であるロームを主体とした暗褐色土で埋め固め、床面と

している。カマド：東壁の北東コーナー付近に位置する。遺存状況は悪く、燃焼部使用面に僅かな炭化物・焼土が認められたものの、灰層は認められなかった。煙道は極めて短く、端部は急峻に立ち上がる。柱穴：掘り方調査の段階で、ビット状の落ち込みが数ヶ所で検出されるものの、柱穴と断定でき得るものはない。貯蔵穴：なし。

壁周溝：重複遺構にかかる部分を除き、巾20cm深さ15cmほどの溝が巡る。重複遺構：13号住居跡と重複し、遺構確認～掘削時埋土の様相より本遺構の方が古いものと判断される。掘り方：全体に10cmほど掘り窪み、北西コーナー部には土坑状の掘り込みを有する。出土遺物：床面直上で須恵器椀(No. 2・3)・耳皿(No. 4)の他、周溝埋土中ではほぼ完形の須恵器杯(No. 1)が出土している。所見：調査途上において、本遺構と重複関係にあるものとして6号住居跡・12号住居跡が想定されたが、6号住居跡については重複する13号住居跡の埋土中の窪み、12号住居跡については13号住居カマドに伴う段状施設部との見解に至った。

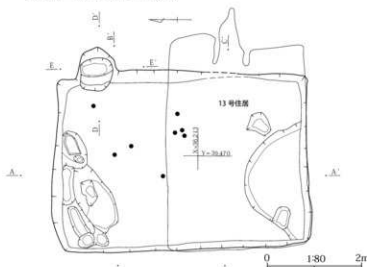


第438図 7区7号住居跡平・断面図

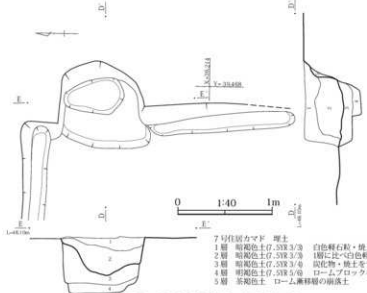
7号住居 埋土

- 1層 暗褐色土(0階3/3) 焼土粒・白色軽石・炭化物含む
- 2層 暗褐色土(0階3/3) ローム粒・ローム・サブロック多量含む
- 3層 暗褐色土(0階3/3) 白色軽石粒多量・焼土粒・ローム粒や多い
- 4層 暗褐色土(0階3/3) 白色軽石粒・ローム・サブロック多量含む・焼土粒少量含む
- 5層 暗褐色土(0階3/3) 白色軽石粒含む・焼土粒・ローム粒や多い
- 6層 暗褐色土(0階3/3) ローム粒・サブロック・白色軽石粒少量含む・酸化
- 7層 黒褐色土(0階2/3) 白色軽石・ローム粒・炭化物・焼土粒少量含む
- 8層 黒褐色土(0階2/3) ややしまり欠けるローム粒少量含む
- 9層 黒褐色土(0階2/3) ローム土・サブロック多量含む・白色軽石粒少量含む
- 10層 黒褐色土(0階2/3) 白色軽石粒少量含む
- 11層 ローム・サブロック・焼土粒・炭化物含む

第3章 検出遺構と出土遺物

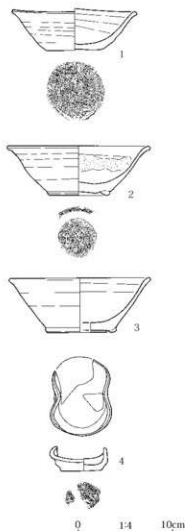


第439図 7区7号住居跡掘り方平面図



第440図 7区7号住居跡カマド平・断面図

- 7号住居カマド 埋土
 1層 暗褐色土付、5R 3/3 白色軽石・母土・炭化物を含む
 2層 暗褐色土付、5R 3/3 1層に比べ白色軽石を含まない
 3層 暗褐色土付、5R 3/4 炭化物・焼土を含む
 4層 暗褐色土付、5R 5/6 ロー・ムブロックを含む
 5層 茶褐色土 ロー・ム兼群緑の崩壊土



第441図 7区7号住居跡出土遺物

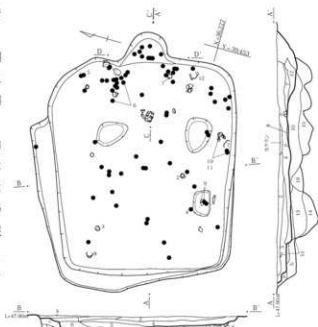
7区7号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 鉢	周溝埋土中 ほぼ完形 口縁部一部欠損	口径 12.9 底径 6.2 高さ 4.4	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 やや不良 ③ 灰黄(2.55 6/2)	ロウ口整形。凹転右回り。口縁部外反。 外面：口縁部～体部⑨転ナデ。底部⑨転糸切り。 内面：口縁部～底部⑨転ナデ調整。	裏面焼き。
2	須恵器 鉢	床面直上 口縁部～底部 1/4	口径 14.8 底径 6.6 高さ 5.2	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 ③ にい・弱7.5R 6/3	ロウ口整形。口縁部外反。 外面：口縁部～体部⑨転ナデ。底部⑨転糸切り。高台附付。 内面：口縁部～底部⑨転ナデ調整。	漆付若土器の 手焼け。
3	須恵器 鉢	床面直上 口縁部～底部 1/3	口径 14.8 底径 7.4 高さ 5.7	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 やや不良 ③ 灰黄(6/0)	ロウ口整形。凹転右回り。口縁部外反。 外面：口縁部～体部⑨転ナデ。底部⑨転糸切り。高台附付。 内面：口縁部～底部⑨転ナデ調整。	
4	須恵器	床面直上 口縁部～底部 2/3	口径 長8.0 短5.0 底径 4.0 高さ 2.5	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 やや不良 ③ 灰白(7/1)	ロウ口整形。 外面：口縁部～体部⑨転ナデ。底部⑨転糸切り。 内面：口縁部～底部⑨転ナデ調整。	

7区8号住居跡(旧称7区J-B)

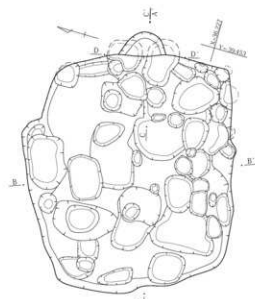
位置：X=36228 Y=-39456 主軸方向：N-77° -E 規模：4.8m×4.2m 平面形状：隅丸長方形
 残存深度：10cm～30cm 埋没土：白色軽石と焼土粒・炭化物・砂粒を含む暗褐色粘質土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。床面：掘り方埋土であるローを主体とした暗褐色土で埋め込み、床面とする。遺構検出時に見られる床面の起伏は、深い掘り方に起因する経年沈下によるものと推察される。
 カマド：北東壁の中央やや南東寄りに位置する。遺存状態は悪く、袖部は消失、灰層など明確な使用面の検出にも至ら

ず、カマド構築部材である焼土化した粘土が残るのみである。煙道部は短く、燃焼部より緩やかに立ち上がる。**柱穴・貯蔵穴**：床面上においては検出できず、掘り方調査時に検出された土坑・ピット状の掘り込みの内いづれかが、柱穴・貯蔵穴と成り得る可能性はあるものの、明確な断定には至らない。**壁間溝**：なし。**重複遺構**：なし。**掘り方**：ほぼ前面にわたり、地山ローム土を土坑状・ピット状に掘り窪め、その深度は深いので50cmほどに達する。ただし、住居跡北側には風倒木痕もあり、一部は樹根による視乱も含まれるものと思われる。**出土遺物**：床面直上で土師器の台付裏(No.10・11)、須恵器杯(No.3)・椀(No.8)が出土した他、埋土中から須恵器杯(No.2・4・6・7)・椀(No.9)・皿(No.1)・土師器裏(No.12)の破片が出土している。



第442図 7区8号住居跡平・断面図

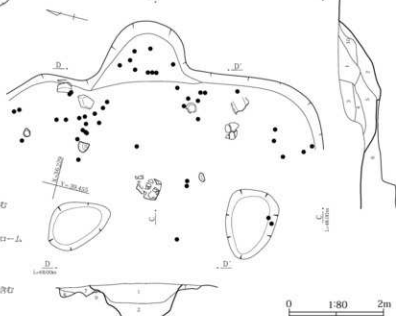
- 8号住居 埋土**
- 1層 暗褐色土(10R 3/3) 粘質土 白色軽石粒・炭化物粒・砂粒含む
 - 2層 暗褐色土(10R 3/3) 粘質土 白色軽石粒・焼土粒少量・砂粒含む
 - 3層 暗褐色土(10R 3/3) 粘質土 白色軽石粒少量・焼土粒少量・砂粒含む
 - 4層 暗褐色土(10R 3/3) 粘質土 しまる 白色軽石粒多量・焼土粒・炭化物粒少量・ローム小ブロック・砂粒含む
 - 5層 暗褐色土(10R 3/3) 粘質土 白色軽石粒少量・焼土粒・炭化物粒微量・砂粒含む
 - 6層 暗褐色土(10R 3/3) 粘質土 白色軽石粒少量・砂粒含む
 - 7層 暗褐色土(10R 3/3) 粘質土 しまる 白色軽石粒少量・焼土粒・炭化物粒・ローム粒少量・砂粒含む
 - 8層 暗褐色土(10R 3/3) 炭化物ブロック多量炭に貼りつくと、砂粒含む
 - 9層 暗褐色土(10R 3/3) 粘質土 しまり欠け ローム土・砂粒含む
 - 10層 暗褐色土(10R 3/3) 密にしまる炭味土に ロームブロック多量・焼土粒・炭化物粒同ブロック多量含む 暗褐色土の暗褐色土層に張りついている
 - 11層 暗褐色土(10R 3/3) しまる ロームブロック多量・砂粒含む
 - 12層 暗褐色土(10R 3/3) しまる 粘質土 白色軽石粒・ローム粒・焼土粒含む
 - 13層 暗褐色土(10R 3/3) ロームブロック・焼土ブロック多量・炭化物ブロック少量含む しまり欠け
 - 14層 暗褐色土(10R 3/3) ローム土・ロームブロック・焼土粒・炭化物少量含む しまり欠け
 - 15層 暗褐色土(10R 3/3) ローム土・ロームブロック(約100mm)・焼土粒・炭化物多量含む
 - 16層 暗褐色土(10R 3/3) 小・中ロームブロック多量・炭化物少量含む
 - 17層 暗褐色土(10R 3/3) 粘質土 ローム土・ロームブロック含む
 - 18層 暗褐色土(10R 3/3) 粘質土 焼土・焼土ブロック多量含む
 - 19層 暗褐色土(10R 3/3) ローム土主体・焼土粒・炭化物ブロック散見



第443図 7区8号住居跡7方平面図

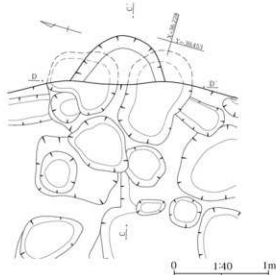
- a層 黒褐色土(2.5R 3/1) 粘質土 白色軽石・ローム粒微量含む
- b層 黒褐色土(2.5R 3/1) ややしまる 粘質土・ロームブロック多量含む
- c層 黒褐色土(2.5R 3/1) 粘質土 白色軽石微量・ローム土ブロック含む
- d層 黒褐色土(2.5R 3/1) 粘質土 ローム土層・砂粒含む
- e層 黒褐色土(2.5R 3/1) 粘質土 ローム土 ややしまり欠ける
- f層 暗褐色土(10R 3/3) 粘質土 白色軽石・焼土粒・炭化物少量含む
- g層 暗褐色土(10R 3/3) 粘質土 ローム土・焼土粒少量含む

- 8号住居カマド 埋土**
- 1層 濃い赤褐色土(5R 4/2) 軽石粒・焼土・炭化物を含む
 - 2層 褐色土(5R 6/6) 粘土層(1/2寸厚層)
 - 3層 黒褐色土(5R 4/1) 軽石粒・焼土を含む
 - 4層 黒褐色土(5R 2/1) 軽石粒・焼土を含む
 - 5層 暗褐色土(10R 3/3) しまる 粘質土 白色軽石粒・ローム粒・焼土粒含む
 - 6層 褐色土(5R 6/6) 粘質土 2層より厚い
 - 7層 濃い赤褐色土(5R 4/2) 焼土粒少量含む
 - 8層 暗褐色土(10R 3/3) 焼土粒少量含む
 - 9層 褐色土(5R 6/6)
 - 10層 暗褐色土(5R 3/2) 少量の焼土粒・炭化物・軽石粒含む

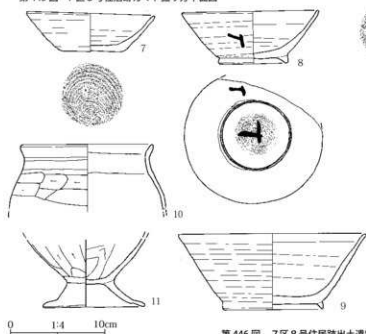


第444図 7区8号住居跡カマド平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物



第445図 7区8号住居跡カマド廻り方平面図



第446図 7区8号住居跡出土遺物

7区8号住居跡出土遺物観察表

番号	種類 器種	出土位置 保存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 皿	床面~22cm 口縁部~底部 1/2	口径 13.3 底径 6.3 器高 2.3	① 粗砂粒・粗砂粒・細糠 ② 焼化焼 ③ に近い黄褐色(0.9R 7/4)	口クワ整形。回転右回り。 外面：口縁部~体部回転ナデ。底部回転系切り。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	
2	須恵器 杯	床面~7cm 口縁部~底部 底部完形	口径 12.8 底径 7.6 器高 3.3	① 粗砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰黄(6/9)	口クワ整形。回転右回り。 外面：口縁部~体部回転ナデ。底部回転系切り。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	
3	須恵器 杯	床面直上 口縁部~底部 底部完形	口径 11.9 底径 5.6 器高 4.3	① 粗砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰黄(5/9)	口クワ整形。回転右回り。 外面：口縁部~体部回転ナデ。口縁部やや外反。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	
4	須恵器 杯	床面~24cm 口縁部~底部 1/2	口径 12.9 底径 6.6 器高 4.0	① 粗砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰黄(6/1)	口クワ整形。回転右回り。 外面：口縁部~体部回転ナデ。底部回転系切り。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	
5	須恵器 杯	壁面直下 口縁部~底部 1/3	口径 13.0 底径 6.2 器高 4.2	① 粗砂粒・粗砂粒・細糠 ② 還元焼 今や不良 ③ 灰(7.5)5/9	口クワ整形。回転右回り。口縁部外反。 外面：口縁部~体部回転ナデ。底部回転系切り。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	
6	須恵器 杯	床面~37cm 口縁部~底部 2/3	口径 13.3 底径 6.8 器高 3.6	① 粗砂粒・粗砂粒・細糠 ② 還元焼 今や不良 ③ 灰黄(2.5)6/2)	口クワ整形。回転右回り。口縁部やや外反。 外面：口縁部~体部回転ナデ。底部回転系切り。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	器面厚減。
7	須恵器 杯	床面+23cm 口縁部~底部 2/3	口径 13.5 底径 6.5 器高 4.0	① 粗砂粒 ② 焼化焼 ③ 灰黄(10)5/2)	口クワ整形。回転右回り。 外面：口縁部~体部回転ナデ。底部回転系切り。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調			成形手法 調整手法	備考
				①胎土	②焼成	③色調		
8	須恵器 椀	床面直上	口径 14.4	① 細砂粒	② 酸化焙	③ 灰黄褐色(YR 5/2)	口縁整形。回転回り。	胴部外面と底部 外面に「人」の 墨書。
		口縁部~底部 3/4	底径 7.2 器高 5.5	② 酸化焙 ③ 灰黄褐色(YR 5/2)			外面: 口縁部~体部回転ナデ。底部回転系切り。高台附付。 内面: 口縁部~底部回転ナデ調整。	
9	須恵器 椀	床面~28cm	口径 19.8	① 細砂粒	② 酸化焙	③ 良好	口縁整形。回転回り。	胴部外面と底部 外面に「人」の 墨書。
		口縁部~底部 1/2	底径 10.5 器高 7.9	② 酸化焙 良好 ③ 黄灰色(Y 4/1)			外面: 口縁部~体部回転ナデ。底部回転へう削り。高台附付。 内面: 口縁部~底部回転ナデ調整。	
10	土加器 台付椀	壁際直下	口径 13.8	① 細砂粒・粗砂粒	② 酸化焙	③ 赤褐色(YR 4/3)	輪埴み。	No.20と同じ個 体。
		口縁部~胴部上端 破片	底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焙 良好 ③ 赤褐色(YR 4/3)			外面: 口縁部横ナデ。胴部横方向へう削り。 内面: 口縁部横ナデ。胴部へうナデ。	
11	土加器 台付椀	壁際直下	口径 -	① 細砂粒・粗砂粒	② 酸化焙	③ 良好	輪埴み。台部附付。	No.20と同じ個 体。
		胴部~台部 破片	高台径 10.5 器高 -	② 酸化焙 良好 ③ 赤褐色(YR 5/4)			外面: 胴部横方向へう削り。台部横ナデ。 内面: 胴部へう削り。台部横ナデ。	
12	土加器 椀	床面+5cm	口径 19.6	① 細砂粒・粗砂粒	② 酸化焙	③ 良好	輪埴み。	No.20と同じ個 体。
		口縁部~胴部 1/4	底径 - 器高 -	② 酸化焙 良好 ③ 赤褐色(YR 5/3)			外面: 口縁部横ナデ。胴部上位横。中位横方向へう削り。 内面: 口縁部横ナデ。胴部へうナデ。	
番号	種別	器種	状態	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)	備考
13	鉄器	刀子	刃部先端欠	9.0	1.4	0.7	9.0	錆化が進んでいる。

7区9号住居跡(旧称7区SJ-9)

位置: X=36262 Y=-39461 主軸方向: N-25° -E 規模: 2.7m×2.7m 平面形状: 隅丸正方形

残存深度: 0cm~6cm 埋没土: 上面の削平により、壁がほとんど残らない状態で検出であり、僅かに少量の焼土粒と炭化物を含む暗赤褐色土の堆積が認められる。床面: 掘り方を持たないため、地山ローム土を床面とする。

カマド: 北東壁の中央やや東寄り位置する。遺存状態は悪く、灰白色粘土で構築された袖の一部が確認された。使用面は明瞭には認められず、埋土中に焼土・炭化物を含むのみである。

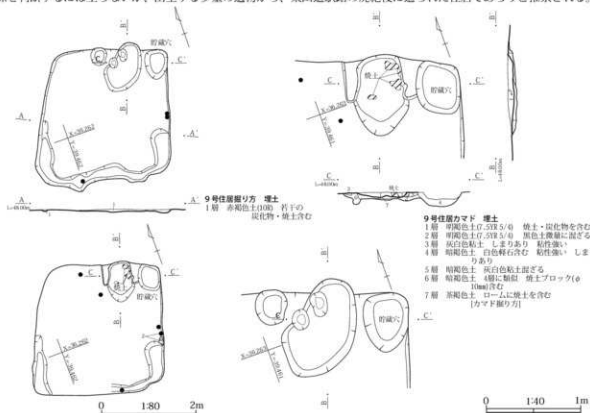
柱穴: なし。貯蔵穴: 住居北東コーナー部に63×47cmの隅丸形を呈し、深さ30cmを測る貯蔵穴を検出した。

壁周溝: 住居南半の壁際において幅16~36cm、深さ2~9cmを測る溝が検出された。

重複遺構: なし。掘り方: カマド部のみに掘り方を有し、深度は深いところで25cmを測る。

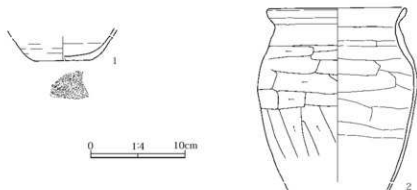
出土遺物: 僅かな出土量であるが、床面直上より須恵器杯(No.1)・甕(No.2)の破片が出土している。

所見: 東山道駅路の北側側溝に近接する住居跡である。道路跡とは直接的な重複関係には無く、遺構の状況から新旧関係を判断するには至らないが、出土する少量の遺物から、東山道駅路の廃絶後に造られた住居であろうと推察される。



第447図 7区9号住居跡平・断面図、掘り方平面図、カマド平・断面図、カマド掘り方平面図

第3章 検出遺構と出土遺物



第448図 7区9号住居跡出土遺物

7区9号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調			成形手法 調整手法	備考
				①胎土	②焼成	③色調		
1	須恵器 杯	副埋土中 体部下端~底部 破片	口径 6.0 底径 6.0 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰7.5Y 5/1	口ケロ整形、回転右回り。 外面：体部回転ナデ。底部回転ナデ。 内面：体部~底部回転ナデ調整。			
2	土師器 甕	壁際直下 口縁部~胴部 破片	口径 14.4 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰6.7YR 5/4	輪びめ。 外面：口縁部横ナデ。胴部上半部方向のヘラ削り、胴部下 半部方向のヘラ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部ヘラナデ。			

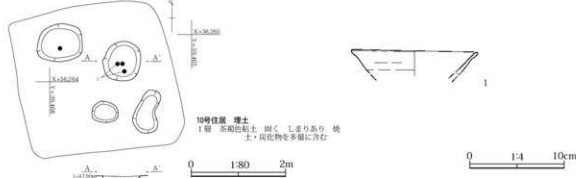
7区10号住居跡(旧称7区S1-10)

位置：X=36264 Y=-39467 主軸方向：N-78°-E 規模：3.2m×3.1m 平面形状：隅丸正方形

残存深度：0cm~1cm 埋没土：不明。床面・カマド：上面削平のため、消失。柱穴・貯蔵穴：なし。

壁周溝：不明。重複遺構：なし。掘り方：住居中央東寄りに埋土は焼土粒と炭化物を多く含む茶褐色粘質土で、84×76cmの楕円形、深さ13cmを測る土坑状の掘り込みを1基検出したほか、浅い皿状の落ち込みが認められた。

出土遺物：掘り方土坑内より須恵器杯(No.1)の破片が出土したのみである。所見：壁高がほとんどなく、カマドをはじめ住居内施設も残らず、一辺が3mほどの小型竪穴住居であろうと思われるが、その構造等は不明である。



第449図 7区10号住居跡平・断面図、出土遺物

7区10号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調			成形手法 調整手法	備考
				①胎土	②焼成	③色調		
1	須恵器 杯	副埋土下面+4cm 口縁部~体部 破片	口径 13.2 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰6.4/0	口ケロ整形、口縁部外反。 外面：口縁部~体部回転ナデ。 内面：口縁部~体部回転ナデ調整。			

7区11号住居跡(旧称7区S1-11)

位置：X=36223 Y=-39470 主軸方向：N-96°-E 規模：4.8m×3.3m 平面形状：やや歪な隅丸長方形

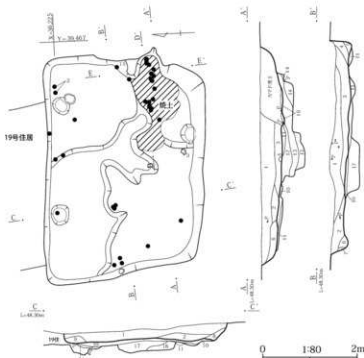
残存深度：18cm~44cm 埋没土：主に少量の白色軽石とローム粒・焼土粒を含む暗褐色弱粘質土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。床面：掘り方埋土である粘質土ブロックを主体とした明黄褐色土で固め、床面とする。

検出時に見られた床面の起伏は、深い掘り方が起因する経年沈下と推察される。カマド：東壁の中央南寄りに位置する。袖部がわずかに残り、袖の基部地山ローム土を掘り残す形で形成される。煙道部は短く、端部は急峻に立ち上がる。燃焼部では炭・灰層面とその直上の崩落天井部材が認められ、燃焼部からカマド前面にかけて焼土の広がりが確認されている。出土遺物：土師器甕(No.12)、須恵器杯(No.6)の破片が出土している。カマド左袖付近で出土した瓦(No.15)

はカマドの構築材として転用された可能性が高い。**柱穴**：床面上では検出し得なかったが、掘り方調査の段階で検出されたビット状の掘り込の内、壁際の3穴が柱穴と考えられる。**貯蔵穴**：柱穴同様に床面上では検出し得なかったが、掘り方調査の段階で南東コーナー部に検出された土坑状の掘り込は、遺物の出土も見られることから貯蔵穴となる可能性が高い。**壁周溝**：なし。

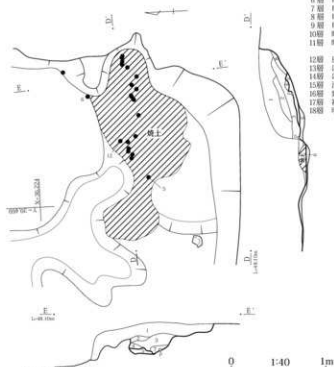
重複遺構：19号住居跡と重複し、遺構確認～掘削時の埋土の様相より本遺構の方が新しいものと判断された。**掘り方**：住居東半部に床面から30～50cmほどの土坑状の掘り込みが検出された。埋土中から須恵器杯・椀などの破片が出土している。

出土遺物：埋土中から須恵器杯(No. 1・7)・椀(No. 5・10)、灰軸陶器高台付皿(No.11)、軟質陶器甕(No.13・14)の破片が出土している。このうち、(No.14)は重複する19号住居跡埋土中の破片と接合されている。



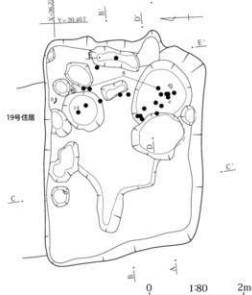
第450図 7区11号住居跡平・断面図

- 11号住居 埋土
- 1層 暗褐色土(00R 3/3) 粘質土 ローム粒・焼土粒・白色軽石少量含む
 - 2層 暗褐色土(00R 3/3) 粘質土 ローム土・ロームブロック少量含む
 - 3層 暗褐色土(00R 3/3) 粘質土 ローム土少量含む
 - 4層 暗褐色土(00R 3/3) 粘質土 ローム粒少量含む
 - 5層 暗褐色土(00R 3/3) 粘質土 黒褐色土多量含む ややしまり欠け
 - 6層 暗褐色土(00R 3/3) 粘質土 ローム土・黒褐色土多量含む ややしまり欠け
 - 7層 暗褐色土(00R 3/3) 粘質土 ローム土少量含む
 - 8層 暗褐色土(00R 3/3) 粘質土 ローム土多量含む
 - 9層 暗褐色土(00R 3/3) 粘質土 ローム粒含む
 - 10層 暗褐色土(00R 3/3) 粘質土 ローム土多量含む
 - 11層 暗褐色土(00R 3/3) 粘質土 硬いロームブロック・ローム粒多量・焼土ブロック(φ10cm)含む 硬すぎる 踏み固めた土
 - 12層 灰褐色土(00R 4/1) 粘土ブロック・炭化物等散在する
 - 13層 にぶい黄褐色土(00R 7/3) 粘土ブロック含む
 - 14層 にぶい黄褐色土(00R 7/3) 焼土・粘土ブロック・褐色土の混合土
 - 15層 浅黄褐色土(00R 8/3) 焼土・粘土ブロック多く含む
 - 16層 黄褐色土(0R 2/1) 灰・炭層
 - 17層 暗灰色土(00W 6/1) 粘土ブロックを含む
 - 18層 明黄褐色土(00R 6/3) 焼土・粘土ブロックに暗灰色土ブロック散在する



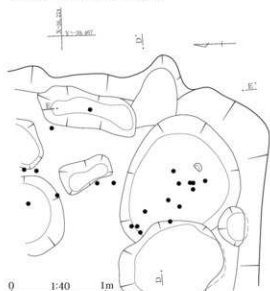
- 11号住居カマド 埋土
- 1層 黒褐色土(00R 2/3) 白色軽石・焼土粒含む 炭化物少量含む
 - 2層 暗褐色土(00R 3/1) 焼土粒少量含む
 - 3層 にぶい黄褐色土(00R 5/4) 粘土質・焼土粒・炭化物少量含む (天井部)
 - 4層 焼土 炭化物少量含む
 - 5層 炭化物
 - 6層 にぶい黄褐色土(00R 4/3) 炭化物・焼土含む
 - 7層 褐色土(00R 4/4) 炭化物・焼土含む
 - 8層 にぶい黄褐色土(00R 5/4) 粘土質・焼土粒含む (雨落ち天井部)

第451図 7区11号住居跡カマド平・断面図

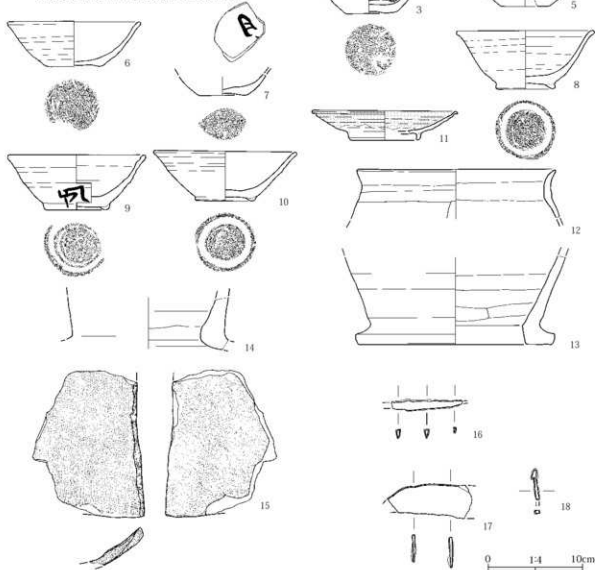


第452図 7区11号住居跡掘り方平面図

第3章 検出遺構と出土遺物



第453図 7区11号住居跡カマド掘り方平面図



第454図 7区11号住居跡出土遺物

7区11号住居跡出土遺物観察表

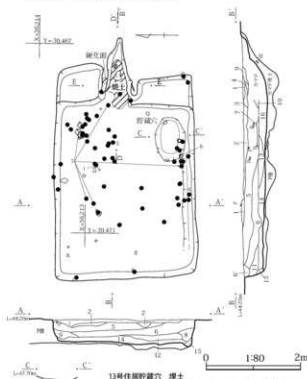
番号	種別	出土位置 保存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調			成形手法 調整手法	備考
				①胎土	②焼成	③色調		
1	須恵器 杯	埋土中 口縁部～底部 1/3	口径 12.4 底径 6.8 器高 3.5	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰白(5/9)	ロウ口整形。回転石回り。 外面：口縁部～底部回転ナデ。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。			
2	須恵器 杯	床面+19cm 口縁部～底部 1/3	口径 12.6 底径 5.2 器高 4.8	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 やや不良 ③ 灰白(1～7/9)6/9	ロウ口整形。回転石回り。 外面：口縁部～底部回転ナデ。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。			
3	須恵器 杯	床面+16cm 口縁部～底部 2/3	口径 12.9 底径 5.0 器高 5.1	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 不良 ③ にぶい黄褐色(10/9) 5/3	ロウ口整形。回転石回り。口縁部外反。 外面：口縁部～底部回転ナデ。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。		重石焼き	
4	須恵器 杯	床面+4m、19号住居 埋土中 口縁部～底部 1/3	口径 13.2 底径 5.7 器高 4.9	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 不良 ③ 黒褐色(2.5/3)	ロウ口整形。回転石回り。口縁部やや外反。 外面：口縁部～底部回転ナデ。底部回転系切り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。体部放射状。底部螺旋状筋文。		外面全体に欠 入付着。19号 住居土との器 と接合。	
5	須恵器 椀	埋土中 口縁部～底部 破片	口径 13.3 底径 5.1 器高 4.6	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 やや不良 ③ 黄灰(2.5/4)	ロウ口整形。口縁部外反。 外面：口縁部～底部回転ナデ。底部回転系切り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。		内高部に又欠 入付着。	
6	須恵器 杯	床面+7cm、埋土中 口縁部～底部 2/3	口径 13.8 底径 5.2 器高 4.8	① 細砂粒・粗砂粒・細織 ② 還元焼 不良 ③ 灰白(2.5/7)2	ロウ口整形。回転石回り。口縁部やや外反。 外面：口縁部～底部回転ナデ。底部回転系切り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。			
7	須恵器 杯	埋土中 底部 破片	口径 5.4 底径 5.4 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰白(2.5/7)	ロウ口整形。回転石回り。 外面：口縁部～底部回転ナデ。 内面：底部回転ナデ調整。		底部内面に 磨痕。	
8	須恵器 椀	床面+24cm 口縁部～底部 1/4	口径 14.2 底径 6.2 器高 6.2	① 細砂粒・粗砂粒・細織 ② 還元焼 ③ 浅黄(2.5/7)6	ロウ口整形。回転石回り。口縁部外反。 外面：口縁部～底部回転ナデ。底部回転系切り。高台附付。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。		器高厚減。	
9	須恵器 椀	床面+17cm 口縁部～底部 1/4	口径 14.4 底径 7.2 器高 5.8	① 細砂粒・粗砂粒・細織 ② 還元焼 ③ にぶい黄褐色(10/9) 7/3	ロウ口整形。回転石回り。口縁部外反。 外面：口縁部～底部回転ナデ。底部回転系切り。高台附付。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。		器高厚減。外 面底部に「山 部」の磨痕。	
10	須恵器 椀	埋土中、19号住居跡 土中 口縁部～底部 1/4	口径 14.7 底径 6.5 器高 5.2	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 ③ にぶい黄褐色(10/9) 6/4	ロウ口整形。回転石回り。口縁部外反。 外面：口縁部～底部回転ナデ。底部回転系切り。高台附付。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。		器高厚減。19 号住居土の上 層と接合。	
11	灰釉陶器 高台付皿	埋土中 口縁部～底部 器高 1/4	口径 15.0 底径 7.1 器高 3.4	① 細砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰白(2.5/7) 7/1	ロウ口整形。 外面：口縁部～底部回転ナデ。高台附付。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。			
12	土師器 甕	埋土中 口縁部～胴部上端 破片	口径 20.8 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ にぶい黄褐色(10/9) 6/4	輪削み。 外面：口縁部破ナデ。胴部へラナデ。 内面：口縁部破ナデ。胴部へラナデ。			
13	灰釉陶器 皿	埋土中 口縁部～胴部 破片	口径 20.4 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・細織 ② 還元焼 やや不良 ③ 灰黄褐色(10/9) 6/2	ロウ口整形。 外面：口縁部～胴部回転ナデ。 内面：口縁部～胴部へラナデ。			
14	灰釉陶器 皿	床面+8cm 口縁部～胴部 破片	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・細織 ② 還元焼 やや不良 ③ 灰白(1～7/9) 6/2	ロウ口整形。 外面：口縁部～胴部回転ナデ。 内面：口縁部～胴部へラナデ。			
15	土灰品 平瓦	床面+21cm 灰中	径中 — 側面長 —	① 細砂粒・粗砂粒・細織 ② 硬質 ③ 橙(5/9) 6/6	輪削作り。厚さ1.4cm 表面には布目痕が残る。 裏面は平。			

7区13号住居跡(旧称7区S1-13)

位置：X=36212 Y=-39470 主軸方向：N-90°-E 規模：3.7m×3.0m 平面形状：隅丸長方形

残存深度：39cm～50cm 埋没土：白色軽石とローム粒を含む暗褐色砂質土～暗褐色弱粘質土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。床面：掘り方は持たないが、床面は地山ではなく、掘削底面である7号住居跡掘り方埋土を床面としている。カマド：東壁の中央やや北寄りに位置する。遺存状態は比較的良好。本住居跡はカマド両脇に段状の平場を設けているため、カマド燃焼部下半は全てがこの段状施設内に位置し、袖の上半～天井部の構築は、この上に粘土を足すことで構築されている。燃焼部から煙道部にかけて炭層・灰層の新日2面の使用面が認められた。煙道は緩やかに立ち上がる。柱穴：なし。貯蔵穴：住居の南東壁際付近に94×64cmの楕円形を呈する掘り込みを検出し、貯蔵穴と考えられる。壁間溝：南壁の一部で幅28cm深さ8cmを測る溝を検出した。重復遺構：7号住居跡と重複し、遺構確認～掘削時の埋土の様相より本住居跡の方が新しいものと判断された。掘り方：カマド部のみに掘り方を有する。出土遺物：壁際直下で灰釉陶器高台付皿(No. 6)の破片が出土した他、埋土中からは須恵器椀(No. 3)破片などが出土している。所見：調査時に本住居跡埋土上層の落ち込みに対して6号住居跡を想定、また、カマド脇の段状部分に12号住居跡をそれぞれ想定したが、全て本住居跡の一部であるとの見解に至った。

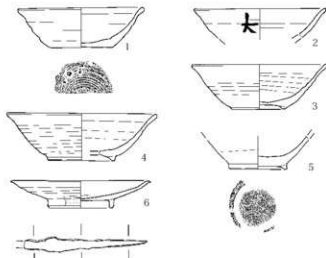
第3章 検出遺構と出土遺物



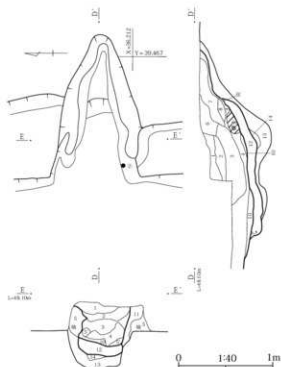
13号住居貯蔵穴 埋土
1層 暗褐色土 粘土粒含む 粘性あり しまりなし

- 13号住居 埋土
- 1層 暗褐色土(0YR 3/3) 白色軽石少量含む
 - 2層 暗褐色土(0YR 3/3) しまりあり ロームブロック・粘土粒・白色軽石少量含む
 - 3層 暗褐色土(0YR 3/3) 粘土粒多量・ローム粒・炭化物少量含む
 - 4層 にぶい黄褐色土(0YR 7/4) 粘土ブロック主体・粘土粒・粘土多く含む(一部次流と混れる地層面あり)
 - 5層 暗褐色土(0YR 3/3) ロームブロック(φ20~100mm)・粘土粒多量・白色軽石・炭化物少量含む
 - 6層 暗褐色土(0YR 3/3) 少量のローム粒・ローム小ブロック・粘土粒と微細の白色軽石を含む
 - 7層 暗褐色土(0YR 3/3) ローム土・白色軽石微量含む
 - 8層 暗褐色土(0YR 3/3) 炭化物ブロック多量・ローム粒・粘土粒含む
 - 9層 暗褐色土(0YR 3/3) ややしまりあり ローム土含む
 - 10層 暗褐色土(0YR 3/3) 粘土粒・ローム粒多量含む 白色軽石含む しまり
 - 11層 暗褐色土(0YR 3/3) 粘土粒・炭化物・ローム粒含む
 - 12層 暗褐色土(0YR 3/3) ロームブロック多量含む 部分的に硬くなる 粘土粒・ブロック多量含む
 - 13層 暗褐色土(0YR 3/3) ロームブロック・ローム粒多量含む 粘土粒含む
 - 14層 暗褐色土(0YR 3/3) ロームブロック多量含む 粘土粒・ブロックやや多し
 - 15層 暗褐色土(0YR 2/2) ローム土 ややしまりに欠ける
 - 16層 暗褐色土(0YR 3/3) 粘土粒・ブロックやや多し 炭化物少量含む

第455図 7区13号住居跡平・断面図



第457図 7区13号住居跡出土遺物



13号住居 カマド埋土

- 1層 灰褐色土(7.5YR 4/2) 粘土ブロック・炭化物・粘土を含む
- 2層 褐色土(7.5YR 4/3) 炭化物・粘土・白色軽石を含む
- 3層 褐色土(7.5YR 4/3) 炭化物・粘土・白色軽石を含む
- 4層 にぶい褐色土(7.5YR 5/4) 粘土・粘土・炭化物を含む
- 5層 浅黄褐色土(7.5YR 8/4) 粘土に若干の炭化物・粘土を含む [抽出]
- 6層 浅黄褐色土(7.5YR 8/4) 粘土に若干の炭化物を含む [焼]
- 7層 にぶい黄褐色土(0YR 5/4) 粘土・炭化物散じる
- 8層 暗褐色土(0YR 5/3) 粘土多し [カマド天井部]
- 9層 暗褐色土(0YR 3/3) 粘土・炭化物含む
- 10層 暗褐色土(0YR 3/3) 粘土多量・ローム土
- 11層 浅黄褐色土(7.5YR 7/4) ロームに粘土・炭化物散じる [焼]
- 12層 青灰色土(5P 2/1) 灰・少量の粘土
- 13層 青灰色土(5P 2/1) 灰多し
- 14層 青灰色土(5P 2/1) 灰・炭層 [使用面]

*11~14層は裏り方

第456図 7区13号住居跡カマド平・断面図

7区13号住居跡出土遺物観察表

番号	種別	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼色 ③色調	成形手法 調整手法	備考		
							口径	底径
1	須恵器 杯	床面+15cm I・II部～底部 1/2	I径 13.2 底径 6.6 器高 4.2	①細砂粒 ②酸化焼 ③黄灰(2.5Y 4/1)	ロクロ整形。I・II部外反。回転右回りか。 外面：I・II部～底部④転ナデ。底部④転糸切り。 内面：I・II部～底部④転ナデ調整。 ロクロ整形。			
2	須恵器 椀	I・II部 破片	I径 13.8 底径 — 器高 —	①細砂粒 ②還元焼 ③灰白(5Y 7/2)	ロクロ整形。I・II部外反。 外面：I・II部～底部④転ナデ。底部④転糸切り。 内面：I・II部～底部④転ナデ調整。	外面に「丁」の溝溝、 内面に漆付着。		
3	須恵器 椀	埋土中 I・II部～底部 1/2	I径 14.0 底径 6.7 器高 4.7	①細砂粒・粗砂粒 ②還元焼 良好 ③灰白(5Y 7/1)	ロクロ整形。I・II部外反。 外面：I・II部～底部④転ナデ。底部④転糸切り。高台貼付。 内面：I・II部～底部④転ナデ調整。	底部厚減。		
4	須恵器 椀	床面+16cm I・II部～底部 1/5	I径 15.8 底径 7.6 器高 5.0	①細砂粒・粗砂粒 ②還元焼 良好 ③黄灰(2.5Y 6/1)	ロクロ整形。I・II部外反。 外面：I・II部～底部④転ナデ。底部④転糸切り。高台貼付。 内面：I・II部～底部④転ナデ調整。			
5	須恵器 椀	床面+6cm 胴部～底部	I径 — 底径 6.1 器高 —	①細砂粒・粗砂粒 ②酸化焼 良好(糠) ③黄(5Y 2/3)	ロクロ整形。回転右回り。内・外面腫し。 外面：胴部④転ナデ。底部④転糸切り。高台貼付。 内面：胴部～底部④転ナデ調整。			
6	灰輪陶器 高台付皿	壁面直下 I・II部～底部 1/3	I径 14.0 底径 7.0 器高 2.9	①細砂粒 ②還元焼 良好 ③黄灰(2.5Y 7/1)	ロクロ整形。I・II部外反。 外面：I・II部～底部④転ナデ。高台貼付。 内面：I・II部～底部④転ナデ。			
7	土師器 甕	床面直上。埋土中 I・II部～胴部 1/4	I径 19.6 底径 — 器高 —	①細砂粒・粗砂粒 ②酸化焼 良好 ③黄(5YR 6/6)	輪組み。 外面：I・II部④転ナデ。胴部上位横。中位縦方向へう割り。 内面：I・II部④転ナデ。	6号住居土師土の土器と 接合。		
番号	種別	器種	状態	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	備考
8	鉄器	刀子	柄端部欠損	13.2	1.6	0.7	15.0	磨耗が進んでいるが残存状態は良好。

7区14号住居跡(旧称7区J)-14)

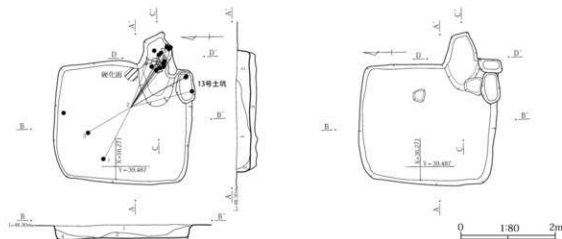
位置：X=36270 Y=-39486 軸方向：N-95°-E 規模：2.6m×3.1m 平面形状：隅丸長方形

残存深度：30cm～35cm 埋没土：白色軽石・ローム粒・ロームブロックなどを含む暗褐色砂質土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。床面：掘り方埋土であるロームを主体とした暗褐色土で埋め固め、床面としている。カマド：東壁の中央南寄りに位置する。袖部は大部分が消失しているものの、基部の一部が残し、地山ローム土を掘り残した上に粘質土を用いて構築されているものと思われる。燃焼部使用面には良好な炭化物質の堆積が認められる。煙道部は緩やかな傾斜で端部は急峻に立ち上がり、天井部の痕跡も認められた。

柱穴・貯蔵穴・壁間溝：なし。重複遺構：南東コーナー部を重複する土師跡により一部壊されている。

掘り方：全体に地山ローム土を6～20cmほど掘り穿める。

出土遺物：埋土中から須恵器杯(No. 1) 破片が、また、カマド内より2個体の土師器甕(No. 2・3) が出土する。

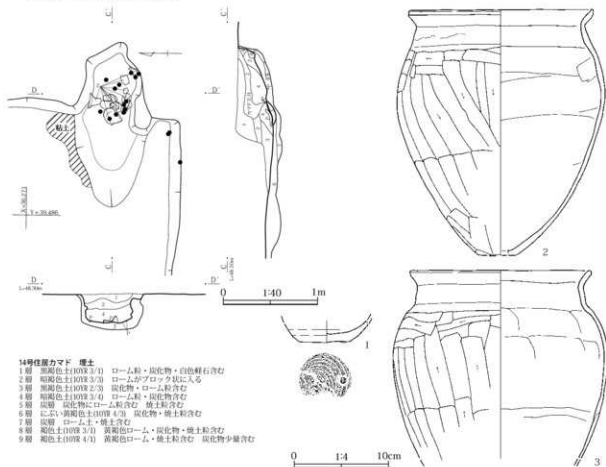


14号住居 埋土

- 1層 暗褐色土(0YR 3/3) ローム土・ローム粒多量含む ロームブロックややや多い
焼土粒や・炭化物微量含む
2層 暗褐色土(0YR 3/3) 白色軽石・ロームブロック少量含む 焼土粒少量含む
3層 暗褐色土(0YR 3/3) ややしまり受け ローム土・ローム粒含む
4層 暗褐色土(0YR 3/3) ややしまり受け ローム土多量・ロームブロック少量含む
5層 暗褐色土(0YR 3/3) しまりあり ローム土ブロック・焼土粒含む

第458図 7区14号住居跡平・断面図、掘り方平面図

第3章 検出遺構と出土遺物



14号住居カマド 埋土

- 1層 黒褐色土(01R 3/1) ローム粒・炭化物・白色軽石含む
- 2層 黒褐色土(01R 3/3) ロームがブロック状に入る
- 3層 黒褐色土(01R 2/3) 炭化物・ローム粒含む
- 4層 黒褐色土(01R 3/4) ローム粒・炭化物含む
- 5層 灰層 炭化物・ローム粒含む 焼土粒含む
- 6層 にぶい黄褐色土(01R 4/3) 炭化物・焼土粒含む
- 7層 灰層 ローム土・焼土含む
- 8層 黒褐色土(01R 3/1) 黄褐色ローム・炭化物・焼土粒含む
- 9層 黒褐色土(01R 4/1) 黄褐色ローム・焼土粒含む 炭化物少量含む

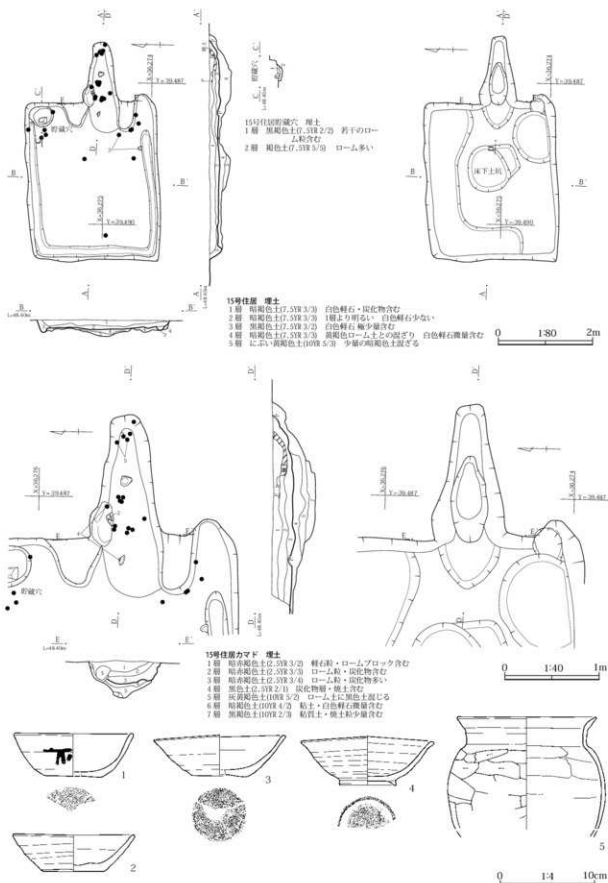
第459図 7区14号住居跡カマド平・断面図、出土遺物

7区14号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 寸法	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	底面+21cm 体部下端～底部 破片	口径 — 底径 5.4 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰(EY 6/1)	口クロ整形。回転器回り。 外面：体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：体部～底部回転ナデ調整。	
2	土師器 甕	埋理土中 重埋方埋 土中 ほぼ完形 一部欠損	口径 19.3 底径 4.0 器高 26.0	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ にぶい粗粒(YR 6/4)	輪削み。 外面：上縁部横ナデ。胴部上位横、その他、腹方向へラ削り。底部へラ削り。 内面：上縁部横ナデ。胴部～底部へラナデ。	胴部に又欠損。
3	土師器 甕	埋理土中 口縁部～胴部 1/4	口径 18.8 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 粗(YR 6/6)	輪削み。 外面：上縁部横ナデ。胴部上位横、中位腹方向へラ削り。 内面：上縁部横ナデ。胴部へラナデ。	

7区15号住居跡(旧称7区S1-15)

位置：X=36275 Y=-39489 **主軸方向：**N-92°-E **規模：**3.4m×2.8m **平面形状：**隅丸長方形
残存深度：17cm～25cm **埋没土：**白色軽石・炭化物を含む暗褐色土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。
床面：掘り方埋土であるロームを主体とした黄褐色土で埋め固めて床面としている。
カマド：東壁の中央やや南寄りに位置する。袖部は大部分が消失しているものの、両袖下底部と左袖の芯材として埋め込まれた袖石が粘土の付着した状態で出土している。燃焼部使用面には良好な炭化物層の堆積が認められた。また、煙道部は緩やかに立ち上がり、被熱で焼土化した天井部材がみとめられた。 **柱穴：**なし。 **貯蔵穴：**住居北東コーナー部で径53×44cm深さ13cmを測る楕円形の土坑が検出され、埋土からは欠失したカマド右袖部の袖石とおもわれるものが出土している。 **壁周溝：**カマド側の東壁を除いて幅20～30cm、深さ7～9cmを測る溝が巡る。
重複遺構：なし **掘り方：**カマド前面を除く部分を2～10cmほど掘り窪め、住居中央部は土坑状に掘り窪める。
出土遺物：埋土中からは土師器杯(No. 3)破片が、掘り方埋土中からは須恵器杯(No. 1)の破片が出土している。また、カマド内より土師器甕(No. 5)や須恵器杯(No. 2)・墨書椀(No. 4)破片が出土している。



第460図 7区15号住居跡平・断面図、掘り方平・断面図、出土遺物

第3章 検出遺構と出土遺物

7区15号住居跡出土遺物観察表

番号	類別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	掘方埋土中 口縁部~底部 破片	口径 12.5 底径 6.0 器高 4.5	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 やや不良 ③ 灰オリーブ(GY/G)	ロウコ整形。口縁部やや外反。 外面：口縁部~体部回転ナデ。底部回転車切り。 内面：口縁部~体部回転ナデ調整。	体部外面に墨書
2	須恵器 杯	掘埋土中 口縁部~底部 1/2	口径 12.5 底径 6.6 器高 3.9	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 ③ 灰色(Y/1)	ロウコ整形。回転右回り。口縁部やや外反。 外面：口縁部~体部回転ナデ。底部回転車切り。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	内外面にスズ付着。
3	須恵器 杯	床高~12cm 口縁部~底部 1/2	口径 13.7 底径 5.6 器高 4.4	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 ③ 焼付(GY/G)	ロウコ整形。回転右回り。口縁部やや外反。 外面：口縁部~体部回転ナデ。底部回転車切り。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	器面厚減。 内面に煙付着。
4	須恵器 碗	掘埋土中 口縁部~底部 1/3	口径 13.9 底径 5.9 器高 5.2	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰(GY/1)	ロウコ整形。口縁部外反。 外面：口縁部~体部回転ナデ。底部回転車切り。高台貼付。 内面：口縁部~底部回転ナデ調整。	底部外面に墨書。内面に失輝
5	土師器 甕	掘埋土中 口縁部~胴部 破片	口径 14.5 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 暗赤褐色(SR3/G)	輪びき。 外面：口縁部横ナデ。胴部上方へラ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部ヘラナデ。	

7区16号住居跡(旧称7区S1-16)

位置：X=36279 Y=-39491 主軸方向：N-81°-E 規模：4.2m×3.1m 平面形状：隅丸長方形

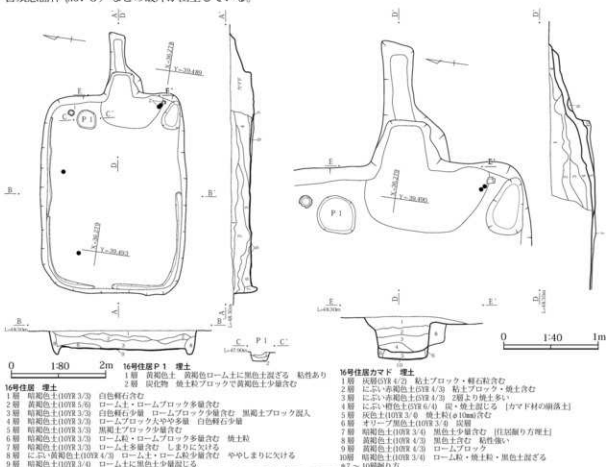
残存深度：35cm～40cm 埋没土：白色軽石とローム・黒色土ブロックや砂粒を含む暗褐色～褐色粘質土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。床面：ロームと黒色土の混土を用い、部分的に薄い貼り床を敷設する。

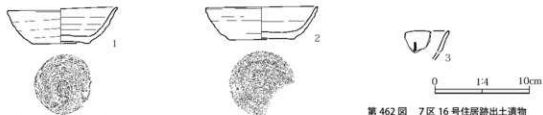
カマド：北東壁のほぼ中央に位置する。燃焼部から煙道部にかけての使用面には6～14cmほどの良好な灰層の堆積と、灰層直上の崩落天井部材が認められた。比較的長い煙道部は燃焼部より一段上がった所より緩やかに立ち上がる。

柱穴：なし。貯蔵穴：P1は、埋土に焼土粒と炭化物が入っていることから、廃絶時に開口していた貯蔵穴である可能性が高い。壁周溝：カマド側の東壁および南壁の東半部を除く壁際に、幅18～22cm深さ10cmを測る溝が巡る。

重複遺構：20号住居跡と重複し、遺構確認～掘削時の埋土の様相より、本住居跡の方が新しいものと判断される。

掘り方：カマドを含めて掘り方を持たない。出土遺物：埋土中から完形の須恵杯(No.1・2)の他、埋土中から墨書須恵器杯(No.3)などの破片が出土している。





第462図 7区16号住居跡出土遺物

7区16号住居跡出土遺物観察表

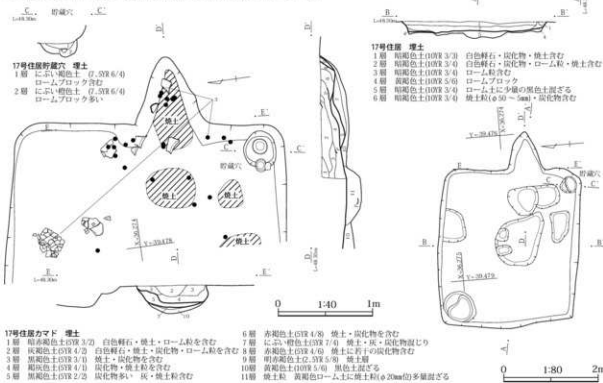
番号	種別	出土位置 残存状況	計測値 cm	①胎土 ②構成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	深底器 杯	底面+28cm 完形	口径 11.4 底径 6.1 器高 3.8	① 細砂粒・粗砂粒・細硬 ② 還元焼 良好 ③ 青灰(SB 5/1)	ロク口型形。回転右回り。上縁部やや外反。 外面：上縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：上縁部～底部回転ナデ調整。	
2	深底器 杯	底面+6cm 2/3	口径 11.6 底径 6.8 器高 3.4	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ オリーブ灰(2.5GY 5/1)	ロク口型形。回転右回り。 外面：上縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り後、回転ハ ツリ調整。 内面：上縁部～底部回転ナデ調整。	
3	深底器 杯	埋土中 口縁部～体部 破片	口径 - 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰(GY 5/1)	ロク口型形。 外面：上縁部～体部回転ナデ。 内面：上縁部～体部回転ナデ調整。	上縁部面に 記号。

7区17号住居跡(旧称7区5J-17)

位置：X=36274 Y=-39478 主軸方向：N-97°-E

規模：3.4m×3.0m 平面形状：隅丸長方形 残存深度：11cm～28cm
を含む暗褐色土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。

床面：掘り方埋土であるロームを主体とした暗褐色土で埋め固め、床面
としている。カマド：南東壁の中央やや南寄りに位置する。袖部は欠
失し残らない。燃焼部から煙道部にかけての使用面には焼土を含んだ灰
の堆積が認められる。柱穴：なし。貯蔵穴：住居の南東コーナーで、
径40×35cm 深さ25cmを測る楕円形の土坑が検出され、貯蔵穴と考え
られる。壁溝溝：なし。重複遺構：なし。掘り方：深さ5～15cm
ほどの土坑状掘り方。出土遺物：貯蔵穴内よりほぼ完形の椀(No. 1・
2)が、カマド内より土師器(No. 3)破片が出土している。

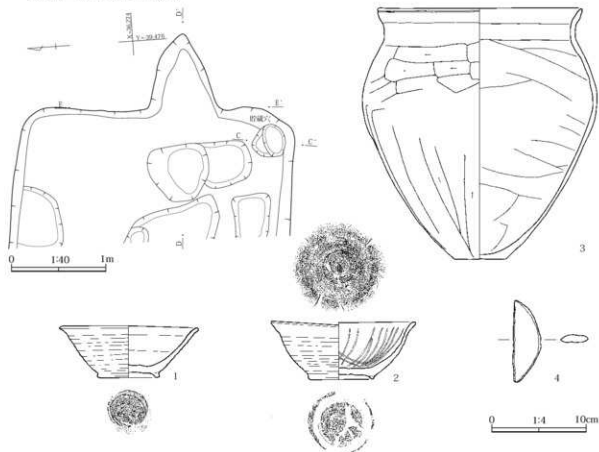


第463図 7区17号住居跡平・断面図、掘り方平面図、カマド平・断面図

17号住居カマド 埋土

- 1層 赤褐色土(0YR 3/2) 白色軽石・焼土・ローム粒を含む
- 2層 灰褐色土(0YR 4/2) 白色軽石・焼土・炭化物・ローム粒を含む
- 3層 黒褐色土(0YR 3/1) 焼土・炭化物を含む
- 4層 黒褐色土(0YR 4/1) 炭化物・焼土粒を含む
- 5層 黒褐色土(0YR 2/2) 炭化物多し 灰・焼土粒を含む
- 6層 赤褐色土(0YR 4/8) 焼土・炭化物を含む
- 7層 赤褐色土(0YR 3/4) 焼土・灰・炭化物混じり
- 8層 赤褐色土(0YR 4/6) 焼土に若干の炭化物を含む
- 9層 明赤褐色土(2.5YR 5/8) 焼土
- 10層 赤褐色土(0YR 5/6) 黒色土層
- 11層 焼土粒 黒褐色ローム土に焼土粒(φ20mm)の多量混ざる

第3章 検出遺構と出土遺物



第464図 7区17号住居跡カマド掘り方平面図・出土遺物

7区17号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考		
1	須恵器 椀	貯藏穴埋土中 ほぼ完形	口径 14.3 底径 6.5 器高 5.5	① 瀬砂粒・細砂粒・細礫・中礫 ② 酸化焙 良好 ③ 黄褐色(10YR 7/2)	ロクロ整形。回転右回り。内・外面横し。口縁部外反。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転車切り。高台貼付。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。			
2	須恵器 椀	貯藏穴埋土中 ほぼ完形	口径 15.0 底径 7.4 器高 6.3	① 瀬砂粒・細砂粒・細礫・中礫 ② 酸化焙 良好 ③ 黄褐色(2.5Y 4/1)	ロクロ整形。回転右回り。内・外面横し。口縁部外反。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転車切り。高台貼付。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。斜射状暗文。	底部内外面に縦割あり。		
3	土師器 甕	床面直上。埋理土中 口縁部～底部 1/3	口径 21.4 底径 5.3 器高 26.5	① 瀬砂粒・細砂粒 ② 酸化焙 良好 ③ 浅黄褐色(10YR 8/3)	編織み。 外面：口縁部～体部回転ナデ。胴部上半分方向へのへり前り。胴部下 半部方向へのへり前り。底部へのへり前り。 内面：口縁部横ナデ。胴部～底部ヘラナデ。			
番号	種別	器種	状態	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)	概要
4	鉄製品	半円形鉄製品	完形か	8.6	2.9	0.8	25.0	用途不明。酸化が強い。

7区18号住居跡(旧称7区5J-18)

位置：X=36284 Y=-39487 主軸方向：N-72°-E

規模：3.5m×不明 平面形状：隅丸長方形？ 残存深度：3cm～12cm

埋没土：上面が削平された状態での検出であり、僅かな埋土として白色軽

石を含む暗褐色粘結質土が残るものの、その埋没過程は明らかではない。

床面：掘り方埋土であるロームを主体とした暗褐色土で埋め固め、床面と

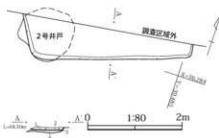
している。カマド・柱穴・貯藏穴・壁周溝：調査範囲内においては検出

されていない。重複遺構：2号井戸跡と重複し、遺構確認時の埋土の様

相より、本遺構の方が新しいものと判断される。掘り方：全体に3～6

cmほど掘り窪める。出土遺物：埋土中から「コ」の字状口縁の土師器甕

片が出土している。



- 18号住居 埋土
- 1層 暗褐色土 粘質土 粘付強い・白色軽石少量を含む
 - 2層 暗褐色土 明褐色ローム土混ざる
 - 3層 明褐色土 褐色土混ざる
 - 4層 茶褐色土 地山ブロック [掘り方]

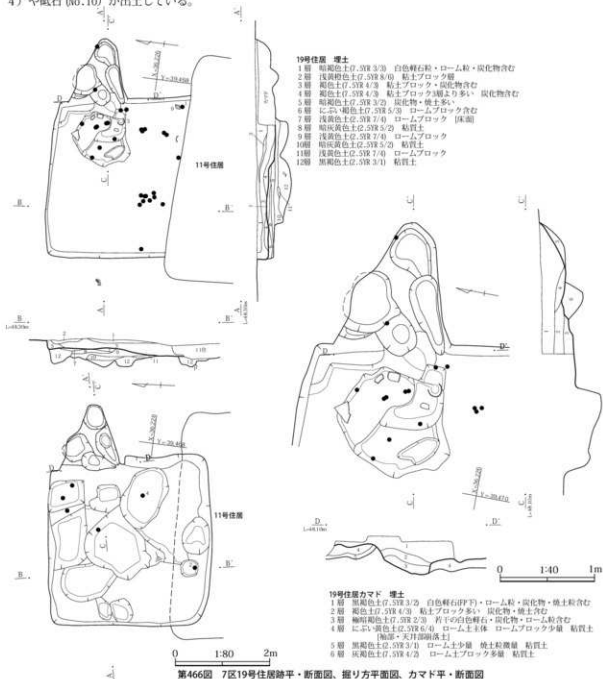
第465図 7区18号住居跡平・断面図

7区19号住居跡(旧称7区S1-19)

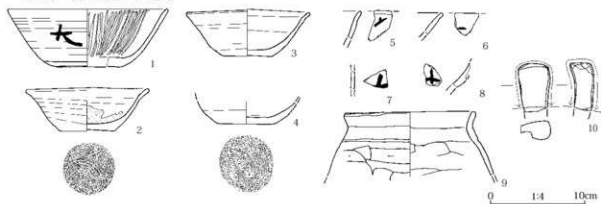
位置：X=36226 Y=-39470 主軸方向：N-83°-E 規模：3.4m×3.4m 平面形状：隅丸正方形

残存深度：22cm～45cm 埋没土：白色軽石・ローム粒・炭化物などを含む暗褐～褐色土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。床面：掘り方埋土であるローム土を主体とした浅黄色土と暗灰色粘質土で埋め込み、床面とする。カマド：東壁の北寄りに位置する。遺存状態は悪く、掘り方と一部天井部材等の崩落が確認されるに留まる。

柱穴：なし。貯蔵穴：なし。壁周溝：なし。重複遺構：11号住居跡と重複し、遺構確認～掘削時の埋土の様相より本遺構の方が古いものと判断される。掘り方：床面から30～50cmほどに達する10ヶ所ほどの土坑の掘り込みを有する。南側の11号住居跡との重複部分については、本住居掘り方の掘削深度が深いために、掘り方調査において欠失した南壁下部が確認された。出土遺物：床面直上で「大」の文字の墨書のある椀(No.1)が、埋土中からは4個体の須恵器墨書杯(No.5・6・7・8)が出土している。また、掘り方埋土中から3個体の須恵器杯(No.2・3・4)や砥石(No.10)が出土している。



第3章 検出遺構と出土遺物



第467図 7区19号住居跡出土遺物

7区19号住居跡出土遺物観察表

番号	種類	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考			
1	黒色土器 碗	床面直上 L1縁部~底部 破片	L1径 16.9 底径 - 底径 6.0 器高 6.0	① 羅砂粒・粗砂粒 ② 酸化焼 良好 ③ 粗砂粒(6/6)	ロクロ整形。 外面：L1縁部~体部回転ナデ。体部最下位~底部へラ削り。 内面：L1縁部~体部回転ナデ調整。L1縁~体部放射状底部 横方向へのラ磨き。	体部外面に 「大」の墨書。			
2	須恵器 杯	底面~32cm L1縁部~底部	L1径 12.7 底径 6.0 器高 4.5	① 羅砂粒・粗砂粒 ② 酸化焼 ③ 灰灰色(SY 6/2)	ロクロ整形。回転石回り。L1縁部外反。 外面：L1縁部~体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：L1縁部~底部回転ナデ調整。	内面部分着。			
3	須恵器 杯	底面~12cm 完形	L1径 12.8 底径 5.3 器高 5.0	① 羅砂粒・粗砂粒 ② 酸化焼 ③ 灰灰色(SY 6/2)	ロクロ整形。回転石回り。L1縁部外反。 外面：L1縁部~体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：L1縁部~底部回転ナデ調整。	底面あり。			
4	須恵器 杯	底面~44cm 体部~底部 破片	L1径 - 底径 6.1 器高 -	① 羅砂粒・粗砂粒 ② 酸化焼 ③ 黄灰色(SY 4/1)	ロクロ整形。回転石回り。 外面：体部~体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：体部~底部回転ナデ調整。				
5	須恵器 杯	埋土中 L1縁部 破片	L1径 - 底径 - 器高 -	① 羅砂粒 ② 還元焼 やや不良 ③ にぶい黄褐色(10YR 6/3)	ロクロ整形。L1縁部外反。 外面：L1縁部回転ナデ。 内面：L1縁部回転ナデ調整。	L1縁部外面に 墨書。			
6	須恵器 杯	埋土中 L1縁部 破片	L1径 - 底径 - 器高 -	① 羅砂粒 ② 還元焼 やや不良 ③ にぶい黄褐色(10YR 5/3)	ロクロ整形。L1縁部やや外反。 外面：L1縁部回転ナデ。 内面：L1縁部回転ナデ調整。	L1縁部外面に 墨書。			
7	須恵器 杯	埋土中 体部 破片	L1径 - 底径 - 器高 -	① 羅砂粒 ② 還元焼 やや不良 ③ 黄灰色(SY 5/2)	ロクロ整形。 外面：体部回転ナデ。 内面：体部回転ナデ調整。	体部外面に墨 書。			
8	須恵器 杯	埋土中 底部 破片	L1径 - 底径 - 器高 -	① 羅砂粒 ② 還元焼 やや不良 ③ にぶい黄褐色(10YR 6/4)	ロクロ整形。 外面：底回転ナデ。 内面：底部回転ナデ調整。	体部内面に 「十？」の墨 書。			
9	土師器 甕	床面直上 L1縁部~胴部 破片	L1径 13.4 底径 - 器高 -	① 羅砂粒・粗砂粒 ② 酸化焼 良好 ③ 褐色(7.5YR 4/3)	輪組み 外面：L1縁部横ナデ。胴部横方向へラ削り。 内面：L1縁部横ナデ。胴部ヘラナデ。	胴部上端外面 に太さ2mmの 朱線が走る。			
番号	種類	器種	状態	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)	石材	検察
10	石製品	砥石	下部欠損	5.0	3.2	1.9	52	砥沢石	表面、両側面、上面とも使用されて いるが頂部の使用は少ない。裏面上 部に径1.5cmの凹みあり。

7区20号住居跡(旧称7区S1-20)

位置：X=36276 Y=-39494 主軸方向：N-88°-E

規模：2.8m×2.7m 平面形状：隅丸長方形

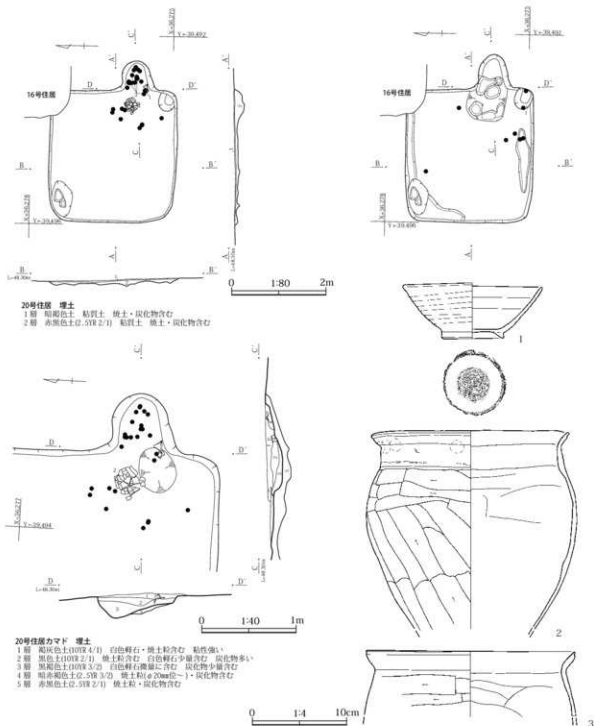
残存深度：0cm~1cm 埋没土：上面が削平された状態での遺構検出となり、僅かに焼土粒と炭化物を含む暗褐色弱粘質土の堆積が確認されるのみで、埋没の過程は明らかではない。床面：掘り方埋土である赤黒色土で埋め固め、床面としている。カマド：東壁の中央南寄りに位置する。遺存状態は悪く、袖部は欠失する。焼煙部使用面には焼土・炭化物層が認められ、煙道は短く緩やかに立ち上がる。柱穴：掘り方調査段階で南東コーナー部および北西コーナー部において検出された2穴のピットが柱穴となるものと考えられる。貯蔵穴：なし。

壁周溝：掘り方調査の段階で、北壁~西壁北半および南壁の中央部より壁溝が検出された。

重複遺構：16号住居跡と重複し、遺構確認~掘削時の埋土の様相より、本遺構の方が古いものと判断される。

掘り方：全体に細かな凹凸を持ち、5~20cmほど掘り窪める。

出土遺物：カマドとその前面部で僅かに出土する。



第468図 7区20号住居跡平・断面図、掘り方平面図、カマド平・断面図、出土遺物

7区20号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 製法手法	備考
1	須臾器 椀	埋土中、床面直上 口縁部～底部	口径 14.5 底径 6.5 1/2 器高 5.9	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 やや不良 ③ 浅黄(2.5Y 7/3)	口クロ整形、回転右回り。口縁部やや外反。 外面：口縁部～底部の間にナデ。底部の転車切り。高台残存。 内面：口縁部～底部の間にナデ調整。	内外面に又又付着。 断面やや摩滅。
2	土師器 甕	埋土中 口縁部～胴部 底部欠損	口径 20.8 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ にぎ(相付.5R 6/4)	輪組み。 外面：口縁部横ナデ。胴部上位横、中位斜め方向へつ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部へラナデ。	
3	土師器 甕	埋土中 口縁部～胴部上端 破片	口径 21.8 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 相付(5R 6/6)	輪組み。 外面：口縁部横ナデ。胴部横方向のへつ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部ナデ。	

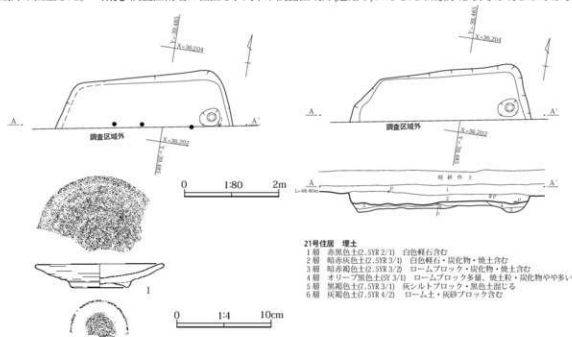
第3章 検出遺構と出土遺物

7区21号住居跡(旧称7区S1-21)

位置：X=36203 Y=-39485 主軸方向：N-77°-E 規模：3.6m×不明 平面形状：不明

残存深度：12cm～26cm 埋没土：白色軽石・焼土粒・炭化物を含む暗褐色土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。ロームを主体とした暗赤褐色土で埋め固めて床面としている。カマド：調査範囲内においては検出されていない。柱穴：掘り方調査の段階で北東部に検出された径44×37cmの楕円形で、深度43cmを測るビットが柱穴となると思われる。貯蔵穴・壁周溝：共に調査範囲内においては検出されていない。重複遺構：なし。

掘り方：全体に7～20cmほど掘り窪められていると思われる。出土遺物：埋土中から須恵器の高台付皿(No. 1)の破片が出土した。所見：調査区南端に位置し、大半が調査区域外(道路下)にあるため規模・形状等は明らかではない。



第469図 7区21号住居跡平・断面図、掘り方平面図、出土遺物

7区21号住居跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 高台付皿	底面+12cm 1層部～底部 1/3	口径 13.4 底径 6.7 器高 2.5	①細砂粒・粗砂粒・細礫 ②酸化陶 ③ぶい(焼)7.5YR 5/3	口クロ整形、回転石回り。 外面：1層部～底部回転ナシ。底部回転糸切り。高台幅付。 内面：1層部～底部回転ナシ調整。	底面内面に格子状に 刻み痕あり。 内外面にスス付着。

3. 掘立柱建物跡

6区1号掘立柱建物跡(旧称6区S8-01)

位置：X=36229 Y=-39532 主軸方向：北辺 N-103°-W 規模：2間×2間。北辺(P3-P2-P1) 3.65m、南辺(P6-P7-P8) 3.65m、東辺(P8-P5-P3) 3.65m、西辺(P1-P4-P6) 3.65m

面積：13.32㎡ 柱穴径・深度：P1=径39×39cm 深さ28cm、P2=径40×37cm 深さ18cm、P3=径37×22cm 深さ27cm、P4=径39×38cm 深さ35cm、P5=径40×28cm 深さ36cm、P6=径43×40cm 深さ

1号掘立柱建物 埋土

- 1層 ぶい(焼)色土(7.5YR 5/3) 白色軽石を含む
- 2層 褐色色土(7.5YR 4/3) 粘性強*
- 3層 ぶい(焼)褐色色土(10YR 7/3) ロームブロック
- 4層 ぶい(焼)褐色色土(10YR 7/3) 褐色土とロームブロックが混在



第470図 6区1号掘立柱建物跡平・断面図

49cm、P 7 = 径43×35cm 深さ43cm、P 8 = 径46×44cm 深さ46cm 重複遺構：P 3と5号土坑跡が重複し、遺構確認時の埋土の様相より、本建物跡の方が古いものと判断される。

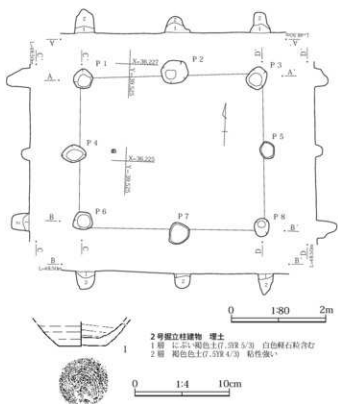
6区2号掘立柱建物跡 (旧称=6区58-02)

位置：X=36225 Y=-39524 主軸方向：北辺がN-91°-W

規模：2間×2間。北辺(P 3-P 2-P 1)3.9m、南辺(P 6-P 7-P 8)3.9m、東辺(P 8-P 5-P 3)3.2m、西辺(P 1-P 4-P 6)3.2m

面積：12.48㎡ 柱穴径・深度：P 1 = 径42×40cm 深さ51cm、P 2 = 径58×49cm 深さ38cm、P 3 = 径46×40cm 深さ43cm、P 4 = 径50×37cm 深さ24cm、P 5 = 径38×30cm 深さ24cm、P 6 = 径42×40cm 深さ37cm、P 7 = 径48×42cm 深さ31cm、P 8 = 径39×31cm 深さ46cm

重複遺構：なし。



第471図 6区2号掘立柱建物跡平・断面図、出土遺物

6区2号掘立柱建物跡出土遺物観察表

番号	種類 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 碗	埋土中 体部-底部 破片	口径 底径 器高 4.8 — —	① 磁砂粒 ② 還元焼 中々不良 器高 ③ 黄灰(7.5/6/1)	口ケ口整形。回転手回り。 外面：体部回転手。底部回転手切り。 内面：体部-底部回転手調整。	

6区3号掘立柱建物跡 (旧称=6区58-03)

位置：X=36218 Y=-39517

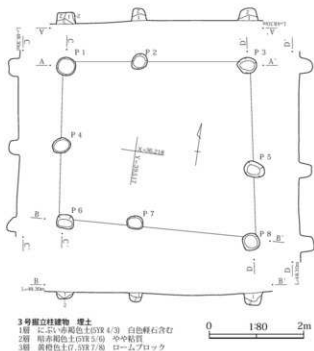
主軸方向：北辺がN-97°-W

規模：2間×2間。北辺(P 3-P 2-P 1)4.0m、南辺(P 6-P 7-P 8)4.0m、東辺(P 8-P 5-P 3)3.6m、西辺(P 1-P 4-P 6)3.45m。東辺が長く、形状がやや歪となる。

面積：14.10㎡

柱穴径・深度：P 1 = 径40×40cm 深さ27cm、P 2 = 径38×32cm 深さ27cm、P 3 = 径42×34cm 深さ27cm、P 4 = 径40×32cm 深さ21cm、P 5 = 径44×32cm 深さ30cm、P 6 = 径37×29cm 深さ20cm、P 7 = 径34×28cm 深さ20cm、P 8 = 径38×38cm 深さ31cm

重複遺構：なし。

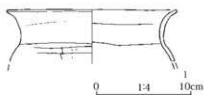


第472図 6区3号掘立柱建物跡平・断面図

第3章 検出道構と出土遺物

4、土坑跡・Pit跡

6区1号土坑(SK-1)



2号土坑(SK-2)



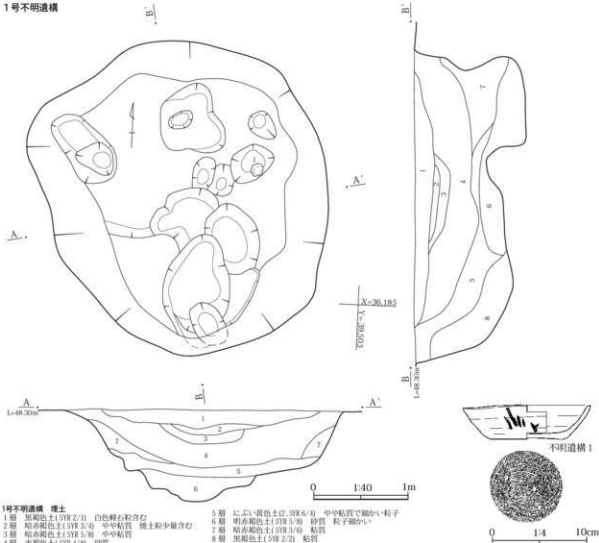
- 1号土坑 埋土**
 1層 白色赤褐色土(STR 3/3) 白色軽石和含む
 2層 黄褐色土(OR 1.7/3) 中~粘質
 3層 灰色~棕色土(2.STR 6/6) ロームブロック
- 2号土坑 埋土**
 1層 黄褐色土(STR 2/2) 焼土粒・炭化物含む

6区1号土坑跡出土遺物観察表

第473図 6区1・2号土坑跡平・断面図、1号土坑跡出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 保存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 甕	底面+4cm L1緑部-胴部上端 破片	L径 17.6 底径 - 器高 -	① 細砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰黄(2.STR 6/6)	輪組み。 外面:L1緑部横ナデ、胴部ヘラナデ。 内面:L1緑部横ナデ、胴部ヘラナデ。	

1号不明遺構



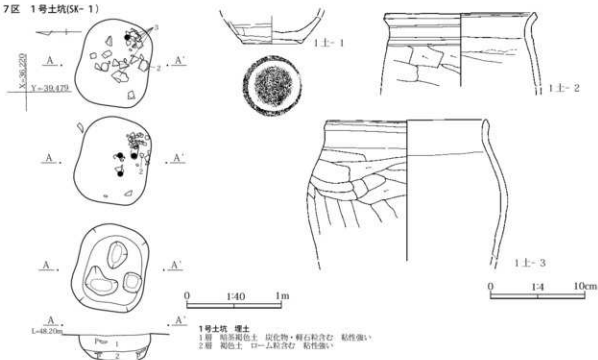
- 1号不明遺構 埋土**
 1層 黄褐色土(STR 2/1) 白色軽石和含む
 2層 暗赤褐色土(STR 3/4) 中~粘質 焼土粒少量含む
 3層 暗赤褐色土(STR 5/5) 中~粘質
 4層 赤褐色土(STR 4/5) 砂質
 5層 灰色~黄褐色土(2.STR 6/6) 中~粘質で細か~粘子
 6層 明赤褐色土(STR 5/8) 砂質 粘子細か~
 7層 暗赤褐色土(STR 3/6) 粘質
 8層 黄褐色土(STR 2/2) 粘質

第474図 6区1号不明遺構平・断面図、出土遺物

6区1号不明遺構出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 保存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	埋土中 完形	L径 13.3 底径 7.8 器高 3.6	① 細砂粒・粗砂粒・粗雑 ② 還元焼 中~やや良 ③ 灰黄(2.STR 6/2)	口ウロ整形。回転手回。 外面:L1緑部~体部回転ナデ、底部回転車切り後ヘラ削り。 内面:L1緑部~体部回転ナデ調整。	底部外面に黒着。

7区 1号土坑(SK-1)

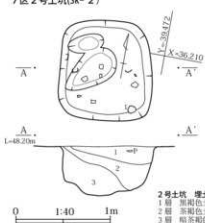


第475図 7区1号土坑跡平・断面図、出土遺物

7区1号土坑跡出土遺物観察表

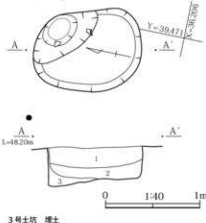
番号	種別 器種	出土位置 埋存状態	計測値 cm	①胎土 ②構成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 碗	床面+14cm 底部下端～底部 破片	口径 — 底径 6.7 器高 —	① 細砂粒 ② 酸化焰 中や不良 ③ 黄褐色(5.3/1)	口ケ口整形。回転石回り。内・外面焼し。 外面：底部回転ナデ。底部回転糸切り。高台附付。 内面：底部一定部回転ナデ調整。	
2	土師器 甑	床面+7cm 口縁部～胴部 破片	口径 15.8 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 赤い赤褐色(5.8/4/3)	輪削み。内面底部に輪削が見える。 外面：口縁部横ナデ。胴部横方向へラ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部ナデ。	No.2と同一個体か。
3	土師器 甑	床面+3cm 口縁部～胴部 破片	口径 16.8 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 褐色(6/6)	輪削み。 外面：口縁部横ナデ。胴部上位横。中位縦方向へラ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部ナデ。	No.3と同一個体か。

7区2号土坑(SK-2)



2号土坑 埋土
1層 赤褐色土 ローム粒・軽石粒・炭化物を含む 粘質土
2層 赤褐色土 軽石粒・ローム粒を含む 粘質土
3層 暗茶褐色土 ローム粒を含む 含質土

7区3号土坑(SK-3)



3号土坑 埋土
1層 黒褐色土 軽石粒・ローム粒を含む
2層 黒褐色土 軽石粒を含む
3層 暗茶褐色土 ローム層移行を含む

第476図 7区2・3号土坑跡平・断面図、2号土坑跡出土遺物

7区2号土坑跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 埋存状態	計測値 cm	①胎土 ②構成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 碗	床面+33cm 底部下端～底部 破片	口径 — 底径 6.6 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 酸化焰 ③ 褐色(10.8/5/1)	口ケ口整形。回転石回り。 外面：底部回転ナデ。底部回転糸切り。高台附付。 内面：底部～底端回転ナデ調整。	

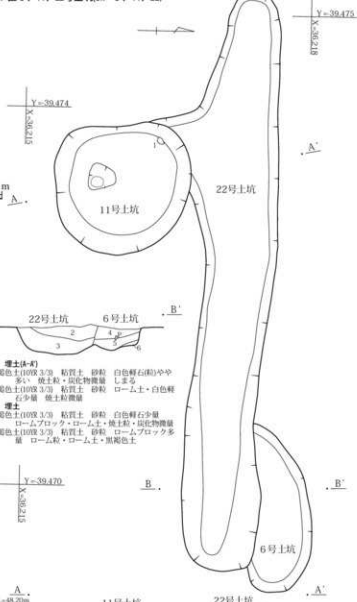
7区12号土坑(SK-12)



12号土坑 埋土

1層 赤い赤褐色土(5層2層) 若干の焼土・炭化物含む

7区6、11、22号土坑(SK-6、11、22)



22号土坑 埋土(4層)

1層 暗褐色土(10層3層) 粘質土 砂粒 白色軽石(灰)や少ない 焼土粒・炭化物微量
2層 暗褐色土(10層3層) 粘質土 砂粒 ローム土・白色軽石少量 焼土粒微量

11号土坑 埋土

1層 暗褐色土(10層3層) 粘質土 砂粒 白色軽石少量 ロームブロック・ローム土・焼土粒・炭化物微量
2層 暗褐色土(10層3層) 粘質土 砂粒 ロームブロック多量 ローム粒・ローム土・黒褐色土

第479図 7区6・11・22号土坑跡平・断面図、6・11・12号土坑跡出土遺物

7区6号土坑跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②構成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 椀	埋土中 体部下端~底部 破片	口径 — 底径 6.5 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 焼化端 ③ 灰白(2.5/6/2)	口クロ整形。回転右回り。 外面：体部回転ナデ。底部回転糸切り。高台貼付。 内面：体部~底部回転ナデ調整。	

7区11号土坑跡出土遺物観察表

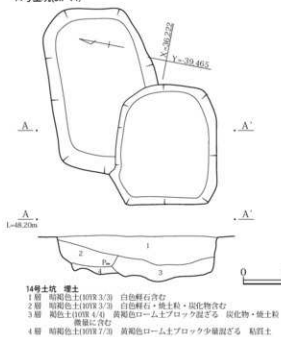
番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②構成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	床面+33cm 体部~底部 破片	口径 9.6 底径 4.8 器高 2.6	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼化端 良好 ③ 灰白(5/7/1)	口クロ整形。回転右回り。 外面：体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：体部~底部回転ナデ調整。	

7区12号土坑跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②構成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	床面+3cm 口縁部~底部 破片	口径 17.7 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼化端 良好 ③ 明赤色(2.5/9.5/9)	口縁部や外反。 外面：口縁部横ナデヘラ削り。体部上半ナデ、下半はヘラ削り。 内面：口縁部~胴部横ナデ。底部ナデ。	

第3章 検出遺構と出土遺物

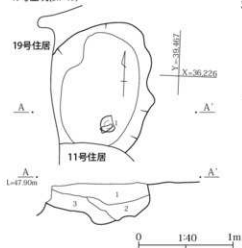
14号土坑(SK-14)



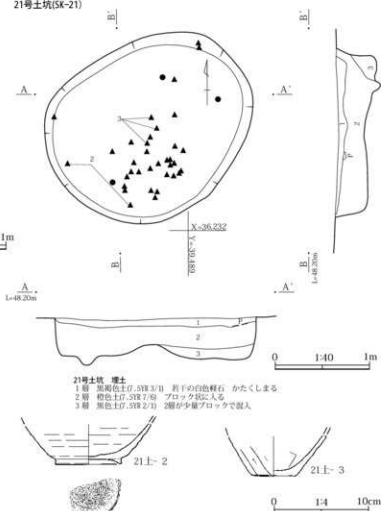
20号土坑(SK-20)



19号土坑(SK-19)



21号土坑(SK-21)



第480図 7区14・19・20・21号土坑跡平・断面図、19・21号土坑跡出土遺物

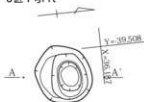
7区19号土坑跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 椀	埋土中 口縁部~底部 3/4	口径 15.3 底径 6.9 器高 7.3	① 細砂粒 ② 酸化焰 ③ 灰黄褐(10YR 6/2)	ロウロ整形。回転右回り。 底部回転系切り。高台貼付。	

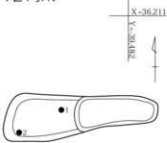
7区21号土坑跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	埋土中 体部~底部 破片	口径 - 底径 6.6 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒・粗礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(5Y 7/1)	ロウロ整形。回転右回り。 外面:体部回転ナデ。底部回転系切り。 内面:体部~底部回転ナデ調整。	
2	須恵器 椀	床面+27cm 体部~底部 破片	口径 - 底径 7.1 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒・粗礫 ② 酸化焰 ③ 土灰(7.5YR 5/4)	ロウロ整形。 外面:体部回転ナデ。底部回転系切り。高台貼付。 内面:体部~底部回転ナデ調整。	
3	土師器 甕	床面+6cm 胴部下端~底部 底部完形	口径 - 底径 4.7 器高 -	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 土灰(10YR 4/3)	輪組み。 外面:胴部~腹方向へ削り。底部へ削り。 内面:胴部~底部ナデ。	

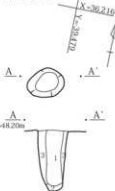
6区1号Pit



7区1号Pit



7区5号Pit



7区3号Pit



7区6号Pit



Pit-5 埋土
1層 黒褐色土(7.5YR 3/1) ローム礫粒 白色軽石粒含む
2層 黒褐色土(7.5YR 3/1) しまりに欠け(ワカカした土)
3層 黒褐色土(7.5YR 3/1) しまる ローム粒 ロームアブロック多量

Pit-3 埋土

1層 土灰・褐色土(7.5YR 5/3) 白色軽石粒含む
2層 黒褐色土(7.5YR 3/1) 白色軽石粒多い



第481図 6区1号・7区1・3・5・6号Pit跡平・断面図、7区3号Pit跡出土遺物

7区3号Pit跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	灰釉陶器 椀	床面+8cm ほぼ完形 口縁部~底部欠損	口径 13.4 底径 6.5 器高 4.5	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(7.5Y 8/1)	ロウロ整形。口縁部平や外反。 外面:口縁部~体部回転ナデ。底部回転ヘウナデ。高台貼付。 内面:口縁部~底部回転ナデ調整。	

第3章 検出遺構と出土遺物

6区 土坑一覧表

注) 計測値の()は、推定値を示す

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	断面形状	出土遺物	埋土	備考
1号土坑跡	X = 36216 Y = -39530	不明	5cm	不明	逆台形	土師器甕	少量の白色軽石を含んだふい・黄褐色土。	
2号土坑跡	X = 36201 Y = -39516	90 × 70cm	17cm	不定形	皿状	なし	焼土粒と炭化物を含んだ黒褐色土。	

7区 土坑一覧表

注) 計測値の()は、推定値を示す

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	断面形状	出土遺物	埋土	備考
1号土坑跡	X = 36219 Y = -39479	90 × 75cm	25cm	楕丸長方形	U字形	土師器鉢(瓦器)・甕	白色軽石と炭化物を含んだ暗赤褐色粘質土。	
2号土坑跡	X = 36210 Y = -39473	105 × 100cm	25cm	楕丸長方形	U字形	須恵器鉢	白色軽石と炭化物、ローム粒を含んだ黒褐色粘質土。	西側から東側に向かって自然埋没。
3号土坑跡	X = 36207 Y = -39471	115 × 85cm	41cm	楕丸長方形	逆台形	須恵器杯と椀(黒色土器)	白色軽石とローム粒を含んだ黒褐色土。	
4号土坑跡	X = 36209 Y = -39476	160 × 160cm	67cm	ほぼ円形	逆台形	土師器甕、須恵器杯・椀	白色軽石と焼土粒、ローム粒を含んだ褐色粘質土。	
5号土坑跡	X = 36209 Y = -39475	不明	23cm	不明	半円形	土師器甕、須恵器鉢	少量の白色軽石と焼土粒を含んだ褐色土。	
6号土坑跡	X = 36218 Y = -39470	不明	26cm	不明	U字形	須恵器鉢	少量の白色軽石と砂粒、ローム粒を含んだ暗褐色粘質土。	
7号土坑跡	X = 36219 Y = -39469	125 × 85cm	50cm	不定形	鍵形	なし	白色軽石と砂粒、炭化物を含んだ暗褐色粘質土。	重埋するピットは本遺構検出面より下層になる。
8号土坑跡	X = 36232 Y = -39476	88 × 45cm	58cm	楕円形	U字形	なし	白色軽石とローム粒、砂粒を含んだ暗褐色粘質土。	
9号土坑跡	X = 36219 Y = -39479	115 × 95cm	37cm	楕丸長方形	逆台形	須恵器鉢の底部片	暗褐色土。	
10号土坑跡	X = 36262 Y = -39473	260 × 180cm	38cm	楕丸長方形	逆台形	縄文土器の深鉢(1個体)、打穿(3点)、磨石、削片(5点)、石鏝	ローム粒と炭化物を含んだ黒褐色土。	埋没を1基確認。縄文土坑
11号土坑跡	X = 36216 Y = -39473	150 × 140cm	61cm	不定形	逆台形	須恵器杯	白色軽石と砂粒、炭化物を含んだ暗褐色粘質土。	
12号土坑跡	X = 36269 Y = -39453	80 × 55cm	15cm	不定形	U字形	土師器鉢、須恵器の大鉢の底部片	焼土粒と炭化物を若干含んだふい・赤褐色土。	
14号土坑跡	X = 36222 Y = -39466	210 × 165cm	46cm	不定形	逆台形	土師器甕、須恵器杯	白色軽石を含んだ暗褐色土。	
15号土坑跡	X = 36225 Y = -39492	不明	8.5cm	不明	逆台形	縄文土器が深高47.94m前後のレベルでまともに出て出土(深鉢と両耳皿)、打穿と磨石出土		縄文土坑
16号土坑跡	X = 36216 Y = -39470	不明	25cm	不定形	不明	削片(3点)	不明	縄文土坑
17号土坑跡	X = 36217 Y = -39472	190 × 110cm	20cm	楕丸長方形	鍵形	不明	不明	縄文土坑
18号土坑跡	X = 36216 Y = -39476	182 × 100cm	36cm	不定形	皿状	縄文土器の深鉢の破片、多孔石、磨石、打穿、削片(3点)	黄褐色ローム土を含む暗褐色土。	縄文土坑
19号土坑跡	X = 36225 Y = -3946	不明	44cm	不定形	逆台形か	なし	黄褐色ローム土を少量含む暗褐色土。	縄文土坑
20号土坑跡	X = 36223 Y = -3949	不明	13cm	不明	不明	縄文土器片と石が数点	不明	縄文土坑
21号土坑跡	X = 36233 Y = -39485	225 × 185cm	13cm	楕円形	逆台形	土師器甕、須恵器杯・椀	黄褐色ブロックを含む褐色土。	
22号土坑跡	X = 36217 Y = -39473	610 × 70cm	30cm	溝状で縦長	逆台形	なし	少量の白色軽石、砂粒、ローム土を含んだ暗褐色粘質土。	

7区 Pit一覧表

注) 計測値の()は、推定値を示す

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	出土遺物	埋土	備考
1号ピット跡	X = 36210 Y = -39482	165 × 50cm	26cm	楕丸長方形	2点出土	埋土不明。	
3号ピット跡	X = 36267 Y = -39465	40 × 36cm	22cm	不定形	灰輪陶器の椀	白色軽石を含む黒褐色土。	
5号ピット跡	X = 36215 Y = -39479	40 × 31cm	66cm	不定形	なし	白色軽石を含む黒褐色土。	
6号ピット跡	X = 36260 Y = -39461	67 × 45cm	22cm	楕丸長方形	なし	炭化物と焼土粒を含んだ暗赤褐色土。	断面形状は逆台形。土坑の可能性が高ト。

5 井戸跡

6区1号井戸跡(旧称=6区SE-01)

位置: X=36211 Y=-39515 規模: 88×82cm 深度: 142cm

形状: 平面形状は楕円形～円形、断面形状は上端で擂鉢状、下方では筒状を呈する。
 重複遺構: なし 出土遺物: 土師器杯片が出土している。 所見: 井戸壁面に挟れた
 箇所がないことから、井戸枠、若しくは汲上げ施設が設置されていた可能性がある。

7区1号井戸跡(旧称=7区SE-01)

位置: X=36,378 Y=-39,642 規模: 135×109cm 深度: 202cm

形状: 平面形状は楕円形～隅丸形状、断面形状は上端で擂鉢状、下方では筒状を呈する。
 重複遺構: 6号溝跡と重複し、遺構確認時の埋土の様相より、本遺構の方が
 新しいものと判断される。 出土遺物: 須恵器甕の胴部片が3点出土。

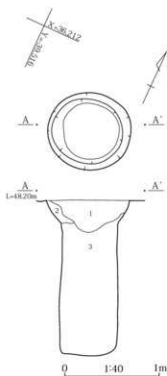
所見: 形状が隅丸形状を呈し、井戸壁面にも挟れた箇所がないことから、井戸枠が
 設置されていた可能性がある。

7区2号井戸跡(旧称=7区SE-02)

位置: X=36,284 Y=-39,488 規模: 122×112cm 深度: 155cm 形状:

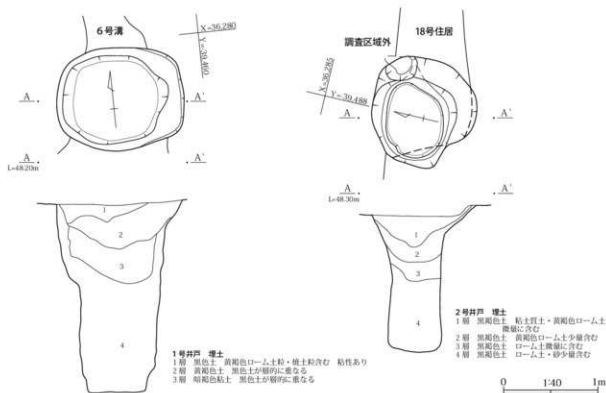
平面形状は楕円形～円形、断面形状は上端で擂鉢状、下方では筒状を呈する。

重複遺構: なし。 出土遺物: なし。 所見: 井戸壁の西側および南側に挟れた個
 所が見られることから、井戸枠を持たない素掘り井戸であったと考えられる。また、
 7区3号井戸跡(旧称=7区SE-03)については、調査時に井戸跡として命名さ
 れたが、深度が浅く、取水の痕跡が認められないため、井戸跡から除外した。



- 1号井戸 埋土
 1層 赤褐色土(IV区) 白色軽石を含む
 2層 赤褐色土(IV区) 白色軽石を含む
 3層 暗赤褐色土(IV区) ローム・ブロック多し 軽石少ない

第482図 6区1号井戸跡平・断面図



- 1号井戸 埋土
 1層 黒色土 黄褐色ローム土粒・粘土粒を含む 粘性あり
 2層 黄褐色土 黒色土が層的に重なる
 3層 暗褐色粘土 黒色土が層的に重なる

- 2号井戸 埋土
 1層 黒褐色土 粘土質土・黄褐色ローム土塊を含む
 2層 黒褐色土 黄褐色ローム土少量含む
 3層 黒褐色土 ローム土塊を含む
 4層 黒褐色土 ローム土・砂少量含む

第483図 7区1・2号井戸跡平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物

6. 道路状遺構

一上野国内で発見された東山道駅路と鹿島浦遺跡で検出された東山道駅路の遺構一

1. 上野国と古代交通路の概要

上野国内には東山道駅路が東西に通じ、『延喜式』兵部省諸国伝馬条に、

上野国駅馬 坂本十五疋、野後、群馬、佐位、新田各十疋。

伝馬 碓氷、群馬、佐位、新田郡各五疋

と、あり、坂本（碓氷郡）・野後（碓氷郡）・群馬（群馬郡）・佐位（佐位郡）・新田（新田郡）の5駅が置かれ、各駅家所在郡の郡家には伝馬が設置されていたことが見える。坂本が15疋を置く他は、いずれも「中路」としての規定通り駅馬数である。さらに899年（昌泰2）には碓氷関が置かれた。

全国的な規模ではじめて古代駅路を具体的に想定した藤岡謙次郎氏編『古代日本の交通路』（大明堂、1978）では、歴史地理学者の金坂清則氏が地積図上の検討及び現地踏査から高崎市から群馬町を経て前橋市元総社町の国府推定地を通る路線を想定している。これが後に「国府ルート」と称される『延喜式』所載の5駅家と国府想定地を通るルートである。

金坂氏が想定したルート上では、1970年代末期から80年代前半に高崎市から群馬町を経て前橋市にかけて古代直線道路遺構が次々と確認され、古代道路が確実に存在していたことが証明された。

また、80年代中葉からは、先に金坂氏が想定されたルートから大きく南に寄った位置に当たる高崎市宿大類町から佐波郡玉村町・伊勢崎市南部・太田市東部旧新田町部分の約30kmにかけて、幅約12m以上の大規模な直線的道路跡が次々と発見された。新たに発見されたこの古代道路跡は「牛堀・矢ノ原ルート」と名付けられ、遺構の考古学的データから、金坂氏が想定された「国府ルート」に先行する初期の東山道駅路ではないかと性格づけられた。

また1990年には、新田町の下新田遺跡から、幅約10～12mの両側溝を有する古代道路遺構が約300mにわたって検出された。先述した「牛堀・矢ノ原ルート」から北に約500mの位を「牛堀・矢ノ原ルート」とほぼ並行して走向する第3のルートである。このルートは「下新田ルート」と命名された。

さらに2002年以降、北関東自動車道の建設に伴う太田市東今泉町における一連の調査で、約12m～15m幅の古代直線道路跡が約1kmにわたって検出され、側溝から出土した遺物の年代観や他の遺構との切り合い関係から、ほぼ7世紀中葉に造営され、8世紀半ばに廃絶していることが判明した。

古代駅路を発掘調査によって考古学的に検証する方法は、全国に先駆けて群馬県内において初めて実施され、その後のこの分野の調査・研究を牽引してきた。その意味で、古代道路研究史上、群馬県内で古代道路遺跡・遺構の調査にあつてきた研究者が果たしてきた役割は特筆すべきである。

また、本県内においては、東山道駅路として1、「国府ルート」、2、「牛堀・矢ノ原ルート」、「下新田ルート」の3つのルートが確認されており、古代駅路の変遷過程を考える上での一つのモデルケースとなっている点でも重要である。

2. 「国府ルート」路線の推定

先述したように、このルートは金坂清則氏が、国府をはさんで『延喜式』兵部省諸国伝馬条に記載されている上野国内5箇所の駅の想定地を勘案しながら、安中市から高崎市北西部、群馬町南部を経て前橋市元総社町の国府推定地を通る路線を歴史地理学的に想定されて以来、上野国府を通る東山道駅路ルートとして一般的に理解されてきた路線である。これは、上野国府を通る路線ということで「国府ルート」と称されている。

「国府ルート」は、考古学的には高崎市浜川町から前橋市鳥羽町までの間約5km、地割痕跡などを勘案して高崎市八幡町の鳥川左岸から前橋市元総社町の国府推定地までの間約8kmにわたって、N64°～65°-Eの方位の古代道路遺構が確実に存在したことが判明している。

発掘調査で確認できた「国府ルート」上の道路遺構については、幅員が約4.5～7m前後であり、発掘調査で確認できた側溝の状態が必ずしも一定ではなく、群馬町菅谷の菅谷（高貝戸）遺跡では、土層断面の検討から、道路の側溝が9世紀後半の竪穴建物跡を破壊して掘削されている様子が確認されたことにより、その起源を9世紀後半とする見方があるが、まだ検討の余地がかなりある。

下野国との国境に近い場所に設置された新田駅家は、よく知られているように、『続日本紀』宝龜2年(771)10月己卯条に、

太政官奏。武蔵国雖_レ属_二山道_一、兼承_二海道_一、公使繁多、祇供難_レ堪。其東山駅路、從_二上野国新田駅_一、達_二下野国足利駅_一。此便道也。而任從_二上野国邑楽郡_一、經_二五箇駅_一、至_二武蔵国_一。事畢去日、又取_二同道_一、向_二下野国_一。今東海道者、從_二相模国夷參駅_一、達_二下総国_一。其間四駅、往還便近。而去_レ此就_レ彼損害甚多。臣等商量、改_二東山道_一、属_二東海道_一、公私便_レ所、人馬有_レ息。奏可。

とあるように、東山道に所属していた武蔵国が東海道所管替えがなされたのにもなって、それまで「便道」とされてきた新田駅と下野国足利駅とを直接結ぶ駅路ルートが本路となった。上野国内では、史料上、この新田駅だけが宝龜2年以前に存在がさかのぼり得る唯一の駅家である。

群馬県太田市天良町から小金井にかけて所在する天良七堂遺跡からは、7世紀後半～9世紀の大型獨立柱建物跡・大型礎石建物跡群からなる新田郡家政庁と正倉院跡が発見された。また、その北東には郡家と密接な関連を有すると考えられる寺井庵寺が近接して存在し、古代の新田評・郡の中心地域であった。この近辺に新田駅家の所在地を考えるのが妥当であろう。

3. 初期東山道駅路「牛堀・矢ノ原ルート」

1984年、現在は太田市に合併された旧新田町大東及び市で、幅約13mで平行する溝跡が検出され、古代の道路遺構であることが判明した。それが、西接する伊勢崎市境町で1983年以来確認・調査されている「牛堀」と称される直線状の古代灌漑水路を延長するラインに一致し、また、東の延長線は旧新田町に所在する「新田堀」のラインとも合致していることが判明した。牛堀ライン上において、矢ノ原遺跡など数箇所において約13m間隔で並行する溝跡が確認できたため、この「牛堀」は古代道路の北側溝を拡幅して形成されたものと認識され、道路跡は「牛堀・矢ノ原ルート」と称された。

この古代道路遺構は、その後、伊勢崎市境町から太田市の旧新田町にかけて6地点で発掘調査されており、いずれも幅約13m前後で、南北両側に側溝を有する道路遺構が、N-83°-E方向に一直線上に約10kmにわたって確認された。

1993年、伊勢崎市境町から西へ約15kmに位置する高崎市宿大類町でも、幅約10m古代直線道路跡がN-100°～101°-E方向で約100mにわたって発見され、走向は、伊勢崎～太田間とは若干異なるものの、路面幅や遺構の存続年代がほぼ一致し、さらにその後、この中間に当たる佐波郡玉村町においても、高崎市大類町で検出されたのと同じくN-100°～101°-E方向で、幅約10mの古代道路跡が発見され、このルートが約30kmにわたって連続していることが判明した。

この「牛堀・矢ノ原ルート」は、「国府ルート」の位置から南へ約5kmと大きく離れた位置を通っており、それまでは交通路の存在が全く想定されることがない地域において、「国府ルート」で確認された古代道路遺構を上回る規模の、大規模な直線道が新たに発見されたわけである。

各遺跡の発掘調査の結果、「牛堀・矢ノ原ルート」は、7世紀後半頃にはすでに造営され、8世紀後半には廃絶した道路であることが判明した。この点は、埼玉県所沢市の東の上遺跡で検出された東山道駅路武蔵路の年代観ともほぼ合致しており、また、道路の規模も一致している。

旧新田町の入谷遺跡では、「牛堀・矢ノ原ルート」に面して、7世紀後半から8世紀後半にかけての一辺約180mの方形区画溝に四周を囲まれた中に礎柱瓦葺礎石建物が2棟検出され、それをを新田駅家そのもの、あるいは関連施設とみる考え方があり、しかしながら検出された建物の配置や数からみて、駅家な

第3章 検出遺構と出土遺物

いしその関連施設としては不自然な点もないわけではない。

4. 第3のルート―「下新田ルート」

1990年、太田市の旧新田町下新田遺跡から、巾約12mの両側溝を有する古代道路遺構が約300mにわたって検出された。先述した「牛堀・矢ノ原ルート」から北に約500mの場所に位置しており、走向はN-80°Eで、「牛堀・矢ノ原ルート」とほぼ並行している、いわば第3のルートである。このルートは「下新田ルート」と通称されている。

遺構の確認面は1108年(天仁元)降下の浅間山火山灰層より下層で、8世紀から9世紀にかけての遺物が出土している。路面から出土した遺物の年代が「牛堀・矢ノ原ルート」よりもやや新しい時期であるので、「牛堀・矢ノ原ルート」よりも後代まで道路として機能していた可能性が高い。

ただ、このルートについては、現段階では下新田遺跡以外ではあまり発掘調査されておらず、並行する「牛堀・矢ノ原ルート」や「延喜式」段階の「国府ルート」との関係については不明である。

この「下新田ルート」を東方に延長すると新田郡家と推定される太田市天良町に所在する天良七堂遺跡に達し、さらに東へ延長すると山田郡家想定地である太田市緑町古氷地区に至り、さらに渡良瀬川を越えて下野国足利郡家跡足利市国府野遺跡方向に至っている。このルートの延長線上には、少なくとも3郡の郡家の存在が想定でき、郡家間相互を結ぶ伝馬路である可能性も考えられる。

5. 「国府ルート」と「牛堀・矢ノ原ルート」との関係について

先述したように高崎市東部～玉村町～伊勢崎市南部～伊勢崎市旧境町～太田市旧新田町間で断続的に確認されている「牛堀・矢ノ原ルート」では、7世紀後半頃に造営され、8世紀後半には廃絶した幅約10～13mに及ぶ大規模な直線道路であることが判明している。この点は、埼玉県内や東京都内で発掘調査によって確認できた東山道駅路武蔵路の年代観、規模とほぼ一致しており、「国府ルート」に先行する東山道駅路であると想定されている。

一方、「国府ルート」上で発掘調査された高崎市群馬町菅谷の菅谷(高貝戸)遺跡の堆積土層断面の検討結果から、その起源を9世紀とする見方がある。また、「国府ルート」上で発掘調査で確認された道路遺構は、いずれも幅員が約4.5～7m前後であり、側溝の状態が必ずしも一定ではなく、現・利根川以東で発掘調査されたのは、現在のところ伊勢崎市赤塚酒匂遺跡第2地点一箇所のみ過ぎない。

以上の諸点から、「国府ルート」は『延喜式』段階の東山道駅路駅路ですらなく、国府の西側に部分的に設けられた道路であるとする極端な仮説すら提示されるに至っている。

しかしながら「牛堀・矢野原ルート」は7世紀後半に建設され、8世紀後半にはもう使用されなくなってしまうわけだから、漸く国府の整備が完了し、国分寺の造営が完了するかしらないかという時期に早くも廃絶する駅路なわけである。しかも、国府推定地からはだいぶ離れた場所を通っている。

前にも述べたように、駅路とは都と各国とを結ぶ官道であり、都と各国を結ぶとは、端的に言って都と各国の国府とを結ぶ道路ということになろう。「牛堀・矢ノ原ルート」は、群馬部への国府の設置によって東山道駅路の路線そのものが大きく変更される以前の段階に建設・整備された駅路であり、国府の造営に伴って、国府付近を通る新しい路線として新設されたのが「国府ルート」ということになろう。

「国府ルート」の設定が、全くの道路新設ではなく、従来、群馬評(郡)家と他評(郡)家などを結ぶ所謂「伝馬の路」を、群馬部への国府の造営に伴って、駅路本路に昇格させられた可能性もある。

また、「牛堀・矢ノ原ルート」は、7世紀後半という早い時期に設置・整備されたにも関わらず、幅が約10～13mにも及び、国内南部の平野部を数十kmにわたって直線的に貫通しているところからみて、体裁を整えたばかりの律令中央政府の強力な意志によって造営されたのは間違いないところであろう。その意味において、まさに名実ともに「官道」と称するにふさわしい道路である。

いち早く建設された大規模官道「牛堀・矢ノ原ルート」上に国府を置かず、わざわざ路線から離れた位置に国府を設置した理由を究明することは、上野国地域の古代史を研究する上で重要な課題の一つとなろうが、本項の目的からは外れるし、また紙幅の制約もあるので、他の機会に譲ることにしたい。ただ、現段階では、中央政府の意向と、中央政府と在地豪族との協力、さらには在地豪族のパワーバランスなどが要因となって、従来存在していた大規模官道沿線に国府を造営することに失敗し、結果的に6世紀末～7世紀段階での在地社会屈指の勢力の影響下にある群馬郡中枢域に国府が造営されたことによって、駅路もまた国府付近を通るルートへと路線の変更を余儀なくされたものと考えている。国府付近を通らない官道は、もはや「駅路」ではあり得なくなったのである。

では、「牛堀・矢ノ原ルート」や埼玉県・東京都内で発見された東山道武蔵路など、7世紀後半段階に造営される市約12mにも及ぶ直線の道路とは、いったい何であったのだろうか。

私は、広域行政区画東山道を貫く道路としての性格から、理念的に都と陸奥とを結ぶ官道として構想されたものであり、各地方支配の拠点である国府の造営に先だって、律令制支配の貫徹を可視的に地方に示すための装置の一つとしていち早く整備されたものと考えられる。陸奥にはすでに7世紀中葉段階に宮城県仙台市郡山道跡という大規模な官衛が、他の地方官衛に先駆けて造営されていた。これは律令制支配を辺地にまで貫徹するための拠点であり、かつ在地社会に対する極めて示威的な視覚的装置であったことに相違ない。ほぼ同時期に、中央には巨大宮都である難波京(前期)があり、さらに天武朝の難波京焼亡に前後して、『周礼』の王都世界を理念的に実現しようとした巨大な条坊を有する「新益京」こと藤原京が構想される。中央にかつてないほどの巨大な宮室と都城を造営し、辺地に、各国支配の拠点に先駆けていち早く大規模な官衛を造営する。そして、巨大な都城と巨大な返支支配のための拠点的地方官衛とを結ぶ交通路として、幅12mにも達する大規模な直線の官道が理念的に構想され、造営されたのではないだろうか。その一つが7世紀後半段階に成立する東山道官道であり、群馬県内では「牛堀・矢ノ原ルート」と称される古代道路跡に相当するのがまさにそれであろう。

そして、それらは「理念的」に構想されたが故にこそ、律令中央政府の強大な権力をもって、部分的にはあろうが、在地社会の論理・実情を無視、あるいは無理強行して造営されたという側面も存在していたであろうことは想像に難くない。そのような「無理・強行」が在地における論理や実態と齟齬を来したところに、結果的に、初期官道沿線に国府造営がかなわなかったこと、ひいては駅路段階でのほぼ全面的とも言うべき路線変更に至ったのが、上野国内における初期官道と駅路の変遷とその背景であると言えるのではないだろうか。

6. 本道跡で検出された東山道駅路

さて、これまで見てきた上野国内における東山道駅路の歴史の変遷を踏まえた上で、改めて鹿島浦道跡で検出された古代道路の遺構について考えたい。

北関東自動車道の建設に先立って、太田市東今泉町において行われた一連の発掘調査で古代道路の遺構が初めて検出されたのは、2002年に大道西道跡の発掘調査において、約13m間隔で南北に並行して東西に一直線に伸びる2本の古代の溝跡が約200mにわたって検出されたことである(高井佳弘「群馬県太田市大道西道跡の推定東山道駅路跡」『古代交通研究』13 2004 八木書店)。側溝心々間で13mもの幅を有する巨大道路が駅路ではないとは考えにくく、調査当時から東山道駅路である可能性が想定されていた。続いて大道西道跡のすぐ西側に隣接する八ヶ入道跡や東側に隣接する大道東道跡、大道東道跡のさらに東側に位置する鹿島浦道跡などで、その続きと見られる側溝心々幅約12～13mの道路跡が次々と発見され、2005年にかけてこれらの道路遺構が調査された。

金山丘陵の東側にあたる太田市東今泉町一帯では約1kmに亘って断続的に古代道路遺構が検出されるに至り、とくに大道東道跡における竪穴建物跡群と道路遺構との重複・前後関係から、ほぼ7世紀中葉に造

第3章 検出遺構と出土遺物

營され、8世紀前半段階のうちに廃絶している様子が判明した。

大道東遺跡・ハケ入遺跡とともに、現在、本報告書と並行してまだ整理作業の途上であり、大道西遺跡については整理業務に入っていないので、これらすべての遺跡において検出された遺構を総合して検討することは現時点においては困難であるが、本遺跡では側溝心々間約13～15mの幅で、N-189°-E方向に西北西から東南東方向に走向しており、走向は周辺遺跡とほぼ同一である。周辺遺跡いずれにおいても上面を後世に削平されており、硬化した路面は検出することが出来なかった。また、本遺跡においては東端側を、後世の流路によって大きく破壊されている様子がうかがえた。

旧新田町以西で確認されている「牛堀・矢ノ原ルート」・「下新田ルート」とはいずれも走行方向が異なるので、これら二路線どちらに接続・対応する道路であるのかが問題となろうが、幅13～15mという規模と、7世紀中葉段階に造営され、8世紀前半段階にはいち早く廃絶しているという極めて短い存続年代からみれば、金山丘陵以東で北関東自動車道の建設に先立つ発掘調査において本遺跡に隣接して検出された古代道路遺構は、金山丘陵以西において検出された「牛堀・矢ノ原ルート」の続きの部分と考えるのがまず自然と考えられる。走向方向の相違については、金山丘陵を越える時点で、走向方向を変化させたと見れば不自然ではない。

旧新田町域内でこれまでに検出されている東山道駅路「牛堀・矢ノ原ルート」と、金山丘陵東側において、北関東自動車道の建設に先立って行われたこれら一連の発掘調査において相次いで発見された幅12～15mの古代道路遺構との正確な関係を解明するには、道路遺構が発掘調査され、確実に存在が認められる太田市の市・小金井付近から金山・八王子丘陵を越えた所までの約2km間の調査を待たなければならないところであろう。

しかしながら、いづれにしても高崎市南部の宿大類町から玉村町北部の上福島を経て、伊勢崎市今泉町・太田市八幡付近に至り、さらに金山丘陵の北麓付近の緩やかな峠を越えて太田市東今泉町に到る、群馬県南部の平野部を東西に横断する約40km以上に及んで、幅約12～15mの巨大な直線の道路遺構が断続的ではあるが、明確になったわけである。今後は、太田市小金井の上根遺跡から、金山丘陵を経て、東今泉町ハケ入遺跡に至る間や、本遺跡からさらに東の、渡良瀬川渡河点を経て栃木県足利市方面に至る箇所での古代駅路の遺構の発見が待たれるところである。それによって、上野国内における古代東山道駅路の在り方が、より精確に解明できることになるだろう。

(参考文献)

- ・木下良編『古代を考える 古代道路』吉川弘文館 1996
- ・群馬県立歴史博物館『第70回企画展 古代のみち』2001
- ・小宮俊久「上(毛)野国の古代交通網と官衙」(『坂東の古代官衙と人々の交流』埼玉考古学会 2002)
- ・古代交通研究会編『日本古代道路事典』八木書店 2004
- ・木下良『事典 日本古代の道と駅』吉川弘文館 2009

第5項 8区の遺構と遺物

1. 調査区の概要

8区は遺跡南端部に位置し、北西端部にて農道を境に7区と接する。また、東側はインターチェンジ料金所から一般道接続部分を調査した「東今泉鹿島遺跡」に隣接する。調査区は中央を東西に走る用水路によって2分され、調査中は北側を8区-1、南側を8区-2と称して調査に当たった。以下に調査区の概要を記す。

〈溝跡〉 6区東端・7区南西端より延びる8・9号溝跡は、農道下を経て調査区北端部で検出され、調査区内を南北に貫通する。他の調査区では二条の溝跡は平行して存在したが、この調査区では中央部において二条が重なって検出された。この部分については、8号溝跡建設時に先に埋没した9号溝を掘り返し復旧する形で造られたものと考えられる。また、用水路部および調査区南端壁において、上層よりの良好な埋没断面が観察できたことで、8号溝跡の最終埋没時において、天仁元(1108)年の噴火とされる浅間山B軽石の堆積が認められた。8・9号溝跡に接して検出された1・2・7・10号溝跡は、4区で見られたように8・9号溝跡より分水の小用水路である可能性が考えられる。

〈竪穴住居跡〉 調査区の西半部は、前記の8・9号溝跡の氾濫時にオーバーフローした褐色砂質土が堆積していた。調査区中央に位置する3号住居跡は、この氾濫土の堆積後に構築されており、その時期の違いはカマドを北側に設けるといった住居構造の違いにも現れている。

〈掘立柱建物跡〉 調査区内において、11棟の掘立柱建物跡が検出された。11棟の建物跡は軸をほぼ同じくし、また、周囲には建物跡とは断定されなかったものの、建物と軸を同じくする欄列跡も検出されている。併せて、隣接の東今泉鹿島遺跡からも軸を同じく刷る5棟の掘立柱建物跡が検出されていることから、他区では見られなかった掘立柱建物跡群の存在が確認された。

〈井戸跡〉 調査区南端部で検出された1号井戸跡は、石組みの構造をもち、この井戸跡の北東3.3mの場所には井戸枠の石組み同様の小円礫で地葉された支柱跡と考えられる小土坑跡が検出されたことから、井戸跡は「掬ね釣瓶」を有していたものと判断された。





第484図 8区全体図

2、竪穴住居跡

8区1号住居跡(旧称8区5J-01)

位置：X=36,068 Y=-39,473 **主軸方向**：N-28°-W **規模**：3.5m×3.8m **平面形状**：隅丸長方形
残存深度：不明 **埋没土**：不明 **床面**：不明 **カマド**：北西壁の中央やや北寄りに位置する。両袖部は地山を掘り残す形で構築される。燃焼部は天井部崩落焼土下に良好な灰層の堆積が認められた。煙道部は緩やかに立ち上がる。また、使用面下の掘り方埋土内に焼土の混入が認められることから、修復が行われたものと推察される。
柱穴：不明 **貯蔵穴**：不明 **壁周溝**：不明 **重複遺構**：2号・18号住居跡、1号・2号・100号土坑跡と重複し、遺構確認～掘削時の埋土の様相より、本遺構は18号住居跡より新しく、他の重複遺構よりも古いものと判断される。2号住居跡との関係については後に記す。 **掘り方**：不明 **出土遺物**：なし。

8区2号住居跡(旧称8区5J-02)

位置：X=36,068 Y=-39,473 **主軸方向**：N-28°-W **規模**：4.5m×6.0m **平面形状**：歪な隅丸長方形

残存深度：22cm～34cm **埋没土**：白色軽石と焼土粒等を含む灰褐色砂質土～暗褐色土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。

床面：掘り方埋土であるロームを主体とした暗褐～褐灰色土で埋め固め、床面とする。 **カマド**：東壁中央やや南寄りに位置する。両袖部は地山を掘り残す形で構築される。燃焼部使用面には焼土化した天井部材の崩落とその下面に良好な灰層の堆積が認められた。

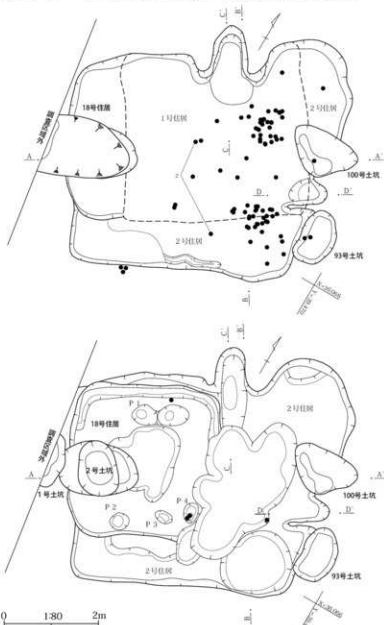
柱穴：なし。 **貯蔵穴**：なし。

壁周溝：南壁下の一部で幅24cm深さ9cmを測る壁溝が検出された。

重複遺構：1号・18号住居跡、1号・2号・93号・100号土坑跡と重複し、遺構確認～掘削時の埋土の様相より、本遺構は1号・18号住居跡より新しく、他の重複遺構よりも古いものと判断される。2号住居跡との関係については重複遺構であるとの判断において調査がなされたが、同区9号住居跡も本住居跡とはほぼ同じ位置関係に2基のカマドを有することから、本住居跡は1号住居跡の拡張、若しくは同一住居跡である可能性が高い。

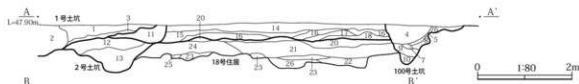
掘り方：深さ23～47cmほどの土坑状の掘り方を有し、埋土中から須恵器杯(No. 2)片が出土する。

出土遺物：埋土中から土師器杯(No. 1)と須恵器杯(No. 3)片が出土する。



第485図 8区1・2号住居跡平・断面図、掘り方平面図

第3章 検出遺構と出土遺物



1・2号住居 埋土

- 1層 褐色砂質土_上 ⅡR 4/3 少量の白色輝石(緑石・珪石・珪石)と多量の炭化物・焼土粒子を含む
- 2層 灰褐色砂質土_上 ⅡR 4/2 少量の白色輝石(珪石)と少量の焼土粒子を含む
- 3層 灰褐色土_上 ⅡR 4/2 少量の白色輝石(珪石)と多量の黄色砂質ロームブロック(φ10～30mm)を含む
- 4層 褐色砂質土_上 ⅡR 4/3 少量の白色輝石(珪石)と少量の炭化物・焼土粒子を含む
- 5層 褐色砂質土_上 ⅡR 4/3 少量の白色輝石(珪石)と多量の灰白色糊状物を含む
- 6層 褐色砂質土_上 ⅡR 4/3 少量の白色輝石(珪石)を含む
- 7層 褐色砂質土_上 ローム状
- 8層 褐色砂質土_上 ⅡR 4/3 少量の白色輝石(珪石)を含む 黄色砂質ローム土を混状に含む
- 9層 灰褐色砂質土_上 ⅡR 3/3 少量の白色輝石(珪石)と少量の炭化物・焼土粒子を含む
- 10層 褐色砂質土_上 ⅡR 4/2 少量の白色輝石(珪石)と黄色砂質ローム粒子・小ブロック(φ5～10mm)を含む
- 11層 灰褐色土_上 ⅡR 3/4 少量の白色輝石(珪石)と黄色砂質ローム粒子・小ブロック(φ5～10mm)を含む
- 12層 灰褐色土_上 ⅡR 3/4 少量の白色輝石と黄色砂質ローム粒子・小ブロック及び多量の焼土粒子・焼土小ブロック(φ5～10mm)を含む
- 13層 灰褐色土_上 ⅡR 3/4 多量の褐色砂質土・黄色砂質ローム土・黄褐色土を混状に含む
- 14層 灰褐色砂質土_上 ⅡR 4/2 少量の白色輝石と多量の褐色土・灰白色砂質ロームブロック(φ10～30mm)を含む
- 15層 灰褐色砂質土_上 ⅡR 4/2 少量の白色輝石(珪石)と黄色砂質ローム粒子を含む
- 16層 灰褐色砂質土_上 ⅡR 4/2 少量の白色輝石と黄色・灰白色砂質ロームブロック(φ10～30mm)を含む
- 17層 灰褐色砂質土_上 ⅡR 4/2 少量の白色輝石と多量の褐色土・灰白色砂質ロームブロック(φ10～30mm)を含む
- 18層 褐色土_上 ⅡR 3/3 少量の白色輝石と焼土粒子・炭化物・黄色砂質ローム小ブロック(φ5～10mm)を含む
- 19層 灰褐色砂質土_上 ⅡR 4/2 少量の白色輝石・焼土粒子・炭化物を含む [住居取り方]
- 20層 黄色砂質ローム土_上 ⅡR 4/6 少量の白色輝石と多量の黄色砂質ローム小ブロックを含む [住居取り方]
- 21層 灰褐色土_上 ⅡR 4/1 少量の白色輝石と多量の黄色砂質ローム粒子・同小ブロック(φ5～15mm)を含む 焼土粒子・炭化物を含む
- 22層 灰褐色土_上 ⅡR 5/2 少量の白色輝石と多量の黄色砂質ローム小ブロック(φ5～30mm)を含む 少量の焼土粒子を含む
- 23層 褐色砂質土_上 ⅡR 3/3 少量の黄色砂質ローム小ブロック(φ5～15mm)・焼土粒子・炭化物を含む
- 24層 褐色砂質土_上 ⅡR 3/3 少量の白色輝石と多量の黄色砂質ローム粒子・同小ブロック(φ5～15mm)を含む 少量の焼土粒子・炭化物を含む
- 25層 褐色砂質土_上 ⅡR 4/1 少量の黄色砂質ローム小ブロック(φ5～15mm)を含む
- 26層 褐色砂質土_上 ⅡR 4/1 少量の黄色砂質ローム小ブロック(φ5～15mm)・焼土粒子・炭化物を含む
- 27層 褐色土_上 ⅡR 3/3 少量の焼土小ブロック(φ5～10mm)を含む [カマド埋土]
- 28層 黄色砂質ローム土_上 ⅡR 6/6 少量の焼土粒子を含む [カマド埋土]
- 29層 褐色土_上 ⅡR 3/3 少量の白色輝石と多量の焼土粒子・焼土小ブロック(φ5～15mm)・炭化物・黄色砂質ローム小ブロック(φ5～20mm)を含む
- 30層 灰褐色土_上 ⅡR 3/3 少量の白色輝石・炭化物・焼土粒子を含む
- 31層 灰褐色土_上 ⅡR 3/3 少量の白色輝石・炭化物・焼土粒子を含む
- 32層 褐色土_上 ⅡR 3/3 少量の黄色砂質ローム小ブロック(φ5～30mm)・焼土小ブロック(φ5～15mm)・炭化物を含む

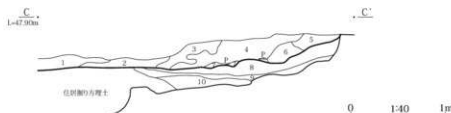
1～3層 1号土坑埋土

4～10層 住居跡の埋土・地下道路 100号土坑

11～13層 2号土坑埋土 住居より新しく1号土坑より古い

20～22層 掘り方

27～30層 カマド埋土



1号住居カマド 埋土(C-C)

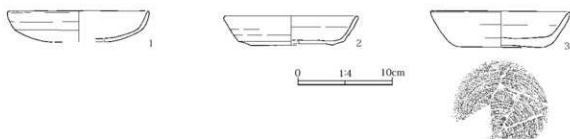
- 1層 褐色土_上 ⅡR 4/1 少量の白色輝石と多量の黄色砂質ロームブロック(φ5～30mm)・少量の焼土粒子を含む
 - 2層 褐色土_上 ⅡR 5/1 少量の白色輝石と黄色砂質ローム小ブロック(φ5～10mm)・焼土粒子を含む
 - 3層 褐色土_上 ⅡR 5/1 少量の白色輝石と多量の黄色砂質ロームブロック(φ5～30mm)・焼土粒子を含む
 - 4層 灰褐色土_上 ⅡR 4/1 少量の白色輝石・焼土小ブロック(φ5～10mm)を含む 砂質ローム土 [カマド埋土]
 - 5層 土に多い黄色土 ⅡR 6/3 多量の焼土小ブロック(φ5～10mm)を含む
 - 6層 土に多い黄色土 ⅡR 6/3 多量の焼土小ブロック(φ5～10mm)・炭を含む [カマド埋土]
 - 7層 褐色土_上 ⅡR 5/1 多量の焼土小ブロック(φ5～10mm)を含む [カマド埋土]
 - 8層 灰褐色土 少量の焼土小ブロック(φ5～10mm)を含む [カマド埋土]
 - 9層 土に多い黄色土 多量の焼土小ブロック(φ5～10mm)と少量の褐色土を含む
 - 10層 褐色土_上 少量のローム小ブロック(φ5～10mm)と焼土粒子を含む
- *埋土層下に焼土小ブロックが認められるカマドの遺り痕しが発見される



2号住居カマド 埋土(D-D)

- 1層 灰褐色土_上 ⅡR 4/2 少量の焼土粒子・炭化物を含む
- 2層 褐色土_上 ⅡR 4/1 多量の焼土粒子・焼土小ブロック(φ5～10mm)を含む
- 3層 褐色土_上 ⅡR 5/1 多量の炭に少量の焼土小ブロック(φ5～10mm)を含む
- 4層 褐色土_上 ⅡR 6/6 焼土 [天月部埋土]
- 5層 黄色土_上 ⅡR 8/8 黄色砂質ローム土 [住居取り方埋土] 土層下に灰・焼土を含む層有り
- 6層 褐色土 褐色土に少量の焼土小ブロック(φ5～10mm)を含む
- 7層 灰褐色土 少量のローム小ブロック(φ5～20mm)と白色輝石を含む [カマド掘り方埋土]
- 8層 土に多い黄色土 多量の焼土小ブロック(φ5～10mm)を含む [カマド掘り方埋土]
- 9層 土に多い黄色土 少量の焼土小ブロック(φ5～10mm)を含む [カマド掘り方埋土]

第486図 8区1・2号住居跡断面図、カマド断面図



8区1・2号住居跡出土遺物

第487図 8区1・2号住居跡出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	埋土中 口縁部～底部 破片	口径 14.8 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 焼成場 良好 ③ 赤い釉(7.5 YR 5/4)	外面: 口縁部横ナデ。体部上半はナデ、下半～底部はヘラ削り。 内面: 口縁部横ナデ。体部ナデ。	
2	須恵器 杯	床面～8cm 口縁部～底部 1/2	口径 13.8 底径 8.6 器高 3.1	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰白(2.5 Y 7/1)	口クラ整形。 外面: 口縁部～体部回転ナデ。底部回転ヘラ削り。 内面: 口縁部～体部回転ナデ調整。	
3	須恵器 杯	埋土中 口縁部～底部 3/4	口径 14.6 底径 9.3 器高 3.8	① 細砂粒・粗砂粒・粗焼 ② 還元焼 やや不良 ③ 淡黄(2.5 Y 8/3)	口クラ整形。回転右回り。 外面: 口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面: 口縁部～体部回転ナデ調整。	断面厚減。

8区18号住居跡(旧称8区J-18)

位置: X=36,067 Y=-39,475 主軸方向: N-63°-E 規模: 3.1m×3.2m 平面形状: 隅丸長方形

残存深度: 39cm～79cm(掘り方のみ) 埋没土: 不明 床面: 重複により消滅し、不明。

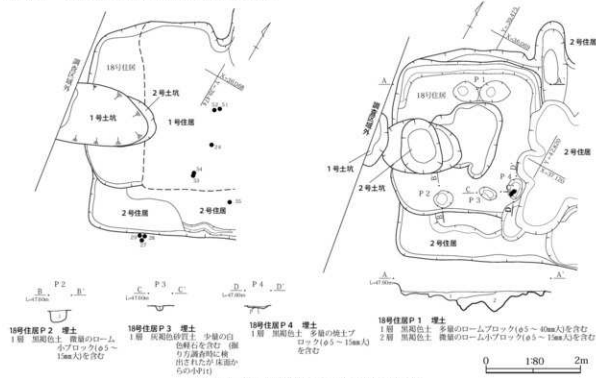
カマド: 北東壁にあるものと思われるが、重複する2号住居跡により壊され、残存せず。

柱穴: 掘り方調査の段階で検出されたP1～3の4穴のビットが、柱穴となるものと思われる。

貯蔵穴: 掘り方調査の段階で検出されたP4が貯蔵穴となる可能性がある。

壁周溝: 掘り方調査の段階で、北北部に幅18～30cm、深さ7～15cmを測る壁溝が検出された。

重複遺構: 1号・2号住居跡、1号・2号土坑跡と重複し、遺構確認時の様相から、本遺構はいずれの遺構よりも古いものと判断される。掘り方: 2～16cmほど掘り窪める。掘り方の残存により、遺構の存存、並びに規模・形状が判明した。出土遺物: 僅かに少量の出土があるのみ。



第488図 8区18号住居跡平面図、掘り方平・断面図

18号住居P2 埋土
1層 赤褐色土 数層のローム
小ブロック(65～
15cm入)を含む

18号住居P3 埋土
1層 灰褐色砂質土 少量の白
色砂石を含む(掘
り方調査時に検
出されたが床面か
らの中身)

18号住居P4 埋土
1層 黒褐色土 多量の塊土
ブロック(65～15cm入)
を含む

18号住居P1 埋土
1層 赤褐色土 多量のロームブロック(65～80mm入)を含む
2層 黒褐色土 数層のローム小ブロック(65～15mm入)を含む

8区3号住居跡(旧称8区S1-03)

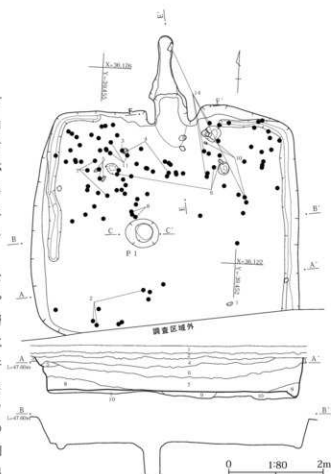
位置：X=36,123 Y=-39,453

主軸方向：N-5°-W 規模：約4.8m×5.6m

平面形状：隅丸長方形 残存深度：58cm～70cm

埋没土：白色軽石と焼土粒・炭化物、少量のロームブロックなどを含む褐色土埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。また、本遺跡を南北に縦断する巨大水路である8号・9号溝跡の氾濫時のオーバーフロー堆積土を切って住居が構築されており、さらに、浅間B軽石純層堆積土が住居埋没土上に確認されている。床面：掘り方埋土であるロームを主体とした暗褐色粘質土で埋め固め、床面としている。

カマド：北壁のほぼ中央に位置する。両袖部は地山を掘り残す形で形成され、燃焼部は壁のラインよりやや外側に位置する。燃焼部使用面には焼土を含んだ灰層の良好な堆積が認められ、この灰層面直上には焼土化した天井部材の崩落が残る。煙道部は焼土化した天井部が残り、遺存状態は極めて良好で、形状は燃焼部より一段上がり、長く緩やかに立ち上がる。なお、本カマド跡は、確認時に天井部が残り遺存状態が良好との判断から、西半部を長軸に沿って10cm毎に裁断する調査手法を取った。柱穴：住居中央やや西寄りに検出された径72×61cm、深さ70cmを測るP1の1穴がその



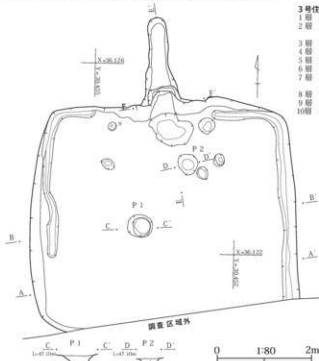
第489図 8区3号住居跡平・断面図

- 3号住居 埋土
- 1層 灰褐色土 焼石・浅間白色軽石を含む 上部に浅間B軽石が崩落堆積する
 - 2層 褐色土 焼石・浅間白色軽石・褐色スコリアを含む 全体に分散堆積し赤味をおびる
 - 3層 灰白色粘質砂質土 北側溝跡近接 オープンフロー堆積土
 - 4層 褐色土 少量の焼石・コップ石・浅間白色軽石と炭化物小粒を含む
 - 5層 褐色土 4層上に類似し、色調やや明る
 - 6層 褐色土 遺物の焼石・コップ石・浅間白色軽石と焼土粒子・炭化物を含む
 - 7層 褐色土 遺物の焼石・コップ石・浅間白色軽石と少量のハードロームブロック(φ5～30mm)・焼土粒子・炭化物を含む
 - 8層 褐色土 少量のハードロームブロック(φ5～30mm)を含む
 - 9層 褐色土(0R 4/0) 粘質土に焼土粒・炭化物多く混ざる 固くしまりある 掘り床面
 - 10層 褐色土(0R 4/0) 焼土粒少ない

位置と規模から主柱穴となるものと思われる。

貯蔵穴：なし。壁周溝：調査範囲内においては、カマド周辺および南西コーナー部を除く壁際に、幅23～36cm、深さ5～11cmを測る壁溝が検出されたが、調査区域外の南壁については明らかではない。

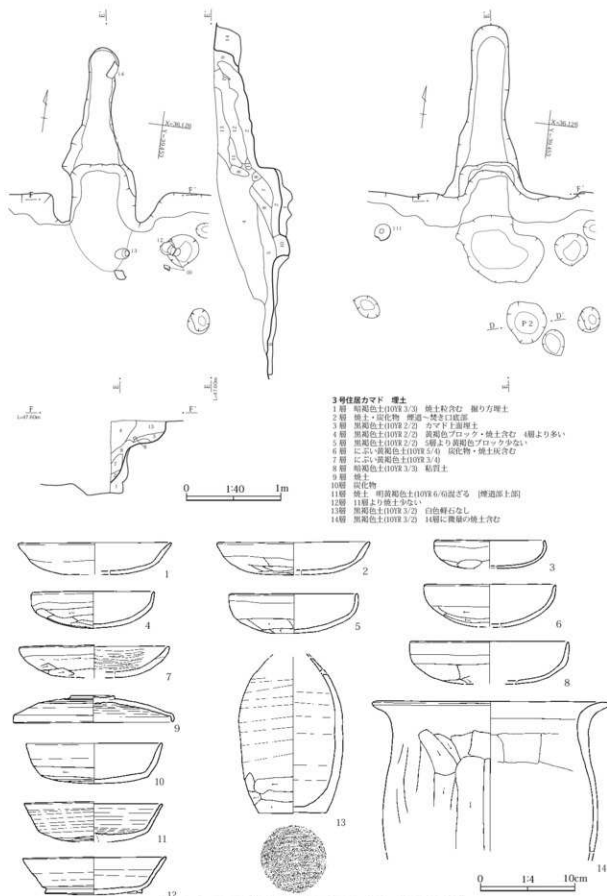
重複遺構：なし。掘り方：全体に2～14cmほど掘り留める。出土遺物：床面直上ではほぼ完形の須恵器杯(No.10)、土師器杯(No.4・5)、須恵器杯(No.12)・長頸壺(No.13)・楕状把手のある須恵器鉢などが出土した他、埋土中からは土師器杯(No.1・2・3・6・7・8)、須恵器杯(No.11)が出土している。また、カマド内より土師器裏(No.14)片が、掘り方埋土中からほぼ完形の須恵器蓋(No.9)が出土している。



3号住居P1・P2埋土

- 1層 褐色粘質土 粘質土 多量の焼土・炭化物・浅間土のブロックと焼土粒混層を含む

第490図 8区3号住居跡掘り方平・断面図



- 3号住居カマド 埋土**
- 1層 黄褐色土(10R 3/2) 焼土粒含む 掘り方埋土
 - 2層 焼土・炭化物 煙道〜焚き口底部
 - 3層 黄褐色土(10R 2/2) カマド土埋埋土
 - 4層 黄褐色土(10R 2/2) 黄褐色ブロック・焼土含む (層より多い)
 - 5層 黄褐色土(10R 2/2) 5層より黄褐色ブロック少ない
 - 6層 にぶい黄褐色土(10R 5/4) 炭化物・焼土灰含む
 - 7層 にぶい黄褐色土(10R 3/4)
 - 8層 黄褐色土(10R 3/2) 粘質土
 - 9層 焼土
 - 10層 炭化物
 - 11層 焼土 明黄褐色土(10R 6/6)混ざる [埋埋土上層]
 - 12層 11層より焼土少ない
 - 13層 黄褐色土(10R 3/2) 白色軽石なし
 - 14層 黄褐色土(10R 3/2) 11層に隣接の焼土含む

第491図 8区3号住居跡カマド平・断面図、掘り方平面図、出土遺物

第3章 検出遺構と出土遺物

8区3号住居跡出土遺物

番号	類別 器種	出土位置 保存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	床面+11cm L線部～底部 1/2	L径 16.0 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼化焼 やや不良 ③ ①にふい粉(10YR 7/3)	L線部外反。 外面:L線部横ナデ。底部はへう割り。 内面:L線部～底部ナデ。 L線部外反。	
2	土師器 杯	床面+24cm L線部～底部 1/4	L径 16.0 底径 - 器高 3.4	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼化焼 良好 ③ 粉 (5YR 6/6)	L線部外反。 外面:L線部横ナデ。底部～底部は手持ちへう割り。 内面:L線部横ナデ。 L線部外反。	
3	土師器 杯	床面+50cm L線部～底部 1/2	L径 11.4 底径 - 器高 3.0	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼化焼 良好 ③ ①にふい粉(5YR 7/4)	L線部やや内湾。 外面:L線部横ナデ。底部は手持ちへう割り。 内面:L線部横ナデ。底部～底部ナデ。	
4	土師器 杯	床面+39cm 底径 - 器高 3.9	L径 12.8 底径 - 器高 3.9	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼化焼 良好 ③ ①にふい粉(7.5YR 6/4)	外面:L線部横ナデ。底部は手持ちへう割り。 内面:L線部～底部回転ナデ。	底部外面に黒煙あり。
5	土師器 杯	床面+47cm 完形	L径 13.4 底径 - 器高 4.2	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼化焼 良好 ③ 明赤色(5YR 5/6)	外面:L線部横ナデ。底部は手持ちへう割り。 内面:L線部横ナデ。底部～底部ナデ。	
6	土師器 杯	床面+38cm L線部～底部 1/3	L径 13.8 底径 - 器高 4.5	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼化焼 良好 ③ 粉 (7.5YR 7/6)	外面:L線部横ナデ。底部～底部は手持ちへう割り。 内面:L線部横ナデ。底部～底部ナデ。	
7	土師器 杯	床面+38cm L線部～底部 1/3	L径 15.6 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼化焼 良好 ③ 灰白(10YR 8/2)	外面に輪積値が見える。 外面:L線部横ナデ。底部は手持ちへう割り。 内面:L線部横ナデ。底部へう巻き。	
8	土師器 杯	床面+14cm L線部～底部 1/5	L径 16.6 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼化焼 良好 ③ 粉 (7.5YR 6/6)	外面:L線部上半横ナデ。下半はナデ。底部から底部は手持ちへう割り。 内面:L線部～底部横ナデ。底部ナデ。	
9	須恵器 杯蓋	床面-17cm ほぼ完形	L径 16.7 胴径 4.4 器高 2.9	① 細砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰 (5Y 6/1)	ロクロ整形。 外面:天井部上半へう割り。天井部下半～L線部横ナデ。揃み貼付。 内面:天井部～L線部回転ナデ。	
10	須恵器 杯	床面直上 ほぼ完形	L径 14.2 底径 - 器高 4.3	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼化焼 ③ ①にふい粉 (5YR 6/4)	ロクロ整形。回転石回り。 外面:体部。底部は回転へう割り。 内面:L線部～底部回転ナデ調整。	歪みあり。
11	須恵器 杯	床面+4cm L線部～底部 1/2	L径 14.4 底径 - 器高 4.3	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰白 (5Y 8/1)	ロクロ整形。 外面:L線部～底部回転ナデ。底部回転へう割り。 内面:L線部～底部回転ナデ調整。	
12	須恵器 杯	床面直上 L線部～底部 4/5	L径 14.9 底径 10.1 器高 4.0	① 細砂粒・粗砂粒・細焼 ② 還元焼 良好 ③ 灰白(7/3)	ロクロ整形。回転石回り。 外面:L線部～底部回転ナデ。底部左回転へう割り。高台は貼付。 内面:L線部～底部回転ナデ調整。	
13	須恵器 長瓶	床面直上 胴部～底部 3/4	L径 - 胴径 7.2 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰赤(6/8)	ロクロ整形。 外面:L線部～胴部下位に3段の回転へう割り。底部へうナデ調整。 内面:横ナデ。	
14	土師器 甕	埋土中 L線部～胴部上半 破片	L径 24.5 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼化焼 良好 ③ ①にふい粉(5YR 7/4)	輪積み。 外面:L線部横ナデ。胴部縦方向へう割り。 内面:L線部横ナデ。胴部上半へうナデ。	

8区4号住居跡(旧称8区5J-04)

位置: X=36,094 Y=-39,441 主軸方向: N-67° - E 規模: 約4.0m×3.9m 平面形状: 隅丸長方形

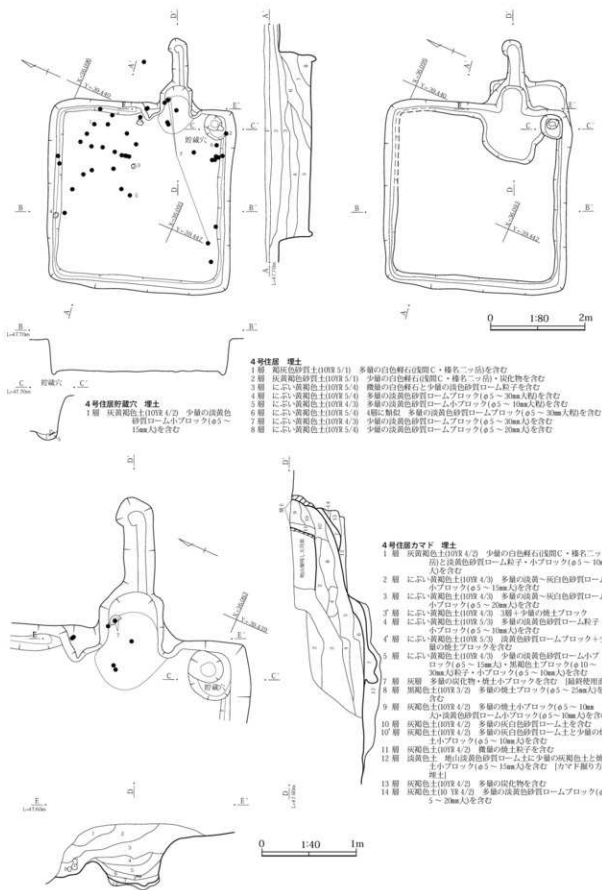
残存深度: 61cm～71cm 埋没土: 白色軽石と少量のローム粒・多量のロームブロックなどを含むふい黄褐色土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。また、本遺跡を南北に縦断する巨大水路である8号・9号溝跡の氾濫時のオーバーフロー堆積土が住居埋土の上を覆っていることから、溝氾濫時には既に廃棄・埋没していたものと推察される。床面: 掘り方を持たず、地山をそのまま床面としている。

カマド: 北東壁の中央やや南東寄り位置する。遺存状態は比較的良好。燃焼部使用面には焼土を含んだ厚い灰層の堆積が認められた。煙道部では天井が残り、地山をそのまま掘り残してトンネル状に削割されている。煙道は緩やかに立ち上がり、煙道部端の地山は焼土化が著しい。袖部は粘性の弱い砂質ローム土を用いて構築される。掘り方埋土中には焼土ブロックが含まれることから、カマドの改修がなされていたと推察される。

柱穴: 住居内においては検出されていないが、住居北側に検出された柱穴列 (P917～P922) が屋外柱穴となる可能性がある。貯蔵穴: カマドの右側にあたる住居南東コーナー付近で径58×50cmの楕円形で、深さ31cmを測る土坑が検出され、貯蔵穴としての利用が想定される。壁周溝: 幅14～30cm、深さ1～11cmを測る壁溝が、カマド前面を除き全周する。重複遺構: なし。掘り方: カマドのみに掘り方あり。

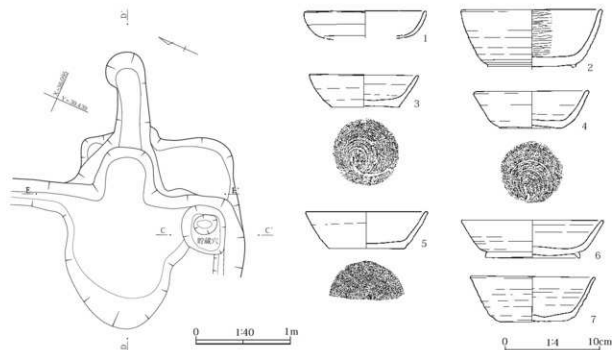
出土遺物: 床面直上では須恵器杯 (No. 3) が出土した他、埋土中からはほぼ完形の須恵器杯 (No. 4・7) や土師器杯 (No. 1)、須恵器杯 (No. 5)・碗 (No. 6)、貯蔵穴埋土中から黒色土器杯 (No. 2) 片が出土する。

第2節 奈良・平安時代の遺構と遺物



第492図 8区4号住居跡平・断面図、掘り方平面図、カマド平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物



第493図 8区4号住居跡カマド掘り方平面図、出土遺物

8区4号住居跡出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	床面+21cm 口縁部～体部 1/8	口径 12.6 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 焼化焙 良好 ③ にぶい赤褐色(SYR 5/4)	口縁部平や内湾。 外面：口縁部横ナデ、体部はへら削り。 内面：口縁～体部横ナデ。	
2	黒色土器 椀	貯蔵穴埋土中 体部～底部 破片	口径 14.8 底径 9.6 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼化焙 良好 内面黒色 処理 ③ 粉 (SYR 6/6)	ロクロ整形。回転左右り方。 外面：体部回転ナデ。底面回転へら切り。高台貼付。 内面：体部～底部回転ナデ後へら磨き。	
3	須恵器 杯	床面直上 口縁部～底部 3/4	口径 11.4 底径 7.2 器高 3.5	① 細砂粒・粗砂粒・細礫・ 中礫 ② 還元焙 良好 ③ 灰 (黄 6/9)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
4	須恵器 杯	床面+10cm ほぼ完形	口径 11.8 底径 6.8 器高 4.0	① 細砂粒・粗砂粒・細礫・ 中礫 ② 還元焙 やや不良 ③ 灰 (黄 2.5/7.2)	ロクロ整形。回転右回り。口縁部平や外反。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
5	須恵器 杯	床面+60cm 口縁部～底部 1/2	口径 12.8 底径 8.0 器高 3.9	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焙 やや不良 ③ にぶい黄褐色(10YR 7/2)	ロクロ整形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り後へら削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
6	須恵器 椀	床面+65cm 口縁部～底部 1/4	口径 15.0 底径 9.8 器高 4.0	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焙 やや不良 ③ 灰 (10Y 6/1)	ロクロ整形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転へら調整。高台貼付。 内面：底部回転ナデ調整。	
7	須恵器 杯	埋土中 ほぼ完形	口径 13.1 底径 7.7 器高 4.9	① 細砂粒・粗砂粒・細礫・ 中礫 ② 還元焙 やや不良 ③ にぶい黄褐色(10YR 7/3)	ロクロ整形。口縁部平や外反。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部へら起し。へら削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	内面輪郭に火 跡が認められ る。

8区5号住居跡(旧称8区5J-05)

位置：X=36.103 Y=-39.447 主軸方向：N-81°-E 規模：約4.2m×3.2m

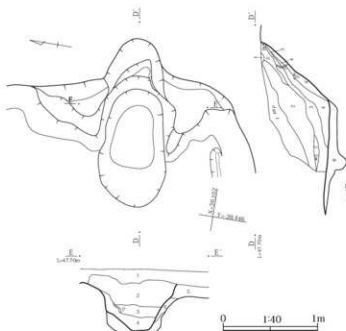
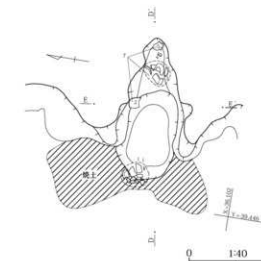
平面形状：隅丸長方形 残存深度：47cm～62cm 埋没土：にぶい黄褐色土とロームブロックなどを含む褐色土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。床面：掘り方を持たないため、地山ローム面を床面とする。

カマド：北東壁中央やや南東寄りに位置する。前庭部に焼土が流れ出ており、灰層面が確認できないことから、カマドは人為的に壊されたと思われる。柱穴：P1～P4の4穴が検出され、径26～44cm、深さ14～29cmを測る。このうちP3とP4は、北西および南西コーナー部にある屋外壁柱穴である。

貯蔵穴：住居中央部南西寄りに、径70×54cmの楕円形で、深さ13cmを測る浅い土坑状の落ち込みが検出されたものの、貯蔵穴とは考えにくい。壁周溝：カマド周辺を除いて幅24～36cm、深さ1～7cmを測る壁溝が巡る。重複遺構：なし。

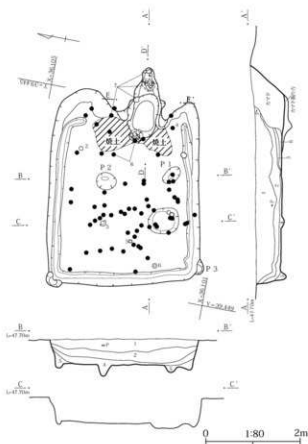
掘り方：カマド部のみに掘り方を有する。

出土遺物：床面直上ではほぼ定形の土師器杯 (No. 1) と底部に黒書の入った須恵器杯 (No. 3) が出土した他、土師器の台付甕 (No. 6) や須恵器杯 (No. 2)・椀 (No. 5) 片が、埋土中からは土師器甕 (No. 7, 8) と須恵器杯 (No. 4) が出土している。



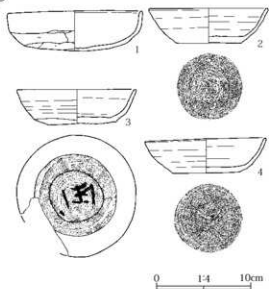
5号住居カマド 埋土

- 1層 黒灰色土(00R 4/1) 明黄褐色の小さいブロックを多く含む
- 2層 明黄褐色土(00R 7/6) 黒灰色の小さいブロックを多く含む
- 3層 明黄褐色土(00R 7/6) 直径20mm程度の焼土のブロック・黒褐色の粒子を多く含む
- 4層 明黄褐色土(00R 7/6) 直径10mm程度の焼土のブロック・黒褐色の粒子を多く含む
- 5層 黒灰色土(00R 4/1) 灰や焼土を含む
- 6層 黒灰色土(00R 4/1) 灰や焼土が少なく含む
- 7層 にじみ黄褐色土(00R 5/4) 褐色の粒子を多く含む
- 8層 にじみ黄褐色土(00R 7/3) 黄褐色の粒子を多く含む
- 9層 黒灰色土(00R 4/1) 黒褐色土の粒子を微量・直径40mm程度の明黄褐色のブロックを少し含む
- 10層 黒灰色土(00R 1.7/1) 焼土を含む。明黄褐色でφ20mm程度のブロックを少し含む。灰化物・灰を多く含む



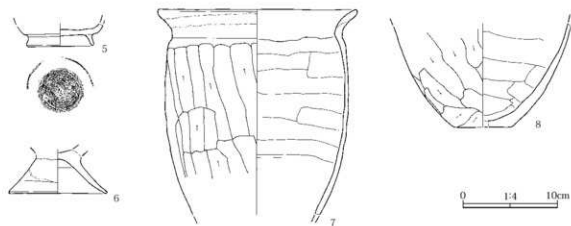
5号住居 埋土

- 1層 黒灰色土(00R 6/1) にじみ黄褐色土・明黄褐色土のブロックを含む
- 2層 黒灰色土(00R 4/1) にじみ黄褐色土・明黄褐色土のブロック・焼土を含む
- 3層 明黄褐色土(00R 7/6) 黒灰色土を含む
- 4層 黒灰色土(00R 3/1) 黒灰色を含む
- 5層 黒灰色土(00R 3/2)
- 6層 黒灰色土(00R 4/1) 明黄褐色土・焼土・灰を含む



第494図 8区5号住居跡平・断面図、カマド平面図・掘り方平・断面図、出土遺物

第3章 検出遺構と出土遺物



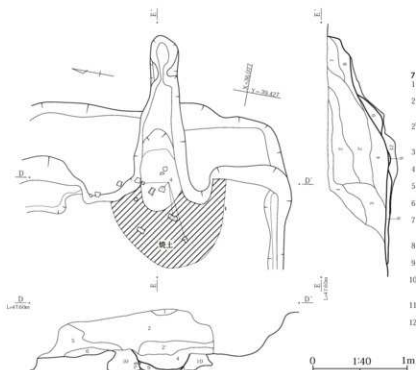
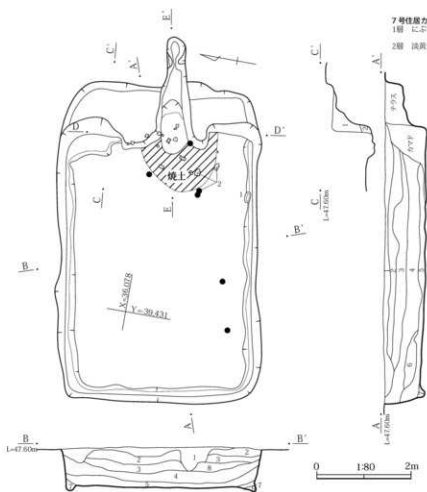
第495図 8区5号住居跡出土遺物

8区5号住居跡出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	遺前底部直上 ほぼ完形	口径 14.2 底径 — 器高 4.3	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焼 良好 ③ 明赤褐色(YR 5/0)	外面：口縁部上部は横ナデ、体部から底部は不定方向へのろり。 内面：体部はナデ。	
2	須恵器 杯	床面直上 口縁部～底部 1/2	口径 12.4 底径 7.2 器高 3.7	① 細砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰白(S17/1)	口方口整形。回転右回り。口縁部やや平反。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り後、底部周辺は回転へのろり。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
3	須恵器 杯	床面直上 ほぼ完形	口径 12.5 底径 7.0 器高 3.7	① 細砂粒・粗砂粒・雜礫 ② 還元焼 良好 ③ 灰白(S17/1)	口方口整形。回転右回り。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り後、底部周辺は回転へのろり。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	底部外面中央に 筋書
4	須恵器 杯	床面+15cm 口縁部～底部 2/3	口径 12.5 底径 7.2 器高 3.6	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 黒(7.5YR 1.7/1)	口方口整形。回転右回り。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り後、底部周辺は回転へのろり。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
5	須恵器 椀	床面直上 底部 底部ほぼ完形	口径 — 底径 7.8 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焼 やや不良 ③ に近い焼(7.5YR 6/3)	口方口整形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り後、底部周辺は回転へのろり。高台は貼付。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	底部外面に 「三」の捺刷。
6	土師器 台付甕	床面直上 台部 台部完形	口径 — 高台径 10.3 器高 —	① 細砂粒 ② 酸化焼 良好 ③ 明赤褐色(YR 5/0)	胎部貼付。輪郭道が残る。 外面：横ナデ。 内面：横ナデ。	
7	土師器 甕	遺理上層 胴部～胴部 胴部下半～底部欠損	口径 21.0 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・雜礫 ② 酸化焼 良好 ③ に近い赤褐色(YR 4/3)	胎部貼付。 外面：一部巻上道。口縁部横ナデ。胴部は下位から頸部に向けて縦方向へのろり。 内面：口縁部～胴部横ナデ。	
8	土師器 甕	床面+19cm 胴部下位～底部 破片	口径 — 底径 6.3 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・雜礫 ② 酸化焼 良好 ③ に近い赤褐色(YR 4/3)	胎部貼付。 外面：胴部下半縦方向、底部不定方向へのろり。 内面：ナデ。	

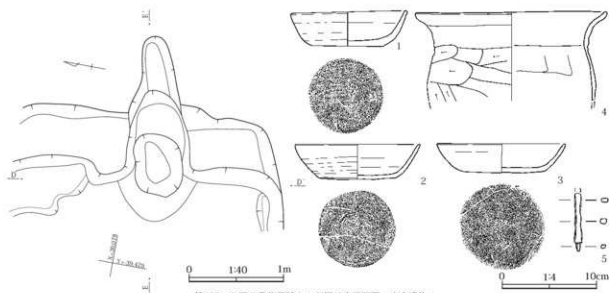
8区7号住居跡(旧称8区J)07)

位置：X=36,077 Y=-39,430 **主軸方向：**N-80° -E **規模：**約5.1m×3.1m **平面形状：**隅丸長方形
残存深度：46cm～65cm **埋没土：**埴土・炭化物を含む黒褐色土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。また、埋土中に8・9号溝跡の氾濫時にオーバーフローしたにぶい黄褐色砂質土がブロック状に混入することから、本住居跡の埋没時期は溝跡の氾濫後と推察される。 **床面：**掘り方を持たないため、地山ローム面を床面とする。
カマド：北東壁中央やや南東寄りに位置する。両袖は一部が残るのみ。燃焼部から煙道部にかけての使用面で埴土を含んだ灰層の良好な堆積が認められる。燃焼部は平坦で、煙道部は傾斜し端部で急峻に立ち上がる。
柱穴：なし。 **貯蔵穴：**なし。 **壁周溝：**カマド周辺を除く壁下に、幅14～30cm深さ4～7cmを測る壁溝が巡る。
重複遺構：なし。 **掘り方：**カマドのみに掘り方をもつ。
出土遺物：埋土中からはほぼ完形の須恵器杯(No.1・2)が、また、カマド内より土師器甕(No.4)と須恵器杯(No.3)が出土する。



第496図 8区7号住居跡平・断面図、カマド平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物



第497 8区7号住居跡カド掘り方平面図、出土遺物

8区7号住居跡出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考		
1	須恵器 杯	床面+21cm ほぼ完形	口径 12.1 底径 7.5 高さ 3.9	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 良好 ③ 灰 (7.5/5.1)	ロケロ型形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転系切り後回転ヘラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	内外部に欠損が認められる。		
2	須恵器 杯	床面+23cm ほぼ完形	口径 13.0 底径 8.1 高さ 3.7	① 細砂粒 ② 還元焼 やや不良 ③ 灰 (10.8/7.2)	ロケロ型形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転ヘラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。			
3	須恵器 杯	遺埋土中 3/4	口径 13.4 底径 8.9 高さ 3.2	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 やや不良 ③ 灰 (4.3/6.2)	ロケロ型形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転系切り後ナデ。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。			
4	土師器 甕	電使直面上 口縁部一部上位 破片	口径 20.0 底径 — 高さ —	① 細砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰 (5.8/6.4)	ロケロ型形。 外面：口縁部横ナデ。胴部上位は横、中位縦方向のヘラ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部ヘラナデ。			
番号	種別	器種	状態	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	概要
5	鉄器	針	頭部	6.3	0.8	0.5	5.0	残存状態比較的良好。

8区8号住居跡(旧称8区5)-08)

位置：X=36,082 Y=-39,433 主軸方向：N-72° - E

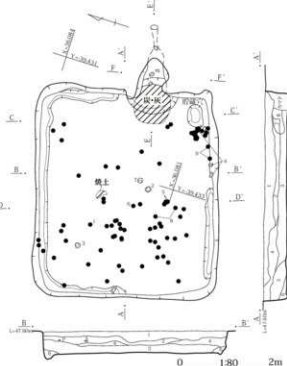
規模：約4.4m×3.9m 平面形状：隅丸長方形

残存深度：46cm～52cm 埋没土：白色軽石・炭化物を含む黒褐色土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。また、埋土中に8・9号溝跡の氾濫時にオーバーフローした白・黄褐色砂質土がブロック状に混入することから、本住居跡の埋没時期は溝跡の氾濫後と推察される。

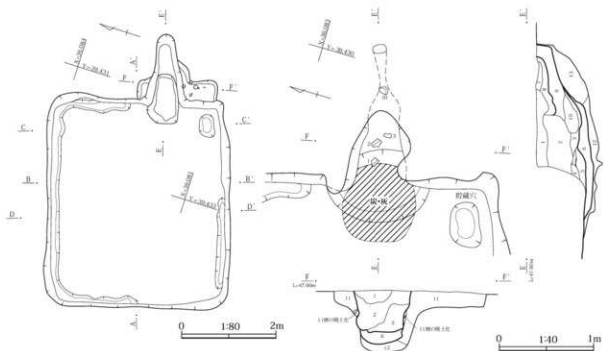


8号住居 埋土

- 1層 黒褐色土(0.8/2/1) 白色軽石粒・炭化物・焼土含む
- 2層 黒褐色土(0.8/2/1) 白色軽石粒・炭化物・焼土含む 黄色汎水ブロック含む
- 3層 黒褐色土(0.8/2/2) 白色軽石粒・炭化物・焼土含む 黄色汎水ブロック多い
- 4層 黒褐色土(0.8/2/3) 炭化物・焼土含む 黄色汎水ブロック多い
- 5層 黒褐色土(0.8/2/1) 黄色汎水ブロック含む 炭化物・焼土多い
- 6層 黒褐色土(0.8/2/1) 黄色汎水ブロック少量含む
- 7層 黒褐色土(0.8/4/3) 焼土・汎水ブロック多い
- 8層 白・褐色土(0.8/6/3) 黄色汎水ブロックが埋まっている [カマ下埋没土]
*黄色汎水ブロック=8・9号溝跡の氾濫一決壊によるオーバーフロー黄土砂質土



第498図 8区8号住居跡平・断面図



8号住居カマド 埋土

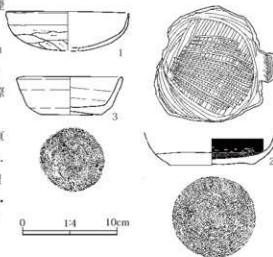
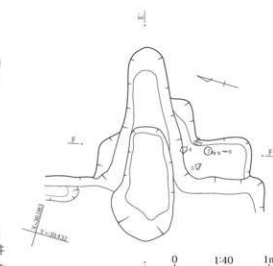
- 1層 灰黄色土(10R 4/2) 多量の淡黄色砂質ローム小ブロック(φ3~10mm)を含む
 - 2層 灰黄色土(10R 4/2) 少量の淡黄色砂質ローム粒子を含む
 - 3層 灰黄色土(10R 4/2) 少量の淡黄色砂質ローム粒子を含む
 - 4層 灰黄色土(10R 4/2) 少量の淡黄色砂質ローム小ブロック(φ5~10mm)と焼土小ブロックを含む
 - 5層 淡黄色砂質ローム土(2.5R 8/3) 多量の焼土ブロック(φ5~30mm)を含む (雨溝天井面)
 - 6層 灰層 少量の焼土粒子を含む 厚く良好な灰層
 - 7層 黒褐色土(10R 3/3) 多量の淡黄色砂質ローム小ブロック(φ10~20mm)・少量の焼土小ブロック(φ5~10mm)を含む
 - 8層 淡黄色砂質ローム土(2.5R 8/3) 少量の焼土小ブロック(φ5~10mm)を含む [天井部埋土]
 - 9層 ①淡黄色土(10R 4/3) 多量の淡黄色砂質ローム粒子と少量の焼土ブロックを含む しまり岩
 - 10層 ②淡黄色土(10R 4/3) 多量の焼土ブロック(φ5~20mm)を含む しまり岩
 - 11層 淡黄色砂質ローム土(2.5R 8/3) [天井部埋土]
 - 12層 ③淡黄色土(10R 4/3) 少量の淡黄色砂質ローム小ブロック(φ5~10mm)を含む [カマド掘り方埋土]
 - 13層 ④淡黄色土(10R 4/3) 多量の焼土小ブロック(φ5~15mm)を含む
- ※黄色系土ブロックs・g号跡跡の応急一決断によるオーバーフロー黄土砂質土

床面：掘り方を持たないため、地山ローム面を床面とする。

カマド：北東壁中央やや南東寄りに位置する。遺存状態は良好。袖部はわずかに残っている程度であるが、煙道部の一部では天井部がトンネル状に残る。燃焼部から煙道部にかけての使用面で焼土を含んだ灰層の良好な堆積が認められる。燃焼部は平坦で、煙道部は傾斜し端部で急峻に立ち上がる。柱穴：なし。

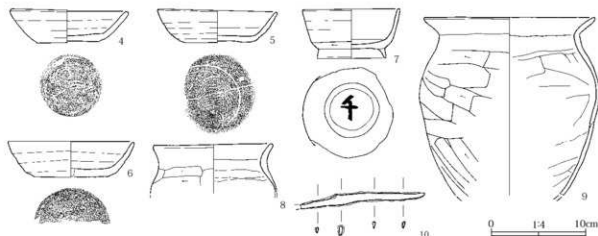
貯蔵穴：カマドの右側の住居南東コーナー付近にて径50×30cmの楕円形を呈し、深さ15cmを測る土坑跡が検出され、貯蔵穴となる可能性が高い。壁周溝：南東・南西コーナー部を除く壁際に、幅16~30cm、深さ2~8cmを測る壁溝が巡る。

重複遺構：なし。掘り方：カマドのみあり。出土遺物：床面直上では土師器杯(No. 1)が、床面付近ではほぼ完形の須恵器杯(No. 4)が、埋土中から黒色土師器(No. 2)が出土している他、埋土中より土師器杯裏(No. 8・9)、須恵器杯(No. 3・5・6)・椀(No. 7)片が出土している。このうち須恵器椀(No. 7)の底部には「千」の墨書文字が記されている。



第499図 8区8号住居跡掘り方平面図、カマド平・断面図、掘り方平面図、出土遺物

第3章 検出遺構と出土遺物



第500図 8区8号住居跡出土遺物

8区8号住居跡出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考		
1	土師器 杯	床面直上 口縁部～底部 1/3	口径 12.8 底径 — 器高 4.1	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 暗赤灰(2.5YR 3/1)	外面:口縁部横ナデ、底部は手持ちヘラ削り。 内面:口縁部～体部横ナデ。			
2	黒色土器 杯	床面+21cm 体部～底部 1/2	口径 — 底径 9.0 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 酸化焰 良好 内面黒色 ③ 厚	口コロ整形。回転右回り。 外面:体部回転ナデヘラ削り。 内面:体部横、底部格子状のヘラ磨き。			
3	須恵器 杯	床面+26cm 口縁部～底部 3/4	口径 10.9 底径 6.4 器高 4.1	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰 (7.5Y 5/1)	口コロ整形。回転右回り。 外面:口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面:口縁部～底部回転ナデ調整。			
4	須恵器 杯	床面+4cm ほぼ宍形	口径 12.2 底径 6.4 器高 3.7	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰 (7.5Y 6/1)	口コロ整形。回転右回り方。 外面:口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り後回転ヘラ削り。 内面:口縁部～底部回転ナデ調整。	やや歪みあり。		
5	須恵器 杯	床面+30cm 口縁部～底部 2/3	口径 12.5 底径 7.6 器高 3.6	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰 (5Y 5/8)	口コロ整形。 外面:口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り後、底部周縁は回転ヘラ削り。 内面:口縁部～底部回転ナデ調整。	外面に大層が認められる。		
6	須恵器 杯	床面+31cm 口縁部～底部 1/2	口径 13.2 底径 7.8 器高 3.8	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰 (6Y 6/1)	口コロ整形。 外面:口縁部～体部回転ナデ。底部回転ヘラ削り。 内面:口縁部～底部回転ナデ調整。			
7	須恵器 椀	床面+8cm 口縁部～底部 2/3	口径 10.2 底径 7.0 器高 5.2	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰 (10R 5/1)	口コロ整形。 外面:口縁部～体部回転ナデ。体部最下位回転ヘラ削り。 底部ヘラ調整。高台取付。 内面:口縁部～底部回転ナデ調整。	底部外面中央に「干」の墨書。		
8	土師器 甕	床面+6cm 口縁部～胴部 1/5	口径 12.4 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 濃い赤褐色(5YR 4/3)	輪削み 外面:口縁は横ナデ。胴部～胴部は横方向のヘラ削り。 内面:口縁はナデ。胴部は横方向のヘラナデ。			
9	土師器 甕	床面+6cm 口縁部～胴部 1/5	口径 18.0 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 粉 (7.5R 6/6)	輪削み 外面:口縁部は横ナデ。胴部は上位置。中・下位は斜め方向のヘラ削り。 内面:ナデ。			
番号	種別	器種	状態	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	概要
10	鉄器	刀子	柄端部欠損	13.2	1.2	0.8	11.0	酸化は進んでいるが残存状態は良好。

8区9号住居跡(旧称8区SJ-09)

位置: X=36,088 Y=-39,431 主軸方向: N-68°-E 規模: 約3.8m×5.1m 平面形状: 隅丸長方形

残存深度: 52cm～63cm 埋没土: 白色軽石・焼土・炭化物を含む暗赤褐色土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。また、埋土中に8・9号溝跡の氾濫時にオーバーフローした、多量のふい黄褐色砂質土がブロック状に混入することから、本住居跡の埋没時期は溝跡の氾濫後と推察される。

床面: 掘り方を持たないため、地山ローム面を床面とする。また、北東コーナー付近に他所よりやや高まったベッド状の平坦面が検出された。カマド: 2基のカマド跡が検出された。カマド1は北西壁中央やや北寄りに位置する。両袖共に残り、燃焼部から煙道部にかけての使用面には焼土と炭化物を含んだ厚い灰層の堆積が認められた。煙道部は比較的長く緩やかで端部は急峻に立ち上がる。カマド2は南東壁の東コーナー付近に位置する。袖部は残らず、燃焼部より袖の心材とした礫が出土している。燃焼部では厚い灰層の堆積が認められ、灰層面とやや間層をはさみ淡黄色砂質シルト土の崩落天井部材が堆積していることから、カマドの使用停止後に一定期間をおいて天井部の崩落があったものと推

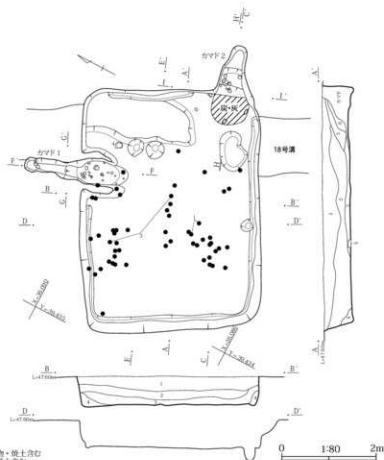
察される。以上の調査結果から、検出された2基のカマド跡は、同時に使用されたものではなく、カマド2を廃棄後にカマド1が造られ使用されたものと考えられる。**柱穴**：南東壁中央壁際に検出されたピットが柱穴となるものと考えられる。**貯蔵穴**：なし。

壁周溝：北東コーナー部とカマド周辺を除く壁際に、幅18～35cm、深さ1～6cmを測る壁溝が巡る。

重複遺構：18号溝跡と重複し、遺構確認時の埋土の様相より、本住居跡の方が新しいものと判断された。

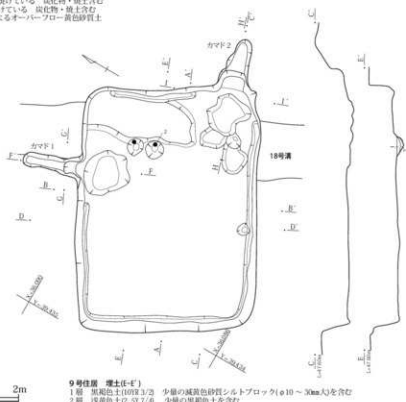
掘り方：カマドのみに掘り方を有する。

出土遺物：床面直上から土師器杯(No. 1)と須恵器蓋(No. 2)が出土した他、埋土中よりほぼ完形の須恵器杯(No. 3)や須恵器椀(No. 4)片が出土している。



9号住居 埋土

- 1層 暗赤褐色土(YR3/2) 白色軽石・炭化物・焼土含む
- 2層 暗赤褐色土(YR3/4) 黄色洪水ブロック少量含む 炭化物・焼土含む
- 3層 暗赤褐色土(YR3/6) 黄色洪水ブロック多い 炭化物・焼土含む
- 4層 濃い褐色土(YR4/0) 黄色洪水ブロック多い 炭化物・焼土含む
- 5層 濃い褐色土(YR4/0) 黄色洪水ブロック散っている 炭化物・焼土含む
- 6層 赤褐色土(YR4/6) 黄色洪水ブロック散っている 炭化物・焼土含む
- * 黄色洪水ブロック8・9号遺跡の遺産→後継によるオーバーフロー黄色砂質土

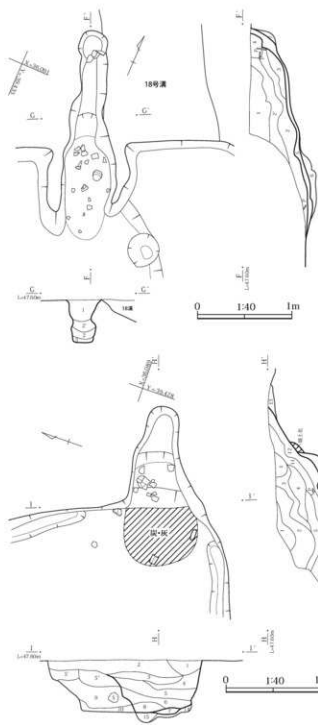


9号住居 埋土(左)

- 1層 黒褐色土(08R2/2) 少量の黒黄色砂質シルトブロック(φ10～30mm)を含む
- 2層 灰黄色土(YR7/6) 少量の黒褐色土を含む

第501図 8区9号住居跡平・断面図、掘り方平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物



第502図 8区9号住居跡カマド1・2平・断面図、出土遺物

8区9号住居跡出土遺物

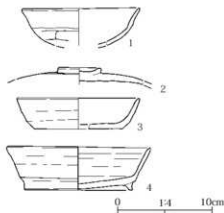
番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調			成形手法 調整手法	備考
1	土師器 鉢	床面直上	L径 12.4	① 細砂粒	良好	③ 黄 (5YR 6/6)	L縁部外反。 外面：L縁部横ナズ、底部はへう削り。 内面：L縁部～底部横ナズ。	
		口縁部～底部 1/7	底径 -	② 焼白 (5YR 7/2)				
2	須恵器 片蓋	床面直上	L径 4.4	① 細砂粒・粗砂粒・細糠	やや不良	③ 灰白 (2.5Y 8/2)	口コ口整然。 外面：天井部上半へう削り、横割付。 内面：天井部上半回転ナズ。	
		横部～天井部上半 1/3	② 還元焼					
3	須恵器 鉢	床面+3cm ほぼ完形	L径 12.8	① 細砂粒・粗砂粒・細糠	やや不良	③ 灰白 (5Y 7/2)	口コ口整然。 外面：L縁部～底部回転ナズ。底部はへう削り。 内面：L縁部～底部回転ナズ調整。	
			底径 9.4	② 還元焼				
4	須恵器 鉢	床面+8cm	L径 15.0	① 細砂粒・粗砂粒	良好	③ 灰白 (5Y 7/2)	口コ口整然。 外面：L縁部～底部横ナズ。底部はへう削り、高台取付。 内面：L縁部～底部回転ナズ調整。	
		口縁部～底部 2/3	底径 11.4	② 還元焼				
			踏高 4.6	③ 灰白 (2.5Y 7/1)				

9号住居カマド1 埋土

- 1層 灰褐色土(7.5YR 4/2) 少量の白色軽石(或は種名ニツ高)・淡黄色砂質ローム粒子を含む
- 2層 に近い黄褐色土(7.5YR 5/3) 少量の淡黄色砂質ローム粒子と多量の焼土小ブロック(φ5～15mm)を含む
- 3層 に近い黄褐色土(7.5YR 5/3) 2層より焼土量少ない
- 4層 暗褐色土(7.5YR 3/3) 焼土・灰化物少量含む
- 5層 灰層 少量の焼土小ブロック(φ5～10mm)・灰化物を含む
- 6層 に近い黄褐色土(7.5YR 5/3) 多量の砂質シルトブロック(φ5～20mm)を含むカマド組み方埋土
- 7層 暗褐色土(7.5YR 3/3) 微量の焼土粒子を含む [カマド組み方埋土]

9号住居カマド2 埋土

- 1層 灰褐色土(7.5YR 4/2) 微量の淡黄色砂質シルト小ブロック(φ5～10mm)・白色軽石(或は種名ニツ高)を含む
- 2層 灰褐色土(7.5YR 4/2) 少量の淡黄色砂質シルト小ブロック(φ5～15mm)を含む
- 3層 灰褐色土(7.5YR 4/2) 多量の淡黄色砂質シルト小ブロック(φ5～10mm)と少量の焼土粒子を含む
- 4層 灰褐色土(7.5YR 4/2) 少量の淡黄色砂質シルト小ブロック(φ5～10mm)と黒褐色土ブロック・焼土粒子を含む
- 5層 淡黄色砂質シルト土(7.5YR 8/3) 天井部構架材の崩壊
- 5層 淡黄色砂質シルト土(7.5YR 8/3) 5層の砂質シルトブロックが粗くブロック状に崩壊
- 5層 淡黄色砂質シルト土(7.5YR 8/3) 5層より砂質シルトの混入量が少ない
- 6層 暗褐色土(7.5YR 3/3) 少量の淡黄色砂質シルト小ブロック(φ5～15mm)・焼土小ブロック(φ5～15mm)を含む
- 7層 灰層 少量の焼土小ブロック(φ5～10mm)を含む
※灰層 使用面と床面天井部との間に、須恵器破片がはさまる。使用面止後に剪断をおいて天井部の崩壊があったものと推察される
- 8層 暗褐色土(7.5YR 3/3) 多量の焼土小ブロック(φ5～10mm)を含む(天井部壁土崩壊)
- 9層 暗褐色土(7.5YR 3/3) 少量の焼土小ブロック・淡黄色砂質ロームブロック(φ10～30mm)を含む
- 10層 暗褐色土(7.5YR 3/3) 微量の淡黄色砂質ロームブロック(φ10～30mm)を含む
- 11層 に近い黄褐色土(7.5YR 5/3) 多量の淡黄色砂質シルト小ブロック(φ5～15mm)と少量の焼土小ブロック(φ5～10mm)を含む
- 12層 に近い黄褐色土(7.5YR 5/3) 多量の淡黄色砂質ロームブロック(φ5～20mm)を含む(天井部崩壊土)
- 13層 灰褐色土(7.5YR 4/2) 微量の白色軽石と焼土粒子を含む
- 14層 に近い黄褐色土(7.5YR 4/2) 少量の淡黄色砂質ロームブロック(φ10～30mm)を含む [カマド組み方埋土]
- 15層 暗褐色土(7.5YR 3/3) 少量の灰化物・淡黄色砂質ローム粒子を含む



8区10号住居跡(旧称8区S1-10)

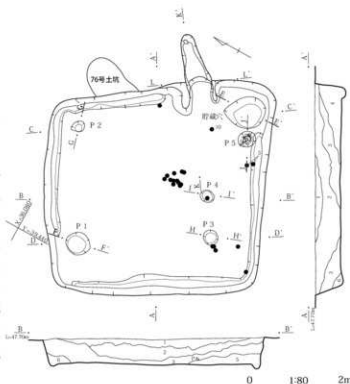
位置: X=36,078 Y=-39,438

主軸方向: N-65°-E 規模: 約4.3m×4.6m

平面形状: 歪んだ隅丸方形

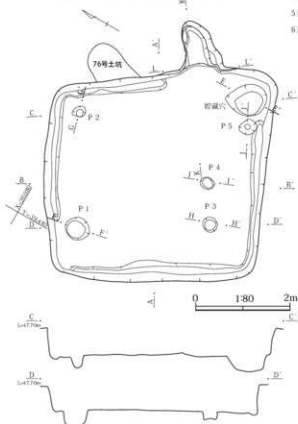
残存深度: 50cm~61cm 埋没土: 白色軽石・焼土粒・炭化物・ロームを含む暗褐色~灰黄褐色土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。また、埋土中に8・9号溝跡の氾濫時にオーバーフローした、多量のふい黄褐色砂質土がブロック状に混入することから、本住居跡の埋没時期は溝跡の氾濫後と推察される。

床面: 掘り方を持たないため、地山ローム面を床面とする。カマド: 北東壁中央南東寄りに位置する。カマドの軸方向が住居主軸方向に対してやや北にずれる。遺存状況は比較的良好で、燃焼部から煙道部にかけての使用面には焼土を含んだ灰が厚く堆積し、灰層直上には土井部材の崩落が認



10号住居貯蔵穴 埋土

- 1層 灰黄褐色土(010R 4/2) 多量の焼土小ブロック(φ5~10mm)・炭化物・砂質シルト小ブロック(φ5~10mm)を含む
- 2層 ふい黄褐色土(010R 5/4) 多量の淡黄色砂質ローム小ブロック(φ5~10mm)を含む
- 3層 ふい黄褐色土(010R 5/4) 多量の淡黄色砂質ローム小ブロック(φ5~10mm)・少量の焼土粒子・炭化物を含む



10号住居 埋土

- 1層 黒褐色土(010R 3/3) 多量の白色軽石(010R軽石・峰名コウ軽石)・焼土粒子と少量の淡黄色砂質ローム粒子・炭化物を含む
- 2層 灰褐色土(7.51R 4/2) 少量の淡黄色砂質ローム小ブロック(φ5~30mm)・焼土粒子・白色軽石を含む
- 3層 灰黄褐色土(010R 4/2) 微量の白色軽石・淡黄色砂質ローム小ブロック(φ5~10mm)を含む
- 4層 ふい黄褐色土(010R 5/3) 少量の淡黄色砂質ローム小ブロック(φ5~30mm)と黒褐色土小ブロック(φ10~40mm)を含む
- 5層 ふい黄褐色土(010R 5/4) 多量の淡黄色砂質ローム小ブロック(φ5~30mm)と黒褐色土小ブロック(φ10~30mm)を含む
- 6層 ふい黄褐色土(010R 5/4) 多量の黒褐色土を含む

10号住居P1 埋土

- 1層 灰褐色土(010R 4/1) 多量の淡黄色砂質ローム小ブロック(φ10~30mm)を含む

10号住居P2・P3 埋土

- 1層 灰黄褐色土(010R 5/2) 多量の淡黄色砂質ローム小ブロック(φ5~20mm)を含む
- 2層 ふい黄褐色土(010R 7/3) 灰褐色土を含む

10号住居P4 埋土

- 1層 ふい黄褐色土(010R 5/3) 多量の淡黄色砂質ローム小ブロック(φ5~10mm)・炭化物・焼土小ブロックを含む

められる。煙道部は緩やかに傾斜し、端部で急峻に立ち上がる。袖部は淡黄色砂質ロームを含むふい黄褐色土で構築されている。柱穴: 5基のピットを検出し、径22~53cm 深さ12~38cmを測る。

貯蔵穴: カマドの右側にあたる住居東コーナー付近で検出され、径87×68cmの楕円形を呈し、深さ30cmを測る。

壁周溝: 住居東コーナー~カマド付近、および西コーナー部を除く壁際に、幅25~38cm、深さ2~11cmを測る壁溝が巡る。

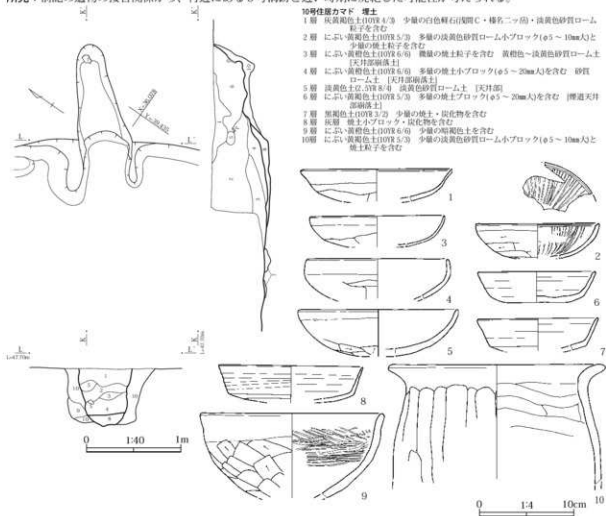
重複遺構: 76号土坑跡と重複し、遺構確認~掘削時の埋土の様相より、本遺構の方が新しいものと判断される。掘り方: カマドのみに掘り方を有する。掘り方土

第503 8区10号住居跡平・断面図、掘り方平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物

(カマド壁・袖構築土)内には焼土が含まれ、修復の痕跡がうかがえる。**出土遺物**：貯蔵穴のすぐ脇にあるピット5からは口縁部が欠損した土師器甕 (No.10) 片が、床面直上では土師器杯 (No. 5) 片が出土している他、埋土中からは暗文のある土師杯 (No. 1・2・3・4) や黒色土器鉢 (No. 9)、須恵器杯 (No. 6・7・8) が出土している。そのうち、黒色土器鉢 (No. 9) は9号溝埋土中出土のものと接合される。

所見：前記の遺物の接合関係から、付近にある9号溝跡と近い時期に廃絶した可能性が考えられる。



第504図 8区10号住居跡カマド平・断面図、出土遺物

8区10号住居跡出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 保存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	埋土中 口縁部～底部	口径 15.7 底径 - 器高 -	① 細砂粒 良好 ② 酸化焰 良好 ③ 赤褐色 (7.5YR 6/4)	土師部外反。	
2	土師器 杯	埋土中 口縁部～底部	口径 13.0 底径 - 器高 1/6	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 明赤褐色 (5Y 5/6)	外面：口縁部横ナデ、底部はへう割り。 内面：口縁部～底部ナデ。	
3	土師器 杯	埋土中 口縁部～底部	口径 14.1 底径 - 器高 1/6	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 明赤褐色 (5Y 5/6)	外面：口縁部横ナデ、底部はへう割り。 内面：口縁部～底部ナデ。	
4	土師器 杯	埋土中 口縁部～底部	口径 14.7 底径 - 器高 1/6	① 細砂粒 良好 ② 酸化焰 良好 ③ 赤褐色 (10YR 6/6)	外面：口縁部横ナデ、底部はへう割り。 内面：口縁部～底部ナデ。	
5	土師器 杯	床面直上 口縁部～底部	口径 16.6 底径 - 器高 1/3	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 灰黄褐色 (10 YR 6/2)	外面：口縁部に輪積痕が残る。口縁部は上半分横ナデ、下半分～底部ナデ。 内面：口縁部～底部ナデ。	
6	須恵器 杯	埋土中 口縁部～底部	口径 12.4 底径 6.3 器高 3.3	① 細砂粒・粗砂粒 良好 ② 還元焰 良好 ③ 灰 (7Y 7/3)	口クワ成形。回転石回り。 外面：口縁部～底部回転ナデ。底部回転へう割り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
7	須恵器 杯	埋土中 口縁部～底部	口径 12.7 底径 - 器高 -	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白 (5Y 7/1)	口クワ成形。 外面：口縁部～底部回転ナデ。底部回転へう割りか。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
8	須恵器 杯	埋土中 口縁部~底部 1/5	口径 15.0 底径 — 高さ —	① 羅紗粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰 (N 5/1)	ロウロ型取。 外面：口縁部横ナデ。底部へう削り。 内面：口縁部~底部ナデ。	
9	黒色土器 鉢	埋土中 口縁部~体部下 1/2	口径 19.2 底径 — 高さ —	① 羅紗粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 内面黒色 ③ にぶい黄褐色 (10YR 7/3)	輪削み。 外面：口縁部横ナデ。体部へう削り。 内面：口縁部上半横ナデ、下半~体部に雫なへう磨き。	9号溝埋土中の 破片と接合。
10	土師器 甕	床面+46cm 口縁部~胴部上半 破片	口径 22.0 底径 — 高さ —	① 羅紗粒・粗砂粒・細糠 ② 還元焰 良好 ③ にぶい相対R 6/4	輪削み。 外面：口縁部横ナデ。胴部~底部へう削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部~底部へうナデ。	

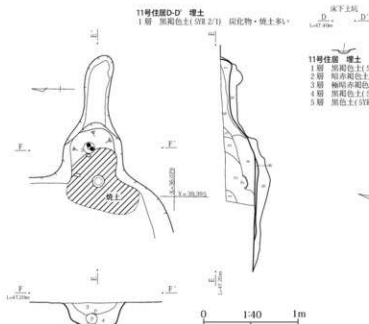
8区11号住居跡(旧称8区S1-11)

位置：X=36,080 Y=-39,396 主軸方向：N-80° - E

規模：約3.5m×2.3m 平面形状：隅丸長方形

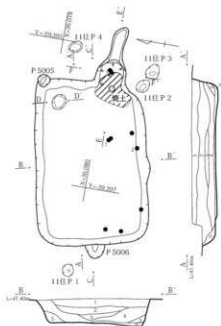
残存深度：48cm~54cm 埋没土：白色軽石・焼土粒・炭化物を含む黒褐色土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。また、埋土中に8・9号溝跡の泥濘時にオーバーフローした、多量のにぶい黄褐色砂質土がブロック状に混入することから、本住居跡の埋没時期は溝跡の泥濘後と推察される。床面：掘り方を持たないため、地山ローム面を床面とする。カマド：東壁の南コーナー部寄りに位置する。カマドの軸方向が住居主軸方向に対してやや南にずれる。遺存状態はあまり良くないが、燃焼部使用面には炭化物を含んだ灰が薄く堆積する。

柱穴：北東コーナー部に位置する5005号Pitが、壁柱穴となる可能性がある。貯蔵穴：住居の北東部で径34×30cm、深さ10cmを測り、埋土中に炭化物と焼土を多く含む土坑の掘り込みが検出されるが、貯蔵穴と



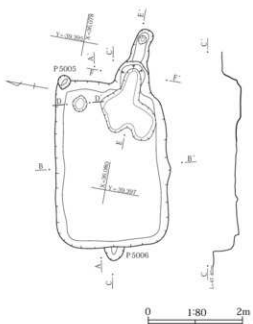
11号住居カマド 埋土

- 1層 灰褐色土(10YR 4/2) 多量の淡黄色砂質ロームブロック(φ10~40mm)を含む
- 2層 灰褐色土(10YR 4/2) 黄褐色の淡黄色砂質ローム粒子を含む
- 3層 灰褐色土(10YR 4/2) 少量の淡黄色砂質ローム小ブロック(φ5~15mm)を含む
- 4層 灰褐色土(10YR 4/2) 多量の淡黄色砂質ローム粒子・焼土ブロック(φ5~20mm)を含む
- 5層 灰褐色土(10YR 4/2) 少量の淡黄色砂質ローム粒子・灰褐色土を含む
- 6層 焼土土色(5YR 6/8) 黄褐色の灰褐色土・焼土を含む
- 7層 灰褐色土(10YR 4/2) 少量の淡黄色砂質ロームブロックを含む
- 8層 灰層 多量の焼土小ブロック(φ5~10mm)・炭化物を含む
- 9層 二色・黄褐色土(10YR 5/8) 多量の淡黄色砂質ロームブロック(φ5~30mm)を含む [付マで厚り方測上]



11号住居 埋土

- 1層 灰褐色土(5YR 2/1) 白色軽石・炭化物・焼土を含む
- 2層 灰赤褐色土(5YR 3/3) 黄色の洪水ブロック多く含む 炭化物・焼土少量含む
- 3層 暗赤褐色土(5YR 2/2) 黄色の洪水ブロック少ない 炭化物・焼土少量含む
- 4層 灰褐色土(5YR 2/2) 黄色洪水ブロック稀少 炭化物多い 焼土少量含む
- 5層 黒褐色土(5YR 1.7/1) 若干白色軽石を含む



第505図 8区11号住居跡平・断面図、掘り方平・断面図、カマド平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物

は断定できない。壁周溝：なし。 **重複遺構**：調査時に重複遺構として5005・5006号Pitとしたが、いずれも本遺構に伴うものと考えられ、5005号Pitは柱穴、5006号Pitは位置的に出入り口施設に伴うものと考えられる。

掘り方：カマドのみに掘り方を持つ。 **出土遺物**：カマド内よりほぼ完形の須恵器杯（No. 2）と台部を欠失した土師器の台付糞（No. 3）が、また、埋土中から須恵器杯（No. 1）が出土している。



第506図 8区11号住居跡出土遺物

8区11号住居跡出土遺物

番号	種類 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②構成 ③色調			成形手法	備考
							調整手法	
1	須恵器 杯	床面+15cm ①縁部～底部 ②1/5	口径 12.6 底径 8.0 器高 3.4	① 羅砂粒・粗砂粒 ② 泥元胎 不良 ③ 灰 (5.6/1)	ロクロ整形。 外面：①縁部～体部回転ナデ。底部へラ削り。 内面：①縁部～底部回転ナデ調整。			
2	須恵器 杯	埋埋土中 ほぼ完形	口径 13.2 底径 8.0 器高 3.9	① 羅砂粒・粗砂粒・細糠 ② 泥元胎 やや不良 ③ にぶい黄褐色(10YR 6/3)	ロクロ整形。 外面：①縁部～体部回転ナデ。底部回転へラ削り。 内面：①縁部～底部回転ナデ調整。			
3	土師器 台付糞	埋埋土中 ①縁部～胴部 台部のみ欠損	口径 11.1 底径 4.2 器高 —	① 羅砂粒・粗砂粒 ② 微化塩 良好 ③ 粗灰(7.5YR 5/1)	編織み。台部陥存。 外面：①縁部横ナデ。胴部上位へラ削り。胴部中位・下位へラ削り。 内面：①縁部横ナデ。胴部～底部ナデ。一部陥存。			

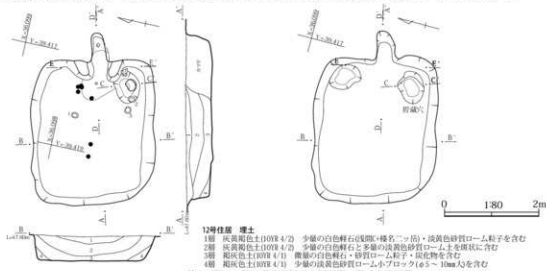
8区12号住居跡(旧称8区S1-12)

位置：X=36,097 Y=-39,418 **主軸方向**：N-76°-E **規模**：約3.1m×2.6m **平面形状**：隅丸長方形

残存深度：48cm～59cm **埋没土**：白色軽石・ローム粒を含む灰黄褐色～褐灰色土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。また、埋土中に8・9号溝跡の氾濫時にオーバーフローした、多量のにぶい黄褐色砂質土が狭かに混入することから、本住居跡の埋没時期は溝跡の氾濫後と推察される。 **床面**：掘り方を持たないため、地山ローム面を床面とする。 **カマド**：北東壁のほぼ中央に位置する。燃焼部使用面には黄土と炭化物を含んだ灰層の厚い堆積が認められる。袖は淡黄色砂質ロームを用いて構築され、袖にしている。煙道部は比較的短く、端部は急峻に立ち上がる。

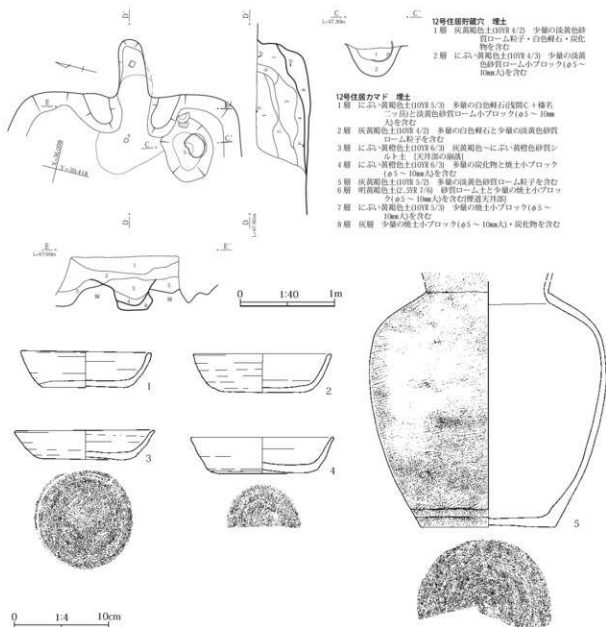
柱穴：なし。 **貯蔵穴**：カマドの右側住居南東コーナー部にて、径70×50cm深さ34cmを測る貯蔵穴を検出する。

壁周溝：なし。 **重複遺構**：なし。 **掘り方**：カマドのみに掘り方を持つ。 **出土遺物**：床面直上でほぼ完形の須恵器杯（No. 2）が出土した他、埋土中からほぼ完形の須恵器杯（No. 1）や、黒色土器の小片が出土している。また、貯蔵穴埋土内よりほぼ完形の須恵器杯（No. 3）と糞（No. 5）が、カマド内より須恵器杯（No. 4）が出土している



第507図 8区12号住居跡平・断面図、掘り方平面図

第2節 奈良・平安時代の遺構と遺物



12号住居跡6穴 埴土

- 1層 灰黄褐色土(10R 4/2) 少量の淡黄色砂質ローム粒を含む
- 2層 濃い黄褐色土(10R 4/3) 少量の淡黄色砂質ローム小ブロック(φ5~10mm)を含む

12号住居跡カマド 埴土

- 1層 濃い黄褐色土(10R 5/3) 多量の白色細石(炭灰)と極少量の淡黄色砂質ローム小ブロック(φ5~10mm)を含む
- 2層 灰黄褐色土(10R 4/2) 多量の白色細石と少量の淡黄色砂質ローム粒を含む
- 3層 濃い黄褐色土(10R 6/3) 灰黄褐色に濃い黄褐色砂質シルト土 (灰井部の崩壊)
- 4層 濃い黄褐色土(10R 6/3) 多量の炭化物と焼土小ブロック(φ5~10mm)を含む
- 5層 灰黄褐色土(10R 5/2) 多量の淡黄色砂質ローム粒を含む
- 6層 明黄褐色土(10R 7/3) 砂質ローム土と少量の焼土小ブロック(φ5~10mm)を含む(埋没層上部)
- 7層 濃い黄褐色土(10R 5/3) 少量の焼土小ブロック(φ5~10mm)を含む
- 8層 灰層 少量の焼土小ブロック(φ5~10mm)・炭化物を含む

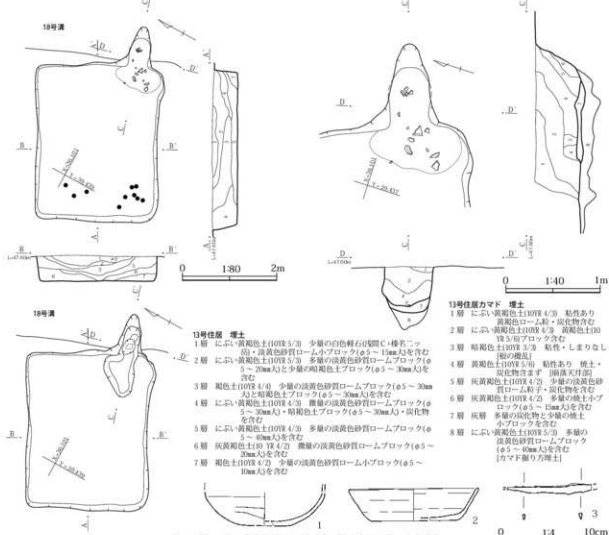
第508図 8区12号住居跡カマド平・断面図、出土遺物

8区12号住居跡出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	床面+15cm ほぼ完形	口径 13.5 底径 8.4 器高 3.8	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 やや不良 ③ 灰黄 (2.5Y 7/2)	口ワ口整形。回転右回り。 外面：口縁部～底部回転ナデ。底部回転へラ削り後、未調整。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
2	須恵器 杯	床面直上 ほぼ完形	口径 14.2 底径 9.1 器高 4.2	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰黄(2.5Y 6/2)	口ワ口整形。 外面：口縁部～底部回転ナデ。底部回転へラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
3	須恵器 杯	貯蔵穴埋土中 ほぼ完形	口径 14.5 底径 8.3 器高 3.2	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白 (2.5Y 7/1)	口ワ口整形。回転右回り。 外面：口縁部～底部回転ナデ。底部回転糸切り後周辺部を回転へラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	歪みあり。
4	須恵器 杯	埋戻土中 口縁部～底部 1/2	口径 14.8 底径 8.8 器高 3.8	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 濃い黄褐色(10R 7/2)	口ワ口整形。回転右回り。 外面：口縁部～底部回転ナデ。底部回転糸切り後周辺部を回転へラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
5	須恵器 甕	貯蔵穴埋土中 口縁部～底部 1/2	口径 — 底径 14.2 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰白 (5Y 7/2)	口ワ口整形。 外面：口縁部～胴部平打ち目取。底部回転へラ削り。 内面：口縁部～胴部上半回転ナデ調整。胴部下半ナデ調整。筋痕あり。	底部外面中央に へラ記号「+」

8区13号住居跡(旧称8区S1-13)

位置：X=36,100 Y=-39,438 主軸方向：N-66°-E 規模：約3.3m×2.5m 平面形状：隅丸長方形
 残存深度：47cm～53cm 埋没土：白色軽石・ロームブロックを含むにふい黄褐色土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。また、埋土中に8・9号溝跡の氾濫時にオーバーフローした、多量のにふい黄褐色砂質土が現状に混入することから、本住居跡の埋没時期は溝跡の氾濫後と推察される。床面：掘り方を持たないため、地山ローム面を床面とする。カマド：北東壁の南東コーナー寄りに位置する。燃焼部使用面には焼土と炭化物を含んだ灰層の堆積が認められ、この灰層直上には粘性のある天井部材が崩落している。煙道部は短く、急峻に立ち上がる。
 柱穴：なし。貯蔵穴：なし。壁周溝：なし。重複遺構：18号溝跡と重複し、遺構確認時の埋土の様相より、本住居跡の方が新しいものと判断される。掘り方：カマドのみに掘り方を有する。
 出土遺物：埋土中から土師器杯(No.1)と須恵器杯(No.2)の破片が出土している他は、わずかな出土状態である。



8区13号住居跡出土遺物

第509図 8区13号住居跡平・断面図、掘り方平面図、出土遺物

番号	器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調			成形手法 調整手法		備考
				①	②	③	①	②	
1	土師器 椀	埋土中 口縁部～底部 1/6	口径 5.4 底径 5.4 器高 1.6	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化良好 ③ にふい赤褐色 (2.5YR 4/3)	外面：口縁部擦子打。底部～底面はヘラ削り。 内面：口縁部～体部擦子打。				
2	須恵器 杯	埋土中 口縁部～底部 1/5	口径 13.5 底径 9.0 器高 3.4	① 細砂粒・粗砂粒・細礫・中礫 ② 還元命 良好 ③ 青灰(5B 5/1)	口縁部擦子打。口縁部平不内外。 内面：底部に擦子打。底面は転系切。内面：底面は転系調整。				
番号	種別	器種	状態	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)	摘要	
3	鉄器	刀子	刃部大半欠損	8.9	1.1	0.4	6.0	錆化が進んでいる。	

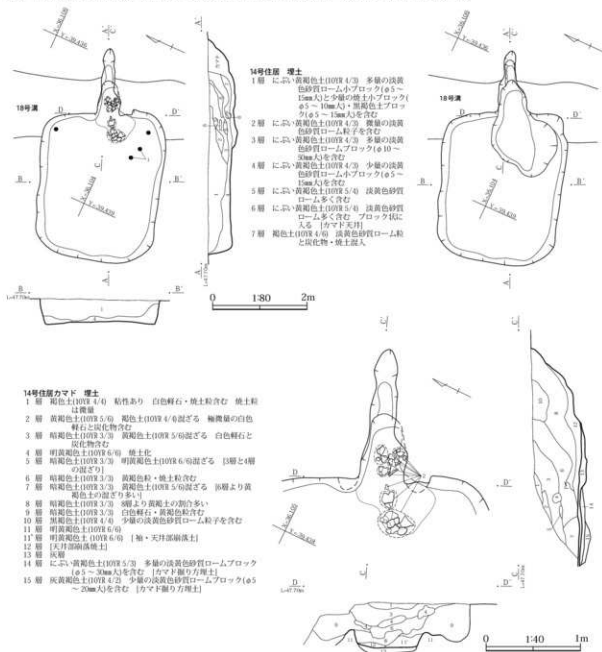
8区14号住居跡(旧称8区5J-14)

位置：X=36,104 Y=-39,438 主軸方向：N-67°-E 規模：約3.1m×2.6m 平面形状：隅丸長方形
 残存深度：38cm～54cm 埋没土：ロームブロック・黒褐色土ブロックなどを含むいぶい黄褐色土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。また、埋土中に8・9号溝跡の氾濫時にオーバーフローした、多量のいぶい黄褐色砂質土が斑状に混入することから、本住居跡の埋没時期は溝跡の氾濫後と推察される。

床面：掘り方を持たないため、地山ローム面を床面とする。カマド：北東壁中央や南東寄りに位置する。燃焼部使用面には灰層の堆積が認められ、灰層直上には焼土化した天井部材が崩落している。袖は砂質ロームで構築され、煙道部は長く緩やかに立ち上がる。柱穴：なし。貯蔵穴：なし。壁周溝：なし。

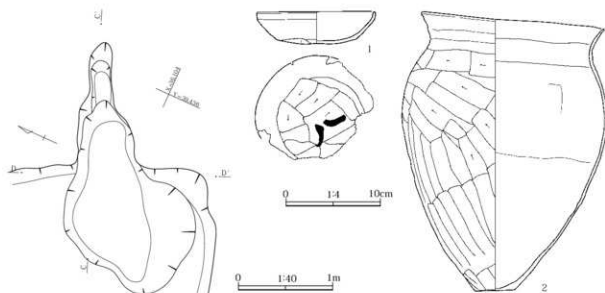
重複遺構：18号溝跡と重複し、遺構確認時の埋土の様相より、本住居跡の方が新しいものと判断される。

掘り方：カマドのみに掘り方を有する。出土遺物：カマドで比較的多く出土したが、他はわずかな出土状態である。カマド使用面で土師器裏(No. 2)の、埋土中からは土師器杯(No. 1)が出土している。



第510図 8区14号住居跡平・断面図、掘り方平面図、カマド・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物



第511図 8区14号住居跡カド掘り方平面図、出土遺物

8区14号住居跡出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	床面+32cm L縁部~底部 1/2	L径 12.4 底径 - 器高 3.5	① 凝砂粒・粗砂粒 ② 焼化場 良好 ③ におい・匂(5YR 6/4)	L縁部やや内湾。 外面：L縁部横ナデ、底部ナデ、側部は手持ちへつくり。 内面：L縁~底部横ナデ。	底部外面に墨書。
2	土師器 甕	遺使用面直上 L縁部~底部 3/4	L径 19.3 底径 4.2 器高 29.5	① 凝砂粒・粗砂粒 ② 焼化場 良好 ③ 匂(5YR 7/6)	輪埴み。 外面：L縁部横ナデ。肩部は上位縁方向のへつくり。中・下位斜め方向のへつくり。底部へつくり。 内面：L縁部横ナデ、側部~底部ナデ。	胴下半面に墨書あり。

8区15号住居跡(旧称8区J-15)

位置：X=36,121 Y=-39,425 主軸方向：N-82°-E

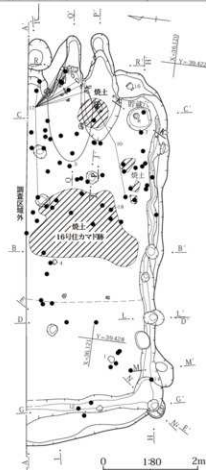
規模：約4.8×不明 平面形状：隅丸長方形 残存深度：51cm~54cm

埋没土：白色軽石・黒褐色土ブロック・焼土粒・炭化物を含む灰黄褐色~褐灰色土で埋没し、その堆積状況は自然埋没の様相を呈する。

床面：掘り方埋土であるロームを主体とした明黄褐色土で埋め固めて床面としている。カマド：東壁の中央南寄りに位置する。並行する2基のカマド跡が検出され、南側を南カマド、北側を北カマドと称した。南寄りにある南カマドは、その遺存状態から北カマドに先行して構築されたものと判断された。燃焼部使用面には良好な灰層の堆積が認められ、その直上には崩落した天井部が残る。燃焼部は平坦で、煙道部は急峻に立ち上がる。北側に位置する北カマドは、南カマドの崩落した天井部材をそのまま右袖部に転用していることなどから、南カマドの廃絶後これを埋め戻して北カマドを構築しているものと判断された。北カマドも燃焼部を中心に灰が厚く堆積しており、その直上には焼土化した天井部の崩落が認められた。燃焼部は平坦で、煙道部は急峻に立ち上がる。南・北の2基のカマド跡は、ほぼ規模を同じくし、構築方法も共通する。先行する南カマドの遺存状態から推察する限り、損傷したとしても修復して継続使用が可能な範囲と考えられ、廃絶し真横に新設する要因は明らかではない。

柱穴：南東コーナーから南西コーナーにかけての壁際にほぼ等間隔で設けられたP1・2・3・4・6が壁柱穴になるものと思われる。

貯蔵穴：南カマドの右側、住居南東コーナー付近において、径54×50cm深



第512図 8区15号住居跡遺物出土図

さは30cmを測る貯蔵穴が検出された。

壁周溝：南壁において幅23～43cm、深さ1～4cmを測る壁周溝が検出され、後述の16号住居跡の壁溝を延長する形で設けられたものと考えられる。

重複遺構：本遺構のカマドの北側に土坑跡が1基検出され、遺構確認時の埋土の様相より本遺構よりも新しいと思われる。

掘り方：全体に4～18cmほど掘り窪める。

出土遺物：床面直上から須恵器長頸壺（No.15）や石製紡錘車（No.18）、カマド埋土内からほぼ完形の須恵器杯（No.10）・杯（No.13）や土師器甕（No.17）、貯蔵穴埋土内より完形の須恵器杯（No.8）、埋土中から完形の土師器台付甕（No.16）、ほぼ完形の須恵器杯（No.4）・蓋（No.2・3）、底部外面に「土」の墨書のある須恵器杯（No.12）や須恵器蓋（No.1）、土師器鉢（No.14）、掘り方埋土中から須恵器杯（No.6・7）双耳杯（No.11）などが出土した。また、住居南壁際直下で礫が6個連なって出土し、礫の径は大きいもので14cm、小さいものでは4cmを測る。



16号住居P4・6 埋土

- 1層 暗褐色土(10YR 3/3) 少量の白色輝石と淡黄色砂質ローム粒子を含む
- 2層 暗褐色土(10YR 3/3) 多量の淡黄色砂質ロームブロック(φ5～10mm)を含む
- 3層 暗褐色土(10YR 3/3) 少量の炭化物を含む しまり掘



16号住居P5 埋土

- 1層 赤い黄褐色土(10YR 6/4) 少量の白色輝石と黄土粒子を含む
- 2層 赤い黄褐色土(10YR 6/4) マンガン粒を含む



16号住居P0-0' 埋土

- 1層 黒褐色土(10YR 3/2) 少量の炭化物を含む



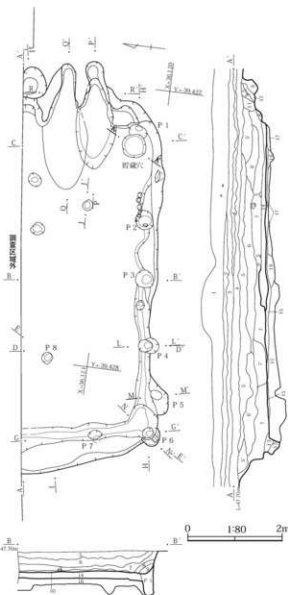
15号住居P1 埋土

- 1層 暗褐色土(10YR 4/1) 少量の白色輝石・黄土粒子を含む
- 2層 灰黄褐色土(10YR 4/2) 多量の淡黄色砂質ローム粒子を含む
- 3層 暗褐色粘質土 [住居掘り方埋土]



15・16号住居貯蔵穴 埋土

- 1層 明黄褐色土(10YR 7/6) 微小の黄褐色の粒子を含む
- 2層 暗褐色土(10YR 4/1)
- 3層 明黄褐色土(10YR 7/6) 微小の暗褐色の粒子を含む φ10mm程度の黄土ブロックを少量含む
- 4層 灰黄褐色土(10YR 4/2) φ10mm程度の炭化物のブロック・微小の明黄褐色の粒子を少量含む
- 5層 黄褐色土(10YR 7/6) 明黄褐色の粒子・黄土を少し含む 砂質



15・16号住居 埋土

- 1層 灰黄褐色砂質土(10YR 4/2) 表土 [四脚土]
- 2層 赤褐色土(5YR 4/4) 多量の褐色粒を含む 一部に純磁鉄粒を挟み 酸化し変色する
- 3層 黒褐色土(10YR 3/1) 多量の白色輝石(径約0.5～1mm)を含む
- 4層 灰黄褐色砂質土(10YR 6/2～4/2) 少量の白色輝石と微量の黄土小ブロック(φ5～10mm)を含む
- 4層 灰黄褐色砂質土(10YR 6/2) 少量の白色輝石と微量の黄土小ブロック(φ5～10mm)を含む
- 5層 灰黄褐色土(10YR 4/2) 多量の白色輝石(径約0.5～1mm)と少量の黒褐色土小ブロック(φ10～30mm)・黄土粒子・炭化物を含む
- 5層 灰黄褐色土(10YR 4/2) 5層土に類似し 黄土粒子・炭化物を多く含む
- 6層 赤い黄褐色土(10YR 4/3) 多量の明黄褐色砂質ローム小ブロック(φ5～30mm)と少量の黒褐色土小ブロック(φ10～30mm)・黄土粒子・炭化物・白色輝石を含む
- 6層 赤い黄褐色土(10YR 4/3) 6層土に類似し 黄土粒子をより多く含む
- 7層 赤褐色土(10YR 4/1) 少量の白色輝石・炭化物を含む
- 7層 赤い黄褐色土(10YR 5/3) 少量の明黄褐色砂質ローム小ブロック(φ10～30mm)・黒褐色土小ブロック(φ10～30mm)を含む
- 8層 暗褐色土(10YR 4/1) 多量の明黄褐色砂質ローム小ブロック(φ10～30mm)を含む
- 9層 暗褐色土(10YR 4/1) 少量の明黄褐色砂質ローム粒子・黄土粒子を含む
- 10層 暗褐色土(10YR 4/1) 多量の炭化物と少量の黄土小ブロック(φ5～10mm)を含む
- 11層 灰黄褐色土(10YR 4/2) 多量の明黄褐色砂質ローム小ブロック(φ5～10mm)と少量の白色輝石・黄土粒子を含む
- 12層 灰黄褐色土(10YR 4/2) 多量の明黄褐色砂質ローム小ブロック(φ5～10mm)・黄土小ブロック(φ5～10mm)を含む
- 13層 赤い黄褐色土(10YR 5/3) 多量の明黄褐色砂質ローム小ブロック(φ5～15mm)を含む
- 13層 赤い黄褐色土(10YR 4/3) 多量の明黄褐色砂質ローム小ブロック(φ5～15mm)を含む
- 14層 明黄褐色土(10YR 6/6) 明黄褐色砂質ローム土と灰黄褐色土の混生 [5(16)・15(掘り方埋土)]
- 15層 暗褐色土(10YR 4/1) 少量のローム粒子・黄土粒子を含む [掘り方埋土]
- 16層 暗褐色土(10YR 5/2) 少量の黄土ブロック・炭を含む
- 17層 赤い黄褐色土(10YR 6/4) 多量の明黄褐色砂質ローム土と灰黄褐色土小ブロック(φ5～30mm)・淡黄色砂質シルト小ブロック(φ5～30mm)を含む [掘り方埋土]

第1313図 8区15号住居跡平・断面図

8区16号住居跡=15号住居拡張前

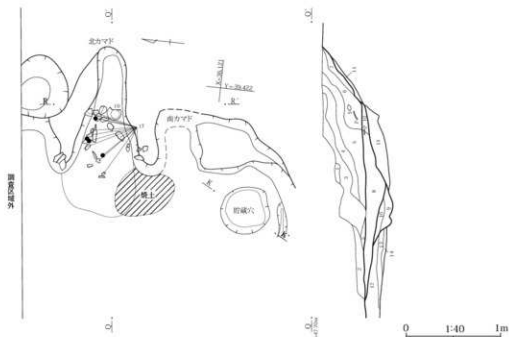
(旧称8区5J-16)

所見：15号住居跡調査時において、住居中央部付近の床面より多量の焼土・炭化物・灰が検出され、壊されたカマドの痕跡と判断し、15号住居跡以前の遺構として16号住居跡と命名された。重複遺構の可能性も考えられたが、床面に比高差があまりないこと、西壁および南壁西半部を共有していることなどから、カマドを壊して東側に拡張されたものと判断された。16号住居跡即ち拡張前の旧態として確認出来る部分は僅かで、西壁および南壁西半部において検出された幅22～37cm深さ7～21cmを測る壁溝と掘り方の一部のみ旧態が認められる。



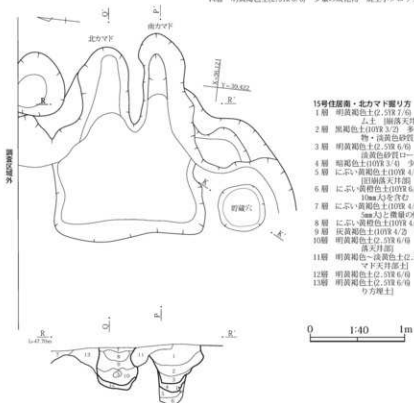
- 15号住居南カマド 焼土
- 1層 におい黄褐色土10R 5.3 少量の白色軽石・淡黄色砂質ローム小ブロック(φ5～10mm)・焼土粒子・炭化物を含む
 - 2層 黒褐色土10R 3.2 微量の白色軽石・ローム粒子・焼土粒子・炭化物を含む
 - 3層 におい黄褐色土10R 5.3 多量の淡黄色砂質ローム小ブロック(φ5～10mm)と微量の焼土粒子・炭化物を含む
 - 4層 明黄褐色土G 5R 7.0 少量の焼土粒子を含む 微量～明黄褐色砂質ローム土 陶器片片断
 - 5層 黒褐色土10R 3.2 多量の焼土小ブロック(φ5～10mm)と少量の炭化物・淡黄色砂質ローム小ブロック(φ5～10mm)を含む
 - 6層 明黄褐色土G 5R 6.0 多量の焼土小ブロック(φ5～10mm)・炭化物・淡黄色砂質ローム小ブロック(φ5～30mm)を含む
 - 7層 灰層 多量の炭化物を含む
 - 8層 におい黄褐色土 多量の焼土小ブロック(φ5～10mm)・炭化物を含み硬化する [掘り床土]
 - 9層 灰層 明黄褐色砂質ローム土の互層・堆積 9層～10層に多い。厚約1cm程度
 - 10層 におい黄褐色土10R 6.0 多量の灰を含み硬化する [掘り床土]
 - 11層 におい黄褐色土10R 4.3 微量の焼土小ブロックを含む [掘後時掘り方層土]
 - 12層 灰層
 - 13層 明褐色土10R 3.1 少量の焼土小ブロック(φ5～10mm)を含む
 - 14層 におい黄褐色土10R 4.3 多量の焼土小ブロック(φ5～10mm)を含む 掘後時掘り方層土
 - 15層 におい黄褐色土10R 6.0 少量の灰黄褐色土と焼土小ブロック(φ5～10mm)を含む [掘後時カマド掘り方層土]
 - 16層 明黄褐色土10R 4.3 5R 6.0～2.5R 8.0 淡黄色砂質ローム土 [南カマド天井層土]

第514図 8区15号住居跡掘り方平・断面図、南カマド平・断面図



15号住居北カマド 埋土

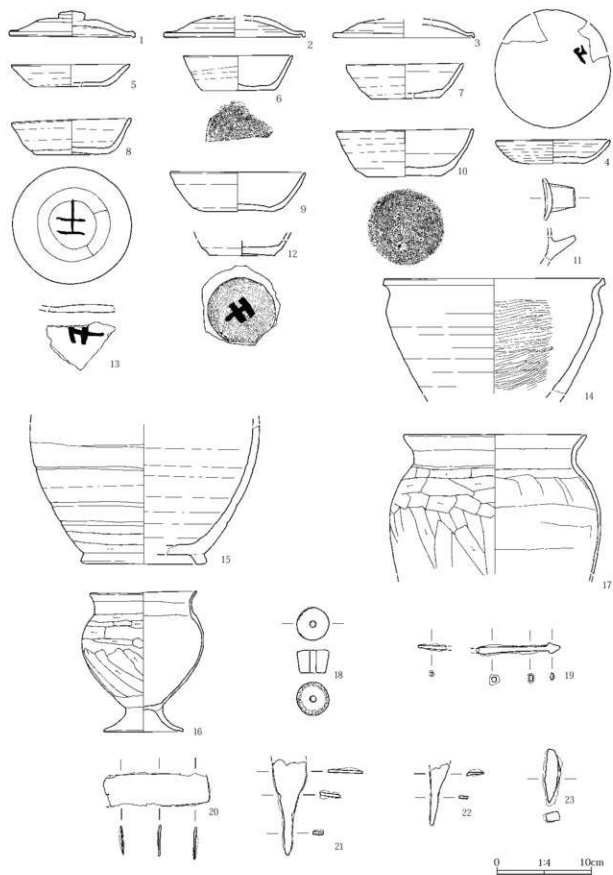
- 1層 灰褐色土(10YR 4/2) 多量の淡黄色砂質ロームブロック(φ10～30mm)を含む
- 2層 にぶい黄褐色土(10YR 5/3) 多量の淡黄色砂質ローム粒子と少量の白色輝石・焼土粒子を含む
- 3層 にぶい黄褐色土(10YR 4/3) 少量の淡黄色砂質ローム小ブロック(φ5～15mm)と微量の焼土粘土・炭化物を含む
- 4層 にぶい黄褐色土(10YR 4/2) 多量の淡黄色ロームに少量の灰褐色土を含む
- 5層 灰黄褐色土(10YR 4/2) 微量の炭化物を含む
- 6層 明黄褐色土(2.5YR 6/6) 多量の焼土小ブロック(φ5～15mm)を含む [陥没天井]
- 7層 暗褐色土(10YR 3/4) 少量の焼土小ブロック(φ5～15mm)を含む
- 8層 灰層 少量の焼土小ブロック・炭化物を含む [使用面]
- 9層 灰層 灰炭とし跡
- 10層 明黄褐色土(2.5YR 6/6) 少量の焼土小ブロックを含む [陥没天井]
- 11層 明黄褐色土(2.5YR 6/6) 少量の焼土小ブロック(φ5～10mm)を含む [掘り方埋土]
- 12層 明黄褐色土(2.5YR 6/6) 多量の淡黄色砂質シルトブロック(φ5～20mm)・焼土ブロックを含み硬化する [15F(5)-15F(6)裏]
- 13層 灰層 116F(5)-16に伴うカマド跡]
- 14層 明黄褐色土(2.5YR 6/6) 少量の炭化物・焼土小ブロックを含む [16F(5)-16カマド掘り方]



15号住居南・北カマド掘り方 埋土

- 1層 明黄褐色土(2.5YR 7/6) 少量の焼土粒子を含む 淡黄～明黄褐色砂質ローム土 [陥没天井面]
- 2層 黄褐色土(10YR 3/2) 多量の焼土小ブロック(φ5～10mm)と少量の炭化物・淡黄色砂質ローム小ブロック(φ5～15mm)を含む
- 3層 明黄褐色土(2.5YR 6/6) 多量の焼土小ブロック(φ5～10mm)・炭化物・淡黄色砂質ロームブロック(φ5～30mm)を含む
- 4層 暗褐色土(10YR 3/4) 少量の焼土小ブロック(φ5～10mm)を含む
- 5層 にぶい黄褐色土(10YR 4/3) 多量の焼土小ブロック(φ5～20mm)を含む [陥没天井面]
- 6層 にぶい黄褐色土(10YR 6/0) 少量の灰黄褐色土と焼土小ブロック(φ5～10mm)を含む [陥没天井裏り方埋土]
- 7層 にぶい黄褐色土(10YR 4/3) 少量の淡黄色砂質ローム小ブロック(φ5～5mm)と微量の焼土粒子・炭化物を含む
- 8層 にぶい黄褐色土(10YR 4/3) 多量の淡黄色ロームに少量の灰褐色土を含む
- 9層 灰黄褐色土(2.5YR 6/6) 多量の焼土小ブロック(φ5～15mm)を含む [陥没天井面]
- 10層 明黄褐色土(2.5YR 6/6) 多量の焼土小ブロック(φ5～15mm)を含む [Bカマド天井裏上]
- 11層 明黄褐色土(2.5YR 6/6) 少量の焼土小ブロックを含む [陥没天井面]
- 12層 明黄褐色土(2.5YR 6/6) 少量の焼土小ブロック(φ5～10mm)を含む [掘り方埋土]
- 13層 明黄褐色土(2.5YR 6/6) 少量の焼土小ブロック(φ5～10mm)を含む [掘り方埋土]

第515図 8区15号住居跡北カマド平・断面図、北・南カマド掘り方平・断面図



第516図 8区15号住居跡出土遺物

第2節 奈良・平安時代の遺構と遺物

8区15号住居跡出土遺物

番号	種別	出土位置 保存状態	計測値 cm	①胎土 ②構成 ③色調	成型手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯蓋	床面+3cm	口径 13.0	① 細砂粒・粗砂粒・細礫	ロクロ整形。回転右回り。	外函：天井部上半へラ割り。天井部下半～口縁部斜め方向のナデ。器唇付。 内函：口縁部回転ナデ。天井部は斜め方向のナデ。 ロクロ整形。
		横部～口縁部 4/5	口径 2.6	② 還元焰 やや不良		
		器高 2.7	③ 灰黄(2.5Y 7/2)			
2	須恵器 杯蓋	埋土中	口径 14.6	① 細砂粒・粗砂粒・細礫・中礫	外函：天井部上半へラ割り。天井部下半横ナデ。 内函：天井部上半～口縁部回転ナデ。 ロクロ整形。	
		天井部上半～口縁部 1/5	口径 14.8	② 還元焰 やや不良 ③ 灰黄(2.5Y 7/2)		
3	須恵器 杯蓋	床面+15cm	口径 14.8	① 細砂粒・粗砂粒	外函：天井部上半へラ割り。天井部下半～口縁部横ナデ。 内函：天井部上半～口縁部回転ナデ。	
		天井部上半～口縁部 1/4	口径 14.8	② 還元焰 良好 ③ オリーブ灰(2.5Y 6/1)		
4	須恵器 杯	床面+7cm	口径 12.0	① 細砂粒・粗砂粒	ロクロ整形。 外函：口縁部～体部回転ナデ。底部手持ちへラ割り。 内函：口縁部～底部回転ナデ調整。	底部外面に墨書。
		口径 7.0	② 還元焰 良好			
5	須恵器 杯	埋土中	口径 12.2	① 細砂粒・粗砂粒	ロクロ整形。回転右回り。口縁部や外反。 外函：口縁部～体部回転ナデ調整。 内函：口縁部～底部回転ナデ調整。	底部外面に「土」の墨書。
		口径 7.0	② 還元焰 良好			
6	須恵器 杯	掘方埋土中	口径 11.2	① 細砂粒・粗砂粒	ロクロ整形。 外函：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り後、へラ調整。 内函：口縁部～底部回転ナデ調整。	内面底部に式押が認められる。
		口径 7.6	② 還元焰 やや不良			
7	須恵器 杯	床面～10cm	口径 12.2	① 細砂粒・粗砂粒	ロクロ整形。 外函：口縁部～体部回転ナデ。底部回転へラ割り。 内函：口縁部～底部回転ナデ調整。	内面底部に式押が認められる。
		口径 7.2	② 還元焰 良好			
8	須恵器 杯	掘方埋土中	口径 12.5	① 細砂粒・粗砂粒	ロクロ整形。回転右回り。口縁部や外反。 外函：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。底部両面は回転へラ割り。 内函：口縁部～底部回転ナデ調整。	底部外面に「土」の墨書。
		口径 7.7	② 還元焰 良好			
9	須恵器 杯	埋土中	口径 14.0	① 細砂粒・粗砂粒	ロクロ整形。 外函：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り後、へラ調整。 内函：口縁部～底部回転ナデ調整。	内面底部に式押が認められる。 器面厚減。
		口径 7.2	② 還元焰 やや不良			
10	須恵器 杯	掘方埋土中 ほぼ完形	口径 14.3	① 細砂粒・粗砂粒・細礫	ロクロ整形。 外函：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内函：口縁部～底部回転ナデ調整。	器唇付。
		口径 7.6	② 還元焰 やや不良			
11	須恵器 双耳杯	掘方埋土中 耳部	口径 4.9	① 細砂粒 ② 還元焰 良好	器唇付。把手の長さ2.3cm、巾1.3cm、高さ2.3cm。 耳部へラ割り。 ロクロ整形。回転右回り。 外函：体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内函：体部～底部回転ナデ調整。体部へラ磨き。	底部外面に「土」の墨書。
		口径 4.2	③ 灰黄(2.5Y 6/2)			
12	須恵器 杯	床面+64cm	口径 7.0	① 細砂粒・粗砂粒・細礫	ロクロ整形。回転右回り。 外函：体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内函：体部～底部回転ナデ調整。	底部外面に「土」の墨書。
		口径 7.0	② 還元焰 やや不良			
13	須恵器 杯	掘方埋土中 底部のみ	口径 7.2	① 細砂粒・粗砂粒・細礫	ロクロ整形。 外函：底部回転へラ割り。 内函：底部回転ナデ調整。	底部外面に「土」の墨書。
		口径 7.2	② 還元焰 良好			
14	黒色土器 鉢	埋土中	口径 22.9	① 細砂粒・粗砂粒・細礫	外函：口縁部～体部横ナデ。輪組み直り。 内函：口縁部～底部横ナデ調整。体部へラ磨き。	底部外面に「土」の墨書。
		口径 7.0	② 還元焰 やや不良			
15	須恵器 長頸壺	床面直上	口径 12.7	① 細砂粒・粗砂粒・細礫・中礫	ロクロ整形。台部器唇付。 外函：口縁部～胴部回転ナデ。 内函：横ナデ。	
		口径 1.6	② 還元焰 良好			
16	土師器 台付甕	床面+27cm	口径 11.2	① 細砂粒・粗砂粒	輪組み。台部器唇付。 外函：口縁部横ナデ。胴部上半は横。下半は斜め方向へラ割り。台部横ナデ。 内函：口縁部横ナデ。胴部へラナデ。	
		口径 8.4	② 還元焰 良好			
17	土師器 甕	掘方埋土中	口径 19.1	① 細砂粒・粗砂粒・細礫	輪組み。 外函：口縁部横ナデ。胴部上位横。中位斜め方向へラ割り。 内函：口縁部横ナデ。胴部～底部へラナデ。	
		口径 14.9	② 還元焰 良好			

番号	種別	器種	状態	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	石材	備考
18	石製品	紡錘車	完形	3.4	3.4	2.4	39	砥石石	孔径 0.6cm 側面に加工時の痕跡が残る。
19	鉄器	鏃	基部先端欠損	9.0	1.1	1.1	12.0		長尾鏃状(浅逆刺) 三角形鏃の一種か。
20	鉄器	鏃	小片	4.3	3.4	0.4	7.0		錆化。腐食とも激しい。
21	鉄器	鏃	刃部片	7.8	3.5	0.5	20.0		錆化が進んでいる。
22	鉄器	不明	先端部欠損	10.3	3.6	0.9	27.0		用途不明。錆化が激しい。錆化。腐食とも激しい。
23	鉄器	不明	柄部片	6.6	2.1	0.9	8.0		用途不明。錆化が激しい。錆化。腐食とも激しい。

第3章 検出遺構と出土遺物

3. 掘立柱建物跡

8区1号掘立柱建物跡 (旧称8区S8-1)

位置：X=36088 Y=-39440

主軸方向：北辺 N-104° -W

規模：2間×2間 縦柱建物。北辺(P1-P2-P3)

4.0m、南辺(P7-P8-P9) 4.0m、東辺(P9-P6-P3) 3.8m、西辺(P1-P4-P7) 3.8m

面積：15.2㎡

柱穴径・深度：P1=径41×37cm 深さ42cm、P2

=径25×23cm 深さ32cm、P3=径50×42cm 深さ

58cm、P4=径33×31cm 深さ43cm、P5=径26×

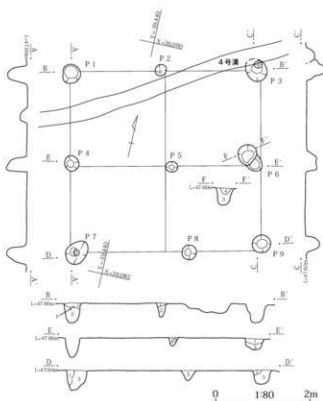
24cm 深さ29cm、P6=径42×32cm 深さ22cm、P7

=径54×41cm 深さ53cm、P8=径32×32cm 深さ

24cm、P9=径40×39cm 深さ31cm

重複遺構：4号溝跡と重複し、遺構確認時の埋土の様相より本建物跡の方が古いものと判断される。

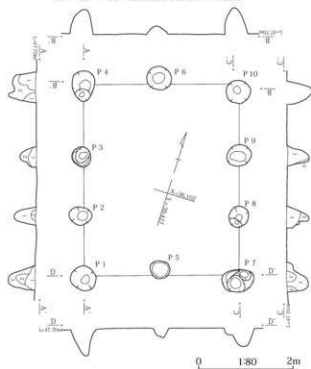
出土遺物：付近から土師器甕の破片が1点出土しているが、遺構との関係は不明である。



1号掘立柱建物 埋土

- 1層 灰黒褐色土(00R4/2) 少量の黄色砂質ローム粒子・ブロック(φ3~30mm)を含む
- 2層 灰褐色土(0.3R4/2) 少量の黄色砂質ロームブロック(φ5~30mm)を含む
- 3層 灰褐色土(0.5R4/2) 2層よりロームブロックの混入がやや多い
- 4層 灰褐色土(0.3R4/2) 少量の白色軽石(充填C+種名ニッ浜)+炭化物・焼土粒子を含む
- 5層 黒褐色土(0.3R3/2) 多量の白色軽石(充填C+種名ニッ浜)を含む

第517図 8区1号掘立柱建物跡平・断面図



2号掘立柱建物 埋土

- 1層 灰褐色土(0.3R4/2) 少量の白色軽石(充填C+種名ニッ浜)とローム粒子を含む
- 2層 灰褐色土(0.3R4/2) 1層より少量のローム小ブロック(φ3~30mm)
- 3層 灰褐色土(0.3R4/2) 少量の淡黄色砂質ロームブロック(φ5~30mm)と炭化物を含む
- 4層 灰黒褐色土(00R4/2) 少量の淡黄色砂質ロームブロック(φ5~30mm)を含む

第518図 8区2号掘立柱建物跡平・断面図

8区3号掘立柱建物跡(旧称8区58-3)

位置: X=36073 Y=-39434

軸方向: 北辺がN-114° -W

規模: 2間×3間。北辺(P3-P2-P1)3.6m、南辺(P11-P8-P9)3.6m、東辺(P9-P7-P5-P3)4.95m、西辺(P1-P4-P6-P11)4.95m

面積: 17.82㎡

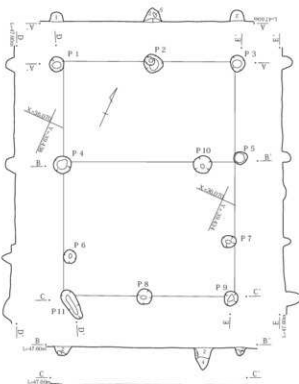
柱穴径・深度: P1=径32×30cm 深さ20cm, P2=径41×37cm 深さ37cm, P3=径37×31cm 深さ23cm, P4=径39×39cm 深さ19cm, P5=径30×27cm 深さ20cm, P6=径28×28cm 深さ22cm, P7=径30×25cm 深さ23cm, P8=径34×31cm 深さ30cm, P9=径32×28cm 深さ32cm, P10=径40×38cm 深さ48cm, P11=径68×28cm 深さ20cm 重複遺構: なし。

出土遺物: P9埋土中から土師器裏の破片が出土している。

3号掘立柱建物 埋土

- 1層 灰色黄褐色土(10YR 6/3) 黄褐色土を含む 幾細の火山軽石を散見含む
- 2層 黄褐色土(10YR 4/2) に赤い黄褐色土を含む
- 3層 赤い黄褐色土(10YR 5/6) 黄褐色土を含む
- 4層 暗赤褐色土(10YR 7/6) 黄褐色土を含む
- 5層 明黄褐色土(10YR 7/6) 黄褐色土を含む ブロック状 2層の中に入っている

0 1:80 2m



第519図 8区3号掘立柱建物跡平・断面図

8区4号掘立柱建物跡

(旧称8区58-4)

位置: X=36107 Y=-39430

軸方向: 北辺がN-105° -W

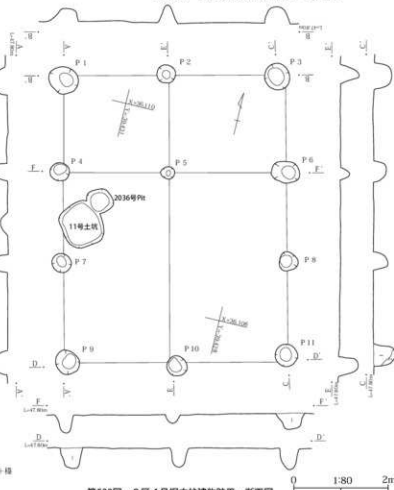
規模: 2間×3間、総柱建物 北辺(P3-P2-P1)4.7m、南辺(P9-P10-P11)4.7m、東辺(P11-P8-P6-P3)6.0m、西辺(P1-P4-P7-P9)6.0m 面積: 28.20㎡

柱穴径・深度: P1=径66×56cm 深さ29cm, P2=径40×38cm 深さ39cm, P3=径58×52cm 深さ37cm, P4=径40×38cm 深さ39cm, P5=径32×26cm 深さ19cm, P6=径62×45cm 深さ35cm, P7=径42×40cm 深さ36cm, P8=径40×40cm 深さ32cm, P9=径52×47cm 深さ41cm, P10=径43×43cm 深さ41cm, P11=径48×47cm 深さ47cm 重複遺構: 11号土坑跡と重複する。直接的な切り合いがなく、新旧関係は不明。

出土遺物: なし。

4号掘立柱建物 埋土

- 1層 灰黄褐色砂質土(10YR 6/7) 少量の白色軽石を散見含む 赤一色層と幾細の粘土粒子・炭化物を含む
- 2層 灰黄褐色土(10YR 4/2) 少量のローム粒子を含む



第520図 8区4号掘立柱建物跡平・断面図

8区5号掘立柱建物跡(旧称8区58-5)

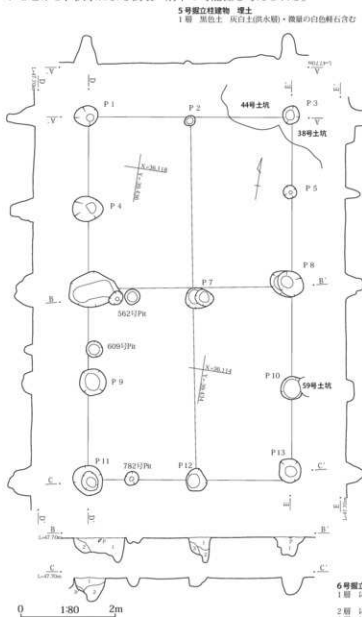
位置: X=36123 Y=-39467 主軸方向: 北辺N-111°-W

規模: 2間×4間、総柱建物 北辺(P4-P3-P2-P1) 4.35m、南辺(P6-P7) 2.35m、東辺 不明、西辺(P1-P6) 2.5m

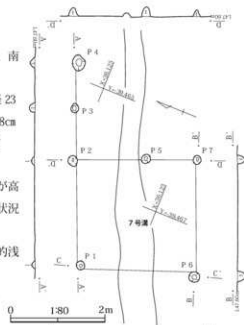
面積: 不明 柱穴径・深度: P1=径19×19cm 深さ18cm, P2=径23×20cm 深さ20cm, P3=径20×17cm 深さ13cm, P4=径34×28cm 深さ20cm, P5=径20×19cm 深さ23cm, P6=径24×23cm 深さ19cm, P7=径19×16cm 深さ17cm

重複遺構: 7号溝と重複する。検出レベルは37cmの高低差がある。溝が高い位置にあり、本遺構の検出時には溝の最深部がわずかに見えている状況である。よって、溝の方が新しい。 出土遺物: なし。

所見: 柱穴埋土中に8・9号溝跡洪水層土を含み、柱穴の深さも比較的浅いことから、洪水による倒壊・削平の可能性も考えられる。



第521図 8区6号掘立柱建物跡平・断面図



第520図 8区5号掘立柱建物跡平・断面図

8区6号掘立柱建物跡(旧称8区58-6)

位置: X=36114 Y=-39434

主軸方向: 北辺N-98°-W

規模: 2間×4間、総柱建物。北辺(P3-P2-P1) 4.3m、南辺(P11-P12-P13) 4.3m、東辺(P13-P10-P8-P5-P3) 7.6m、西辺(P1-P4-P6-P9-P11) 7.6m

面積: 32.68㎡ 柱穴径・深度: P1=径52×42cm 深さ60cm, P2=径25×22cm 深さ8cm, P3=径41×37cm 深さ48cm, P4=径65×53cm 深さ52cm, P5=径29×28cm 深さ33cm, P6=径105×72cm 深さ46cm, P7=径60×45cm 深さ51cm, P8=径73×55cm 深さ39cm, P9=径57×56cm 深さ24cm, P10=径48×48cm 深さ18cm, P11=径66×60cm 深さ51cm, P12=径49×46cm 深さ20cm, P13=径53×51cm 深さ37cm

重複遺構: 38・42・44・59号土坑跡、562・609・782と重複する。土坑跡は埋土の様相から土坑の方が新しいものと判断される。Pit跡とは直接的に切り合っていないため、新旧関係は不明である。 出土遺物: P8の埋土中から須恵杯の底部片が出土。

- 6号掘立柱建物 埋土
- 1層 に近い黄褐色土(0045/3) 少量の白色軽石或四C+橙名二ツ筒と赤褐色砂質ローム粒を含む
 - 2層 に近い黄褐色土(0048/4/3) 黄褐色の淡黄色砂質ローム粒を含む
 - 3層 に近い黄褐色土(0048/4/3) 少量の淡黄色砂質ローム小ブロック(φ5-10mm)を含む

8区7号掘立柱建物跡 (旧称8区58-7)

位置：X=36099 Y=-39460

軸方向：北辺がN-109° -W

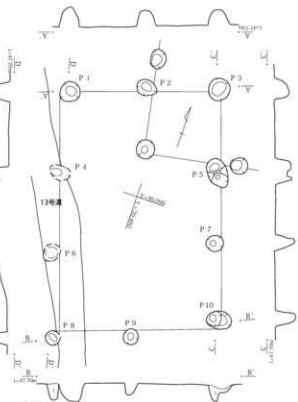
規模：2間×3間。北辺 (P3-P2-P1) 3.4m、南
辺 (P8-P9-P10) 3.6m、東辺 (P10-P7-P5-P
3) 5.0m、西辺 (P1-P4-P6-P8) 5.0m

面積：17.5㎡

柱穴径・深度：P1=径45×43cm 深さ43cm、P2=径
44×35cm 深さ36cm、P3=径49×46cm 深さ33cm、P
4=径不明×30cm 深さ41cm、P5=径63×41cm 深
さ35cm、P6=径不明×不明 深さ41cm、P7=径37×
33cm 深さ42cm、P8=径30×30cm 深さ42cm、P9=
径33×31cm 深さ25cm、P10=径54×38cm 深さ45cm

重複遺構：8号掘立柱建物跡・13号溝跡と重複する。13
号溝跡は埋土の様相より本掘立柱建物跡の方が古いもの
と判断される。8号掘立柱建物跡とは直接的に切り合っ
ていないため、新旧関係は不明である。

出土遺物：なし。



7号掘立柱建物跡 埋土
1層 赤灰色土(100% 4/1) 赤色の鉄質を少量含む 0 1:80 2m

第522図 8区7号掘立柱建物跡平・断面図

8区8号掘立柱建物跡 (旧称8区58-8)

位置：X=36102 Y=-39458

軸方向：北辺がN-102° -W

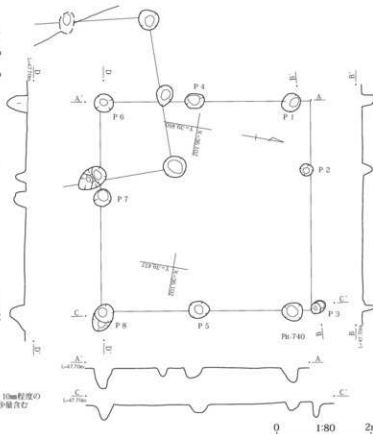
規模：2間×2間。北辺 (P3-P2-P1)
4.4m、南辺 (P6-P7-P8) 4.4m、東辺 (P
8-P5-P3) 4.4m、西辺 (P1-P4-P
6) 4.4m

面積：19.36㎡

柱穴径・深度：P1=径40×37cm 深さ
30cm、P2=径28×25cm 深さ22cm、P3=
径33×26cm 深さ34cm、P4=径39×31cm
深さ24cm、P5=径43×36cm 深さ26cm、P
6=径39×38cm 深さ43cm、P7=径37×
36cm 深さ25cm、P8=径59×40cm 深さ
33cm

重複遺構：7号掘立柱建物跡・740号Pit跡と
重複する。両遺構共に直接的な切り合いがない
ため、新旧関係は不明である。

出土遺物：なし。



8号掘立柱建物跡 埋土
1層 赤灰色土(100% 4/1) φ5~10mm程度の
黄褐色のブロックを少量含む

第523図 8区8号掘立柱建物跡平・断面図

8区9号掘立柱建物跡(旧称8区58-9)

位置: X=36106 Y=-39453

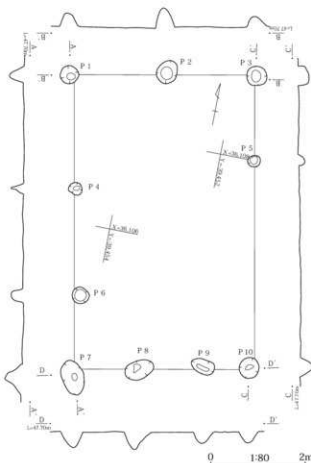
軸方向: 北辺N-102°-W

規模: 2間×3間、北辺(P3、P2、P1)3.8m、南辺(P7、P8、P9、P10)3.8m、東辺(P10、P5、P3)6.15m、西辺(P1、P4、P6、P7)6.15m

面積: 23.37㎡

柱穴径・深度: P1=径38×38cm 深さ29cm, P2=径52×42cm 深さ43cm, P3=径44×43cm 深さ25cm, P4=径28×26cm 深さ25cm, P5=径26×24cm 深さ13cm, P6=径37×35cm 深さ25cm, P7=径74×46cm 深さ35cm, P8=径63×40cm 深さ38cm, P9=径50×30cm 深さ25cm, P10=径44×41cm 深さ25cm

重複遺構: なし。 出土遺物: なし。



第524図 8区9号掘立柱建物跡平・断面図

8区10号掘立柱建物跡(旧称8区58-10)

位置: X=36084 Y=-39426

軸方向: 北辺N-105°-W

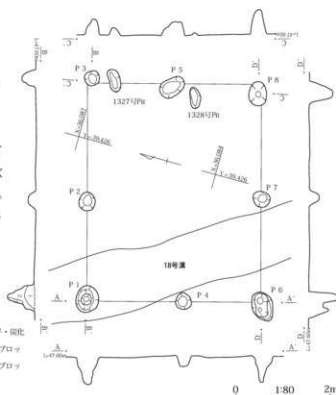
規模: 3間×2間、北辺(P3、P2、P1)4.6m、南辺(P6、P7、P8)4.6m、東辺(P8、P5、P3)3.65m、西辺(P1、P4、P6)3.65m

面積: 16.79㎡

柱穴径・深度: P1=径56×46cm 深さ52cm, P2=径40×34cm 深さ19cm, P3=径33×33cm 深さ33cm, P4=径36×33cm 深さ24cm, P5=径56×36cm 深さ30cm, P6=径65×44cm 深さ62cm, P7=径36×34cm 深さ49cm, P8=径50×40cm 深さ36cm

重複遺構: 18号溝、1327号Pit、1328号Pitが重複している。溝が前出である。1327号Pitと1328号Pitは柱穴と直接切り合わないことから新旧関係は不明である。

出土遺物: P3の埋土中から須恵器の杯の小片、P5からは土師器の裏の小片が出土している。



第525図 8区10号掘立柱建物跡平・断面図

10号掘立柱建物 埋土

- 1層 灰黄褐色土(07R 4/2) 少量の白色軽石・焼土粒子・固化物を含む
- 2層 灰黄褐色土(07R 4/2) 少量の淡黄色砂質ローム小ブロック(ø5~10mm)を含む
- 3層 灰黄褐色土(07R 4/2) 少量の淡黄色砂質ローム小ブロック(ø5~10mm)を含む

第3章 検出遺構と出土遺物

8区12号掘立柱建物跡(旧称8区S8-12)

位置: X=36130 Y=-39437

軸方向: 南辺N-101°-W

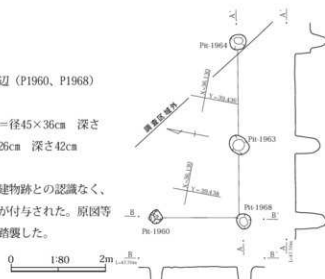
規模: 不明。南辺(P1968, P1963, P1964) 3.7m、西辺(P1960, P1968)

1.8m 面積: 不明

柱穴径・深さ: P1968=径33×29cm 深さ64cm, P1963=径45×36cm 深さ53cm, P1964=径36×35cm 深さ66cm, P1960=径29×26cm 深さ42cm

重複遺構: なし。出土遺物: なし。

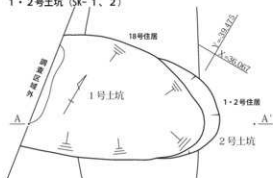
※調査区端に位置し、調査時において、当初は掘立柱建物跡との認識なく、単独土坑・Pit跡とされたため、柱穴に土坑・Pit番号が付与された。原因等との整合性を保つため、報告時においてもその番号を踏襲した。



第527図 8区12号掘立柱建物跡平・断面図

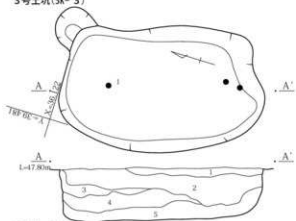
4. 土坑跡・Pit跡

1・2号土坑(SK-1、2)

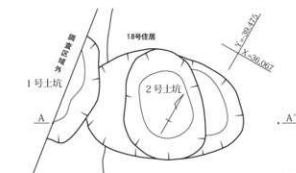


- 1号土坑 埋土**
- 1層 暗褐色土(IVR 4/3) 少量の白色軽石(燻名山)ニツ筋Fr-Fa(浅山)と少量の炭化物粒・焼土粒を含む
 - 2層 灰黄褐色土(IVR 4/2) 少量の白色軽石(燻名山)ニツ筋Fr-Fa(浅山)と少量の焼土粒を含む
 - 3層 灰黄褐色土(IVR 4/2) 少量の白色軽石(燻名山)ニツ筋Fr-Fa(浅山)と少量の黄色砂質ロームブロック(φ10~30mm)を含む
- 2号土坑 埋土**
- 1層 暗褐色土(IVR 3/4) 少量の白色軽石(燻名山)ニツ筋Fr-Fa(浅山)と少量の黄色砂質ローム粒子・水ゴロツク(φ5~10mm)を含む
 - 2層 暗褐色土(IVR 3/4) 少量の白色軽石と黄色砂質ローム粒子・水ゴロツク及び少量の焼土粒子・焼土小ブロック(φ5~10mm)を含む
 - 3層 暗褐色土(IVR 3/4) 多量の暗灰褐色土・黄色砂質ローム土・黒褐色土を混在に含む

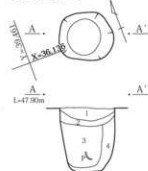
3号土坑(SK-3)



- 3号土坑 埋土**
- 1層 暗褐色土(IVR 3/3) 白色軽石を含む 中砂砂質
 - 2層 暗赤褐色土(IVR 3/3) 炭化物・少量の白色軽石を含む
 - 3層 暗褐色土(IVR 2/1) 中砂砂質・洪水土ブロック状に少量を含む
 - 4層 ニツ筋・暗褐色土(IVR 3/3) 軽石土・洪水土と少量を含む
 - 5層 暗褐色土(IVR 3/1) 軽石土・φ1~2mmの洪水土を含む

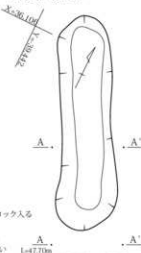


4号土坑(SK-4)



- 4号土坑 埋土**
- 1層 暗褐色土(IVR 3/2) 白色軽石を含む
 - 2層 灰黄褐色土(IVR 6/2) 洪水層
 - 3層 黒褐色土(IVR 3/2)
 - 4層 暗褐色土(IVR 3/3) 褐色土(IVR 4/0)ブロック入る

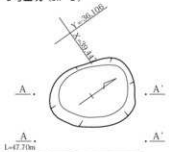
7号土坑(SK-7)



- 7号土坑 埋土**
- 1層 暗赤褐色土(IVR 3/3) 白色軽石
 - 2層 暗褐色土(IVR 2/2) 白色軽石多い

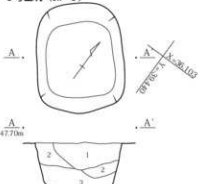
第528図 8区1~4・7号土坑跡平・断面図

5号土坑 (SK-5)



- 5号土坑 埋土**
 1層 暗赤褐色土(IVR 3/3) 洪水ブロック少量の白色軽石
 2層 赤褐色土(IVR 4/4) 黄色の洪水ブロック・黒色の炭化物
 3層 にぶい褐色土(IVR 5/3) 洪水層ブロック

6号土坑 (SK-6)



- 6号土坑 埋土**
 1層 にぶい黄褐色砂質土 多量の浅黄褐色砂質ロームブロック(φ5~20mm)と少量の炭化物を含む
 2層 にぶい黄褐色砂質土 少量の浅黄褐色砂質ロームブロック(φ5~20mm)と少量の炭化物を含む
 3層 にぶい黄褐色砂質土 少量の浅黄褐色砂質ロームブロック(φ5~20mm)と少量の炭化物を含む

10号土坑 (SK-10)



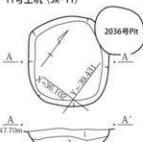
- 10号土坑 埋土**
 1層 灰黄褐色砂質土 少量の白色軽石(種名ニッ房・浅間C)・浅黄褐色砂質ロームブロック(φ5~20mm)・焼土粒を含む
 2層 灰黄褐色砂質土 少量の白色軽石(種名ニッ房・浅間C)・焼土粒を含む
 3層 暗褐色砂質土 少量の焼土粒・炭化物を含む
 4層 暗褐色砂質土 少量の浅黄褐色砂質ロームブロック(φ20mm)を含む

8・9号土坑 (SK-8)



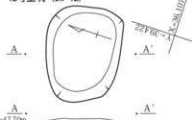
- 8号土坑 埋土**
 1層 にぶい黄褐色砂質土 多量の浅黄褐色砂質ロームブロック(φ5~20mm)と少量の炭化物・白色軽石(種名ニッ房・浅間C)を含む
 2層 にぶい黄褐色砂質土 多量の焼土ブロック(φ5~10mm)を含む
 3層 にぶい黄褐色砂質土 少量の浅黄褐色砂質ローム粒子・炭化物を含む
 4層 にぶい黄褐色砂質土 多量の浅黄褐色砂質ロームブロック(φ3~10mm)を含む
 5層 にぶい黄褐色砂質土 少量の浅黄褐色砂質ローム粒子を含む
9号土坑 埋土
 6層 にぶい黄褐色砂質土 少量の浅黄褐色砂質ロームブロック(φ5~20mm)・白色軽石(種名ニッ房・浅間C)を含む
 7層 暗褐色砂質土 少量の浅黄褐色砂質ローム粒子・白色軽石(種名ニッ房・浅間C)を含む
 8層 暗褐色砂質土 多量の浅黄褐色砂質ロームブロックを含む

11号土坑 (SK-11)



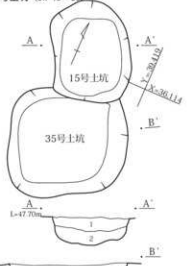
- 11号土坑 埋土**
 1層 灰黄褐色砂質土 多量の白色軽石(種名ニッ房・浅間C)と少量の炭化物・焼土粒子を含む
 2層 灰黄褐色砂質土 少量の白色軽石(種名ニッ房・浅間C)・焼土粒子・炭化物を含む

12号土坑 (SK-12)



- 12号土坑 埋土**
 1層 暗褐色土(IVR 3/3) 洪水ブロック・少量の白色軽石
 2層 暗褐色土(IVR 3/4) 洪水ブロック多い・少量の炭化物・白色軽石
 3層 暗褐色土(IVR 2/2) 炭化物・焼土を含む・少量の白色軽石

15・35号土坑 (SK-15・35)



- 15号土坑 埋土(A-A')**
 1層 暗赤褐色土(IVR 3/3) 白色軽石・炭化物を含む
 2層 暗赤褐色土(IVR 3/3) 極少量の白色軽石を含む・洪水層少量
35号土坑 埋土(B-B')
 1層 灰黄褐色土 少量の白色軽石(種名C・種名)と少量の炭化物
 2層 暗赤褐色土 1層より白色軽石(種名)・焼土炭化物を含む

- 13号土坑 埋土**
 1層 灰黄褐色土 少量の白色軽石(種名C・種名)と少量の炭化物
 2層 暗赤褐色土 1層より白色軽石(種名)・焼土・炭化物を含む

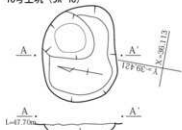
- 14号土坑 埋土**
 1層 灰黄褐色砂質土 多量の浅間C・種名ニッ房白色軽石と少量の焼土粒子・炭化物・浅黄褐色砂質ローム・小ブロック(φ3~10mm)を含む
 2層 灰黄褐色砂質土 少量の浅黄褐色砂質ローム粒子・炭化物を含む

0 1:40 1m

第529図 8区5・6・8・10~15・35号土坑踏平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物

16号土坑 (SK-16)



16号土坑 埋土

- 1層 灰黄褐色砂質土 少量の白色軽石(炭酸Ca+種名ニツ苗)・炭化物を含む
- 2層 灰黄褐色砂質土 少量の浅黄褐色砂質ローム小ブロック(φ5～15mm人)を含む

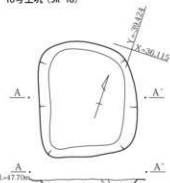
17号土坑 (SK-17)



17号土坑 埋土

- 1層 灰黄褐色砂質土 少量の白色軽石(炭酸Ca+種名ニツ苗)・浅黄褐色砂質ローム小ブロック(φ5～20mm人)・炭化物を含む
- 2層 暗灰黄色砂質土 少量の白色軽石・焼土粒子・炭化物を含む
- 3層 灰褐色砂質土 少量の白色軽石・焼土粒子・炭化物を含む

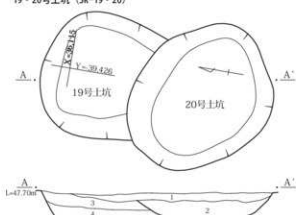
18号土坑 (SK-18)



18号土坑 埋土

- 1層 灰黄褐色砂質土(0.0044) 少量の白色軽石(種名ニツ苗)・炭酸Caと少量の焼土粒子・炭化物を含む

19・20号土坑 (SK-19・20)



19・20号土坑 埋土

- 1層 灰黄褐色砂質土 少量の白色軽石を含む
- 2層 暗灰褐色砂質土 少量の白色軽石を含む
- 3層 暗灰黄色砂質土 少量の白色軽石を含む
- 4層 灰褐色砂質土 流水砂ブロックを含む

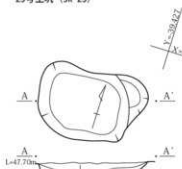
21・22号土坑 (SK-21・22)



21・22号土坑 埋土

- 1層 灰黄褐色砂質土 少量の炭酸Ca+種名ニツ苗白色軽石と焼土粒子・炭化物を含む
- 2層 灰黄褐色砂質土 少量の焼土粒子・炭化物を含む
- 3層 灰褐色砂質土 少量の浅黄褐色砂質ローム粒子・ブロック(φ5～20mm人)・焼土粒子
- 4層 灰褐色砂質土 少量の焼土粒子・炭化物を含む
- 5層 灰黄褐色砂質土 少量の浅黄褐色砂質ロームブロック(φ5～20mm人)と少量の焼土粒子・炭化物を含む

23号土坑 (SK-23)

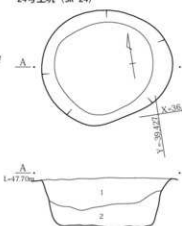


23号土坑 埋土

- 1層 灰黄褐色砂質土 少量の浅黄褐色砂質ローム小ブロック(φ5～10mm人)と少量の炭化物を含む
- 2層 灰黄褐色砂質土 少量の浅黄褐色砂質ローム小ブロック(φ5～10mm人)・炭化物を含む

0 140 1m

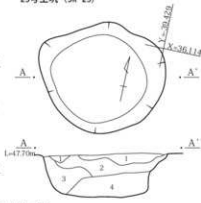
24号土坑 (SK-24)



24号土坑 埋土

- 1層 灰黄褐色砂質土 少量の浅黄褐色砂質ローム小ブロック(φ5～10mm人)・少量の炭化物を含む
- 2層 灰黄褐色砂質土 少量の浅黄褐色砂質ローム小ブロック(φ5～10mm人)・炭化物を含む

25号土坑 (SK-25)

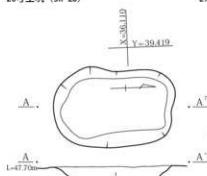


25号土坑 埋土

- 1層 灰黄褐色砂質土(0.0044) 少量のローム小ブロック(φ5～10mm人)と少量の焼土粒子・炭化物を含む
- 2層 暗灰黄色砂質土(0.3344) 少量の炭化物を含む
- 3層 暗灰黄色砂質土(0.3344) 少量の浅黄褐色砂質ローム小ブロック(φ5～10mm人)・炭化物を含む
- 4層 暗灰黄色砂質土(0.3344) 少量の浅黄褐色砂質ローム小ブロック(φ5～15mm人)と少量の炭化物を含む

第530図 8区16～25号土坑跡平・断面図

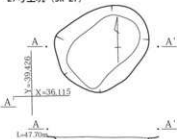
26号土坑 (SK-26)



26号土坑 埋土

- 1層 灰黄色砂質土(01R 4/2) 少量の白石軽石(標名ニッ坊+浅間C)と焼土粒子・炭化物を含む
- 2層 灰黄色砂質土(01R 4/2) 多量の浅黄褐色砂質ロームブロック(φ5~30mm)と少量の炭化物を含む

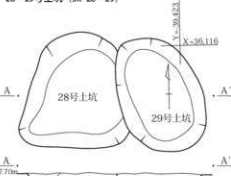
27号土坑 (SK-27)



27・28・29号土坑 埋土

- 1層 にぶい黄褐色砂質土(01R 3/3) 微量の白石軽石(標名ニッ坊+浅間C)・焼土粒子を含む
- 2層 にぶい黄褐色砂質土(01R 3/3) 少量の白石軽石(標名ニッ坊+浅間C)・焼土粒子・炭化物を含む
- 3層 灰黄色砂質土(01R 4/2) 少量の浅黄褐色砂質ローム粒子・焼土粒子・炭化物を含む
- 4層 灰黄色砂質土(01R 5/2) 多量の浅黄褐色砂質ロームブロック(φ5~20mm)・少量の白色軽石(標名ニッ坊+浅間C)を含む
- 5層 暗赤褐色砂質土(01R 3/2) 微量の焼土粒子・炭化物を含む

28・29号土坑 (SK-28・29)



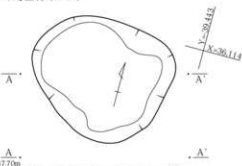
30号土坑 (SK-30)



30号土坑 埋土

- 1層 灰黄色砂質土(01R 4/2) 微量の白色軽石(標名ニッ坊+浅間C)と炭化物を含む
- 2層 灰黄色砂質土(01R 4/2) 多量の浅黄褐色砂質ロームブロック(φ5~30mm)と少量の炭化物を含む

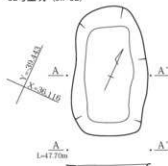
31号土坑 (SK-31)



31号土坑 埋土

- 1層 暗赤褐色土(01R 3/2) 洪水砂ブロック含む
- 2層 にぶい黄褐色土(01R 5/3) 洪水砂ブロック多い

32号土坑 (SK-32)



32号土坑 埋土

- 1層 灰黄色砂質土 白色軽石粒・炭化物・焼土含む
- 2層 にぶい黄褐色砂質土 洪水砂ブロック含む

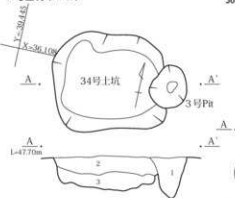
33号土坑 (SK-33)



33号土坑 埋土

- 1層 暗褐色土(01R 3/3) 多量の浅黄褐色砂質ローム小ブロック(φ5~10mm)と少量の炭化物を含む
- 2層 暗褐色土(01R 3/3) 少量の浅黄褐色砂質ローム小ブロック(φ5~10mm)を含む

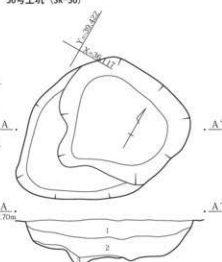
34号土坑 (SK-34)



34号土坑 埋土

- 1層 暗褐色土(01R 3/3) 白色軽石(微量)を含む
- 2層 灰黄褐色土 少量の白色軽石粒(浅間C・標名)と微量の炭化物
- 3層 暗灰黄褐色土 2層より白色軽石粒少ない・焼土・炭化物含む

36号土坑 (SK-36)



36号土坑 埋土

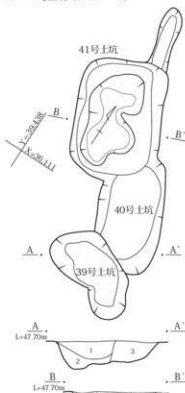
- 1層 黒褐色土(01R 3/2) 白色軽石・焼土・炭化物含む
- 2層 黒褐色土(01R 3/2) 白色軽石層より多い
- 3層 暗褐色土(01R 3/3) 黒褐色土に灰黄色砂質土混ざる



第531圖 8区26~34・36号土坑跡平・断面圖

第3章 検出遺構と出土遺物

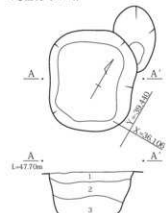
39～41号土坑 (SK-39～41)



39・40号土坑(A-B) 埋土
 1層 灰黄色土(0YR 4/2) 多量のローム小ブロック(φ5～10mm)と少量の白色軽石(既開C+種名ニツ)を含む
 2層 暗灰黄色土(5Y 4/2) 少量の灰黄色砂質ローム小ブロック(φ5～10mm)と白色軽石(既開C+種名ニツ)を含む
 3層 灰黄色土(10YR 4/2) 微量の白色軽石(既開C+種名ニツ)とローム粒子を含む

41号土坑 埋土(B-B')
 1層 灰黄色土(10YR 4/2) 少量のローム小ブロック(φ5～10mm)と白色軽石(既開C+種名ニツ)を含む
 2層 暗灰色砂質土(10YR 3/3) 少量のローム小ブロック(φ5～10mm)と少量の炭化物・白色軽石を含む
 3層 黒褐色土(10YR 3/2) 微量のローム粒子と炭化物を含む
 4層 暗灰黄色土(5Y 5/2) 少量のローム粒子・ローム小ブロック(φ5～10mm)を含む

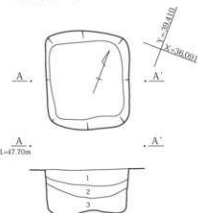
43号土坑 (SK-43)



43号土坑 埋土

1層 暗灰黄色土(5Y 5/2) 多量の淡黄色砂質ローム粒子と少量の白色軽石(既開C+種名ニツ)を含む
 2層 暗灰黄色土(5Y 4/2) 少量の淡黄色砂質ローム小ブロック(φ5～10mm)と白色軽石(既開C+種名ニツ)を含む
 3層 暗灰黄色土(5Y 4/2) 微量の淡黄色砂質ローム小ブロック(φ5～10mm)と白色軽石を含む

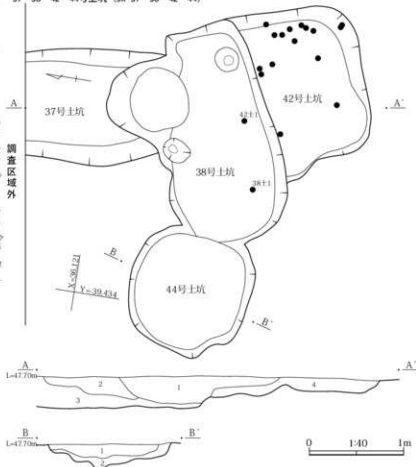
45号土坑 (SK-45)



45号土坑 埋土

1層 暗褐色砂質土(10YR 3/3) 多量の白色軽石(既開C+種名ニツ)と淡黄色砂質ローム粒子・炭化物砂質ローム小ブロック(φ5～10mm)を含む
 2層 暗褐色砂質土(10YR 3/3) 少量の白色軽石と淡黄色砂質ローム粒子を含む
 3層 灰黄褐色土(10YR 4/2) 多量の淡黄色砂質ローム粒子・ブロック(φ5～20mm)と少量の炭化物を含む

37・38・42・44号土坑 (SK-37・38・42・44)



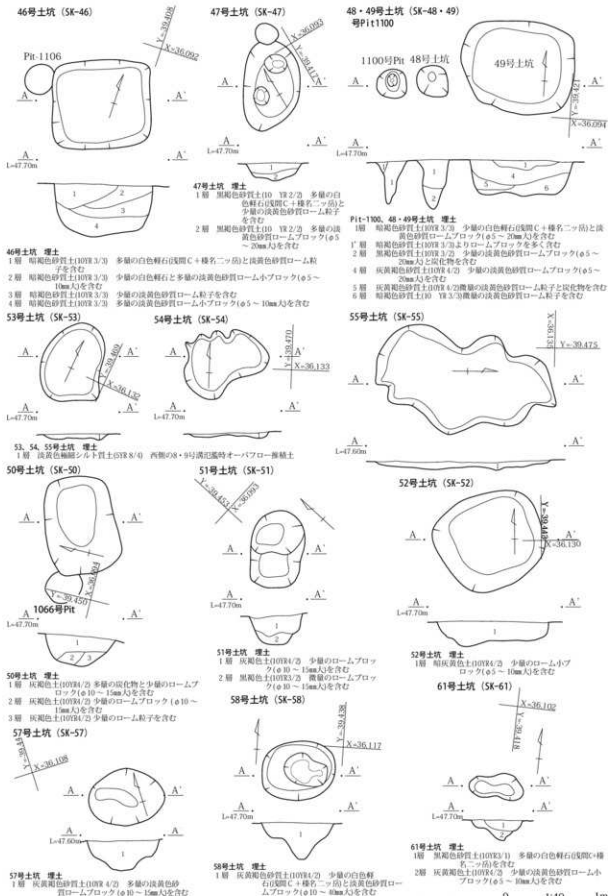
37・38・42号土坑(A-B') 埋土

1層 赤い・黄褐色土(10YR 5/3) 多量の淡黄色砂質ロームブロック(φ5～50mm)と微量の白色軽石(既開C+種名ニツ)を含む
 2層 赤い・黄褐色土(10YR 5/3) 少量の淡黄色砂質ローム粒子・淡黄色砂質ローム小ブロック(φ5～10mm)を含む
 3層 灰黄色土(10YR 5/2) 少量の淡黄色砂質ローム小ブロック(φ5～10mm)を含む
 4層 赤い・黄褐色土(10Y 5/3) 多量の淡黄色砂質ローム小ブロック(φ5～50mm)と微量の白色軽石(既開C+種名ニツ)を含む

44号土坑(B-B')

1層 灰黄色土(10YR 5/2) 少量のローム粒子と白色軽石(既開C+種名ニツ)・微量の粘土粒子・炭化物を含む
 2層 灰黄色土(10YR 5/2) 少量の淡黄色砂質ローム小ブロック(φ5～20mm)を含む

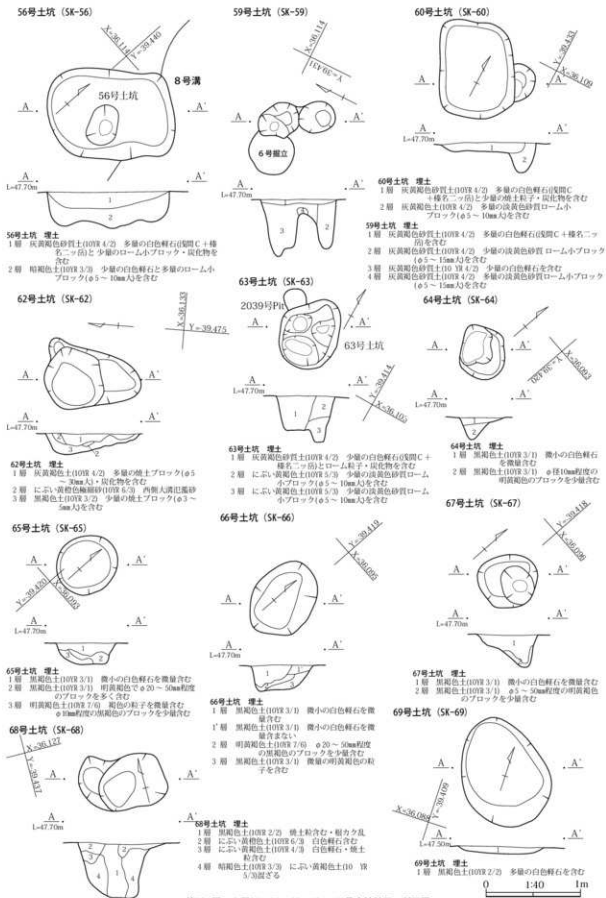
第532図 8区37～45号土坑跡平・断面図



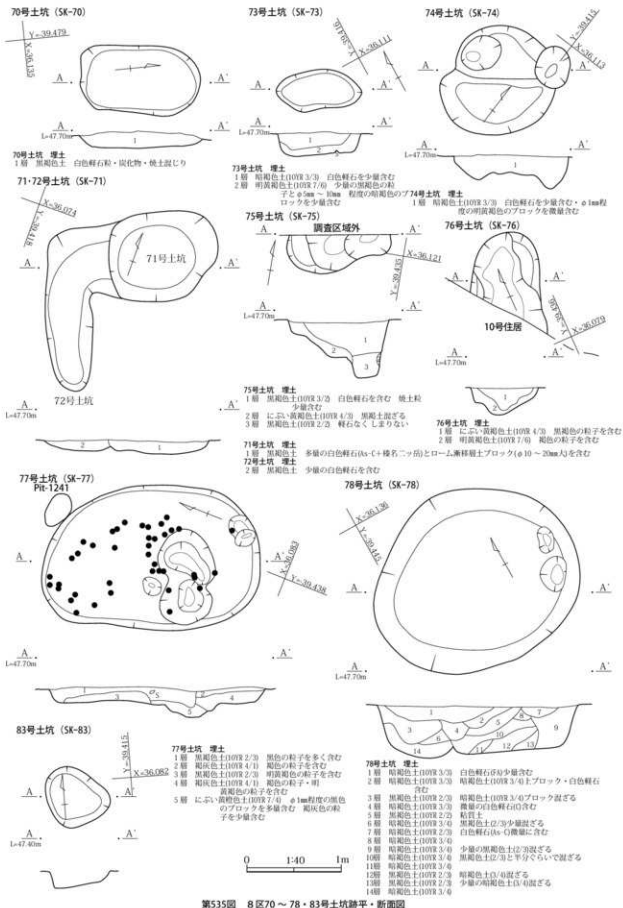
第533図 8区46~55・57・58・61号土坑跡・1100号pit跡平・断面図



第3章 検出遺構と出土遺物



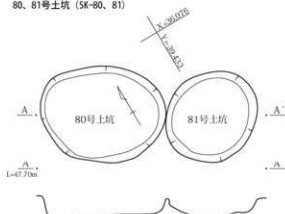
第534図 8区56・59・60・62~69号土坑跡平・断面図



第535図 8区70~78・83号土坑踏平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物

80、81号土坑 (SK-80、81)



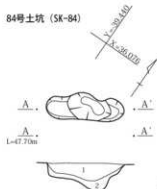
82号土坑 (SK-82)
61号Pit・2034号Pit



Pit-61 埋土
1層 黒褐色土(10YR 3/1) 微小の白色輝石を含む・明黄褐色のアブロック(φ2~20mm)を含む

82号土坑 埋土
2層 黒褐色土(10YR 3/1) 白色輝石を含むない・褐色の粒子を含む

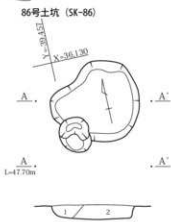
84号土坑 (SK-84)



85号土坑 (SK-85)



86号土坑 (SK-86)



84号土坑 埋土

- 1層 褐色土(10YR 4/1) 褐色の粒子を含む
- 2層 褐色土(10YR 4/1) 明黄褐色の粒子を含む

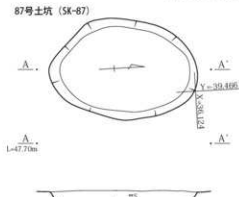
85号土坑 埋土

- 1層 褐色土(10YR 5/1) 微小の白色輝石・焼土を微量含む 褐色の粒子を含む
- 2層 にぶい黄褐色土(10YR 5/4) 褐色の粒子を含む
- 3層 褐色土(10YR 5/1) 明黄褐色の粒子を少量含む
- 4層 褐色土(10YR 5/1) 明黄褐色の粒子を多量含む
- 5層 褐色土(10YR 4/1) φ30mm程度の明黄褐色のアブロックを含む

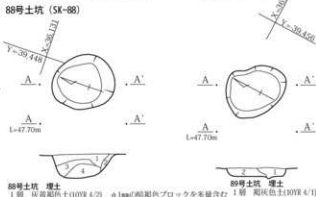
86号土坑 埋土

- 1層 にぶい黄褐色土(10YR 5/4) 褐色の粒子を含む
- 2層 褐色土(10YR 3/0) 褐色の粒子を含む

87号土坑 (SK-87)



88号土坑 (SK-88)



87号土坑 埋土

- 1層 にぶい黄褐色土(10YR 5/6) φ5mmの褐色のアブロックを少量含む

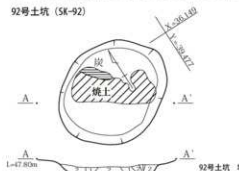
88号土坑 埋土

- 1層 灰黄褐色土(10YR 4/2) φ1mmの暗褐色アブロックを多量含む
- 2層 にぶい黄褐色土(10YR 7/6) 褐色の粒子を微量含む
- 3層 黄褐色土(10YR 8/6) φ1mmの灰褐色アブロックを少量含む
- 4層 灰黄褐色土(10YR 4/2) φ1mmの暗褐色アブロックを多量含む

89号土坑 埋土

- 1層 褐色土(10YR 4/1) φ30mm程度の明黄褐色アブロックを含む
- 2層 灰黄褐色土(10YR 4/2) φ1mm程度の褐色アブロックを少量含む
- 3層 にぶい黄褐色土(10YR 7/4) φ1mm程度の褐色アブロックを少量含む 灰褐色の粒子を含む

92号土坑 (SK-92)



90号土坑 (SK-90)



92号土坑 埋土

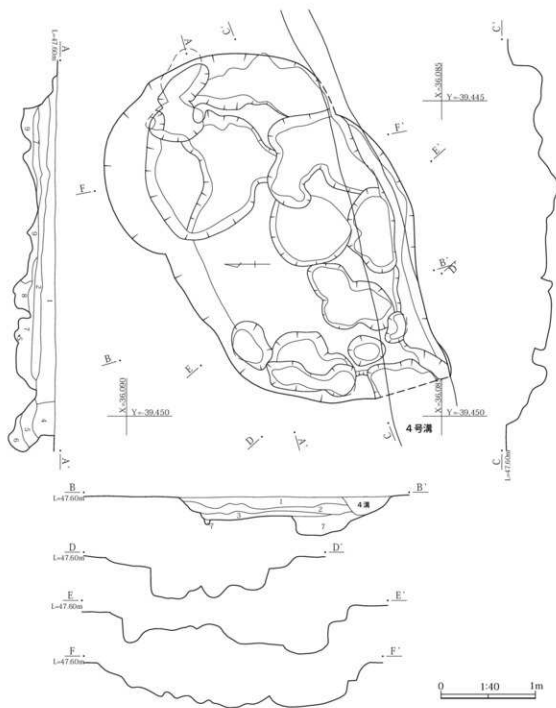
- 1層 埋土
- 2層 黒色土 砂を含む

90号土坑 埋土

- 1層 黒褐色土(10YR 3/0) にぶい黄褐色の粒子を含む
- 2層 灰黄褐色土(10YR 4/2) φ1mm程度のにぶい黄褐色のアブロックを少量含む
- 3層 にぶい黄褐色土(10YR 5/4) 褐色の粒子を含む・φ5~20mm程度の明黄褐色のアブロックを多量含む

第536図 8区80~82・84~90・92号土坑跡61・2034Pit平・断面図

94号土坑 (SK-94)



94号土坑 埋土

- 1層 褐色赤褐色土(2.5R 2/3) 粘土・炭化物・白色軽石含む
 - 2層 褐色赤褐色土(2.5R 2/3) 1層より白色軽石少ない・炭水ブロック少量含む・粘土・炭化含む
 - 3層 褐色赤褐色土(2.5R 3/3) 炭水ブロック多い
 - 4層 褐色赤土(10YR 3/3) 少量の白色軽石含む
 - 5層 土に多い赤褐色土(5YR 4/3) 炭水ブロック多い
 - 6層 褐色土(10YR 4/6) 炭水ブロック5層より多い
 - 7層 黒褐色土(5YR 3/1) 少量の白色軽石(炭質C+種名ニッ田)とロームブロック(φ5～30mm)を含む
 - 8層 黒褐色土(5YR 3/1) 少量の白色軽石と多量のロームブロック(φ5～50mm)を含む
 - 9層 黒褐色土(5YR 3/1) 少量の白色軽石とロームブロック(φ5～50mm)を含む
- ※本遺構はプラン編製時に自然降を想定し掘削したが、当該は検出できません。プランも不定形を呈していることから掘り下げを行った結果、土坑群と判明一部炭黄色軽石ローム部分をえぐるように掘りぬいた痕跡も認められることから、土取り目的の土坑と認められる。

第537図 8区94号土坑跡平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物

93号土坑 (SK-93)



93号土坑 埋土

- 1層 黒色土・砂・焼土粒を含む
- 2層 黒色土・相模粘頁土混ざる

2003号Pit 埋土

- 1層 黒褐色土(100V 3/1) 褐色の砂子を含む

30号Pit 埋土

- 1層 灰黄褐色土(100V 6/2) 黄褐色の砂子を含む

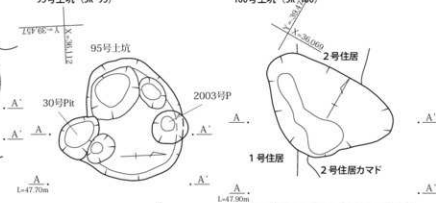
95号土坑 埋土

- 1層 灰黄褐色土(100V 5/2) 黒褐色の砂子を含む

- 2層 灰黄褐色土(100V 7/4) 灰黄褐色の砂子を含む

0 1:40 1m

95号土坑 (SK-95)



100号土坑 埋土

- 1層 褐色砂質土(50V 4/3) 少量の白色輝石(或閃石C+綠名ニツ品)と少量の炭化物・焼土粒子を含む

- 2層 褐色砂質土(50V 4/3) 少量の白色輝石(或閃石C+綠名ニツ品)と少量の炭化物・焼土粒子を含む

- 3層 褐色砂質土(50V 4/3) 少量の白色輝石(或閃石C+綠名ニツ品)を含む

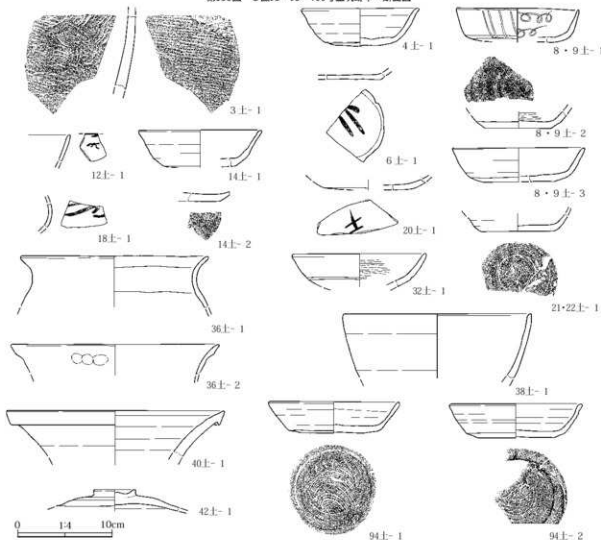
- 4層 黄褐色砂質土(50V 4/3) 少量の白色輝石(或閃石C+綠名ニツ品)を含む

- 5層 褐色砂質土(50V 4/3) 黄褐色の白色輝石(或閃石C+綠名ニツ品)を含み黄褐色砂質土を混在させる

- 6層 褐色砂質土(100V 3/4) 黄褐色の白色輝石(或閃石C+綠名ニツ品)と少量の炭化物・焼土粒子を含む

- 7層 褐色砂質土(50V 4/3) 黄褐色の白色輝石(或閃石C+綠名ニツ品)と炭化物・焼土粒子を含む

第538図 8区93・95・100号土坑跡平・断面図



第539図 8区土坑跡出土遺物

第2節 奈良・平安時代の遺構と遺物

8区3号土坑跡出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 甕	床面+40cm 胴部 破片	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰 (N 5/0)	ロク口整形。 外面：胴部平行叩き直。 内面：胴部中心円状当て具直。	叩き直。ア字具痕あり。

8区4号土坑跡出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	床面+13cm 口縁部～底部 1/3	口径 12.2 底径 6.8 器高 4.0	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白 (5Y 8/1)	ロク口整形。回転石回り。口縁部外反。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転へラ起し。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	口縁部内面に面 埋付着。

8区6号土坑跡出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	埋土中 底部 破片	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(5Y 7/1)	ロク口整形。 外面：底部へラ削り。 内面：底部回転ナデ調整。	底部外面に墨書。

8区8・9号土坑跡出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	埋土中 口縁部～底部 1/6	口径 12.8 底径 9.0 器高 3.4	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 橙 (5YR 6/6)	口縁部やや外反。 外面：口縁部～体部横ナデ後、放射状へラ暗文。底部はへラ削り。 内面：口縁部～体部横ナデ後、上下2段に螺旋状暗文。	蓋の先週で付けた暗文あり。
2	黒色土器 椀	埋土中 底部 破片	口径 — 底径 6.9 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 内面黒色 ③ 灰白(5Y 7/1)	ロク口整形。 外面：底部へラ削り。 内面：底部、体部へラ書き。	ロク口土師器。 底部外面にへラ 記号「+」。
3	須恵器 杯	埋土中 口縁部～底部 1/3	口径 13.8 底径 7.8 器高 3.6	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 やや不良 ③ 浅黄(2.5Y 7/3)	ロク口整形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転へラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	8号と9号土坑は 重複している。

8区12号土坑跡出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	埋土中 口縁部 破片	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰黄(2.5Y 7/2)	ロク口整形形。 外面：回転ナデ。 内面：回転ナデ調整。	口縁部外面に墨書。

8区14号土坑跡出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	埋土中 口縁部～体部 破片	口径 — 底径 7.6 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰黄褐(10YR 5/2)	ロク口整形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。 内面：口縁部～体部回転ナデ調整。	
2	須恵器 杯	埋土中 底部 破片	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焰 やや不良 ③ 灰黄(10YR 6/1)	ロク口整形。 外面：底部回転糸切り後、へラ調整。 内面：底部回転ナデ調整。	

8区18号土坑跡出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	埋土中 体部下平 破片	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焰 やや不良 ③ 灰黄(2.5Y 6/2)	ロク口整形。 外面：体部回転ナデ。 内面：胴部回転ナデ調整。	胴部外面に墨書。

8区20号土坑跡出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	埋土中 天井部上平 破片	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰黄 (2.5Y 7/2)	ロク口整形。 外面：底部回転へラ削り。 内面：天井部上平回転ナデ。	外面に 「土」の墨書。

8区21・22号土坑跡出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	埋土中 胴部下半～底部 破片	口径 — 底径 8.0 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰 (5Y 6/1)	ロク口整形。回転石回り。 外面：体部回転ナデ。底部回転糸切り後、周辺部を回転へラ削り。 内面：底部回転ナデ調整。	21号土坑と22号 土坑は重複して いる。

第3章 検出遺構と出土遺物

8区32号土坑跡出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	黒色土器 杯	埋土中 口縁部～底部 破片	口径 14.0 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ ①に赤い黄緑 (10 YR 7/4)	外面：体部回転ナデ。底部へラ調整。 内面：口縁部～体部回転ナデ調整。体部、底部へラ磨き。	ロクロ土器部。 残線あり。

8区36号土坑跡出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 甕	埋土中 口縁部 破片	口径 19.6 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ ①に赤い黄緑(5YR 5/3)	縮詰み。 外面：口縁部横ナデ。胴部へラ削り。 内面：口縁部横ナデ。	
2	土師器 甕	埋土中 口縁部 破片	口径 21.8 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ ①に赤い赤褐(5YR 5/4)	縮詰み。 外面：口縁部横ナデ。胴部直が残る。 内面：口縁部横ナデ。	口縁部に刺突痕あり。

8区38号土坑跡出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 鉢	底面直上 口縁部～体部 破片	口径 19.7 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰黄(2.5Y 7/2)	ロクロ器部。 外面：口縁部～体部回転ナデ。 内面：口縁部～体部回転ナデ調整。	

8区40号土坑跡出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 甕	埋土中 口縁部～胴部 破片	口径 22.8 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰黄(2.5Y 6/1)	外面：口縁部～胴部横ナデ調整。 内面：口縁部～胴部横ナデ調整。	

8区42号土坑跡出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯蓋	底面+12cm 胴部～天井部上半 破片	口径 — 柄径 4.2 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 やや不良 ③ ①に赤い黄緑(2.5 Y 6/3)	ロクロ器部。回転右回り。 外面：天井部上半へラ削り。胴部削り。 内面：天井部上半回転ナデ。	

8区94号土坑跡出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	埋土中 口縁部～底部 1/3	口径 13.5 底径 8.7 器高 3.3	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 やや不良 ③ ①に赤い黄緑 (10YR 7/4)	ロクロ器部。回転右回り。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り後、底部周辺は回転へラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	底部外面にへラ 記号「三」
2	須恵器 杯	埋土中 口縁部～底部 1/3	口径 13.6 底径 8.0 器高 3.6	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ ①に赤い黄緑(5YR 6/4)	ロクロ器部。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り後、底部周辺は回転へラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	

第2節 奈良・平安時代の遺構と遺物

8区 土坑一覧表

() 計測値の () は、測定値を示す

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	断面形状	出土遺物	埋土	備考
1号土坑跡	X = 36066 Y = -39476	不明	48cm	不明	逆台形	なし	白色軽石と焼土を含んだ灰黄褐色砂質土。	
2号土坑跡	X = 36066 Y = -39476	不明	75cm	不明	逆台形	なし	白色軽石と焼土、黄色砂質ローム粒子・小ブロックを含んだ暗褐色土。	
3号土坑跡	X = 36121 Y = -39480	210 × 130cm	56cm	楕円長方形	逆台形	須恵器襷胴部片	少量の白色軽石と炭化物、洪水土と小礫を含んだ黒褐色土。	9号溝と同じ埋土。
4号土坑跡	X = 36136 Y = -39460	58 × 52cm	67cm	ほぼ円形	U字形	須恵器杯破片	少量の白色軽石を含む黒褐色土。中間に灰黄褐色の洪水層がレンズ状に入る。	
5号土坑跡	X = 36105 Y = -39443	80 × 70cm	25cm	楕円形	逆台形	なし	少量の白色軽石と黄色の洪水層ブロックを含む暗赤褐色土。	
6号土坑跡	X = 36102 Y = -39441	115 × 90cm	48cm	楕円長方形	逆台形	須恵器杯(墨書土器)	多量の浅黄褐色砂質ロームブロックと少量の炭化物を含むふいふ黄褐色砂質土。	
7号土坑跡	X = 36105 Y = -39441	227 × 55cm	24cm	楕円長方形	平円形	なし	白色軽石を含む暗赤褐色土。	
8号土坑跡	X = 36106 Y = -39436	135 × 85cm	36cm	楕円長方形	逆台形	土師器杯(黒色土器)、土師器杯(陶文あり)、須恵器杯	多量の浅黄褐色砂質ロームブロックと少量の炭化物、白色軽石を含むふいふ黄褐色砂質土。	
9号土坑跡	X = 36107 Y = -39435	135 × 80cm	31cm	楕円長方形	逆台形	土師器杯(黒色土器)、須恵器杯の破片	少量の浅黄褐色砂質ロームブロックと白色軽石を含むふいふ黄褐色砂質土。	
10号土坑跡	X = 36107 Y = -39434	155 × 120cm	34cm	不定形	逆台形	須恵器杯(黒色土器)、須恵器杯の破片	微量の白色軽石と浅黄褐色砂質ロームブロック、焼土粒を含む灰黄褐色砂質土。	
11号土坑跡	X = 36107 Y = -39434	98 × 85cm	19cm	楕円長方形	逆台形	土師器杯・甕	多量の白色軽石と微量の炭化物、焼土粒を含む灰黄褐色砂質土。	
12号土坑跡	X = 36108 Y = -39422	100 × 80cm	38cm	楕円長方形	逆台形	須恵器杯(墨書土器)	少量の白色軽石と洪水ブロックを含む暗褐色土。	
13号土坑跡	X = 36111 Y = -39424	113 × 113cm	28cm	楕円正方形	平円形	土師器甕、須恵器杯・甕	少量の白色軽石と微量の炭化物を含む灰黄褐色土。	
14号土坑跡	X = 36112 Y = -39420	110 × 110cm	29cm	楕円正方形	平円形	須恵器杯	多量の白色軽石と少量の焼土粒、炭化物、浅黄褐色砂質ロームブロックを含む灰黄褐色砂質土。	
15号土坑跡	X = 36114 Y = -39420	105 × 80cm	32cm	楕円長方形	逆台形	土師器甕・蓋、須恵器杯、軟質土器	白色軽石と炭化物を含む暗赤褐色土。	
16号土坑跡	X = 36114 Y = -39421	100 × 76cm	35cm	楕円長方形	皿状	土師器鏡、土師器片、須恵器杯・甕	微量の白色軽石と炭化物を含む灰黄褐色砂質土。	
17号土坑跡	X = 36113 Y = -39423	160 × 95cm	56cm	楕円長方形	逆台形	土師器鏡、土師器片、須恵器杯・甕	少量の白色軽石と浅黄褐色砂質ロームブロック、炭化物を含む灰黄褐色砂質土。	
18号土坑跡	X = 36114 Y = -39424	120 × 100cm	15cm	楕円長方形	皿状	須恵器杯(墨書土器)	少量の白色軽石と多量の焼土粒、炭化物を含む灰黄褐色砂質土。	
19号土坑跡	X = 36113 Y = -39426	160 × 130cm	30cm	楕円形	逆台形	土師器甕、須恵器杯	少量の白色軽石を含む灰黄褐色砂質土。	
20号土坑跡	X = 36114 Y = -39426	130cm × 不明	28cm	不明	皿状	須恵器蓋(墨書土器)	微量の白色軽石と、焼土粒、炭化物、洪水砂ブロックを含んだふいふ褐色砂質土。	
21号土坑跡	X = 36112 Y = -39424	100 × 90cm	48cm	楕円正方形	U字形	須恵器杯	少量の白色軽石と、焼土粒、炭化物を含む灰褐色砂質土。	
22号土坑跡	X = 36112 Y = -39423	205 × 90cm	53cm	楕円長方形	逆台形	土師器甕、須恵器杯	少量の白色軽石と、焼土粒、炭化物を含む灰褐色砂質土。	
23号土坑跡	X = 36113 Y = -39428	115 × 70cm	29cm	不定形	皿状	土師器鏡、須恵器杯	多量の浅黄褐色砂質ロームブロックと少量の炭化物を含む灰黄褐色砂質土。	
24号土坑跡	X = 36115 Y = -39427	140 × 120cm	52cm	楕円形	逆台形	土師器杯	多量の浅黄褐色砂質ロームブロックと少量の炭化物を含む灰黄褐色砂質土。	
25号土坑跡	X = 36114 Y = -39430	135 × 120cm	44cm	不定形	逆台形	須恵器杯	多量のローム小ブロック(径5～10mm)と少量の焼土粒、炭化物を含むふいふ黄褐色砂質土。	
26号土坑跡	X = 36110 Y = -39418	130 × 80cm	29cm	楕円長方形	皿状	土師器杯(黒色土器)と須恵器杯	少量の白色軽石と焼土粒、炭化物を含む灰褐色砂質土。	
27号土坑跡	X = 36115 Y = -39425	100 × 80cm	39cm	楕円形	U字形	須恵器杯・蓋	多量の浅黄褐色砂質ロームブロックと少量の白色軽石を含んだ灰黄褐色砂質土。	
28号土坑跡	X = 36115 Y = -39424	120cm × 不明	38cm	不定形	逆台形	土師器甕、須恵器杯	多量の浅黄褐色砂質ロームブロックと少量の白色軽石を含んだ灰黄褐色砂質土。	
29号土坑跡	X = 36115 Y = -39423	130 × 90cm	32cm	楕円形	逆台形	土師器甕	少量の白色軽石と焼土粒、炭化物を含んだふいふ黄褐色砂質土。	
30号土坑跡	X = 36116 Y = -39431	105 × 90cm	30cm	楕円正方形	U字形	土師器甕	微量の白色軽石と炭化物を含む灰黄褐色砂質土。	
31号土坑跡	X = 36113 Y = -39434	145 × 125cm	25cm	不定形	逆台形	土師器杯・甕	洪水砂ブロックを含む暗赤褐色土。	
32号土坑跡	X = 36116 Y = -39442	135 × 75cm	35cm	楕円長方形	U字形	土師器杯(黒色土器)	白色軽石、焼土粒、炭化物、洪水砂ブロックを含む灰褐色砂質土。	
33号土坑跡	X = 36095 Y = -39446	115 × 75cm	40cm	楕円長方形	平円形	土師器甕、須恵器杯	多量の浅黄褐色砂質ロームブロックと少量の炭化物を含んだ暗褐色砂質土。	
34号土坑跡	X = 36108 Y = -39444	130 × 100cm	36cm	楕円長方形	逆台形	なし	少量の白色軽石と微量の炭化物を含む灰黄褐色土。	

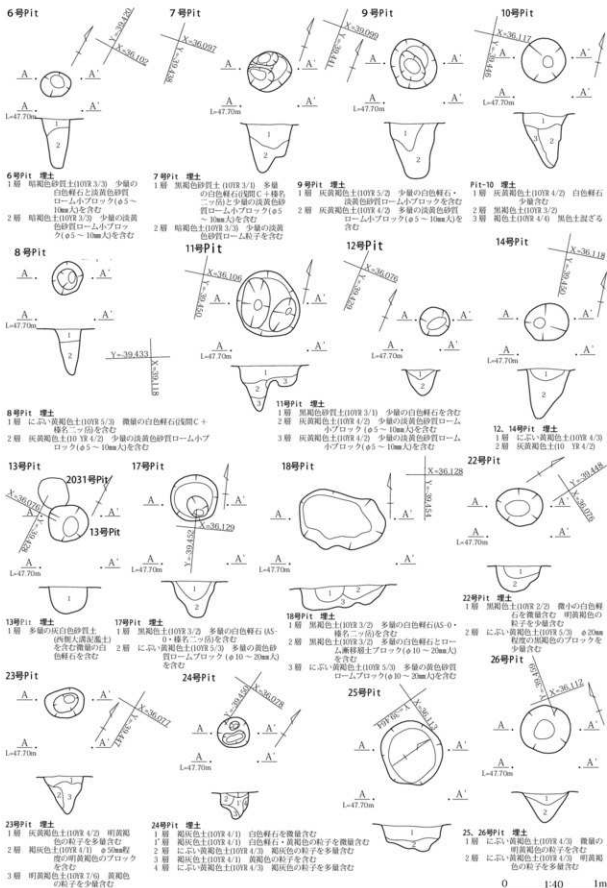
第3章 検出遺構と出土遺物

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	断面形状	出土遺物	埋土	備考
35号土坑跡	X = 36113 Y = -39420	125 × 115cm	28cm	楕円長方形	逆台形	土師器片・灰、須恵器片	少量の白色軽石と微量の炭化物を含む灰黄褐色土。	
36号土坑跡	X = 36116 Y = -39424	180 × 150cm	48cm	不定形	逆台形	土師器・土師器片	白色軽石と焼土粒、炭化物を含む黒褐色土。	
37号土坑跡	X = 36121 Y = -39430	不明 × 120cm	36cm	不明	不明	なし	少量の淡黄色砂質ローム粒子と小ブロックを含む淡黄色土。	
38号土坑跡	X = 36120 Y = -39430	230 × 160cm	30cm	不定形	逆台形	底部直上から須恵器杯の破片	多量の淡黄色砂質ローム粒子と微量の白色軽石を含む淡黄色土。	
39号土坑跡	X = 36110 Y = -39437	100 × 50cm	30cm	不定形	U字形	土師器	多量のローム小ブロックと少量の白色軽石を含む灰黄褐色土。	
40号土坑跡	X = 36111 Y = -39437	120 × 70cm	26cm	楕円長方形	逆台形	須恵器	微量の白色軽石とローム粒子を含む灰黄褐色土。	
41号土坑跡	X = 36112 Y = -39437	120 × 90cm	47cm	楕円長方形	平円形	土師器	少量のローム小ブロックと白色軽石、炭化物を含む灰黄褐色土。	
42号土坑跡	X = 36119 Y = -39431	不明	26cm	不明	皿状	須恵器破片	多量の淡黄色砂質ローム粒子と微量の白色軽石を含む淡黄色土。	
43号土坑跡	X = 36106 Y = -39440	105 × 90cm	52cm	楕円長方形	U字形	土師器杯、須恵器片	多量の淡黄色砂質ローム粒子と少量の白色軽石を含む暗灰黄色土。	
44号土坑跡	X = 36120 Y = -39434	130 × 130cm	30cm	円形	皿状	なし	少量のローム粒子、白色軽石、微量の焼土粒、炭化物を含む灰黄褐色土。	
45号土坑跡	X = 36090 Y = -39410	102 × 87cm	49cm	楕円長方形	逆台形	土師器	多量の白色軽石と淡黄色砂質ローム粒子、ローム小ブロックを含む暗褐色砂質土。	
46号土坑跡	X = 36091 Y = -39408	105 × 92cm	55cm	楕円長方形	U字形	土師器、須恵器杯の土師器片	多量の白色軽石と淡黄色砂質ローム粒子を含む暗褐色砂質土。	
47号土坑跡	X = 36093 Y = -39417	95 × 60cm	19cm	楕円形	皿状	なし	多量の白色軽石と少量の淡黄色砂質ローム粒子を含む黒褐色砂質土。	
48号土坑跡	X = 36093 Y = -39423	38 × 33cm	67cm	ほぼ円形	U字形	なし	少量の白色軽石と淡黄色砂質ロームブロックを含む暗褐色砂質土。	柱穴の可能性が高い。
49号土坑跡	X = 36093 Y = -39422	120 × 100cm	43cm	楕円長方形	逆台形	なし	少量の白色軽石と淡黄色砂質ロームブロックを含む暗褐色砂質土。	
50号土坑跡	X = 36093 Y = -39449	105 × 75cm	30cm	楕円長方形	平円形	なし	多量の炭化物と少量のロームブロックを含んだ灰褐色土。	
51号土坑跡	X = 36092 Y = -39453	80 × 55cm	80cm	楕円長方形	平円形	土師器、須恵器杯の土師器片	少量のロームブロックを含んだ灰褐色土。	柱穴の可能性が高い。
52号土坑跡	X = 36130 Y = -39444	112 × 100cm	26cm	楕円長方形	逆台形	なし	少量のローム小ブロックを含んだ暗灰黄色土。	
53号土坑跡	X = 36132 Y = -39469	83 × 63cm	11cm	不定形	皿状	なし	8号溝の掘進時オーバーフロー堆積土となる淡黄色細砂土質土。	
54号土坑跡	X = 36133 Y = -39471	92 × 60cm	8cm	不定形	皿状	なし	8号溝の掘進時オーバーフロー堆積土となる淡黄色細砂土質土。	
55号土坑跡	X = 36134 Y = -39475	190 × 90cm	13cm	不定形	皿状	土師器、須恵器杯	8号溝の掘進時オーバーフロー堆積土となる淡黄色細砂土質土。	
56号土坑跡	X = 36114 Y = -39440	135 × 95cm	68cm	楕円長方形	逆台形	土師器底部分片、須恵器破片	多量の白色軽石と少量のローム小ブロック、炭化物を含む灰黄褐色砂質土。	
57号土坑跡	X = 36107 Y = -39440	80 × 60cm	33cm	楕円形	U字形	なし	多量の淡黄色砂質ロームブロックを含む灰黄褐色砂質土。	
58号土坑跡	X = 36117 Y = -39438	80 × 62cm	40cm	楕円形	U字形	なし	少量の白色軽石と淡黄色砂質ロームブロックを含む灰黄褐色砂質土。	
59号土坑跡	X = 36114 Y = -39430	80 × 35cm	53cm	不定形	U字形	なし	多量の白色軽石を含む灰黄褐色砂質土。	
60号土坑跡	X = 36109 Y = -39434	100 × 75cm	12cm	楕円長方形	皿状	なし	多量の白色軽石と少量の焼土粒、炭化物を含む灰黄褐色砂質土。	
61号土坑跡	X = 36101 Y = -39418	60 × 25cm	26cm	不定形	U字形	なし	多量の白色軽石を含む黒褐色砂質土。	
62号土坑跡	X = 36134 Y = -39478	100 × 65cm	27cm	不定形	皿状	土師器	多量の焼土ブロック、炭化物を含む灰黄褐色土。	埋土の一部に8号溝の掘進時オーバーフロー堆積土が認められる。
63号土坑跡	X = 36103 Y = -39415	78 × 63cm	53cm	不定形	逆台形	土師器	少量の白色軽石とローム粒子、炭化物、淡黄色砂質ローム小ブロックを含む灰黄褐色砂質土。	
64号土坑跡	X = 36092 Y = -39421	55 × 48cm	24cm	不定形	U字形	なし	微量の白色軽石を含む黒褐色土。	
65号土坑跡	X = 36093 Y = -39420	65 × 60cm	25cm	楕円形	逆台形	なし	微量の白色軽石を含む黒褐色土。	
66号土坑跡	X = 36094 Y = -39419	85 × 63cm	31cm	不定形	逆台形	なし	微量の白色軽石を含む黒褐色土。	
67号土坑跡	X = 36095 Y = -39418	60 × 55cm	39cm	不定形	U字形	なし	微量の白色軽石を含む黒褐色土。	

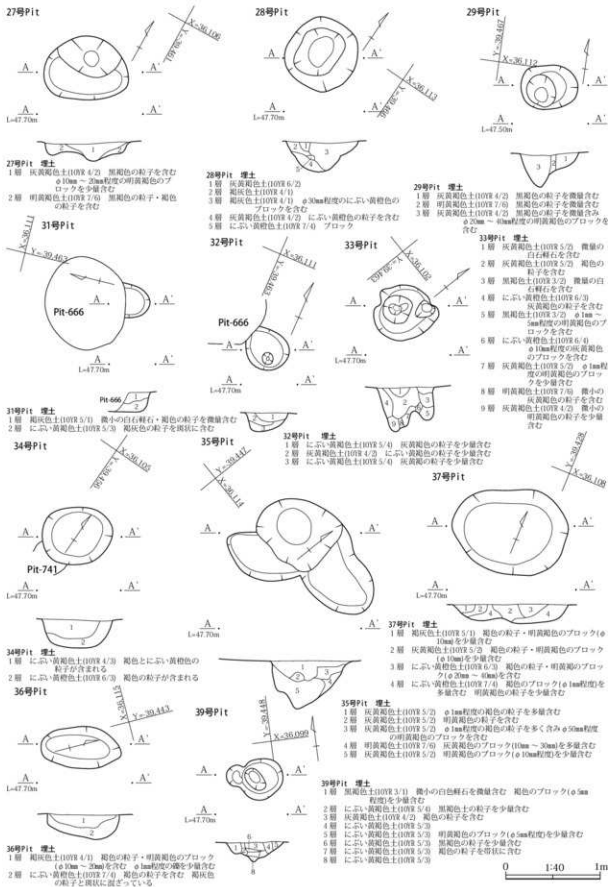
第2節 奈良・平安時代の遺構と遺物

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	断面形状	出土遺物	埋土	備考
68号土坑跡	X = 36126 Y = -39436	100 × 55cm	81cm	不定形	U字形	なし	幅20cmほどの柱穴痕と思われる焼土粒を含んだ黒褐色土。	11号掘立柱建物に伴う柱穴の可能性が有る。
69号土坑跡	X = 36089 Y = -39408	120 × 90cm	9cm	楕円形	皿状	土師器片	多量の白色軽石を含む黒褐色土。	
70号土坑跡	X = 36136 Y = -39478	126 × 70cm	14cm	楕円長方形	皿状	なし	白色軽石、焼土粒、炭化物を含む黒褐色土。	
71号土坑跡	X = 36074 Y = -39417	115 × 95cm	15cm	不定形	皿状	なし	少量の白色軽石、ロームブロックを含む黒褐色土。	
72号土坑跡	X = 36073 Y = -39417	170 × 50cm	11cm	不定形	皿状	なし	少量の白色軽石を含む黒褐色土。	
73号土坑跡	X = 36111 Y = -39417	90 × 40cm	54cm	楕円形	逆台形	なし	少量の白色軽石を含む暗褐色土。	
74号土坑跡	X = 36112 Y = -39415	120 × 115cm	35cm	不定形	逆台形	なし	少量の白色軽石と微量の明黄褐色ブロックを含んだ暗褐色土。	
75号土坑跡	X = 36121 Y = -39436	不明	62cm	不明	U字形	なし	白色軽石と少量の焼土粒を含む黒褐色土。	11号掘立柱建物に伴う柱穴の可能性が有る。本遺構の北側は調査区域外。
76号土坑跡	X = 36080 Y = -39436	不明 × 75cm	30cm	不明	U字形	なし	黒褐色粒子を含むふい・黄褐色土。	
77号土坑跡	X = 36084 Y = -39438	232 × 155cm	30cm	楕円長方形	皿状	なし	褐色粒子を含む褐色土。	
78号土坑跡	X = 36135 Y = -39444	225 × 190cm	55cm	楕円形	逆台形	なし	少量の白色軽石を含んだ暗褐色土。	
79号土坑跡	X = 36076 Y = -39424	125 × 80cm	10cm	楕円長方形	皿状	なし	褐色色粒子、ふい・黄褐色ブロックを含む灰黄褐色土。	
80号土坑跡	X = 36076 Y = -39434	130 × 100cm	20cm	楕円形	逆台形	なし	不明	
81号土坑跡	X = 36075 Y = -39433	103 × 92cm	20cm	楕円形	皿状	なし	不明	
82号土坑跡	X = 36084 Y = -39445	62 × 45cm	35cm	不定形	逆台形	なし	褐色粒子を含む黒褐色土。	
83号土坑跡	X = 36082 Y = -39415	65 × 60cm	17cm	不定形	逆台形	なし	不明	
84号土坑跡	X = 36075 Y = -39440	82 × 28cm	33cm	不定形	U字形	なし	褐色粒子を含む褐色土。	
85号土坑跡	X = 36122 Y = -39430	不明 × 50cm	28cm	不定形	U字形	なし	微量の白色軽石と焼土粒、褐色粒子を含む褐色土。	
86号土坑跡	X = 36129 Y = -39457	95 × 85cm	14cm	不定形	逆台形	なし	褐色粒子と黒褐色粒子を含む暗褐色土。	
87号土坑跡	X = 36123 Y = -39466	156 × 106cm	16cm	楕円形	逆台形	なし	径5mmの褐色ブロックを含むふい・黄褐色土。	7号溝は本遺構よりも70cm上面で検出。
88号土坑跡	X = 36130 Y = -39448	86 × 56cm	26cm	不定形	U字形	なし	多量の暗褐色ブロックを含んだ灰黄褐色土。	
89号土坑跡	X = 36143 Y = -39457	65 × 50cm	14cm	不定形	皿状	なし	褐色ブロックと明黄褐色ブロックを含んだ灰黄褐色土。	
90号土坑跡	X = 36075 Y = -39447	105 × 50cm	37cm	不定形	U字形	なし	ふい・黄褐色粒子とブロックを含む黒褐色土。	
91号土坑跡	X = 36076 Y = -39424	107 × 80cm	110cm	楕円形	U字形	なし	黄褐色粒子を含む黒褐色土。自然石が大量に含まれる。	井戸の可能性
92号土坑跡	X = 36149 Y = -39478	125 × 102cm	14cm	楕円形	逆台形	なし	焼土と炭、砂を含んだ黒色土。	
93号土坑跡	X = 36067 Y = -39470	115 × 75cm	35cm	楕円長方形	逆台形	なし	砂と焼土粒を含んだ黒色土。	
94号土坑跡	X = 36083 Y = -39447	580 × 380cm	68cm	不定形	逆台形	須恵器破片(底部にヘラ記号「三」)	焼土、炭化物、白色軽石を含む暗褐色土。中に洪水ブロックを多く含む。	一部で淡黄色砂質ローム部をえぐるように掘っていることから、土取り目的の土坑と思われる。
95号土坑跡	X = 36113 Y = -39456	130 × 100cm	20cm	不定形	逆台形	なし	黒褐色粒子を含む灰黄褐色土。	
100号土坑跡	X = 36068 Y = -39471	145 × 90cm	52cm	不定形	U字形	なし	少量の白色軽石と炭化物、焼土粒を含んだ褐色粘質土。	
101号土坑跡	X = 36186 Y = -3950	328 × 300cm	126cm	不定形	逆台形	須恵器杯(墨書土器)	白色軽石と少量の焼土粒を含む暗赤褐色砂質土。	調査時は1号不明遺構

第3章 検出遺構と出土遺物

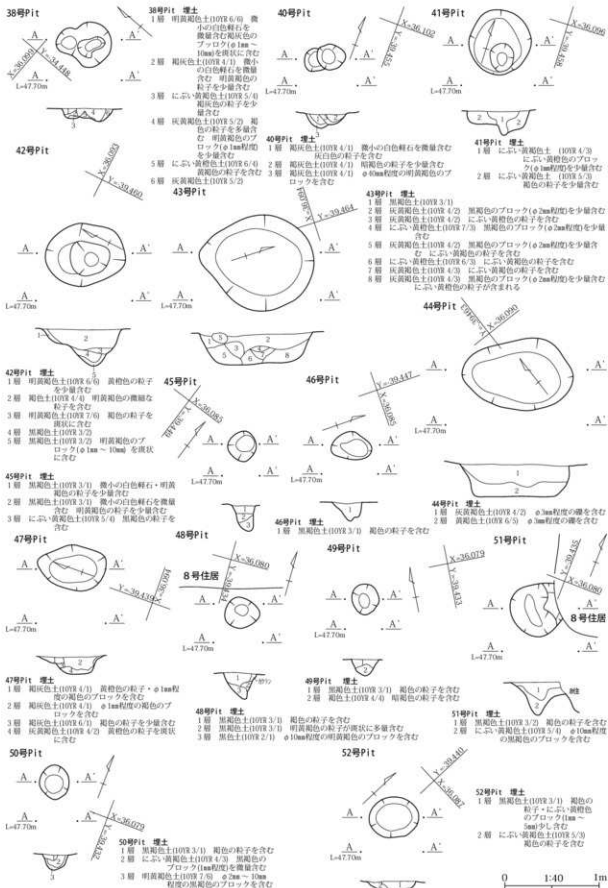


第540図 8区6~14・17・18・22~26号Pit跡平・断面図

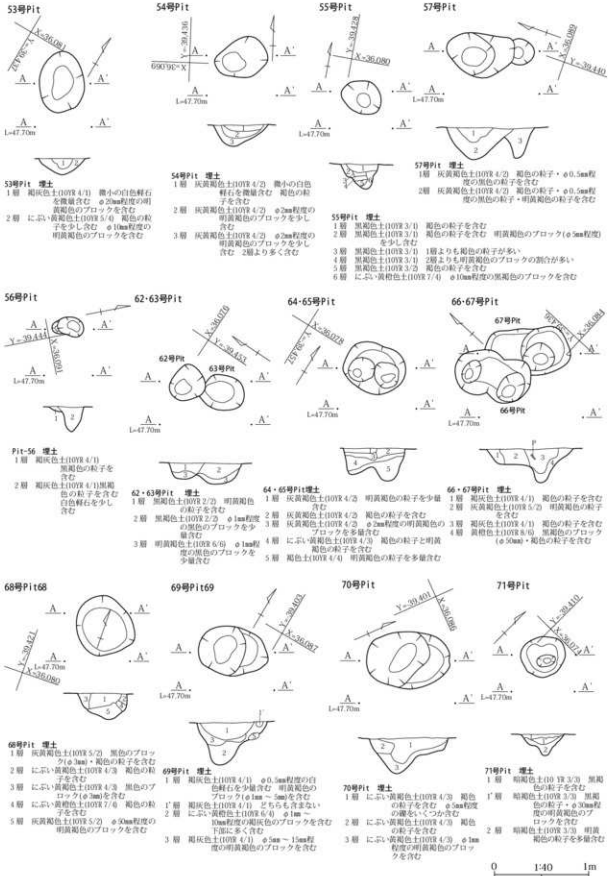


第541図 8区27~29・31~37・39号Pit跡平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物

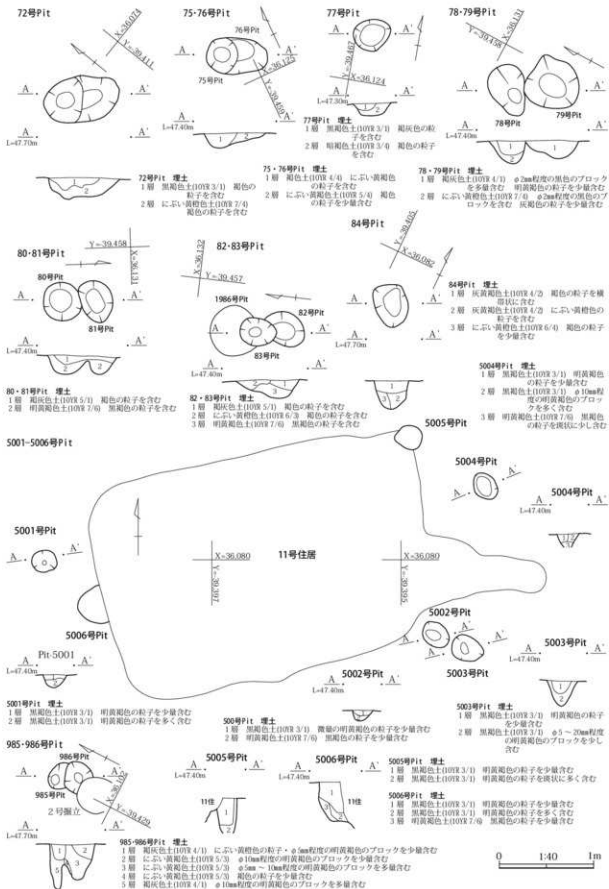


第542図 8区36・40～52号Pit跡平面図



第543図 8区53～57・62～71号Pit跡平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物



第544図 8区72・75～84・985・986・5001～5006号Pit跡平・断面図

第2節 奈良・平安時代の遺構と遺物

8区 Pit一覧表

注) 計測値の()は、推定値を示す

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	出土遺物	埋土	備考
1号 Pit 跡	X = 36186 Y = -39508	65 × 55cm	81cm	楕円形	なし	埋土不明。	
2号 Pit 跡	X = 36138 Y = -39452	不明 × 35cm	不明	楕円形か	瓦器類(土師器、須恵土師器)	埋土不明。	
3号 Pit 跡	X = 36108 Y = -39443	45 × 45cm	48cm	不定形	なし	微量の白色軽石を含む。	
6号 Pit 跡	X = 36101 Y = -39420	65 × 55cm	81cm	楕円形	なし	少量の白色軽石を含む。	
7号 Pit 跡	X = 36097 Y = -39437	48 × 40cm	51cm	楕円形	なし	多量の白色軽石を含む。	
8号 Pit 跡	X = 36117 Y = -39434	40 × 35cm	50cm	楕円形	なし	微量の白色軽石を含む。	6号掘立柱建物の中にある(関係は不明)。
9号 Pit 跡	X = 36099 Y = -39441	52 × 50cm	62cm	円形	なし	少量の白色軽石を含む。	
10号 Pit 跡	X = 36117 Y = -39445	48 × 45cm	62cm	円形	なし	少量の白色軽石を含む。	
11号 Pit 跡	X = 36106 Y = -39449	70 × 68cm	50cm	円形	なし	多量の白色軽石を含む。	
11号 Pit 跡	X = 36076 Y = -39428	32 × 32cm	27cm	円形	なし	微量の白色軽石を含む。	8・9号溝の氈蓋土が上位に堆積する。
12号 Pit 跡	X = 36076 Y = -39427	43 × 35cm	72cm	楕円形	なし	灰白色砂質土を含む。	8・9号溝の氈蓋土が堆積する。
14号 Pit 跡	X = 36117 Y = -39450	47 × 37cm	53cm	楕円形	なし	微量の白色軽石を含む。	
15号 Pit 跡	X = 36128 Y = -39457	27 × 26cm	39cm	楕円形	なし	埋土不明。	
16号 Pit 跡	X = 36130 Y = -39450	43 × 34cm	18cm	円形	土師器杯・甕	埋土不明。	
17号 Pit 跡	X = 36129 Y = -39452	46 × 45cm	44cm	円形	なし	多量の白色軽石を含む。	
18号 Pit 跡	X = 36128 Y = -39455	90 × 60cm	23cm	不定形	なし	白色軽石を含む。	
22号 Pit 跡	X = 36075 Y = -39448	50 × 40cm	27cm	楕円形	なし	微量の白色軽石を含む。	
23号 Pit 跡	X = 36077 Y = -39447	43 × 30cm	40cm	楕円形	なし		
24号 Pit 跡	X = 36077 Y = -39450	33 × 33cm	34cm	円形	なし	微量の白色軽石を含む。	
25号 Pit 跡	X = 36113 Y = -39463	70 × 65cm	34cm	楕円形	なし		
26号 Pit 跡	X = 36112 Y = -39459	52 × 50cm	32cm	円形	なし		
27号 Pit 跡	X = 36105 Y = -39462	90 × 65cm	35cm	楕円形	なし		
28号 Pit 跡	X = 36113 Y = -39467	75 × 75cm	35cm	円形	なし		
29号 Pit 跡	X = 36112 Y = -39466	60 × 45cm	46cm	楕円形	なし		
30号 Pit 跡	X = 36112 Y = -39456	50 × 35cm	17cm	不定形	なし		
31号 Pit 跡	X = 36110 Y = -39463	(59) × 35cm	20cm	楕円形か	なし	微量の白色軽石を含む。	
32号 Pit 跡	X = 36110 Y = -39463	50 × 43cm	38cm	楕円形	なし		
33号 Pit 跡	X = 36102 Y = -39462	70 × 60cm	51cm	楕円形	なし	微量の白色軽石を含む。	
34号 Pit 跡	X = 36104 Y = -39456	75 × 60cm	31cm	楕円形	なし		
35号 Pit 跡	X = 36114 Y = -39446	100 × 80cm	45cm	不定形	なし		2基の Pit と重複か。
36号 Pit 跡	X = 36114 Y = -39443	86 × 45cm	30cm	楕円形	なし		
37号 Pit 跡	X = 36107 Y = -39428	125 × 90cm	20cm	不定形	なし		4号掘立柱建物の中にあるが、約10cm下面で検出。
38号 Pit 跡	X = 36099 Y = -39447	60 × 50cm	19cm	不定形	なし	微量の白色軽石を含む。	
39号 Pit 跡	X = 36099 Y = -39448	60 × 45cm	26cm	不定形	なし	微量の白色軽石を含む	
40号 Pit 跡	X = 36101 Y = -39455	30 × 28cm	16cm	円形	なし	微量の白色軽石を含む。	Pit と重複(40号 Pit の方が新しい)。
41号 Pit 跡	X = 36095 Y = -39458	70 × 67cm	36cm	円形	なし		
42号 Pit 跡	X = 36093 Y = -39461	83 × 67cm	47cm	楕円形	なし		
43号 Pit 跡	X = 36093 Y = -39464	120 × 102cm	32cm	不定形	なし	径3mm程度の礫を含む。	土坑か。
44号 Pit 跡	X = 36089 Y = -39463	118 × 76cm	36cm	不定形	なし	径3mm程度の礫を含む。	土坑か。
45号 Pit 跡	X = 36085 Y = -39448	33 × 30cm	31cm	円形	なし	少量の白色軽石を含む。	
46号 Pit 跡	X = 36084 Y = -39446	44 × 30cm	22cm	不定形	なし		
47号 Pit 跡	X = 36095 Y = -39446	70 × 50cm	20cm	不定形	なし		
48号 Pit 跡	X = 36080 Y = -39434	38 × 33cm	35cm	円形	なし		
49号 Pit 跡	X = 36079 Y = -39434	32 × 29cm	18cm	円形	なし		
50号 Pit 跡	X = 36079 Y = -39433	36 × 32cm	20cm	円形	なし		
51号 Pit 跡	X = 36080 Y = -39435	(69) × 55cm	36cm	不定形	なし		
52号 Pit 跡	X = 36086 Y = -39440	52 × 43cm	12cm	楕円形	なし		1号掘立柱建物の中にあるが、約14cm下面で検出。
53号 Pit 跡	X = 36081 Y = -39436	63 × 48cm	19cm	楕円形	なし	微量の白色軽石を含む。	
54号 Pit 跡	X = 36069 Y = -39435	57 × 42cm	27cm	不定形	なし		3号掘立柱建物の中にあるが、約10cm下面で検出。微量の白色軽石を含む。
55号 Pit 跡	X = 36080 Y = -39428	45 × 35cm	28cm	楕円形	なし		
56号 Pit 跡	X = 36091 Y = -39444	28 × 20cm	29cm	楕円形	なし	少量の白色軽石を含む。	1基の Pit と重複か。
57号 Pit 跡	X = 36090 Y = -39440	71 × 46cm	36cm	不定形	なし		1基の Pit と重複か。
61号 Pit 跡	X = 36083 Y = -39446	45 × 37cm	26cm	不定形	なし	微量の白色軽石を含む。	
62号 Pit 跡	X = 36076 Y = -39454	40 × 40cm	20cm	円形	なし		
63号 Pit 跡	X = 36076 Y = -39453	(47) × 38cm	22cm	楕円形	なし		
64号 Pit 跡	X = 36078 Y = -39456	45 × (35)cm	32cm	楕円形	なし		埋土は北西側から流れ込んでいる。
65号 Pit 跡	X = 36078 Y = -39456	45 × (35)cm	39cm	楕円形	なし		埋土は北西側から流れ込んでいる。
66号 Pit 跡	X = 36085 Y = -39436	不明 × (50)cm	16cm	楕円形	なし		
67号 Pit 跡	X = 36084 Y = -39436	50 × 53cm	39cm	円形	なし		
68号 Pit 跡	X = 36081 Y = -39420	66 × 60cm	32cm	不定形	なし		

第3章 検出遺構と出土遺物

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	出土遺物	埋土	備考
69号Pit跡	X=36087 Y=-39403	72×53cm	54cm	楕円形	なし	少量の白色軽石を含む。	
70号Pit跡	X=36085 Y=-39401	88×60cm	38cm	楕円形	なし		
71号Pit跡	X=36074 Y=-39410	48×42cm	26cm	不定形	なし		
72号Pit跡	X=36074 Y=-39412	81×47cm	21cm	不定形	なし		
73号Pit跡	X=36083 Y=-39446	45×37cm	26cm	不定形	なし		
74号Pit跡	X=36083 Y=-39446	45×37cm	26cm	不定形	なし		73号Pitより新しい。
75号Pit跡	X=36125 Y=-39459	38×35cm	17cm	円形	なし		
76号Pit跡	X=36125 Y=-39459	不明×35cm	8cm	楕円形か	なし		
77号Pit跡	X=36124 Y=-39465	40×34cm	14cm	円形	なし		5号掘立柱建物の中にあるが、約30cm下面で検出。7号溝よりも下層面で検出。
78号Pit跡	X=36131 Y=-39458	58×40cm	32cm	不定形	なし		7号溝よりも下層面で検出。
79号Pit跡	X=36130 Y=-39458	60×58cm	19cm	不定形	なし		7号溝よりも下層面で検出。
80号Pit跡	X=36130 Y=-39457	40×40cm	20cm	円形	なし		7号溝よりも下層面で検出。
81号Pit跡	X=36130 Y=-39457	45×35cm	20cm	楕円形	なし		7号溝よりも下層面で検出。
82号Pit跡	X=36131 Y=-39457	49×35cm	20cm	楕円形	なし		7号溝よりも下層面で検出。
83号Pit跡	X=36131 Y=-39457	38×30cm	11cm	楕円形	なし		1986号Pitより新しい。7号溝よりも下層面で検出。
84号Pit跡	X=36081 Y=-39405	45×35cm	29cm	不定形	なし		
376号Pit跡	X=36151 Y=-39470	36×34cm	13cm	ほぼ円形	なし		
377号Pit跡	X=36150 Y=-39470	48×34cm	25cm	楕円形	なし		
378号Pit跡	X=36150 Y=-39470	34×28cm	13cm	円形	なし		
379号Pit跡	X=36149 Y=-39473	33×31cm	17cm	円形	なし		
380号Pit跡	X=36148 Y=-39471	30×25cm	17cm	不定形	なし		
381号Pit跡	X=36148 Y=-39470	34×30cm	57cm	円形	なし		
382号Pit跡	X=36147 Y=-39469	50×43cm	33cm	ほぼ円形	なし		
383号Pit跡	X=36147 Y=-39470	58×47cm	30cm	楕円形	なし		
384号Pit跡	X=36145 Y=-39469	38×38cm	48cm	円形	なし		
385号Pit跡	X=36141 Y=-39470	50×45cm	28cm	円形	なし		
386号Pit跡	X=36140 Y=-39472	30×25cm	24cm	円形	なし		
387号Pit跡	X=36141 Y=-39469	28×23cm	25cm	楕円形	なし		
388号Pit跡	X=36141 Y=-39468	30×25cm	7cm	楕円形	なし		
389号Pit跡	X=36140 Y=-39467	50×45cm	19cm	円形	なし		
390号Pit跡	X=36138 Y=-39467	52×50cm	30cm	円形	なし	埋土不明。	
391号Pit跡	X=36136 Y=-39467	27×26cm	35cm	ほぼ円形	なし		
392号Pit跡	X=36136 Y=-39464	27×23cm	20cm	円形	なし		
393号Pit跡	X=36135 Y=-39463	69×51cm	44cm	楕円形	なし		
394号Pit跡	X=36136 Y=-39461	31×29cm	29cm	円形	なし		
395号Pit跡	X=36138 Y=-39461	39×38cm	25cm	円形	なし		
396号Pit跡	X=36144 Y=-39459	34×29cm	46cm	円形	なし	埋土不明。	
397号Pit跡	X=36137 Y=-39457	25×23cm	27cm	楕円形	なし	埋土不明。	
398号Pit跡	X=36136 Y=-39458	43×28cm	28cm	楕円形	なし	埋土不明。	
399号Pit跡	X=36135 Y=-39458	77×53cm	40cm	楕円形	なし	埋土不明。	
400号Pit跡	X=36134 Y=-39459	22×18cm	33cm	円形	なし	埋土不明。	
401号Pit跡	X=36133 Y=-39459	18×16cm	14cm	円形	なし	埋土不明。	
402号Pit跡	X=36133 Y=-39466	33×33cm	56cm	円形	なし	埋土不明。	
403号Pit跡	X=36133 Y=-39467	30×24cm	23cm	楕円形	なし	埋土不明。	
404号Pit跡	X=36135 Y=-39467	52×46cm	56cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
405号Pit跡	X=36135 Y=-39470	61×48cm	30cm	楕円形	なし	埋土不明。	
406号Pit跡	X=36134 Y=-39475	37×33cm	26cm	円形	なし	埋土不明。	
407号Pit跡	X=36134 Y=-39475	46×37cm	21cm	楕円形	なし	埋土不明。	
408号Pit跡	X=36133 Y=-39476	32×28cm	21cm	円形	なし	埋土不明。	
409号Pit跡	X=36134 Y=-39476	36×25cm	21cm	楕円形	なし	埋土不明。	
410号Pit跡	X=36134 Y=-39477	55×40cm	71cm	楕円形	なし	埋土不明。	
411号Pit跡	X=36134 Y=-39477	43×39cm	14cm	円形	なし	埋土不明。	
412号Pit跡	X=36133 Y=-39477	29×28cm	21cm	円形	なし	埋土不明。	
413号Pit跡	X=36133 Y=-39477	32×27cm	19cm	円形	なし	埋土不明。	
414号Pit跡	X=36132 Y=-39477	24×19cm	20cm	円形	なし	埋土不明。	
415号Pit跡	X=36133 Y=-39476	33×31cm	24cm	円形	なし	埋土不明。	
416号Pit跡	X=36132 Y=-39476	57×33cm	21cm	楕円形	なし	埋土不明。	
417号Pit跡	X=36132 Y=-39476	24×21cm	21cm	円形	なし	埋土不明。	
418号Pit跡	X=36132 Y=-39477	25×25cm	14cm	円形	なし	埋土不明。	
419号Pit跡	X=36132 Y=-39477	18×16cm	17cm	円形	なし	埋土不明。	
420号Pit跡	X=36132 Y=-39478	19×17cm	12cm	円形	なし	埋土不明。	
421号Pit跡	X=36132 Y=-39478	27×25cm	17cm	円形	なし	埋土不明。	
422号Pit跡	X=36132 Y=-39479	36×15cm	17cm	楕円形	なし	埋土不明。	
423号Pit跡	X=36131 Y=-39479	31×30cm	18cm	円形	なし	埋土不明。	
424号Pit跡	X=36129 Y=-39477	20×17cm	16cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	

第2節 奈良・平安時代の遺構と遺物

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	出土遺物	埋土	備考
425号Pit跡	X=36129 Y=-39477	31×30cm	25cm	円形	なし	埋土不明	
426号Pit跡	X=36129 Y=-39476	21×21cm	15cm	円形	なし	埋土不明	
427号Pit跡	X=36130 Y=-39476	33×28cm	17cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
428号Pit跡	X=36129 Y=-39475	28×21cm	20cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
429号Pit跡	X=36129 Y=-39476	33×22cm	21cm	楕円形	なし	埋土不明	
430号Pit跡	X=36126 Y=-39476	74×72cm	17cm	円形	なし	埋土不明	
431号Pit跡	X=36130 Y=-39468	30×23cm	28cm	楕円形	なし	埋土不明	
432号Pit跡	X=36130 Y=-39467	29×29cm	16cm	円形	なし	埋土不明	
433号Pit跡	X=36128 Y=-39466	54×41cm	20cm	楕円形	なし	埋土不明	
435号Pit跡	X=36126 Y=-39464	37×29cm	16cm	楕円形	なし	埋土不明	
436号Pit跡	X=36126 Y=-39462	45×37cm	32cm	楕円形	なし	埋土不明	
437号Pit跡	X=36123 Y=-39469	33×23cm	22cm	楕円形	なし	埋土不明	
438号Pit跡	X=36122 Y=-39470	30×25cm	12cm	楕円形	なし	埋土不明	
439号Pit跡	X=36121 Y=-39471	36×34cm	27cm	円形	なし	埋土不明	
440号Pit跡	X=36121 Y=-39470	34×33cm	23cm	円形	なし	埋土不明	
441号Pit跡	X=36121 Y=-39469	28×26cm	19cm	円形	なし	埋土不明	
442号Pit跡	X=36120 Y=-39471	39×35cm	21cm	円形	なし	埋土不明	
443号Pit跡	X=36119 Y=-39471	37×36cm	12cm	円形	なし	埋土不明	
444号Pit跡	X=36120 Y=-39469	67×50cm	6cm	不定形	なし	埋土不明	
445号Pit跡	X=36121 Y=-39469	54×47cm	10cm	楕円形	なし	埋土不明	
446号Pit跡	X=36120 Y=-39469	269×22cm	9cm	円形	なし	埋土不明	
447号Pit跡	X=36120 Y=-39468	28×24cm	11cm	円形	なし	埋土不明	
448号Pit跡	X=36120 Y=-39467	96×79cm	38cm	不定形	なし	埋土不明	
449号Pit跡	X=36121 Y=-39467	65×56cm	24cm	楕円形	なし	埋土不明	
450号Pit跡	X=36121 Y=-39466	42×39cm	16cm	円形	なし	埋土不明	
451号Pit跡	X=36121 Y=-39465	45×44cm	10cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
452号Pit跡	X=36121 Y=-39464	46×40cm	26cm	楕円形	なし	埋土不明	
453号Pit跡	X=36120 Y=-39463	22×19cm	11cm	円形	なし	埋土不明	
454号Pit跡	X=36121 Y=-39464	32×28cm	25cm	円形	なし	埋土不明	
455号Pit跡	X=36121 Y=-39462	87×48cm	31cm	不定形	なし	埋土不明	もう1基のPitと重複か。
456号Pit跡	X=36123 Y=-39460	423×37cm	20cm	円形	なし	埋土不明	
457号Pit跡	X=36123 Y=-39460	54×46cm	37cm	楕円形	なし	埋土不明	
458号Pit跡	X=36127 Y=-39460	25×23cm	10cm	円形	なし	埋土不明	
459号Pit跡	X=36127 Y=-39458	24×21cm	7cm	円形	なし	埋土不明	
460号Pit跡	X=36125 Y=-39458	61×49cm	40cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
461号Pit跡	X=36124 Y=-39457	30×24cm	5cm	円形	なし	埋土不明	
462号Pit跡	X=36122 Y=-39457	45×32cm	7cm	楕円形	なし	埋土不明	
463号Pit跡	X=36122 Y=-39456	27×26cm	11cm	円形	なし	埋土不明	住居よりも25cmほど下で検出。
464号Pit跡	X=36122 Y=-39456	25×22cm	23cm	円形	なし	埋土不明	住居よりも25cmほど下で検出。
465号Pit跡	X=36123 Y=-39456	31×(30)cm	16cm	円形	なし	埋土不明	住居よりも25cmほど下で検出。
466号Pit跡	X=36124 Y=-39456	20×16cm	8cm	円形	なし	埋土不明	住居よりも25cmほど下で検出。
467号Pit跡	X=36124 Y=-39456	24×16cm	16cm	楕円形	なし	埋土不明	
468号Pit跡	X=36125 Y=-39455	26×25cm	21cm	円形	なし	埋土不明	
469号Pit跡	X=36125 Y=-39455	21×17cm	12cm	円形	なし	埋土不明	
470号Pit跡	X=36126 Y=-39456	71×71cm	37cm	円形	なし	埋土不明	
471号Pit跡	X=36126 Y=-39454	34×20cm	4cm	楕円形	なし	埋土不明	
472号Pit跡	X=36127 Y=-39454	44×40cm	17cm	円形	なし	埋土不明	
473号Pit跡	X=36128 Y=-39455	60×42cm	10cm	楕円形	なし	埋土不明	
474号Pit跡	X=36129 Y=-39457	39×31cm	22cm	不定形	なし	埋土不明	
475号Pit跡	X=36130 Y=-39456	29×26cm	21cm	円形	なし	埋土不明	
476号Pit跡	X=36130 Y=-39455	36×32cm	8cm	円形	なし	埋土不明	
477号Pit跡	X=36131 Y=-39453	77×50cm	11cm	不定形	なし	埋土不明	
478号Pit跡	X=36132 Y=-39454	72×48cm	39cm	不定形	なし	埋土不明	
479号Pit跡	X=36131 Y=-39457	31×27cm	39cm	円形	なし	埋土不明	
480号Pit跡	X=36134 Y=-39457	47×41cm	21cm	楕円形	なし	埋土不明	
481号Pit跡	X=36134 Y=-39457	30×26cm	12cm	円形	なし	埋土不明	
482号Pit跡	X=36134 Y=-39456	19×18cm	31cm	円形	なし	埋土不明	
483号Pit跡	X=36134 Y=-39456	19×17cm	14cm	円形	なし	埋土不明	
484号Pit跡	X=36135 Y=-39457	28×19cm	19cm	楕円形	なし	埋土不明	
485号Pit跡	X=36135 Y=-39457	70×47cm	15cm	楕円形	なし	埋土不明	
486号Pit跡	X=36135 Y=-39456	26×23cm	21cm	円形	なし	埋土不明	
487号Pit跡	X=36135 Y=-39456	21×20cm	14cm	円形	なし	埋土不明	
488号Pit跡	X=36135 Y=-39456	29×28cm	19cm	円形	なし	埋土不明	
489号Pit跡	X=36135 Y=-39455	26×21cm	19cm	円形	なし	埋土不明	

第3章 検出遺構と出土遺物

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	出土遺物	埋土	備考
490号Pit跡	X=36134 Y=-39453	48×41cm	27cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
491号Pit跡	X=36131 Y=-39450	60×37cm	15cm	楕円形	なし	埋土不明	
492号Pit跡	X=36131 Y=-39449	38×33cm	12cm	円形	なし	埋土不明	
493号Pit跡	X=36137 Y=-39449	42×37cm	19cm	円形	なし	埋土不明	
494号Pit跡	X=36125 Y=-39452	24×22cm	46cm	円形	なし	埋土不明	柱居よりも20cmほど下面で検出。
495号Pit跡	X=36125 Y=-39451	不明×38cm	20cm	楕円形	なし	埋土不明	柱居よりも20cmほど下面で検出。
496号Pit跡	X=36124 Y=-39450	13×10cm	11cm	楕円形	なし	埋土不明	柱居よりも20cmほど下面で検出。
497号Pit跡	X=36124 Y=-39450	14×9cm	8cm	楕円形	なし	埋土不明	
498号Pit跡	X=36123 Y=-39450	44×39cm	24cm	楕円形	なし	埋土不明	
499号Pit跡	X=36122 Y=-39450	28×19cm	25cm	楕円形	なし	埋土不明	
500号Pit跡	X=36123 Y=-39449	39×36cm	14cm	円形	なし	埋土不明	
501号Pit跡	X=36123 Y=-39448	26×25cm	8cm	円形	なし	埋土不明	
502号Pit跡	X=36122 Y=-39447	49×46cm	18cm	円形	なし	埋土不明	
503号Pit跡	X=36125 Y=-39448	38×38cm	11cm	円形	なし	埋土不明	
504号Pit跡	X=36124 Y=-39447	50×33cm	17cm	不定形	なし	埋土不明	
505号Pit跡	X=36124 Y=-39446	54×53cm	21cm	円形	なし	埋土不明	
506号Pit跡	X=36125 Y=-39445	54×45cm	13cm	楕円形	なし	埋土不明	
507号Pit跡	X=36125 Y=-39443	38×30cm	13cm	楕円形	なし	埋土不明	
508号Pit跡	X=36125 Y=-39442	30×27cm	9cm	楕円形	なし	埋土不明	
509号Pit跡	X=36127 Y=-39442	48×43cm	25cm	円形	なし	埋土不明	
510号Pit跡	X=36127 Y=-39438	42×37cm	16cm	楕円形	なし	埋土不明	
511号Pit跡	X=36124 Y=-39440	28×28cm	19cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	11号掘立柱建物に伴う柱穴。
512号Pit跡	X=36123 Y=-39439	49×41cm	14cm	円形	なし	埋土不明	11号掘立柱建物より下面で検出。
513号Pit跡	X=36126 Y=-39482	30×28cm	13cm	円形	なし	埋土不明	
514号Pit跡	X=36125 Y=-39482	35×29cm	33cm	円形	なし	埋土不明	
515号Pit跡	X=36125 Y=-39482	25×23cm	28cm	円形	なし	埋土不明	
516号Pit跡	X=36117 Y=-39482	33×27cm	29cm	楕円形	なし	埋土不明	
517号Pit跡	X=36110 Y=-39482	32×30cm	24cm	不定形	なし	埋土不明	
518号Pit跡	X=36110 Y=-39481	32×28cm	17cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
519号Pit跡	X=36109 Y=-39479	92×29cm	5cm	不定形	なし	埋土不明	
520号Pit跡	X=36112 Y=-39476	28×20cm	28cm	楕円形	なし	埋土不明	
521号Pit跡	X=36112 Y=-39476	28×25cm	10cm	不定形	なし	埋土不明	
522号Pit跡	X=36113 Y=-39472	20×15cm	10cm	楕円形	なし	埋土不明	
523号Pit跡	X=36113 Y=-39472	30×29cm	14cm	不定形	なし	埋土不明	
524号Pit跡	X=36115 Y=-39469	63×50cm	19cm	楕円形	なし	埋土不明	
525号Pit跡	X=36114 Y=-39465	29×22cm	13cm	楕円形	なし	埋土不明	
526号Pit跡	X=36114 Y=-39465	29×24cm	20cm	楕円形	なし	埋土不明	
527号Pit跡	X=36114 Y=-39465	22×21cm	14cm	円形	なし	埋土不明	
528号Pit跡	X=36114 Y=-39464	43×37cm	20cm	楕円形	なし	埋土不明	
529号Pit跡	X=36113 Y=-39464	37×34cm	20cm	不定形	なし	埋土不明	
530号Pit跡	X=36116 Y=-39461	37×27cm	21cm	楕円形	なし	埋土不明	
531号Pit跡	X=36116 Y=-39461	30×25cm	22cm	不定形	なし	埋土不明	
532号Pit跡	X=36117 Y=-39461	27×26cm	23cm	円形	なし	埋土不明	北側が調査区域外。
533号Pit跡	X=36116 Y=-39459	27×24cm	23cm	円形	なし	埋土不明	
534号Pit跡	X=36115 Y=-39458	46×37cm	37cm	楕円形	なし	埋土不明	
535号Pit跡	X=36117 Y=-39457	52×30cm	30cm	楕円形	なし	埋土不明	
536号Pit跡	X=36117 Y=-39455	100×90cm	18cm	楕円長方形	なし	埋土不明	もう1基のPitと重複か？
537号Pit跡	X=36117 Y=-39454	35×31cm	17cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
538号Pit跡	X=36117 Y=-39453	64×40cm	21cm	不定形	なし	埋土不明	
539号Pit跡	X=36118 Y=-39451	300×33cm	16cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	北側が調査区域外。
540号Pit跡	X=36119 Y=-39449	不明	43cm	不明	なし	埋土不明	北側が調査区域外。
541号Pit跡	X=36119 Y=-39448	不明×29cm	16cm	不明	なし	埋土不明	北側が調査区域外。
542号Pit跡	X=36119 Y=-39448	50×32cm	44cm	楕円形	なし	埋土不明	543号Pitより古い。
543号Pit跡	X=36119 Y=-39447	40×33cm	40cm	楕円形	なし	埋土不明	542号Pitより新しい。
544号Pit跡	X=36119 Y=-39447	31×27cm	21cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
545号Pit跡	X=36118 Y=-39445	28×25cm	18cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
546号Pit跡	X=36119 Y=-39444	35×29cm	14cm	楕円形	なし	埋土不明	
547号Pit跡	X=36118 Y=-39445	70×33cm	32cm	楕円形	なし	埋土不明	
548号Pit跡	X=36118 Y=-39443	38×35cm	20cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
549号Pit跡	X=36118 Y=-39440	63×30cm	15cm	楕円長方形	なし	埋土不明	
550号Pit跡	X=36118 Y=-39440	441×41cm	32cm	不定形	なし	埋土不明	
551号Pit跡	X=36117 Y=-39440	53×45cm	30cm	不定形	なし	埋土不明	
552号Pit跡	X=36117 Y=-39440	39×37cm	48cm	円形	なし	埋土不明	
553号Pit跡	X=36117 Y=-39439	41×35cm	22cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
554号Pit跡	X=36117 Y=-39439	31×27cm	16cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
555号Pit跡	X=36117 Y=-39438	30×29cm	30cm	円形	なし	埋土不明	
556号Pit跡	X=36118 Y=-39439	30×26cm	30cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	

第2節 奈良・平安時代の遺構と遺物

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	出土遺物	埋土	備考
557号Pit跡	X=36118 Y=-39439	40×30cm	41cm	楕円形	なし	埋土不明	
558号Pit跡	X=36118 Y=-39439	44×29cm	6cm	不定形	なし	埋土不明	
559号Pit跡	X=36118 Y=-39439	30×30cm	33cm	円形	なし	埋土不明	
560号Pit跡	X=36119 Y=-39438	33×30cm	27cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
561号Pit跡	X=36119 Y=-39436	26×23cm	18cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	6号独立柱建物よりも12cm下面で出土。
562号Pit跡	X=36119 Y=-39435	25×21cm	8cm	円形	なし	埋土不明	6号独立柱建物のPit。
563号Pit跡	X=36120 Y=-39435	22×22cm	8cm	円形	なし	埋土不明	
565号Pit跡	X=36121 Y=-39433	33×32cm	34cm	円形	なし	埋土不明	
567号Pit跡	X=36118 Y=-39429	55×35cm	51cm	不定形	なし	埋土不明	
568号Pit跡	X=36118 Y=-39428	32×25cm	22cm	不定形	なし	埋土不明	
569号Pit跡	X=36119 Y=-39428	30×27cm	34cm	円形	なし	埋土不明	
570号Pit跡	X=36119 Y=-39427	21×17cm	9cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
571号Pit跡	X=36118 Y=-39427	45×30cm	15cm	不定形	なし	埋土不明	
572号Pit跡	X=36119 Y=-39426	27×25cm	35cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
573号Pit跡	X=36119 Y=-39426	35×31cm	7cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
574号Pit跡	X=36118 Y=-39425	33×29cm	15cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
575号Pit跡	X=36118 Y=-39425	30×26cm	19cm	不定形	なし	埋土不明	
576号Pit跡	X=36119 Y=-39425	51×41cm	19cm	楕円形	なし	埋土不明	
577号Pit跡	X=36119 Y=-39425	37×29cm	15cm	楕円形	なし	埋土不明	
578号Pit跡	X=36119 Y=-39421	31×28cm	44cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
579号Pit跡	X=36121 Y=-39421	19×16cm	15cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
580号Pit跡	X=36121 Y=-39420	21×19cm	18cm	円形	なし	埋土不明	
581号Pit跡	X=36122 Y=-39420	30×27cm	18cm	円形	なし	埋土不明	
582号Pit跡	X=36122 Y=-39420	39×37cm	72cm	円形	なし	埋土不明	
583号Pit跡	X=36120 Y=-39420	40×31cm	24cm	不定形	なし	埋土不明	
584号Pit跡	X=36119 Y=-39421	29×27cm	32cm	不定形	なし	埋土不明	
585号Pit跡	X=36118 Y=-39420	32×32cm	18cm	円形	なし	埋土不明	
586号Pit跡	X=36118 Y=-39420	33×25cm	29cm	楕円形	なし	埋土不明	
587号Pit跡	X=36117 Y=-39420	20×19cm	21cm	円形	なし	埋土不明	
588号Pit跡	X=36118 Y=-39421	27×27cm	27cm	円形	なし	埋土不明	
589号Pit跡	X=36118 Y=-39421	21×18cm	16cm	円形	なし	埋土不明	
590号Pit跡	X=36117 Y=-39422	33×28cm	45cm	楕円形	なし	埋土不明	
591号Pit跡	X=36117 Y=-39422	31×27cm	47cm	楕円形	なし	埋土不明	
592号Pit跡	X=36117 Y=-39422	27×26cm	24cm	円形	なし	埋土不明	
593号Pit跡	X=36117 Y=-39422	17×15cm	6cm	円形	なし	埋土不明	
594号Pit跡	X=36117 Y=-39427	35×30cm	28cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
595号Pit跡	X=36117 Y=-39429	69×53cm	17cm	楕円形	なし	埋土不明	
596号Pit跡	X=36117 Y=-39430	40×40cm	23cm	円形	なし	埋土不明	
597号Pit跡	X=36117 Y=-39432	27×27cm	37cm	円形	なし	埋土不明	
598号Pit跡	X=36117 Y=-39432	30×30cm	15cm	円形	なし	埋土不明	
599号Pit跡	X=36117 Y=-39432	35×33cm	18cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
600号Pit跡	X=36116 Y=-39433	42×40cm	26cm	円形	なし	埋土不明	6号独立柱建物の中にあるが関係は不明。
601号Pit跡	X=36118 Y=-39434	31×27cm	28cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	6号独立柱建物の中にあるが関係は不明。
602号Pit跡	X=36118 Y=-39434	21×18cm	19cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	6号独立柱建物の中にあるが関係は不明。
603号Pit跡	X=36117 Y=-39435	25×25cm	29cm	円形	なし	埋土不明	6号独立柱建物の中にあるが関係は不明。
604号Pit跡	X=36117 Y=-39436	40×40cm	36cm	円形	なし	埋土不明	6号独立柱建物の中にあるが関係は不明。
605号Pit跡	X=36117 Y=-39435	102×55cm	55cm	不定形	なし	埋土不明	6号独立柱建物の中にあるが関係は不明。
606号Pit跡	X=36114 Y=-39434	21×20cm	14cm	円形	なし	埋土不明	6号独立柱建物の中にあるが関係は不明。
607号Pit跡	X=36113 Y=-39435	23×23cm	26cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	6号独立柱建物の中にあるが関係は不明。
608号Pit跡	X=36114 Y=-39436	36×34cm	22cm	丸正方形	なし	埋土不明	6号独立柱建物の中にあるが関係は不明。
609号Pit跡	X=36114 Y=-39436	35×34cm	23cm	円形	なし	埋土不明	6号独立柱建物の中にあるが関係は不明。
610号Pit跡	X=36114 Y=-39437	35×30cm	18cm	楕円形	なし	埋土不明	
611号Pit跡	X=36114 Y=-39437	33×33cm	35cm	円形	なし	埋土不明	
612号Pit跡	X=36114 Y=-39437	40×33cm	34cm	楕円形	なし	埋土不明	
613号Pit跡	X=36114 Y=-39437	52×43cm	34cm	楕円形	なし	埋土不明	
614号Pit跡	X=36113 Y=-39438	35×35cm	18cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
615号Pit跡	X=36113 Y=-39438	30×29cm	不明	円形	なし	埋土不明	
616号Pit跡	X=36113 Y=-39438	45×37cm	28cm	楕円形	なし	埋土不明	
617号Pit跡	X=36111 Y=-39440	28×25cm	19cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
618号Pit跡	X=36111 Y=-39441	30×29cm	18cm	円形	なし	埋土不明	
619号Pit跡	X=36111 Y=-39442	26×20cm	14cm	楕円形	なし	埋土不明	
620号Pit跡	X=36112 Y=-39442	23×23cm	18cm	円形	なし	埋土不明	
621号Pit跡	X=36113 Y=-39443	30×28cm	35cm	円形	なし	埋土不明	
622号Pit跡	X=36113 Y=-39443	30×25cm	17cm	楕円形	なし	埋土不明	
623号Pit跡	X=36114 Y=-39442	25×23cm	14cm	円形	なし	埋土不明	
624号Pit跡	X=36114 Y=-39442	33×32cm	10cm	不定形	なし	埋土不明	
625号Pit跡	X=36115 Y=-39442	40×35cm	15cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	

第3章 検出遺構と出土遺物

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	出土遺物	埋土	備考
626号Pit跡	X=36116 Y=-39444	29×25cm	11cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
627号Pit跡	X=36116 Y=-39444	26×26cm	9cm	円形	なし	埋土不明	
628号Pit跡	X=36116 Y=-39445	32×28cm	19cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
629号Pit跡	X=36118 Y=-39449	36×30cm	13cm	不定形	なし	埋土不明	
630号Pit跡	X=36118 Y=-39449	33×32cm	12cm	円形	なし	埋土不明	
631号Pit跡	X=36117 Y=-39450	35×35cm	20cm	円形	なし	埋土不明	
632号Pit跡	X=36117 Y=-39451	40×30cm	20cm	楕円形	なし	埋土不明	
633号Pit跡	X=36116 Y=-39452	60×45cm	22cm	不定形	なし	埋土不明	
634号Pit跡	X=36116 Y=-39452	52×36cm	24cm	楕円形	なし	埋土不明	
635号Pit跡	X=36115 Y=-39453	36×29cm	18cm	不定形	なし	埋土不明	
636号Pit跡	X=36115 Y=-39453	42×36cm	29cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
637号Pit跡	X=36116 Y=-39454	48×45cm	21cm	楕円形	なし	埋土不明	
638号Pit跡	X=36115 Y=-39455	40×40cm	28cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
639号Pit跡	X=36114 Y=-39456	51×49cm	34cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
640号Pit跡	X=36114 Y=-39457	37×32cm	35cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
641号Pit跡	X=36114 Y=-39458	33×32cm	28cm	円形	なし	埋土不明	
642号Pit跡	X=36114 Y=-39458	26×25cm	20cm	不定形	なし	埋土不明	
643号Pit跡	X=36113 Y=-39459	18×16cm	10cm	円形	なし	埋土不明	
644号Pit跡	X=36113 Y=-39458	31×27cm	12cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
645号Pit跡	X=36114 Y=-39461	33×25cm	20cm	楕円形	なし	埋土不明	
646号Pit跡	X=36113 Y=-39461	25×23cm	17cm	不定形	なし	埋土不明	
647号Pit跡	X=36111 Y=-39461	27×25cm	30cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
648号Pit跡	X=36111 Y=-39462	29×26cm	29cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
649号Pit跡	X=36111 Y=-39463	103×101cm	13cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
650号Pit跡	X=36110 Y=-39465	65×63cm	30cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
651号Pit跡	X=36111 Y=-39466	61×53cm	38cm	楕円形	なし	埋土不明	
652号Pit跡	X=36110 Y=-39468	90×75cm	34cm	不定形	なし	埋土不明	
653号Pit跡	X=36112 Y=-39470	36×25cm	20cm	楕円形	なし	埋土不明	
654号Pit跡	X=36112 Y=-39472	23×23cm	14cm	円形	なし	埋土不明	8号・9号溝との新旧関係は不明。
655号Pit跡	X=36110 Y=-39471	50×41cm	23cm	不定形	なし	埋土不明	
656号Pit跡	X=36109 Y=-39469	19×17cm	34cm	円形	なし	埋土不明	
657号Pit跡	X=36109 Y=-39471	56×40cm	18cm	楕円形	なし	埋土不明	
658号Pit跡	X=36109 Y=-39474	20×15cm	14cm	楕円形	なし	埋土不明	
659号Pit跡	X=36108 Y=-39474	25×23cm	17cm	円形	なし	埋土不明	
660号Pit跡	X=36106 Y=-39475	42×28cm	16cm	楕円形	なし	埋土不明	
661号Pit跡	X=36103 Y=-39473	25×17cm	30cm	楕円形	なし	埋土不明	
662号Pit跡	X=36106 Y=-39470	36×31cm	36cm	楕円形	なし	埋土不明	
663号Pit跡	X=36107 Y=-39467	43×37cm	22cm	不定形	なし	埋土不明	
664号Pit跡	X=36108 Y=-39467	53×40cm	16cm	楕円形	なし	埋土不明	13号溝よりも30cm下面で検出。
665号Pit跡	X=36108 Y=-39467	63×41cm	15cm	楕円形	なし	埋土不明	13号溝よりも30cm下面で検出。
666号Pit跡	X=36110 Y=-39463	100×85cm	17cm	楕円形	なし	埋土不明	31号Pitより新しい。
667号Pit跡	X=36109 Y=-39463	63×63cm	36cm	円形	なし	埋土不明	
668号Pit跡	X=36109 Y=-39461	40×17cm	20cm	楕円形	なし	埋土不明	
669号Pit跡	X=36110 Y=-39461	30×25cm	22cm	楕円形	なし	埋土不明	
670号Pit跡	X=36110 Y=-39460	29×25cm	18cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
671号Pit跡	X=36110 Y=-39459	35×34cm	24cm	円形	なし	埋土不明	
672号Pit跡	X=36110 Y=-39459	25×23cm	19cm	円形	なし	埋土不明	
673号Pit跡	X=36110 Y=-39459	23×23cm	14cm	円形	なし	埋土不明	
674号Pit跡	X=36111 Y=-39458	25×23cm	17cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
675号Pit跡	X=36112 Y=-39458	26×23cm	23cm	円形	なし	埋土不明	
676号Pit跡	X=36113 Y=-39456	24×22cm	13cm	円形	なし	埋土不明	
677号Pit跡	X=36110 Y=-39456	28×22cm	13cm	楕円形	なし	埋土不明	
678号Pit跡	X=36111 Y=-39456	29×26cm	18cm	円形	なし	埋土不明	
679号Pit跡	X=36111 Y=-39455	45×40cm	21cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
680号Pit跡	X=36111 Y=-39454	33×31cm	32cm	円形	なし	埋土不明	
681号Pit跡	X=36111 Y=-39453	40×37cm	22cm	円形	なし	埋土不明	
682号Pit跡	X=36112 Y=-39454	29×25cm	16cm	楕円形	なし	埋土不明	
683号Pit跡	X=36112 Y=-39454	45×42cm	19cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
684号Pit跡	X=36112 Y=-39455	45×43cm	24cm	円形	なし	埋土不明	
685号Pit跡	X=36113 Y=-39454	31×30cm	13cm	円形	なし	埋土不明	
686号Pit跡	X=36112 Y=-39452	41×38cm	26cm	円形	なし	埋土不明	
687号Pit跡	X=36112 Y=-39452	28×26cm	17cm	円形	なし	埋土不明	
688号Pit跡	X=36113 Y=-39451	35×33cm	16cm	円形	なし	埋土不明	
689号Pit跡	X=36112 Y=-39450	107×93cm	13cm	楕円形	なし	埋土不明	
690号Pit跡	X=36113 Y=-39449	50×38cm	15cm	楕円形	なし	埋土不明	
691号Pit跡	X=36112 Y=-39444	20×18cm	12cm	円形	なし	埋土不明	
692号Pit跡	X=36111 Y=-39444	79×73cm	22cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	

第2節 奈良・平安時代の遺構と遺物

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	出土遺物	埋土	備考
693号Pit跡	X=36111 Y=-39444	18×13cm	8cm	楕円形	なし	埋土不明	
694号Pit跡	X=36111 Y=-39445	30×25cm	15cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
695号Pit跡	X=36111 Y=-39446	41×40cm	31cm	円形	なし	埋土不明	
696号Pit跡	X=36111 Y=-39446	26×26cm	14cm	円形	なし	埋土不明	
697号Pit跡	X=36110 Y=-39447	46×45cm	20cm	円形	なし	埋土不明	
698号Pit跡	X=36110 Y=-39449	35×30cm	30cm	楕円形	なし	埋土不明	
699号Pit跡	X=36110 Y=-39450	49×39cm	13cm	楕円形	なし	埋土不明	
700号Pit跡	X=36110 Y=-39450	31×25cm	13cm	楕円形	なし	埋土不明	
701号Pit跡	X=36109 Y=-39452	36×30cm	30cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	9号獨立柱建物よりも30cmほど下面で検出。
702号Pit跡	X=36110 Y=-39453	63×31cm	60cm	楕円形	なし	埋土不明	
703号Pit跡	X=36110 Y=-39454	53×27cm	16cm	楕円形	なし	埋土不明	
704号Pit跡	X=36109 Y=-39453	51×41cm	43cm	楕円形	なし	埋土不明	9号獨立柱建物に伴う柱穴。
705号Pit跡	X=36109 Y=-39453	50×47cm	35cm	円形	なし	埋土不明	9号獨立柱建物の中にあるが、関係は不明。
706号Pit跡	X=36109 Y=-39454	33×29cm	29cm	円形	なし	埋土不明	9号獨立柱建物の中にあるが、関係は不明。
707号Pit跡	X=36108 Y=-39454	290×59cm	25cm	不定形	なし	埋土不明	高跡か。
708号Pit跡	X=36107 Y=-39454	31×30cm	26cm	円形	なし	埋土不明	9号獨立柱建物の中にあるが、関係は不明。
709号Pit跡	X=36106 Y=-39453	42×40cm	34cm	円形	なし	埋土不明	9号獨立柱建物の中にあるが、関係は不明。
710号Pit跡	X=36105 Y=-39453	65×60cm	30cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
711号Pit跡	X=36106 Y=-39454	30×28cm	25cm	不定形	なし	埋土不明	9号獨立柱建物の中にあるが、関係は不明。
712号Pit跡	X=36106 Y=-39457	38×35cm	58cm	円形	なし	埋土不明	
713号Pit跡	X=36106 Y=-39458	27×26cm	24cm	円形	なし	埋土不明	
714号Pit跡	X=36106 Y=-39459	41×40cm	32cm	円形	なし	埋土不明	
715号Pit跡	X=36105 Y=-39458	27×25cm	20cm	円形	なし	埋土不明	
716号Pit跡	X=36105 Y=-39460	28×23cm	22cm	不定形	なし	埋土不明	
717号Pit跡	X=36106 Y=-39460	27×23cm	15cm	楕円形	なし	埋土不明	
718号Pit跡	X=36106 Y=-39462	30×25cm	21cm	不定形	なし	埋土不明	
719号Pit跡	X=36105 Y=-39461	27×23cm	16cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
720号Pit跡	X=36105 Y=-39462	24×21cm	23cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
721号Pit跡	X=36104 Y=-39464	45×43cm	50cm	円形	なし	埋土不明	
722号Pit跡	X=36104 Y=-39465	27×24cm	19cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
723号Pit跡	X=36104 Y=-39468	56×43cm	27cm	楕円形	なし	埋土不明	
724号Pit跡	X=36103 Y=-39469	18×18cm	9cm	円形	なし	埋土不明	
725号Pit跡	X=36101 Y=-39468	28×24cm	8cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
726号Pit跡	X=36101 Y=-39465	22×20cm	15cm	円形	なし	埋土不明	
727号Pit跡	X=36100 Y=-39465	48×42cm	33cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
728号Pit跡	X=36099 Y=-39465	95×75cm	40cm	楕円形	なし	埋土不明	
729号Pit跡	X=36100 Y=-39464	26×24cm	16cm	円形	なし	埋土不明	
730号Pit跡	X=36101 Y=-39462	35×33cm	34cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
731号Pit跡	X=36102 Y=-39463	30×25cm	20cm	楕円形	なし	埋土不明	
732号Pit跡	X=36103 Y=-39463	53×47cm	32cm	楕円形	なし	埋土不明	13号溝よりも30cm下面で検出。
733号Pit跡	X=36102 Y=-39461	29×25cm	17cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
734号Pit跡	X=36103 Y=-39460	27×23cm	11cm	楕円形	なし	埋土不明	7号獨立柱建物の中にあるが、関係は不明。
735号Pit跡	X=36102 Y=-39459	63×43cm	27cm	楕円形	なし	埋土不明	7号獨立柱建物の中にあるが、関係は不明。
736号Pit跡	X=36102 Y=-39459	30×27cm	28cm	円形	なし	埋土不明	7号獨立柱建物の中にあるが、関係は不明。
737号Pit跡	X=36103 Y=-39458	29×24cm	27cm	楕円形	なし	埋土不明	7号獨立柱建物の中にあるが、関係は不明。
738号Pit跡	X=36103 Y=-39457	62×38cm	40cm	楕円形	なし	埋土不明	7号獨立柱建物の中にあるが、関係は不明。
739号Pit跡	X=36103 Y=-39457	41×34cm	21cm	楕円形	なし	埋土不明	7号獨立柱建物の中にあるが、関係は不明。
740号Pit跡	X=36104 Y=-39456	42×39cm	57cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	8号獨立柱建物の中にあるが、関係は不明。
741号Pit跡	X=36103 Y=-39456	70×38cm	21cm	不定形	なし	埋土不明	
742号Pit跡	X=36103 Y=-39454	36×35cm	27cm	円形	なし	埋土不明	
743号Pit跡	X=36104 Y=-39455	85×55cm	18cm	楕円形	なし	埋土不明	
744号Pit跡	X=36104 Y=-39453	66×35cm	25cm	楕円形	なし	埋土不明	9号獨立柱建物の中にあるが、関係は不明。
745号Pit跡	X=36104 Y=-39453	30×30cm	17cm	円形	なし	埋土不明	9号獨立柱建物の中にあるが、関係は不明。
746号Pit跡	X=36105 Y=-39453	47×37cm	40cm	不定形	なし	埋土不明	9号獨立柱建物の中にあるが、関係は不明。
747号Pit跡	X=36104 Y=-39452	29×25cm	46cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	9号獨立柱建物の中にあるが、関係は不明。
748号Pit跡	X=36104 Y=-39452	33×29cm	28cm	円形	なし	埋土不明	9号獨立柱建物の中にあるが、関係は不明。
749号Pit跡	X=36107 Y=-39450	34×30cm	28cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
750号Pit跡	X=36108 Y=-39450	25×24cm	13cm	円形	なし	埋土不明	
751号Pit跡	X=36108 Y=-39449	50×50cm	21cm	円形	なし	埋土不明	
752号Pit跡	X=36108 Y=-39449	37×31cm	28cm	楕円形	なし	埋土不明	
753号Pit跡	X=36108 Y=-39448	67×63cm	23cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
754号Pit跡	X=36107 Y=-39447	48×34cm	29cm	楕円形	なし	埋土不明	
755号Pit跡	X=36108 Y=-39447	55×55cm	27cm	円形	なし	埋土不明	
756号Pit跡	X=36108 Y=-39446	60×34cm	44cm	不定形	なし	埋土不明	
757号Pit跡	X=36108 Y=-39445	76×69cm	19cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
758号Pit跡	X=36108 Y=-39444	40×35cm	23cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	

第3章 検出遺構と出土遺物

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	出土遺物	埋土	備考
759号Pit跡	X=36108 Y=-39442	65×65cm	21cm	円形	なし	埋土不明	
760号Pit跡	X=36109 Y=-39441	117×104cm	31cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
761号Pit跡	X=36108 Y=-39440	28×25cm	29cm	円形	なし	埋土不明	
762号Pit跡	X=36107 Y=-39442	173×25cm	15cm	不定形	なし	埋土不明	高跡か。
763号Pit跡	X=36108 Y=-39441	22×15cm	8cm	楕円形	なし	埋土不明	
764号Pit跡	X=36107 Y=-39440	70×43cm	30cm	楕円形	なし	埋土不明	43号土坑よりも15cmほど下面で浅い。
765号Pit跡	X=36107 Y=-39439	33×27cm	21cm	円形	なし	埋土不明	
766号Pit跡	X=36107 Y=-39437	24×23cm	不明	円形	なし	埋土不明	18号溝との新旧関係は不明。
767号Pit跡	X=36107 Y=-39437	60×47cm	33cm	楕円形	なし	埋土不明	
768号Pit跡	X=36108 Y=-39436	34×32cm	31cm	円形	なし	埋土不明	
769号Pit跡	X=36107 Y=-39435	29×25cm	7cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
770号Pit跡	X=36108 Y=-39435	28×26cm	29cm	円形	なし	埋土不明	
771号Pit跡	X=36109 Y=-39435	23×20cm	35cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
772号Pit跡	X=36109 Y=-39435	30×29cm	50cm	円形	なし	埋土不明	
773号Pit跡	X=36109 Y=-39433	33×28cm	31cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
774号Pit跡	X=36111 Y=-39434	68×60cm	17cm	楕円形	なし	埋土不明	
775号Pit跡	X=36111 Y=-39434	30×29cm	11cm	円形	なし	埋土不明	
776号Pit跡	X=36111 Y=-39434	23×23cm	8cm	円形	なし	埋土不明	
777号Pit跡	X=36111 Y=-39434	27×27cm	6cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
778号Pit跡	X=36111 Y=-39434	30×27cm	13cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
779号Pit跡	X=36110 Y=-39435	50×30cm	13cm	不定形	なし	埋土不明	
780号Pit跡	X=36111 Y=-39435	29×20cm	18cm	楕円形	なし	埋土不明	
781号Pit跡	X=36111 Y=-39435	25×25cm	12cm	円形	なし	埋土不明	
782号Pit跡	X=36112 Y=-39435	30×28cm	21cm	円形	なし	埋土不明	6号掘立柱建物に伴う柱穴。
783号Pit跡	X=36112 Y=-39435	33×30cm	22cm	円形	なし	埋土不明	6号掘立柱建物の中にあるが関係は不明。
784号Pit跡	X=36112 Y=-39435	28×28cm	22cm	円形	なし	埋土不明	6号掘立柱建物の中にあるが関係は不明。
785号Pit跡	X=36112 Y=-39436	49×45cm	20cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	6号掘立柱建物の中にあるが関係は不明。
786号Pit跡	X=36114 Y=-39431	39×39cm	25cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
787号Pit跡	X=36115 Y=-39430	29×27cm	20cm	円形	なし	埋土不明	
788号Pit跡	X=36115 Y=-39429	31×28cm	16cm	円形	なし	埋土不明	
789号Pit跡	X=36115 Y=-39428	29×27cm	28cm	円形	なし	埋土不明	
790号Pit跡	X=36114 Y=-39428	42×40cm	27cm	不定形	なし	埋土不明	
791号Pit跡	X=36114 Y=-39428	35×30cm	13cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
792号Pit跡	X=36112 Y=-39430	30×29cm	13cm	円形	なし	埋土不明	
793号Pit跡	X=36111 Y=-39428	40×33cm	29cm	楕円形	なし	埋土不明	4号掘立柱建物の中にあるが関係は不明。
794号Pit跡	X=36112 Y=-39427	88×65cm	24cm	不定形	なし	埋土不明	
795号Pit跡	X=36111 Y=-39426	27×23cm	30cm	楕円形	なし	埋土不明	
796号Pit跡	X=36115 Y=-39423	33×30cm	23cm	円形	なし	埋土不明	
797号Pit跡	X=36115 Y=-39420	31×29cm	62cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
798号Pit跡	X=36112 Y=-39421	30×29cm	39cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
799号Pit跡	X=36112 Y=-39419	42×37cm	25cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
800号Pit跡	X=36113 Y=-39417	52×48cm	39cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
801号Pit跡	X=36113 Y=-39416	40×32cm	30cm	楕円形	なし	埋土不明	
802号Pit跡	X=36112 Y=-39416	47×43cm	28cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
803号Pit跡	X=36112 Y=-39414	53×38cm	42cm	楕円形	なし	埋土不明	北側は調査区域外。
804号Pit跡	X=36111 Y=-39415	55×45cm	55cm	不定形	なし	埋土不明	
805号Pit跡	X=36109 Y=-39416	38×36cm	19cm	不定形	なし	埋土不明	
806号Pit跡	X=36107 Y=-39418	56×53cm	24cm	円形	なし	埋土不明	
807号Pit跡	X=36109 Y=-39420	125×70cm	17cm	不定形	なし	埋土不明	
808号Pit跡	X=36110 Y=-39422	40×35cm	32cm	円形	なし	埋土不明	
809号Pit跡	X=36107 Y=-39424	22×19cm	12cm	円形	なし	埋土不明	
810号Pit跡	X=36109 Y=-39426	20×19cm	10cm	円形	なし	埋土不明	
811号Pit跡	X=36109 Y=-39427	20×19cm	16cm	円形	なし	埋土不明	
812号Pit跡	X=36109 Y=-39431	50×42cm	12cm	楕円形	なし	埋土不明	
813号Pit跡	X=36108 Y=-39433	33×27cm	11cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
814号Pit跡	X=36107 Y=-39432	30×24cm	41cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
815号Pit跡	X=36106 Y=-39432	18×17cm	13cm	円形	なし	埋土不明	
816号Pit跡	X=36105 Y=-39432	19×16cm	13cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
817号Pit跡	X=36105 Y=-39432	69×65cm	27cm	円形	なし	埋土不明	
818号Pit跡	X=36105 Y=-39433	50×42cm	21cm	楕円形	なし	埋土不明	
819号Pit跡	X=36104 Y=-39432	28×25cm	22cm	円形	なし	埋土不明	
820号Pit跡	X=36104 Y=-39433	25×25cm	9cm	円形	なし	埋土不明	
821号Pit跡	X=36104 Y=-39434	38×34cm	41cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
822号Pit跡	X=36104 Y=-39436	24×23cm	19cm	円形	なし	埋土不明	
823号Pit跡	X=36102 Y=-39434	43×35cm	12cm	楕円形	なし	埋土不明	

第2節 奈良・平安時代の遺構と遺物

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	出土遺物	埋土	備考
824号Pit跡	X=36101 Y=-39440	30×28cm	14cm	円形	なし	埋土不明	
825号Pit跡	X=36102 Y=-39441	38×33cm	21cm	楕円形	なし	埋土不明	
826号Pit跡	X=36101 Y=-39442	42×40cm	18cm	円形	なし	埋土不明	
827号Pit跡	X=36102 Y=-39442	33×30cm	15cm	楕円形	なし	埋土不明	
828号Pit跡	X=36103 Y=-39442	39×35cm	26cm	楕円形	なし	埋土不明	
829号Pit跡	X=36104 Y=-39442	59×50cm	25cm	楕円形	なし	埋土不明	
830号Pit跡	X=36103 Y=-39444	43×30cm	29cm	楕円形	なし	埋土不明	
831号Pit跡	X=36105 Y=-39445	40×36cm	40cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
832号Pit跡	X=36101 Y=-39444	80×37cm	33cm	不定形	なし	埋土不明	
833号Pit跡	X=36102 Y=-39444	43×35cm	58cm	不定形	なし	埋土不明	5号住居よりも10cmほど下面で掘出。
834号Pit跡	X=36105 Y=-39450	46×30cm	19cm	楕円形	なし	埋土不明	
835号Pit跡	X=36104 Y=-39449	30×22cm	15cm	不定形	なし	埋土不明	
836号Pit跡	X=36103 Y=-39450	46×43cm	28cm	円形	なし	埋土不明	
837号Pit跡	X=36103 Y=-39450	27×27cm	9cm	円形	なし	埋土不明	
838号Pit跡	X=36103 Y=-39451	30×30cm	28cm	円形	なし	埋土不明	
839号Pit跡	X=36102 Y=-39451	27×27cm	23cm	円形	なし	埋土不明	
840号Pit跡	X=36103 Y=-39452	23×13cm	16cm	楕円形	なし	埋土不明	
841号Pit跡	X=36103 Y=-39452	25×14cm	12cm	楕円形	なし	埋土不明	
842号Pit跡	X=36102 Y=-39451	31×29cm	12cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
843号Pit跡	X=36101 Y=-39451	39×28cm	26cm	楕円形	なし	埋土不明	
844号Pit跡	X=36102 Y=-39452	30×30cm	38cm	円形	なし	埋土不明	
845号Pit跡	X=36101 Y=-39452	25×25cm	32cm	円形	なし	埋土不明	
846号Pit跡	X=36101 Y=-39454	45×40cm	22cm	不定形	なし	埋土不明	
847号Pit跡	X=36101 Y=-39454	26×23cm	15cm	円形	なし	埋土不明	
848号Pit跡	X=36102 Y=-39455	44×36cm	23cm	楕円形	なし	埋土不明	
849号Pit跡	X=36101 Y=-39455	22×20cm	13cm	円形	なし	埋土不明	
850号Pit跡	X=36100 Y=-39455	28×25cm	22cm	円形	なし	埋土不明	
851号Pit跡	X=36100 Y=-39455	30×28cm	21cm	円形	なし	埋土不明	
852号Pit跡	X=36099 Y=-39457	40×38cm	43cm	円形	なし	埋土不明	853号Pitより新しい。
853号Pit跡	X=36099 Y=-39457	40×33cm	15cm	円形	なし	埋土不明	852号Pitより古い。
854号Pit跡	X=36098 Y=-39457	35×31cm	41cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
855号Pit跡	X=36099 Y=-39459	55×36cm	31cm	不定形	なし	埋土不明	7号掘立柱建物の中にあるが関係は不明。
856号Pit跡	X=36099 Y=-39459	46×42cm	27cm	楕円形	なし	埋土不明	7号掘立柱建物の中にあるが関係は不明。
857号Pit跡	X=36099 Y=-39461	43×39cm	26cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	7号掘立柱建物の中にあるが関係は不明。
858号Pit跡	X=36097 Y=-39460	65×45cm	33cm	楕円形	なし	埋土不明	7号掘立柱建物の中にあるが関係は不明。
859号Pit跡	X=36096 Y=-39459	33×28cm	26cm	長方形	なし	埋土不明	7号掘立柱建物の中にあるが関係は不明。
860号Pit跡	X=36097 Y=-39465	78×75cm	31cm	不定形	なし	埋土不明	
861号Pit跡	X=36097 Y=-39467	60×45cm	21cm	楕円形	なし	埋土不明	
862号Pit跡	X=36096 Y=-39467	23×22cm	10cm	円形	なし	埋土不明	
863号Pit跡	X=36096 Y=-39466	50×50cm	16cm	不定形	なし	埋土不明	
864号Pit跡	X=36095 Y=-39466	25×20cm	14cm	楕円形	なし	埋土不明	
865号Pit跡	X=36095 Y=-39466	25×19cm	9cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
866号Pit跡	X=36095 Y=-39465	65×43cm	25cm	楕円形	なし	埋土不明	
867号Pit跡	X=36095 Y=-39462	54×48cm	26cm	楕円形	なし	埋土不明	
868号Pit跡	X=36095 Y=-39462	28×26cm	21cm	円形	なし	埋土不明	
869号Pit跡	X=36095 Y=-39459	32×30cm	18cm	円形	なし	埋土不明	
870号Pit跡	X=36096 Y=-39457	42×29cm	21cm	楕円形	なし	埋土不明	
871号Pit跡	X=36098 Y=-39456	29×28cm	20cm	円形	なし	埋土不明	
872号Pit跡	X=36098 Y=-39455	40×35cm	32cm	楕円形	なし	埋土不明	
873号Pit跡	X=36099 Y=-39454	32×27cm	30cm	楕円形	なし	埋土不明	
874号Pit跡	X=36099 Y=-39454	27×25cm	21cm	円形	なし	埋土不明	
875号Pit跡	X=36099 Y=-39454	35×33cm	28cm	円形	なし	埋土不明	
876号Pit跡	X=36100 Y=-39454	22×21cm	25cm	円形	なし	埋土不明	
877号Pit跡	X=36100 Y=-39454	26×22cm	21cm	楕円形	なし	埋土不明	
878号Pit跡	X=36100 Y=-39453	27×23cm	24cm	円形	なし	埋土不明	
879号Pit跡	X=36100 Y=-39453	29×23cm	14cm	楕円形	なし	埋土不明	
880号Pit跡	X=36101 Y=-39452	38×23cm	24cm	楕円形	なし	埋土不明	
881号Pit跡	X=36100 Y=-39452	37×23cm	16cm	楕円形	なし	埋土不明	
882号Pit跡	X=36100 Y=-39452	30×23cm	20cm	楕円形	なし	埋土不明	
883号Pit跡	X=36101 Y=-39452	52×40cm	30cm	楕円形	なし	埋土不明	
884号Pit跡	X=36099 Y=-39452	40×36cm	13cm	不定形	なし	埋土不明	
885号Pit跡	X=36100 Y=-39451	52×41cm	45cm	楕円形	なし	埋土不明	
886号Pit跡	X=36100 Y=-39451	29×23cm	19cm	楕円形	なし	埋土不明	
887号Pit跡	X=36099 Y=-39450	72×56cm	41cm	楕円形	なし	埋土不明	

第3章 検出遺構と出土遺物

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	出土遺物	埋土	備考
888号Pit跡	X=36099 Y=-39450	30×28cm	12cm	円形	なし	埋土不明	
889号Pit跡	X=36098 Y=-39451	22×20cm	12cm	円形	なし	埋土不明	
890号Pit跡	X=36099 Y=-39452	50×48cm	28cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
891号Pit跡	X=36098 Y=-39452	30×30cm	14cm	円形	なし	埋土不明	
892号Pit跡	X=36097 Y=-39452	38×37cm	25cm	円形	なし	埋土不明	
893号Pit跡	X=36097 Y=-39453	49×35cm	36cm	楕円形	なし	埋土不明	
894号Pit跡	X=36096 Y=-39453	26×26cm	31cm	円形	なし	埋土不明	
895号Pit跡	X=36096 Y=-39453	30×30cm	32cm	円形	なし	埋土不明	
896号Pit跡	X=36096 Y=-39452	41×40cm	25cm	円形	なし	埋土不明	897号Pitより新しい。
897号Pit跡	X=36096 Y=-39452	403×36cm	17cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	896号Pitより古い。
898号Pit跡	X=36095 Y=-39450	63×42cm	31cm	楕円形	なし	埋土不明	
899号Pit跡	X=36096 Y=-39450	74×46cm	41cm	楕円形	なし	埋土不明	
900号Pit跡	X=36096 Y=-39449	74×55cm	17cm	楕円形	なし	埋土不明	
901号Pit跡	X=36097 Y=-39450	52×39cm	23cm	楕円形	なし	埋土不明	
902号Pit跡	X=36098 Y=-39449	37×36cm	26cm	円形	なし	埋土不明	1基のPitと重複する。
903号Pit跡	X=36099 Y=-39448	268×22cm	34cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	904号Pitより古い。
904号Pit跡	X=36099 Y=-39448	30×30cm	19cm	円形	なし	埋土不明	903号Pitより新しい。
905号Pit跡	X=36099 Y=-39447	33×28cm	31cm	不定形	なし	埋土不明	
906号Pit跡	X=36107 Y=-39447	34×30cm	12cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
907号Pit跡	X=36106 Y=-39448	21×16cm	10cm	楕円形	なし	埋土不明	
908号Pit跡	X=36105 Y=-39448	300×16cm	13cm	溝状	なし	埋土不明	高跡か。
909号Pit跡	X=36106 Y=-39446	34×32cm	20cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
910号Pit跡	X=36107 Y=-39445	30×27cm	23cm	円形	なし	埋土不明	
911号Pit跡	X=36108 Y=-39445	45×32cm	17cm	不定形	なし	埋土不明	
912号Pit跡	X=36108 Y=-39444	38×34cm	26cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
913号Pit跡	X=36108 Y=-39444	32×30cm	33cm	円形	なし	埋土不明	
914号Pit跡	X=36109 Y=-39443	32×32cm	18cm	円形	なし	埋土不明	
915号Pit跡	X=36108 Y=-39442	31×28cm	26cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
916号Pit跡	X=36106 Y=-39443	35×31cm	18cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
917号Pit跡	X=36105 Y=-39444	43×34cm	28cm	不定形	なし	埋土不明	4号住居に伴う屋外Pitの可能性あり。
918号Pit跡	X=36105 Y=-39443	40×35cm	19cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	4号住居に伴う屋外Pitの可能性あり。
919号Pit跡	X=36106 Y=-39443	35×32cm	26cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	4号住居に伴う屋外Pitの可能性あり。
920号Pit跡	X=36106 Y=-39442	39×35cm	23cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	4号住居に伴う屋外Pitの可能性あり。
921号Pit跡	X=36106 Y=-39441	31×28cm	24cm	円形	なし	埋土不明	4号住居に伴う屋外Pitの可能性あり。
922号Pit跡	X=36106 Y=-39441	27×26cm	11cm	円形	なし	埋土不明	
923号Pit跡	X=36096 Y=-39440	53×50cm	76cm	不定形	なし	埋土不明	4号住居に伴う屋外Pitの可能性あり。
924号Pit跡	X=36098 Y=-39440	31×29cm	17cm	円形	なし	埋土不明	
925号Pit跡	X=36099 Y=-39439	47×42cm	20cm	楕円形	なし	埋土不明	
926号Pit跡	X=36097 Y=-39438	35×23cm	49cm	楕円形	なし	埋土不明	
927号Pit跡	X=36097 Y=-39438	43×35cm	18cm	楕円形	なし	埋土不明	
928号Pit跡	X=36098 Y=-39438	25×22cm	15cm	円形	なし	埋土不明	
929号Pit跡	X=36098 Y=-39438	50×41cm	46cm	楕円形	なし	埋土不明	
930号Pit跡	X=36095 Y=-39437	40×36cm	39cm	楕円形	なし	埋土不明	
931号Pit跡	X=36097 Y=-39435	32×29cm	23cm	楕円形	なし	埋土不明	
932号Pit跡	X=36098 Y=-39436	40×32cm	18cm	楕円形	なし	埋土不明	
933号Pit跡	X=36099 Y=-39436	40×36cm	48cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
934号Pit跡	X=36103 Y=-39432	29×27cm	46cm	正方形	なし	埋土不明	
935号Pit跡	X=36102 Y=-39431	365×27cm	14cm	溝状	なし	埋土不明	高跡か。
936号Pit跡	X=36103 Y=-39431	25×22cm	15cm	円形	なし	埋土不明	
937号Pit跡	X=36104 Y=-39432	73×33cm	10cm	楕円形	なし	埋土不明	
938号Pit跡	X=36105 Y=-39431	23×22cm	13cm	円形	なし	埋土不明	
939号Pit跡	X=36105 Y=-39430	58×31cm	39cm	不定形	なし	埋土不明	4号掘立柱建物との関係は不明。
940号Pit跡	X=36106 Y=-39428	75×68cm	30cm	楕円形	なし	埋土不明	4号掘立柱建物との関係は不明。
941号Pit跡	X=36106 Y=-39427	27×22cm	11cm	楕円形	なし	埋土不明	4号掘立柱建物との関係は不明。
942号Pit跡	X=36106 Y=-39427	23×21cm	9cm	不定形	なし	埋土不明	4号掘立柱建物との関係は不明。
943号Pit跡	X=36107 Y=-39427	47×44cm	15cm	正方形	なし	埋土不明	4号掘立柱建物との関係は不明。
944号Pit跡	X=36104 Y=-39424	25×22cm	18cm	楕円形	なし	埋土不明	
945号Pit跡	X=36105 Y=-39423	50×47cm	13cm	楕円形	なし	埋土不明	
946号Pit跡	X=36105 Y=-39423	40×27cm	29cm	不定形	なし	埋土不明	
947号Pit跡	X=36104 Y=-39423	17×16cm	15cm	円形	なし	埋土不明	
948号Pit跡	X=36105 Y=-39423	37×31cm	17cm	楕円形	なし	埋土不明	
949号Pit跡	X=36105 Y=-39419	30×29cm	30cm	楕円形	なし	埋土不明	
950号Pit跡	X=36106 Y=-39418	30×30cm	21cm	円形	なし	埋土不明	
951号Pit跡	X=36106 Y=-39417	29×28cm	37cm	円形	なし	埋土不明	
952号Pit跡	X=36106 Y=-39417	30×26cm	29cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	

第2節 奈良・平安時代の遺構と遺物

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	出土遺物	埋土	備考
953号Pit跡	X=36107 Y=-39415	25×25cm	35cm	円形	なし	埋土不明	
954号Pit跡	X=36108 Y=-39414	42×28cm	20cm	楕円形	なし	埋土不明	
955号Pit跡	X=36109 Y=-39414	35×32cm	26cm	楕円形	なし	埋土不明	
956号Pit跡	X=36111 Y=-39413	52×46cm	37cm	不定形	なし	埋土不明	
957号Pit跡	X=36110 Y=-39413	22×21cm	22cm	円形	なし	埋土不明	
958号Pit跡	X=36109 Y=-39413	28×26cm	24cm	楕円形	なし	埋土不明	
959号Pit跡	X=36108 Y=-39412	20×20cm	15cm	円形	なし	埋土不明	
960号Pit跡	X=36107 Y=-39412	24×20cm	16cm	楕円形	なし	埋土不明	
961号Pit跡	X=36108 Y=-39412	28×27cm	28cm	円形	なし	埋土不明	
962号Pit跡	X=36108 Y=-39412	35×34cm	45cm	円形	なし	埋土不明	
963号Pit跡	X=36108 Y=-39413	36×23cm	27cm	楕円形	なし	埋土不明	
964号Pit跡	X=36105 Y=-39413	45×34cm	22cm	楕円形	なし	埋土不明	
965号Pit跡	X=36103 Y=-39413	32×23cm	37cm	楕円形	なし	埋土不明	
966号Pit跡	X=36103 Y=-39413	28×25cm	25cm	楕円形	なし	埋土不明	
967号Pit跡	X=36102 Y=-39416	30×30cm	46cm	円形	なし	埋土不明	
968号Pit跡	X=36104 Y=-39417	52×50cm	26cm	円形	なし	埋土不明	
969号Pit跡	X=36105 Y=-39418	30×28cm	33cm	円形	なし	埋土不明	
970号Pit跡	X=36103 Y=-39418	76×70cm	14cm	竇丸長方形	なし	埋土不明	
971号Pit跡	X=36102 Y=-39418	23×23cm	9cm	円形	なし	埋土不明	
972号Pit跡	X=36101 Y=-39418	24×22cm	11cm	円形	なし	埋土不明	
973号Pit跡	X=36101 Y=-39419	48×26cm	43cm	不定形	なし	埋土不明	
974号Pit跡	X=36102 Y=-39423	32×27cm	27cm	楕円形	なし	埋土不明	
975号Pit跡	X=36102 Y=-39425	27×23cm	11cm	楕円形	なし	埋土不明	
976号Pit跡	X=36102 Y=-39425	22×21cm	12cm	円形	なし	埋土不明	
977号Pit跡	X=36103 Y=-39426	23×19cm	14cm	楕円形	なし	埋土不明	2号掘立柱建物との関係は不明。
978号Pit跡	X=36104 Y=-39427	25×21cm	11cm	楕円形	なし	埋土不明	2号掘立柱建物との関係は不明。
979号Pit跡	X=36104 Y=-39428	38×30cm	27cm	楕円形	なし	埋土不明	2号掘立柱建物より古い。
980号Pit跡	X=36103 Y=-39428	32×31cm	21cm	円形	なし	埋土不明	2号掘立柱建物との関係は不明。
981号Pit跡	X=36104 Y=-39429	35×30cm	25cm	楕円形	なし	埋土不明	
982号Pit跡	X=36104 Y=-39429	27×(23)cm	27cm	楕円形	なし	埋土不明	2号掘立柱建物より古い。
983号Pit跡	X=36103 Y=-39430	24×22cm	25cm	楕円形	なし	埋土不明	
984号Pit跡	X=36102 Y=-39430	31×29cm	49cm	円形	なし	埋土不明	
985号Pit跡	X=36102 Y=-39429	30×(25)cm	51cm	楕円形	なし	埋土不明	986号Pitよりも古い。
986号Pit跡	X=36102 Y=-39429	40×32cm	38cm	楕円形	なし	埋土不明	985号Pitより新しい。
987号Pit跡	X=36102 Y=-39428	25×22cm	15cm	楕円形	なし	埋土不明	2号掘立柱建物との関係は不明。
988号Pit跡	X=36102 Y=-39428	30×27cm	44cm	円形	なし	埋土不明	2号掘立柱建物との関係は不明。
989号Pit跡	X=36102 Y=-39428	24×20cm	7cm	楕円形	なし	埋土不明	2号掘立柱建物との関係は不明。
990号Pit跡	X=36102 Y=-39429	32×(27)cm	53cm	楕円形	なし	埋土不明	2号掘立柱建物より古い。
991号Pit跡	X=36101 Y=-39429	21×17cm	8cm	楕円形	なし	埋土不明	
992号Pit跡	X=36098 Y=-39430	40×38cm	24cm	円形	なし	埋土不明	
993号Pit跡	X=36097 Y=-39429	30×20cm	27cm	楕円形	なし	埋土不明	
994号Pit跡	X=36099 Y=-39426	39×35cm	19cm	円形	なし	埋土不明	
995号Pit跡	X=36099 Y=-39426	71×36cm	23cm	楕円形	なし	埋土不明	
996号Pit跡	X=36100 Y=-39426	34×32cm	26cm	円形	なし	埋土不明	
997号Pit跡	X=36101 Y=-39427	30×26cm	13cm	楕円形	なし	埋土不明	2号掘立柱建物との関係は不明。
998号Pit跡	X=36101 Y=-39426	40×40cm	33cm	楕円形	なし	埋土不明	2号掘立柱建物との関係は不明。
999号Pit跡	X=36098 Y=-39425	30×27cm	11cm	円形	なし	埋土不明	
1000号Pit跡	X=36098 Y=-39424	38×35cm	16cm	円形	なし	埋土不明	
1001号Pit跡	X=36098 Y=-39424	52×42cm	17cm	楕円形	なし	埋土不明	
1002号Pit跡	X=36099 Y=-39423	21×18cm	9cm	円形	なし	埋土不明	
1003号Pit跡	X=36100 Y=-39422	35×26cm	17cm	楕円形	なし	埋土不明	
1004号Pit跡	X=36100 Y=-39421	26×23cm	12cm	楕円形	なし	埋土不明	
1005号Pit跡	X=36100 Y=-39416	30×30cm	25cm	円形	なし	埋土不明	
1006号Pit跡	X=36099 Y=-39415	53×38cm	54cm	不定形	なし	埋土不明	
1007号Pit跡	X=36103 Y=-39413	38×32cm	50cm	楕円形	なし	埋土不明	
1008号Pit跡	X=36100 Y=-39413	40×36cm	26cm	円形	なし	埋土不明	
1009号Pit跡	X=36099 Y=-39412	42×36cm	21cm	円形	なし	埋土不明	
1010号Pit跡	X=36101 Y=-39409	36×35cm	22cm	円形	なし	埋土不明	
1011号Pit跡	X=36101 Y=-39408	42×41cm	21cm	円形	なし	埋土不明	
1012号Pit跡	X=36099 Y=-39410	32×28cm	23cm	円形	なし	埋土不明	
1013号Pit跡	X=36098 Y=-39410	25×22cm	18cm	円形	なし	埋土不明	
1014号Pit跡	X=36096 Y=-39409	25×20cm	7cm	楕円形	なし	埋土不明	
1015号Pit跡	X=36096 Y=-39415	50×40cm	28cm	不定形	なし	埋土不明	
1017号Pit跡	X=36089 Y=-39478	23×20cm	10cm	円形	なし	埋土不明	
1018号Pit跡	X=36088 Y=-39478	39×28cm	19cm	楕円形	なし	埋土不明	

第3章 検出遺構と出土遺物

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	出土遺物	埋土	備考
1019号 Pit 跡	X=36084 Y=-39474	33×31cm	32cm	円形	なし	埋土不明	
1020号 Pit 跡	X=36085 Y=-39473	21×21cm	31cm	円形	なし	埋土不明	
1021号 Pit 跡	X=36085 Y=-39474	32×25cm	34cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
1022号 Pit 跡	X=36088 Y=-39474	23×18cm	22cm	楕円形	なし	埋土不明	
1023号 Pit 跡	X=36088 Y=-39469	33×31cm	20cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
1024号 Pit 跡	X=36089 Y=-39469	26×26cm	18cm	円形	なし	埋土不明	
1025号 Pit 跡	X=36089 Y=-39468	50×30cm	31cm	楕円形	なし	埋土不明	8・9号溝との新旧関係は不明。
1026号 Pit 跡	X=36088 Y=-39468	37×34cm	69cm	円形	なし	埋土不明	
1027号 Pit 跡	X=36089 Y=-39464	36×34cm	21cm	円形	なし	埋土不明	
1028号 Pit 跡	X=36091 Y=-39464	45×35cm	29cm	楕円形	なし	埋土不明	
1029号 Pit 跡	X=36091 Y=-39463	50×49cm	32cm	不定形	なし	埋土不明	
1030号 Pit 跡	X=36091 Y=-39463	46×42cm	19cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
1031号 Pit 跡	X=36092 Y=-39464	42×37cm	23cm	楕円形	なし	埋土不明	
1032号 Pit 跡	X=36091 Y=-39465	19×15cm	13cm	楕円形	なし	埋土不明	
1033号 Pit 跡	X=36093 Y=-39465	22×20cm	11cm	円形	なし	埋土不明	
1034号 Pit 跡	X=36093 Y=-39466	35×28cm	37cm	楕円形	なし	埋土不明	
1035号 Pit 跡	X=36093 Y=-39465	39×33cm	17cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
1036号 Pit 跡	X=36094 Y=-39465	67×26cm	29cm	不定形	なし	埋土不明	
1037号 Pit 跡	X=36094 Y=-39463	43×30cm	34cm	楕円形	なし	埋土不明	
1038号 Pit 跡	X=36094 Y=-39463	43×31cm	35cm	楕円形	なし	埋土不明	
1039号 Pit 跡	X=36093 Y=-39462	27×25cm	13cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
1040号 Pit 跡	X=36094 Y=-39462	27×24cm	15cm	円形	なし	埋土不明	
1041号 Pit 跡	X=36094 Y=-39461	50×43cm	20cm	不定形	なし	埋土不明	
1042号 Pit 跡	X=36093 Y=-39463	43×40cm	38cm	楕円形	なし	埋土不明	1043号 Pit より古い。
1043号 Pit 跡	X=36093 Y=-39463	28×25cm	19cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	1042号 Pit より新しい。
1044号 Pit 跡	X=36090 Y=-39462	25×25cm	14cm	円形	なし	埋土不明	
1045号 Pit 跡	X=36090 Y=-39462	41×35cm	25cm	楕円形	なし	埋土不明	
1046号 Pit 跡	X=36088 Y=-39460	32×28cm	18cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
1047号 Pit 跡	X=36089 Y=-39459	41×39cm	21cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
1048号 Pit 跡	X=36088 Y=-39458	30×23cm	13cm	楕円形	なし	埋土不明	
1049号 Pit 跡	X=36089 Y=-39458	25×21cm	16cm	円形	なし	埋土不明	
1050号 Pit 跡	X=36091 Y=-39458	35×30cm	21cm	円形	なし	埋土不明	
1051号 Pit 跡	X=36091 Y=-39459	31×27cm	13cm	円形	なし	埋土不明	
1052号 Pit 跡	X=36092 Y=-39456	46×40cm	43cm	楕円形	なし	埋土不明	
1053号 Pit 跡	X=36092 Y=-39453	67×60cm	70cm	楕円形	なし	埋土不明	
1054号 Pit 跡	X=36092 Y=-39454	48×38cm	22cm	楕円形	なし	埋土不明	
1055号 Pit 跡	X=36092 Y=-39455	28×27cm	19cm	円形	なし	埋土不明	
1056号 Pit 跡	X=36093 Y=-39455	51×38cm	25cm	楕円形	なし	埋土不明	
1057号 Pit 跡	X=36094 Y=-39456	42×40cm	23cm	楕円形	なし	埋土不明	
1058号 Pit 跡	X=36095 Y=-39455	150×91cm	43cm	不定形	なし	埋土不明	
1059号 Pit 跡	X=36094 Y=-39453	35×30cm	28cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
1060号 Pit 跡	X=36093 Y=-39452	38×38cm	13cm	円形	なし	埋土不明	
1061号 Pit 跡	X=36093 Y=-39452	70×15cm	25cm	不定形	なし	埋土不明	痕跡か。
1062号 Pit 跡	X=36094 Y=-39452	40×33cm	22cm	不定形	なし	埋土不明	1063号 Pit より新しい。
1063号 Pit 跡	X=36094 Y=-39452	(44×34cm)	不明	楕円形	なし	埋土不明	1062号 Pit より古い。
1064号 Pit 跡	X=36094 Y=-39451	32×29cm	42cm	不定形	なし	埋土不明	
1065号 Pit 跡	X=36094 Y=-39450	31×26cm	18cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
1066号 Pit 跡	X=36093 Y=-39450	39×33cm	27cm	楕円形	なし	埋土不明	
1067号 Pit 跡	X=36092 Y=-39448	27×25cm	22cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
1068号 Pit 跡	X=36092 Y=-39446	41×35cm	16cm	楕円形	なし	埋土不明	
1069号 Pit 跡	X=36094 Y=-39445	23×18cm	19cm	楕円形	なし	埋土不明	
1070号 Pit 跡	X=36094 Y=-39444	28×23cm	29cm	楕円形	なし	埋土不明	
1071号 Pit 跡	X=36092 Y=-39446	49×36cm	28cm	楕円形	なし	埋土不明	
1072号 Pit 跡	X=36093 Y=-39444	35×29cm	25cm	楕円形	なし	埋土不明	
1073号 Pit 跡	X=36092 Y=-39444	49×40cm	34cm	楕円形	なし	埋土不明	
1074号 Pit 跡	X=36092 Y=-39445	30×29cm	24cm	円形	なし	埋土不明	
1075号 Pit 跡	X=36091 Y=-39446	45×26cm	13cm	不定形	なし	埋土不明	
1076号 Pit 跡	X=36091 Y=-39445	29×24cm	40cm	楕円形	なし	埋土不明	
1077号 Pit 跡	X=36091 Y=-39445	41×31cm	21cm	楕円形	なし	埋土不明	
1078号 Pit 跡	X=36090 Y=-39444	48×35cm	57cm	不定形	なし	埋土不明	
1079号 Pit 跡	X=36089 Y=-39443	20×20cm	14cm	円形	なし	埋土不明	
1080号 Pit 跡	X=36061 Y=-39443	126×70cm	43cm	不定形	なし	埋土不明	
1081号 Pit 跡	X=36092 Y=-39439	50×44cm	31cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
1082号 Pit 跡	X=36091 Y=-39439	32×30cm	35cm	円形	なし	埋土不明	
1083号 Pit 跡	X=36092 Y=-39439	45×39cm	27cm	楕円形	なし	埋土不明	
1084号 Pit 跡	X=36093 Y=-39438	38×35cm	18cm	円形	なし	埋土不明	
1085号 Pit 跡	X=36093 Y=-39438	43×38cm	24cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	

第2節 奈良・平安時代の遺構と遺物

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	出土遺物	埋土	備考
1086号 Pit 跡	X=36093 Y=-39438	40×37cm	24cm	円形	なし	埋土不明	
1087号 Pit 跡	X=36094 Y=-39437	37×36cm	24cm	円形	なし	埋土不明	
1088号 Pit 跡	X=36094 Y=-39435	28×25cm	20cm	円形	なし	埋土不明	
1089号 Pit 跡	X=36094 Y=-39435	25×23cm	23cm	円形	なし	埋土不明	
1090号 Pit 跡	X=36093 Y=-39435	40×40cm	24cm	円形	なし	埋土不明	
1091号 Pit 跡	X=36092 Y=-39436	40×37cm	16cm	円形	なし	埋土不明	
1092号 Pit 跡	X=36091 Y=-39435	53×50cm	40cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
1093号 Pit 跡	X=36092 Y=-39434	21×20cm	25cm	円形	なし	埋土不明	
1094号 Pit 跡	X=36092 Y=-39434	48×45cm	21cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
1095号 Pit 跡	X=36094 Y=-39429	30×28cm	23cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
1096号 Pit 跡	X=36092 Y=-39428	30×26cm	15cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
1097号 Pit 跡	X=36093 Y=-39427	30×27cm	23cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
1098号 Pit 跡	X=36093 Y=-39424	45×40cm	16cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
1099号 Pit 跡	X=36092 Y=-39423	22×19cm	15cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
1100号 Pit 跡	X=36093 Y=-39423	32×31cm	62cm	ほぼ円形	なし	埋土は少量の白色硬石を含む暗褐色砂質土。	
1101号 Pit 跡	X=36094 Y=-39420	26×26cm	7cm	円形	なし	埋土不明	
1102号 Pit 跡	X=36094 Y=-39415	30×29cm	12cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
1103号 Pit 跡	X=36093 Y=-39413	31×29cm	9cm	円形	なし	埋土不明	
1104号 Pit 跡	X=36093 Y=-39412	30×25cm	7cm	楕円形	なし	埋土不明	
1105号 Pit 跡	X=36093 Y=-39410	30×27cm	20cm	円形	なし	埋土不明	
1106号 Pit 跡	X=36091 Y=-39409	33×30cm	26cm	円形	なし	埋土不明	
1107号 Pit 跡	X=36093 Y=-39404	63×45cm	17cm	不定形	なし	埋土不明	
1108号 Pit 跡	X=36089 Y=-39402	57×35cm	19cm	楕円形	なし	埋土不明	
1109号 Pit 跡	X=36089 Y=-39406	170×27cm	14cm	不定形	なし	埋土不明	高跡か。
1110号 Pit 跡	X=36090 Y=-39407	26×19cm	9cm	楕円形	なし	埋土不明	
1111号 Pit 跡	X=36088 Y=-39407	31×29cm	22cm	円形	なし	埋土不明	
1112号 Pit 跡	X=36090 Y=-39409	30×28cm	28cm	円形	なし	埋土不明	
1113号 Pit 跡	X=36089 Y=-39410	31×30cm	51cm	円形	なし	埋土不明	
1114号 Pit 跡	X=36088 Y=-39413	35×35cm	42cm	円形	なし	埋土不明	
1115号 Pit 跡	X=36090 Y=-39413	44×34cm	41cm	楕円形	なし	埋土不明	
1116号 Pit 跡	X=36089 Y=-39415	37×30cm	15cm	不定形	なし	埋土不明	
1117号 Pit 跡	X=36088 Y=-39415	40×35cm	42cm	楕円形	なし	埋土不明	
1118号 Pit 跡	X=36087 Y=-39416	104×52cm	41cm	不定形	なし	埋土不明	
1119号 Pit 跡	X=36088 Y=-39417	23×23cm	不明	円形	なし	埋土不明	
1120号 Pit 跡	X=36088 Y=-39418	35×33cm	16cm	円形	なし	埋土不明	
1121号 Pit 跡	X=36090 Y=-39423	75×72cm	15cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
1122号 Pit 跡	X=36091 Y=-39424	38×30cm	10cm	楕円形	なし	埋土不明	
1123号 Pit 跡	X=36089 Y=-39423	35×35cm	24cm	不定形	なし	埋土不明	
1124号 Pit 跡	X=36089 Y=-39423	23×21cm	28cm	楕円形	なし	埋土不明	
1125号 Pit 跡	X=36089 Y=-39424	55×42cm	20cm	楕円形	なし	埋土不明	
1126号 Pit 跡	X=36087 Y=-39426	33×29cm	9cm	円形	なし	埋土不明	
1127号 Pit 跡	X=36088 Y=-39426	33×30cm	16cm	円形	なし	埋土不明	
1128号 Pit 跡	X=36088 Y=-39427	28×26cm	6cm	円形	なし	埋土不明	
1129号 Pit 跡	X=36087 Y=-39427	34×27cm	18cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
1130号 Pit 跡	X=36087 Y=-39426	40×35cm	27cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
1131号 Pit 跡	X=36086 Y=-39427	42×30cm	18cm	楕円形	なし	埋土不明	10号掘立柱建物との新旧関係は不明。
1132号 Pit 跡	X=36086 Y=-39428	21×21cm	23cm	円形	なし	埋土不明	10号掘立柱建物との新旧関係は不明。
1133号 Pit 跡	X=36086 Y=-39427	63×31cm	18cm	不定形	なし	埋土不明	10号掘立柱建物との新旧関係は不明。
1134号 Pit 跡	X=36085 Y=-39427	26×25cm	14cm	円形	なし	埋土不明	10号掘立柱建物との新旧関係は不明。
1135号 Pit 跡	X=36085 Y=-39428	30×27cm	24cm	円形	なし	埋土不明	10号掘立柱建物との新旧関係は不明。
1136号 Pit 跡	X=36085 Y=-39428	18×17cm	10cm	円形	なし	埋土不明	10号掘立柱建物との新旧関係は不明。
1137号 Pit 跡	X=36084 Y=-39429	25×22cm	15cm	円形	なし	埋土不明	
1138号 Pit 跡	X=36084 Y=-39430	31×28cm	23cm	円形	なし	埋土不明	
1139号 Pit 跡	X=36084 Y=-39431	28×27cm	18cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
1140号 Pit 跡	X=36085 Y=-39432	21×20cm	11cm	円形	なし	埋土不明	
1141号 Pit 跡	X=36085 Y=-39432	51×35cm	16cm	楕円形	なし	埋土不明	
1142号 Pit 跡	X=36085 Y=-39432	40×40cm	23cm	円形	なし	埋土不明	
1143号 Pit 跡	X=36087 Y=-39435	46×29cm	19cm	楕円形	なし	埋土不明	
1144号 Pit 跡	X=36087 Y=-39436	52×36cm	30cm	楕円形	なし	埋土不明	
1145号 Pit 跡	X=36088 Y=-39435	53×31cm	25cm	楕円形	なし	埋土不明	
1146号 Pit 跡	X=36088 Y=-39436	87×38cm	30cm	不定形	なし	埋土不明	
1147号 Pit 跡	X=36090 Y=-39435	30×28cm	23cm	円形	なし	埋土不明	1148号 Pit より新しい。
1148号 Pit 跡	X=36090 Y=-39435	29×25cm	19cm	円形	なし	埋土不明	1147号 Pit より古い。
1149号 Pit 跡	X=36090 Y=-39436	45×43cm	23cm	隅丸正方形	なし	埋土不明	
1150号 Pit 跡	X=36089 Y=-39437	33×29cm	11cm	円形	なし	埋土不明	1号掘立柱建物より15cmほど下面で検出。
1151号 Pit 跡	X=36089 Y=-39438	28×28cm	30cm	円形	なし	埋土不明	1号掘立柱建物より15cmほど下面で検出。

第3章 検出遺構と出土遺物

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	出土遺物	埋土	備考
1152号 Pit 跡	X=36090 Y=-39438	60×30cm	17cm	不定形	なし	埋土不明	1号掘立柱建物より15cmほど下面で検出
1153号 Pit 跡	X=36089 Y=-39439	35×30cm	25cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	1号掘立柱建物より15cmほど下面で検出
1154号 Pit 跡	X=36089 Y=-39439	28×26cm	25cm	円形	なし	埋土不明	1号掘立柱建物より15cmほど下面で検出
1155号 Pit 跡	X=36088 Y=-39440	20×17cm	12cm	円形	なし	埋土不明	1号掘立柱建物より15cmほど下面で検出
1156号 Pit 跡	X=36089 Y=-39441	28×25cm	26cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	1号掘立柱建物より15cmほど下面で検出
1157号 Pit 跡	X=36088 Y=-39441	36×28cm	25cm	楕円形	なし	埋土不明	1号掘立柱建物より15cmほど下面で検出
1158号 Pit 跡	X=36090 Y=-39441	49×43cm	15cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	1号掘立柱建物より15cmほど下面で検出
1159号 Pit 跡	X=36090 Y=-39442	27×24cm	10cm	円形	なし	埋土不明	
1160号 Pit 跡	X=36089 Y=-39442	27×25cm	26cm	円形	なし	埋土不明	
1161号 Pit 跡	X=36088 Y=-39443	47×34cm	30cm	楕円形	なし	埋土不明	
1162号 Pit 跡	X=36088 Y=-39443	30×23cm	27cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
1163号 Pit 跡	X=36088 Y=-39442	32×31cm	29cm	円形	なし	埋土不明	
1164号 Pit 跡	X=36087 Y=-39443	29×24cm	28cm	不定形	なし	埋土不明	
1165号 Pit 跡	X=36087 Y=-39442	48×37cm	43cm	楕円形	なし	埋土不明	
1166号 Pit 跡	X=36086 Y=-39443	92×74cm	25cm	楕円形	なし	埋土不明	
1167号 Pit 跡	X=36086 Y=-39443	28×22cm	22cm	楕円形	なし	埋土不明	
1168号 Pit 跡	X=36086 Y=-39445	48×47cm	31cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	2028号 Pit より新しい。
1169号 Pit 跡	X=36084 Y=-39444	34×25cm	29cm	楕円形	なし	埋土不明	
1170号 Pit 跡	X=36084 Y=-39445	42×28cm	28cm	楕円形	なし	埋土不明	
1171号 Pit 跡	X=36084 Y=-39445	30×30cm	14cm	円形	なし	埋土不明	
1172号 Pit 跡	X=36084 Y=-39445	50×30cm	14cm	楕円形	なし	埋土不明	
1173号 Pit 跡	X=36084 Y=-39446	23×20cm	21cm	円形	なし	埋土不明	
1174号 Pit 跡	X=36083 Y=-39446	20×18cm	10cm	円形	なし	埋土不明	
1175号 Pit 跡	X=36083 Y=-39447	31×30cm	30cm	不定形	なし	埋土不明	
1176号 Pit 跡	X=36084 Y=-39448	40×30cm	20cm	楕円形	なし	埋土不明	
1177号 Pit 跡	X=36084 Y=-39449	61×49cm	21cm	楕円形	なし	埋土不明	
1178号 Pit 跡	X=36084 Y=-39451	32×25cm	16cm	楕円形	なし	埋土不明	
1179号 Pit 跡	X=36085 Y=-39451	30×27cm	29cm	円形	なし	埋土不明	
1180号 Pit 跡	X=36085 Y=-39452	30×23cm	16cm	楕円形	なし	埋土不明	
1181号 Pit 跡	X=36091 Y=-39450	40×30cm	19cm	楕円形	なし	埋土不明	
1182号 Pit 跡	X=36090 Y=-39452	73×45cm	17cm	楕円形	なし	埋土不明	
1183号 Pit 跡	X=36088 Y=-39453	36×30cm	25cm	楕円形	なし	埋土不明	
1184号 Pit 跡	X=36088 Y=-39455	50×40cm	26cm	楕円形	なし	埋土不明	
1185号 Pit 跡	X=36088 Y=-39455	208×18cm	13cm	溝状	なし	埋土不明	高踏か。
1186号 Pit 跡	X=36087 Y=-39457	33×31cm	19cm	円形	なし	埋土不明	
1187号 Pit 跡	X=36086 Y=-39457	25×25cm	19cm	円形	なし	埋土不明	
1188号 Pit 跡	X=36085 Y=-39458	65×50cm	32cm	不定形	なし	埋土不明	
1189号 Pit 跡	X=36086 Y=-39458	39×31cm	21cm	楕円形	なし	埋土不明	
1190号 Pit 跡	X=36086 Y=-39461	25×21cm	12cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
1191号 Pit 跡	X=36086 Y=-39462	32×30cm	9cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
1192号 Pit 跡	X=36084 Y=-39459	38×37cm	9cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
1193号 Pit 跡	X=36083 Y=-39460	25×25cm	11cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
1194号 Pit 跡	X=36082 Y=-39460	28×25cm	12cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
1195号 Pit 跡	X=36082 Y=-39459	45×36cm	26cm	不定形	なし	埋土不明	
1196号 Pit 跡	X=36081 Y=-39460	35×35cm	10cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
1197号 Pit 跡	X=36076 Y=-39470	20×20cm	29cm	円形	なし	埋土不明	
1198号 Pit 跡	X=36076 Y=-39474	47×30cm	9cm	楕円形	なし	埋土不明	
1199号 Pit 跡	X=36073 Y=-39472	16×15cm	25cm	円形	なし	埋土不明	
1200号 Pit 跡	X=36073 Y=-39470	35×30cm	36cm	楕円形	なし	埋土不明	
1201号 Pit 跡	X=36080 Y=-39459	24×23cm	9cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
1202号 Pit 跡	X=36079 Y=-39459	26×22cm	10cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
1203号 Pit 跡	X=36081 Y=-39457	28×22cm	26cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
1204号 Pit 跡	X=36081 Y=-39456	27×23cm	33cm	円形	なし	埋土不明	
1205号 Pit 跡	X=36081 Y=-39456	24×22cm	19cm	円形	なし	埋土不明	
1206号 Pit 跡	X=36081 Y=-39455	34×34cm	32cm	円形	なし	埋土不明	
1207号 Pit 跡	X=36083 Y=-39456	24×23cm	20cm	円形	なし	埋土不明	
1208号 Pit 跡	X=36083 Y=-39455	22×19cm	13cm	円形	なし	埋土不明	
1209号 Pit 跡	X=36084 Y=-39453	60×27cm	28cm	楕円形	なし	埋土不明	
1210号 Pit 跡	X=36082 Y=-39450	43×38cm	20cm	楕円形	なし	埋土不明	
1211号 Pit 跡	X=36082 Y=-39450	41×31cm	24cm	楕円形	なし	埋土不明	
1212号 Pit 跡	X=36082 Y=-39449	32×29cm	24cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
1213号 Pit 跡	X=36082 Y=-39449	35×25cm	18cm	楕円形	なし	埋土不明	
1214号 Pit 跡	X=36082 Y=-39449	25×19cm	12cm	楕円形	なし	埋土不明	
1215号 Pit 跡	X=36082 Y=-39448	45×35cm	32cm	楕円形	なし	埋土不明	
1216号 Pit 跡	X=36082 Y=-39447	90×58cm	54cm	不定形	なし	埋土不明	
1217号 Pit 跡	X=36081 Y=-39445	28×24cm	40cm	円形	なし	埋土不明	
1218号 Pit 跡	X=36081 Y=-39443	36×31cm	33cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	

第2節 奈良・平安時代の遺構と遺物

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	出土遺物	埋土	備考
1219号 Pit 跡	X = 36082 Y = -39444	52 × 40cm	26cm	楕円形	なし	埋土不明	
1220号 Pit 跡	X = 36081 Y = -39442	23 × 22cm	21cm	円形	なし	埋土不明	
1221号 Pit 跡	X = 36082 Y = -39442	42 × 30cm	15cm	楕円形	なし	埋土不明	
1222号 Pit 跡	X = 36082 Y = -39442	50 × 44cm	26cm	楕円形	なし	埋土不明	
1223号 Pit 跡	X = 36082 Y = -39441	46 × 31cm	18cm	楕円形	なし	埋土不明	
1224号 Pit 跡	X = 36083 Y = -39441	42 × 33cm	19cm	楕円形	なし	埋土不明	
1225号 Pit 跡	X = 36083 Y = -39442	35 × 30cm	32cm	楕円形	なし	埋土不明	
1226号 Pit 跡	X = 36084 Y = -39443	25 × 25cm	28cm	円形	なし	埋土不明	
1227号 Pit 跡	X = 36084 Y = -39442	82 × 40cm	28cm	不定形	なし	埋土不明	
1228号 Pit 跡	X = 36084 Y = -39441	24 × 23cm	16cm	円形	なし	埋土不明	
1229号 Pit 跡	X = 36084 Y = -39442	32 × 30cm	20cm	円形	なし	埋土不明	
1230号 Pit 跡	X = 36085 Y = -39442	30 × 27cm	16cm	円形	なし	埋土不明	
1231号 Pit 跡	X = 36085 Y = -39441	34 × 28cm	35cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
1232号 Pit 跡	X = 36086 Y = -39441	41 × 27cm	27cm	楕円形	なし	埋土不明	
1233号 Pit 跡	X = 36084 Y = -39440	31 × 27cm	9cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
1234号 Pit 跡	X = 36085 Y = -39440	24 × 22cm	26cm	円形	なし	埋土不明	
1235号 Pit 跡	X = 36086 Y = -39439	27 × 23cm	24cm	円形	なし	埋土不明	1号掘立柱建物より15cmほど下面で検出
1236号 Pit 跡	X = 36087 Y = -39440	27 × 27cm	39cm	円形	なし	埋土不明	1号掘立柱建物より15cmほど下面で検出
1237号 Pit 跡	X = 36087 Y = -39440	23 × 22cm	16cm	円形	なし	埋土不明	1号掘立柱建物より15cmほど下面で検出
1238号 Pit 跡	X = 36086 Y = -39438	20 × 20cm	6cm	円形	なし	埋土不明	1号掘立柱建物より15cmほど下面で検出
1239号 Pit 跡	X = 36086 Y = -39438	32 × 25cm	13cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	1号掘立柱建物より15cmほど下面で検出
1240号 Pit 跡	X = 36086 Y = -39437	30 × 30cm	23cm	円形	なし	埋土不明	1号掘立柱建物より15cmほど下面で検出
1241号 Pit 跡	X = 36085 Y = -39438	36 × 24cm	11cm	楕円形	なし	埋土不明	
1242号 Pit 跡	X = 36085 Y = -39434	25 × 24cm	14cm	円形	なし	埋土不明	
1243号 Pit 跡	X = 36084 Y = -39434	24 × 20cm	10cm	円形	なし	埋土不明	
1244号 Pit 跡	X = 36084 Y = -39436	50 × 34cm	24cm	楕円形	なし	埋土不明	
1245号 Pit 跡	X = 36083 Y = -39437	36 × 30cm	17cm	楕円形	なし	埋土不明	
1246号 Pit 跡	X = 36082 Y = -39437	38 × 37cm	14cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
1247号 Pit 跡	X = 36081 Y = -39438	52 × 30cm	28cm	楕円形	なし	埋土不明	
1248号 Pit 跡	X = 36081 Y = -39440	27 × 21cm	19cm	楕円形	なし	埋土不明	
1249号 Pit 跡	X = 36082 Y = -39440	52 × 48cm	21cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
1250号 Pit 跡	X = 36077 Y = -39434	43 × 33cm	29cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
1251号 Pit 跡	X = 36078 Y = -39434	26 × 21cm	9cm	円形	なし	埋土不明	
1252号 Pit 跡	X = 36079 Y = -39434	56 × 45cm	23cm	楕円形	なし	埋土不明	
1253号 Pit 跡	X = 36080 Y = -39433	50 × 41cm	15cm	不定形	なし	埋土不明	
1254号 Pit 跡	X = 36080 Y = -39432	32 × 28cm	13cm	円形	なし	埋土不明	
1255号 Pit 跡	X = 36080 Y = -39431	43 × 38cm	25cm	円形	なし	埋土不明	
1256号 Pit 跡	X = 36081 Y = -39430	27 × 27cm	22cm	円形	なし	埋土不明	
1257号 Pit 跡	X = 36080 Y = -39430	50 × 36cm	39cm	円形	なし	埋土不明	
1258号 Pit 跡	X = 36079 Y = -39429	27 × 25cm	9cm	円形	なし	埋土不明	
1259号 Pit 跡	X = 36079 Y = -39428	25 × 24cm	14cm	円形	なし	埋土不明	
1260号 Pit 跡	X = 36080 Y = -39429	41 × 37cm	29cm	楕円形	なし	埋土不明	
1261号 Pit 跡	X = 36081 Y = -39429	82 × 47cm	30cm	不定形	なし	埋土不明	
1262号 Pit 跡	X = 36082 Y = -39429	20 × 17cm	16cm	円形	なし	埋土不明	
1263号 Pit 跡	X = 36081 Y = -39427	27 × 25cm	19cm	円形	なし	埋土不明	
1264号 Pit 跡	X = 36081 Y = -39427	31 × 25cm	15cm	楕円形	なし	埋土不明	
1265号 Pit 跡	X = 36080 Y = -39427	33 × 30cm	11cm	円形	なし	埋土不明	
1266号 Pit 跡	X = 36080 Y = -39427	53 × 47cm	18cm	円形	なし	埋土不明	
1267号 Pit 跡	X = 36079 Y = -39427	29 × 27cm	38cm	円形	なし	埋土不明	
1268号 Pit 跡	X = 36079 Y = -39427	42 × 30cm	22cm	楕円形	なし	埋土不明	
1269号 Pit 跡	X = 36079 Y = -39427	42 × 30cm	19cm	楕円形	なし	埋土不明	
1270号 Pit 跡	X = 36078 Y = -39427	51 × 26cm	19cm	不定形	なし	埋土不明	
1271号 Pit 跡	X = 36078 Y = -39425	28 × 26cm	23cm	円形	なし	埋土不明	
1272号 Pit 跡	X = 36078 Y = -39425	28 × 26cm	30cm	円形	なし	埋土不明	
1273号 Pit 跡	X = 36077 Y = -39425	25 × 24cm	27cm	円形	なし	埋土不明	
1274号 Pit 跡	X = 36076 Y = -39426	30 × 26cm	22cm	円形	なし	埋土不明	
1275号 Pit 跡	X = 36075 Y = -39427	29 × 27cm	17cm	円形	なし	埋土不明	
1276号 Pit 跡	X = 36075 Y = -39430	37 × 33cm	35cm	円形	なし	埋土不明	
1277号 Pit 跡	X = 36073 Y = -39428	28 × 25cm	19cm	円形	なし	埋土不明	
1278号 Pit 跡	X = 36071 Y = -39428	49 × 24cm	11cm	不定形	なし	埋土不明	
1279号 Pit 跡	X = 36070 Y = -39428	22 × 20cm	14cm	円形	なし	埋土不明	
1280号 Pit 跡	X = 36070 Y = -39428	39 × 31cm	29cm	円形	なし	埋土不明	
1281号 Pit 跡	X = 36071 Y = -39427	34 × 27cm	25cm	楕円形	なし	埋土不明	
1282号 Pit 跡	X = 36068 Y = -39428	(136) × (64) cm	29cm	不定形	なし	埋土不明	南側は調査区域外。
1283号 Pit 跡	X = 36070 Y = -39425	62 × 48cm	36cm	不定形	なし	埋土不明	
1284号 Pit 跡	X = 36070 Y = -39425	53 × 45cm	23cm	不定形	なし	埋土不明	

第3章 検出遺構と出土遺物

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	出土遺物	埋土	備考
1285号 Pit 跡	X=36072 Y=-39425	30×28cm	18cm	円形	なし	埋土不明	
1286号 Pit 跡	X=36071 Y=-39424	111×60cm	24cm	不定形	なし	埋土不明	
1287号 Pit 跡	X=36071 Y=-39423	30×30cm	44cm	円形	なし	埋土不明	
1288号 Pit 跡	X=36072 Y=-39424	28×25cm	17cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
1289号 Pit 跡	X=36073 Y=-39424	18×17cm	13cm	円形	なし	埋土不明	
1290号 Pit 跡	X=36074 Y=-39424	24×21cm	21cm	円形	なし	埋土不明	
1291号 Pit 跡	X=36073 Y=-39423	22×19cm	13cm	円形	なし	埋土不明	
1292号 Pit 跡	X=36074 Y=-39422	23×21cm	12cm	円形	なし	埋土不明	
1293号 Pit 跡	X=36073 Y=-39422	22×20cm	13cm	円形	なし	埋土不明	
1294号 Pit 跡	X=36073 Y=-39422	32×25cm	25cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
1295号 Pit 跡	X=36073 Y=-39422	18×15cm	13cm	円形	なし	埋土不明	
1296号 Pit 跡	X=36073 Y=-39421	60×45cm	12cm	楕円形	なし	埋土不明	
1297号 Pit 跡	X=36072 Y=-39420	40×32cm	23cm	楕円形	なし	埋土不明	
1298号 Pit 跡	X=36071 Y=-39421	31×29cm	16cm	円形	なし	埋土不明	
1299号 Pit 跡	X=36071 Y=-39419	45×40cm	20cm	円形	なし	埋土不明	
1300号 Pit 跡	X=36072 Y=-39420	42×32cm	20cm	楕円形	なし	埋土不明	
1301号 Pit 跡	X=36073 Y=-39420	44×36cm	31cm	楕円形	なし	埋土不明	
1302号 Pit 跡	X=36073 Y=-39419	83×76cm	17cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
1303号 Pit 跡	X=36074 Y=-39420	43×36cm	21cm	円形	なし	埋土不明	
1304号 Pit 跡	X=36074 Y=-39420	29×24cm	13cm	円形	なし	埋土不明	
1305号 Pit 跡	X=36074 Y=-39421	32×31cm	26cm	円形	なし	埋土不明	
1306号 Pit 跡	X=36073 Y=-39421	30×25cm	13cm	楕円形	なし	埋土不明	
1307号 Pit 跡	X=36076 Y=-39421	53×42cm	20cm	楕円形	なし	埋土不明	
1308号 Pit 跡	X=36076 Y=-39422	33×31cm	11cm	円形	なし	埋土不明	
1309号 Pit 跡	X=36076 Y=-39422	41×40cm	10cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
1310号 Pit 跡	X=36078 Y=-39422	65×50cm	54cm	不定形	なし	埋土不明	
1311号 Pit 跡	X=36078 Y=-39422	50×47cm	28cm	円形	なし	埋土不明	
1312号 Pit 跡	X=36079 Y=-39423	23×22cm	18cm	円形	なし	埋土不明	
1313号 Pit 跡	X=36080 Y=-39424	26×26cm	26cm	円形	なし	埋土不明	
1314号 Pit 跡	X=36081 Y=-39424	30×29cm	20cm	円形	なし	埋土不明	
1315号 Pit 跡	X=36082 Y=-39425	35×34cm	24cm	円形	なし	埋土不明	
1316号 Pit 跡	X=36082 Y=-39427	24×24cm	19cm	円形	なし	埋土不明	
1317号 Pit 跡	X=36082 Y=-39426	30×28cm	16cm	円形	なし	埋土不明	
1318号 Pit 跡	X=36082 Y=-39425	54×38cm	18cm	楕円形	なし	埋土不明	
1319号 Pit 跡	X=36084 Y=-39426	125×32cm	15cm	不定形	なし	埋土不明	Pitになるか不明。
1320号 Pit 跡	X=36083 Y=-39427	46×32cm	27cm	楕円形	なし	埋土不明	
1321号 Pit 跡	X=36082 Y=-39428	26×20cm	16cm	楕円形	なし	埋土不明	
1322号 Pit 跡	X=36084 Y=-39428	(29×26cm)	28cm	円形	なし	埋土不明	
1323号 Pit 跡	X=36084 Y=-39427	50×26cm	29cm	楕円形	なし	埋土不明	10号掘立柱建物との新旧関係は不明。
1324号 Pit 跡	X=36085 Y=-39427	27×23cm	18cm	楕円形	なし	埋土不明	10号掘立柱建物との新旧関係は不明。
1325号 Pit 跡	X=36085 Y=-39427	57×40cm	19cm	楕円形	なし	埋土不明	10号掘立柱建物との新旧関係は不明。
1326号 Pit 跡	X=36085 Y=-39426	44×36cm	13cm	不定形	なし	埋土不明	10号掘立柱建物との新旧関係は不明。
1327号 Pit 跡	X=36086 Y=-39424	49×22cm	17cm	楕円形	なし	埋土不明	10号掘立柱建物との新旧関係は不明。
1328号 Pit 跡	X=36085 Y=-39424	46×21cm	11cm	楕円形	なし	埋土不明	10号掘立柱建物との新旧関係は不明。
1329号 Pit 跡	X=36086 Y=-39422	27×26cm	20cm	円形	なし	埋土不明	
1330号 Pit 跡	X=36085 Y=-39422	46×42cm	9cm	円形	なし	埋土不明	
1331号 Pit 跡	X=36085 Y=-39421	38×38cm	13cm	円形	なし	埋土不明	
1332号 Pit 跡	X=36087 Y=-39420	36×35cm	13cm	円形	なし	埋土不明	
1333号 Pit 跡	X=36086 Y=-39419	52×40cm	21cm	不定形	なし	埋土不明	
1334号 Pit 跡	X=36085 Y=-39419	40×33cm	22cm	楕円形	なし	埋土不明	
1335号 Pit 跡	X=36085 Y=-39418	53×47cm	26cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
1336号 Pit 跡	X=36082 Y=-39421	49×20cm	9cm	楕円形	なし	埋土不明	
1337号 Pit 跡	X=36080 Y=-39421	33×31cm	30cm	円形	なし	埋土不明	
1338号 Pit 跡	X=36079 Y=-39421	45×36cm	10cm	楕円形	なし	埋土不明	
1339号 Pit 跡	X=36078 Y=-39421	20×19cm	19cm	円形	なし	埋土不明	
1340号 Pit 跡	X=36080 Y=-39419	37×34cm	19cm	円形	なし	埋土不明	
1341号 Pit 跡	X=36080 Y=-39419	35×27cm	20cm	楕円形	なし	埋土不明	
1342号 Pit 跡	X=36078 Y=-39419	40×34cm	10cm	円形	なし	埋土不明	
1343号 Pit 跡	X=36078 Y=-39418	54×46cm	23cm	円形	なし	埋土不明	
1344号 Pit 跡	X=36076 Y=-39417	42×40cm	60cm	円形	なし	埋土不明	
1345号 Pit 跡	X=36075 Y=-39417	32×26cm	8cm	楕円形	なし	埋土不明	
1346号 Pit 跡	X=36071 Y=-39416	100×68cm	36cm	不定形	なし	埋土不明	
1347号 Pit 跡	X=36074 Y=-39415	30×27cm	36cm	円形	なし	埋土不明	
1348号 Pit 跡	X=36075 Y=-39414	30×27cm	32cm	円形	なし	埋土不明	
1349号 Pit 跡	X=36076 Y=-39415	35×35cm	34cm	円形	なし	埋土不明	
1350号 Pit 跡	X=36077 Y=-39415	42×32cm	48cm	楕円形	なし	埋土不明	
1351号 Pit 跡	X=36079 Y=-39418	50×43cm	29cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	

第2節 奈良・平安時代の遺構と遺物

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	出土遺物	埋土	備考
1352号Pit跡	X=36079 Y=-39417	51×30cm	10cm	楕円形	なし	埋土不明	
1353号Pit跡	X=36079 Y=-39416	24×21cm	15cm	円形	なし	埋土不明	
1354号Pit跡	X=36080 Y=-39417	84×40cm	28cm	不定形	なし	埋土不明	
1355号Pit跡	X=36081 Y=-39417	125×29cm	13cm	不定形	なし	埋土不明	
1356号Pit跡	X=36083 Y=-39417	51×41cm	22cm	楕円形	なし	埋土不明	
1357号Pit跡	X=36081 Y=-39415	20×20cm	24cm	円形	なし	埋土不明	
1358号Pit跡	X=36081 Y=-39415	31×27cm	7cm	円形	なし	埋土不明	
1359号Pit跡	X=36081 Y=-39415	32×30cm	18cm	円形	なし	埋土不明	
1360号Pit跡	X=36081 Y=-39414	30×28cm	26cm	円形	なし	埋土不明	
1361号Pit跡	X=36081 Y=-39414	48×35cm	25cm	楕円形	なし	埋土不明	
1362号Pit跡	X=36083 Y=-39411	57×41cm	26cm	楕円形	なし	埋土不明	
1363号Pit跡	X=36083 Y=-39410	35×32cm	23cm	円形	なし	埋土不明	
1364号Pit跡	X=36085 Y=-39410	41×33cm	29cm	楕円形	なし	埋土不明	
1365号Pit跡	X=36086 Y=-39410	33×32cm	23cm	円形	なし	埋土不明	
1366号Pit跡	X=36085 Y=-39407	53×37cm	50cm	楕円形	なし	埋土不明	
1367号Pit跡	X=36084 Y=-39407	43×35cm	52cm	楕円形	なし	埋土不明	
1368号Pit跡	X=36084 Y=-39407	45×37cm	27cm	楕円形	なし	埋土不明	
1369号Pit跡	X=36083 Y=-39407	21×21cm	23cm	円形	なし	埋土不明	
1370号Pit跡	X=36083 Y=-39407	32×28cm	48cm	円形	なし	埋土不明	
1371号Pit跡	X=36082 Y=-39409	41×33cm	36cm	不定形	なし	埋土不明	
1372号Pit跡	X=36079 Y=-39410	133×43cm	26cm	不定形	なし	埋土不明	高跡カ。
1373号Pit跡	X=36077 Y=-39411	27×24cm	19cm	円形	なし	埋土不明	
1374号Pit跡	X=36077 Y=-39409	30×28cm	16cm	円形	なし	埋土不明	
1375号Pit跡	X=36077 Y=-39409	32×30cm	25cm	円形	なし	埋土不明	
1376号Pit跡	X=36076 Y=-39410	50×45cm	24cm	楕円形	なし	埋土不明	
1377号Pit跡	X=36074 Y=-39411	25×24cm	16cm	円形	なし	埋土不明	
1378号Pit跡	X=36073 Y=-39409	42×38cm	25cm	円形	なし	埋土不明	
1379号Pit跡	X=36072 Y=-39407	27×27cm	18cm	円形	なし	埋土不明	
1380号Pit跡	X=36075 Y=-39408	31×29cm	14cm	円形	なし	埋土不明	
1381号Pit跡	X=36077 Y=-39407	30×28cm	25cm	円形	なし	埋土不明	
1382号Pit跡	X=36078 Y=-39406	32×30cm	49cm	円形	なし	埋土不明	
1383号Pit跡	X=36079 Y=-39407	30×25cm	29cm	円形	なし	埋土不明	
1384号Pit跡	X=36079 Y=-39407	38×33cm	39cm	円形	なし	埋土不明	
1385号Pit跡	X=36079 Y=-39407	33×28cm	21cm	円形	なし	埋土不明	
1386号Pit跡	X=36079 Y=-39407	43×39cm	30cm	円形	なし	埋土不明	
1387号Pit跡	X=36080 Y=-39407	37×33cm	33cm	円形	なし	埋土不明	
1388号Pit跡	X=36081 Y=-39407	29×29cm	17cm	円形	なし	埋土不明	
1389号Pit跡	X=36082 Y=-39406	28×27cm	35cm	円形	なし	埋土不明	
1390号Pit跡	X=36082 Y=-39406	29×29cm	19cm	円形	なし	埋土不明	
1391号Pit跡	X=36084 Y=-39406	38×35cm	45cm	円形	なし	埋土不明	
1392号Pit跡	X=36086 Y=-39404	47×30cm	44cm	不定形	なし	埋土不明	
1393号Pit跡	X=36085 Y=-39402	47×37cm	48cm	楕円形	なし	埋土不明	
1394号Pit跡	X=36084 Y=-39400	47×35cm	19cm	楕円形	なし	埋土不明	
1395号Pit跡	X=36083 Y=-39400	24×17cm	14cm	楕円形	なし	埋土不明	
1396号Pit跡	X=36082 Y=-39401	19×17cm	12cm	円形	なし	埋土不明	
1397号Pit跡	X=36082 Y=-39401	27×25cm	16cm	円形	なし	埋土不明	
1398号Pit跡	X=36082 Y=-39401	33×28cm	13cm	円形	なし	埋土不明	
1399号Pit跡	X=36082 Y=-39401	45×44cm	25cm	円形	なし	埋土不明	
1400号Pit跡	X=36081 Y=-39402	19×18cm	17cm	円形	なし	埋土不明	
1401号Pit跡	X=36083 Y=-39402	19×19cm	16cm	円形	なし	埋土不明	
1402号Pit跡	X=36083 Y=-39403	29×28cm	12cm	円形	なし	埋土不明	
1403号Pit跡	X=36083 Y=-39403	47×45cm	28cm	円形	なし	埋土不明	
1404号Pit跡	X=36082 Y=-39404	37×30cm	20cm	楕円形	なし	埋土不明	
1405号Pit跡	X=36081 Y=-39399	66×43cm	40cm	楕円形	なし	埋土不明	
1406号Pit跡	X=36079 Y=-39401	56×52cm	61cm	楕円形	なし	埋土不明	
1407号Pit跡	X=36079 Y=-39401	80×74cm	22cm	不定形	なし	埋土不明	
1408号Pit跡	X=36079 Y=-39402	70×35cm	39cm	楕円形	なし	埋土不明	
1409号Pit跡	X=36077 Y=-39402	37×35cm	28cm	円形	なし	埋土不明	
1410号Pit跡	X=36077 Y=-39402	25×20cm	14cm	楕円形	なし	埋土不明	
1411号Pit跡	X=36077 Y=-39405	30×29cm	18cm	円形	なし	埋土不明	
1412号Pit跡	X=36077 Y=-39405	30×29cm	29cm	円形	なし	埋土不明	
1413号Pit跡	X=36077 Y=-39403	44×37cm	20cm	円形	なし	埋土不明	
1414号Pit跡	X=36076 Y=-39403	25×25cm	17cm	円形	なし	埋土不明	
1415号Pit跡	X=36075 Y=-39403	29×25cm	10cm	円形	なし	埋土不明	
1416号Pit跡	X=36074 Y=-39403	38×30cm	28cm	円形	なし	埋土不明	
1417号Pit跡	X=36073 Y=-39404	25×23cm	9cm	円形	なし	埋土不明	

第3章 検出遺構と出土遺物

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	出土遺物	埋土	備考
1418号 Pit 跡	X=36072 Y=-39404	41×39cm	19cm	円形	なし	埋土不明	
1419号 Pit 跡	X=36073 Y=-39403	24×23cm	13cm	円形	なし	埋土不明	
1420号 Pit 跡	X=36073 Y=-39402	31×26cm	19cm	円形	なし	埋土不明	
1421号 Pit 跡	X=36074 Y=-39401	26×22cm	26cm	円形	なし	埋土不明	
1422号 Pit 跡	X=36072 Y=-39400	32×24cm	15cm	楕円形	なし	埋土不明	
1423号 Pit 跡	X=36073 Y=-39400	30×28cm	15cm	円形	なし	埋土不明	
1424号 Pit 跡	X=36076 Y=-39401	28×25cm	29cm	円形	なし	埋土不明	
1425号 Pit 跡	X=36076 Y=-39402	28×26cm	30cm	円形	なし	埋土不明	
1426号 Pit 跡	X=36076 Y=-39398	25×24cm	19cm	円形	なし	埋土不明	
1427号 Pit 跡	X=36076 Y=-39398	50×31cm	44cm	楕円形	なし	埋土不明	
1428号 Pit 跡	X=36075 Y=-39398	30×30cm	46cm	円形	なし	埋土不明	
1429号 Pit 跡	X=36075 Y=-39398	37×30cm	44cm	楕円形	なし	埋土不明	
1430号 Pit 跡	X=36075 Y=-39397	44×43cm	43cm	円形	なし	埋土不明	
1431号 Pit 跡	X=36076 Y=-39397	42×36cm	36cm	楕円形	なし	埋土不明	
1432号 Pit 跡	X=36078 Y=-39397	34×30cm	24cm	楕円形	なし	埋土不明	
1433号 Pit 跡	X=36078 Y=-39397	28×25cm	20cm	円形	なし	埋土不明	
1434号 Pit 跡	X=36077 Y=-39396	39×33cm	21cm	円形	なし	埋土不明	
1435号 Pit 跡	X=36074 Y=-39394	34×32cm	19cm	円形	なし	埋土不明	
1436号～1500号 Pit は欠番							
1501号 Pit 跡	X=36158 Y=-39478	30×27cm	25cm	円形	なし	埋土不明	
1502号 Pit 跡	X=36156 Y=-39480	15×13cm	7cm	円形	なし	埋土不明	
1503号 Pit 跡	X=36156 Y=-39480	28×23cm	19cm	不定形	なし	埋土不明	
1504号 Pit 跡	X=36156 Y=-39479	19×16cm	10cm	円形	なし	埋土不明	
1505号 Pit 跡	X=36156 Y=-39478	49×37cm	39cm	不定形	なし	埋土不明	
1506号 Pit 跡	X=36156 Y=-39477	34×25cm	35cm	楕円形	なし	埋土不明	
1507号 Pit 跡	X=36156 Y=-39477	36×25cm	25cm	楕円形	なし	埋土不明	
1508号 Pit 跡	X=36156 Y=-39477	36×34cm	21cm	円形	なし	埋土不明	
1509号 Pit 跡	X=36156 Y=-39477	46×32cm	34cm	楕円形	なし	埋土不明	
1510号 Pit 跡	X=36155 Y=-39477	24×18cm	19cm	不定形	なし	埋土不明	
1511号 Pit 跡	X=36154 Y=-39478	19×18cm	15cm	楕円形	なし	埋土不明	
1512号 Pit 跡	X=36154 Y=-39477	27×22cm	14cm	楕円形	なし	埋土不明	
1513号 Pit 跡	X=36154 Y=-39475	25×22cm	16cm	楕円形	なし	埋土不明	
1514号 Pit 跡	X=36153 Y=-39475	40×30cm	16cm	楕円形	なし	埋土不明	
1515号 Pit 跡	X=36152 Y=-39478	23×20cm	13cm	円形	なし	埋土不明	
1516号 Pit 跡	X=36152 Y=-39472	28×22cm	13cm	楕円形	なし	埋土不明	
1517号 Pit 跡	X=36152 Y=-39471	23×19cm	8cm	楕円形	なし	埋土不明	
1518号 Pit 跡	X=36151 Y=-39470	20×17cm	9cm	楕円形	なし	埋土不明	
1519号 Pit 跡	X=36152 Y=-39469	31×24cm	9cm	不定形	なし	埋土不明	
1520号 Pit 跡	X=36149 Y=-39475	25×24cm	17cm	円形	なし	埋土不明	
1521号 Pit 跡	X=36149 Y=-39473	33×27cm	25cm	円形	なし	埋土不明	
1522号 Pit 跡	X=36149 Y=-39470	37×34cm	37cm	円形	なし	埋土不明	
1523号 Pit 跡	X=36149 Y=-39469	66×25cm	32cm	不定形	なし	埋土不明	
1524号～1700号 Pit は欠番							
1701号 Pit 跡	X=36192 Y=-39488	58×40cm	10cm	不定形	なし	埋土不明	
1702号 Pit 跡	X=36192 Y=-39487	63×50cm	18cm	不定形	なし	埋土不明	
1703号 Pit 跡	X=36190 Y=-39489	24×23cm	15cm	円形	なし	埋土不明	
1704号 Pit 跡	X=36190 Y=-39490	56×48cm	21cm	楕円形	なし	埋土不明	
1705号 Pit 跡	X=36189 Y=-39488	30×27cm	15cm	円形	なし	埋土不明	
1706号 Pit 跡	X=36190 Y=-39486	21×18cm	11cm	円形	なし	埋土不明	
1707号 Pit 跡	X=36191 Y=-39486	17×14cm	11cm	円形	なし	埋土不明	
1708号 Pit 跡	X=36191 Y=-39486	16×(14)cm	11cm	円形	なし	埋土不明	
1710号 Pit 跡	X=36188 Y=-39489	29×28cm	15cm	円形	なし	埋土不明	
1711号 Pit 跡	X=36172 Y=-39485	30×28cm	22cm	楕円形	なし	埋土不明	
1712号 Pit 跡	X=36172 Y=-39484	28×25cm	14cm	楕円形	なし	埋土不明	
1713号 Pit 跡	X=36172 Y=-39484	15×13cm	11cm	円形	なし	埋土不明	
1714号 Pit 跡	X=36172 Y=-39483	20×18cm	11cm	円形	なし	埋土不明	
1715号 Pit 跡	X=36171 Y=-39484	29×23cm	12cm	楕円形	なし	埋土不明	
1716号 Pit 跡	X=36171 Y=-39485	28×25cm	15cm	円形	なし	埋土不明	
1717号 Pit 跡	X=36172 Y=-39483	45×39cm	27cm	楕円形	なし	埋土不明	
1718号 Pit 跡	X=36170 Y=-39481	30×27cm	15cm	円形	なし	埋土不明	
1719号 Pit 跡	X=36170 Y=-39481	35×28cm	21cm	楕円形	なし	埋土不明	
1720号 Pit 跡	X=36169 Y=-39481	37×33cm	28cm	円形	なし	埋土不明	
1721号 Pit 跡	X=36169 Y=-39482	40×32cm	28cm	楕円形	なし	埋土不明	
1722号 Pit 跡	X=36169 Y=-39482	18×(16)cm	9cm	円形	なし	埋土不明	
1723号 Pit 跡	X=36169 Y=-39482	30×25cm	25cm	楕円形	なし	埋土不明	
1724号 Pit 跡	X=36169 Y=-39482	57×34cm	28cm	不定形	なし	埋土不明	
1725号 Pit 跡	X=36168 Y=-39484	29×23cm	23cm	楕円形	なし	埋土不明	

第2節 奈良・平安時代の遺構と遺物

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	出土遺物	埋土	備考
1726号 Pit 跡	X = 36161 Y = -39481	45 × 30cm	25cm	不定形	なし	埋土不明	
1730号 Pit 跡	X = 36122 Y = -39479	26 × 19cm	12cm	楕円形	なし	埋土不明	
1731号 Pit 跡	X = 36122 Y = -39479	29 × 27cm	23cm	円形	なし	埋土不明	
1732号 Pit 跡	X = 36122 Y = -39479	26 × 20cm	20cm	楕円形	なし	埋土不明	
1733号 Pit 跡	X = 36123 Y = -39480	28 × 26cm	16cm	円形	なし	埋土不明	
1734号 Pit 跡	X = 36124 Y = -39481	38 × 20cm	21cm	楕円形	なし	埋土不明	
1740号 Pit 跡	X = 36140 Y = -39479	30 × 28cm	23cm	円形	なし	埋土不明	
1741号 Pit 跡	X = 36139 Y = -39479	37 × 36cm	18cm	円形	なし	埋土不明	
1742号 Pit 跡	X = 36137 Y = -39478	40 × 37cm	25cm	不定形	なし	埋土不明	
1743号 Pit 跡	X = 36137 Y = -39473	34 × 29cm	25cm	円形	なし	埋土不明	
1744号 Pit 跡	X = 36136 Y = -39473	32 × 22cm	14cm	楕円形	なし	埋土不明	
1745号 Pit 跡	X = 36136 Y = -39474	28 × 25cm	18cm	楕円形	なし	埋土不明	
1746号 Pit 跡	X = 36135 Y = -39473	30 × 19cm	18cm	楕円形	なし	埋土不明	
1747号 Pit 跡	X = 36132 Y = -39473	32 × 28cm	21cm	円形	なし	埋土不明	
1748号 Pit 跡	X = 36131 Y = -39473	30 × 22cm	16cm	不定形	なし	埋土不明	
1749号 Pit 跡	X = 36139 Y = -39472	28 × 26cm	22cm	円形	なし	埋土不明	
1751号 Pit 跡	X = 36139 Y = -39467	21 × 19cm	17cm	円形	なし	埋土不明	
1752号 Pit 跡	X = 36134 Y = -39471	22 × 18cm	16cm	円形	なし	埋土不明	
1753号 Pit 跡	X = 36137 Y = -39469	29 × 27cm	23cm	円形	なし	埋土不明	
1754号 Pit 跡	X = 36139 Y = -39466	30 × 29cm	21cm	円形	なし	埋土不明	
1755号 Pit 跡	X = 36138 Y = -39465	29 × 29cm	20cm	円形	なし	埋土不明	
1756号 Pit 跡	X = 36140 Y = -39466	24 × 23cm	9cm	円形	なし	埋土不明	
1757号 Pit 跡	X = 36140 Y = -39463	22 × 18cm	12cm	楕円形	なし	埋土不明	
1758号 Pit 跡	X = 36139 Y = -39463	22 × 19cm	16cm	楕円形	なし	埋土不明	
1759号 Pit 跡	X = 36140 Y = -39463	36 × 27cm	31cm	楕円形	なし	埋土不明	
1760号 Pit 跡	X = 36139 Y = -39464	43 × 40cm	23cm	円形	なし	埋土不明	
1761号 Pit 跡	X = 36138 Y = -39464	28 × 25cm	17cm	円形	なし	埋土不明	
1762号 Pit 跡	X = 36138 Y = -39463	33 × 28cm	22cm	円形	なし	埋土不明	
1763号 Pit 跡	X = 36138 Y = -39462	26 × 24cm	13cm	円形	なし	埋土不明	
1764号 Pit 跡	X = 36137 Y = -39462	36 × 28cm	28cm	楕円形	なし	埋土不明	
1765号 Pit 跡	X = 36140 Y = -39461	36 × 30cm	25cm	楕円形	なし	埋土不明	
1766号 Pit 跡	X = 36139 Y = -39461	32 × 30cm	24cm	楕円形	なし	埋土不明	
1767号 Pit 跡	X = 36139 Y = -39460	36 × 32cm	22cm	円形	なし	埋土不明	
1768号 Pit 跡	X = 36139 Y = -39460	35 × 33cm	12cm	円形	なし	埋土不明	
1769号 Pit 跡	X = 36140 Y = -39459	28 × 23cm	9cm	円形	なし	埋土不明	
1770号 Pit 跡	X = 36141 Y = -39463	54 × 40cm	13cm	楕円形	なし	埋土不明	
1771号 Pit 跡	X = 36140 Y = -39465	40 × 35cm	13cm	不定形	なし	埋土不明	
1772号 Pit 跡	X = 36142 Y = -39465	25 × 23cm	34cm	円形	なし	埋土不明	
1773号 Pit 跡	X = 36141 Y = -39466	48 × 39cm	26cm	楕円形	なし	埋土不明	
1774号 Pit 跡	X = 36141 Y = -39466	42 × 32cm	16cm	楕円形	なし	埋土不明	
1775号 Pit 跡	X = 36141 Y = -39466	25 × 25cm	29cm	円形	なし	埋土不明	
1776号 Pit 跡	X = 36142 Y = -39468	37 × 24cm	18cm	不定形	なし	埋土不明	
1777号 Pit 跡	X = 36142 Y = -39474	35 × 23cm	16cm	楕円形	なし	埋土不明	
1778号 Pit 跡	X = 36144 Y = -39469	68 × 50cm	19cm	不定形	なし	埋土不明	
1779号 Pit 跡	X = 36144 Y = -39468	23 × 22cm	15cm	円形	なし	埋土不明	
1780号 Pit 跡	X = 36142 Y = -39467	44 × 38cm	36cm	楕円形	なし	埋土不明	
1781号 Pit 跡	X = 36143 Y = -39462	32 × 29cm	11cm	円形	なし	埋土不明	
1782号 Pit 跡	X = 36144 Y = -39462	27 × 25cm	10cm	円形	なし	埋土不明	
1783号 Pit 跡	X = 36143 Y = -39460	35 × 32cm	32cm	円形	なし	埋土不明	
1784号 Pit 跡	X = 36143 Y = -39460	35 × 32cm	32cm	円形	なし	埋土不明	
1785号 Pit 跡	X = 36143 Y = -39459	40 × 38cm	33cm	円形	なし	埋土不明	
1786号 Pit 跡	X = 36145 Y = -39464	28 × 24cm	25cm	円形	なし	埋土不明	
1787号 Pit 跡	X = 36144 Y = -39467	86 × 47cm	27cm	不定形	なし	埋土不明	1基の Pit と重複か。
1788号 Pit 跡	X = 36144 Y = -39468	32 × 30cm	10cm	円形	なし	埋土不明	
1789号 Pit 跡	X = 36145 Y = -39473	40 × 35cm	15cm	円形	なし	埋土不明	
1790号 Pit 跡	X = 36146 Y = -39470	33 × 30cm	25cm	円形	なし	埋土不明	
1791号 Pit 跡	X = 36146 Y = -39466	不明 × 34cm	14cm	不明	なし	埋土不明	
1792号 Pit 跡	X = 36146 Y = -39462	31 × 28cm	29cm	円形	なし	埋土不明	
1793号 Pit 跡	X = 36147 Y = -39462	23 × 20cm	29cm	円形	なし	埋土不明	
1794号 Pit 跡	X = 36146 Y = -39460	33 × 32cm	33cm	円形	なし	埋土不明	
1795号 Pit 跡	X = 36148 Y = -39460	50 × 28cm	24cm	不定形	なし	埋土不明	
1796号 Pit 跡	X = 36146 Y = -39466	23 × 20cm	15cm	円形	なし	埋土不明	
1797号 Pit 跡	X = 36137 Y = -39460	23 × 20cm	14cm	楕円形	なし	埋土不明	

第3章 検出遺構と出土遺物

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	出土遺物	埋土	備考
1798号Pit跡	X=36137 Y=-39460	34×30cm	25cm	円形	なし	埋土不明	
1799号Pit跡	X=36135 Y=-39461	26×25cm	12cm	円形	なし	埋土不明	
1800号Pit跡	X=36135 Y=-39462	24×23cm	16cm	円形	なし	埋土不明	
1801号Pit跡	X=36135 Y=-39463	28×25cm	14cm	円形	なし	埋土不明	
1802号Pit跡	X=36135 Y=-39464	20×20cm	13cm	円形	なし	埋土不明	
1803号Pit跡	X=36135 Y=-39464	23×22cm	25cm	円形	なし	埋土不明	
1804号Pit跡	X=36136 Y=-39465	26×25cm	15cm	円形	なし	埋土不明	
1805号Pit跡	X=36135 Y=-39466	31×27cm	20cm	円形	なし	埋土不明	
1806号Pit跡	X=36135 Y=-39467	16×13cm	10cm	円形	なし	埋土不明	
1807号Pit跡	X=36135 Y=-39467	20×19cm	19cm	円形	なし	埋土不明	
1808号Pit跡	X=36135 Y=-39468	34×32cm	26cm	不定形	なし	埋土不明	
1809号Pit跡	X=36135 Y=-39477	34×30cm	12cm	円形	なし	埋土不明	
1810号Pit跡	X=36134 Y=-39479	184×68cm	12cm	不定形	なし	埋土不明	土坑か。
1811号Pit跡	X=36133 Y=-39475	28×26cm	22cm	円形	なし	埋土不明	
1812号Pit跡	X=36133 Y=-39468	38×28cm	19cm	楕円形	なし	埋土不明	
1813号Pit跡	X=36133 Y=-39468	25×25cm	15cm	円形	なし	埋土不明	
1814号Pit跡	X=36133 Y=-39466	29×27cm	30cm	円形	なし	埋土不明	
1815号Pit跡	X=36132 Y=-39466	38×30cm	17cm	楕円形	なし	埋土不明	
1816号Pit跡	X=36132 Y=-39466	22×20cm	10cm	円形	なし	埋土不明	
1817号Pit跡	X=36131 Y=-39466	20×12cm	9cm	楕円形	なし	埋土不明	
1818号Pit跡	X=36132 Y=-39465	32×25cm	25cm	楕円形	なし	埋土不明	
1819号Pit跡	X=36131 Y=-39467	16×16cm	8cm	円形	なし	埋土不明	
1820号Pit跡	X=36131 Y=-39467	23×19cm	12cm	円形	なし	埋土不明	
1821号Pit跡	X=36133 Y=-39464	28×25cm	7cm	円形	なし	埋土不明	
1822号Pit跡	X=36132 Y=-39464	20×18cm	12cm	円形	なし	埋土不明	
1823号Pit跡	X=36132 Y=-39463	34×30cm	17cm	円形	なし	埋土不明	
1824号Pit跡	X=36133 Y=-39459	21×19cm	8cm	円形	なし	埋土不明	
1825号Pit跡	X=36131 Y=-39459	45×30cm	26cm	不定形	なし	埋土不明	
1826号Pit跡	X=36131 Y=-39459	21×17cm	14cm	円形	なし	埋土不明	
1827号Pit跡	X=36131 Y=-39460	50×47cm	38cm	楕円形	なし	埋土不明	
1828号Pit跡	X=36130 Y=-39460	36×32cm	31cm	円形	なし	埋土不明	
1829号Pit跡	X=36129 Y=-39459	27×25cm	19cm	円形	なし	埋土不明	
1830号Pit跡	X=36128 Y=-39461	27×24cm	30cm	円形	なし	埋土不明	
1831号Pit跡	X=36129 Y=-39461	29×27cm	30cm	円形	なし	埋土不明	
1832号Pit跡	X=36131 Y=-39463	20×18cm	9cm	円形	なし	埋土不明	
1833号Pit跡	X=36131 Y=-39464	25×25cm	22cm	円形	なし	埋土不明	
1834号Pit跡	X=36130 Y=-39463	23×23cm	18cm	円形	なし	埋土不明	
1835号Pit跡	X=36130 Y=-39463	20×19cm	10cm	円形	なし	埋土不明	
1836号Pit跡	X=36130 Y=-39464	31×26cm	19cm	円形	なし	埋土不明	
1837号Pit跡	X=36130 Y=-39464	19×18cm	10cm	円形	なし	埋土不明	
1838号Pit跡	X=36129 Y=-39468	27×26cm	26cm	円形	なし	埋土不明	
1839号Pit跡	X=36130 Y=-39468	35×26cm	8cm	楕円形	なし	埋土不明	
1840号Pit跡	X=36128 Y=-39459	49×40cm	26cm	不定形	なし	埋土不明	
1841号Pit跡	X=36127 Y=-39459	52×40cm	15cm	楕円形	なし	埋土不明	
1842号Pit跡	X=36126 Y=-39459	55×43cm	28cm	不定形	なし	埋土不明	
1843号Pit跡	X=36127 Y=-39460	39×28cm	17cm	楕円形	なし	埋土不明	
1844号Pit跡	X=36126 Y=-39460	34×29cm	25cm	楕円形	なし	埋土不明	
1845号Pit跡	X=36126 Y=-39460	28×24cm	10cm	楕円形	なし	埋土不明	
1846号Pit跡	X=36128 Y=-39462	34×31cm	29cm	円形	なし	埋土不明	
1847号Pit跡	X=36128 Y=-39464	40×36cm	22cm	楕円形	なし	埋土不明	
1848号Pit跡	X=36128 Y=-39464	22×18cm	13cm	円形	なし	埋土不明	
1849号Pit跡	X=36127 Y=-39464	30×29cm	24cm	円形	なし	埋土不明	
1850号Pit跡	X=36126 Y=-39465	23×23cm	20cm	円形	なし	埋土不明	
1851号Pit跡	X=36127 Y=-39466	27×21cm	14cm	楕円形	なし	埋土不明	
1852号Pit跡	X=36127 Y=-39467	30×24cm	26cm	不定形	なし	埋土不明	
1853号Pit跡	X=36128 Y=-39467	35×32cm	40cm	円形	なし	埋土不明	
1854号Pit跡	X=36127 Y=-39468	25×22cm	18cm	円形	なし	埋土不明	
1855号Pit跡	X=36126 Y=-39470	26×23cm	11cm	円形	なし	埋土不明	
1856号Pit跡	X=36127 Y=-39472	23×20cm	16cm	円形	なし	埋土不明	
1858号Pit跡	X=36123 Y=-39472	22×18cm	15cm	円形	なし	埋土不明	
1859号Pit跡	X=36125 Y=-39466	30×26cm	25cm	円形	なし	埋土不明	
1862号Pit跡	X=36125 Y=-39463	27×26cm	29cm	円形	なし	埋土不明	
1863号Pit跡	X=36125 Y=-39463	27×26cm	10cm	円形	なし	埋土不明	

第2節 奈良・平安時代の遺構と遺物

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	出土遺物	埋土	備考
1864号 Pit 跡	X = 36124 Y = -39460	58 × 50cm	53cm	楕円形	なし	埋土不明	
1865号 Pit 跡	X = 36122 Y = -39460	39 × 39cm	37cm	円形	なし	埋土不明	
1866号 Pit 跡	X = 36122 Y = -39460	52 × 42cm	24cm	楕円形	なし	埋土不明	
1867号 Pit 跡	X = 36122 Y = -39459	27 × 24cm	18cm	円形	なし	埋土不明	
1868号 Pit 跡	X = 36121 Y = -39459	25 × 20cm	20cm	円形	なし	埋土不明	
1871号 Pit 跡	X = 36119 Y = -39478	45 × 30cm	23cm	不定形	なし	埋土不明	
1872号 Pit 跡	X = 36120 Y = -39471	22 × 22cm	22cm	円形	なし	埋土不明	
1873号 Pit 跡	X = 36120 Y = -39468	24 × 22cm	16cm	楕円形	なし	埋土不明	
1874号 Pit 跡	X = 36120 Y = -39466	30 × 30cm	18cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
1875号 Pit 跡	X = 36144 Y = -39458	30 × 25cm	20cm	楕円形	なし	埋土不明	
1876号 Pit 跡	X = 36143 Y = -39458	31 × 27cm	27cm	円形	なし	埋土不明	
1877号 Pit 跡	X = 36142 Y = -39458	27 × 24cm	14cm	円形	なし	埋土不明	
1878号 Pit 跡	X = 36141 Y = -39458	31 × 25cm	18cm	楕円形	なし	埋土不明	
1879号 Pit 跡	X = 36139 Y = -39454	23 × 21cm	12cm	円形	なし	埋土不明	
1880号 Pit 跡	X = 36139 Y = -39454	25 × 25cm	12cm	円形	なし	埋土不明	
1881号 Pit 跡	X = 36140 Y = -39454	32 × 25cm	21cm	楕円形	なし	埋土不明	
1882号 Pit 跡	X = 36139 Y = -39450	24 × 24cm	15cm	円形	なし	埋土不明	
1883号 Pit 跡	X = 36137 Y = -39455	不明 × 65cm	37cm	不定形	なし	埋土不明	
1884号 Pit 跡	X = 36138 Y = -39451	27 × 25cm	16cm	円形	なし	埋土不明	
1885号 Pit 跡	X = 36135 Y = -39442	28 × 26cm	30cm	円形	なし	埋土不明	
1886号 Pit 跡	X = 36136 Y = -39452	30 × 25cm	17cm	円形	なし	埋土不明	
1887号 Pit 跡	X = 36135 Y = -39452	26 × 22cm	9cm	楕円形	なし	埋土不明	
1888号 Pit 跡	X = 36134 Y = -39453	31 × 25cm	20cm	楕円形	なし	埋土不明	
1889号 Pit 跡	X = 36134 Y = -39452	24 × 22cm	28cm	円形	なし	埋土不明	
1890号 Pit 跡	X = 36135 Y = -39453	36 × 32cm	32cm	楕円形	なし	埋土不明	
1891号 Pit 跡	X = 36135 Y = -39454	33 × 26cm	20cm	楕円形	なし	埋土不明	
1892号 Pit 跡	X = 36136 Y = -39455	27 × 25cm	11cm	円形	なし	埋土不明	
1893号 Pit 跡	X = 36133 Y = -39452	26 × 25cm	47cm	円形	なし	埋土不明	
1894号 Pit 跡	X = 36134 Y = -39454	40 × 28cm	41cm	不定形	なし	埋土不明	
1895号 Pit 跡	X = 36134 Y = -39459	22 × 21cm	14cm	円形	なし	埋土不明	
1896号 Pit 跡	X = 36132 Y = -39456	60 × 50cm	44cm	楕円形	なし	埋土不明	
1897号 Pit 跡	X = 36131 Y = -39455	21 × 20cm	11cm	円形	なし	埋土不明	
1898号 Pit 跡	X = 36131 Y = -39456	92 × 45cm	19cm	楕円形	なし	埋土不明	
1899号 Pit 跡	X = 36132 Y = -39456	29 × 22cm	13cm	楕円形	なし	埋土不明	
1900号 Pit 跡	X = 36132 Y = -39455	24 × 20cm	15cm	円形	なし	埋土不明	
1901号 Pit 跡	X = 36133 Y = -39455	18 × 18cm	12cm	円形	なし	埋土不明	
1902号 Pit 跡	X = 36133 Y = -39455	22 × 20cm	10cm	円形	なし	埋土不明	
1903号 Pit 跡	X = 36132 Y = -39453	38 × 25cm	12cm	楕円形	なし	埋土不明	
1904号 Pit 跡	X = 36132 Y = -39452	53 × 46cm	64cm	円形	なし	埋土不明	
1905号 Pit 跡	X = 36132 Y = -39452	45 × 33cm	41cm	楕円形	なし	埋土不明	
1906号 Pit 跡	X = 36132 Y = -39451	42 × 32cm	22cm	楕円形	なし	埋土不明	もう1基の Pit と重複か。
1907号 Pit 跡	X = 36131 Y = -39450	37 × 32cm	37cm	楕円形	なし	埋土不明	
1908号 Pit 跡	X = 36131 Y = -39448	27 × 22cm	12cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
1909号 Pit 跡	X = 36131 Y = -39447	51 × 33cm	11cm	不定形	なし	埋土不明	
1910号 Pit 跡	X = 36131 Y = -39447	30 × 25cm	8cm	楕円形	なし	埋土不明	
1911号 Pit 跡	X = 36132 Y = -39446	25 × 21cm	10cm	楕円形	なし	埋土不明	
1912号 Pit 跡	X = 36132 Y = -39446	28 × 24cm	11cm	楕円形	なし	埋土不明	
1913号 Pit 跡	X = 36131 Y = -39443	53 × 38cm	23cm	楕円形	なし	埋土不明	
1914号 Pit 跡	X = 36131 Y = -39439	30 × 16cm	11cm	不定形	なし	埋土不明	
1915号 Pit 跡	X = 36129 Y = -39442	77 × 47cm	31cm	不定形	なし	埋土不明	
1916号 Pit 跡	X = 36130 Y = -39450	34 × 31cm	28cm	円形	なし	埋土不明	
1917号 Pit 跡	X = 36129 Y = -39455	33 × 29cm	20cm	円形	なし	埋土不明	
1918号 Pit 跡	X = 36128 Y = -39459	45 × 27cm	34cm	不定形	なし	埋土不明	
1919号 Pit 跡	X = 36128 Y = -39458	28 × 25cm	18cm	円形	なし	埋土不明	
1920号 Pit 跡	X = 36127 Y = -39457	20 × 19cm	24cm	円形	なし	埋土不明	
1921号 Pit 跡	X = 36129 Y = -39457	24 × 17cm	11cm	楕円形	なし	埋土不明	
1922号 Pit 跡	X = 36127 Y = -39456	32 × 31cm	22cm	円形	なし	埋土不明	
1923号 Pit 跡	X = 36127 Y = -39455	45 × 30cm	26cm	楕円形	なし	埋土不明	
1924号 Pit 跡	X = 36127 Y = -39453	25 × 23cm	19cm	円形	なし	埋土不明	
1925号 Pit 跡	X = 36127 Y = -39452	28 × 23cm	15cm	円形	なし	埋土不明	
1926号 Pit 跡	X = 36128 Y = -39451	48 × 35cm	12cm	楕円形	なし	埋土不明	
1927号 Pit 跡	X = 36128 Y = -39448	54 × 40cm	44cm	不定形	なし	埋土不明	
1928号 Pit 跡	X = 36128 Y = -39447	41 × 40cm	64cm	楕円形	なし	埋土不明	
1929号 Pit 跡	X = 36128 Y = -39444	76 × 69cm	16cm	楕円形	なし	埋土不明	
1931号 Pit 跡	X = 36127 Y = -39443	31 × 30cm	22cm	円形	なし	埋土不明	

第3章 検出遺構と出土遺物

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	出土遺物	埋土	備考
1932号 Pit 跡	X = 36126 Y = -39440	29 × 26cm	30cm	ほぼ円形	なし		11号孤立柱建物に伴う柱穴。
1933号 Pit 跡	X = 36126 Y = -39443	49 × 45cm	14cm	円形	なし	埋土不明。	
1934号 Pit 跡	X = 36125 Y = -39449	24 × 23cm	27cm	円形	なし	埋土不明。	
1935号 Pit 跡	X = 36126 Y = -39449	30 × 23cm	21cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1936号 Pit 跡	X = 36125 Y = -39450	47 × 46cm	45cm	不定形	なし	埋土不明。	
1937号 Pit 跡	X = 36126 Y = -39451	33 × 28cm	27cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1938号 Pit 跡	X = 36125 Y = -39451	38 × 32cm	46cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1939号 Pit 跡	X = 36126 Y = -39452	30 × 25cm	20cm	円形	なし	埋土不明。	
1940号 Pit 跡	X = 36126 Y = -39452	43 × 39cm	21cm	円形	なし	埋土不明。	
1941号 Pit 跡	X = 36127 Y = -39455	24 × 15cm	26cm	不定形	なし	埋土不明。	
1942号 Pit 跡	X = 36127 Y = -39456	23 × 17cm	7cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1943号 Pit 跡	X = 36126 Y = -39456	28 × 27cm	37cm	円形	なし	埋土不明。	
1944号 Pit 跡	X = 36127 Y = -39459	16 × 14cm	41cm	円形	なし	埋土不明。	
1945号 Pit 跡	X = 36125 Y = -39457	28 × 27cm	20cm	円形	なし	埋土不明。	
1946号 Pit 跡	X = 36124 Y = -39458	52 × 45cm	29cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1947号 Pit 跡	X = 36124 Y = -39457	40 × 30cm	50cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1948号 Pit 跡	X = 36123 Y = -39457	28 × 25cm	20cm	円形	なし	埋土不明。	
1949号 Pit 跡	X = 36123 Y = -39459	60 × 53cm	16cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1950号 Pit 跡	X = 36122 Y = -39458	32 × 23cm	23cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1951号 Pit 跡	X = 36122 Y = -39458	33 × 26cm	25cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1952号 Pit 跡	X = 36123 Y = -39458	17 × 15cm	23cm	円形	なし	埋土不明。	
1953号 Pit 跡	X = 36123 Y = -39457	16 × 16cm	8cm	円形	なし	埋土不明。	
1954号 Pit 跡	X = 36123 Y = -39442	27 × 22cm	14cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1955号 Pit 跡	X = 36123 Y = -39442	不明 × 30cm	28cm	楕円形か	なし	埋土不明。	南側は調査区域外。
1957号 Pit 跡	X = 36121 Y = -39457	20 × 19cm	15cm	円形	なし	埋土不明。	
1958号 Pit 跡	X = 36121 Y = -39457	17 × 16cm	36cm	円形	なし	埋土不明。	
1959号 Pit 跡	X = 36122 Y = -39456	45 × 27cm	9cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1960号 Pit 跡	X = 36130 Y = -39438	30 × 26cm	42cm	円形	なし		12号孤立柱建物に伴う柱穴。
1961号 Pit 跡	X = 36130 Y = -39438	43 × 35cm	21cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	12号孤立柱建物の中にあるが関係は不明。
1962号 Pit 跡	X = 36130 Y = -39438	43 × 42cm	18cm	円形	なし	埋土不明。	12号孤立柱建物の中にあるが関係は不明。
1963号 Pit 跡	X = 36129 Y = -39437	45 × 36cm	53cm	円形	なし		12号孤立柱建物に伴う柱穴。
1964号 Pit 跡	X = 36129 Y = -39434	35 × 33cm	35cm	円形	なし		12号孤立柱建物に伴う柱穴。
1965号 Pit 跡	X = 36127 Y = -39432	4(6) × 43cm	44cm	円形	なし	埋土不明。	北東側は調査区域外。
1966号 Pit 跡	X = 36128 Y = -39434	27 × 26cm	11cm	円形	なし	埋土不明。	
1967号 Pit 跡	X = 36128 Y = -39435	32 × 29cm	34cm	円形	なし	埋土不明。	
1968号 Pit 跡	X = 36128 Y = -39438	33 × 29cm	64cm	円形	なし		12号孤立柱建物に伴う柱穴。
1969号 Pit 跡	X = 36126 Y = -39437	20 × 17cm	14cm	円形	なし	埋土不明。	
1970号 Pit 跡	X = 36126 Y = -39438	38 × 36cm	31cm	ほぼ円形	なし		11号孤立柱建物に伴う柱穴。
1971号 Pit 跡	X = 36125 Y = -39437	20 × 19cm	9cm	円形	なし	埋土不明。	11号孤立柱建物との新旧関係は不明。
1972号 Pit 跡	X = 36127 Y = -39434	42 × 38cm	32cm	ほぼ円形	なし		11号孤立柱建物に伴う柱穴。
1973号 Pit 跡	X = 36125 Y = -39433	29 × 25cm	17cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1974号 Pit 跡	X = 36125 Y = -39434	32 × 30cm	26cm	ほぼ円形	なし		11号孤立柱建物に伴う柱穴。
1975号 Pit 跡	X = 36126 Y = -39431	28 × 25cm	13cm	円形	なし	埋土不明。	
1976号 Pit 跡	X = 36126 Y = -39431	87cm × 49m	55cm	不明	なし	埋土不明。	北東側は調査区域外。
1977号 Pit 跡	X = 36124 Y = -39433	31 × 27cm	27cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	
1978号 Pit 跡	X = 36124 Y = -39434	54 × 40cm	43cm	不定形	なし		11号孤立柱建物に伴う柱穴。
1979号 Pit 跡	X = 36124 Y = -39435	25 × 25cm	13cm	円形	なし	埋土不明。	11号孤立柱建物との新旧関係は不明。
1980号 Pit 跡	X = 36124 Y = -39436	42 × 35cm	31cm	楕円形	なし		11号孤立柱建物に伴う柱穴。
1981号 Pit 跡	X = 36124 Y = -39438	32 × 28cm	41cm	楕円形	なし		11号孤立柱建物に伴う柱穴。
1982号 Pit 跡	X = 36124 Y = -39439	35 × 27cm	12cm	楕円形	なし	埋土不明。	11号孤立柱建物より下面で検出。
1983号 Pit 跡	X = 36145 Y = -39469	94 × 25cm	15cm	不定形	なし		
1984号 Pit 跡	X = 36148 Y = -39469	40 × 30cm	10cm	不定形	なし		
1987号 Pit 跡	X = 36135 Y = -39458	25 × 24cm	10cm	円形	なし	埋土不明。	
1988号 Pit 跡	X = 36129 Y = -39457	40 × 27cm	19cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1989号 Pit 跡	X = 36129 Y = -39457	38 × 30cm	22cm	不定形	なし	埋土不明。	
1990号 Pit 跡	X = 36132 Y = -39455	22 × 21cm	13cm	円形	なし	埋土不明。	
1991号 Pit 跡	X = 36132 Y = -39455	22 × 20cm	11cm	円形	なし	埋土不明。	
1992号 Pit 跡	X = 36132 Y = -39454	58 × 50cm	39cm	楕円形	なし	埋土不明。	
1993号 Pit 跡	X = 36134 Y = -39454	40 × 24cm	42cm	不定形	なし	埋土不明。	
1994号 Pit 跡	X = 36134 Y = -39453	4(8) × 41cm	14cm	不定形	なし	埋土不明。	
1995号 Pit 跡	X = 36134 Y = -39453	34 × 26cm	17cm	不定形	なし	埋土不明。	
1996号 Pit 跡	X = 36134 Y = -39453	36 × 20cm	16cm	不定形	なし	埋土不明。	
1997号 Pit 跡	X = 36120 Y = -39469	28 × 27cm	13cm	ほぼ円形	なし	埋土不明。	

第2節 奈良・平安時代の遺構と遺物

遺構名	位置	規模	深度	平面形状	出土遺物	埋土	備考
1998号 Pit 跡	X = 36123 Y = -39448	27 × 27cm	不明	円形	なし	埋土不明	
1999号 Pit 跡	X = 36125 Y = -39442	45 × 44cm	15cm	円形	なし	埋土不明	
2000号 Pit 跡	X = 36130 Y = -39438	(24 × 22cm)	10cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	12号掘立柱建物の中にあるが関係は不明
2001号 Pit 跡	X = 36126 Y = -39438	28 × 28cm	18cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	11号掘立柱建物に伴う柱穴
2002号 Pit 跡	X = 36076 Y = -39451	21 × 21cm	26cm	円形	なし	埋土不明	
2003号 Pit 跡	X = 36113 Y = -39456	40 × 35cm	9cm	楕円形	なし	黄緑の白色軽石を含む	
2004号 Pit 跡	X = 36094 Y = -39405	40 × 38cm	25cm	円形	なし	埋土不明	
2005号 Pit 跡	X = 36095 Y = -39413	33 × 31cm	9cm	円形	なし	埋土不明	
2006号 Pit 跡	X = 36095 Y = -39416	31 × 27cm	21cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
2007号 Pit 跡	X = 36094 Y = -39420	25 × 23cm	6cm	円形	なし	埋土不明	
2008号 Pit 跡	X = 36093 Y = -39417	25 × 21cm	19cm	円形	なし	埋土不明	
2009号 Pit 跡	X = 36094 Y = -39426	54 × 28cm	14cm	不定形	なし	埋土不明	
2010号 Pit 跡	X = 36094 Y = -39436	31 × 25cm	23cm	不定形	なし	埋土不明	
2011号 Pit 跡	X = 36094 Y = -39444	45 × 38cm	19cm	楕円形	なし	埋土不明	
2012号 Pit 跡	X = 36095 Y = -39447	58 × 27cm	28cm	不定形	なし	埋土不明	もう1基の Pit と重複か。
2013号 Pit 跡	X = 36091 Y = -39442	30 × 27cm	17cm	楕円形	なし	埋土不明	
2014号 Pit 跡	X = 36095 Y = -39451	27 × 23cm	16cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
2015号 Pit 跡	X = 36094 Y = -39451	36 × 35cm	21cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
2016号 Pit 跡	X = 36095 Y = -39451	56 × 38cm	25cm	楕円形	なし	埋土不明	
2017号 Pit 跡	X = 36095 Y = -39452	35 × 31cm	25cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
2018号 Pit 跡	X = 36095 Y = -39452	22 × 18cm	26cm	円形	なし	埋土不明	
2019号 Pit 跡	X = 36095 Y = -39452	50 × 38cm	33cm	楕円形	なし	埋土不明	
2020号 Pit 跡	X = 36095 Y = -39454	28 × 21cm	25cm	不定形	なし	埋土不明	
2021号 Pit 跡	X = 36095 Y = -39456	45 × 43cm	22cm	円形	なし	埋土不明	
2022号 Pit 跡	X = 36095 Y = -39462	36 × 30cm	15cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
2023号 Pit 跡	X = 36095 Y = -39465	42 × 36cm	20cm	楕円形	なし	埋土不明	
2024号 Pit 跡	X = 36096 Y = -39459	33 × 32cm	25cm	円形	なし	埋土不明	7号掘立柱建物の Pit。
2025号 Pit 跡	X = 36119 Y = -39449	不明 × 22cm	24cm	不明	なし	埋土不明	北側が調査区域外。
2026号 Pit 跡	X = 36101 Y = -39448	37 × 32cm	21cm	楕円形	なし	埋土不明	
2027号 Pit 跡	X = 36085 Y = -39446	57 × 55cm	26cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	947号土坑より新しい。
2028号 Pit 跡	X = 36086 Y = -39445	(26 × 22cm)	21cm	楕円形	なし	埋土不明	1168号 Pit より古い。
2029号 Pit 跡	X = 36081 Y = -39430	46 × 23cm	24cm	不定形	なし	埋土不明	もう1基の Pit と重複か。
2030号 Pit 跡	X = 36083 Y = -39431	50 × (40cm)	52cm	楕円形	なし	埋土不明	
2032号 Pit 跡	X = 36083 Y = -39413	25 × 23cm	31cm	円形	なし	埋土不明	
2033号 Pit 跡	X = 36101 Y = -39448	42 × (32cm)	20cm	楕円形分	なし	埋土不明	5号住居よりも15cmほど下面で検出。
2034号 Pit 跡	X = 36084 Y = -39446	(30 × 24cm)	13cm	楕円形分	なし	埋土不明	
2035号 Pit 跡	X = 36099 Y = -39439	(26 × 21cm)	11cm	円形	なし	埋土不明	
2036号 Pit 跡	X = 36108 Y = -39431	52 × 50cm	13cm	不定形	なし	埋土不明	
2037号 Pit 跡	X = 36080 Y = -39429	(34 × 26cm)	13cm	楕円形	なし	埋土不明	
2038号 Pit 跡	X = 36085 Y = -39429	33 × 25cm	24cm	楕円形	なし	埋土不明	
2039号 Pit 跡	X = 36103 Y = -39415	(29 × 23cm)	13cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
2040号 Pit 跡	X = 36135 Y = -39478	27 × 22cm	16cm	楕円形	なし	埋土不明	
2041号 Pit 跡	X = 36102 Y = -39453	33 × 32cm	19cm	円形	なし	埋土不明	
2041号 Pit 跡	X = 36102 Y = -39453	33 × 32cm	19cm	円形	なし	埋土不明	
2042号 Pit 跡	X = 36069 Y = -39434	28 × 27cm	26cm	円形	なし	埋土不明	3号掘立柱建物より15cmほど下面で検出。
2043号 Pit 跡	X = 36083 Y = -39444	41 × 30cm	23cm	楕円形	なし	埋土不明	
2044号 Pit 跡	X = 36069 Y = -39434	55 × 33cm	17cm	不定形	なし	埋土不明	3号掘立柱建物より15cmほど下面で検出。
2045号 Pit 跡	X = 36070 Y = -39435	30 × 17cm	7cm	不定形	なし	埋土不明	3号掘立柱建物より15cmほど下面で検出。
2046号 Pit 跡	X = 36070 Y = -39435	46 × 25cm	16cm	楕円形	なし	埋土不明	3号掘立柱建物より15cmほど下面で検出。
2047号 Pit 跡	X = 36070 Y = -39436	65 × 64cm	9cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	3号掘立柱建物より15cmほど下面で検出。
2048号 Pit 跡	X = 36071 Y = -39436	27 × 23cm	10cm	楕円形	なし	埋土不明	3号掘立柱建物より15cmほど下面で検出。
2049号 Pit 跡	X = 36075 Y = -39436	51 × 45cm	24cm	円形	なし	埋土不明	
2050号 Pit 跡	X = 36076 Y = -39435	66 × 47cm	30cm	不定形	なし	埋土不明	
2051号 Pit 跡	X = 36074 Y = -39435	77 × 53cm	49cm	楕円形	なし	埋土不明	
2052号 Pit 跡	X = 36072 Y = -39434	36 × 33cm	36cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
2053号 Pit 跡	X = 36071 Y = -39433	37 × 30cm	23cm	楕円形	なし	埋土不明	
2054号 Pit 跡	X = 36071 Y = -39433	36 × 34cm	21cm	円形	なし	埋土不明	
2055号 Pit 跡	X = 36069 Y = -39433	43 × 26cm	19cm	不定形	なし	埋土不明	
2056号 Pit 跡	X = 36068 Y = -39432	31 × 24cm	32cm	楕円形	なし	埋土不明	
2057号 Pit 跡	X = 36070 Y = -39430	47 × 40cm	34cm	楕円形	なし	埋土不明	
2058号 Pit 跡	X = 36070 Y = -39431	48 × 25cm	16cm	不定形	なし	埋土不明	
2059号 Pit 跡	X = 36073 Y = -39431	47 × 39cm	25cm	楕円形	なし	埋土不明	
2060号 Pit 跡	X = 36075 Y = -39432	32 × 31cm	18cm	円形	なし	埋土不明	

第3章 検出遺構と出土遺物

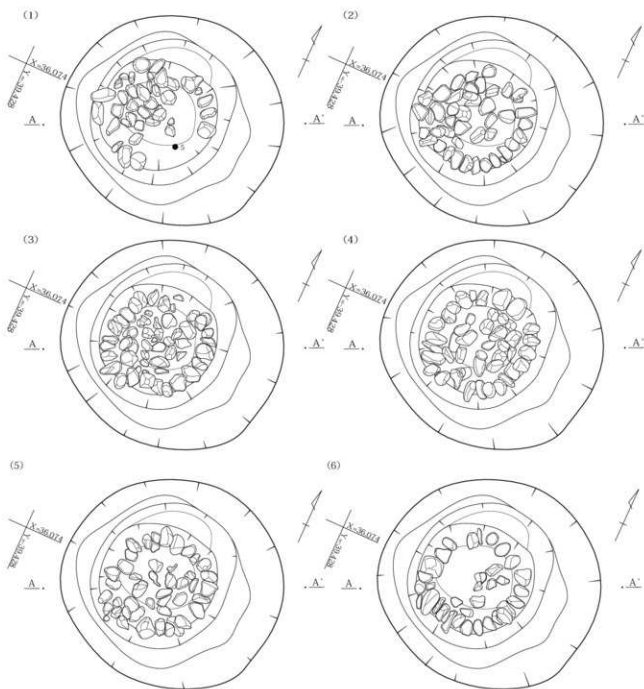
遺構名	位置	規模	深度	平面形状	出土遺物	埋土	備考
2061号 Pit 跡	X = 36077 Y = -39434	28 × 25cm	14cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
2062号 Pit 跡	X = 36077 Y = -39433	35 × 30cm	22cm	円形	なし	埋土不明	
2063号 Pit 跡	X = 36076 Y = -39442	30 × 24cm	16cm	楕円形	なし	埋土不明	
2064号 Pit 跡	X = 36076 Y = -39443	21 × 21cm	18cm	円形	なし	埋土不明	
2065号 Pit 跡	X = 36075 Y = -39446	27 × 25cm	32cm	円形	なし	埋土不明	
2066号 Pit 跡	X = 36074 Y = -39447	25 × 25cm	14cm	円形	なし	埋土不明	
2067号 Pit 跡	X = 36074 Y = -39448	18 × 18cm	13cm	円形	なし	埋土不明	
2068号 Pit 跡	X = 36074 Y = -39447	58 × 53cm	32cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
2069号 Pit 跡	X = 36080 Y = -39448	23 × 23cm	15cm	円形	なし	埋土不明	
2070号 Pit 跡	X = 36080 Y = -39449	52 × 40cm	40cm	楕円形	なし	埋土不明	
2071号 Pit 跡	X = 36079 Y = -39451	48 × 40cm	12cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
2072号 Pit 跡	X = 36078 Y = -39452	54 × 44cm	7cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
2073号 Pit 跡	X = 36078 Y = -39452	24 × 20cm	21cm	円形	なし	埋土不明	
2074号 Pit 跡	X = 36077 Y = -39454	62 × 45cm	25cm	不定形	なし	埋土不明	
2075号 Pit 跡	X = 36078 Y = -39458	40 × 35cm	13cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
2076号 Pit 跡	X = 36077 Y = -39457	42 × 42cm	25cm	円形	なし	埋土不明	
2077号 Pit 跡	X = 36076 Y = -39456	48 × 35cm	20cm	楕円形	なし	埋土不明	
2078号 Pit 跡	X = 36076 Y = -39456	60 × 38cm	37cm	楕円形	なし	埋土不明	
2079号 Pit 跡	X = 36075 Y = -39455	40 × 40cm	25cm	円形	なし	埋土不明	
2080号 Pit 跡	X = 36074 Y = -39456	40 × 27cm	26cm	楕円形	なし	埋土不明	
2081号 Pit 跡	X = 36074 Y = -39455	32 × 27cm	18cm	楕円形	なし	埋土不明	
2082号 Pit 跡	X = 36073 Y = -39459	25 × 22cm	16cm	円形	なし	埋土不明	8・9号溝より新しい。
2083号 Pit 跡	X = 36072 Y = -39459	44 × 39cm	13cm	円形	なし	埋土不明	8・9号溝より新しい。
2084号 Pit 跡	X = 36065 Y = -39462	29 × 28cm	10cm	円形	なし	埋土不明	
2085号 Pit 跡	X = 36067 Y = -39455	47 × 20cm	24cm	楕円形	なし	埋土不明	8・9号溝より新しい。
2086号 Pit 跡	X = 36072 Y = -39454	24 × 23cm	17cm	円形	なし	埋土不明	
2087号 Pit 跡	X = 36072 Y = -39454	57 × 50cm	24cm	楕円形	なし	埋土不明	
2088号 Pit 跡	X = 36073 Y = -39452	34 × 28cm	21cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
2089号 Pit 跡	X = 36071 Y = -39454	30 × 25cm	27cm	円形	なし	埋土不明	8・9号溝より新しい。
2090号 Pit 跡	X = 36071 Y = -39454	29 × 27cm	16cm	円形	なし	埋土不明	
2091号 Pit 跡	X = 36070 Y = -39454	37 × 32cm	22cm	円形	なし	埋土不明	8・9号溝より新しい。
2092号 Pit 跡	X = 36069 Y = -39452	26 × 25cm	20cm	円形	なし	埋土不明	
2093号 Pit 跡	X = 36067 Y = -39452	28 × 27cm	21cm	円形	なし	埋土不明	
2094号 Pit 跡	X = 36067 Y = -39451	31 × 25cm	15cm	楕円形	なし	埋土不明	
2095号 Pit 跡	X = 36067 Y = -39451	24 × 20cm	21cm	円形	なし	埋土不明	
2096号 Pit 跡	X = 36066 Y = -39450	31 × 30cm	16cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
2097号 Pit 跡	X = 36069 Y = -39448	47 × 37cm	24cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
2098号 Pit 跡	X = 36073 Y = -39445	81 × 80cm	58cm	ほぼ円形	なし	埋土不明	
2099号 Pit 跡	X = 36073 Y = -39444	31 × 30cm	29cm	円形	なし	埋土不明	
2100号 Pit 跡	X = 36072 Y = -39444	20 × 19cm	17cm	円形	なし	埋土不明	
2101号 Pit 跡	X = 36071 Y = -39444	31 × 25cm	37cm	楕円形	なし	埋土不明	
2102号 Pit 跡	X = 36073 Y = -39440	65 × 45cm	27cm	不定形	なし	埋土不明	
2103号 Pit 跡	X = 36072 Y = -39440	44 × 40cm	56cm	円形	なし	埋土不明	
2104号 Pit 跡	X = 36072 Y = -39439	54 × 49cm	53cm	楕円形	なし	埋土不明	
2105号 Pit 跡	X = 36071 Y = -39441	35 × 35cm	68cm	円形	なし	埋土不明	
2106号 Pit 跡	X = 36070 Y = -39440	38 × 36cm	17cm	不定形	なし	埋土不明	
2107号 Pit 跡	X = 36070 Y = -39439	37 × 35cm	41cm	円形	なし	埋土不明	
2108号 Pit 跡	X = 36068 Y = -39440	37 × 36cm	24cm	円形	なし	埋土不明	
2109号 Pit 跡	X = 36068 Y = -39438	40 × 34cm	26cm	楕円形	なし	埋土不明	
2110号 Pit 跡	X = 36068 Y = -39438	31 × 26cm	22cm	不定形	なし	埋土不明	
2111号 Pit 跡	X = 36067 Y = -39434	28 × 19cm	17cm	不定形	なし	埋土不明	
2112号 Pit 跡	X = 36068 Y = -39435	48 × 19cm	23cm	不定形	なし	埋土不明	3号掘立柱建物との関係は不明。
2113号～5000号 Pit は欠番							
5001号 Pit 跡	X = 36080 Y = -39399	26 × 23cm	30cm	円形	なし		
5002号 Pit 跡	X = 36079 Y = -39395	31 × 25cm	14cm	楕円形	なし		
5003号 Pit 跡	X = 36079 Y = -39396	34 × 28cm	28cm	不定形	なし		
5004号 Pit 跡	X = 36081 Y = -39394	30 × 23cm	13cm	楕円形	なし		
5005号 Pit 跡	X = 36081 Y = -39395	30 × 25cm	33cm	不定形	なし		
5006号 Pit 跡	X = 36080 Y = -39398	不明 × 40cm	44cm	円形か	なし		

5 井戸跡

8区1号井戸(旧称=8区5E-1)

位置：X=36074 Y=-39426 規模：235×220cm 深度：183cm 面積：4.06㎡ 形状：楕円形(石組み部は円形)
 重複遺構：なし。 出土遺物：埋土中より暗文土師器杯や土師器鉢、須恵器杯、転用碗などが出土。

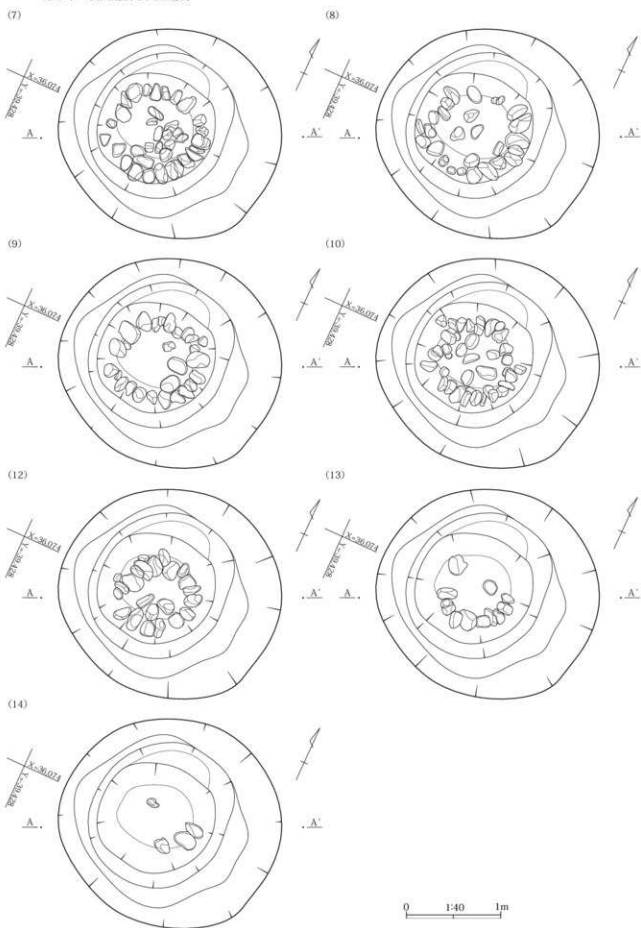
所見：径20～25cmほどの自然石を用いて円形に石組みされた井戸跡である。地表下2mほどと比較的浅い掘削深度に湧水層となる砂礫層が存在する。井戸の周囲には上屋を支える柱穴は検出されず、後記の91号土坑跡の存在から、汲上げ方法として「撥ね釣瓶」と考えられるため、本井戸には上屋は存在しなかったものと思われる。



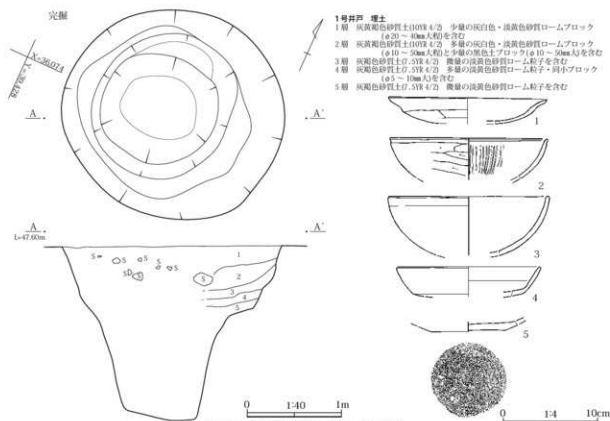
第545図 8区1号井戸跡平面図(1)

0 1:40 1m

第3章 検出遺構と出土遺物



第546図 8区1号井戸跡平面図(2)



第547図 8区1号井戸跡平・断面図、出土遺物

8区1号井戸跡遺構出土遺物

番号	類別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	埋土中 口縁部～底部 1/4	口径 16.7 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 焼化塩 良好 ③ 釉 (7.5 YR 6/6)	口縁部外反。 外面：口縁部横ナデ、体部～底部へラ削り。 内面：口縁部～体部横ナデ、底部ナデ。	
2	土師器 杯	埋土中 口縁部～体部 破片	口径 16.4 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 焼化塩 良好 ③ 釉 (5 YR 6/6)	外面：口縁部横ナデ、体部はへラ削り。 内面：口縁部～体部横ナデ後、斜射状刻文。	内外部口縁部 に凹線が通る。
3	土師器 碗	埋土中 口縁部～体部 1/3	口径 16.8 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼化塩 良好 ③ 明赤褐色 YR 5/6	輪削み。 外面：口縁部横ナデ、体部ナデ、底部へラ削り。器面摩滅のため単位不明。 内面：口縁部～体部横ナデ、底部ナデ。	
4	須恵器 杯	埋土中 口縁部～底部 破片	口径 15.0 底径 11.5 器高 3.1	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 黄灰 (2.5 Y 5/1)	口タ口整形。 外面：体部回転ナデ、底部へラ調整。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
5	須恵器 転用碗	底部+177cm 底部 底部完形	口径 — 底径 7.8 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 ③ 黄灰(10 YR 4/1)	口タ口整形。回転右回り。内外面共に破使用によって擦れ ている。 外面：底部回転へラ削り。 内面：底部回転ナデ。	杯の底部を転 用。

8区91号土坑跡(旧称=8区SK-79・91)

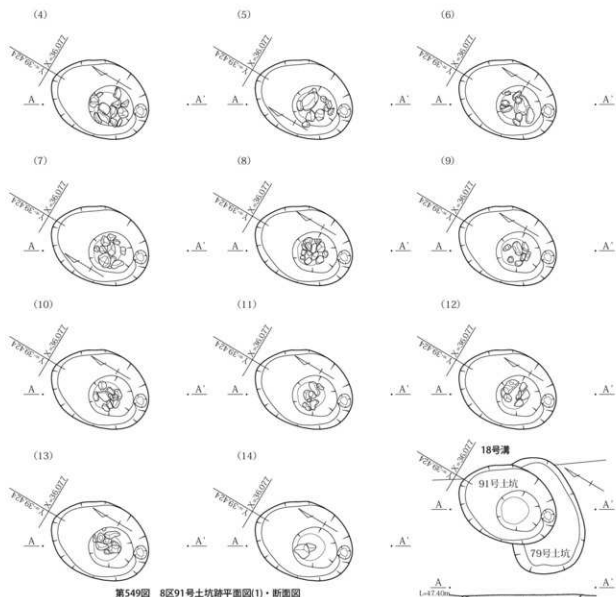
位置：X=36.076 Y=-39.424 規模：125×80cm 深度：110cm 形状：円形 重複遺構：なし。

出土遺物：なし。 所見：1号井戸跡の北東3.3mに位置し、井戸枠の右組と同様に小円礫を積み地栗とする。その構造と位置的な関係から1号井戸跡に付随する「撥ね釣瓶」の支柱跡と考えられる。なお、調査時に本土坑跡の重複遺構として考えられた79号土坑は、本土坑跡の上層部であるとの判断から、整理時に欠番扱いとした。

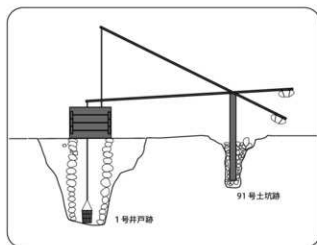


第548図 8区91号土坑跡平面図(1)

第3章 検出遺構と出土遺物



第549図 8区91号土坑跡平面図(1)・断面図



撥ね約瓶井戸想像図 5=1/80

第550図 8区撥ね約瓶井戸想像図

- 91号土坑 埋土
- 1層 灰黄褐色土(10R 4/2) 黒褐色の粒子を含む
o 1mm程度のふいぶ褐色のブロックを少量含む
 - 2層 黄褐色土(10R 3/2) 黄褐色の粒子を含む
 - 3層 濃い黄褐色土(10R 6/4) 黒褐色の粒子を含む

0 1:40 1m

6. その他の遺構

8区2号不明遺構

位置：X=36080 Y=-39475

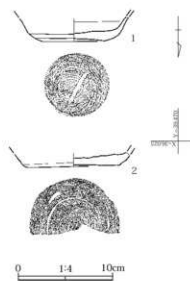
規模：不明。(西側は調査区域外)

深度：80cmほど。平面形状：不定形

埋没土：不明 重複遺構：2号住居跡と重複し、遺構確認時の埋土の様相より、本遺構の方が古いものと判断される。

出土遺物：埋土中から、底部にヘラ記号のある須恵器杯破片が出土。

所見：調査区南西端に位置する。形状は折り重なる土坑状の堀り込みの集合体で、地山黄褐色シルト質土の探掘坑の可能性も考えられる。



第551図 2号不明遺構平面図、出土遺物

第3章 検出遺構と出土遺物

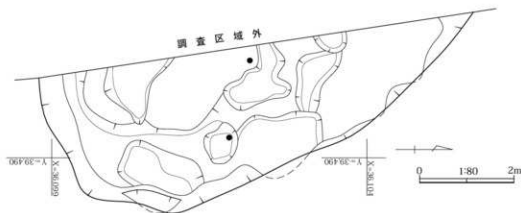
8区2号不明遺構出土遺物

番号	種類 器種	出土位置 保存状態	計測値 cm	①胎土 ②構成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	埋土中 体部~底部 1/3	口径 — 底径 6.7 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰 (109%/1)	ロクロ整形。回転左回り。 外面：体部回転ナシ。底部回転系切り後履辺部から体部下 位にかけて回転へラ削り。 内面：体部~底部回転ナシ調整。	底部外面にへラ 記号「一」
2	須恵器 杯	埋土中 底部 1/2	口径 — 底径 9.4 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 やや不良 ③ 灰 (514/1)	ロクロ整形。 外面：底部回転系切り後履辺部を回転へラ削り。 内面：底部回転ナシ調整。	

8区3号不明遺構

位置：X=36102 Y=-39481 規模：不明。 深度：70cmほど。 平面形状：不明。(西側は調査区域外)

埋没土：不明 重複遺構：なし 出土遺物：土師器甕・須恵器甕破片が出土。 所見 調査区西端に位置する。2号不明遺構同様に、形状は折り重なる土坑状の掘り込みの集合体で、地山黄褐色シルト質土の探掘坑の可能性も考えられる。



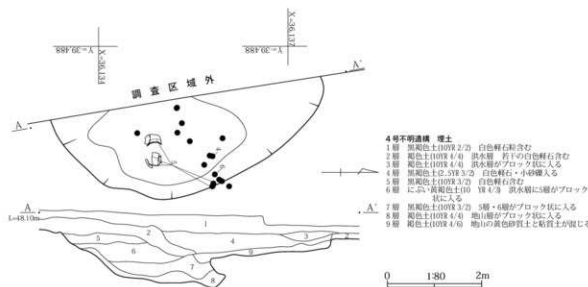
第552図 8区3号不明遺構平面図

8区4号不明遺構

位置：X=36135 Y=-39486 規模：不明。(西側は調査区域外) 深度：80cmほど。 平面形状：不明

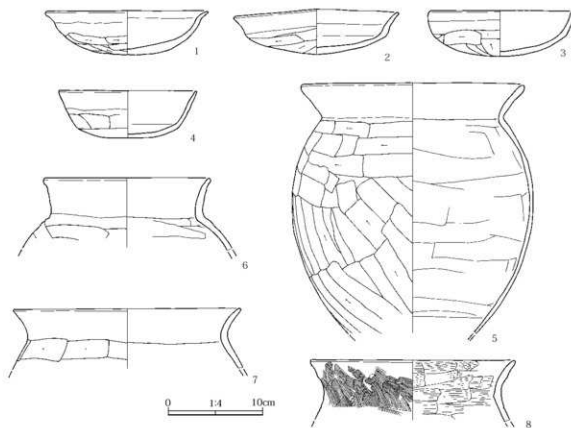
埋没土：上位は白色軽石を含んだ黒褐色土、中位は溝跡洪水氾濫土、下位はロームブロックを含む土が堆積する。

重複遺構：9号溝跡と重複し、埋土中に溝跡洪水氾濫土の堆積が見られることから、溝跡氾濫時には使用目的を喪失、中位まで埋没していたものと考えられる。 出土遺物：埋土中からほぼ完形の土師器杯が2個体出土した他、土師器杯・甕の破片が出土している。 所見：調査区西端に位置する。2・3号不明遺構同様に、地山黄褐色シルト質土の探掘坑の可能性も考えられる。



第553図 8区4号不明遺構・断面図

- 4号不明遺構 埋土
- 1層 黒褐色土(109%/2/2) 白色軽石を含む
 - 2層 褐色土(101%/4/4) 洪水層 下の白色軽石を含む
 - 3層 褐色土(101%/4/4) 洪水層がブロック状に入る
 - 4層 黒褐色土(2.3%/3/2) 白色軽石・小砂礫入る
 - 5層 黒褐色土(101%/3/2) 白色軽石含む
 - 6層 白~黄褐色土(10) 1層~4層に洪水層がブロック状に入る
 - 7層 黒褐色土(101%/3/2) 5層~6層がブロック状に入る
 - 8層 褐色土(101%/4/4) 地山層がブロック状に入る
 - 9層 褐色土(101%/4/4) 地山の黄褐色土と粘土質土が混じる



第554図 8区4号不明遺構出土遺物

8区4号不明遺構出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	埋土中 ほぼ完形	口径 16.8 底径 - 器高 4.8	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼化焼 良好 ③ 灰 (5 YR 6/4)	口縁部外反。 外面：口縁部横ナデ，底部手持ちヘラ削り。 内面：口縁部～体部横ナデ，底部ナデ。	
2	土師器 杯	埋土中 口縁部～底部 4/5	口径 17.1 底径 - 器高 4.7	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼化焼 良好 ③ 灰 (5 YR 7/6)	口縁部外反。 外面：口縁部横ナデ，轆ナデ，底部手持ちヘラ削り。 内面：口縁部～体部横ナデ，底部ナデ。	破線あり。
3	土師器 杯	埋土中 ほぼ完形	口径 14.9 底径 - 器高 4.8	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼化焼 良好 ③ 灰 (7.5 YR 7/6)	外面：口縁部横ナデ，体部ナデ～底部手持ちヘラ削り。 内面：口縁部～底部横ナデ。	
4	土師器 杯	底面+38cm 口縁部～底部 1/4	口径 14.4 底径 - 器高 5.0	① 細砂粒 ② 焼化焼 良好 ③ 灰 (7.5 YR 7/6)	外面：口縁部横ナデ，体部～底部ヘラ削り，体部上位わずかにナデ部分が現る。 内面：口縁部横ナデ，体部～底部ナデ。	
5	土師器 甕	底面+27cm 口縁部～胴部 3/4	口径 23.6 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼化焼 良好 ③ 灰 (5 YR 6/6)	輪積み。 外面：口縁部横ナデ，胴部上位横，中位・下位斜め方向ヘラ削り。 内面：口縁部横ナデ，胴部ヘラナデ。	
6	土師器 甕	底面+19cm 口縁部～胴部 破片	口径 17.4 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼化焼 良好 ③ 甲壳類 (5 YR 5/6)	輪積み。 外面：口縁部横ナデ，胴部横方向ヘラ削り。 内面：口縁部横ナデ，胴部ヘラナデ。	
7	土師器 甕	埋土中 口縁部～胴部 破片	口径 23.8 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼化焼 良好 ③ 灰 (5 YR 6/6)	輪積み。 外面：口縁部横ナデ，胴部上位は横方向ヘラ削り。 内面：口縁部横ナデ，胴部ヘラナデ。	
8	土師器 甕	埋土中 口縁部～胴部 破片	口径 21.4 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼化焼 良好 ③ 灰 (5 Y 4/1)	輪積み。 外面：口縁部横ナデ後ハケ目調整，胴部ヘラ削り後ハケ目調整。 内面：口縁部横ナデ後，ハケ目調整，胴部ハケ目調整。	

第6項 溝跡

竪穴住居跡等の遺構は便宜的に調査区毎の記載としたが、溝跡は調査区を越えて続くものが多いため、本稿で遺跡全体の溝跡を扱うものとした。

調査区を越える溝として8・9号の二条の溝跡があげられる。両溝跡は、北は3区より1・2・4・6・7区を経て南は8区南端へと、延長420mほどを測り遺跡内を大きく縦断する形で検出された。この二条の溝跡の時期として、全ての調査区において、重複する竪穴住居跡が一軒も無いことから集落に先行し、かつ、埋土上層に浅間B軽石層の堆積が認められることから、テフラ降下時には埋没・廃絶状態にあったものと判断される。

両溝跡の埋土は、砂と礫・水性堆積ローム土が主体であり、また、3区～2区にかけて8号溝跡の大規模な氾濫・決壊跡が検出されたことから、両溝跡は大河川(渡良瀬川)に直結した古代用水路跡と判断された。二条の溝跡は重複部の観察から、同時に存在したのではなく、9号溝跡が河川氾濫の影響を受けて埋没後、復旧困難であった為か、隣接して同規模の8号溝跡を新設していることが判明した。その規模や大規模工事を要してまでも復旧を実施した重要性から、遺跡地南の水田域に水を供給するための基幹用水路と推察され、この基幹用水路から取水・分水したと考えられる溝跡もいくつか検出されている。なお、両溝跡の延長が、北は1・2区に接する築前遺跡4区にて、また、南は8区南東100m程にある東今泉鹿島遺跡2・3・18区で遺跡を越えて検出されている。

1・2区中央付近を南北に貫き4区に連なる16号溝跡は、重複する全ての住居跡より古いもので、集落形成に先行する遺構と判断される。

6区・7区の調査区を東西に貫通し検出された平行する二条の溝跡は、東山道駅路の側溝跡と考えられ、西側は大道路・大造西・ハヶ入遺跡へと、約1kmにおよび直線で結ばれていることが判明した。

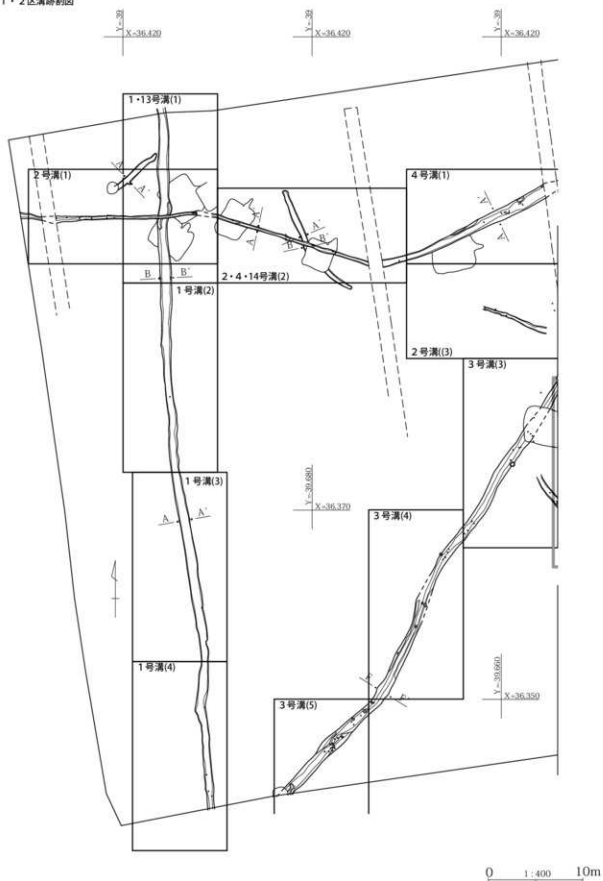
溝跡一覧表

遺構名	走向	延長	標高(高)	標高(低)	上巾	深度	用途	断面形状	重複遺構	備考
1・2区1号溝跡	北→南	74m	49.17m	49.09m	110cm	39cm	用水路	皿状	新1・2区2溝(旧)2・14区	北端は隣接する築前遺跡4区7号溝跡に接続。
1・2区2号溝跡	西→東	45m	49.36m	48.87m	40cm	30cm	用水路	U字状	新1・2・4・6・14区、1・14溝跡の検出溝と走向が異なる。	
1・2区3号溝跡	北→南	90m	48.75m	48.64m	200cm	67cm	用水路	U字状	新1・21区、13・14区、15号溝	北端は築前遺跡に接続。
1・2区4号溝跡	西→北東	26m	49.36m	48.87m	130m	43cm	用水路	皿状	新10区(旧)2溝	
1・2区5号溝跡	北→南	31.2m	49.09m	48.93cm	80cm	13cm	用水路	皿状	旧10溝	
4区19号溝跡	北→南	4m	48.45m	48.43cm	120cm	25cm	用水路	皿状	旧17区	
1・2区7号溝跡	北→南	38m	49.17m	49.01m	90cm	14cm	用水路	皿状	新6溝(旧)34区、10溝	1・2区5号溝→4区19号溝
1・2区6号溝跡	西→南	8.5m	49.03m	48.93m	100cm	8cm	用水路	皿状	旧5・7溝	1・2区6号溝→4区20号溝に続く可能性あり。
4区20号溝跡	北→南	6.2m	48.61m	48.53m	50cm	10cm	用水路	U字状		
1・2区8号溝跡	北→南	65m	47.50m	47.48m	310cm	115cm	用水路	皿状	新6溝(旧)34区、10溝	1区～8区まで延びる。
4区8号溝跡	北→南	75m	47.30m	46.76m	910cm	170cm	用水路	皿状	1溝と重複	
8区8号溝跡	北→南	12.1m	46.91m	46.51m	500cm	207cm	用水路	皿状	新1氾濫跡	
7区8号溝跡	北→南	12.2m	48.19m	47.96m	—	—	用水路	—	—	
8区8号溝跡	北→南	13.4m	46.71m	46.39m	480cm	128cm	用水路	皿状	—	
1・2区9号溝跡	北→南	49m	48.01m	47.15m	290cm	118cm	用水路	皿状	旧16溝	北端は隣接する築前遺跡4区1号溝跡に接続。4区～8区へ延びている。
4区9号溝跡	北→南	76m	47.35m	46.38m	510cm	173cm	用水路	皿状	1溝と重複	
6区5号溝跡	北→南	76.50m	46.84m	46.84m	445cm	171cm	用水路	皿状	新1氾濫跡	
8区9号溝跡	北→南	11.2m	46.68m	46.44m	320cm	130cm	用水路	皿状	1・3・4・7・9・10・12溝と重複	
1・2区10号溝跡	北→南	80m	48.68m	48.70m	90cm	14cm	不明	皿状	新11溝(旧)5・7・12溝、20土、1掘立、1井	北端は隣接する築前遺跡4区8号溝跡に接続。ほぼ平行なし。
4区21号溝跡	北→南	6m	48.75m	48.64m	100cm	20cm	用水路	皿状		
1・2区12号溝跡	北→南	80m	48.79m	48.32m	140cm	32cm	区画溝	皿状	旧10溝	北端は隣接する築前遺跡4区10号溝跡に接続。4区10号溝と接続。
4区10号溝跡	東→西→北	5.2m	48.38m	48.29m	170cm	26cm	区画溝	皿状	新15区土、2集石(旧)4・6・11・13・24溝	
1・2区11号溝跡	北→南	6.3m	48.77m	48.72m	60cm	18cm	不明	皿状	新16・10溝	
1・2区13号溝跡	北東→南西	3.5m	49.08m	49.08m	65cm	23cm	不明	皿状	新17・27溝	
1・2区14号溝跡	北→南東	1.3m	49.17m	49.15m	70cm	6cm	不明	皿状	新16区、2溝	
1・2区15号溝跡	北→南	5.2m	48.86m	48.76m	50cm	12cm	用水路	皿状		北端は隣接する築前遺跡4区12号溝跡と接続。
1・2区16号溝跡	北東→南西	7.2m	47.99m	47.55m	250cm	69cm	用水路	皿状	新17溝	4区4・6・11号溝と接続。
4区4号溝跡	北→南	66m	47.46m	47.97m	295cm	38cm	用水路	皿状		溝底の比高差はほとんどなく緩やかな傾斜で一部逆転する所もある。
4区6号溝跡	北→南	44m	47.39m	47.47m	120cm	95cm	用水路	皿状		溝底の比高差はほとんどなく緩やかな傾斜で一部逆転する所もある。

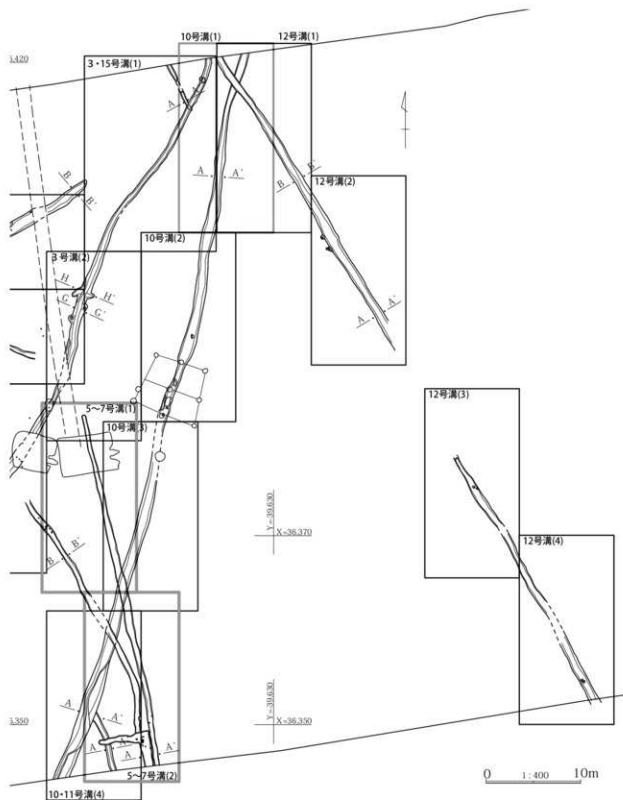
第2節 奈良・平安時代の遺構と遺物

遺構名	走向	延長	標高(高)	標高(低)	上巾	深度	用途	断面形状	重複遺構	備考
4区11号溝跡	北→南	66m	47.46m	47.97m	315cm	60cm	用水路	面状		
1・2区17号溝跡	東→西	13m	47.78m	47.91m	60cm	14cm	区画溝?	面状		溝底の比高差はほとんどなく緩やかな傾斜で一帯を縦断する所もある。
3区16号溝跡	北→南	23.5m	48.35m	48.39m	50cm	9cm	用水路	面状		
4区1号溝跡	西→東	19.5m	47.41m	47.35m	100cm	92cm	取水	U字状		
4区2号溝跡	東→西	12.8m	48.55m	48.51m	60cm	24cm	不明	U字状		
4区3号溝跡	北東→南西	16.4m	48.34m	48.35m	60cm	20cm	不明	U字状		
4区5号溝跡	北東→南西	不明	48.35m	48.43m	不明	10cm	不明	面状		
4区7号溝跡	北東→南西	9.3m	48.28m	48.26m	120cm	5cm	不明	面状		
4区12号溝跡	北→南	12.4m	48.33m	48.36m	55cm	12cm	不明	面状		
4区13号溝跡	北東→南西	16.8m	48.47m	48.17m	70cm	20cm	不明	U字状		
4区14号溝跡	東→西	7m	47.98m	47.80m	170cm	54cm	北側側溝	不明		船山道駅跡北側側溝。9号溝と互に重複している。
6区1号溝跡	東→西	20m	47.90m	47.70m	290cm	92cm	北側側溝	面状		
6区15号溝跡	西→東	13m	47.97m	47.62m	100cm	10cm	北側側溝	面状		
7区2号溝跡	西→東	56m	47.45m	47.42m	180cm	40cm	北側側溝	不定形	新1 3月7日(旧)4溝、10溝、土、忌路跡	
4区15号溝跡	東→西	7m	47.86m	47.76m	不明	53cm	不明	面状	14号溝跡	
4区16号溝跡	北東→南西	5.4m	48.30m	48.33m	20cm	6cm	不明	面状	15号溝跡	
4区17号溝跡	北東→南西	7m	48.37m	48.33m	20cm	8cm	不明	面状		
4区18号溝跡	北西→南東	11m	48.31m	48.28m	40cm	7cm	不明	面状		溝底の比高で確認できたのみである。
4区22号溝跡	不明	不明	不明	不明	65cm	22cm	不明	U字状		
4区23号溝跡	北→南	2.2m	48.73m	48.75m	42cm	18cm	不明	U字状	新1 10溝	
4区24号溝跡	北東→南西	不明	48.50m	48.41m	95cm	21cm	不明	その他		
4区25号溝跡	北→南	5m	48.82m	48.76m	40cm	13cm	不明	不明	新1 5・6・7溝、忌路跡	
6区2号溝跡	東→西	16.6m	48.10m	47.90m	160cm	46cm	用水路	面状		東側は忌路跡によって切られる。
6区3号溝跡	東→西	24m	47.10m	47.86m	230cm	64cm	用水路	面状		東側は忌路跡によって切られる。
6区4号溝跡	東→西	25.6m	47.90m	47.68m	240cm	96cm	用水路	面状	旧1 1溝	
6区5号溝跡	北→南	6.5m	48.13m	48.09m	140cm	18cm	不明	面状	旧1 1溝	
7区1号溝跡	東→西	7.3m	47.56m	47.36m	190cm	57cm	南側側溝	V字状	新1 3溝	
6区6号溝跡	東→西	12m	48.19m	48.05m	190cm	8cm	南側側溝	面状	新1 忌路跡 旧1 1溝	
6区7号溝跡	北→南	20m	47.91m	47.85m	290cm	92cm	不明	不明		
6区10号溝跡	北東→南西	14.7m	48.23m	48.21m	130cm	11cm	不明	面状		
6区11号溝跡	北東→南西	4.2m	48.32m	48.26m	60cm	10cm	不明	面状		
6区12号溝跡	北東→南西	18.2m	48.34m	48.21m	250cm	10cm	不明	不明	新1 2・4溝	
6区13号溝跡	北東→南西	2.2m	48.16m	48.07m	45cm	12cm	不明	面状	新1 3溝	
6区14号溝跡	西→東	4m	47.87m	47.78m	30cm	15cm	不明	U字状	新1 忌路跡	
7区3号溝跡	西→東	22.2m	47.93m	47.90m	90cm	28cm	用水路	V字状	新1 2・3溝	
7区4号溝跡	北→南	23.4m	48.10m	48.02m	60cm	18cm	区画溝	面状	新1 12土	
7区5号溝跡	北→南	22m	47.63m	47.57m	240cm	24cm	不明	不明	新1 1月7日	
7区6号溝跡	北→南	26.5m	47.63m	47.60m	290cm	40cm	不明	不明	用水路か、旧1 2号 Pit	
7区7号溝跡	西→南西	18m	47.25m	46.86m	150cm	38cm	区画溝	不明		
7区10号溝跡	北東→南西	7m	47.19m	47.04m	270cm	34cm	不明	不明	新1 3・4・8・9溝	
8区1号溝跡	北→南	66m	47.41m	47.22m	90cm	30cm	用水路	U字状	新1 1溝	
8区2号溝跡	北→南	41m	47.70m	47.52m	80cm	28cm	用水路	面状	新1 1・8・9溝 (旧) 4溝	
8区3号溝跡	北東→南西	26.5m	47.56m	47.49m	60cm	31cm	用水路	面状	新1 1・3・8・9溝 (旧) 6.13.14.15.18号溝 1号掘 94土	12号溝との新旧関係は不明である。5号溝との新旧関係は不明である。
8区4号溝跡	北東→南西	74m	47.32m	47.25m	100cm	36cm	用水路	面状		4号溝との新旧関係は不明である。
8区5号溝跡	西→東	5.8m	47.49m	47.43m	70cm	33cm	不明	面状	新1 4溝	溝底の傾斜はほとんどない。
8区6号溝跡	西→東	3.8m	47.64m	47.64m	40cm	25cm	不明	面状	新1 8・9溝 (旧) 11溝、5号掘、87土、2号 Pit	
8区7号溝跡	北東→南西	33m	47.57m	47.52m	100cm	41cm	用水路	V字状	新1 7溝	8号溝と重複。
8区10号溝跡	北西→南東	35m	47.69m	47.57m	80cm	38cm	用水路	V字状	新1 7溝	
8区11号溝跡	北東→南西	3.2m	47.63m	47.57m	60cm	18cm	不明	面状		3・8・9号溝と重複。8・9号溝とは同軸的。3号溝との新旧関係は不明である。
8区12号溝跡	北東→南西	1.4m	47.51m	47.50m	40cm	16cm	用水路	面状	新1 4・8・9溝、耕作直 (旧) 7溝	8・9号溝より取水。
8区13号溝跡	北東→南西	56.5m	47.17m	46.97m	90cm	78cm	取水	面状	新1 4溝	
8区14号溝跡	西→東	3.7m	47.52m	47.46m	40cm	9cm	高の欄	面状	新1 4溝	
8区15号溝跡	西→東	6.8m	47.46m	47.43m	40cm	13cm	高の欄	面状		溝底の比高差はほとんどなく緩やかに傾斜する。東今泉池遺跡に続く。
8区16号溝跡	西→東	7.3m	47.44m	47.43m	30cm	8cm	高の欄	面状		溝底の比高差はほとんどなく緩やかに傾斜する。東今泉池遺跡に続く。
8区17号溝跡	西→東	6.4m	47.40m	47.40m	30cm	8cm	高の欄	面状	新1 9・13・14住、56土、10号掘 (旧) 78・91土	調査区南部で侵食されている。
8区18号溝跡	北→南	74m	47.25m	47.15m	140cm	39cm	用水路	面状		

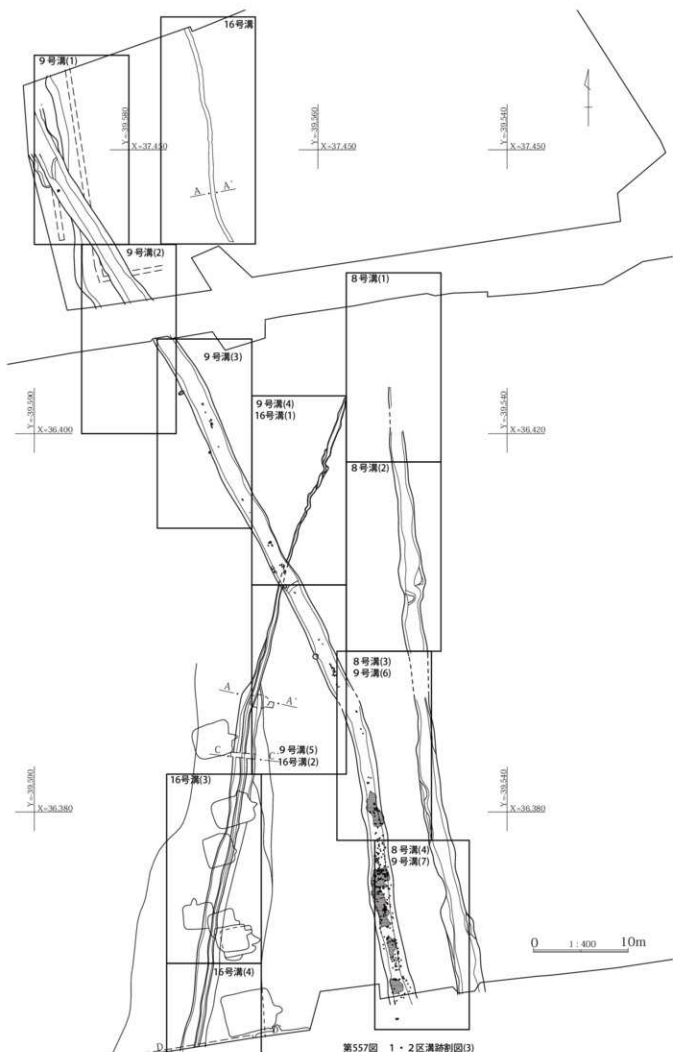
1・2区溝跡制図



第555図 1・2区溝跡制図(1)

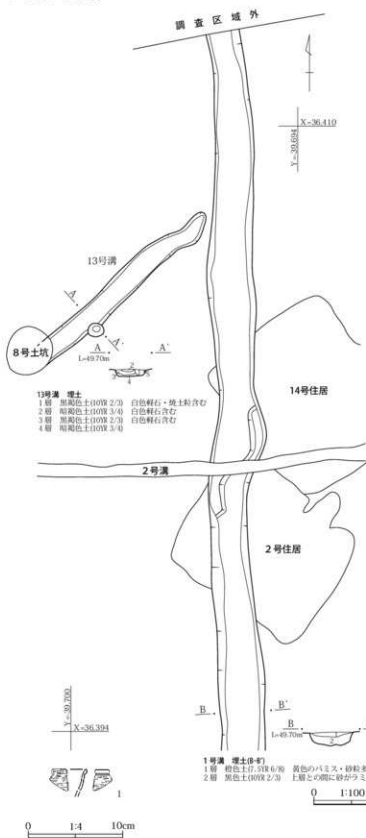


第556図 1・2区溝跡刺図(2)

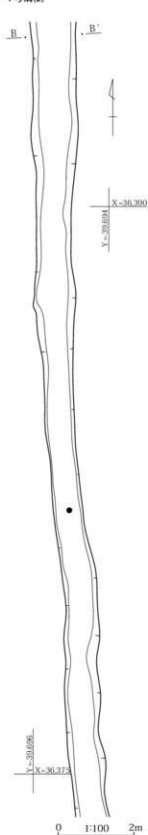


第557号 1·2区沟坑剖面图(3)

1・2区1・13号溝(1)



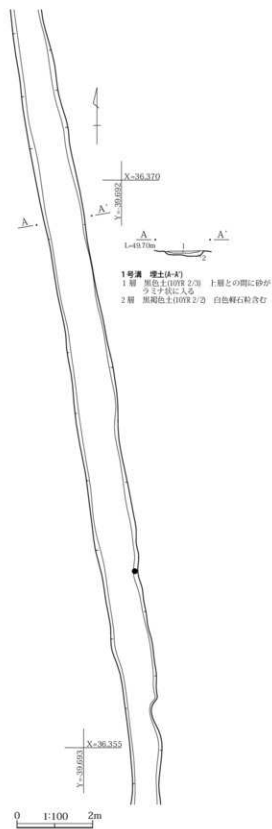
1号溝(2)



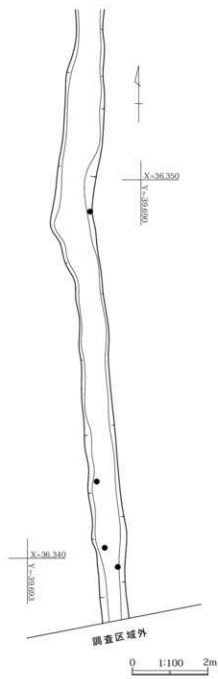
第558図 1・2区1号溝跡平・断面図(1)・(2)、出土遺物

第3章 検出遺構と出土遺物

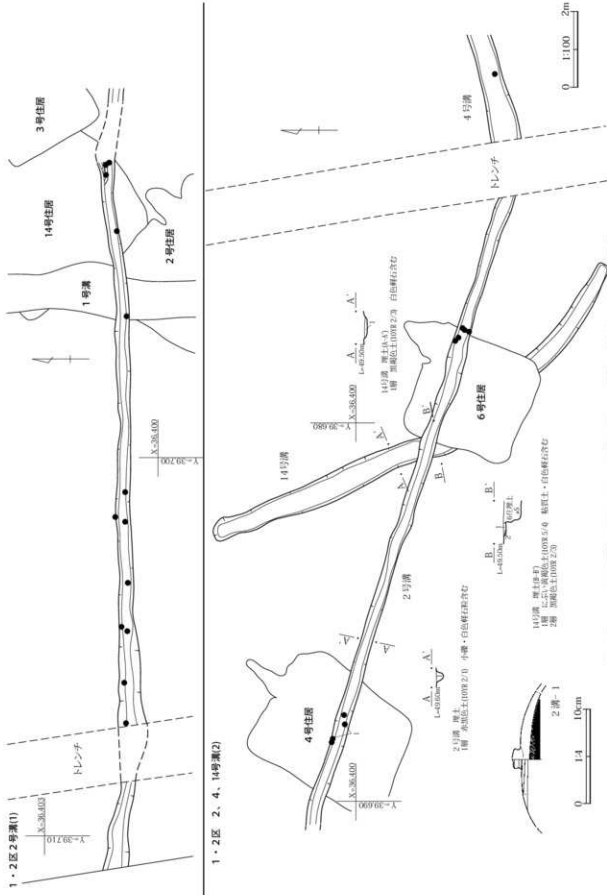
1・2区1号溝(3)



1・2区1号溝(4)

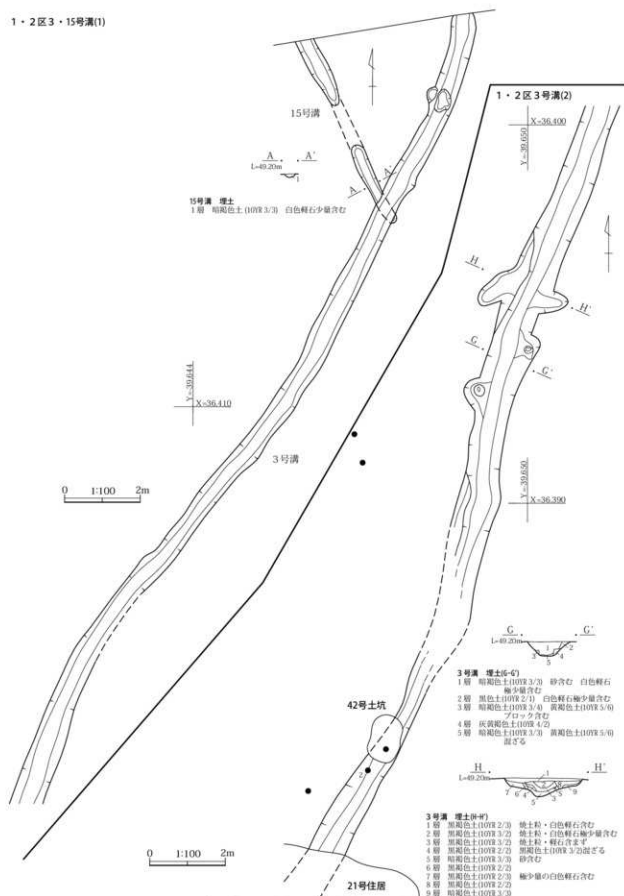


第559図 1・2区1号溝跡平面図(3)・(4)



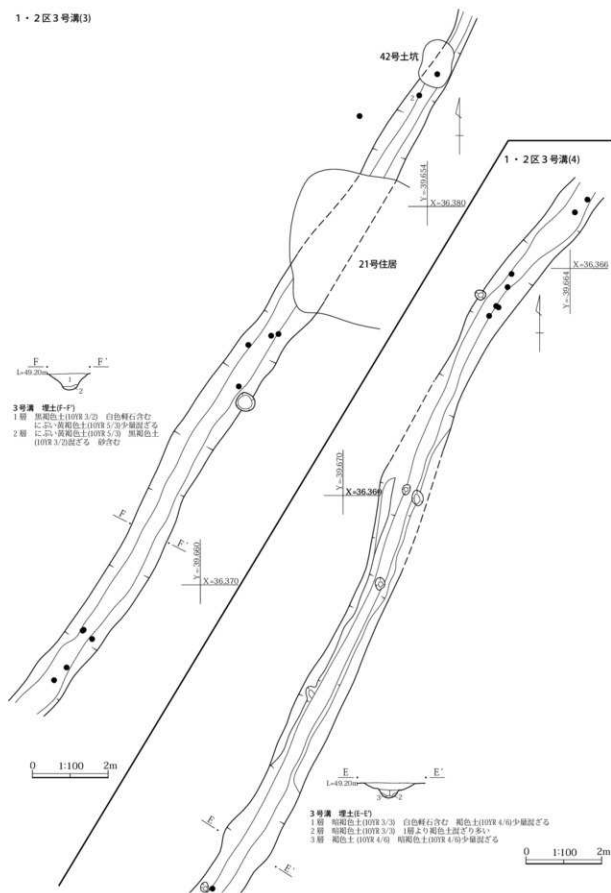
第560図 1・2区2号溝跡平面図(1)・(2)、4号溝平面図、14号溝平・断面図、2号溝跡出土遺物

1・2区3・15号溝(1)



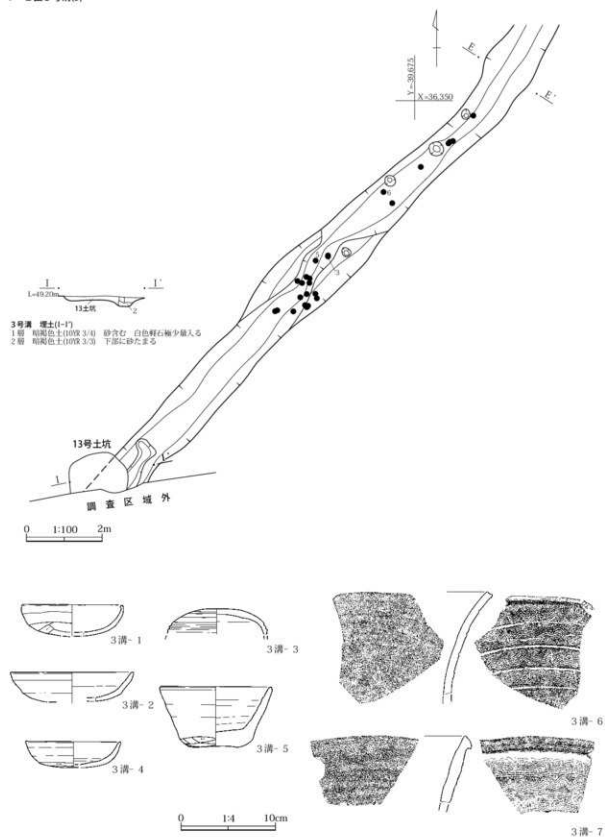
第562図 1・2区3号・15号溝跡平・断面図(1)・(2)

1・2区3号溝(3)



第563図 1・2区3号溝跡平・断面図(3)・(4)

1・2区3号溝(5)



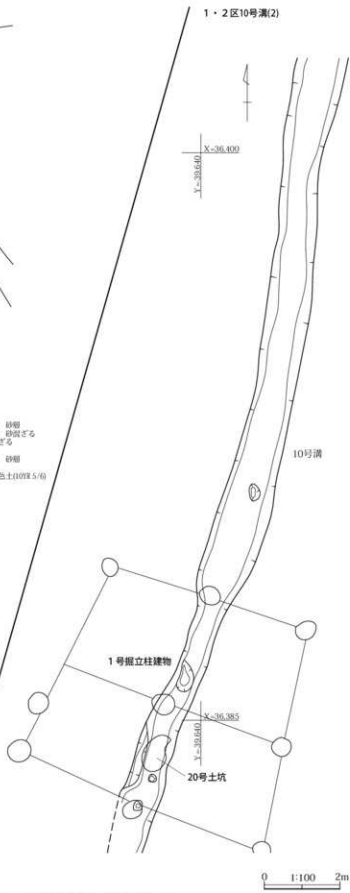
第564図 1・2区3号溝跡平・断面図(5)・出土遺物

第3章 検出遺構と出土遺物

1・2区10号溝(1)

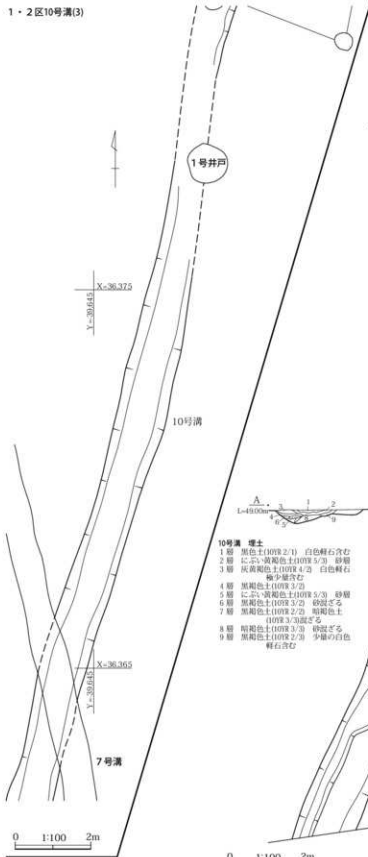


1・2区10号溝(2)

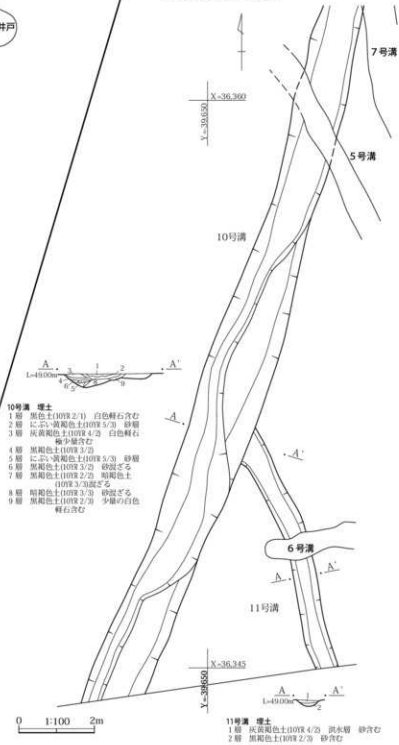


第565図 1・2区10号溝跡平・断面図(1)・(2)

1・2区10号溝(3)



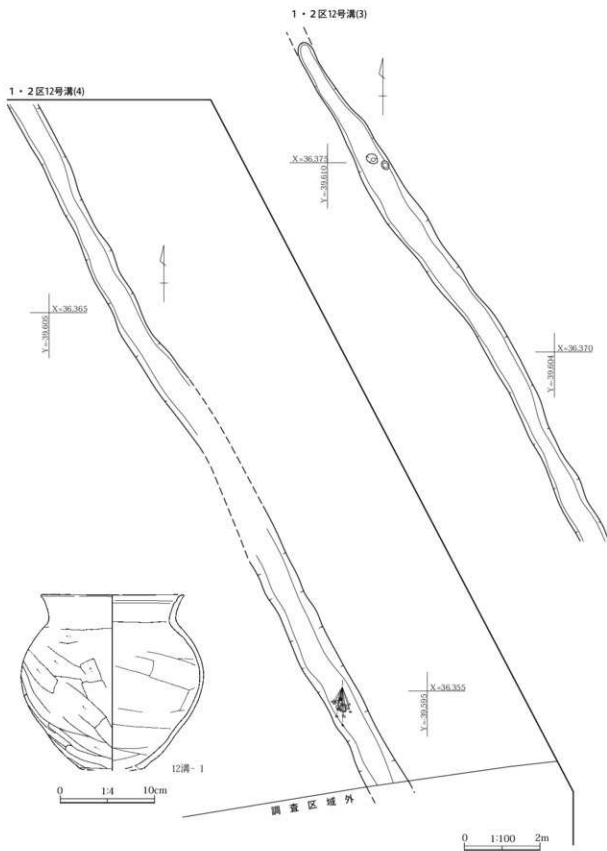
1・2区10号溝(4)・11号溝(1)



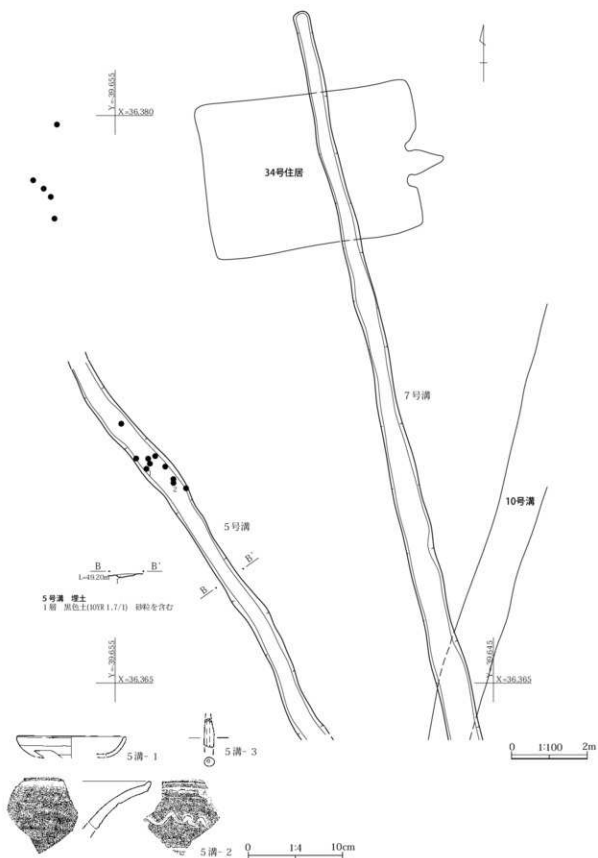
- 10号溝 埋土
- 1層 黒色土(10R 2/1) 白色軽石含む
 - 2層 灰赤褐色土(10R 5/3) 砂層
 - 3層 灰黄褐色土(10R 4/2) 白色軽石 少量含む
 - 4層 黒褐色土(10R 3/2)
 - 5層 灰赤褐色土(10R 5/3) 砂層
 - 6層 黒褐色土(10R 3/2) 砂混ざる
 - 7層 黒褐色土(10R 2/2) 暗褐色土 (10R 3/3)混ざる
 - 8層 暗褐色土(10R 3/3) 砂混ざる
 - 9層 黒褐色土(10R 2/2) 少量の白色 軽石含む

- 11号溝 埋土
- 1層 灰黄褐色土(10R 4/2) 沢水層 砂含む
 - 2層 黒褐色土(10R 2/2) 砂含む

第566図 1・2区10号溝跡平・断面図(3)・(4)、11号溝跡平面図

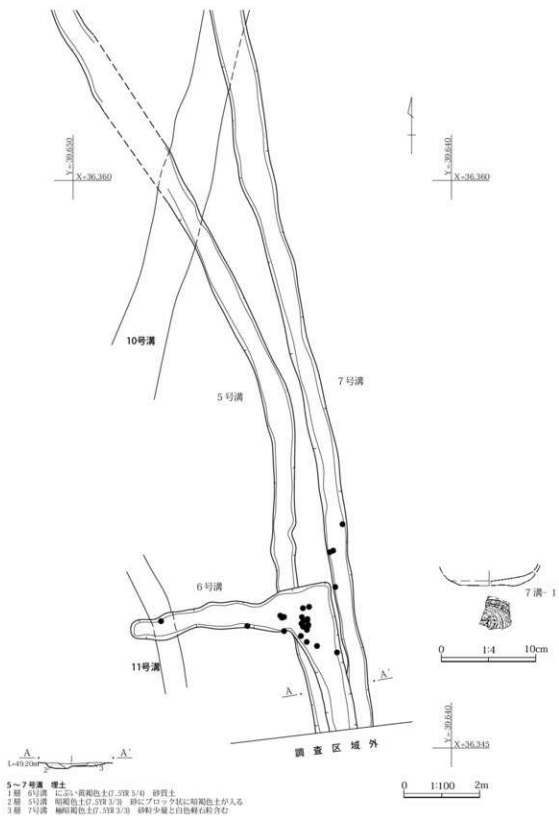


第568図 1・2区12号溝跡平面図(3)・(4)・出土遺物



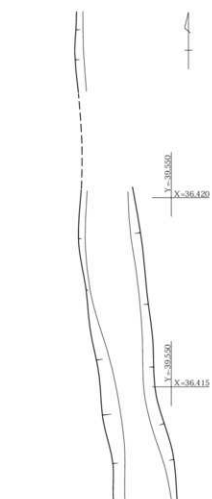
第569図 1・2区5・7号溝跡平・断面図(1)・出土遺物

1・2区5(2)・6・7号溝(2)

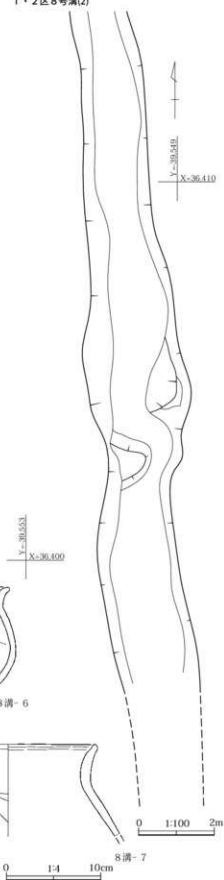


第570図 1・2区6～7号溝跡平・断面図(2)・出土遺物

1・2区8号溝(1)



1・2区8号溝(2)



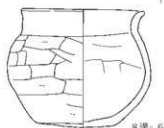
8溝-1



8溝-2



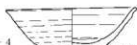
8溝-3



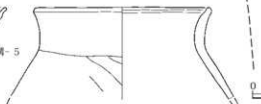
8溝-6



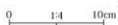
8溝-4



8溝-5

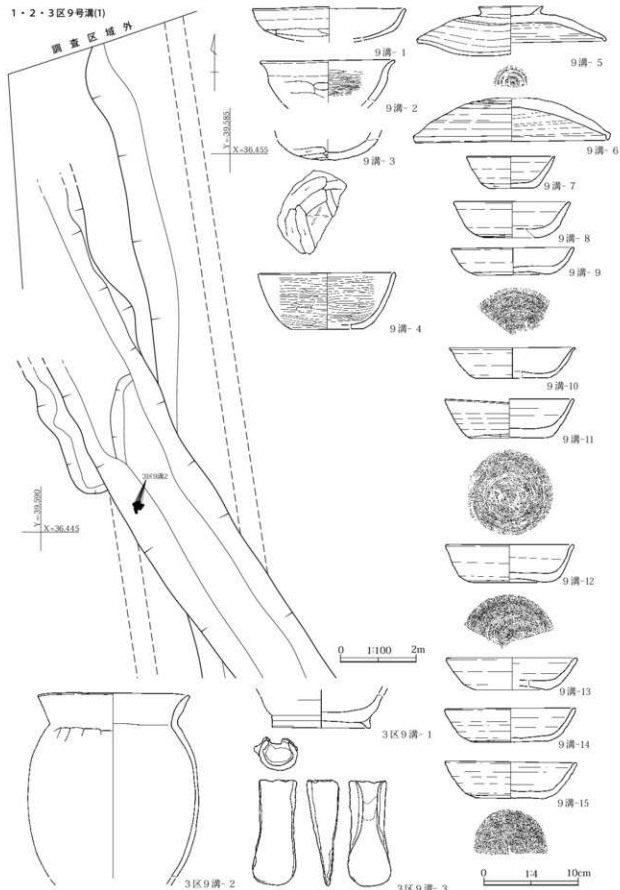


8溝-7



第571図 1・2区8号溝跡平面図(1)・(2)、出土遺物

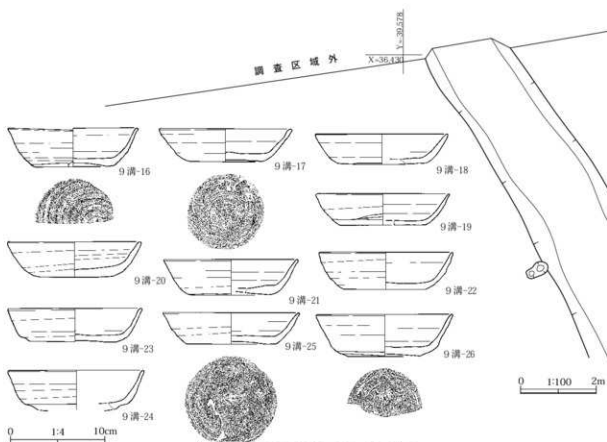
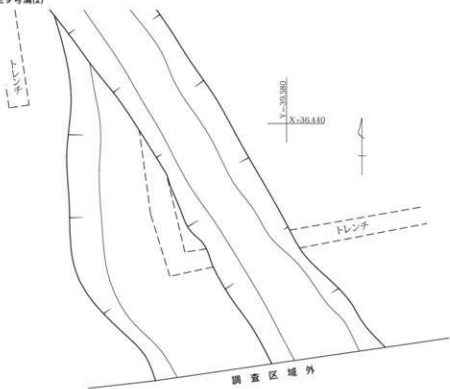
1・2・3区9号溝(1)



第572図 3区9号溝跡平面図(1)、出土遺物(1)

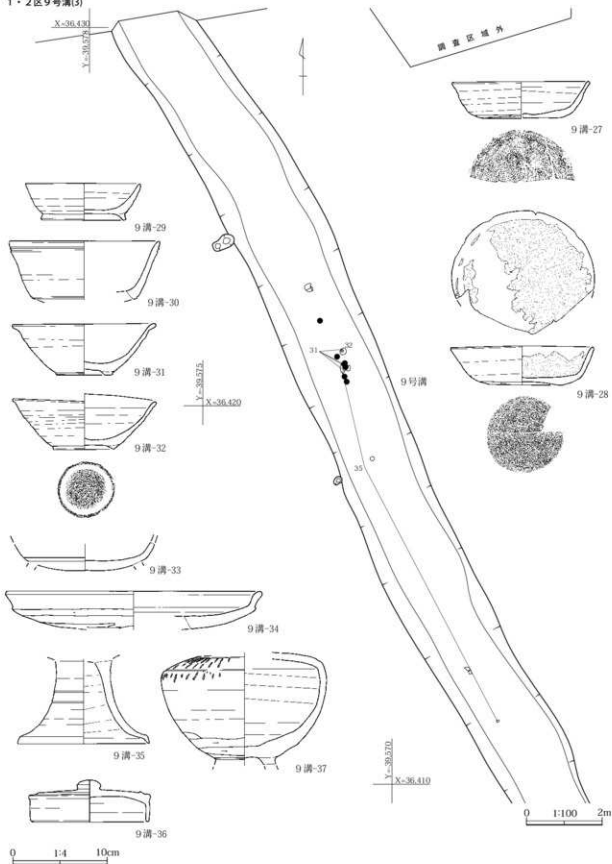
第3章 検出遺構と出土遺物

1～3区9号溝(2)



第573図 1～3区9号溝跡平面図(2)、出土遺物(2)

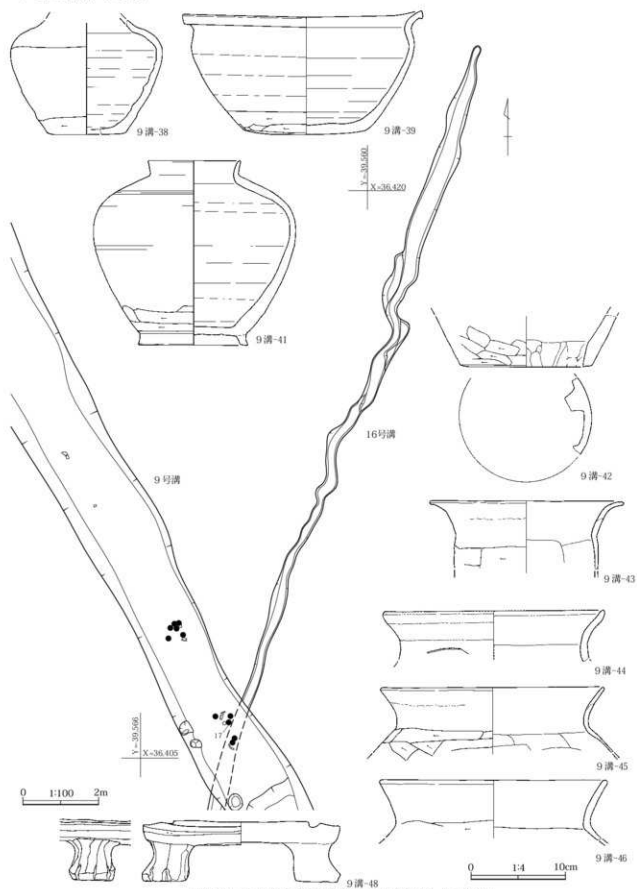
1・2区9号溝(3)



第574図 1・2区9号溝跡平面図(3)、出土遺物(3)

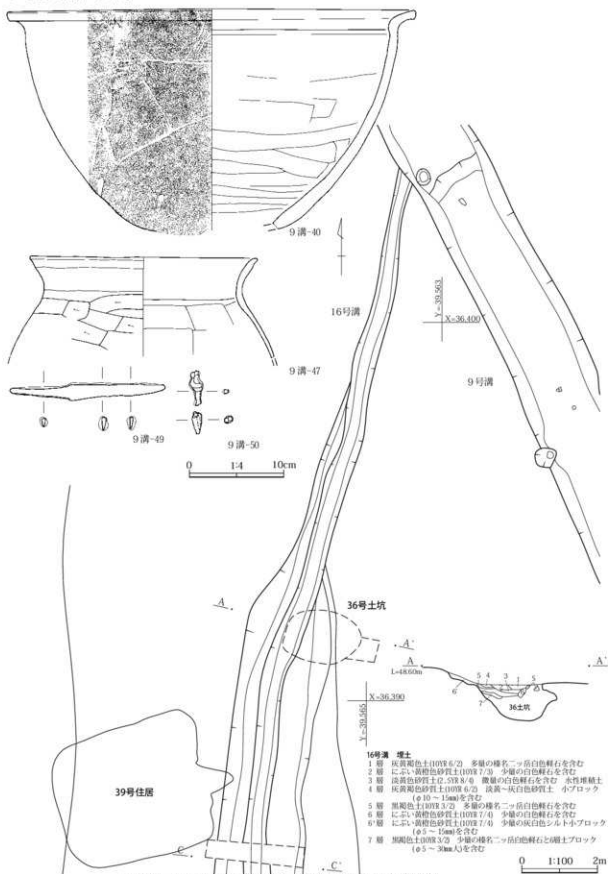
第3章 検出遺構と出土遺物

1・2区9号溝(4) 16号溝(1)



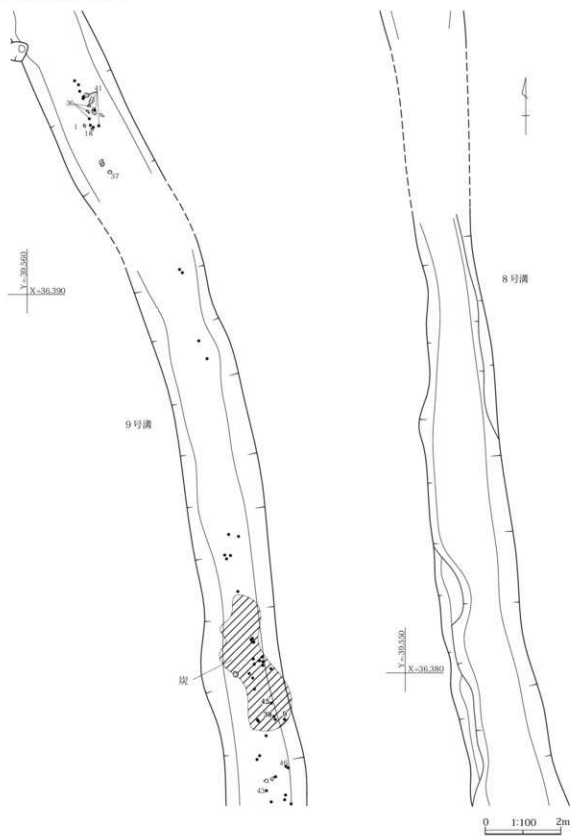
第575図 1・2区9号溝跡平面図(4)、16号溝平面図(1)、出土遺物(4)

1・2区9号溝(5) 16号溝(2)



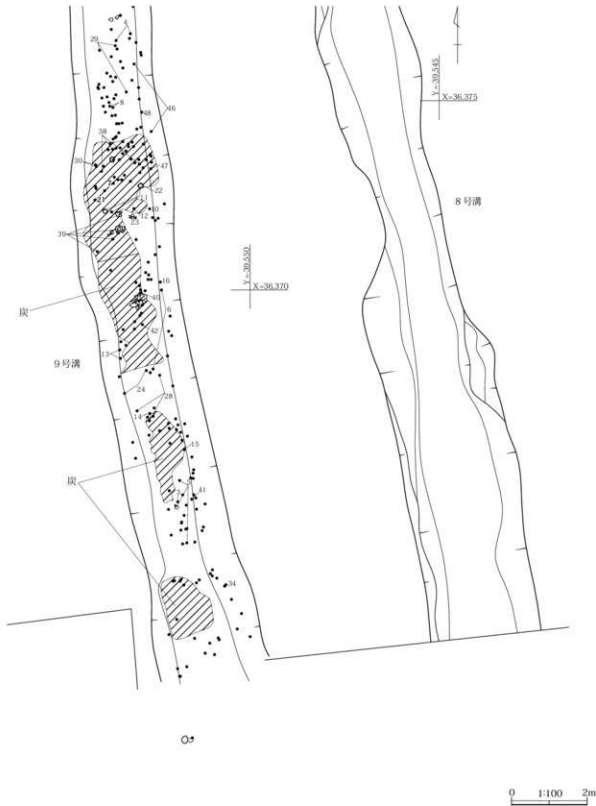
第576図 1・2区9号溝跡平面図(5)、16号溝平・断面図(2)、出土遺物(5)

1・2区9号溝(6) 8号溝(3)



第577図 1・2区9号溝跡平面図(6)、8号溝跡平面図(3)

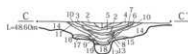
1・2区9号溝(7) 8号溝(4)



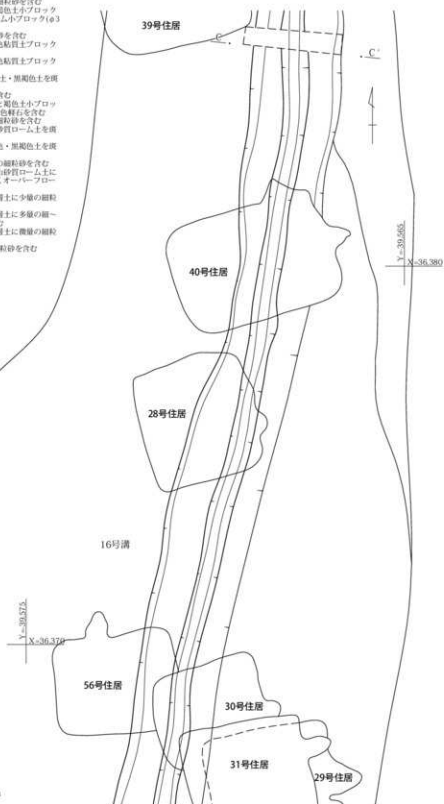
第578図 1・2区9号溝跡平面図(6)、8号溝跡平面図(3)

第3章 検出遺構と出土遺物

1・2区16号溝(3)

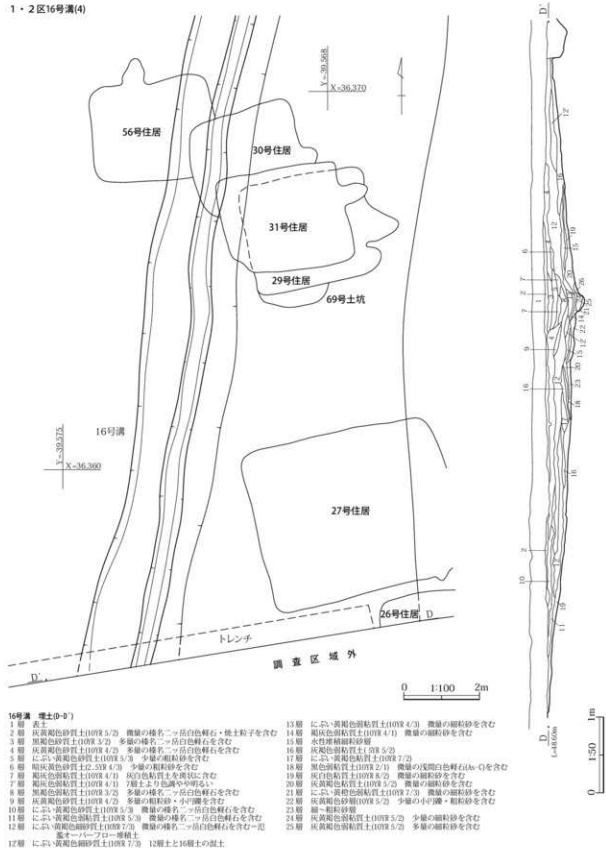


- 16号溝 埋土(C-C')
- 1層 におい・黄褐色砂質土(00R 5/3) 多量の細粒砂を含む
 - 2層 におい・黄褐色砂質土(00R 6/3) 少量の細粒砂を含む
 - 3層 灰黄褐色粘質土(00R 5/2) 少量の黒褐色土小ブロック(φ5～10mm入) 淡黄色砂質ローム小ブロック(φ3～5mm)を含む
 - 4層 灰黄褐色粘質土(00R 6/2) 少量の細粒砂を含む
 - 5層 灰黄褐色粘質土(00R 6/2) 少量の灰白色粘質土ブロック(φ5～20mm)を含む
 - 6層 灰黄褐色粘質土(00R 6/2) 多量の灰白色粘質土ブロック(φ30～20mm)を含む
 - 7層 灰白色粘質土(00R 8/2) 少量の灰黄褐色土・黒褐色土を塊状に含む
 - 8層 褐色砂質土(00R 4/4) 少量の細粒砂を含む
 - 9層 黒褐色砂質土(00R 3/2) 少量の細粒砂と褐色土小ブロック(φ5～15mm入) 緑青・珪白色輝石を含む
 - 10層 におい・黄褐色砂質土(00R 5/3) 少量の細粒砂を含む
 - 11層 におい・黄褐色砂質土(00R 6/3) 淡黄色砂質ローム土を塊状に含む微量の細粒砂を含む
 - 12層 におい・黄褐色粘質土(00R 6/2) 灰黄色・黒褐色土を塊状に含む微量の細粒砂を含む
 - 13層 におい・黄褐色粘質土(00R 7/3) 微量の細粒砂を含む
 - 14層 におい・黄褐色粘質土(00R 7/3) 地小砂質ローム土におい・瓦礫時に混入し周辺に広くサーベールローム層
 - 15層 におい・黄褐色粘質土(00R 7/3) 14層土に少量の細粒砂を含む
 - 16層 におい・黄褐色粘質土(00R 7/3) 14層土に多量の細粒砂と小ブロック(φ3～5mm)を含む
 - 17層 におい・黄褐色粘質土(00R 7/3) 14層土に微量の細粒砂を含む
 - 18層 灰黄色粘質土(2.5R 6/2) 少量の細粒砂を含む



第579図 1・2区16号溝平・断面図(3)

1・2区16号溝(4)

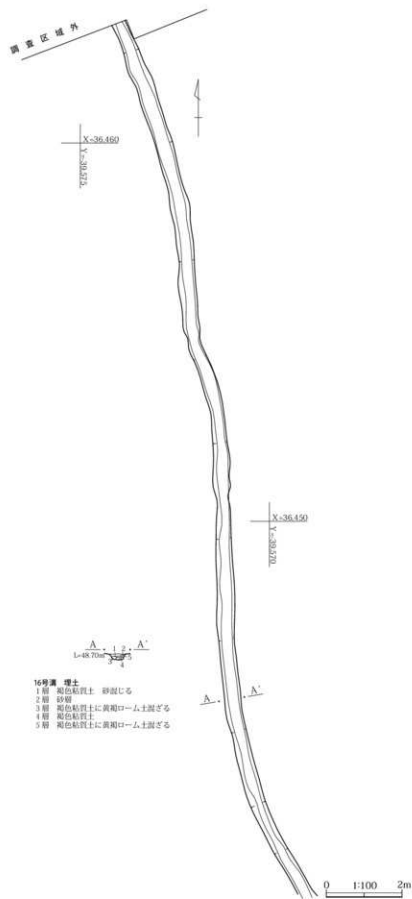


16号溝 埋土(0-0')

- | | |
|--|---------------------------------------|
| 1層 表土 | 13層 赤い黄褐色粘質土(10R 4/3) 微量の細粒砂を含む |
| 2層 灰黄褐色粘質土(10R 5/2) 微量の緑名ニッ灰白色軽石・粘土粒子を含む | 14層 灰白色粘質土(10R 4/1) 微量の細粒砂を含む |
| 3層 黒褐色粘質土(10R 3/2) 多量の緑名ニッ灰白色軽石を含む | 15層 水竹埋積細粒砂層 |
| 4層 灰黄褐色粘質土(10R 4/2) 多量の緑名ニッ灰白色軽石を含む | 16層 灰褐色粘質土(5R 5/2) |
| 5層 赤い黄褐色粘質土(10R 5/3) 少量の細粒砂を含む | 17層 赤い黄褐色粘質土(10R 7/2) |
| 6層 暗灰黄色粘質土(2, 5R 4/2) 少量の粗粒砂を含む | 18層 黒色粘質土(10R 2/1) 微量の炭灰白色軽石(Ac-C)を含む |
| 7層 暗灰色粘質土(10R 4/1) 灰白色粘質土を埋状に含む | 19層 灰白色粘質土(10R 8/2) 微量の細粒砂を含む |
| 7層 暗灰色粘質土(10R 3/2) 多量の緑名ニッ灰白色軽石を含む | 20層 灰黄褐色粘質土(10R 5/2) 微量の細粒砂を含む |
| 8層 黒褐色粘質土(10R 3/2) 多量の緑名ニッ灰白色軽石を含む | 21層 赤い黄褐色粘質土(10R 7/2) 微量の細粒砂を含む |
| 9層 灰黄褐色粘質土(10R 4/2) 多量の粗粒砂・小片礫を含む | 22層 灰黄褐色粘質土(10R 5/2) 少量の小片礫・粗粒砂を含む |
| 10層 赤い黄褐色粘質土(10R 5/3) 微量の緑名ニッ灰白色軽石を含む | 23層 黒い粗粒砂層 |
| 11層 赤い黄褐色粘質土(10R 5/3) 微量の緑名ニッ灰白色軽石を含む | 24層 灰黄褐色粘質土(10R 5/2) 少量の細粒砂を含む |
| 12層 赤い黄褐色粘質土(10R 7/2) 微量の緑名ニッ灰白色軽石を含む一帯 | 25層 灰黄褐色粘質土(10R 5/2) 多量の細粒砂を含む |
| 12層 赤い黄褐色粘質土(10R 7/2) 12層と16層土の混土 | |

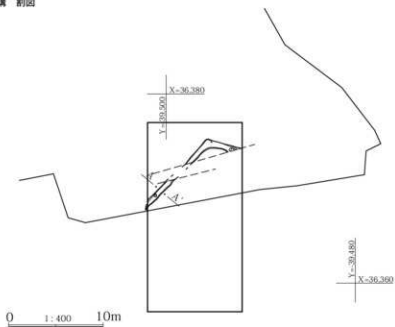
第580図 1・2区16号溝平・断面図(4)

3区16号溝

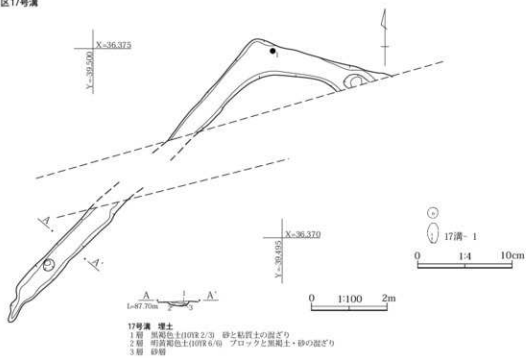


第581図 3区16号溝跡平・断面図

1・2区17号溝 断面図



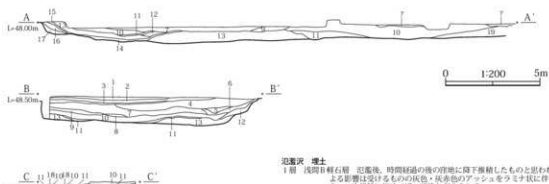
1・2区17号溝



第582図 1・2区17号溝跡平・断面図、出土遺物

第3章 検出遺構と出土遺物

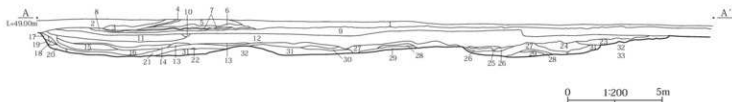
1・2区 泥濘跡



泥濘跡 埋土

- 1層 浅間山軽石層 泥濘後、時間経過の塊の堆積したものと推測。水による影響を受けるものの灰色・灰赤色のアッシュをラミナ状に伴うことが、一次堆積に極めて近い状態と考えられる。
- 2層 黒褐色土(100% 3/3) 泥濘後の埋積土層 (泥濘とAs層同時期までの埋積)
- 3層 濃い黄褐色砂質土(100% 6/3) 少量の細粒砂を含む
- 4層 濃い黄褐色砂質土(100% 6/3) 少量の小片礫(φ20~40mm大)を含む
- 5層 濃い黄褐色砂質土(100% 5/3)
- 6層 浅灰色砂質土(2.5/7/3)
- 7層 灰黄色砂質土(2.5/7/3)
- 8層 灰黄色シルト質土(2.5/7/3)
- 9層 細~粗粒砂層
- 10層 灰黄色砂質土(2.5/7/3) 細粒砂を含む
- 11層 灰黄色シルト土(2.5/7/3)
- 12層 明黄褐色土(2.5/7/6) 多量の細粒砂を含む
- 13層 灰オリーブ砂質土(5/6/2) 細粒砂層をラミナ状に含む
- 14層 灰黄色シルト質土(2.5/7/3)
- 15層 灰オリーブ砂質土(5/6/2) 多量の褐色砂質土ブロックを含む
- 16層 灰黄色砂質土(100% 6/3)
- 17層 細灰色シルト質土(100% 6/3)
- 18層 灰黄色砂質土(2.5/7/3) 多量の褐色砂質土ブロックを含む
- 19層 砂礫層 細~粗粒砂と粗砂・小片礫層・相互層積層
- ア層 灰黄色砂質土(2.5/7/3) 多量の黒褐色砂質土ブロックを含む

3区 泥濘跡

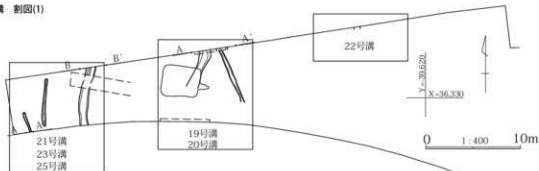


- 1層 現代耕作土
- 2層 現代耕作土
- 3層 黒褐色土(100% 5/3) 白色軽石(As-C)・暗褐色土粒子を含む
- 4層 黒褐色土(100% 5/3) 暗褐色土粒子を含む
- 5層 黒褐色土(100% 5/3) 少量の礫を含む
- 6層 黒褐色土(100% 5/3) 少量の礫を含む 浅黄褐色土粒子を含む
- 7層 黒褐色土(100% 2/3) 白色軽石(As-B)を帯状含む
- 8層 黒褐色土(100% 2/3) As層
- 9層 黒褐色土(100% 2/3) 粘質土
- 10層 濃い黄褐色砂質土(100% 6/3)
- 11層 濃い黄褐色砂質土(100% 5/3) 暗褐色土粒子を含む
- 12層 濃い黄褐色砂質土(100% 5/3) 暗褐色土粒子を含む
- 13層 濃い黄褐色砂質土(100% 6/3) 砂の粒子・褐色土粒子を含む
- 14層 濃い黄褐色砂質土(100% 6/3) 砂の粒子・褐色土粒子を含む
- 15層 濃い黄褐色砂質土(100% 6/3) 砂の粒子・褐色土粒子を多く含む
- 16層 濃い黄褐色砂質土(100% 6/3) 砂の粒子・褐色土粒子を多く含む

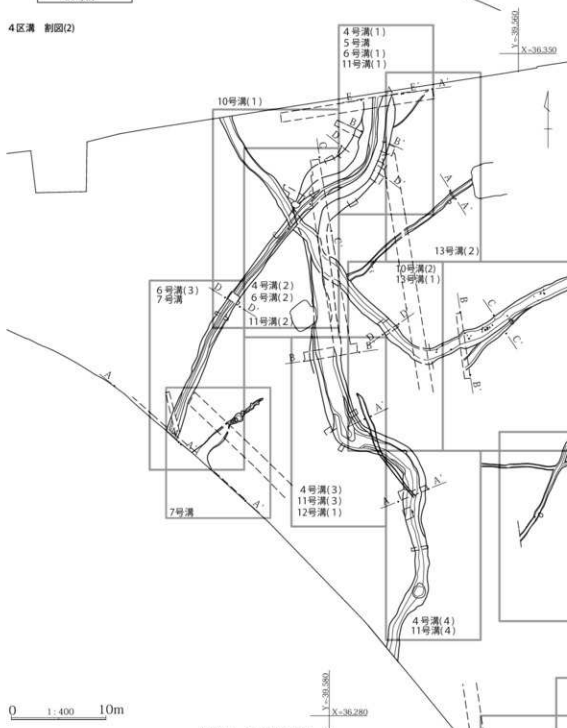
- 17層 濃い黄褐色砂質土(100% 6/3) 褐色土粒子を含む
- 18層 濃い黄褐色砂質土(100% 6/3) 褐色土粒子を含む
- 19層 濃い黄褐色砂質土(100% 6/3) ローム粒子を含む
- 20層 暗褐色土質土(100% 3/3) ロームを多く含む
- 21層 砂礫層
- 22層 砂礫層 灰黄褐色砂質土粒子を含む
- 23層 砂礫層 褐色砂質土粒子を含む
- 24層 砂礫層 φ5~20mmの礫を含む
- 25層 砂礫層
- 26層 灰黄褐色砂質土(100% 4/3) 濃い黄褐色土粒子・褐色土砂質土粒子を含む 粘質性
- 27層 暗褐色土質土(100% 5/3) 褐色土砂質土粒子を帯状に含む
- 28層 砂礫層 φ5~10mmの礫を含む
- 29層 濃い黄褐色砂質土(100% 5/3) 褐色土質土粒子を多く含む 下部に砂礫を帯状に含む
- 30層 砂礫層 φ1~5mmの礫を含む
- 31層 濃い黄褐色砂質土(100% 7/3) 褐色土質土粒子を含む
- 32層 礫層
- 33層 砂礫層

第583図 1・2・3区泥濘・決壊跡断面図

4区溝 断面(1)

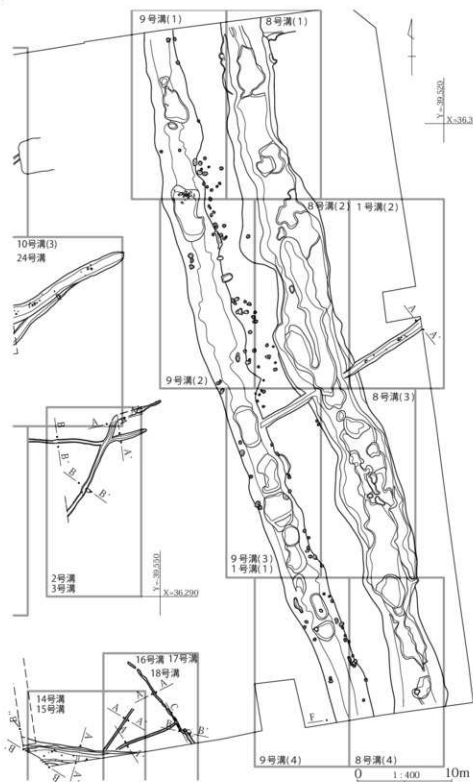


4区溝 断面(2)



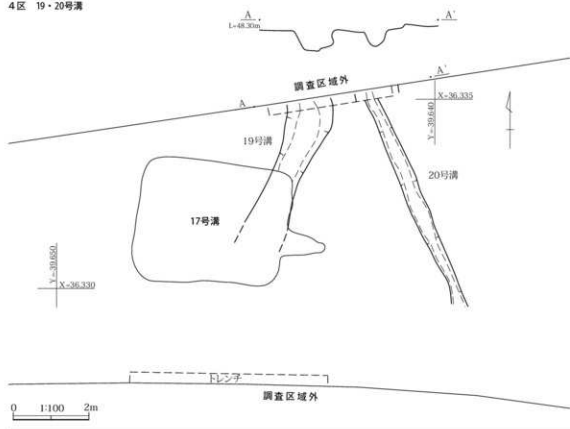
第584図 4区溝時断面(1)・(2)

4区溝 剖面(3)

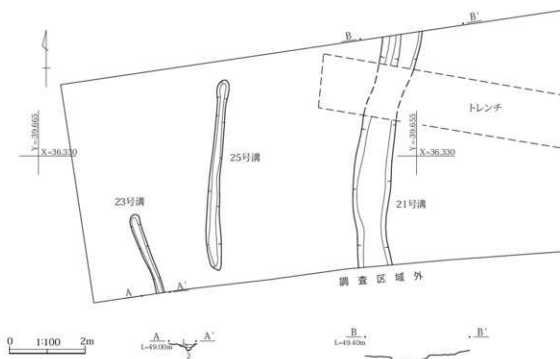


第585図 4区溝跡剖面(3)

4区 19・20号溝



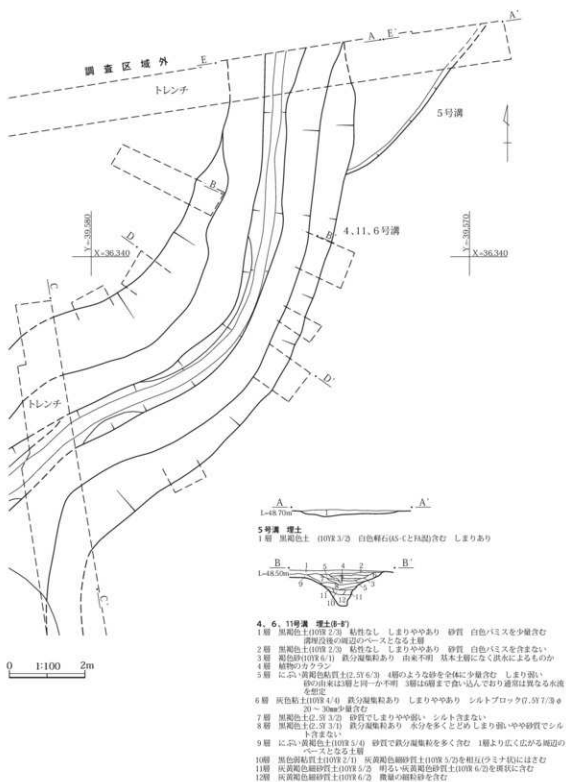
4区 21・23・25号溝



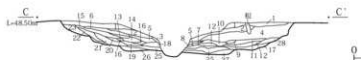
23号溝 埋土

- 1層 黒褐色土(0.0YR 2/2) 白色軽石・黒色土ブロック(φ20m)を少量含む ローンプロック(φ5m)を含む
 2層 黒褐色土(0.0YR 2/2) 暗褐色土粒子を少量含む

第586図 4区19・20・21・23・25号溝跡平・断面図

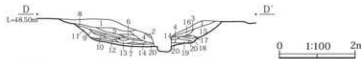


第587図 4区4号溝跡平・断面図(1)、5・6号溝平・断面図(1)、11号溝跡平・断面図(1)



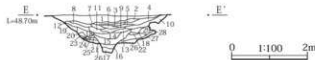
11号溝 埋土①-C'

- 1層 黒褐色土①.5/3② 粘性なし しまりあり φ50mm以下の礫とφ100mmのハリスを微量含む
- 2層 暗灰黄色土①.5/3② 粘性なし しまりや中強
- 3層 黒褐色土①.5/3② 粘性なし しまりや中あり 影ラインの2層間を 6割の礫り残しか
- 4層 暗灰黄色土①.5/3② 粘性なし しまりや中あり 影ラインの2層間を6割の礫り残しか
- 5層 黒褐色土①.5/3② 粘性なし しまりや中強 灰黄色粗砂・細砂を全体に多量含む
- 6層 黄褐色土①.5/4① 粘性なし しまりや中強 灰黄色粗砂・細砂を全体に多量含む
- 7層 暗灰黄色細砂土①.5/4① 粘性なし しまりや中強
- 8層 7層にφ50mm以下の礫をやや多量含む
- 9層 黄褐色土①.5/4① 粘性なし しまりや中強
- 10層 灰色土①.5/4① シルト質 しまりあり 4層と7層の間にφ20mm以下少量含む
- 11層 黄褐色土①.5/4① 粘性なし しまりや中あり シルト質
- 12層 灰粘土①.5/4① しまりや中強 灰黄色粘土①.5/7②で全体に汚れる
- 13層 暗灰黄色土①.5/3② 浅黄色①.5/7②層に 粗砂を全体に多量含む
- 14層 暗灰黄色土①.5/3② 13層に類似 粗砂を多量含む
- 15層 暗灰黄色土①.5/3② 13層に類似 砂や中量
- 16層 黄褐色土①.5/4①を中心とした粗砂・細砂
- 17層 黄褐色土①.5/4① 粘性なし しまりや中強
- 18層 黄褐色土①.5/4① 17層に類似 灰黄色粗砂・細砂を全体にやや多量含む
- 19層 灰粘土①.5/4① 浅黄色①.5/7②粘土 φ100mm少量含む
- 20層 19層の黄色粘土層
- 21層 灰黄色粗砂 しまりや中強
- 22層 暗灰黄色土①.5/3② 粘性なし しまりや中強
- 23層 暗灰黄色土①.5/3② 22層に類似 やや黄味が強い
- 24層 暗灰黄色土①.5/3② 22層に類似 白味が強い
- 25層 灰色土①.5/4① しまりや中あり シルト質
- 26層 黄褐色土①.5/4① 粘性なし しまりや中あり
- 27層 灰色土①.5/4① 粗砂を全体にφ100mm以下の礫・粗砂の混層
- 28層 黄褐色土①.5/4① 11層に類似 やや中強



11号溝 埋土②-D'

- 1層 黒褐色土①.5/3② 粘性なし しまりあり φ50mm以下の礫とφ100mmのハリスを微量含む
- 2層 暗灰黄色土①.5/3② 粘性なし しまりや中あり やや粗砂 4層の土で全体が少し汚れる
- 3層 暗灰黄色土①.5/3② 粘性なし しまりあり
- 4層 暗灰黄色土①.5/3② 粘性なし しまりや中あり 灰黄色粘土①.5/7②層にφ100mm以下少量含む
- 5層 黄褐色土①.5/4① 粘性なし しまりや中あり
- 6層 黒褐色土①.5/3② 粘性なし しまりや中強
- 7層 灰色土①.5/4① 粘性なし しまりや中強
- 8層 暗灰黄色土①.5/3② 粘性なし しまりや中強、オリーブ褐色粗砂ブロックφ30mm以下やや多量含む この砂で全体にうすく汚れる
- 9層 灰色土①.5/4① 7層に類似 ネガが強い
- 10層 灰色土①.5/4① 9層より更にネガが強くシルト質
- 11層 黒褐色土①.5/3① 粘性なし しまりや中あり 同色粗砂を全体にやや多量含む
- 12層 黄褐色土①.5/4① 粗砂土中に粗砂やや多量含む φ50mm以下の礫を微量含む
- 13層 黄褐色土①.5/4① 粘土 しまりあり φ100mm以下の礫・粗砂をφ40・30mmのブロック状にやや多量含む
- 14層 暗灰黄色土①.5/3② 粘性なし しまりあり 全体に粗砂を少量含む
- 15層 灰黄色土①.5/6② 粘性なし しまりあり
- 16層 暗灰黄色土①.5/3② 粘性なし しまりあり
- 17層 灰色土①.5/4① 同色粗砂・細砂を全体に多量含む
- 18層 灰オリーブ粗砂 粗砂を全体に少量含む
- 19層 黄褐色土①.5/4① 13層に類似 φ30mm以下の礫・灰色粗砂・細砂の混合
- 20層 暗灰黄色土 シルト質 しまりあり



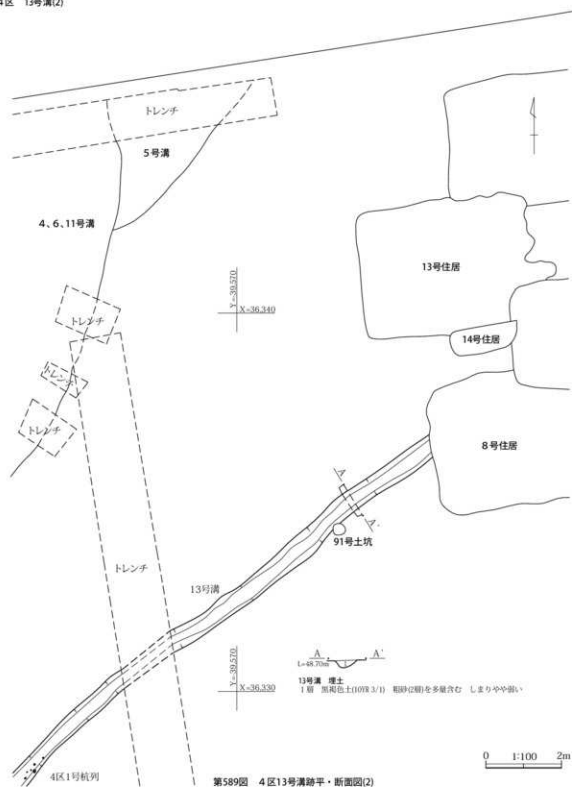
4・6・11号溝 埋土①-E'

- 1層 黒褐色土①.5/3② 粘性なし しまりあり 上層2層間にφ50mm以下の白色ハリスを少量含む
- 2層 φ100mm以下の黄褐色土①.5/3② φ100mm以下の礫・黄褐色土①.5/3②を微量含む
- 3層 暗灰黄色土①.5/3② 粘性なし しまりあり 粗砂・細砂をφ50mmのブロック状に多量含む
- 4層 暗灰黄色土①.5/3② 粘性なし しまりや中強 浅黄色粘土①.5/7②ブロックφ20mm以下を微量含む
- 5層 浅黄色土①.5/7② 粘性ややあり しまりあり 3層の粘土で全体が汚れる 白色ハリスφ100mmを微量含む
- 6層 灰色土①.5/7② 7層に類似 黄味が強く 3層の粘土層φ100mm少量含む
- 7層 オリーブ褐色土①.5/7② 粘性ややあり しまりや中あり 粗砂土で全体がうすく汚れる
- 8層 暗灰黄色土①.5/3② 粘性なし しまりや中あり φ100mmの白色ハリスを微量含む
- 9層 黒褐色土①.5/3② 粘性なし しまりや中あり 白色ハリスφ100mmを微量含む
- 10層 暗灰黄色土①.5/4① 粘性ややあり しまりや中あり 白色ハリスφ100mmを微量含む
- 11層 暗灰黄色土①.5/4① 粘性なし しまりや中あり 地山砂質土でうすく汚れる
- 12層 暗灰黄色土①.5/4① 粘性なし しまりや中あり 地山砂質土で全体が強く汚れる
- 13層 暗灰黄色土①.5/4① 12層に類似 白味が強い
- 14層 黄褐色土①.5/4① 粘性なし しまりあり 深い黄褐色土①.5/6②層にφ100mm以下少量含む

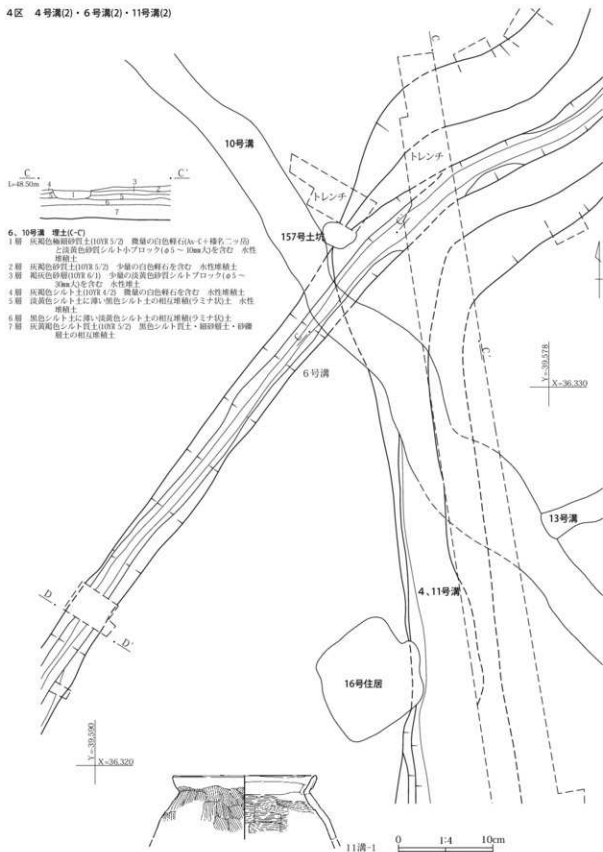
- 15層 黄褐色土①.5/4① 4層に類似 白味が強い やや粘質
- 16層 黄褐色土①.5/4① やや粘質 しまりあり 全体に粗砂土層粗砂りりを多量含む 灰黄色粘質粘土①.5/3②層に粗砂りりを多量含む
- 17層 黄褐色土①.5/4① やや粘質 しまりや中強
- 18層 灰色土①.5/6① 粘性なし しまりや中あり
- 19層 灰色土①.5/6① 18層に類似 やや黄味が強い
- 20層 灰色土①.5/6① 19層に類似 やや黄味が強い
- 21層 灰色粗砂
- 22層 φ100mm以下の礫・粗砂・細砂の混合
- 23層 灰色土①.5/4① 粘性なし しまりや中強
- 24層 灰色土①.5/4① 23層に類似 やや中強
- 25層 灰色土①.5/6① 24層に類似 やや中強
- 26層 φ100mm以下の礫・粗砂・細砂の混合
- 27層 粗砂・細砂をφ100mmの礫を少量含む
- 28層 灰色土①.5/4① やや粘質 しまりあり
- 29層 27層に類似 粗砂の割合が多く 砂質

第588図 4区4・5・6・11号溝断面図

4区 13号溝(2)



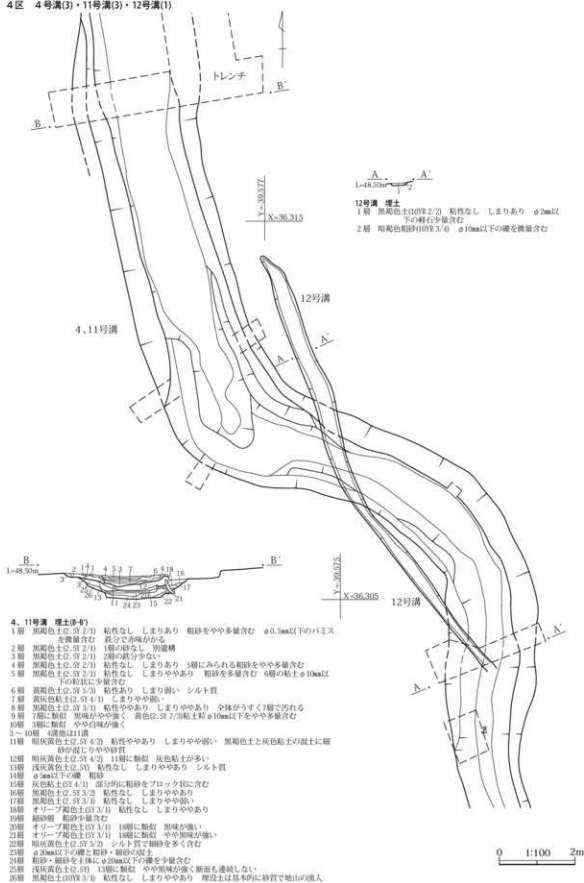
4区 4号溝(2)・6号溝(2)・11号溝(2)



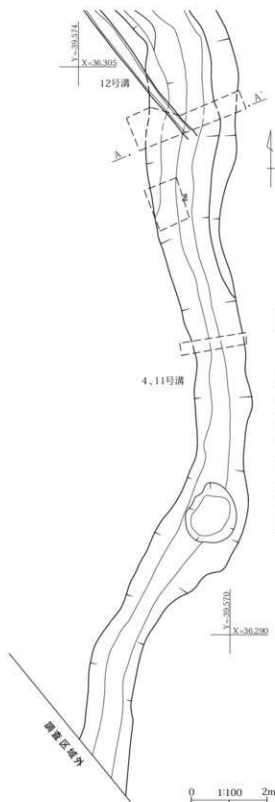
第590図 4区4号溝跡平面図(2)、6号溝平・断面図(2)、11号溝跡平面図(2)、11号溝跡出土遺物

第3章 検出遺構と出土遺物

4区 4号溝(3)・11号溝(3)・12号溝(1)



4区 4号溝(4)・11号溝(4)・12号溝(2)



4. 11. 12号溝 礎土

- 1層 黒褐色土(10YR 2/2) 粘性なし、しまりあり 白色のよく発露した軽石 ϕ 5mm以下少量含む
粗砂・細砂割合多量含む
- 2層 黒褐色土(10YR 2/2) 粘性なし、しまりややあり 1層の軽石と砂を全体に微量含む
- 3層 黒褐色土(10YR 2/2) 粘性なし、しまりあり 粗砂・細砂割合を多量含む白色発露軽石 ϕ 5mm以下を微量含む
- 4層 黒褐色土(10YR 2/3) 粘性なし、しまりややあり 3層の砂と軽石を全体に少量含む
- 5層 黒褐色土(10YR 2/3) 4層断面に、砂と軽石が微量
- 6層 黒褐色土(10YR 3/3) 粘性なし、しまりややあり 軽石 ϕ 2mm以下を微量含む
- 7層 黒褐色土位、5Y 3/1) 粘性あり、しまりややあり 灰オリーブ(5Y 6/2)粘土ブロック ϕ 2mm以下を少量含む、この土で全体が汚れる
- 8層 灰オリーブ(5Y 6/2) 粘土主体で黒褐色土(10YR 2/3)粘性なし、しまりややありと ϕ 30mmブロック状や厚1cmの層状に露出する
- 9層 灰オリーブ(5Y 6/2) 粘土と黒褐色土(10YR 2/3)粘性なし、しまりややありの礎土で一部粘土が厚1cmの層状に露出する
- 10層 黒褐色土(10YR 2/2) 粘性なし、しまりややあり、白色軽石 ϕ 5mm以下微量含む 12層の礎土で全体にうすく汚れる
- 11層 黒褐色土位、5Y 3/1) 粘性なし、しまりややあり 砂質 12層の礎土で10層より強く汚れる
- 12層 黒褐色土位、5Y 3/1) 粘性なし、しまりややあり 砂質 にぶい黒褐色 砂質土と黒褐色土の混生 にぶい黒褐色砂質土70% 黒色土30%
- 13層 位、5Y 4/1) 粘土、砂質分強、12層ブロック ϕ 2mm以下少量含む 黒褐色土で全体にうすく汚れる 上層に粗分層状の砂質土
- 14層 黒褐色土位、5Y 3/1) 粘性なし、しまりなし 砂質 下層の一部に含む ϕ 50mm以下の礫と粗砂が厚1cm以下の層状に堆積
- 15層 黒褐色土位、5Y 3/1) 粘性なし、しまりややあり 白色軽石 ϕ 2mm 以下微量含む 7層の礎土で全体にうすく汚れる
- 16層 黒褐色土位、5Y 3/1) 粘性なし、しまりややあり 砂質 にぶい黒褐色 砂質土で全体が汚れる

第592図 4区4号溝跡平・断面図(4)、11号溝跡平・断面図(4)、12号溝跡平・断面図(2)

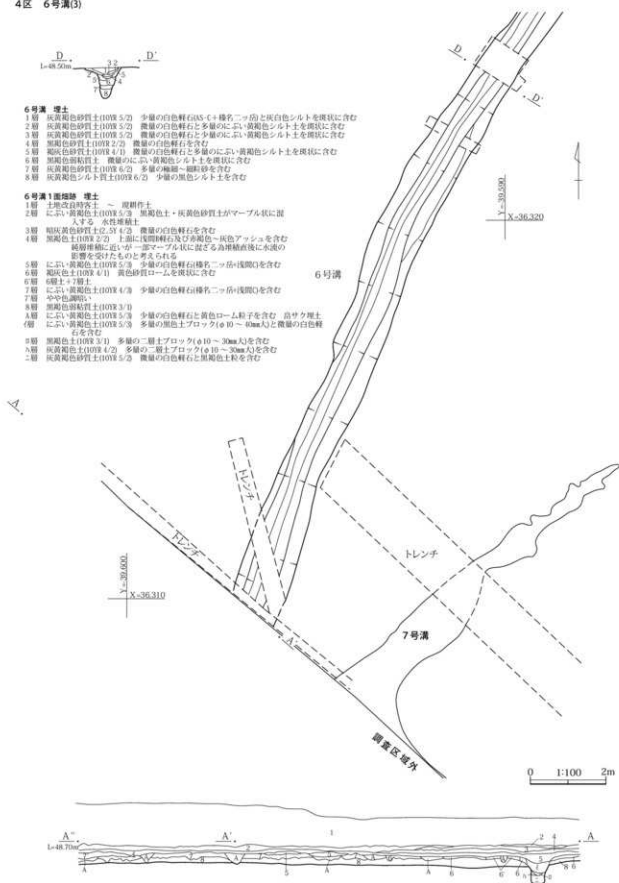
第3章 検出遺構と出土遺物

4区 6号溝(3)



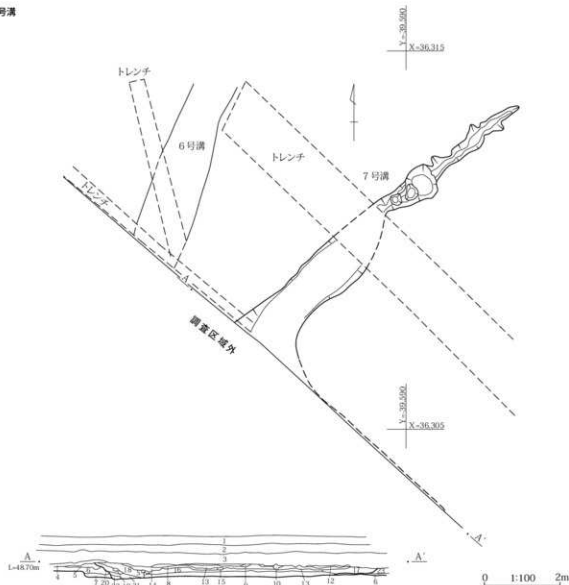
- 6号溝 埋土**
- 1層 灰黄褐色砂質土(10PR 5/2) 少量の白色軽石(S・C)種名ニッ浜と灰白色シルトを混状に含む
 - 2層 灰黄褐色砂質土(10PR 5/2) 微量の白色軽石と多量のにぶい黄褐色シルト土を混状に含む
 - 3層 灰黄褐色砂質土(10PR 5/2) 微量の白色軽石と少量のにぶい黄褐色シルト土を混状に含む
 - 4層 黒褐色砂質土(10PR 2/2) 微量の白色軽石を含む
 - 5層 黒褐色砂質土(10PR 4/1) 微量の白色軽石と多量のにぶい黄褐色シルト土を混状に含む
 - 6層 黒褐色粘質土 微量のにぶい黄褐色シルト土を混状に含む
 - 7層 灰黄褐色砂質土(10PR 6/2) 多量の細砂～細粒砂を含む
 - 8層 灰黄褐色シルト質土(10PR 6/2) 少量の黒色シルト土を含む

- 6号溝1面階層 埋土**
- 1層 土壌改良時次土 ～ 原耕作土
 - 2層 にぶい黄褐色土(10PR 5/3) 黒褐色土・灰黄色砂質土がマーブル状に混入する 水性堆積土
 - 3層 灰黄色砂質土位 5/4/2 微量の白色軽石を含む
 - 4層 黒褐色土(10PR 2/2) 上部に灰黄褐色及び赤褐色～灰色アッシュを含む 経年堆積に近いが一部マーブル状に混ざる為堆積直後に水浸の影響を受けたものと考えられる
 - 5層 にぶい黄褐色土(10PR 5/3) 少量の白色軽石(種名ニッ浜・浅間川)を含む
 - 6層 黒褐色土(10PR 4/1) 黄色砂質ロームを混状に含む
 - 6層上+7層上
 - 7層 にぶい黄褐色土(10PR 4/3) 少量の白色軽石(種名ニッ浜・浅間川)を含む
 - 7層 中黄色泥炭
 - 8層 黒褐色粘質土(10PR 3/0)
 - 8層上 少量の白色軽石と黄色ローム粒子を含む 高サケラ土
 - 8層上 にぶい黄褐色土(10PR 5/3) 多量の黒色土ブロック(φ10～60mm)と微量の白色軽石を含む
 - 8層上 にぶい黄褐色土(10PR 5/3) 多量の黒色土ブロック(φ10～30mm)を含む
 - 2層 灰黄褐色砂質土(10PR 5/3) 微量の白色軽石と黒褐色土粒を含む



第593図 4区6号溝跡平・断面図(3)

4区7号溝

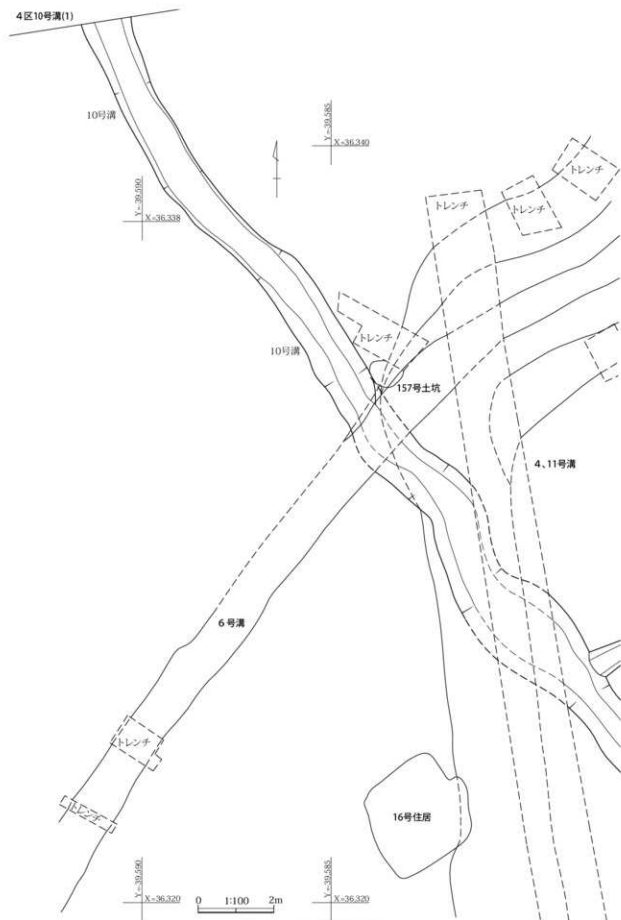


7号溝 埋土

- 1層 赤土層作土 埋土は平面 1～3層埋土層
- 2層 灰褐色土(10R 2/2) 砂質 粘性なし しまりあり 上面に鉄分凝集粒が密な厚4cm程の層を形成 φ50mm以下の河床礫を微量含む
- 3層 灰黄褐色土(10R 4/2) 粘性なし しまりあり 砂質 φ50mm以下の河床礫を微量含む 黒褐色土(10R 3/1)粘性なし しまりありを縦状・ブロック状に少量含む 土がたまるとは種子がうかがえる
- 4層 黄褐色土(2.5Y 4/1) 粘性なし しまりあり 砂質でキメ細かい 鉄分凝集粒φ10mm程を少量含む 木片が1片みられAのポイントの表に5cm程で 黒色土とローム混土と混れたラインで接しており埋土層の土であらう
- 5層 濃い黄褐色土(10R 4/2) 砂質土 粗砂を多量含む
- 6層 黒褐色土(10R 3/1) 粘性なし しまりあり
- 7層 濃い黄褐色土(10R 5/4) やや粘質でしまり少し弱い 水成状
- 5～7層 7溝の埋土
- 8層 灰色砂(SY 4/1) しまりやや強い 鉄分凝集粒φ10mm以下をやや多量含む
- 9層 灰色砂(SY 4/1) 8層と13層の中間の色 粗砂層と同じ
- 10層 灰色粘土(2.5Y 4/1) 由来不明 細砂層か
- 11層 オリーブ凝砂 キメ細かく部分的にシルト質 鉄分凝集粒φ5mm以下を微量含む
- 12層 灰オリーブ砂(SY 2/2) キメ細かく部分的に粗砂 膠をやや多量含む ラミナ状堆積 鉄分凝集粒φ5mm以下を少量含む
- 13層 灰オリーブ砂(SY 2/2) 12層に同じだがミナ堆積の粗砂が少量
- 14層 暗オリーブ灰色砂(2.5Y 4/1) キメ細かくシルト質 鉄分凝集粒を含む 粗砂ブロックφ40mm程を少量含む
- 15層 暗灰色砂粘砂(SY 5/2) しまりやや強い
- 16層 暗灰色粘砂(SY 4/2) しまりやや強い 粗砂を中心にφ30mm以下の礫・暗灰色(2.5Y 5/2)シルト・土ブロックφ30mm程を少量含む
- 17層 灰褐色土(10R 4/2) 粗砂 しまりあり φ5mm以下の礫土を少量含む 鉄分凝集で全体に赤味が強い
- 18層 黒褐色粘砂(10R 3/1) しまりあり 粗砂を中心にφ30mm以下の礫をやや多量含む
- 19層 暗粘粗砂(10R 4/1) しまりあり 20層を切り込む
- 20層 黄褐色土(2.5Y 4/1) しまりやや強い やや粘質 φ30mm程の粗砂ブロック微量含む
- 21層 黒褐色粘砂(SY 3/2) しまりやや強い φ30mm以下の礫を少量含む
- 22層 黄褐色土(2.5Y 4/1) しまりやや強い やや粘質 φ10mm以下の礫を少量含む
- 23層 暗灰色粘土(2.5Y 5/2) しまりあり やや粘質
- 8～18層 7溝の埋没土
- 8～16層は 水成堆積の砂

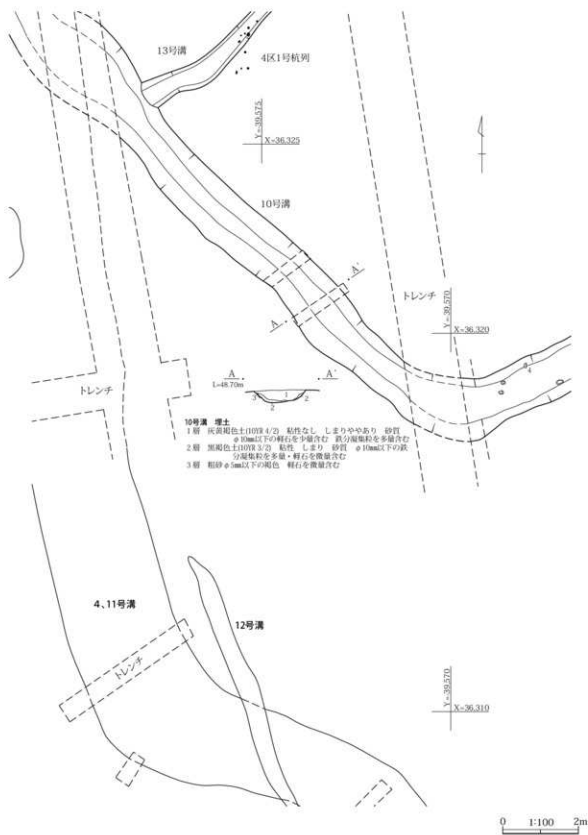
第594図 4区7号溝跡平・断面図

4区10号溝(1)



第595図 4区10号溝跡平面図(1)

4区10号溝 (2) 13号溝(1)



第596図 4区10号溝跡平・断面図(2)、13号溝跡平面図(1)

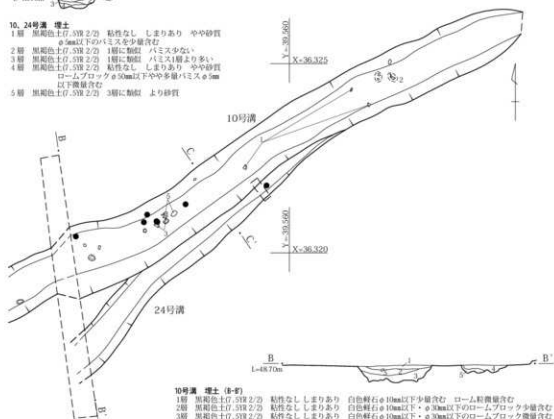
第3章 検出遺構と出土遺物

4区10号溝(3)24号溝



10、24号溝 埋土

- 1層 黒褐色土(7.5層 2/2) 粘性なし しまりあり やや砂質
 φ30mm以下のパミス少量含む
- 2層 黒褐色土(7.5層 2/2) 1層に類似 パミス少ない
- 3層 黒褐色土(7.5層 2/2) 1層に類似 パミス1層より多い
- 4層 黒褐色土(7.5層 2/2) 粘性なし しまりあり やや砂質
 ロームブロックφ90mm以下やや多量パミスφ5mm
 に少量含む
- 5層 黒褐色土(7.5層 2/2) 3層に類似 より砂質



10号溝 埋土 (B-B')

- 1層 黒褐色土(7.5層 2/2) 粘性なし しまりあり 白色輝石φ10mm以下少量含む ローム和陶磁器含む
- 2層 黒褐色土(7.5層 2/2) 粘性なし しまりあり 白色輝石φ10mm以下・φ30mm以下のロームブロック少量含む
- 3層 黒褐色土(7.5層 2/2) 粘性なし しまりあり 白色輝石φ10mm以下・φ30mm以下のロームブロック微量含む

24号溝 埋土 (B-B')

- 4層 黒褐色土(7.5層 3/2) 粘性なし しまりあり 粗砂・細砂を多量含む φ10mm以下の白色輝石微量含む
- 5層 黒褐色土(7.5層 2/2) 粘性なし しまりややあり パミスとロームを含まずキムコ細かい土層の砂で全体に汚れる

0 1:100 2m



10溝-1



10溝-2



10溝-4



10溝-3

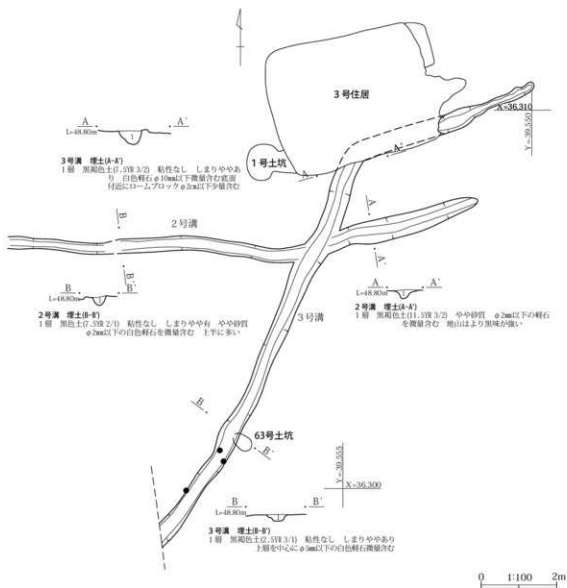


10溝-5

0 1:4 10cm

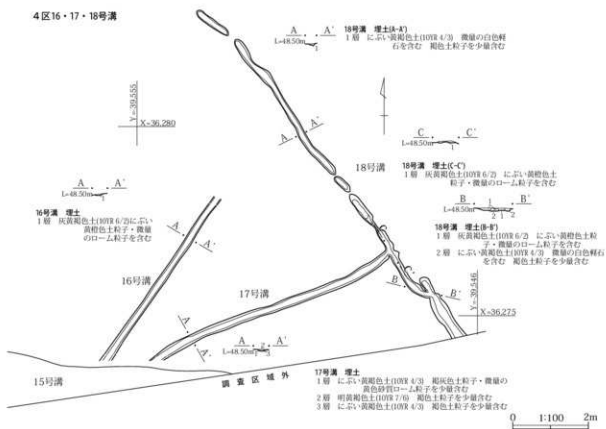
第597図 4区10号溝跡平・断面図(3)・出土遺物、24号溝跡平・断面図

4区2・3号溝

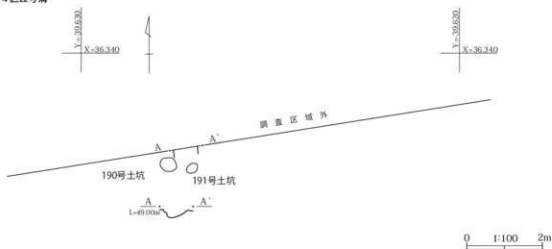


第598図 4区2・3号溝跡平・断面図

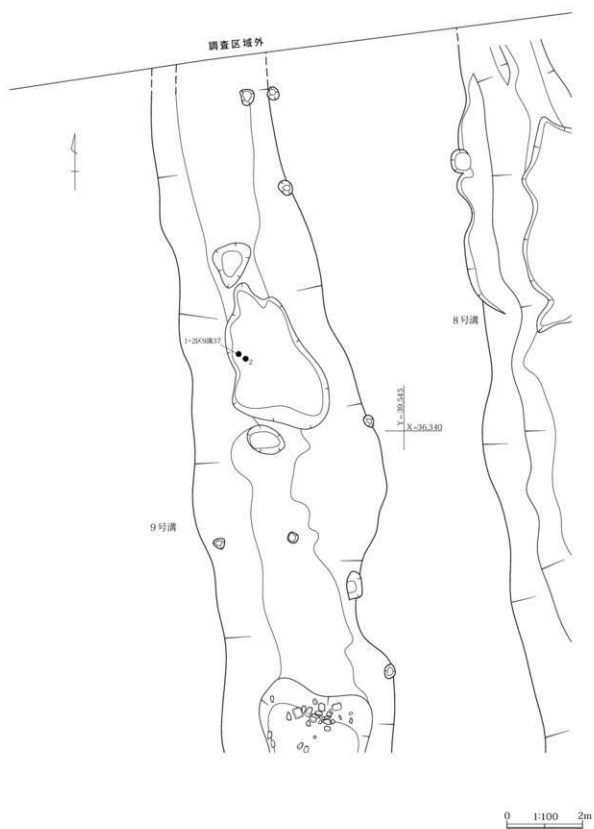
4区16・17・18号溝



4区22号溝

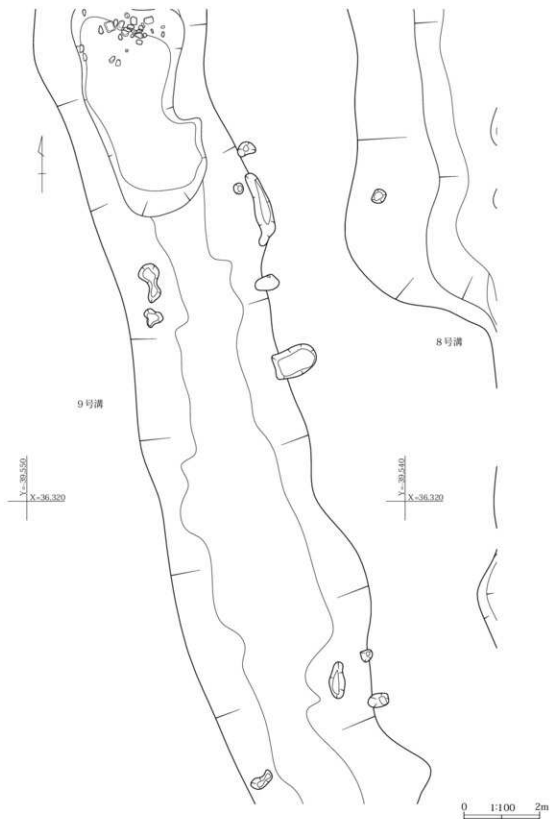


第600図 4区16・17・18・22号溝踏平・断面図



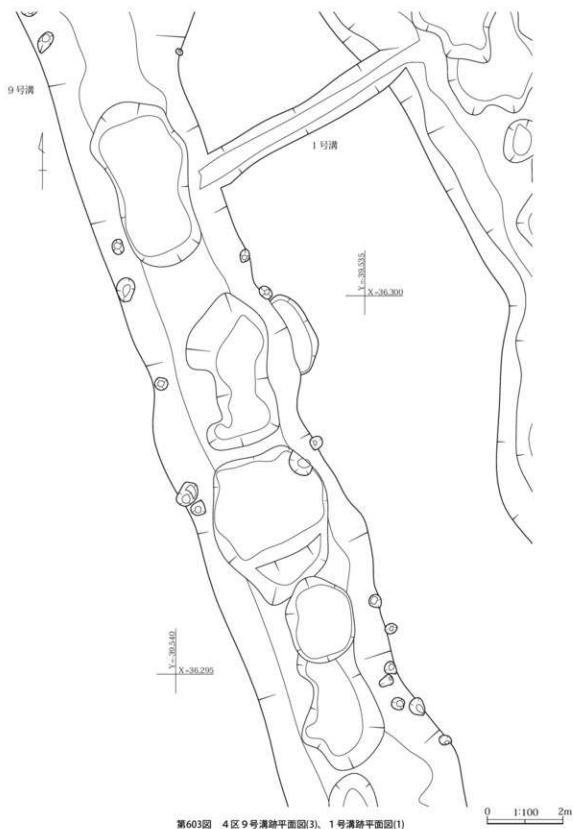
第601図 4区9号溝跡平面図(1)

4区 9号溝(2)

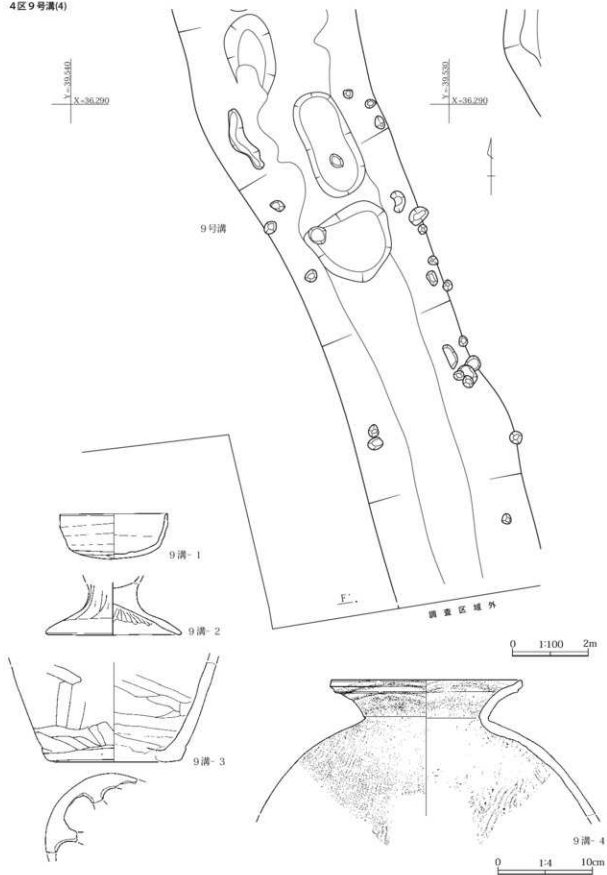


第602図 4区9号溝跡平面図(2)

4区9号溝(3) 1号溝(1)

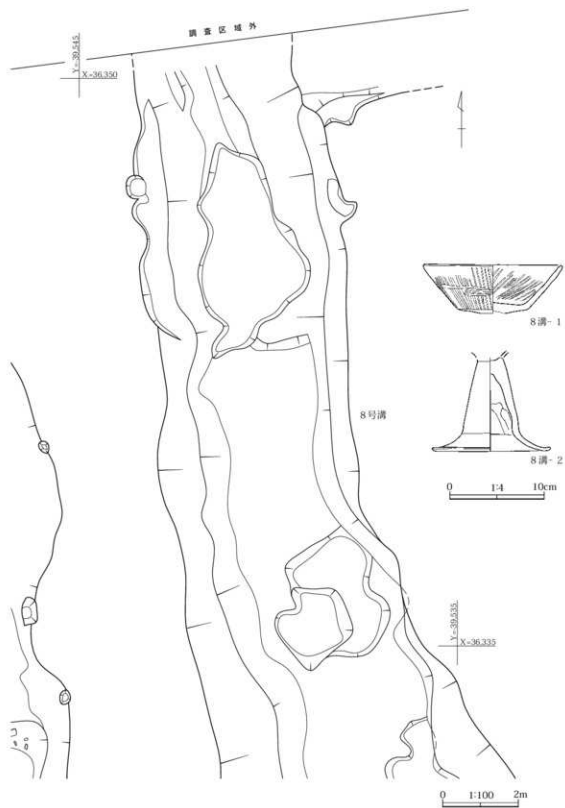


4区9号溝(4)



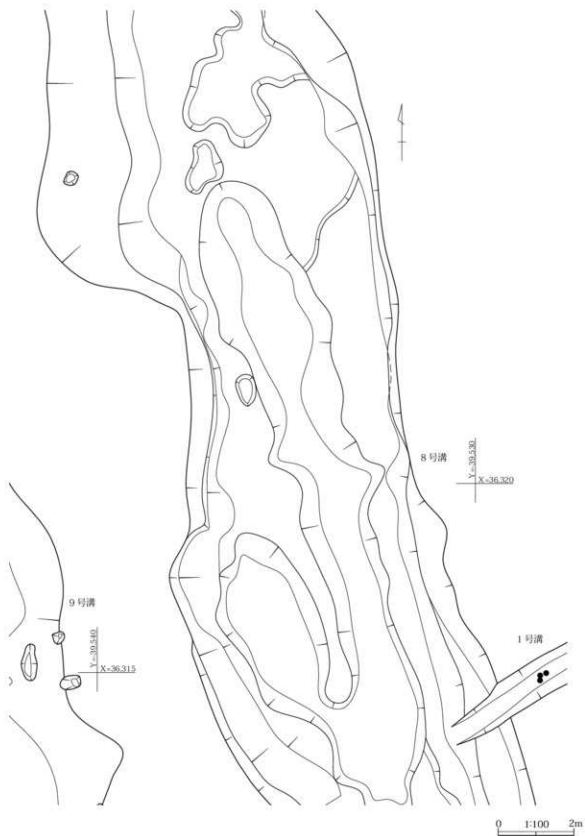
第604図 4区9号溝跡平面図(4)、出土遺物(1)

4区8号溝(1)



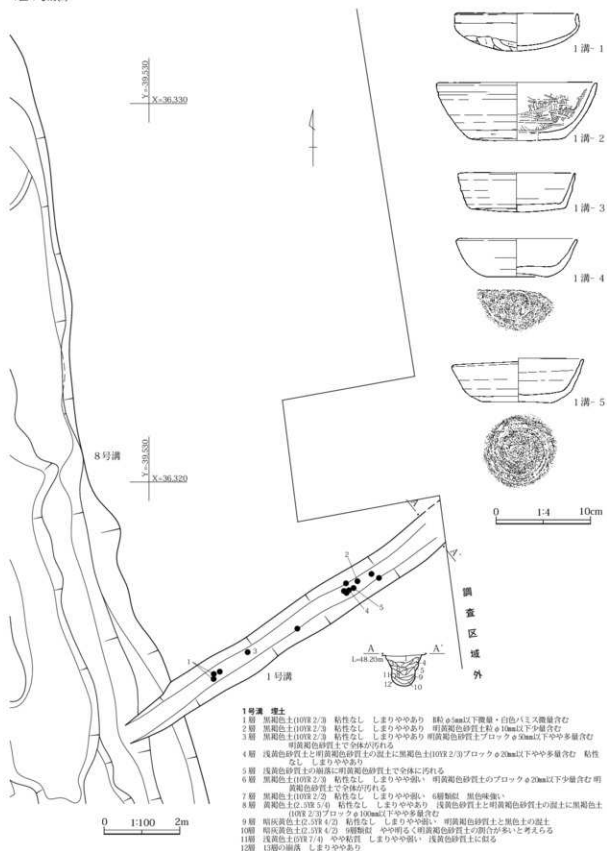
第605図 4区8号溝跡平面図(1)、出土遺物(1)

4区8号溝(2)



第606図 4区8号溝跡平面图(2)

4区1号溝(2)



第607図 4区1号溝跡平・断面図・出土遺物

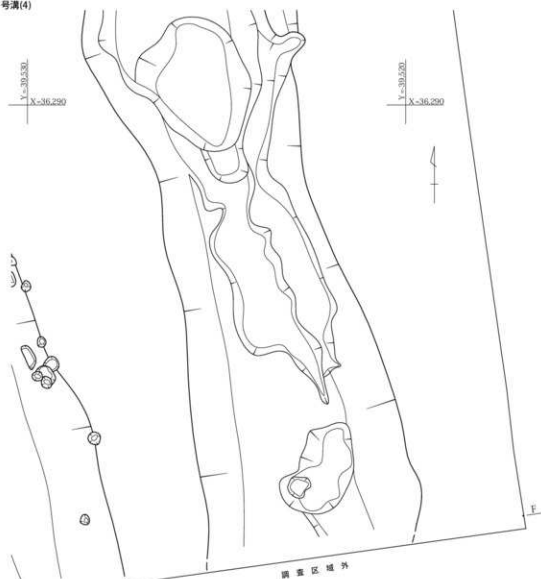
4区8号溝(3)



第608図 4区8号溝跡平面図(3)

第3章 検出遺構と出土遺物

4区8号溝(4)



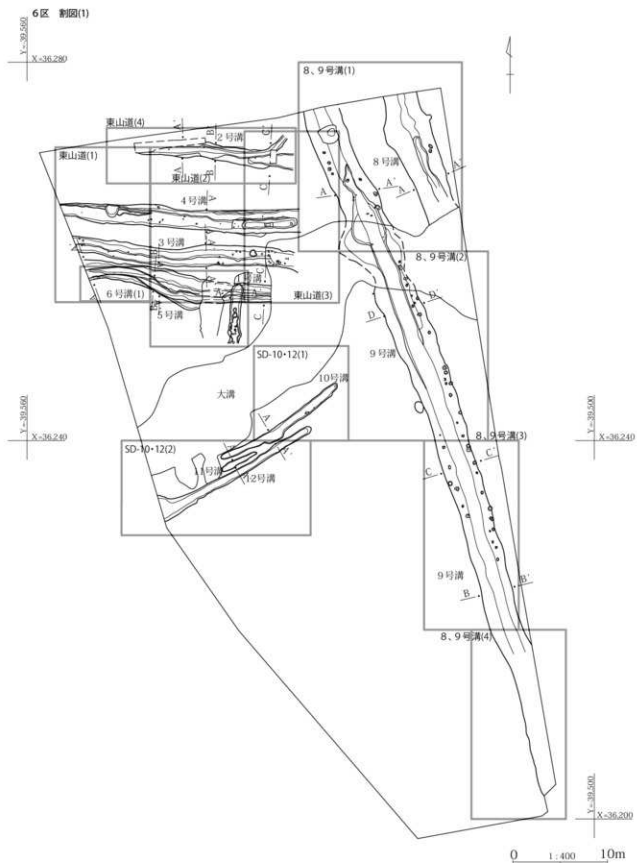
F
L=約10m



8、9号溝南壁 埋土

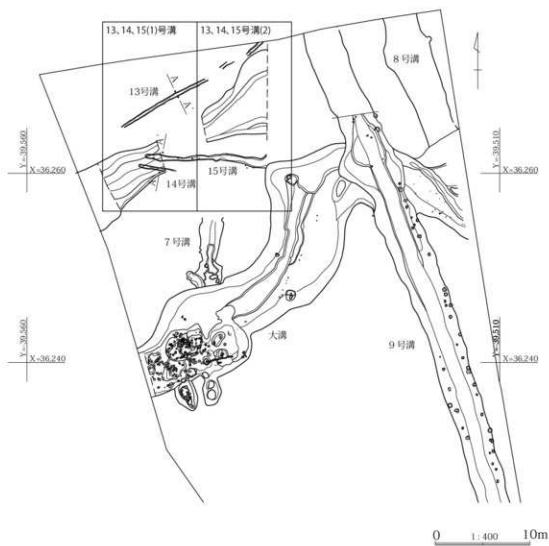
- 1層 黒灰色砂質土(10R 3/3) ローム小ブロッケ・灰色シルトブロック等を含む 赤土
- 2層 黒灰色砂質土(10R 3/3) 浅間B軽石混土
- 3層 黒灰色砂質土(10R 3/3) 浅間B軽石とローム粘土を含む(浅間B軽石は隙間埋め少)
- 4層 浅間B軽石 純層
- 5層 黒灰色土(10R 3/3) 白色軽石(浅間C+種名ニッ坊)を含む
- 6層 黒灰色土(10R 4/1) 白色軽石(浅間C+種名ニッ坊)を含む
- 7層 上部、黄褐色土(10R 6/3)～黄褐色土(10R 8/3) 輪郭砂質土・浅黄褐色砂質ローム土ベースの巨礫オーバーフロー堆積
- 8層 灰黄褐色砂質土(10R 4/2) 少量の白色軽石(種名ニッ坊軽石+浅間C軽石)を含む
- 9層 黒灰色砂質土(10R 3/3) 少量の白色軽石(種名ニッ坊軽石+浅間C軽石)を含む
- 10層 黒灰色砂質土(10R 4/1) 少量の白色軽石(種名ニッ坊軽石+浅間C軽石)を含む
- 11層 灰黄褐色砂質土(10R 4/2) 少量の白色軽石(種名ニッ坊軽石+浅間C軽石)を含む
- 12層 灰黄褐色砂質土(10R 5/2) 少量の白色軽石(種名ニッ坊軽石+浅間C軽石)を含む
- 13層 黒灰色砂質土(10R 3/3) 少量の白色軽石(種名ニッ坊軽石+浅間C軽石)を含む
- 14層 黒灰色土(10R 6/1)～灰色土(10R 6/1) 砂礫層土・粗粒砂・小円礫(φ5～15mm)
- 15層 上部、黄褐色土(10R 6/3)～黄褐色土(10R 6/3) 7層土に類似(浅黄褐色砂質ローム土に黒・粗粒砂+小円礫を含む)
- 16層 黒灰色土(10R 6/1)～灰色砂礫土(2R 6/1) 黒・粗粒砂・小円礫(φ5～20mm)層の互層堆積
- 17層 黒灰色土(10R 4/1) 少量の7層土ブロック(φ5～15mm)を含む
- 18層 黒灰色土(10R 4/1) 少量の7層土ブロック(φ5～20mm)を含む

第609図 4区8号溝踏平・断面図(4)



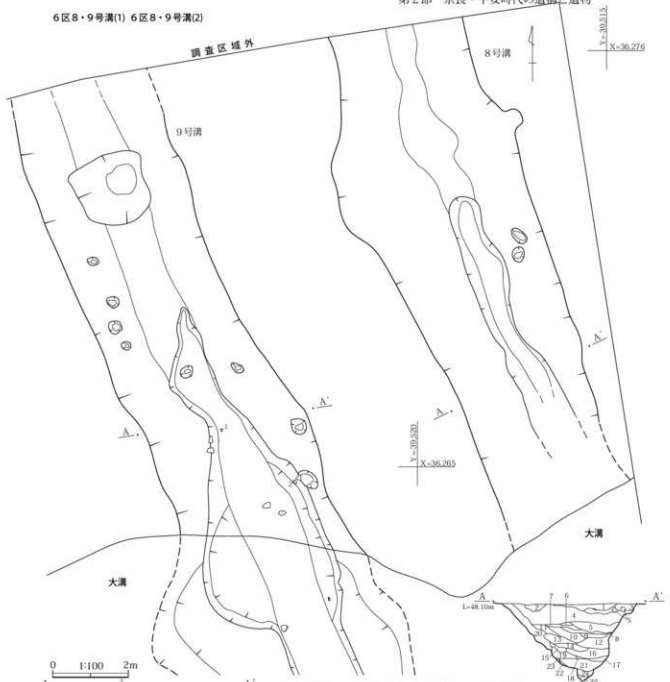
第610図 6区溝跡割図(1)

6区 割図(2)



第611図 6区溝跡割図(2)

6区8・9号溝(1) 6区8・9号溝(2)



- 9号溝 埋土
- 1層 黒褐色土(D01R 2/2) 黒褐色土と灰褐色砂質土が互層に水平堆積
 - 2層 黒褐色土(D01R 3/2) 黒褐色土と灰褐色砂が傾斜に水平堆積・白色軽石少量
 - 3層 黒褐色土(D01R 3/2) 褐色砂・白色軽石(粘)
 - 4層 黒褐色土(D01R 2/2) 褐色砂・灰褐色砂が筋状に入る 白色軽石粒多量
 - 5層 暗灰色土(D01R 4/2) 砂質土・白色軽石(粘)中や多い 焼土粒
 - 6層 暗灰色土(D01R 4/2) 褐色砂とローム小ブロック・黒褐色土・炭化物・焼土粒の混入が互層に堆積
 - 7層 青灰色土(DP5 5/1) 細砂粒主体 黄褐色砂・細砂が混在に堆積
 - 8層 明灰色土(D01R 7/1) 細砂粒主体 黄褐色砂が筋状に堆積
 - 9層 暗灰色土(D01R 4/2) 灰色砂とローム粒・黒褐色土の混入
 - 10層 明黄褐色土(D01R 7/1) ローム土・ロームブロック主体 暗灰色土と互層(少量の焼土も混入)
 - 11層 黒褐色土(D 3/1) 黒褐色土と灰褐色砂質土の互層

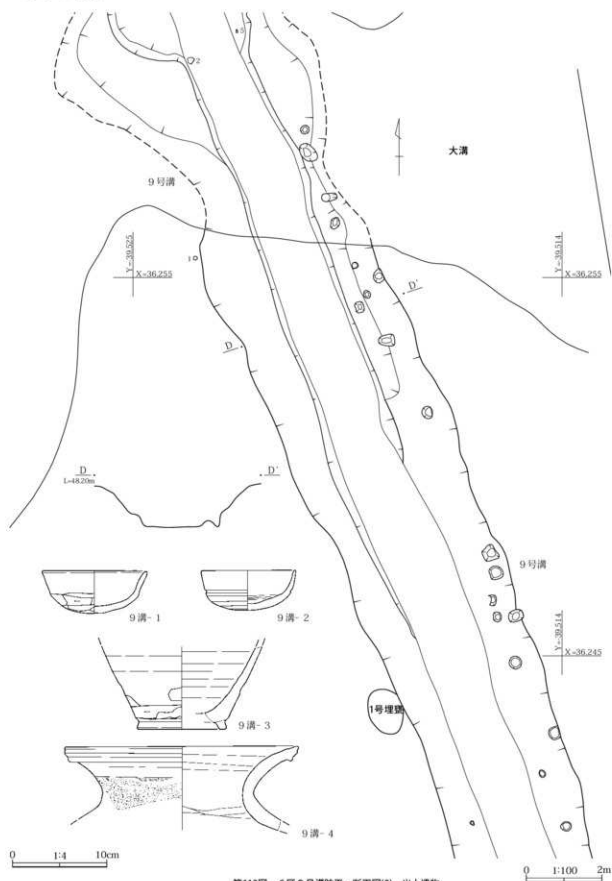
- 12層 暗灰色土(D 5/5/2) 暗灰色砂質土・小礫少量 白色軽石粒少量
- 13層 灰黄褐色土(D01R 4/2) 暗灰色砂質土
- 14層 灰黄褐色土(D01R 4/2) 暗灰色砂質土・黒褐色土ブロック・白色軽石粒中や多い
- 15層 灰オリーブ色土(D 6/2) 炭化物の碎屑と焼土粒
- 16層 灰オリーブ色土(D 6/2) 黒褐色土ブロック・灰色砂ブロック・白色軽石和微塵(土層の崩壊土含む)
- 17層 灰オリーブ色土(D 6/2) 細砂主体
- 18層 オリーブ黒色土(D 3/1) 砂粒-φ30mm小礫主体
- 19層 オリーブ黒色土(D 3/1) 細砂主体・ローム粒・焼土粒微塵
- 20層 灰オリーブ色土(D 6/2) 細砂主体
- 21層 オリーブ黒色土(D 3/1) 細砂主体
- 22層 灰オリーブ色土(D 6/2) 細砂主体
- 23層 オリーブ黒色土(D 3/1) 砂粒-φ20mm小礫主体
- 24層 灰オリーブ色土(D 6/2) ロームブロック入・ローム小ブロック
- 25層 灰オリーブ色土(D 6/2) ロームブロック・焼土粒・微塵主体
- 26層 オリーブ黒色土(D 3/1) 砂粒-φ30mm小礫主体
- 27層 灰オリーブ色土(D 6/2) 細砂主体
- 28層 黒褐色土(DP5 2/1) 黒褐色土・ロームブロック・焼土粒・白色軽石粒・柱石

- 8号溝 埋土
- 1層 褐色土 粘性強い 砂少量含む
 - 2層 砂質 小石含む
 - 3層 礫質 砂・小石・褐色土含む
 - 4層 砂質
 - 5層 小石層 砂・褐色土含む
 - 6層 褐色土 粘性あり
 - 7層 砂質
 - 8層 小石層 砂含む
 - 9層 砂質 小石含む 黄褐色軽石含む
 - 10層 砂質
 - 11層 砂層 (境界に黒色土層入る)
 - 12層 小石層 砂含む
 - 13層 小石層 12層より粒大きい
 - 14層 砂層 小石少量含む
 - 15層 小石層 炭分のような赤褐色
 - 16層 砂層
 - 17層 砂層 炭分含む
 - 18層 小石層
 - 19層 小石層 18層より粒大きい
 - 20層 灰色砂層
 - 21層 砂層
 - 22層 褐色砂層 炭分含む
 - 23層 褐色土 砂含む
 - 24層 小石層
 - 25層 砂層

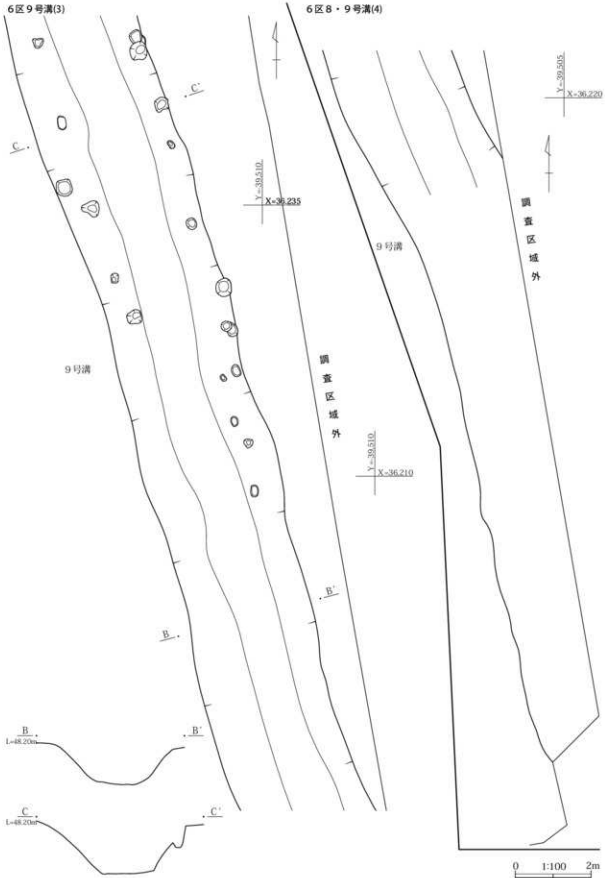
※1層～12層までに白色軽石は混入している

第612図 6区8・9号溝跡平・断面図(1)

6区8・9号溝(2)

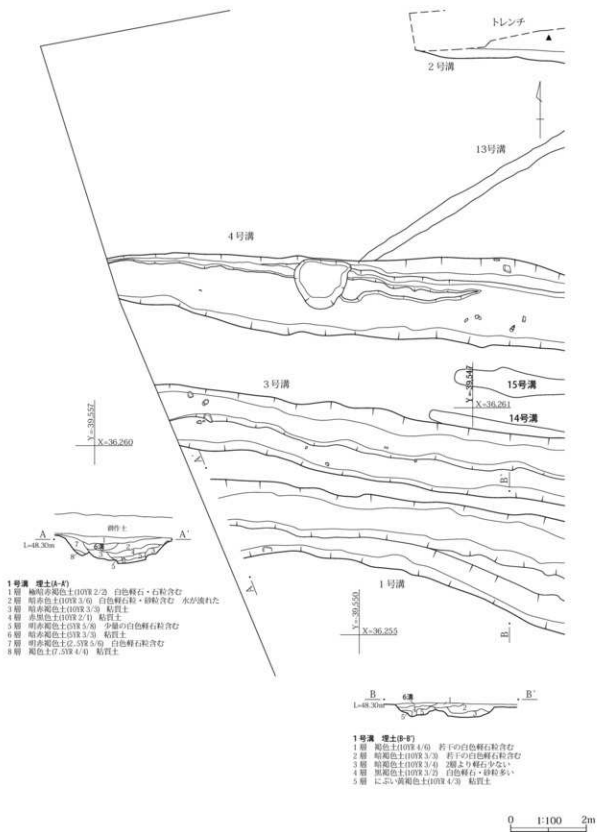


第613図 6区9号溝跡平・断面図(2)、出土遺物



第614図 6区8・9号溝跡平・断面図(3)・(4)

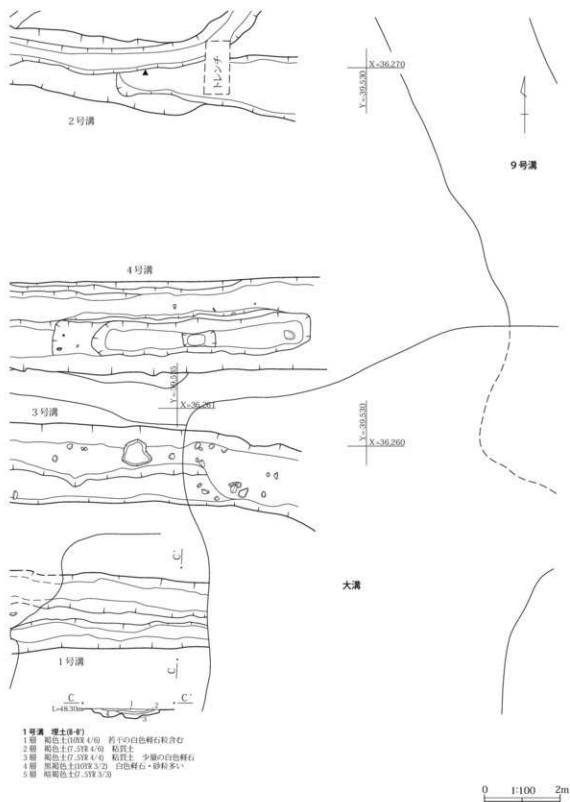
6区1・2・3・4号溝(1)



第615図 6区1・2(道路側溝)・3・4号溝跡平・断面図(1)

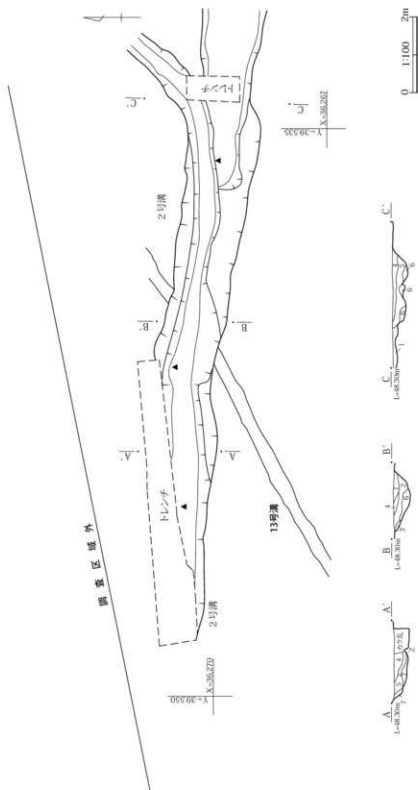
第3章 検出遺構と出土遺物

6区1・2・3・4号溝(3)



第617図 6区1・2(道路側溝)・3・4号溝跡平・断面図(3)

6区2号溝(4)

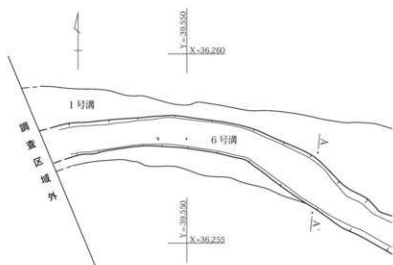


2号溝 溝土 1007.70 同層土 中層の白土層石層石
 6層 溝底上方 539.70 灰土層・粘土層のみ
 7層 溝底上方 539.70 白土層石層石
 8層 溝底上方 539.70 白土層石層石
 9層 溝底上方 539.70 白土層石層石
 10層 溝底上方 539.70 白土層石層石
 11層 溝底上方 539.70 白土層石層石

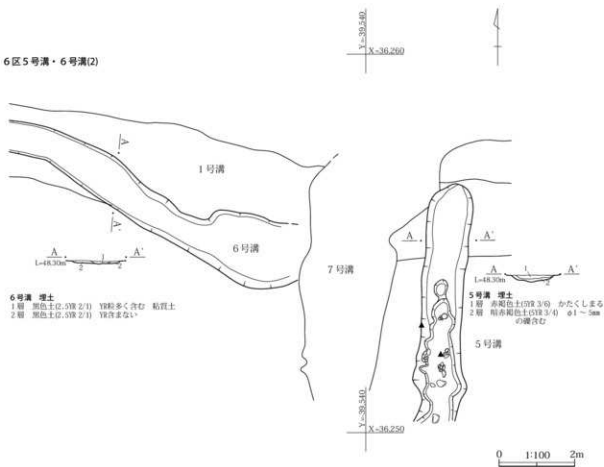
第618図 6区2(道路形溝)号溝跡平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物

6区6号溝(1)

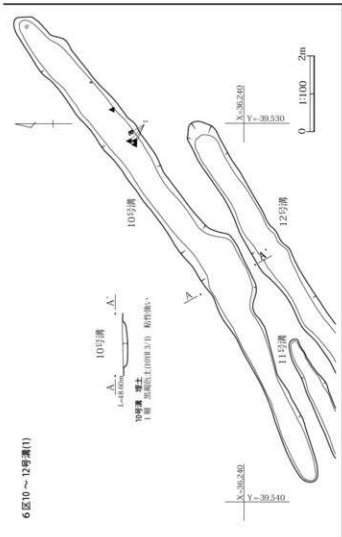


6区5号溝・6号溝(2)

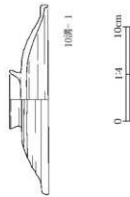
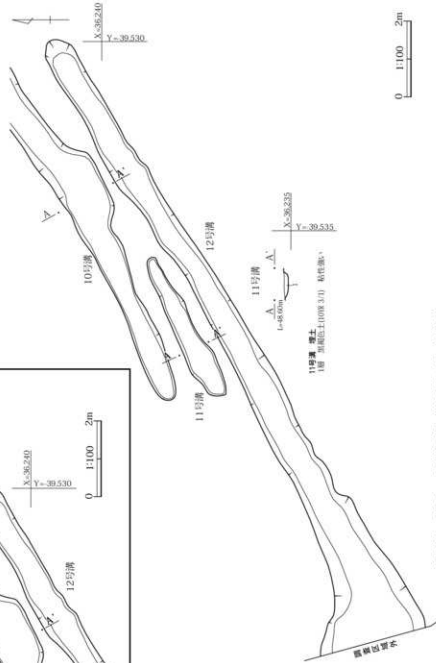


第619図 6区6号溝跡平・断面図(1)・(2)、5号溝跡平・断面図

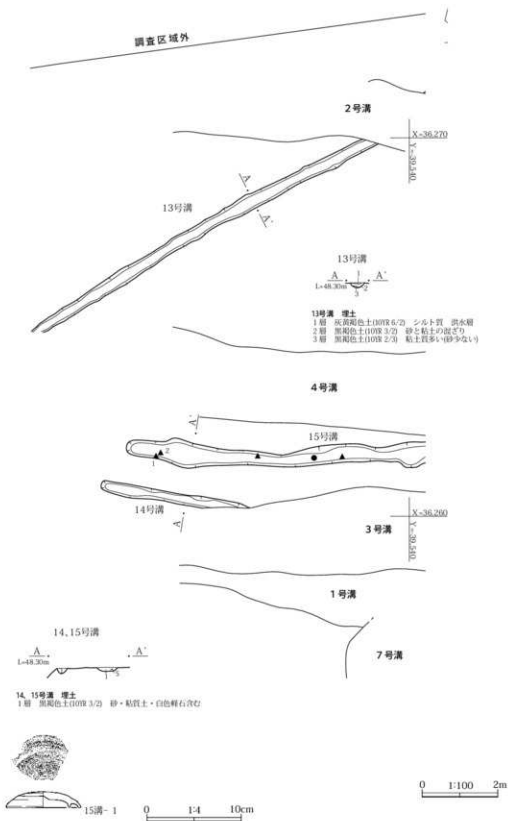
6区10～12号溝(1)



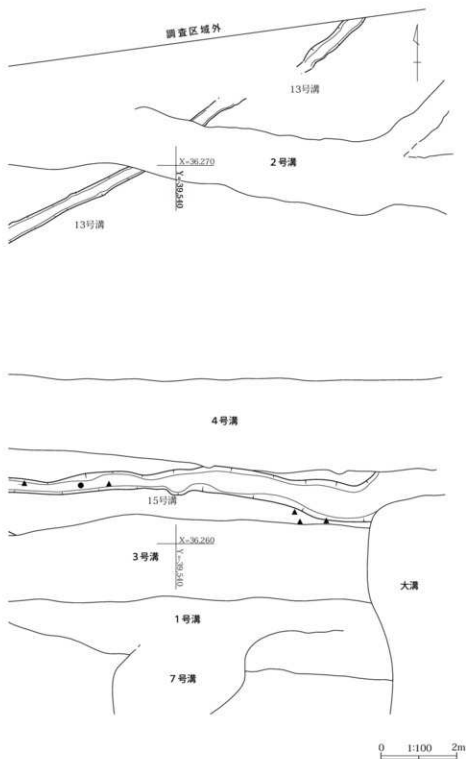
6区10～12号溝(2)



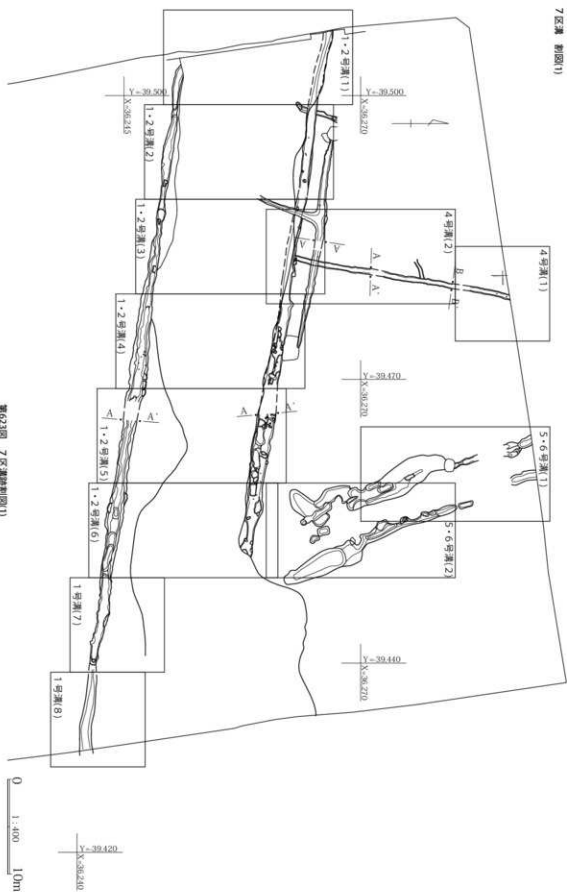
第620図 6区10～112号溝溝平・断面図(1)・(2)、出土遺物

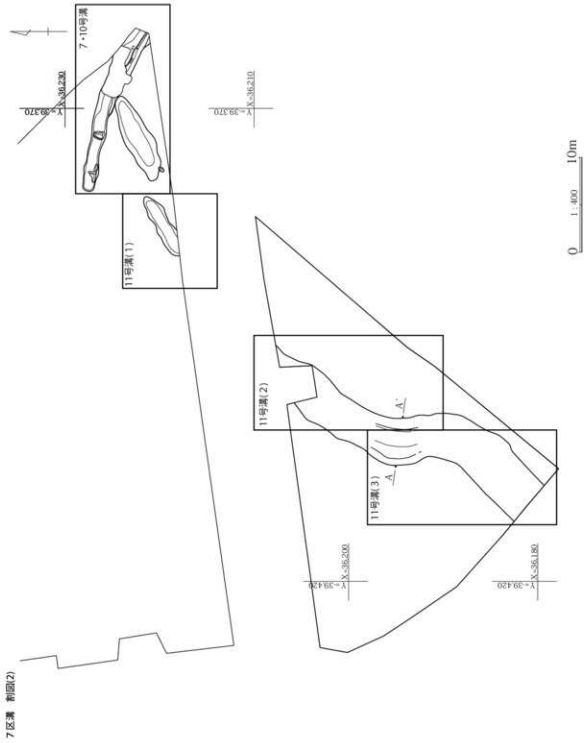


6区13・15号溝(2)

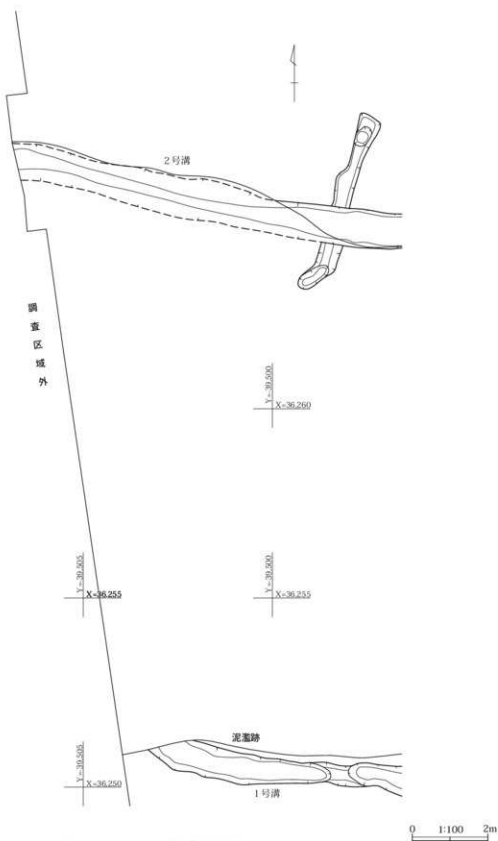


第622図 6区13・14・15号溝跡平面(2)



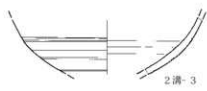
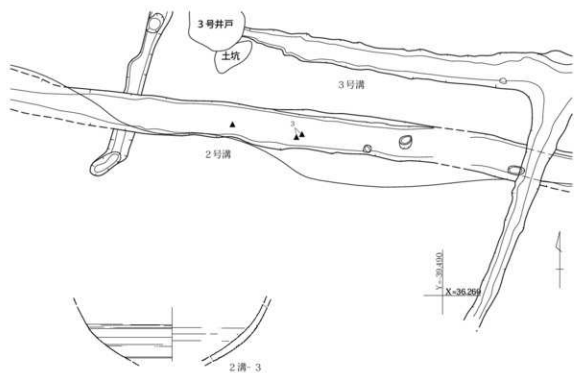


7区 1・2号溝(1)

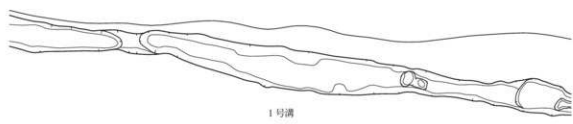


第625図 7区1・2号溝跡〔道路側溝跡〕平面図(1)

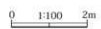
7区 1・2・3号溝(2)



泥濘跡



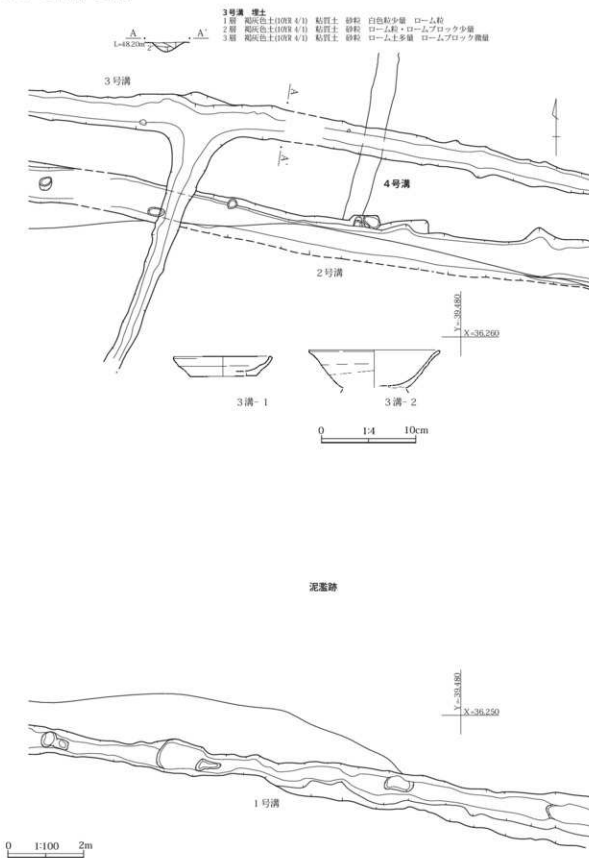
1号溝



第626図 7区1・2号溝跡〔道路側溝跡〕平面図(2)、3号溝跡(1)、2号溝跡出土遺物

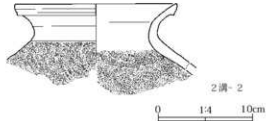
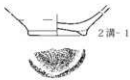
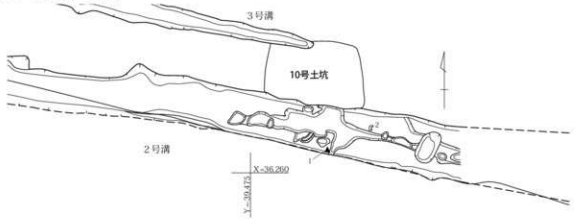
第3章 検出遺構と出土遺物

7区1・2号溝(3)・3号溝(2)

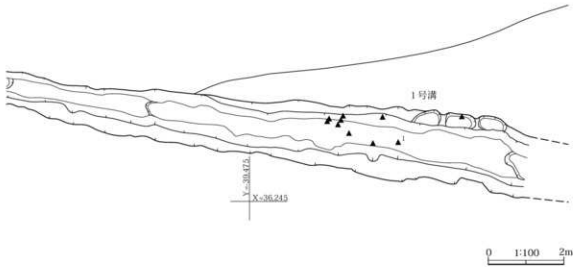


第627図 7区1・2号溝跡〔道路側溝跡〕平面図(3)、3号溝跡平・断面図(2)、出土遺物

7区1・2号溝(4)・3号溝(3)



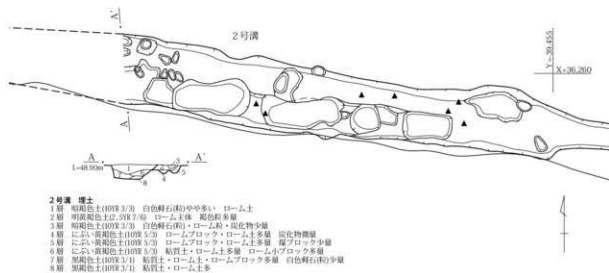
泥塗跡



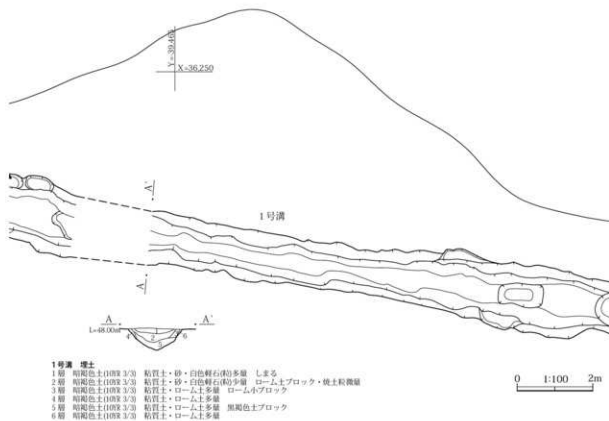
第628図 7区1・2号溝跡〔道路側溝跡〕平面図(4)、3号溝跡(3)平面図、1、2号溝跡出土遺物

第3章 検出遺構と出土遺物

7区1・2号溝(5)

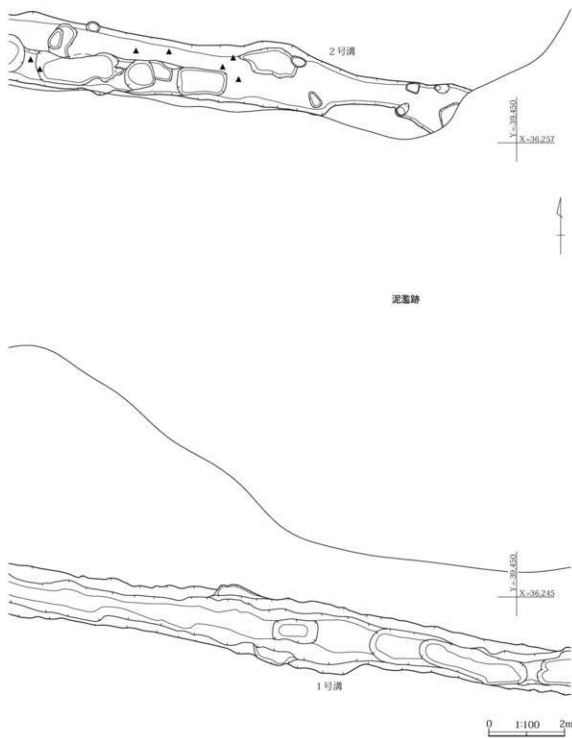


泥濘跡



第629図 7区1・2号溝跡〔道路側溝跡〕平・断面図(5)

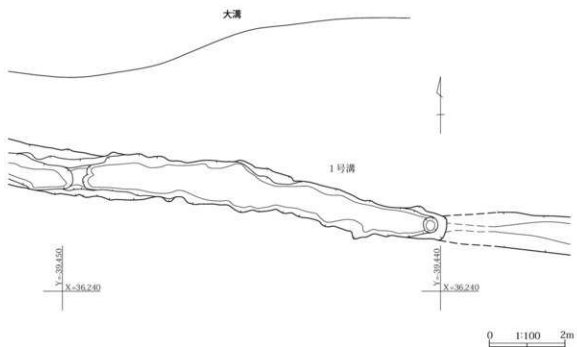
7区1・2号溝(6)



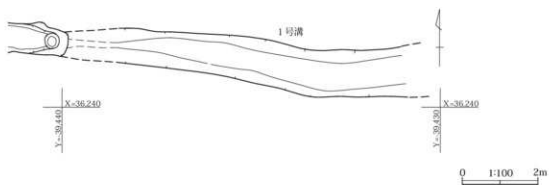
第630図 7区1・2号溝跡 [道路側溝跡] 平面図(6)

第3章 検出遺構と出土遺物

7区1号溝(7)

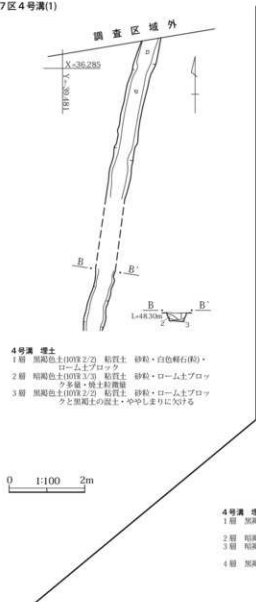


7区1号溝(8)



第631図 7区1・2号溝跡〔道路側溝跡〕平面図(7)・(8)

7区4号溝(1)

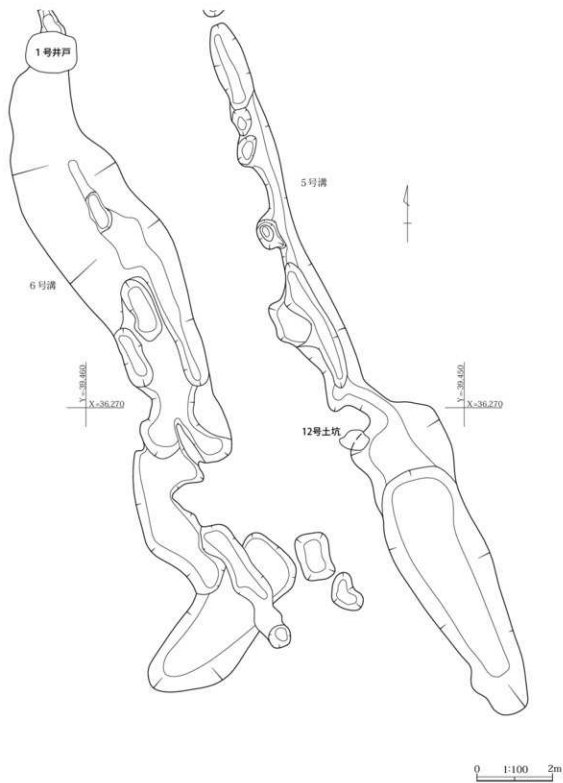


7区4号溝(2)

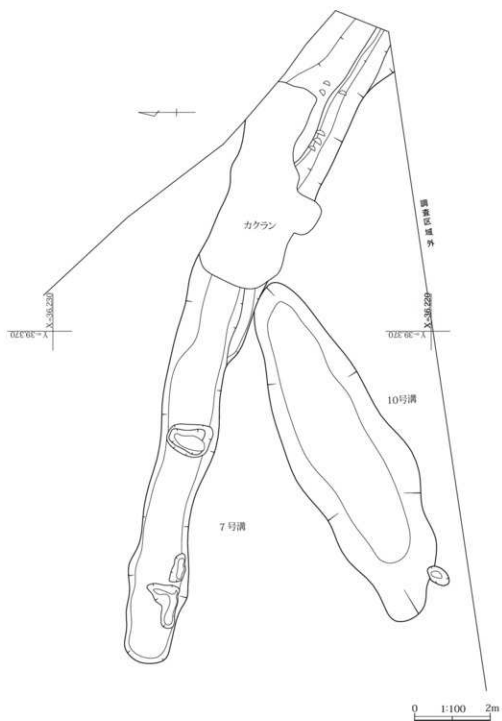


第632図 7区4号溝跡平・断面図(1)・(2)

7区5・6号溝(2)

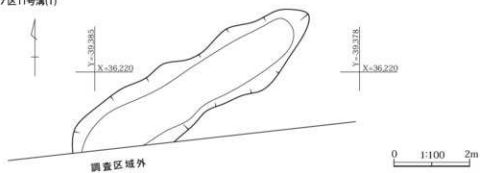


第634図 7区5・6号溝跡平面図(2)

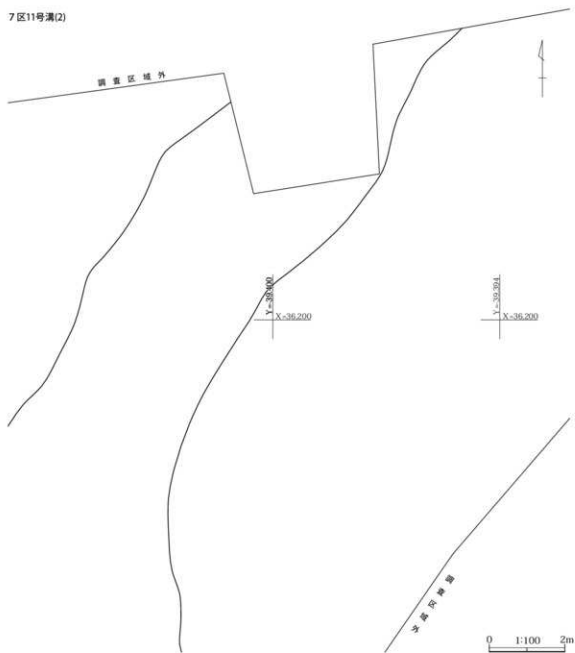


第635図 7区7・10号溝跡平面図

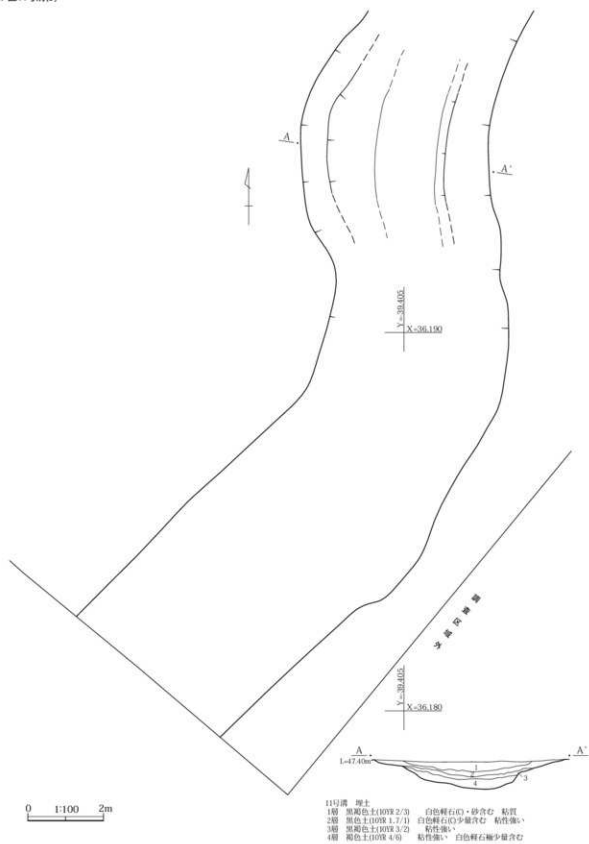
7区11号溝(1)



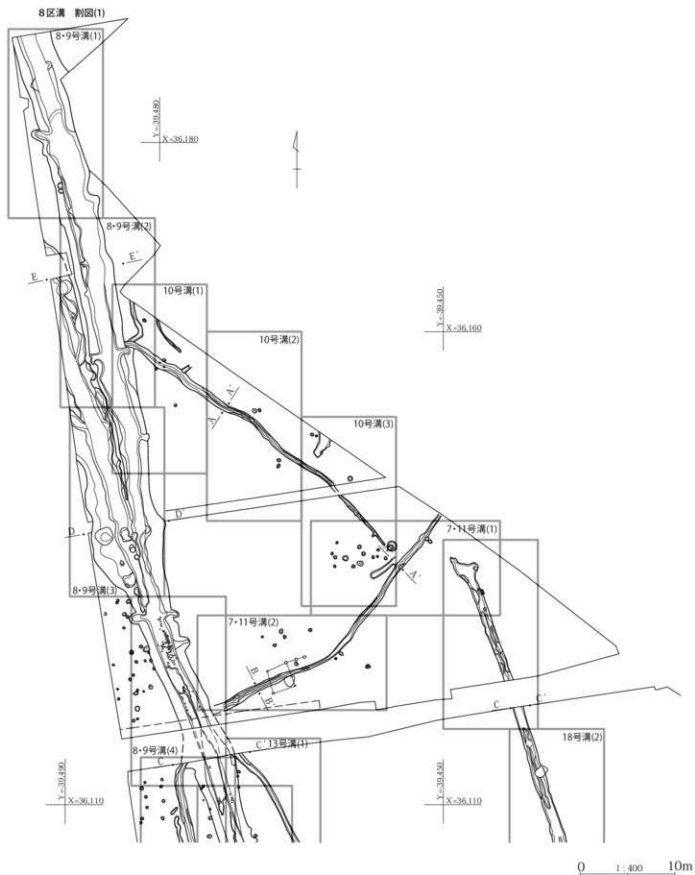
7区11号溝(2)



第636図 7区11号溝跡平面図(1)・(2)



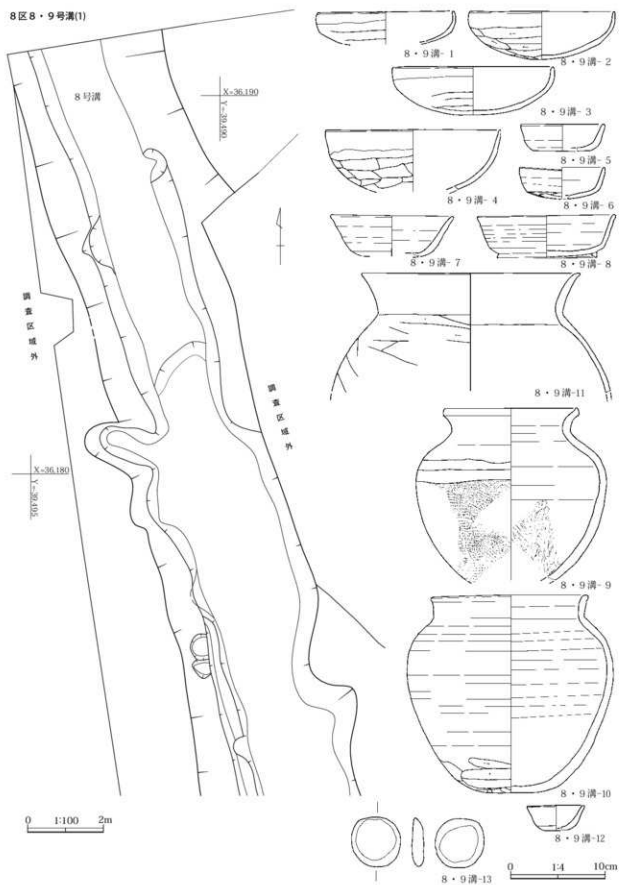
第637図 7区11号溝跡平・断面図(3)



第638図 8区溝割図(1)



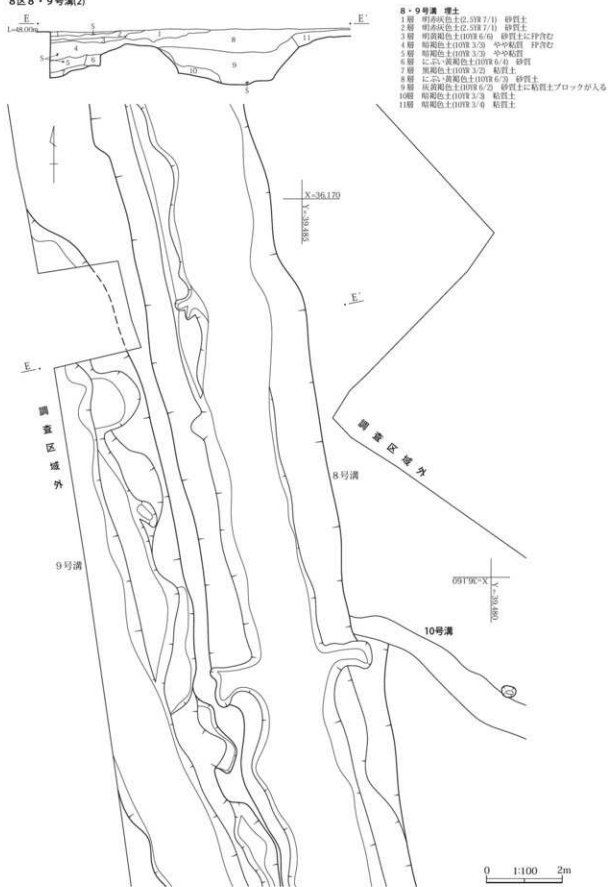
8区8・9号溝(1)



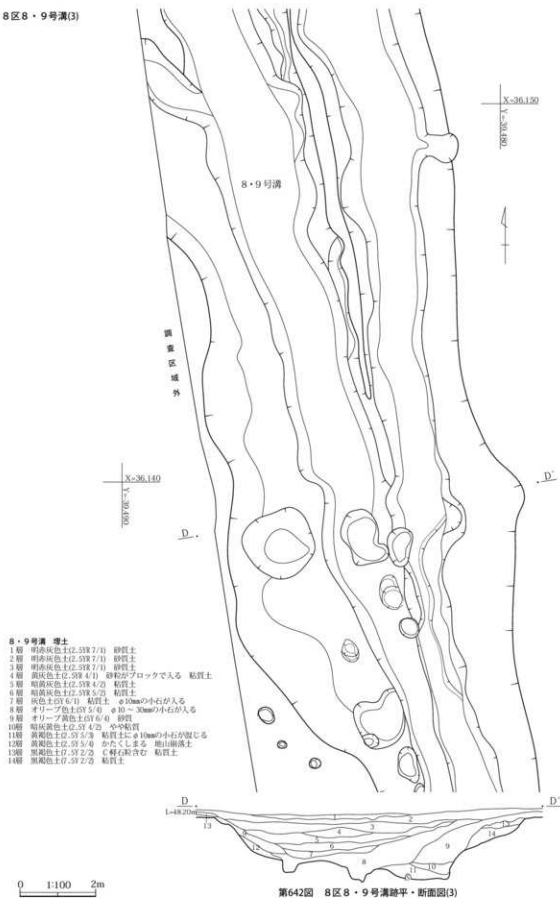
第640図 8区8・9号溝跡平面図(1)、出土遺物

第3章 検出遺構と出土遺物

8区8・9号溝(2)



8区8・9号溝(3)



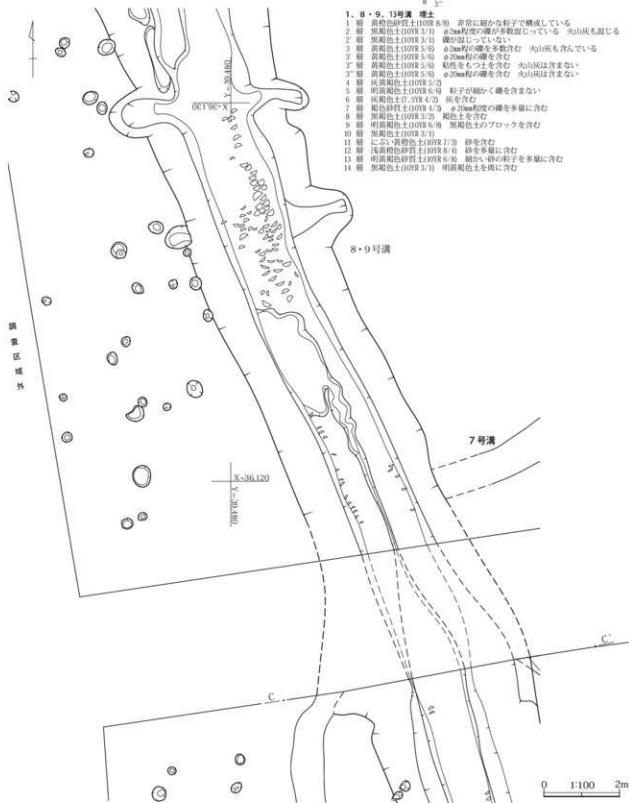
第642図 8区8・9号溝跡平・断面図(3)

8区8・9号溝(4)



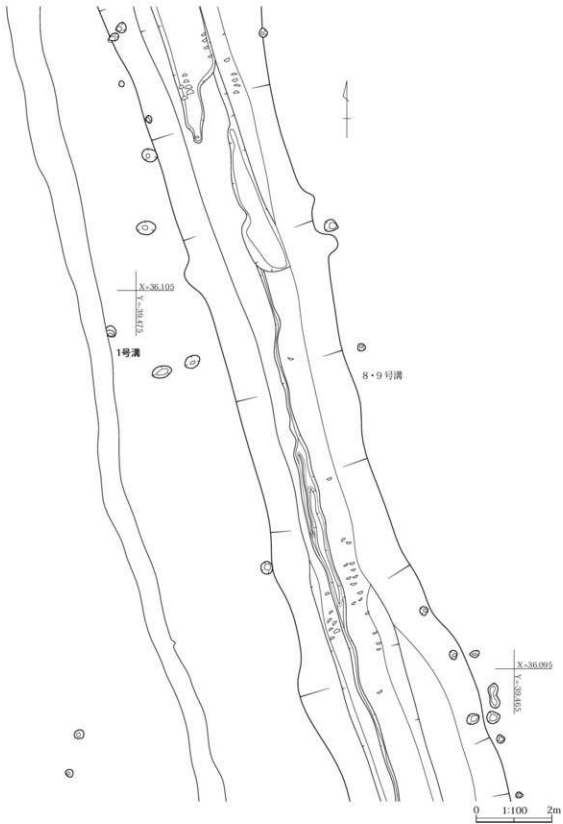
1・8・9・13号溝 埋土

- 1 層 黄褐色砂質土(100R 8/9) 非常に細かい粒子で構成している
- 2 層 黒褐色土(100R 3/7) ϕ 2mm程度の礫が多数混入している 火山灰も混入している
- 3 層 黄褐色土(100R 5/9) ϕ 2mm程度の礫を多数含む 火山灰も混入している
- 3' 層 黄褐色土(100R 5/9) ϕ 20mm程度の礫を含む
- 3'' 層 黄褐色土(100R 5/9) 軽石をもつた土を含む 火山灰は含まない
- 3''' 層 黄褐色土(100R 5/9) ϕ 20mm程度の礫を含む 火山灰は含まない
- 4 層 灰黄褐色土(100R 5/2)
- 5 層 明黄褐色土(100R 6/9) 粒子が細かく礫を含まない
- 6 層 灰褐色土(7・51R 4/2) 灰を含む
- 7 層 褐色砂質土(100R 4/3) ϕ 20mm程度の礫を多数を含む
- 8 層 黄褐色土(100R 3/2) 細砂土を含む
- 9 層 明黄褐色土(100R 6/9) 黄褐色土のブロックを含む
- 10 層 黒褐色土(100R 3/7)
- 11 層 にごり・黄褐色土(100R 7/2) 砂を含む
- 12 層 浅黄褐色砂質土(100R 8/4) 砂を多数を含む
- 13 層 明黄褐色砂質土(100R 6/9) 細かい砂の粒子を多数を含む
- 14 層 黒褐色土(100R 3/7) 明黄褐色土を塊に含む



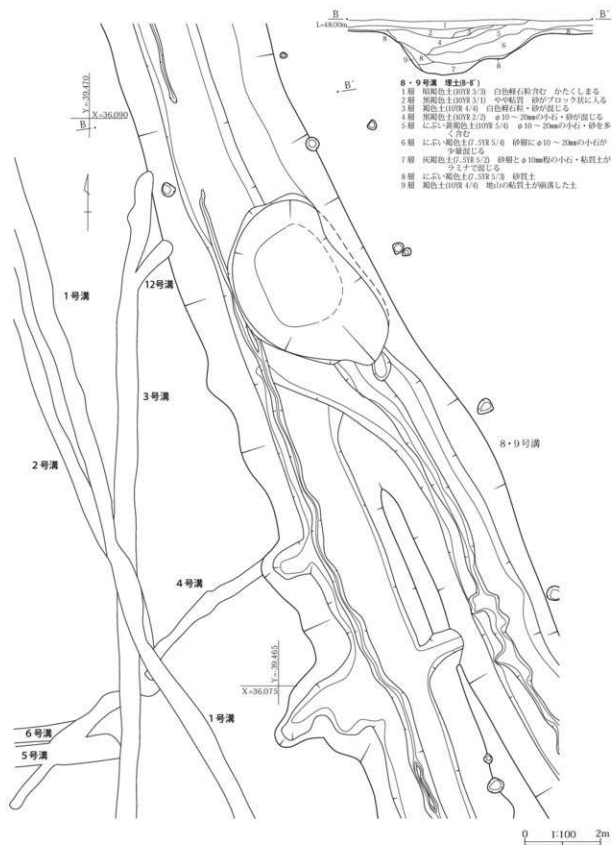
第643図 8区8・9号溝跡平・断面図(4)

8区8・9号溝(5)

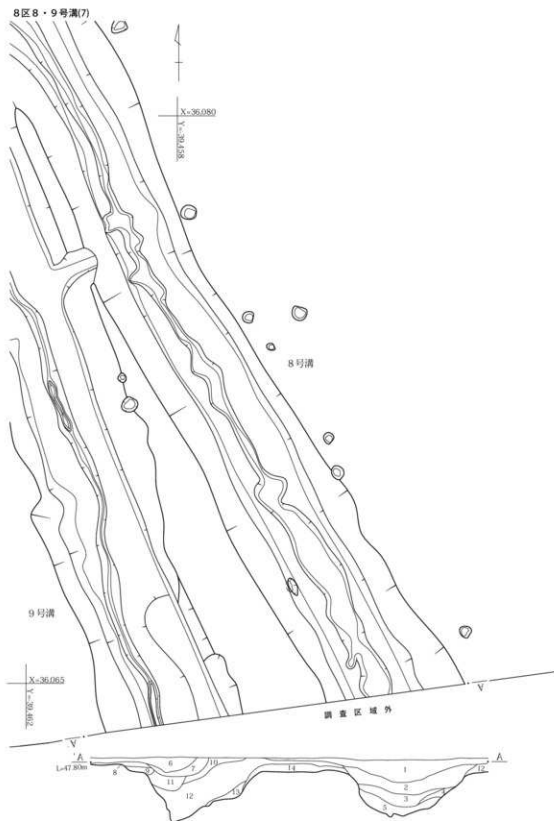


第644図 8区8・9号溝跡平面図(5)

8区8・9号溝(6)



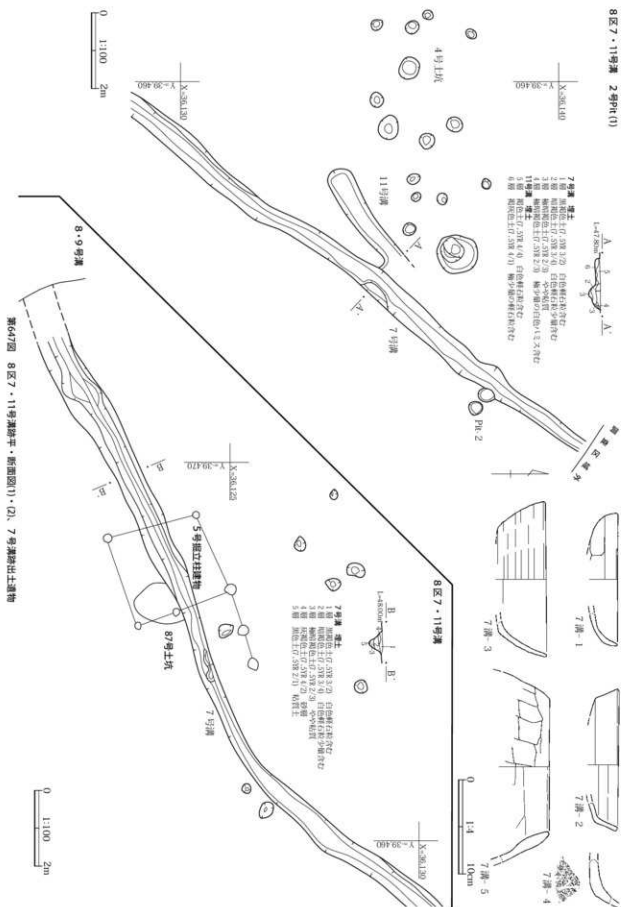
第645図 8区8・9号溝跡平・断面図(6)



8・9号溝 埋土(A-A)

- | | |
|--------------------------------------|---------------------------------|
| 1層 黒褐色土(10R 2/2) 粘質土に砂・白色輝石・少量の焼土粘着む | 8層 黒褐色土(10R 2/3) 粘質土に少量の白色輝石粘着む |
| 2層 黒褐色土(10R 3/2) 5層に黒褐色ローム土粘着む | 9層 黒褐色土(10R 2/2) 粘質土に多量の白色輝石粘着む |
| 3層 砂粘層 | 10層 黒褐色土(10R 4/4) 粘質土に砂 |
| 4層 泥じ、黄褐色土(10R 5/3) 粘質土(洪水層付) | 11層 砂粘層 |
| 5層 砂粘層 | 12層 砂粘層(下層・洪水層土部) |
| 6層 砂粘層 | 13層 褐色土(10R 4/6) 粘質土に砂粘着む |
| 7層 泥じ、黄褐色土(10R 4/3) 粘質土に砂まじる | 14層 黒褐色土(10R 2/3) 粘質土 |

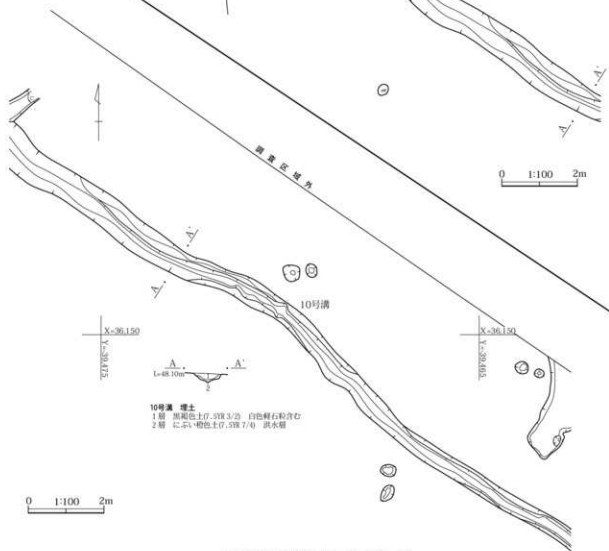
第646図 8区8・9号溝跡平・断面図(7)



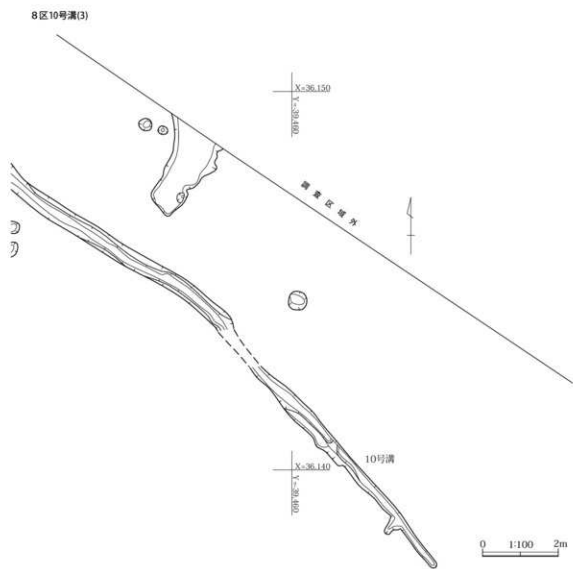
8区10号溝(1)



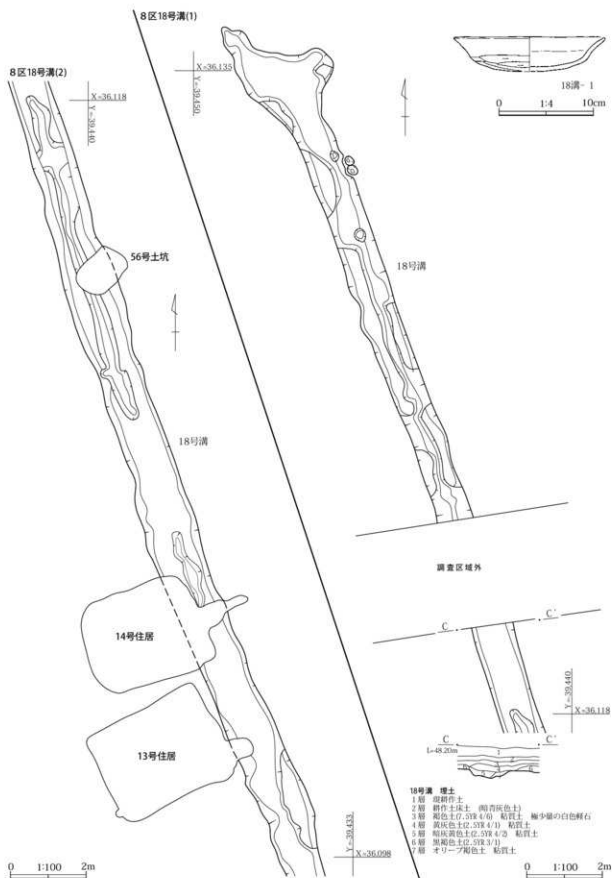
8区10号溝(2)



第648図 8区10号溝跡平・断面図(1)・(2)

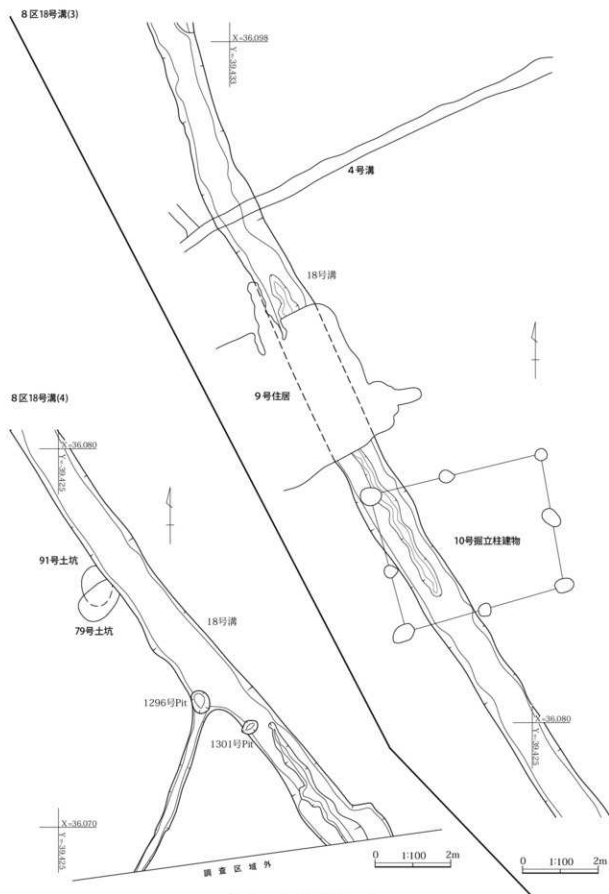


第649図 8区10号溝跡平面図(3)



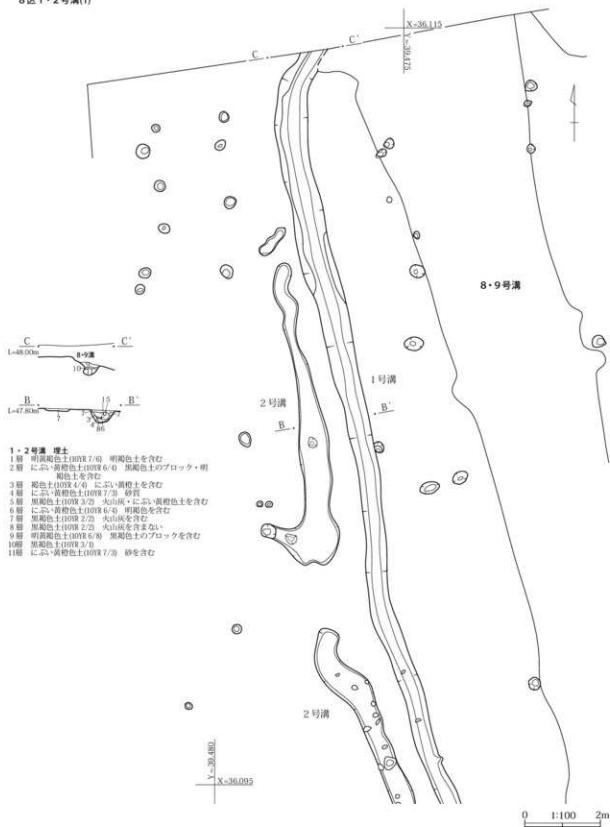
第650図 8区18号溝跡平・断面図(1)・(2)、出土遺物

第3章 検出遺構と出土遺物



第651図 8区18号溝跡平面図(3)・(4)

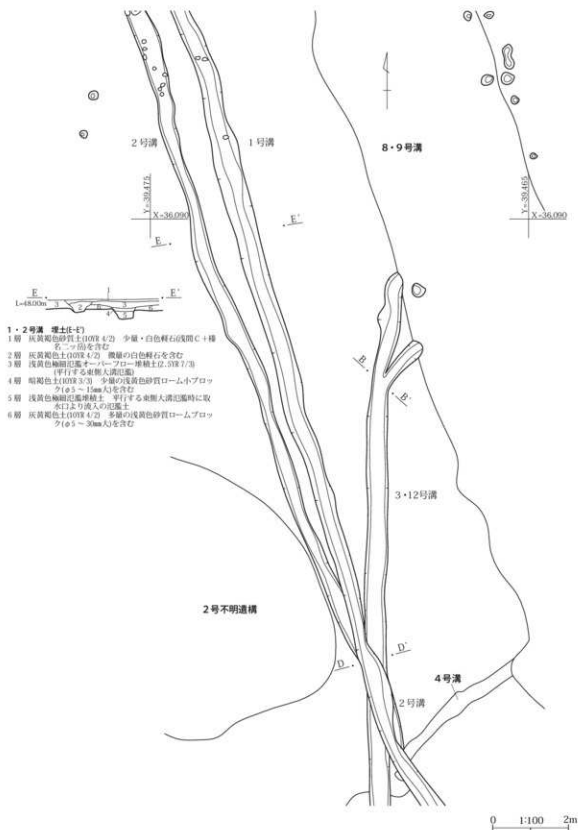
8区1・2号溝(1)



第652図 8区1・2号溝跡平・断面図(1)

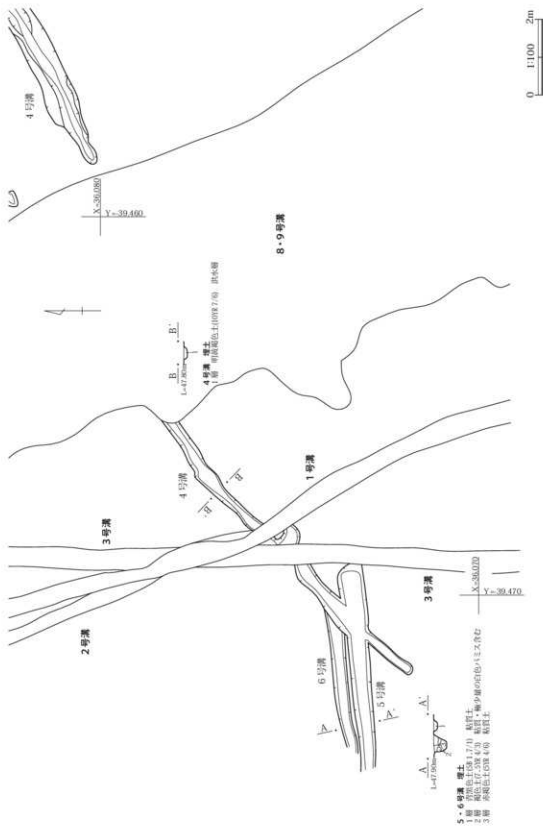
第3章 検出遺構と出土遺物

8区1・2・3・12号溝(2)



第653図 8区1・2・3・12号溝跡平・断面図(2)

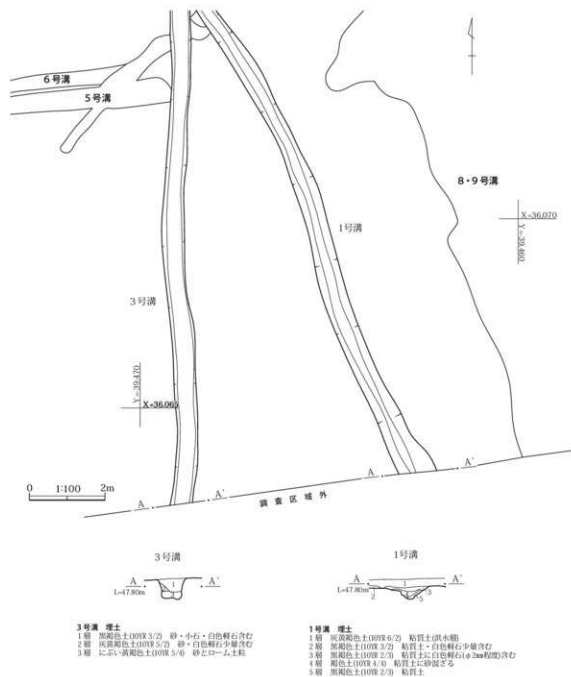
8区4・5・6号溝(4)



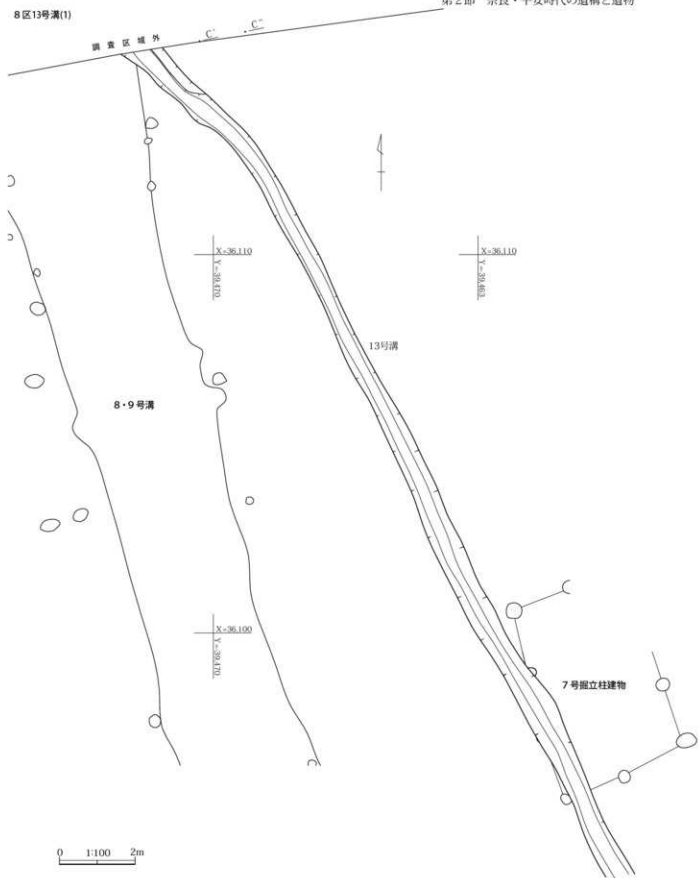
第654図 8区4・5・6号溝跡平・断面図(4)

第3章 検出遺構と出土遺物

8区1・3号溝(3)



第655図 8区1・3号溝跡平・断面図(3)



第656図 8区13号溝跡平面図(1)

第3章 検出遺構と出土遺物

8区13号溝(2)

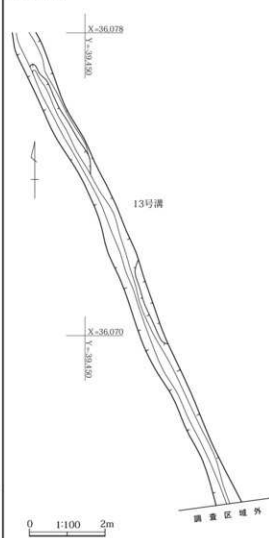


13号溝 埋土

- 1層 灰褐色土(10R 3/2) 多量の白色軽石を含む
- 2層 灰黄褐色土(10R 6/2) φ50mm程度の黒褐色のブロックを含む 明褐色の粒子を表面に広い部分で含む 微量の白色軽石を含む
- 3層 暗褐色土(10R 3/4) 微量の白色軽石を含む φ20mm程度の黒褐色のブロックを含む
- 4層 暗褐色土(10R 3/4) 微小の暗色の粒子を少量含む
- 5層 黄褐色土(10R 5/6) 粘性 黒褐色の粒子を多く含む φ50mm程度の黒褐色のブロックを含む
- 6層 暗褐色土(10R 3/4) 微小の白色軽石を多く含む

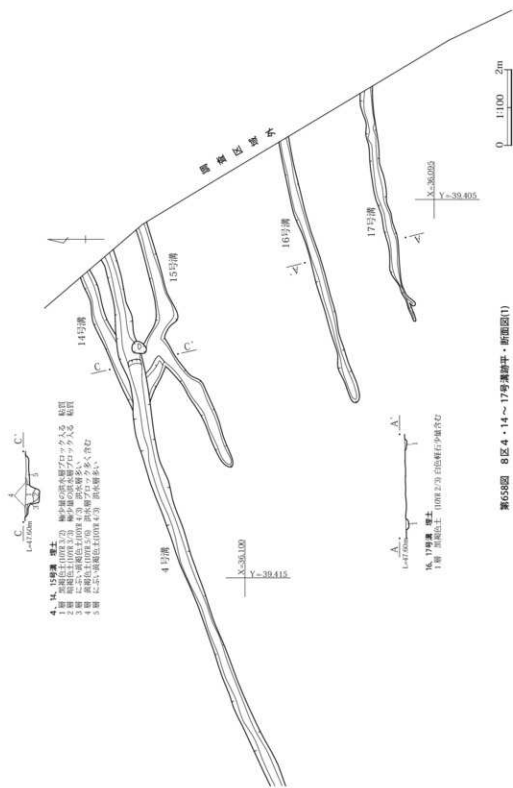


8区13号溝(3)

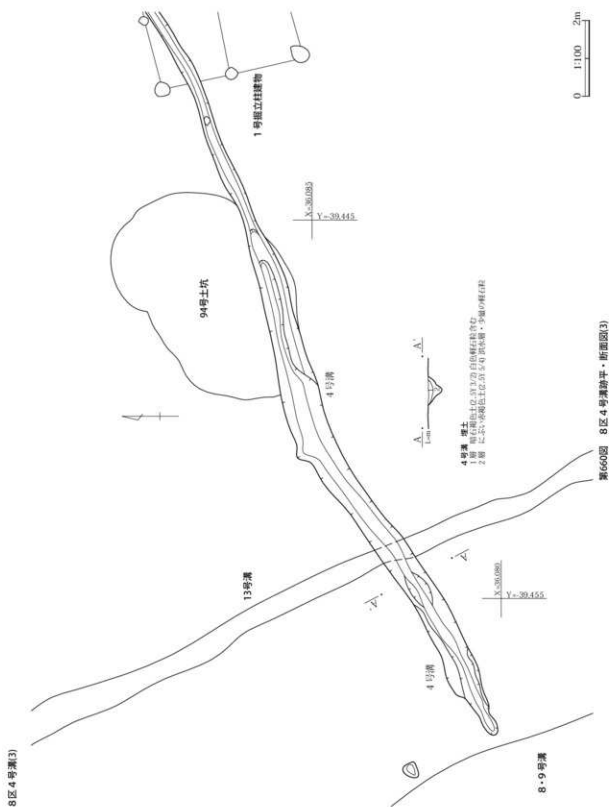


第657図 8区13号溝跡平・断面図(2)・(3)

8区4・14～17号溝(1)



第658図 8区4・14～17号溝跡平・断面図(1)



第3章 検出遺構と出土遺物

1・2区1号溝跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	黒色土器 杯	埋土中 L線部～体部 破片	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 酸化焰 ③ 黒(5Y 2/1)	ロウロ整形。 外面：L線部へう巻き。 内面：L線部調整。へう巻き。	

1・2区2号溝跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	黒色土器 杯蓋	埋土中 楕部～天井部 1/4	口径 — 楕径 2.0 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 処理 ④ 明灰(7.5YR 5/6)	ロウロ整形。 外面：天井部回転へう割り。楕附付。 内面：天井部ナテ後へう巻き。	

1・2区3号溝跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	埋土中 L線部～底部 1/3	口径 10.5 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 酸化焰 ③ にぶい焼(7.5YR 5/4)	L線部内湾。 外面：L線部横ナテ。体部ナテ、底部手持ちへう割り。 内面：L線部～体部横ナテ。底部ナテ。	
2	土師器 杯	底面+18cm L線部～底部 破片	口径 12.8 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい焼(7.5YR 5/4)	外面：L線部～体部横ナテ。底部へう割り。 内面：L線部～体部横ナテ。底部ナテ。	器面厚減。
3	須恵器 杯蓋	底面+26cm 体部下半～天井部 天井部完形	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰(5Y 5/1)	ロウロ整形。 外面：体部回転ナテ。底部回転へう割り。 内面：体部回転ナテ。底部ナテ調整。	
4	須恵器 杯	埋土中 L線部～底部 破片	口径 10.0 底径 — 器高 2.7	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰(5Y 5/0)	ロウロ整形。 外面：L線部～体部回転ナテ。底部回転へう割り。 内面：L線部～底部回転ナテ調整。	杯蓋か
5	須恵器 鉢	底面+32cm L線部～底部 器高 1/2	口径 11.6 底径 — 器高 6.4	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(5Y 7/2)	ロウロ整形。 外面：L線部～体部回転ナテ。底部手持ちへう割り調整。 内面：L線部～底部回転ナテ調整。	
6	須恵器 甕	底面+25cm L線部～頸部 破片	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰(5Y 4/0)	ロウロ整形。 外面：L線部横ナテ。凹線区画と波状文を頸部にも4段無文。 内面：L線部～頸部横ナテ。	
7	須恵器 甕	埋土中 L線部～頸部 破片	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(5Y 4/0)	ロウロ整形。 外面：L線部横ナテ。5～7条単位の間凹線区画と3段以上の波状文あり。 内面：L線部～頸部横ナテ。	

1・2区4号溝跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 樽	埋土中 底部 底部と高台のみ残存	口径 — 底径 7.0 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(5Y 7/1)	ロウロ整形。回転石回り。 外面：底部回転へう割り。高台附付。 内面：底部回転ナテ調整。	
2	須恵器 甕	底面+7cm L線部～頸部 破片	口径 24.6 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 青黒(10B 1.7/1)	ロウロ整形。 外面：L線部横ナテ。頸部叩き目。 内面：L線部～頸部横ナテ。	器部外面に百煎輪付。

1・2区5号溝跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	底面直上 L線部～底部 破片	口径 11.2 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい焼(7.5YR 5/4)	外面：L線部横ナテ。体部ナテ、底部手持ちへう割り。 内面：L線部～体部横ナテ。底部ナテ。	
2	須恵器 甕	底面直上 L線部～頸部 破片	口径 24.6 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 青黒(5B 1.7/1)	ロウロ整形。 外面：L線部横ナテ。頸部に波状文あり。 内面：L線部～頸部横ナテ。	器部外面に百煎輪付。
3	土師器 鉢	埋土中 1/2	長さ 3.0 径 1.1 孔 0.3	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい焼(10YR 6/4)	口縁・下半欠損。外面ナテ。 中心部縦に径3mmの穿孔。 重量2g	

1・2区7号溝跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	埋土中 底部 破片	口径 — 底径 5.0 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰黄(5Y 6/2)	ロウロ整形。右回りか。 外面：底部回転系切り。 内面：底部回転ナテ調整。	

1・2区8号溝跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	L線部～体部 破片	口径 20.9 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 橙炎(6Y 6/6)	外面：L線部横ナテ。体部上半ナテ、中位へう割り。L線部凹付。 内面：L線部～体部横ナテ。	河川の氾濫埋土中で出土。
2	須恵器 杯蓋	埋土中 L線部～天井部 1/5	口径 19.8 楕径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・細砂 ② 還元焰 良好 ③ 灰(5Y 6/1)	ロウロ整形。 外面：天井部上半へう割り。天井部下半～L線部横ナテ。 内面：天井部～L線部回転ナテ。	
3	須恵器 杯	氾濫埋土中 体部～底部 破片	口径 — 底径 7.0 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒・細砂 ② 還元焰 良好 ③ にぶい焼(7.5YR 5/3)	ロウロ整形。 外面：体部回転ナテ。底部回転手持ちへう割り。 内面：体部～底部回転ナテ調整。	河川の氾濫埋土中で出土。

第2節 奈良・平安時代の遺構と遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
4	須恵器 杯	埋土中 体部下端～底部 口縁部から胴部欠損	口径 7.0 底径 7.0 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(7.0)	ロウ口整形。回転器作り。 外面：口縁部回転ナデ。底部回転糸切り後、底部周辺に回転ヘラ削り。 内面：体部～底部回転ナデ調整。	
5	須恵器 碗	范系埋土中 ほぼ完形 口縁部一部欠損	口径 13.5 底径 6.4 器高 5.0	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(5.1)	ロウ口整形。回転器作り。口縁部やや外反。 外面：口縁部～底部回転ナデ。底部回転糸切り。高台胎付。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	河川の范系埋土中 で出土。
6	土師器 小笠 土師器 小笠	埋土中 口縁部～底部 一部欠損	口径 12.4 底径 8.4 器高 12.4	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 橙(2.5XR 6/6)	輪積み。 外面：口縁部横ナデ。胴部横方向へ削り～底部へ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部横ナデ。	内面は又又付 着。
7	土師器 甕	范系埋土中 口縁部～胴部 破片	口径 18.2 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい・橙(7.5XR 7/4)	輪積み。 外面：口縁部横ナデ。胴部斜め方向へ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部横ナデ。	河川の范系埋土 中で出土。

4区8号溝跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 高杯	埋土中 胴部欠損	口径 14.6 底径 - 器高 -	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 赤褐色(5XR 4/4)	胴部胎付。 外面：口縁部は横ナデ。体部はへら削り後放射状と中位に 傾斜のへら磨き。底部回転ナデ。 内面：口縁部斜放射状へら磨き。	
2	土師器 高杯	埋土中 胴部～袖部	口径 - 底径 - 器高 -	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい・黄褐色(10XR 7/3)	胴部胎付。 外面：胴部は縦方向のへら磨き。袖部は横ナデ。 内面：胴部は斜り目・輪積み。袖部は横ナデ。	

8区8、9号溝跡出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	埋土中 口縁部～体部	口径 14.2 底径 - 器高 -	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 橙(5.0)	口縁部やや内湾。 外面：口縁部横ナデ。体部上半ナデ。下半へ削り。 内面：口縁部～体部横ナデ。	
2	土師器 杯	埋土中 口縁部～底部 1/2	口径 15.2 底径 - 器高 5.1	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 橙(2.5XR 6/8)	外面：口縁部横ナデ。体部～底部手持ちへ削り。 内面：口縁部横ナデ。体部～底部ナデ。	
3	土師器 杯	埋土中 口縁部～底部 1/2	口径 16.8 底径 - 器高 5.1	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 酸化焰 良好 ③ 明赤褐色(5.0)	外面：口縁部横ナデ。体部ナデ。手持ちへ削り。 内面：口縁部～体部横ナデ。底部ナデ。	
4	土師器 杯	埋土中 口縁部～体部 1/3	口径 18.2 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 明赤褐色(5.0)	外面：口縁部横ナデ。体部へ削り。 内面：口縁部～体部横ナデ。	
5	須恵器 杯	埋土中 口縁部～底部 1/4	口径 8.6 底径 - 器高 2.8	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(5.7/1)	ロウ口整形。 外面：口縁部～底部回転ナデ。底部ナデ調整。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
6	須恵器 杯	埋土中 口縁部～底部 1/2	口径 8.8 底径 - 器高 -	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(5.7/0)	ロウ口整形。回転器作り。 外面：口縁部～体部ナデ。底部は手持ちへ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。 ロウ口整形。口縁部やや外反。	
7	須恵器 杯	埋土中 口縁部～底部 破片	口径 12.8 底径 - 器高 -	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 黄灰(2.5X 6/1)	ロウ口整形。回転器作り。 外面：口縁部～底部回転ナデ。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
8	須恵器 碗	埋土中 口縁部～底部 2/3	口径 14.3 底径 10.4 器高 4.5	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(5.7/1)	ロウ口整形。回転器作り。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転ヘラ削り。高台胎付。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
9	須恵器 甕	埋土中 口縁部～胴部 1/3	口径 13.9 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(2.5X 7/1)	ロウ口整形。 外面：口縁部～胴部上半回転ナデと回転ヘラ削り。胴部下 半平打ち直。 内面：口縁部～胴部上半回転ナデ調整。胴部下半当て具痕。	
10	須恵器 甕	埋土中 ほぼ完形	口径 16.3 底径 21.0 器高 21.0	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 中礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(7.0)	ロウ口整形。回転器作り。 外面：口縁部～胴部回転ナデ。底部手持ちへ削り。 内面：口縁部～胴部上半回転ナデ調整。胴部下半～底部ナ デ調整。	
11	土師器 甕	埋土中 口縁部～胴部上半	口径 22.9 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 橙(3.7/0)	輪積み。 外面：口縁部横ナデ。胴部横方向へ削り。 内面：口縁部横ナデ。胴部横ナデ。	
12	手捏ね 土器 杓形	埋土中 体部～底部 破片	口径 6.0 底径 2.6 器高 2.6	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい・橙(7.5XR 6/4)	手捏ね成形。 外面：体部へ削りナデ。 内面：体部～底部横ナデか。	表面焼成。
13	土製品 円盤状	埋土中 破片	口径 - 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ にぶい・橙(5XR 6/4)	全体にわたって磨いている。 外面：底部ナデ。 内面：底部ナデ。	用途不明。底部 破片

1・2区9号溝跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	底面+02cm 口縁部～底部 1/2	口径 16.0 底径 - 器高 -	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 橙(7.5XR 6/6)	外面：口縁部横ナデ。体部ナデ。底部手持ちへ削り。 内面：口縁部～体部横ナデ。底部ナデ。	
2	土師器 杯	埋土中 口縁部～体部	口径 14.0 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 内面黒色 処理 ③ にぶい・橙(7.5XR 5/4)	ロウ口整形。 外面：口縁部～底部回転ナデ。 内面：口縁部～体部ナデ後へら磨き。	

第3章 検出遺構と出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
3	杯	底面+90cm 底部 破片	口径 14.3 底径 高 —	① 細砂粒・粗砂粒・粗織 ② 酸化焼 良好 ③ 灰白(焼7.5SR/5/4)	外面：底部へう割り。 内面：底部ナデ。	底部外面中央にへう割印「×」
4	黒色土器 杯	埋土中 I線部~底部	口径 19.8 底径 高 —	① 細砂粒 ② 酸化焼 良好 内面黒色 処理	外面：I線部~体部回転ナデ。横方向へう割着き。底部へう割。 内面：I線部~底部回転ナデ後横方向割着き。	
5	杯蓋	底面+191cm 横部~I線部	口径 19.8 横径 6.7 器高 5.0	① 細砂粒・粗砂粒・粗織 ② 還元焼 良好 ③ 灰白(5.5/1)	ロウク整形。 外面：天井部回転へう割り。I線部破ナデ。積み貼付。 内面：I線部~天井部回転ナデ。	器み大きい。
6	須恵器 杯蓋	底面+97cm 天井部~I線部 2/3	口径 20.4 横径 7.7 器高 4.7	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焼 ③ 灰白・黄焼(10SR/7/2)	ロウク整形。回転石回り。 外面：天井部上半回転へう割り。天井部下平~I線部破ナデ。積み貼付。 内面：I線部~天井部回転ナデ。	
7	須恵器 杯	底面+98cm I線部~底部 破片	口径 9.2 底径 5.0 器高 3.4	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰白(6/9)	ロウク整形。 外面：I線部~体部回転ナデ。底部回転へう割りか。 内面：I線部~底部回転ナデ調整。	
8	須恵器 杯	底面+77cm I線部~底部 破片	口径 12.0 底径 7.0 器高 3.8	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 黄灰(2.5Y/4/1)	ロウク整形。 外面：I線部~体部回転ナデ。底部回転へう割り。 内面：I線部~底部回転ナデ調整。	
9	須恵器 杯	底面+88cm I線部~底部 1/4	口径 12.7 底径 7.5 器高 2.9	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰白(5/6/1)	ロウク整形。 外面：I線部~体部回転ナデ。底部回転糸切り後周囲を回転へう割り。 内面：I線部~底部回転ナデ調整。	
10	須恵器 杯	底面+97cm I線部~底部 1/6	口径 13.1 底径 8.0 器高 3.2	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焼 ③ 灰白・黄焼(10SR/7/4)	ロウク整形。I線部やや外反。 外面：I線部~体部回転ナデ。底部回転へう割り。 内面：I線部~底部回転ナデ調整。	
11	須恵器 杯	底面+97cm I線部~底部 1/2	口径 13.3 底径 9.0 器高 4.1	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰白(8/8)	ロウク整形。回転石回り。 外面：I線部~体部回転ナデ。底部回転へう割り。 内面：I線部~底部回転ナデ調整。	
12	須恵器 杯	底面+99cm I線部~底部 1/3	口径 13.3 底径 8.0 器高 4.0	① 細砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 明焼(7.5YR/7/2)	ロウク整形。回転石回り。 外面：I線部~体部回転ナデ。底部回転糸切り後周囲を回転へう割り。 内面：I線部~底部回転ナデ調整。	
13	須恵器 杯	底面+100cm I線部~底部 破片	口径 13.5 底径 7.4 器高 3.4	① 細砂粒・粗砂粒・粗織 ② 還元焼 良好 ③ 灰白(5.5/6/2)	ロウク整形。 外面：I線部~体部回転ナデ。底部回転へう割り。 内面：I線部~底部回転ナデ調整。	
14	須恵器 杯	底面+104cm I線部~底部 I線部~部分欠損	口径 13.6 底径 7.7 器高 3.6	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰白(5Y/7/1)	ロウク整形。 外面：I線部~体部回転ナデ。底部回転糸切り後、回転へう割り調整。 内面：I線部~底部回転ナデ調整。	
15	須恵器 杯	底面+106cm I線部~底部 1/2	口径 13.6 底径 7.2 器高 3.8	① 細砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 黄灰(2.5Y/6/1)	ロウク整形。回転石回り。 外面：I線部~体部回転ナデ。体部最下位と底部回転へう割り。 内面：I線部~底部回転ナデ調整。	
16	須恵器 杯	底面+108cm I線部~底部 1/2	口径 13.6 底径 8.5 器高 4.1	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰白(5Y/7/1)	ロウク整形。回転石回り。I線部やや外反。 外面：I線部~体部回転ナデ。底部回転糸切り後周囲を回転へう割り。 内面：I線部~底部回転ナデ調整。	
17	須恵器 杯	底面+25cm I線部~底部 1/3	口径 13.7 底径 8.0 器高 3.5	① 細砂粒・粗砂粒・粗織 ② 還元焼 良好 ③ 灰黄(2.5Y/7/2)	ロウク整形。 外面：I線部~体部回転ナデ。底部回転糸切り後、底部周辺は回転へう割り。 内面：I線部~底部回転ナデ調整。	
18	須恵器 杯	底面+51cm I線部~底部 1/3	口径 13.8 底径 9.4 器高 3.2	① 細砂粒・粗砂粒・粗織 ② 還元焼 良好 ③ 灰白(5/1)	ロウク整形。 外面：I線部~体部回転ナデ。底部回転へう割りか。 内面：I線部~底部回転ナデ調整。	
19	須恵器 杯	埋土中 I線部~底部 破片	口径 13.8 底径 9.1 器高 3.3	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰白(6/9)	ロウク整形。 外面：I線部~体部回転ナデ。底部回転へう割り。 内面：I線部~底部回転ナデ調整。	
20	須恵器 杯	底面+66cm I線部~底部 2/3	口径 13.8 底径 9.0 器高 3.7	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰白(5Y/8/1)	ロウク整形。回転石回りか。 外面：I線部~体部回転ナデ。底部回転へう割り。 内面：I線部~底部回転ナデ調整。	器面厚減。
21	須恵器 杯	底面+110cm I線部~底部 破片	口径 13.9 底径 7.7 器高 3.7	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 黄灰(2.5Y/6/1)	ロウク整形。I線部やや外反。 外面：I線部~体部回転ナデ。底部回転へう割り調整。 内面：I線部~底部回転ナデ調整。	
22	須恵器 杯	底面+84cm I線部~底部 1/2	口径 13.9 底径 9.0 器高 3.9	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰白(5Y/7/1)	ロウク整形。I線部やや外反。 外面：I線部~体部回転ナデ。底部回転へう割りか。 内面：I線部~底部回転ナデ調整。	器面厚減。
23	須恵器 杯	底面+88cm ほぼ方形 一部分欠損	口径 13.9 底径 9.0 器高 3.6	① 細砂粒・粗砂粒・粗織 ② 還元焼 やや不良 ③ 灰白(2.5Y/8/2)	ロウク整形。回転石回りか。 外面：I線部~体部回転ナデ。底部回転へう割り。 内面：I線部~底部回転ナデ調整。	器面厚減。
24	須恵器 杯	底面+89cm I線部~体部 破片	口径 14.1 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 黄灰(2.5Y/6/1)	ロウク整形。 外面：I線部~体部回転ナデ。 内面：I線部~体部回転ナデ調整。	
25	須恵器 杯	底面+81cm I線部~底部 2/3	口径 14.2 底径 9.6 器高 3.3	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰白(4/4)	ロウク整形。回転石回りか。 外面：I線部~体部回転ナデ。底部回転へう割り。 内面：I線部~底部回転ナデ調整。	底部外面中央にへう割印「+」

第2節 奈良・平安時代の遺構と遺物

番号	種別	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考		
26	須恵器 杯	埋土中 I.1線部~底部 1/3	I径 14.2 底径 7.8 器高 4.4	① 細砂粒・粗砂粒・繊維 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(2.57 7/1)	ロク口整形。回転石回り。 外面：I.1線部~体部回転ナデ。底部回転糸切り後、底部周辺は回転ヘラ削り。 内面：I.1線部~底部回転ナデ調整。			
27	須恵器 杯	埋土中 I.1線部~底部 1/2	I径 14.3 底径 8.9 器高 3.9	① 細砂粒・粗砂粒・繊維 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(6/1)	ロク口整形。回転石回り。I.1線部やや外反。 外面：I.1線部~体部回転ナデ。底部回転糸切り後、底部周辺はヘラ削り。 内面：I.1線部~底部回転ナデ調整。			
28	須恵器 杯	底面+91cm I.1線部~底部 2/3	I径 15.0 底径 7.8 器高 4.1	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(6/1)	ロク口整形。回転石回り。I.1線部やや外反。 外面：I.1線部~体部回転ナデ。底部回転糸切り後周辺部を回転ヘラ削り。 内面：I.1線部~底部回転ナデ調整。漆付痕。	漆付着工部。		
29	須恵器 椀	底面+76cm I.1線部~底部欠損	I径 12.0 底径 8.6 器高 3.9	① 細砂粒・粗砂粒・繊維 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(2.57 7/1)	ロク口整形。回転石回り。 外面：I.1線部~体部回転ナデ。底部回転ヘラ削り。高台貼付。 内面：I.1線部~底部回転ナデ調整。	胴部~底部内面に油煙付着。		
30	須恵器 杯	底面+87cm I.1線部~体部 破片	I径 15.7 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒・繊維 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(5 7/1)	ロク口整形。 外面：I.1線部~体部回転ナデ調整。 内面：I.1線部~体部回転ナデ調整。			
31	須恵器 椀	底面+23cm I.1線部~底部	I径 15.0 底径 6.0 器高 5.4	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(2.57 7/1)	ロク口整形。 外面：I.1線部~体部回転ナデ。底部回転ナデ調整。高台貼付。 内面：I.1線部~底部回転ナデ調整。	器面やや厚縁。		
32	須恵器 椀	底面+20cm 完形	I径 15.0 底径 6.0 器高 5.4	① 細砂粒・粗砂粒・繊維 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(5 8/1)	ロク口整形。回転石回り。I.1線部外反。 外面：I.1線部~体部回転ナデ。底部回転糸切り。高台貼付。 内面：I.1線部~底部回転ナデ調整。			
33	須恵器 高台付盤	埋土中 体部~底部 破片	I径 - 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(2.57 7/1)	ロク口整形。回転石回り。 外面：体部回転ナデ。底部回転ヘラ削り。高台貼付。 内面：体部~底部回転ナデ調整。	底部突出。		
34	須恵器 盤	底面+63cm I.1線部~底部 1/3	I径 26.7 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(6/1)	ロク口整形。 外面：I.1線部横ナデ。縁下に1段の回転ヘラ削り。底部中央部手持ヘラ削り。 内面：I.1線部~底部回転ナデ調整。			
35	須恵器 高杯	床面+23cm 台部 台部完形	I径 - 脚径 13.8 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒・繊維 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(7/1)	ロク口整形。 外面：台部回転ナデ。台部貼付。 内面：台部回転ナデ調整。			
36	須恵器 短須恵器	床面+56cm 胴部~I.1線部	I径 12.1 脚径 - 器高 4.4	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(5 7/1)	ロク口整形。回転石回り。 外面：天部回転ヘラ削り。I.1線部横ナデ。縁み吸引。 内面：I.1線部~天部回転ナデ調整。			
37	須恵器 盅	床面+32cm 胴部~底部 I.1線部欠損 (高台付)	I径 11.3 底径 6.4 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 青灰(58 6/1)	ロク口整形。回転石回り。 外面：胴部~底部回転ナデ。胴部下位回転ヘラ削り。高台貼付。 内面：I.1線部~底部回転ナデ調整。			
38	須恵器 長須恵器	床面+81cm 胴部~底部 2/3	I径 - 底径 8.4 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒・繊維 ② 還元焰 良好 ③ 灰黄(5/1)	ロク口整形。回転石回り。 外面：胴部~胴部回転ナデ。胴部最下位に1段のヘラ削り。底部ヘラ削り。 内面：胴部~胴部回転ナデ調整。底部ナデ。	最大径16.7cm。		
39	須恵器 鉢	床面+85cm I.1線部~底部 3/4	I径 25.0 底径 12.8 器高 13.8	① 細砂粒・粗砂粒・繊維 ② 還元焰 良好 ③ 黄灰(2.57 6/1)	ロク口整形。 外面：I.1線部~体部回転ナデ。最下位に2段の回転ヘラ削り。底部ヘラ削り。 内面：I.1線部~体部回転ナデ。底部ナデ。	器みあり。		
40	須恵器 鉢	床面+95cm I.1線部~胴下部 1/2	I径 42.6 底径 - 器高 23.8	① 細砂粒・粗砂粒・繊維 ② 還元焰 良好 ③ 黄灰(2.57 4/1)	ロク口整形。 外面：I.1線部~体部上半回転ナデ。体部下半平直口蓋が残る。底部ヘラ削り。 内面：I.1線部~体部ヘラナデ。	平直口蓋目皿あり。		
41	須恵器 短須恵器 (高台付)	床面+56cm。8号溝埋土中。4区表土 I.1線部~底部 I.1線部~胴部~底部欠損	I径 19.4 底径 10.0 器高 19.4	① 細砂粒・粗砂粒・繊維 ② 還元焰 良好 ③ 灰黄(6/1)	ロク口整形。 外面：I.1線部~胴部回転ナデ。胴部下位回転ヘラ削り。底部ナデ高台貼付。 内面：I.1線部~胴部回転ナデ。底部ナデ。	胴部に5本の条線が走る。最大径21.3cm。		
42	須恵器 椀	床面+102cm 胴部下位~底部 破片	I径 - 底径 14.0 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(5 6/1)	ロク口整形。 外面：胴部回転ナデ。下位ヘラ削り。 内面：胴部回転ナデ調整。			
43	土師器 甕	底面+73cm I.1線部~胴部上端 破片	I径 20.0 底径 - 器高 -	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 明赤相(2.57 5/1)	輪組み。 外面：I.1線部横ナデ。胴部横方向のヘラ削り。 内面：I.1線部横ナデ。胴部ヘラナデ。			
44	土師器 甕	埋土中 I.1線部 I.1線部の片残存	I径 23.1 底径 - 器高 -	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 赤い(5.18 7/4)	輪組み。 外面：I.1線部横ナデ。 内面：I.1線部横ナデ。			
45	土師器 甕	床面+85cm I.1線部~胴部上端 破片	I径 23.5 底径 - 器高 -	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 橙(57 6/1)	輪組み。 外面：I.1線部横ナデ。胴部横方向のヘラ削り。 内面：I.1線部横ナデ。胴部ヘラナデ。			
46	土師器 甕	底面+56cm I.1線部の片残存	I径 23.7 底径 - 器高 -	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 赤い(5.18 7.5 6/4)	輪組み。 外面：I.1線部横ナデ。胴部ヘラ削り。 内面：I.1線部横ナデ。			
47	土師器 甕	底面+101cm I.1線部~胴部上端 破片	I径 24.0 底径 - 器高 -	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 橙(57 6/1)	輪組み。 外面：I.1線部横ナデ。胴部横方向のヘラ削り。 内面：I.1線部横ナデ。胴部ヘラナデ。			
48	須恵器 散敷付 円面碗	床面+87cm 胴部~台部 1/2	I径 - 脚径 - 器高 6.4	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰黄(6/1)	ロク口整形。 外面は回転ヘラ削り。表面はナデ。	器面(胴)は漆塗られており、使用していた痕跡あり。		
49	種別	器種	状態	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)	摘要
50	須恵器	刀子	ほぼ完形	16.3	1.9	1.0	35.0	錆化が激しい。
50	須恵器	釘	底部欠損	6.0	1.5	1.3	7.0	2~3本結束か。

第3章 検出遺構と出土遺物

3区9号溝跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考		
1	須臾器 高台付皿 か	埋土中 底部	口径 10.3	① 細砂粒・粗砂粒	ロウロ整形。	外面：体部回転ナデ。底部回転ヘラ削り。高台附付。 内面：底部回転ナデ調整。 輪込み。 外面：L線部横ナデ。胴部ヘラ削り。器面厚減のため単位不詳。 内面：L線部横ナデ。胴部ヘラナデ。		
			底径 10.3	② 還元焼 良好				
			器高 15.9	③ 灰白(9.5/2)				
2	土師器 甕	埋土中 L線部～胴部 破片	口径 15.9	① 細砂粒・粗砂粒	ロウロ整形。	外面：L線部横ナデ。胴部ヘラ削り。器面厚減のため単位不詳。 内面：L線部横ナデ。胴部ヘラナデ。		
			底径 9.0	② 還元焼 良好				
			器高 11.1	③ に近い相(7.5径 7/4)				
番号	種別	器種	状態	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	摘要
3	須臾器	弁	完形	11.1	4.6	3.5	116.0	高台は通入しているが、比較的良好。

4区9号溝跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須臾器 杯	埋土中 L線部～底部	口径 11.2	① 細砂粒	ロウロ整形。	外面：L線部～体部回転ナデ。底部手持ちヘラ削り。 内面：L線部～底部回転ナデ調整。 器面厚減。 外面：台部上平ヘラ削り。台部下平横ナデ。 内面：台部下平横ナデ。下平横ナデ。 粘土層下り。 外面：胴部下平横方向ヘラ削り。底部接合部分にナデ直が 押印に残る。 内面：胴部下平回転ナデ。
			底径 4.7	② 還元焼 やや不良		
			器高 14.0	③ 灰白(10.9 5/0)		
2	土師器 台付甕	底面+12cm 高台 残	口径 14.0	① 細砂粒・粗砂粒	ロウロ整形。	外面：台部上平ヘラ削り。台部下平横ナデ。 内面：台部下平横ナデ。下平横ナデ。 粘土層下り。 外面：胴部下平横方向ヘラ削り。底部接合部分にナデ直が 押印に残る。 内面：胴部下平回転ナデ。
			底径 14.2	② 還元焼 良好		
			器高 4.0	③ 灰白(9.5/0)		
3	須臾器 瓶	埋土中 胴部下半～底部 破片	口径 19.9	① 細砂粒・粗砂粒	ロウロ整形。	外面：L線部横ナデ。頸部縦方向の帯掘後、横ナデ。胴部 粘土層下り。 内面：L線部～胴部回転ナデ調整。胴部当て貝痕。
			底径 14.2	② 還元焼 良好		
			器高 4.0	③ 灰白(9.5/0)		
4	須臾器 甕	埋土中 L線部～胴部上半 破片	口径 19.9	① 細砂粒・粗砂粒	ロウロ整形。	外面：L線部横ナデ。頸部縦方向の帯掘後、横ナデ。胴部 粘土層下り。 内面：L線部～胴部回転ナデ調整。胴部当て貝痕。
			底径 14.2	② 還元焼 良好		
			器高 4.0	③ 灰白(9.5/0)		

6区9号溝跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	床面+10cm L線部～底部 1/2	口径 10.9	① 細砂粒・粗砂粒	外面：L線部横ナデ。底部手持ちヘラ削り。 内面：L線部～体部横ナデ。底部ナデ調整。	底部外面にヘラ 記号「一」
			底径 4.5	② 還元焼 良好		
			器高 4.5	③ 黒(2.9 2/1)		
2	須臾器 身	床面+67cm L線部～底部 2/3	口径 9.9	① 細砂粒・粗砂粒	ロウロ整形。回転右回り。	外面：L線部～底部回転ナデ。底部回転ヘラ削り。 内面：L線部～底部回転ナデ調整。 ロウロ整形。
			底径 4.2	② 還元焼 やや不良		
			器高 4.2	③ 灰白(9.5 7/3)		
3	須臾器 甕 (高台付)	埋土中 胴部 破片	口径 9.0	① 細砂粒・粗砂粒	外面：胴部下位は回転ヘラ削り。底部不明。高台附付。 内面：胴部回転ナデ。	外面：L線部横ナデ。胴部手持ち直。 内面：L線部～胴部回転ナデ調整。頸部ヘラナデ。
			底径 24.1	② 還元焼 良好		
			器高 5.1	③ 灰白(9.5 5/1)		
4	須臾器 甕	埋土中 L線部～胴部上端 破片	口径 24.1	① 細砂粒・粗砂粒	外面：L線部横ナデ。胴部手持ち直。 内面：L線部～胴部回転ナデ調整。頸部ヘラナデ。	外面：L線部横ナデ。胴部手持ち直。 内面：L線部～胴部回転ナデ調整。頸部ヘラナデ。
			底径 9.0	② 還元焼 良好		
			器高 5.1	③ 灰白(9.5 5/1)		

1・2区12号溝跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 甕	底面+12cm L線部～胴下部 3/4	口径 14.7	① 細砂粒・粗砂粒	輪込み。	外面：L線部横ナデ。胴部上位横。中位・下位斜め方向、 底部ヘラ削り。 内面：L線部横ナデ。胴部～底部ヘラナデ。
			底径 7.0	② 還元焼 良好		
			器高 18.5	③ に近い赤黒(2.5径 5/4)		

4区10号溝跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須臾器 杯	底面+17cm ほぼ完形	口径 11.0	① 細砂粒・粗砂粒	ロウロ整形。	器高がある。5号 溝埋土と接合。
			底径 8.5	② 還元焼 良好		
			器高 3.9	③ 青灰(9.9 6/0)		
2	須臾器 杯	底面+22cm L線部～底部 1/3	口径 12.8	① 細砂粒・粗砂粒	ロウロ整形。	底部に指面痕あり。
			底径 8.0	② 還元焼 良好		
			器高 3.9	③ 灰白(9.5 7/3)		
3	須臾器 杯	底面+23cm ほぼ完形	口径 14.2	① 細砂粒・粗砂粒	ロウロ整形。回転左回り。	L線部外面に重 層。 内外面に火傷が 認められる。
			底径 9.2	② 還元焼 ナデ		
			器高 3.3	③ に近い相(7.5径 7/3)		
4	須臾器 杯	埋土中+24cm L線部～底部 1/3	口径 14.2	① 細砂粒	ロウロ整形。回転左回りか。L線部やや平反。	外面：L線部～体部上半ナデ。下半は回転ヘラ削り。底部 手持ちヘラ削りか。 内面：L線部～底部回転ナデ調整。 ロウロ整形。回転右回りか。 外面：底部回転ヘラ削り。高台附付。 内面：底部回転ナデ調整。
			底径 9.1	② 還元焼 良好		
			器高 4.5	③ 灰白(9.5 7/1)		
5	須臾器 高台付皿 か	埋土中+22cm 底部 底面/2欠損	口径 18.4	① 細砂粒・粗砂粒	ロウロ整形。回転右回りか。 外面：底部回転ヘラ削り。高台附付。 内面：底部回転ナデ調整。	外面：底部回転ヘラ削り。高台附付。 内面：底部回転ナデ調整。
			底径 18.4	② 還元焼 良好		
			器高 7.1	③ 灰白(9.5 7/1)		

第2節 奈良・平安時代の遺構と遺物

1・2区17号溝跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土製品 鉢	埋土中 完形	長さ 4.2 径 2.3 孔 0.4	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 赤い・黄緑(10YR 7/3)	外面ナデ。 中心部に径4mmの穿孔。 重量20g	

4区1号溝跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土器類 杯	底面+96cm 口縁部~底部 1/2	口径 12.8 底径 - 器高 3.9	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 赤い・物(5YR 6/4)	外面:口縁部横ナデ、底部ナデ、底部は手持ちへつ削り。 内面:口縁部横ナデ、体部~底部ナデ。	
2	黒色土器 杯	埋土中 口縁部~底部 1/3	口径 16.8 底径 10.1 器高 6.0	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 酸化焰 良好 内面黒色 処理 ③ 赤い・物(5YR 6/4)	ロケロ整形。回転石回り。 外面:口縁部~体部回転ナデ。底部回転へつ削り。 内面:口縁部~底部回転ナデ調整。 口縁部は手持ちへつ削り。	口縁部に太さ1mmの条線が走る。
3	須恵器 杯	底面+91cm 1/3	口径 12.2 底径 10.2 器高 4.1	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰(7.5Y 6/1)	ロケロ整形。 外面:口縁部~体部回転ナデ。底部回転へつ削り。 内面:口縁部~底部回転ナデ調整。	
4	須恵器 杯	底面+81cm 口縁部~底部 1/3	口径 12.6 底径 6.6 器高 3.9	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 やや不良 ③ 灰(5Y 7/1)	ロケロ整形。 外面:口縁部~体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面:口縁部~底部回転ナデ調整。	
5	須恵器 杯	底面+93cm 口縁部~底部 1/3	口径 13.5 底径 7.8 器高 4.6	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰(7.5Y 6/1)	ロケロ整形。回転石回り。 外面:口縁部~体部回転ナデ。底部回転糸切り後、回転へつ調整。 内面:口縁部~底部回転ナデ調整。	

4区11号溝跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土器類 鉢	埋土中 口縁部~胴部上半 破片	口径 15.0 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 粉(7.5YR 6/6)	輪削り。 外面:口縁部横ナデ。胴部斜めハケ。胴部からハケ目調整 が入る。 内面:口縁部横ナデ。胴部横ハケ。	

6区3号溝跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考		
1	陶器 皿	埋土中 口縁部~底部 1/5	口径 11.7 底径 6.4 器高 2.3	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰(7.5Y 6/1)	ロケロ整形。口縁部外反。 外面:口縁部~体部回転ナデ。底部回転へつ削りか。 内面:口縁部~底部回転ナデ調整。	全面に輪葉付着。		
番号	種別	器種	状態	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	備考
2	鉄器	鏝	基部欠損	7.7	0.8	0.4	7.0	長薄片刃鏝。比較的良い。

6区4号溝跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考		
1	土製品 鉢	埋土中 2/3	長さ 5.0 径 1.6 孔 0.6	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 赤い・物(5YR 7/3)	下端欠損。外面凹みあり、ナデ。 中心部に径5mmの穿孔。 重量11g			
2	石製品 砥石	埋土中 1/2	長さ 6.2 巾 5.3 厚さ 2.9	① 石材:砥石 重量:136g	3面を研ぎ面としている。			
番号	種別	器種	状態	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	備考
3	鉄製品	踏跡	1/3	9.9	1.8	0.5	42.0	残存状態良好。

6区10号溝跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯蓋	床面+6cm 横部~口縁部 1/4	口径 19.8 径 6.1 器高 4.0	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焰 良好 ③ 灰白(10YR 8/1)	ロケロ整形。 外面:天井部上半へつ削り。天井部下半~口縁部横ナデ。 内面:天井部~口縁部回転ナデ。	溝み高さ1.1cm。

6区15号溝跡出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯蓋	底面直上 天井部~口縁部 破片	口径 7.6 径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰(5Y)	ロケロ整形。 外面:天井部上半へつ削り。天井部下半~口縁部横ナデ。 溝み欠落か。 内面:天井部~口縁部回転ナデ。	

番号

第3章 検出遺構と出土遺物

7区1号溝跡出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 蓋	埋土中 胴部～L線部 破片	L径 1.8 底径 1.8 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 褐灰(7.5YR 4/1)	ロクロ整形。 外面：大井部回転ヘラ削り。縮み貼付。 内面：大井部回転ナデ。	蓋の高さも。
2	須恵器 杯	底面～28cm ほぼ完全形 L線部一部欠損	L径 12.0 底径 8.4 器高 3.8	① 細砂粒・粗砂粒・粗糠 ② 還元焰 良好 ③ 黄灰(2.5Y 6/1)	ロクロ整形。 外面：L線部～体部回転ナデ。 内面：L線部～体部回転ナデ調整。	

7区2号溝跡出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 椀	底面+34cm 体部下端～底部 破片	L径 6.3 底径 6.3 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 やや不良 ③ 灰黄褐(10YR 6/2)	ロクロ整形。 外面：体部回転ナデ。底部回転糸切り。高台貼付。 内面：体部～底部回転ナデ調整。	器面摩滅。
2	須恵器 甕	底面+17cm L線部～胴部上端 破片	L径 17.0 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰黄 5/0	ロクロ整形。 外面：L線部横ナデ。胴部外面に平行印き目痕が残る。 内面：L線部～胴部横ナデ調整。	
3	須恵器 壺	床面+22cm 胴部 破片	L径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰(5Y 6/1)	ロクロ整形。 外面：胴部横ナデ。 内面：胴部横ナデ。	

7区3号溝跡出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 皿	埋土中 L線部～底部 1/6	L径 10.0 底径 7.0 器高 2.1	① 細砂粒・粗砂粒・粗糠 ② 還元焰 良好 ③ 灰黄(2.5Y 7/2)	ロクロ整形。回転方回り。 外面：L線部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：L線部～底部回転ナデ調整。	
2	須恵器 輪か	埋土中 L線部～底部 1/3	L径 13.6 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 やや不良 ③ 黄灰(2.5Y 7/2)	ロクロ整形。L線部外反。 外面：L線部～体部回転ナデ。底部切り差し技法不明。 内面：L線部～底部回転ナデ調整。	底部外面割断。

8区4号溝跡出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	埋土中 L線部～底部 破片	L径 10.8 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 橙(5YR 6/6)	外面：L線部横ナデ。体部ヘラ削り。 内面：L線部～底部横ナデ。	
2	須恵器 杯	埋土中 L線部～底部 1/2	L径 12.0 底径 7.0 器高 3.7	① 細砂粒・粗砂粒・粗糠 ② 還元焰 やや不良 ③ 灰黄(2.5Y 7/3)	ロクロ整形。 外面：L線部～体部回転ナデ。底部回転ヘラ削り。 内面：L線部～底部回転ナデ調整。	
3	須恵器 杯	埋土中 L線部～体部 破片	L径 15.0 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 やや不良 ③ 黒(2.5Y 2/1)	ロクロ整形。 外面：L線部～体部回転ナデ。 内面：L線部～体部回転ナデ調整。	L線部内面に高埋付着。

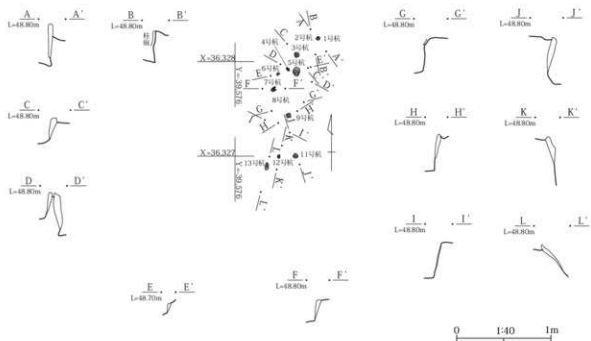
8区7号溝跡出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
7号溝 1	土師器 杯	埋土中 L線部～底部 破片	L径 13.8 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 明赤褐(5YR 5/6)	外面：L線部横ナデ。体部ヘラ削り。 内面：L線部～底部横ナデ。	
7号溝 2	須恵器 杯	埋土中 L線部～底部 破片	L径 14.0 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 褐灰(7.5YR 4/1)	ロクロ整形。 外面：L線部～体部回転ナデ。底部回転ヘラ削りか。 内面：L線部～底部回転ナデ調整。	
7号溝 3	須恵器 椀	埋土中 L線部～底部 破片	L径 16.0 底径 11.0 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焰 良好 ③ 灰黄(2.5Y 6/2)	ロクロ整形。 外面：L線部～体部回転ナデ。底部回転ヘラ削りか。 内面：L線部～底部回転ナデ調整。	
7号溝 4	土師器 鉢	埋土中 底部 破片	L径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 灰黄褐(10YR 6/2)	粘土掻き上げ成形。 外面：底部に木の葉の葉脈あり。 内面：底部回転ナデ調整。	底部外面木葉道
7号溝 5	土師器 甕	埋土中 L線部 破片	L径 14.2 底径 — 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 灰褐(5YR 6/2)	輪轆み。 外面：L線部横ナデ。胴部ヘラ削り。 内面：L線部横ナデ。胴部ヘラナデ。	

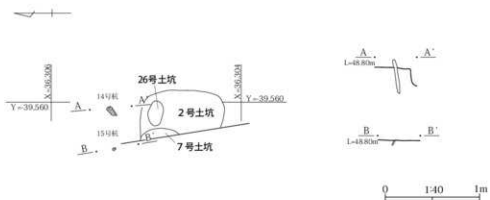
8区18号溝跡出土遺物調査表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	埋土中 L線部～底部 1/3	L径 15.9 底径 — 器高 3.6	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化焰 良好 ③ 明赤褐(5YR 5/6)	L線部外反。 外面：L線部横ナデ。体部手持ちヘラ削り。 内面：L線部～底部横ナデ。	

4区1号杭列



4区2号杭列

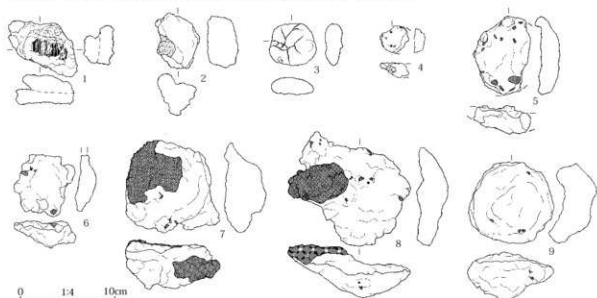


第661図 4区1・2号杭列跡平・断面図

第3章 検出遺構と出土遺物

第7項 遺構外出土遺物（奈良・平安）

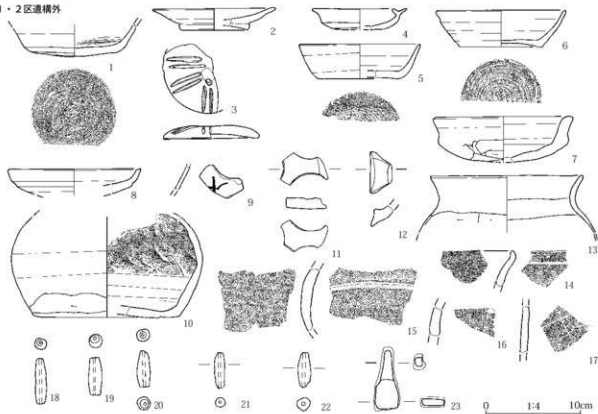
本遺跡からは総量4.509gの鉄・鉄器生産に関連する遺物が出土した。鉄・鉄器生産に関する工房と見られる確実な遺構はなく、遺構内から出土している遺物も周辺からの混入であると判断した。遺物のほとんどが鍛冶滓で、椀形鍛冶滓が主体である。No. 3の鉄塊系遺物は鋼素材である。鉄・鉄器生産関連遺物は1・2・6・7・8区で出土しており、1・2区では鎌・釘・鎌・刀子・紡錘車などの鍛造鉄製品が多く出土している。遺跡内で鍛造鉄製品生産に関わる鍛冶工程が行われていた可能性が高い。No. 2は製錬滓の可能性が高く、注目される。



第662図 鉄・鉄製品生産関連遺物

NO	種別	出土位置	計測値 (cm)			重量 (g)	磁化度		特徴など
			長	幅	厚さ		縦	横	
1	洋付き木質片	7区 260-490G	7.3	5.9	3.2	83.40	1	なし	表面に紫紅色のガラス質の滓が付着している木片。芯部は木質で、滓と砂粒で置換されている。2枚の板材にガラス質の滓が付着し、内部に滓が侵入したものであると推察した。製鉄や鍛冶の補助材として使用されていた板材に、滓が付着したものが。
2	炉内滓(マグネタイト系洋付き含鉄)	6区3溝	4.6	5.9	3.3	134.30	3	鈍化(△)	黒褐色・ほぼ全面被膜。比重は高い。マグネタイト系の滓が内包し、金属探知器に反応しないにもかかわらず、磁石が非常に強い。上面は鈍化した塊状の含鉄が付着している。マグネタイト系の滓が内包することから、製鉄や炉内滓と推察した。
3	鉄塊系遺物	1・2区 34住	5.0	4.4	1.7	57.20	2	H(○)	褐色。比重は非常に高い。放射割れが激しく、金属鉄が鈍化したものと推察し、鉄塊系遺物とした。残存金属はH(○)と少ないが、鈍化が激しく、滓部があまり観察できないことから、ほぼ金属鉄の塊であると考えられる。表面や放射割れの種子から、鉄の可能性が高い。
4	椀形鍛冶滓(小・含鉄)	1・2区 5住	3.4	3.1	1.3	180.5	2	鈍化(△)	黒褐色。比重はやや低い。右側部欠損。下面に細かいタレが生じており、長軸5mmほどの細かい木炭痕や木炭が観察できる。上面は平坦で下面が湾曲する形状や、木炭痕の観察から椀形鍛冶滓とした。粘土質溶解物が主体である。
5	椀形鍛冶滓(小)	7区 13住	6.0	8.3	2.0	136.90	2	なし	黒褐色。比重はやや低い。右側部欠損。下面に細かいタレが生じており、長軸5mmほどの細かい木炭痕が観察できる。上面は平坦で下面が湾曲する形状や、木炭痕の観察から椀形鍛冶滓とした。滓中には気泡が多く内包する。
6	椀形鍛冶滓(小・含鉄)	6区表探	6.5	6.5	2.2	116.90	3	鈍化(△)	黒褐色。比重はやや高い。下面に細かいタレが生じており、長軸5mmほどの細かい木炭痕が観察できる。上面は平坦で下面が湾曲する形状や、木炭痕の観察から椀形鍛冶滓とした。上面はガラス質主体である。引口先端部の溶損が、下半部は比重が高く滓が密。
7	椀形鍛冶滓(中)	8区不明遺構	9.9	9.7	4.3	464.80	2	なし	黒褐色。比重はやや高い。下面に細かいタレが生じており、長軸5mmほどの細かい木炭痕が観察できる。上面は平坦で下面が湾曲する形状や、木炭痕の観察から椀形鍛冶滓とした。上面はガラス質主体である。引口先端部の溶損が、上面左側に引口部が付着している。
8	椀形鍛冶滓(中・含鉄)	1・2区表探	13.0	12.1	4.4	466.00	3	鈍化(△)	黒褐色。比重はやや高い。形状はやや扁平。下面に細かいタレが生じており、長軸5mmほどの細かい木炭痕が観察できる。上面は平坦で下面が湾曲する形状や、木炭痕の観察から椀形鍛冶滓とした。上面はガラス質主体である。引口先端部の溶損が、
9	椀形鍛冶滓(中・含鉄)	1・2区表探	9.1	8.6	3.6	337.10	4	H(○)	黒褐色。比重はやや高い。下面に細かいタレが生じており、長軸5mmほどの細かい木炭痕が観察できる。上面は平坦で下面が湾曲する形状や、木炭痕の観察から椀形鍛冶滓とした。

1・2区遺構外



第663図 1・2区遺構外出土遺物(1)

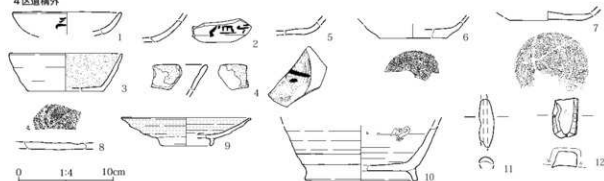
1・2区遺構外出土遺物観察表

番号	類別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調		成形手法 調整手法	備考
				①胎土	②焼成		
遺構外 1	黒色土器 杯	表土 体部下半~底部	口径 - 底径 9.0	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 酸化焼 良好	③ 内面黒色	ロクロ整形。回転左回り。 外面：体部の転ナデ。底部の転へつ切り。	
2	須恵器 高台付皿	破片	器高 -	① にぶい焼 (5YR 6/4)		内面：体部~底部ナデ調整後、へつ磨き。	
		表土	口径 12.8 底径 7.3	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 やや不良	③ 赤褐色(10YR 5/3)	外面：口縁部~胴部転ナデ。高台取付。 内面：口縁部~底部の転ナデ調整	
3	土師器 蓋	破片	口径 9.6	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 酸化焼 良好	③ 赤褐色(10YR 5/3)	外面：口縁部転ナデ。大耳部の転へつ削り。握み取付。中心から放射線状に巾4mmの沈線あり。	転用品か。内外面に磨かれている。
		表土	口径 9.8 底径 -	① 細砂粒 ② 酸化焼 良好	③ 赤褐色(10YR 5/4)	内面：口縁部~大耳部ナデ。	
4	須恵器 杯	破片	口径 12.7	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 やや不良	③ 灰白(5Y 8/2)	ロクロ整形。 外面：口縁部~体部の転ナデ。底部の転未切り。	器面厚減。
		表土	口径 13.5 底径 8.7	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好	③ 赤 (5Y 5/1)	内面：口縁部~底部の転ナデ調整。	
5	須恵器 杯	破片	口径 14.1	① 細砂粒 ② 還元焼 良好	③ 赤 (7.5Y 6/1)	ロクロ整形。 外面：口縁部~体部の転ナデ。底部手持ちへつ削り。	
		表土	口径 14.0 底径 -	① 細砂粒 ② 還元焼 良好	③ 赤 (7.5Y 5/1)	内面：口縁部~体部の転ナデ調整。底部ナデ。	
6	須恵器 杯	破片	口径 14.1	① 細砂粒 ② 還元焼 良好	③ 赤 (7.5Y 6/1)	ロクロ整形。 外面：口縁部~体部の転ナデ。底部手持ちへつ削り。	
		表土	口径 14.0 底径 -	① 細砂粒 ② 還元焼 良好	③ 赤 (7.5Y 5/1)	内面：口縁部~体部の転ナデ調整。底部ナデ。	
7	須恵器 杯	破片	口径 14.1	① 細砂粒 ② 還元焼 良好	③ 赤 (7.5Y 6/1)	ロクロ整形。 外面：口縁部~体部の転ナデ。底部手持ちへつ削り。	
		表土	口径 14.0 底径 -	① 細砂粒 ② 還元焼 良好	③ 赤 (7.5Y 5/1)	内面：口縁部~体部の転ナデ調整。底部ナデ。	
8	須恵器 杯	破片	口径 14.1	① 細砂粒 ② 還元焼 良好	③ 赤 (7.5Y 6/1)	ロクロ整形。 外面：口縁部~体部の転ナデ。底部手持ちへつ削り。	
		表土	口径 14.0 底径 -	① 細砂粒 ② 還元焼 良好	③ 赤 (7.5Y 5/1)	内面：口縁部~体部の転ナデ調整。底部ナデ。	
9	須恵器 杯	破片	口径 14.1	① 細砂粒 ② 還元焼 良好	③ 赤 (7.5Y 6/1)	ロクロ整形。 外面：口縁部~体部の転ナデ。底部手持ちへつ削り。	
		表土	口径 14.0 底径 -	① 細砂粒 ② 還元焼 良好	③ 赤 (7.5Y 5/1)	内面：口縁部~体部の転ナデ調整。底部ナデ。	
10	須恵器 瓶	破片	口径 15.6	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好	③ 灰白 (5Y 7/1)	ロクロ整形。 外面：胴部の転ナデ。上半にアテ具痕が残る。最下位はへつ削り。底部へつ削り。	胴部外面に墨書。
		表土	口径 - 底径 -	① 細砂粒 ② 還元焼 良好	③ 赤 (7.5Y 5/1)	内面：胴部の転ナデ調整。底部ナデ。指頭あり。	
11	須恵器 瓶	破片	口径 - 底径 -	① 細砂粒 ② 還元焼 良好	③ 赤 (7.5Y 5/1)	外面：底部ナデ。	
		表土	口径 - 底径 -	① 細砂粒 ② 還元焼 良好	③ 赤 (7.5Y 5/1)	外面：胴部の転ナデ。上半にアテ具痕が残る。最下位はへつ削り。底部へつ削り。	把手取付。把手部の長さ2.7cm、巾4.4cm、高さ1.7cm。
12	須恵器 罎	破片	口径 - 底径 -	① 細砂粒 ② 還元焼 良好	③ にぶい焼(10YR 5/3)	外面：口縁部転ナデ。胴部縦方向へつ削り。	
		表土	口径 16.0 底径 -	① 細砂粒 ② 還元焼 良好	③ 黒褐色(5YR 3/1)	内面：口縁部転ナデ。胴部へつ削り。	
13	土師器 甕	破片	口径 - 底径 -	① 細砂粒 ② 還元焼 良好	③ 黒褐色(5YR 3/1)	外面：口縁部転ナデ。胴部縦方向へつ削り。	
		表土	口径 - 底径 -	① 細砂粒 ② 還元焼 良好	③ 黒褐色(5YR 3/1)	内面：口縁部転ナデ。胴部へつ削り。	

第3章 検出遺構と出土遺物

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考		
14	須恵器 甕	表土 L縁部 破片	L径 - 底径 - 高さ -	① 瀬砂粒・粗砂粒 ② 酸化焼 良好 ③ 灰濁(7.5YR 4/2)	外面：口縁部横ナデ。縹指流状文を施す。 内面：口縁部横ナデ。			
15	須恵器 甕	表土 頸部 破片	L径 - 底径 - 高さ -	① 瀬砂粒・粗砂粒 ② 酸化焼 良好 ③ にぶい赤褐(5YR 4/3)	外面：胴部横ナデ。縹指流状文を施す。 内面：胴部横ナデ。			
16	赤土器 か 甕か	表土 胴部 破片	L径 - 底径 - 高さ -	① 瀬砂粒・粗砂粒 ② 良好 ③ 灰濁(5YR 4/2)	外面：縹指流状文を施す。 内面：横ナデ。			
17	土師器 甕か	表土 胴部 破片	L径 - 底径 - 高さ -	① 瀬砂粒・粗砂粒 ② 良好 ③ にぶい黄緑(10YR 6/3)	外面：ヘラ削り。 内面：ヘラナデ。			
18	土製品 鉢	表土 完形	長さ 4.7 径 1.2 孔 0.20	① 瀬砂粒・粗砂粒・細礫 ② 酸化焼 良好 ③ 赤褐(5YR 4/6)	成形器側面凹凸アリ。下端部平面をつくる。外面側面ナデ、 下端ヘラナデ。 中心部縦に径2.0mmの穿孔。 重量：1.7g			
19	土製品 鉢	表土 完形	長さ 4.0 径 1.4 孔 0.30	① 瀬砂粒・粗砂粒・細礫 ② 酸化焼 良好 ③ にぶい相(7.5YR 6/4)	成形器側面凹凸アリ。内端平面をつくる。外面側面ナデ、 端部ヘラナデ。 中心部縦に径3mmの穿孔。 重量：10g			
20	土製品 鉢	表土 ほぼ完形 一部欠損	長さ 3.8 径 1.3 孔 0.25	① 瀬砂粒・粗砂粒 ② 酸化焼 良好 ③ 赤褐(5YR 4/6)	両端部平面をつくる。外面側面ナデ端部ヘラナデ。 中心部縦に径2.5mmの穿孔。 重量：1.7g			
21	土製品 鉢	表土 ほぼ完形 一部欠損	長さ 3.7 径 1.1 孔 0.25	① 瀬砂粒 ② 酸化焼 良好 ③ 赤褐(5YR 4/6)	下端欠損。外面ナデ。 中心部縦に径2.5mmの穿孔。 重量：5g			
22	土製品 鉢	表土 一部欠損	長さ 3.8 径 1.3	① 瀬砂粒 ② 酸化焼 良好	中心部縦に径3mmの穿孔。 重量：7g			
番号	種別	器種	状態	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)	摘要
23	鉄器	鋳	端部欠損	6.7	2.6	1.7	74.0	錆化。縦食進んでいる。

4区遺構外



第664図 4区遺構外出土遺物(2)

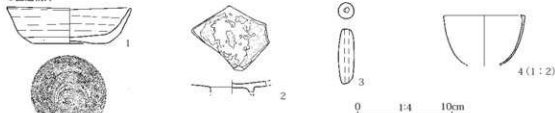
4区遺構外出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	土師器 杯	表土 口縁部~底部 破片	L径 11.3 底径 - 高さ -	① 瀬砂粒 ② 酸化焼 良好 ③ にぶい相(7.5YR 6/4)	外面：口縁部横ナデ。体部ナデ。 内面：口縁部~底部横ナデ。	
2	黒色土器 杯	表土 体部 破片	L径 - 底径 - 高さ -	① 瀬砂粒・粗砂粒 ② 酸化焼 良好 ③ にぶい相(7.5YR 7/4)	ロク口整形。 外面：体部回転ナデ。 内面：体部回転ナデ調整。ヘラ磨き。	体部外面に黒 漆。
3	須恵器 杯	表土 口縁部~底部 破片	L径 11.9 底径 8.0 高さ 4.0	① 瀬砂粒 ② 還元焼 やや不良 ③ にぶい相(7.5YR 6/4)	ロク口整形。 外面：口縁部~体部回転ナデ。底部回転ヘラ削り。 内面：胴部~底部回転ナデ調整。	口縁部外面に黒 漆。体付土器。
4	須恵器 杯	表土 L縁部 破片	L径 - 底径 - 高さ -	① 瀬砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰(3.0.5)	ロク口整形。内外面に磨付。 外面：口縁部回転ナデ。 内面：口縁部回転ナデ調整。	内外面に磨付赤 土器。
5	須恵器 杯	表土 体部下半~底部 破片	L径 - 底径 - 高さ -	① 瀬砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰白(5Y 7/1)	ロク口整形。 外面：体部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：体部~底部回転ナデ調整。	底部外面に黒 漆。
6	須恵器 杯	表土 体部下半~底部 破片	L径 - 底径 7.0 高さ -	① 瀬砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 良好 ③ 灰濁(2.5Y 6/2)	ロク口整形。 外面：体部回転ナデ。底部回転糸切り後ヘラ削り。 内面：体部~底部回転ナデ調整。	
7	須恵器 杯	表土 底部 破片	L径 - 底径 8.0 高さ -	① 瀬砂粒・粗砂粒 ② 酸化焼 ③ 相(7.5YR 4/4)	ロク口整形。 外面：底部回転糸切り。後回転ヘラ削り。 内面：底部回転ナデ調整。	底部内面中央に ヘラ記号「+」 器面磨滅。
8	須恵器 杯	表土 底部 破片	L径 - 底径 - 高さ -	① 瀬砂粒・粗砂粒 ② 酸化焼 ③ にぶい相(7.5YR 6/3)	ロク口整形。回転ヘラ削り。 外面：底部回転ヘラ削り。 内面：底部回転ナデ調整。	底部内面中央に ヘラ記号「+」 器面磨滅。

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
9	灰軸陶器 皿	表土 口縁部～底部 1/5	口径 13.6 底径 5.8 器高 3.0	① 細砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰白 (2.5Y 8/1)	ロクロ整形。口縁部外反。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転へう削りか。高台 貼付。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	磨輪方法は磨け 跡け、大原2号 窯3例。
10	須恵器 椀	表土 体部～底部 破片	口径 — 底径 11.6 器高 —	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 黄灰 (2.5Y 6/1)	ロクロ整形。 外面：体部上位～中位回転ナデ。体部下位～底部回転へう 削り。高台貼付。 内面：体部～底部回転ナデ調整。	漆付着土器か。
11	土製品 鉢	表土 1/3	長さ 5.1 径 1.5 孔 0.4	① 細砂粒 ② 還元焼 良好 ③ にぶい黄 (2.5Y 6/4)	ロクロ整形。 魔方向に1/2欠損。外面ナデ。 中心部縦に径4mmの穿孔。 重量：5g	

番号	種別	器種	状態	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)	石材	概要
12	石製品	砥石	一部片	4.0	2.6	1.6	33	砥沢石	残存する表、側面は使用されている。

6区遺構外



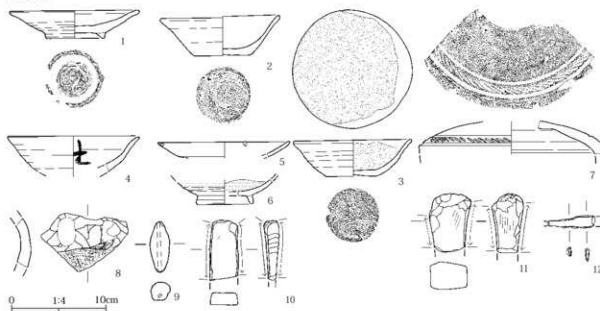
第665図 6区遺構外出土遺物(3)

6区遺構外出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 鉢	表土 完形	口径 12.8 底径 8.0 器高 3.7	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 やや不良 ③ 灰 (N 6/0)	ロクロ整形。回転右回り。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転系切り後、裏面を 回転へうナデ調整。 内面：体部～底部回転ナデ調整。	
2	須恵器 高壁 鉢	表土 体部下端～底部 破片	口径 — 底径 — 器高 5.8	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰黄褐 (10Y 5/2)	ロクロ整形。 外面：胴部回転ナデ。底部回転へう削り。脚部貼付。 内面：底部回転ナデ調整。	漆付着土器か。
3	土製品 鉢	表土 完形	長さ 5.8 径 1.7 孔 0.5	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 橙 (7.5Y 6/6)	ロクロ整形。 外面ナデ。 中心部縦に径5mmの穿孔。 重量：17g	

番号	種別	器種	状態	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)	概要
4	副製品	削筒	口縁部片	2.7	3.9	0.1	7.0	残存状態は良好。

7区遺構外



第666図 7区遺構外出土遺物(4)

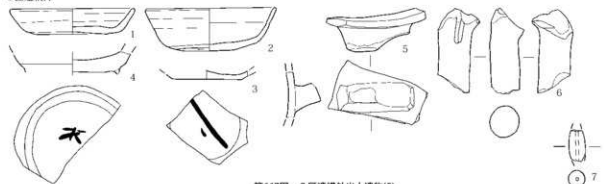
第3章 検出遺構と出土遺物

7区遺構外出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 高台付皿	表土 口縁部～底部 底面欠形	口径 13.4 底径 6.4 器高 2.9	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 酸化焼 ③ 灰白(黄(2.5) 6/3)	ロクロ整形。口縁部外反。 外面：口縁部～胴部回転ナデ。底部回転ナデ。高台取付。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
2	須恵器 椀	表土 ほぼ完形 口縁部一部欠損	口径 12.3 底径 5.9 器高 4.2	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 やや不良 ③ オリーブ黄(1.5) 6/3	ロクロ整形。回転ナデ。 外面：口縁部～底部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	重石焼き
3	須恵器 椀	表土 完形	口径 5.4 底径 3.8 器高 3.8	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 良好 ③ 灰 (5Y 6/1)	ロクロ整形。回転ナデ。 外面：口縁部～底部回転ナデ。底部回転糸切り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。底面に漆貼付着。	漆付直土器。
4	須恵器 杯	表土 口縁部～体部 破片	口径 13.7 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰黄 (2.5Y 7/2)	ロクロ整形。口縁部外反。 外面：口縁部～体部回転ナデ。 内面：口縁部～体部回転ナデ調整。	胴部外部に漆着
5	緑釉陶器 輪花稜皿	口縁部 小破片	口径 13.9 底径 - 器高 -	① 木炭物焼 ② 還元焼 ③ 灰	ロクロ整形。回転方向不明。 外面：口縁部に輪花 内面：-	施釉は淡緑色
6	灰輪陶器 椀	表土 体部下端～底部	口径 - 底径 - 器高 -	① 細砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰白 (5Y 8/1)	ロクロ整形。 外面：体部回転ナデ。高台取付。 内面：体部～底部回転ナデ。磨地方法は遺け掛け。	大塚2号窯式 陶。
7	須恵器 長柄密	表土 胴部 破片	口径 - 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰白 (5Y 7/2)	ロクロ整形。 外面：胴部回転ナデ。胴縁部に凹線による区画その内面に刺。 内面：胴部回転ナデ。	外面に陶灰付着
8	須恵器 把手付瓶	表土 破片	口径 - 脚径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰白(5Y 8/1)		
9	土製品 鉢	表土 完形	口径 5.4 径 2.1 孔 0.25	① 細砂粒 ② 酸化焼 良好 ③ 黒褐 (7.5YR 3/1)	外面ナデ。孔形は楕円。 中心部縦に径2.5mmの穿孔。	

番号	種別	器種	状態	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	石材	概要
10	石製品	硯石	下部欠損	6.4	3.0	1.6	42.0	流紋岩	表裏、内面両面使用。
11	石製品	硯石	下部欠損	6.2	4.5	3.3	118.0	流紋岩	
番号	種別	器種	状態	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	概要	
12	鉄器	刀子	柄～刃部小片	5.0	1.2	0.5	4.0	熟化、銹食とも進入している。	

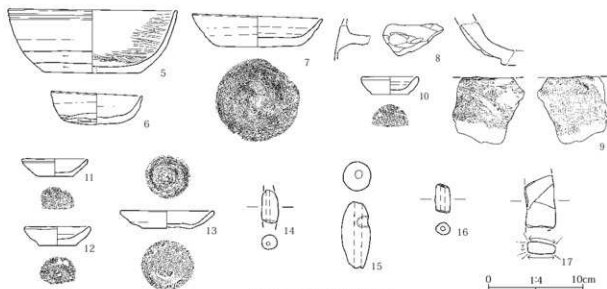
8区遺構外



第667図 8区遺構外出土遺物(5)

8区遺構外出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考
1	須恵器 杯	表土 口縁部～底部 1/2	口径 12.9 底径 7.6 器高 2.7	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 良好 ③ 灰 (3Y 4/0)	ロクロ整形。回転ナデ。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り後、底部周辺は回転ヘラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	
2	須恵器 杯	表土 口縁部～底部 1/3	口径 13.5 底径 4.5 器高 4.5	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 良好 ③ 灰 (5Y 6/1)	ロクロ整形。回転ナデ。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転ヘラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	口縁部外反に、
3	須恵器 杯	表土 底部 破片	口径 7.2 底径 - 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 良好 ③ 灰 (7.5Y 6/1)	ロクロ整形。回転ナデ。 外面：底部回転ヘラ削り。 内面：回転ナデ調整。	口縁部外反に、
4	須恵器 椀	表土 底部 破片	口径 - 底径 10.0 器高 -	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 還元焼 やや不良 ③ 灰黄 (2.5Y 7/2)	ロクロ整形。 外面：底部回転ヘラ削り。高台取付。 内面：底部回転ナデ調整。	底部外部に 「木」の墨書。
5	須恵器 瓶	埋土中 把手部	口径 - 底径 - 器高 -	① 細砂粒 ② 還元焼 ③ 灰白 (7.5Y 7/1)	把手取付。把手の長さ7.3cm、巾2.7cm、高さ3.0cm。 把手部ヘラ削り。	把手取付。
6	土師器 三足鍋	表土 脚部	長さ 8.9 径 3.3 重量 104g	① 細砂粒 ② 酸化焼 良好 ③ 明赤褐(2.5YR 5/0)	脚部取付。ナデ。	
7	土製品 鉢	表土 1/2	長さ 3.2 径 1.8 孔 0.25	① 細砂粒 ② 酸化焼 良好 ③ 灰白(黄(10YR 7/4)	上端、下部欠損。表面ナデ。 中心部縦に径2.5mmの穿孔。 重量：9g	18号溝付近で 出土。



第668図 6区遺構外出土遺物(6)

6区1号大溝出土遺物観察表

番号	種別 器種	出土位置 保存状態	計測値 cm	①胎土 ②焼成 ③色調	成形手法 調整手法	備考			
5	黒色土器 椀	埋土中 口縁部～底部 破片	口径 17.8 底径 10.2 器高 6.7	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 酸化燻 良好 内面黒色 処理 ③ にぶい・濁(7.5YR 5/4)	ロクワ整形。 外面：口縁部～体部上半回転ナデ。体部下半回転ヘラ削り。底部回転ヘラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。底部ナデ調整後磨き。内面磨き。 ロクワ整形。				
6	須恵器 杯	埋土中 ほぼ完形	口径 9.5 底径 7.0 器高 3.6	① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元燻 良好 ③ 灰白(5Y 7/1)	ロクワ整形。 外面：口縁部～体部回転ナデ。体部下半、底部手持ヘラ調整。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	底部摩滅。			
7	須恵器 杯	底面+74cm 口縁部～底部 2/3	口径 13.7 底径 9.0 器高 3.4	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化燻 ③ 黒(7.5YR 2/1)	ロクワ整形。回転削り。 外面：口縁部～体部回転ナデ。底部回転ヘラ削り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。				
8	須恵器 鍋	埋土中 把手部	口径 — 底径 — 器高 —	① 細砂粒 ② 酸化燻 ③ にぶい・濁(7.5YR 5/4)	把手貼付。把手の長さ2.7cm、幅3.5cm、高さ1.1cm。 把手部ナデ。指頭あり。	把手貼付。			
9	土製品 丸瓦	埋土中 灰中 破片	口中 — 灰中 — 幅面長 —	① 細砂粒・粗砂粒・細礫 ② 焼締 ③ 灰(10Y 5/1)	厚さ2.0cm 外面：ヘラ削り。 内面：凹面は布目あり。				
10	土師質土器 杯	埋土中 口縁部～底部 1/2	口径 5.9 底径 4.0 器高 1.9	① 細砂粒 ② 酸化燻 良好 ③ 黒褐(10YR 3/1)	ロクワ整形。 外面：口縁部～体部横ナデ。底部回転糸切り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。				
11	土師質土器 杯	埋土中 口縁部～底部 1/4	口径 6.8 底径 4.0 器高 1.8	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化燻 良好 ③ 灰黄(10YR 7/2)	ロクワ整形。 外面：口縁部～体部横ナデ。底部ヘラ切りか。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。				
12	土師質土器 杯	埋土中 口縁部～底部 1/2	口径 6.7 底径 4.0 器高 2.0	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化燻 良好 ③ にぶい・濁(5YR 7/4)	ロクワ整形。 外面：口縁部～体部横ナデ。底部ヘラ切りか。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。				
13	土師器 かわらけ	埋土中 口縁部～底部 1/2	口径 9.6 底径 5.4 器高 1.9	① 細砂粒 ② 酸化燻 良好 ③ 浅黄褐(7.5YR 8/4)	ロクワ整形。回転削り。 外面：口縁部～体部横ナデ。底部回転糸切り。 内面：口縁部～底部回転ナデ調整。	底部内面に油煙付着。			
14	土製品 鉢	埋土中 1/2	長さ 3.3 径 1.8 厚 0.4	① 細砂粒 ② 酸化燻 良好 ③ 粉(5YR 6/0)	土堀、下半欠損。外面ナデ。 中心部縦に径4mmの穿孔。 重量：30g	一部にスス付着。			
15	土製品 鉢	埋土中 完形	長さ 6.9 径 3.1 厚 0.8	① 細砂粒・粗砂粒 ② 酸化燻 良好 ③ にぶい・濁(7.5YR 5/3)	外面ナデ。上半に横位の強いナデ。 中心部縦に径8mmの穿孔。 重量：36g	一部にスス付着。			
16	土製品 鉢	埋土中 1/2	長さ 3.0 径 1.6 厚 0.4	① 細砂粒 ② 酸化燻 良好 ③ 灰濁(7.5YR 4/2)	両端は斜めに整形。外面ナデ。 中心部縦に径4mmの穿孔。 重量：4g	一部にスス付着。			
番号	種別	器種	状態	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)	石材	概要
17	石製品	砥石	上下欠損	5.5	3.3	1.3	34	砥石	表裏ともよく使用されている。左側面は一部のみ使用、右側面は加工時のままか。

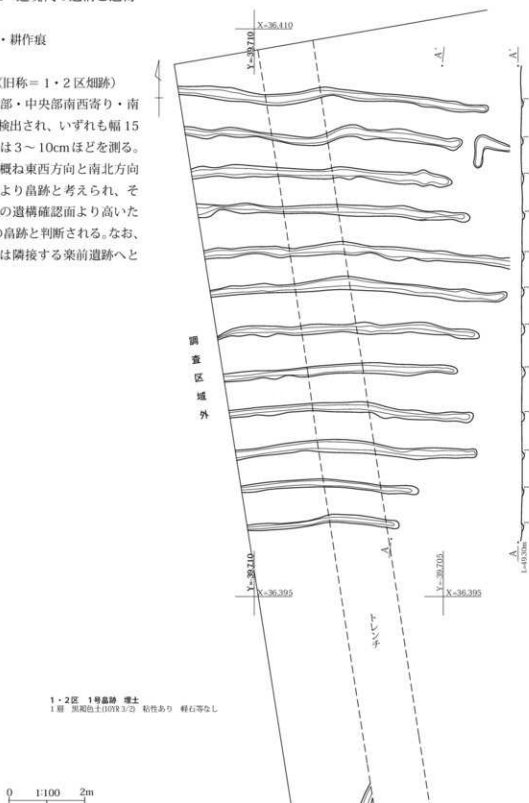
第3章 検出遺構と出土遺物

第3節 中世～近現代の遺構と遺物

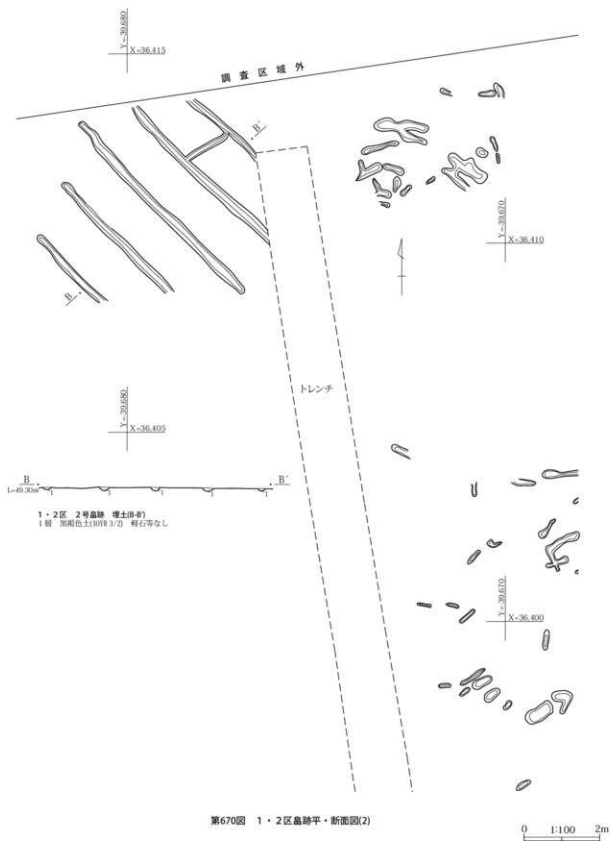
第1項 畠跡・耕作痕

1・2区畠跡（旧称＝1・2区畑跡）

調査区北東部・中央部南西寄り・南東部の各所で検出され、いずれも幅15～40cm、深さは3～10cmほどを測る。その走向は、概ね東西方向と南北方向である。形状より畠跡と考えられ、その検出面が他の遺構確認面より高いため、中世以降の畠跡と判断される。なお、北東部の畠跡は隣接する楽前遺跡へと続く。



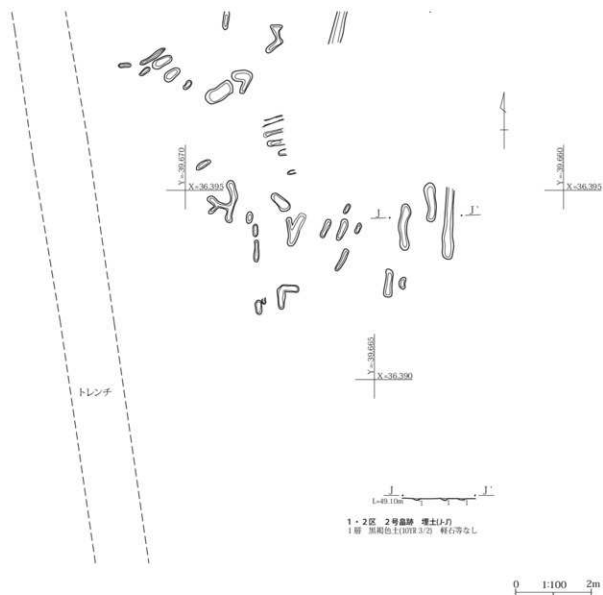
第669図 1・2区畠跡平面図(1)



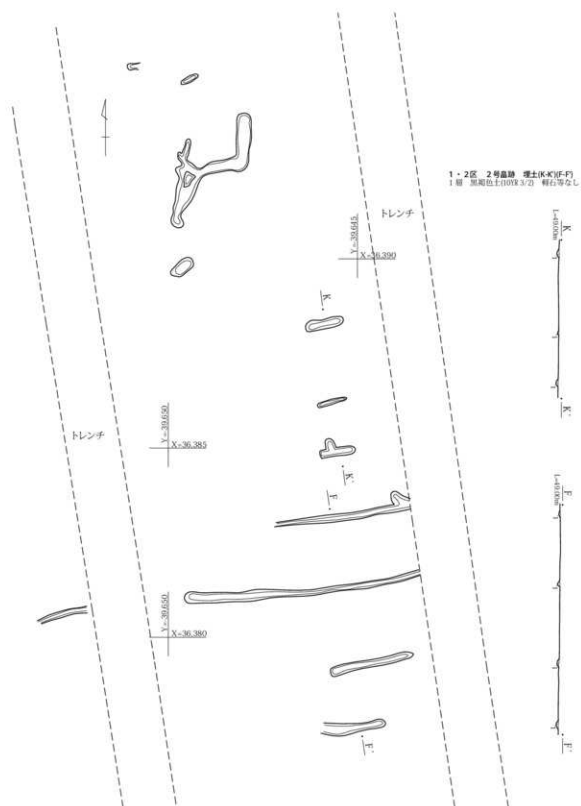
第670図 1・2区畚跡平・断面図(2)



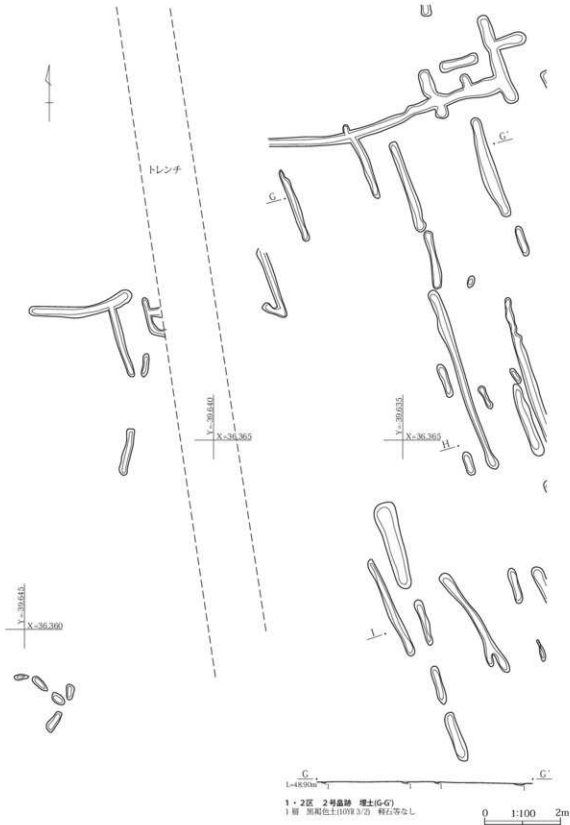
第671図 1・2区墓跡平・断面図(3)



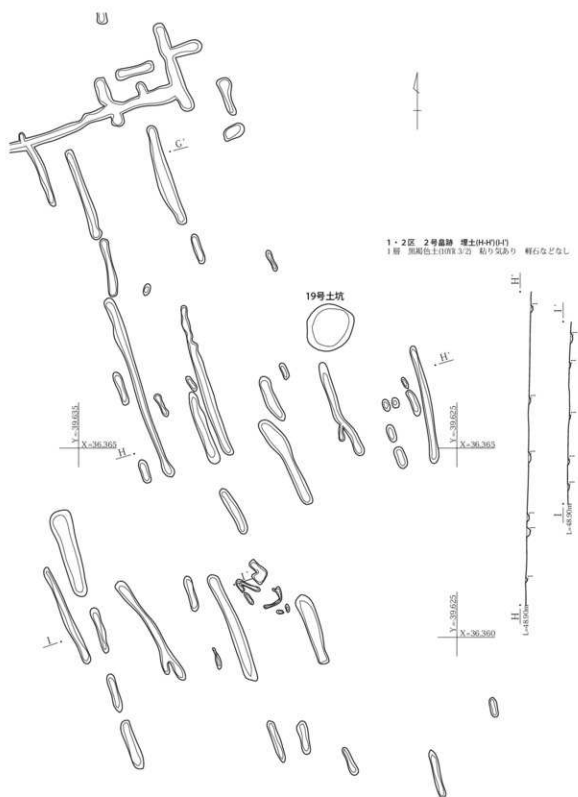
第672図 1・2区墓跡平・断面図(4)



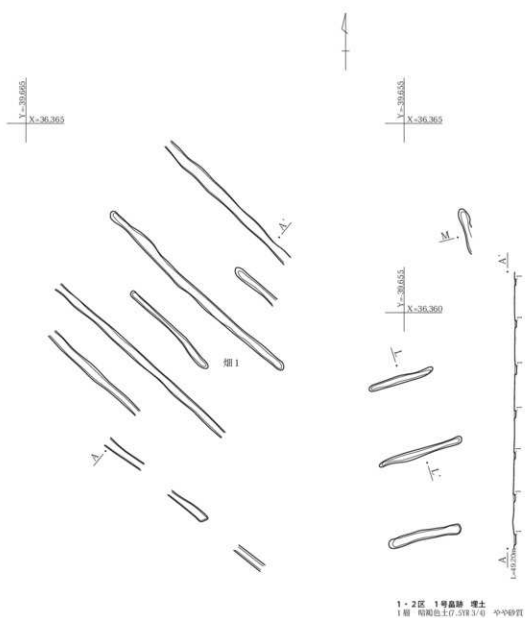
第673図 1・2区墓跡平・断面図(5)



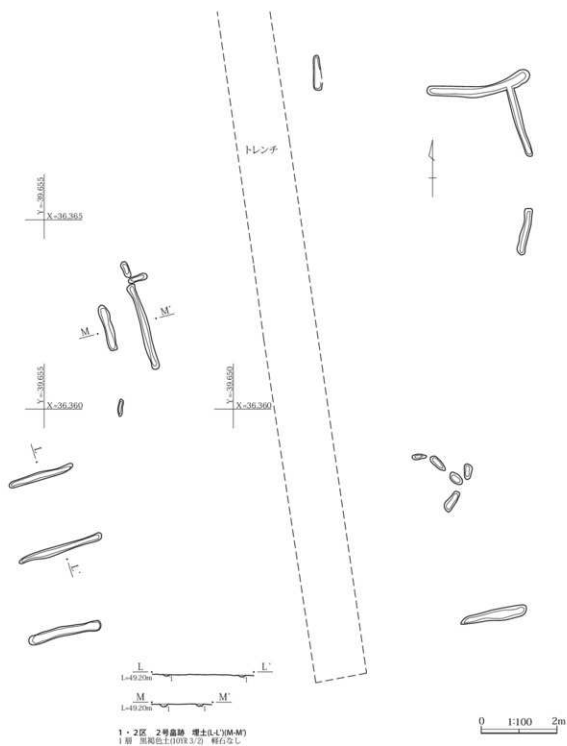
第674図 1・2区墓跡平・断面図(6)



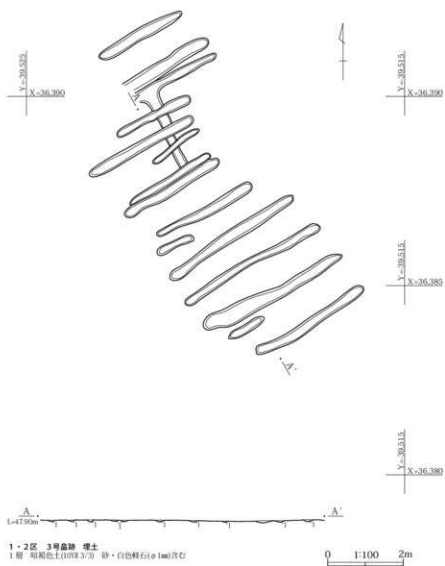
第675図 1・2区墓跡平・断面図(7)



第676図 1・2区墓葬平・断面図(8)



第677図 1・2区倉跡平・断面図(9)

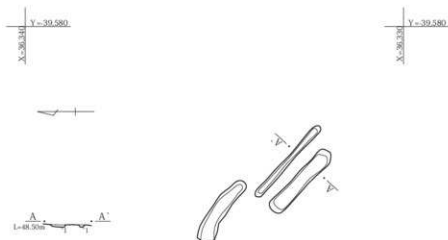


第678図 1・2区墓跡平・断面図(10)

第3章 検出遺構と出土遺物

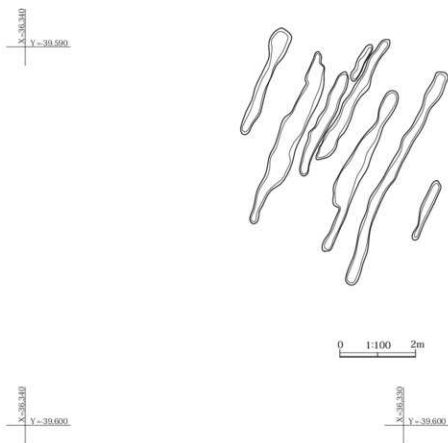
4区畠跡（旧称＝4区1号～7号畑）

調査区北東部～中央南寄りで検出され、いずれも幅15～35cm、深さは3～10cmほどを測る。その走向は、概ね東西方向と南北方向である。形状より畠跡と考えられ、その検出面が他の遺構確認面より高いため、中世以降の畠跡と判断される。



4区 1号畠跡 埋土

1層 両面地盤砂質土(00Y4/2) 少量の白色輝石(As-C種名二つ固)を含む
微量の黄色砂質ローム稜子を含む 畠跡サケ埋土

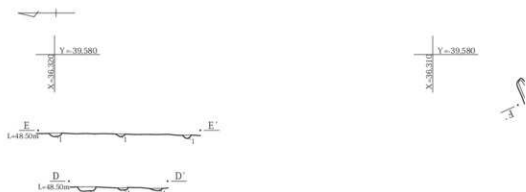


第679図 4区畠跡平・断面図(1)



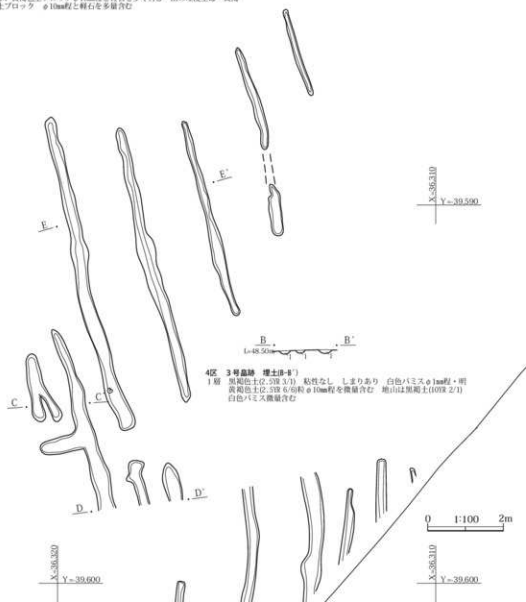
第680図 4区墓跡平面図(2)

第3章 検出遺構と出土遺物



3号墓跡 埋土(B・D・D')

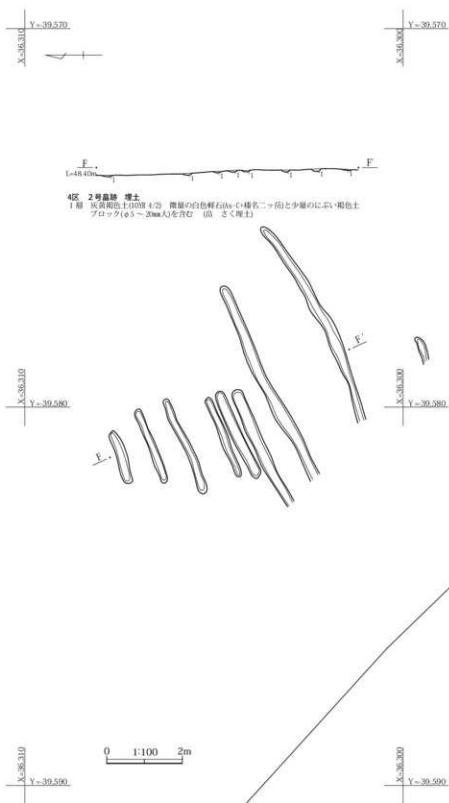
1層 灰黄褐色土(100%左右) わずかに粘質 しまりやや弱い 地山は黒色土で
 高い黄褐色土ブロックφ10mm程と軽石を多く含む 島の埋没土は 黄褐
 色土ブロック φ10mm程と軽石を多量含む



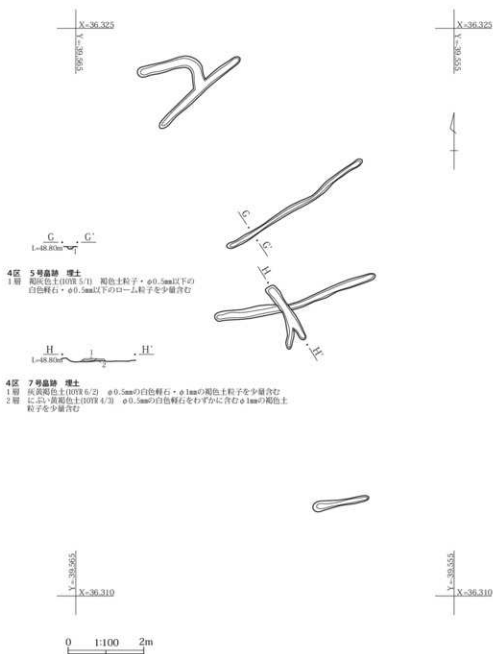
4区 3号墓跡 埋土(B・B')

1層 灰褐色土(2.50%左右) 粘性なし しまりあり 白色パミスφ1mm程・明
 黄褐色土(2.50%左右)φ10mm程を微量含む 地山は黒褐色土(100%左右)
 白色パミス微量含む

第681図 4区墓跡平・断面図(3)



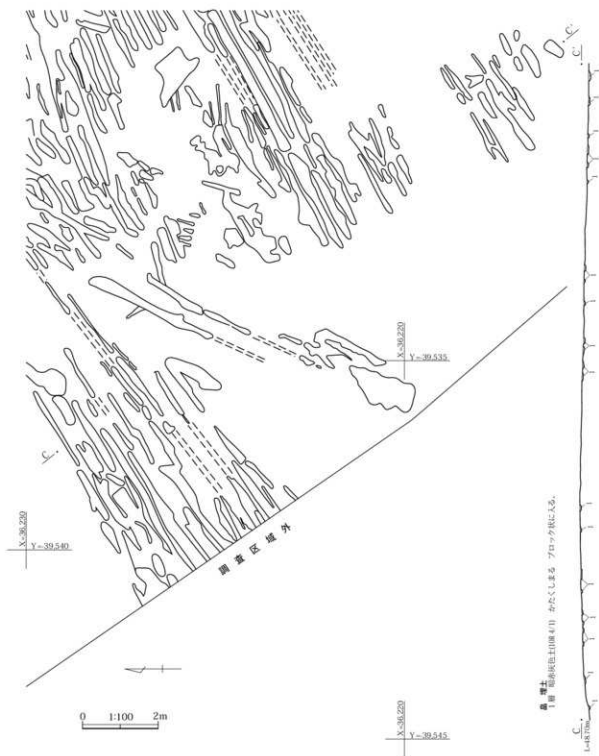
第682図 4区倉跡平・断面図(4)



第683図 4区鳥跡平・断面図(5)

6区畠跡（旧称＝6区1号・2号耕作痕）

調査区中央南西～北西寄りで検出され、幅は40～80cm、深さは3～10cmほどを測り、その走向は、概ね北東南西方向と東西方向である。形状より南寄り（旧1号耕作痕）は畠跡と考えられ、その検出面が他の遺構確認面より高いため、中世以降の畠跡と判断される。北寄りの旧2号耕作痕については形状が異なるため、その用途は明らかではない。



第684図 6区畠跡平・断面図(1)

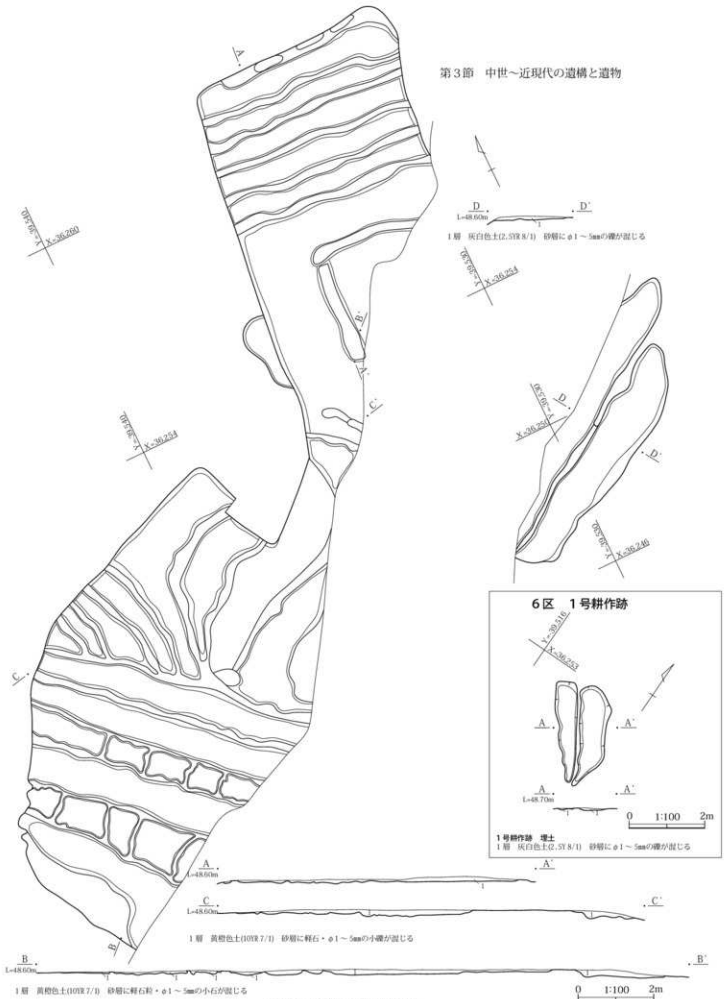
第3章 検出道構と出土遺物



島 埋土

↑ 層赤灰色土0.8m 4/5 かくしまる ブロック状に入る。

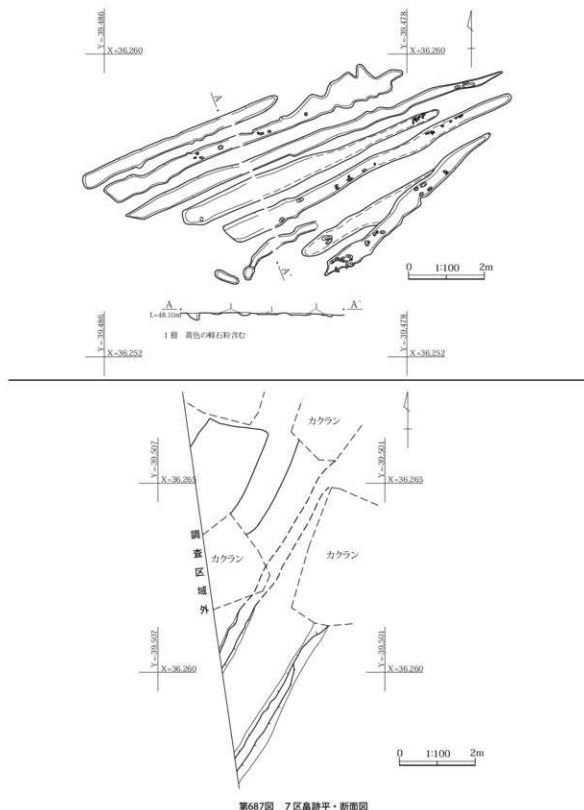
第3節 中世～近現代の遺構と遺物



第3章 検出道構と出土遺物

7区畠跡（旧称＝7区畠・水田跡）

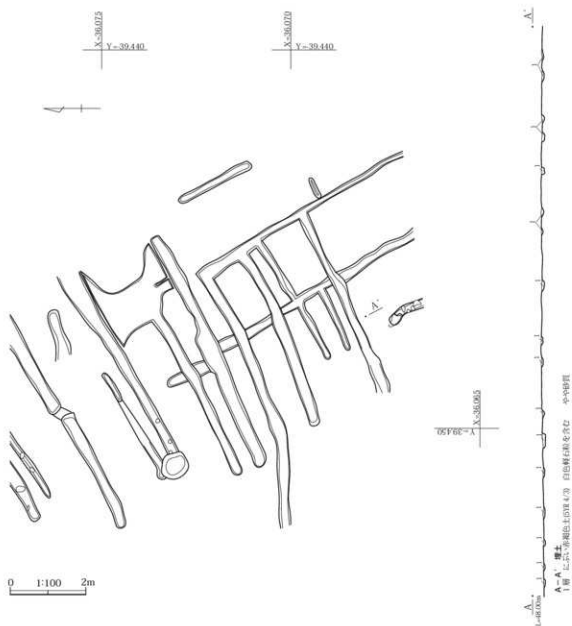
調査区中央部および北東端部で検出され、東山道駅路跡と重複する。その走向は、概ね北東南西方向である。形状より畠跡と考えられ、その検出面が他の遺構確認面より高いため、中世以降の耕作と判断される。又、旧称水田跡については、群状の高まりを検出するが、稈岳が多く水田跡と断定できない。いずれにしても時期的には中世以降の耕作となる。



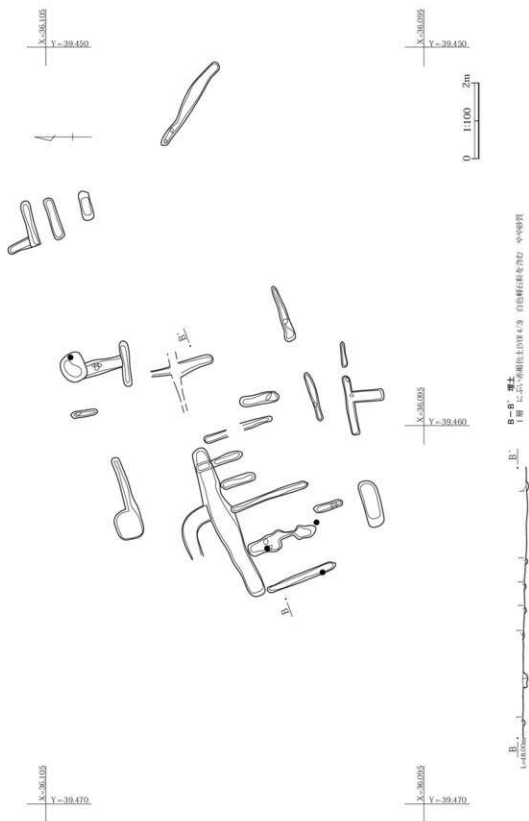
第687図 7区畠跡平・断面図

8区畠 (旧1号耕作痕・2号耕作痕)

調査区中央南寄りから東側にかけて検出され、その走向は、概ね北東南西方向である。形状より畠跡と考えられ、その検出面が他の遺構確認面より高いため、中世以降の畠跡と判断される。なお、東端部の畠跡は、隣接する東今泉鹿島遺跡へと続く。



第688図 8区畠跡平・断面図(1)

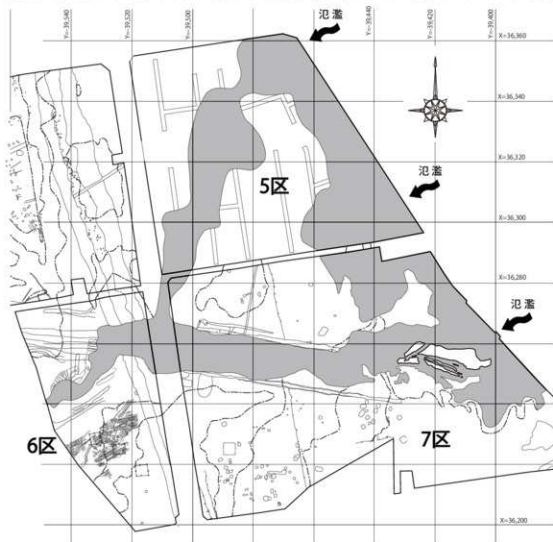


第6690区 8区遺跡群・新築園(3)

第2項 氾濫跡(旧大溝跡) および遺構外出土遺物(中世～)

7区東端部から6区西端部にかけて、ほぼ東西方向の帯状に検出された水流の痕跡は、調査時に大溝跡として調査された。その幅員や深度は検出箇所により大きく異なり、特に7区東端部と6区西端部において、水流による底面の抉れ(ポッド)が認められた。また、隣接する5区のトレンチ調査結果においても、同様の水流によると考えられる落ち込みが検出されており、この水流痕は、5～7区の広範囲にかけて全体に不定形に蛇行し認められることから、溝跡のような人為的な遺構ではなく、河道若しくは大規模な河川の決潰による自然災害の痕跡と判断された。遺跡地は、渡良瀬川右岸1.7kmほどの所に位置し、調査区東側に接して矢場堰より取水の休泊堰用水も走る。流入方向と水量から察して、水害は渡良瀬川増水に起因するものと考えられるが、川よりの直接的な氾濫ではなく、恐らくは用水路経由の流入と推察される。渡良瀬川は上流域では急流、下流域では緩勾配のため増水時には高水位が長時間続く河川である。その洪水記録は寛永元年から昭和4年までの間に62回を数える。

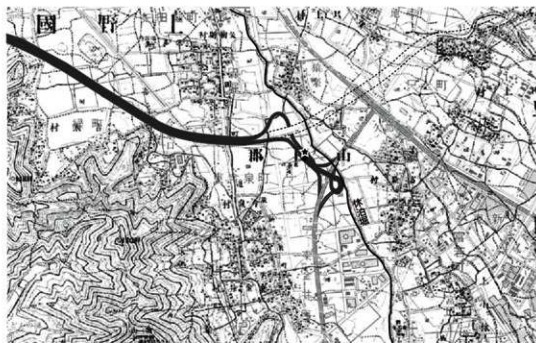
本遺跡に残された氾濫跡の時期については、最も新しい出土遺物としてカルピス瓶・各種薬瓶があり、中に「東京市」の文字も見える。東京府下15区からなる東京市の存続は1889(明治22)年より1943(昭和18)年までとされ、共伴のキンカン遮光瓶やイボコロリ遮光瓶などから、昭和20年代のものと推定される。この時期の渡良瀬川水系の決潰・氾濫事例として、昭和22年9月のキャサリン(カスリン)台風・翌23年のアイオン台風・24年のキティー台風によ



氾濫跡平面図 S=1:1,250

第691図 氾濫跡平面図

る未曾有の水害が記録されている。中でもキャサリン台風時には、葉鹿橋より上流側600mで堤防を越流し、床下浸水などの被害をもたらした当時の水害の様子は、地元住民の記憶にも残る。5～7区検出の氾濫跡もこの水害によるものと判断される。



第692図 氾濫跡と林泊船位置関係図(陸軍迅速測量図・国土地理院地形図合成) ★印が氾濫跡

また、6区の氾濫跡西側調査区端部および7区東側より出土の五輪塔を中心とする夥しい数の石造物は、五輪塔空風輪96個体(6区57個+7区39個)、同火輪81個体(6区54個+7区27個)、水輪89個体(6区53個+7区36個)、地輪49個体(6区21個+7区28個)を数え、他に宝篋印塔等も含まれる。これら石造物の造立年代については紀年銘の残るものが無く、その形態から察するに近世のものが大半と考えられるが、なかに板碑や馬見岡凝灰岩製の成整形も端正な五輪塔・同凝灰岩製の名号角塔婆が含まれるなど、中世色の強い石造物も客観的に見られる。いずれも水流によるローリングの痕跡は見当たらず、氾濫が治まった後に投げ入れられた状態での検出と判断される。

出土石造物中、前記の河川氾濫跡の7区東端部より出土した凝灰岩製角塔婆は、4側面に「南無阿弥陀佛」の文字を刻んだ名号角塔婆と呼ばれるもので、群馬県東部の旧山田郡内の一部にのみ分布がみられる独特な石造物である。石材として、みどり市笠懸町西鹿田天神山で産出する白色の馬



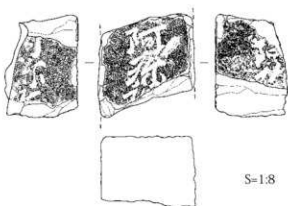
6区西端部氾濫跡 石造物出土状態 北より

見岡凝灰岩を使用し、方柱状の頂部を方錐状に成形し、板碑の二条線同様の切込みを四側面に施す。碑面には南無阿弥陀佛の文字(=名号)と、その上部に天蓋、下部には蓮座を配し、上部に阿弥陀三尊種子を刻むものもみられる。その存在は古くより知られ、岩沢正作・八木昌平・金子規矩雄・天利秀雄らによって調査・研究がなされ、その成果は『山田郡誌』・『太田市史』・『群馬県史』などに掲載されている。(『山田郡誌』では「方形塔」と称する。)

第3章 検出遺構と出土遺物

現在、太田市東部域・桐生市南部域・大間々町東部域において35基の存在が確認されており、当遺跡出土遺物が36番目となる。紀年銘が判読出来るものの中で最古のものは、遺跡地より北900mほどの諏訪神社・土師神社の東側にある、通称「矢田堀勘兵衛屋敷」の正応二年(1289年)銘のもので、現在は磨滅のために判読が難しいが、昭和13年の調査時には「為藤原朝臣淡路十郎信光女子也 正応二年大才己□四月」と判読された。同所には、この正応銘の他に「正和五年(1316年)」銘を含む4基の名号角塔婆が並列し(太田市指定重要文化財)、その立地は戦国期の矢田堀城北端の土塁南裾部にあたる。正和銘の角塔婆については、昭和13年当時においても判読ができなかったものの、元文三年(1738年)に記された「(新田金山)菅ノ沢石棺御尋問書」の中に、前記の正応(正慶と誤読)銘の塔と共に「為沙彌明海堂出離生也 正和五年三月廿八日」銘の「四面石」五石が当地に存在していたことが記されていたため明らかとなった。残り3基については元文当時でも判読できなかったらしく、「南無阿弥陀佛と蓮花計」と記されている。また、この勘兵衛屋敷名号角塔婆の他にも当遺跡周辺には、富若町所在の「永仁五季(1297年)大歳丁酉初春廿五日」銘をもつ富若の名号角塔婆(太田市指定重要文化財)、東今泉町大日塚上、東今泉町曹源寺境内、上小林町富晴家地内、只上町石川家地内、東金井町永福寺境内、矢田堀端蔵寺境内などにその存在が確認され、当遺跡周辺に名号角塔婆の多くが分布していることがうかがえる。

この旧山田郡内の限られた地域にのみ名号角塔婆が分布する要因として、この地が久寿三(1156年)に成立した「蘭田(園田)御厨」の領域であったためと解される。この地を治めた蘭田(園田)一門は、藤原秀郷流の藤姓足利氏より分かれた桐生・佐野・大胡などと同族関係にある。一族の蘭田御厨司成家は、正治二(1200年)に法然に師依し、法名を智明と称した。その後、元久二(1206年)には桐生川内小倉山に庵を設け、宝治二(1248年)に没するまでの間、浄土信仰の流布に務めたとされる。この智明房の存在が一族にも浄土信仰を根付かせ、名号角塔婆の造立に至ったものと考えられている。また、蘭田一族と名号角塔婆の関係を示唆するものとして、前記の勘兵衛屋敷所在の角塔婆に記された銘の中の「藤原朝臣淡路・・・」とあり、藤姓蘭田一族にも「園田淡路入道跡」



鹿島浦遺跡7区田原跡出土 名号角塔婆

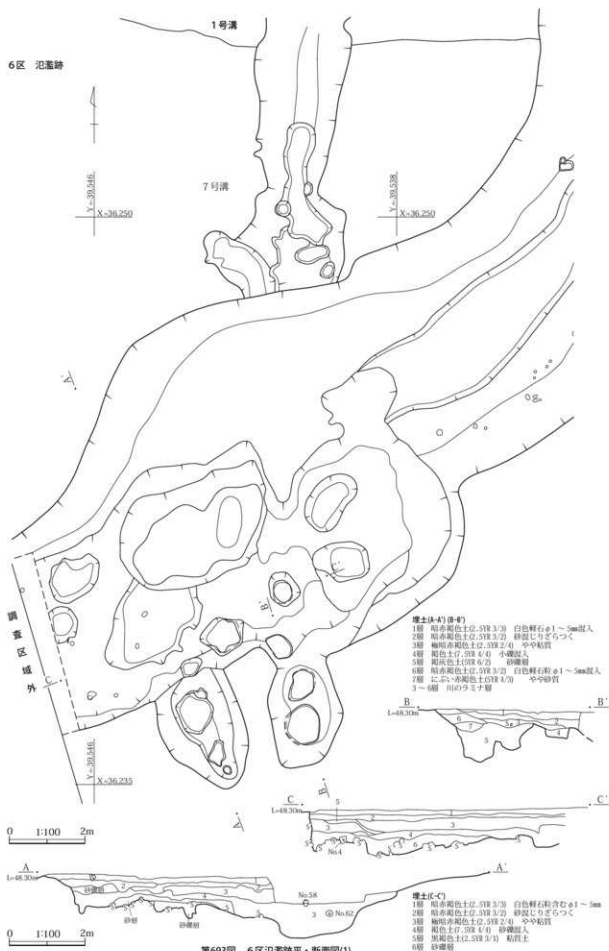


矢田堀勘兵衛屋敷 名号角塔婆

(写真 太田市教育委員会)

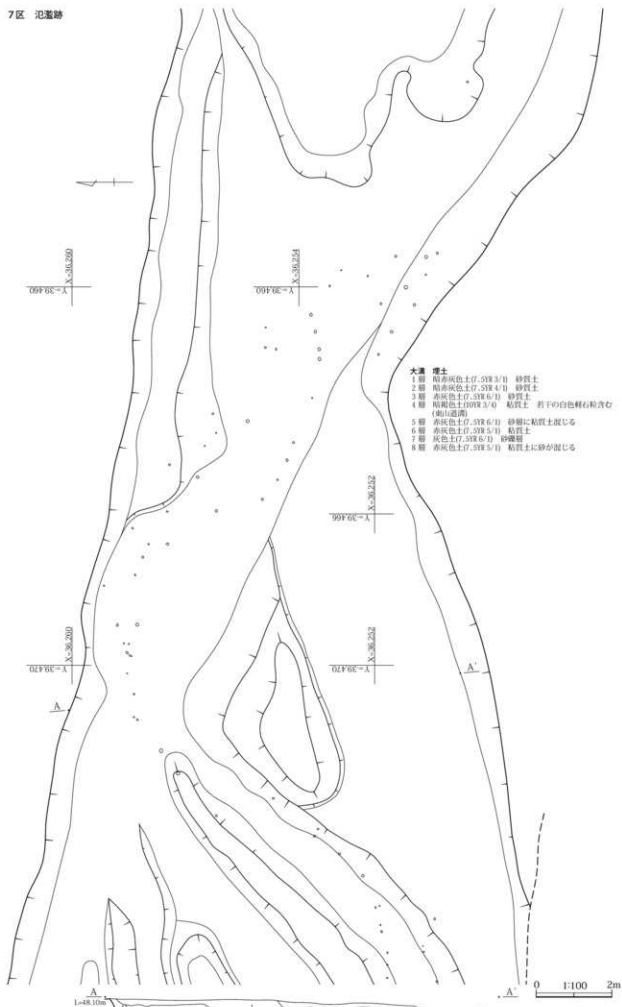
や「淡路守復基」など淡路を名乗る者が存在することや、新田義貞と共に鎌倉攻めに加わり、新田十六騎に数えられる蘭田秀澄ゆかりの桐生市東禅寺にも「建武五(1338)年六月三日」銘の名号角塔婆が存在することなどからも、蘭田一族により、その領地内に名号角塔婆が造立されたものと考えられる。

6区 沱基跡



第693図 6区沱基跡平・断面図(1)

7区 泥濘跡



第694図 7区泥濘跡平・断面図(1)

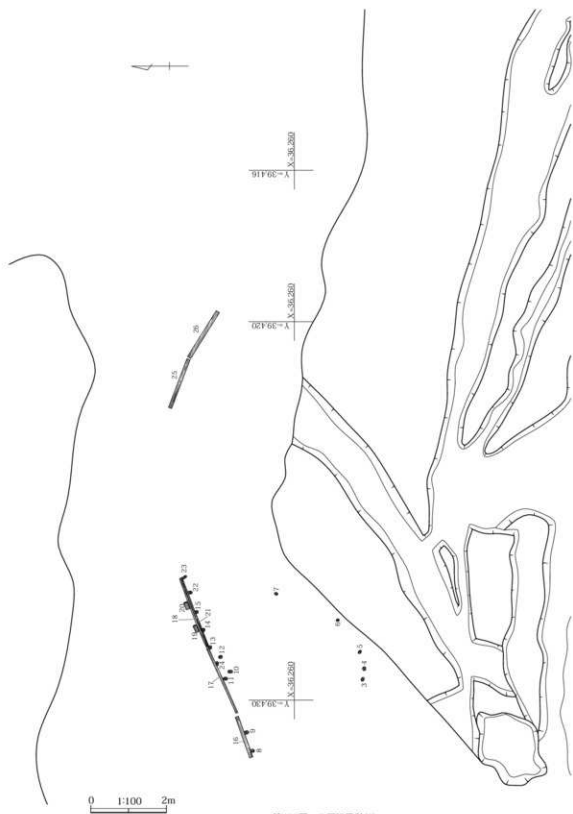


第695图 6区汜濫跡(2)



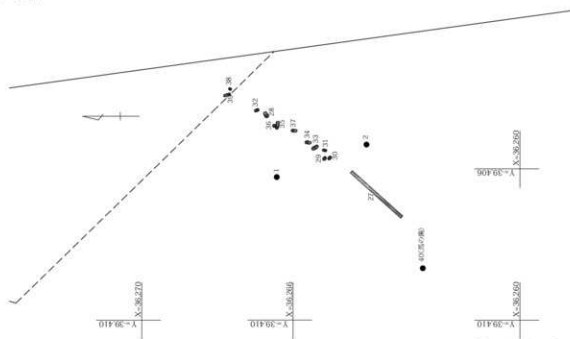
第696图 6区汜濫跡(3)

7区 氾濫跡



第697図 7区氾濫跡(2)

7区 氾濫跡

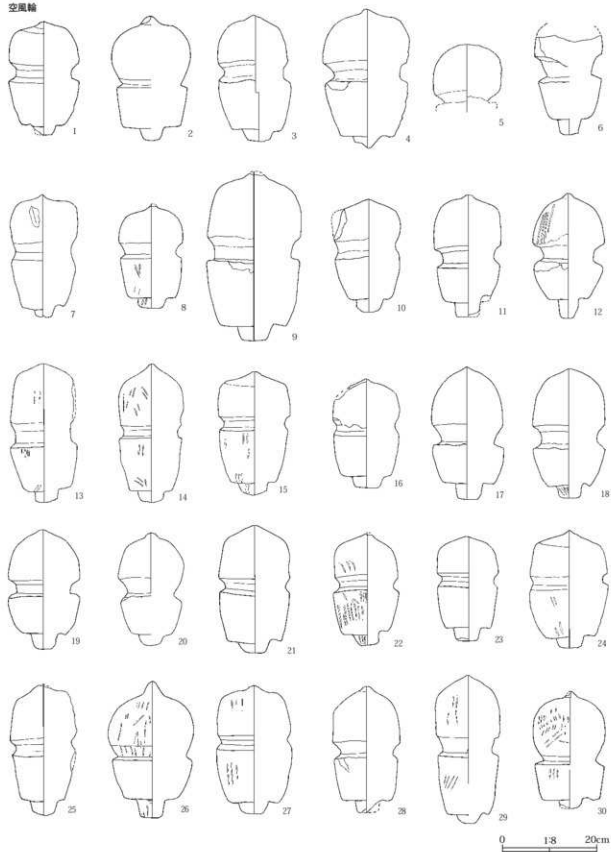


第698図 7区氾濫跡(3)

7区東端部の氾濫跡縁辺で検出された木杭列や横木、木杭と横木を組み合わせた施設は、いずれも護岸のための施設と考えられる。横木と木杭の組み合わせを見ると、南(水流痕)側に杭を打設し、北(岸)側に横木を添わせている。これは、岸側の法面崩壊を防ぐための土留め跡で、高さが低いことから、これにより直接土留めを行ったものではなく、土嚢積み下底部のズレ防止ではないかと考えられる。

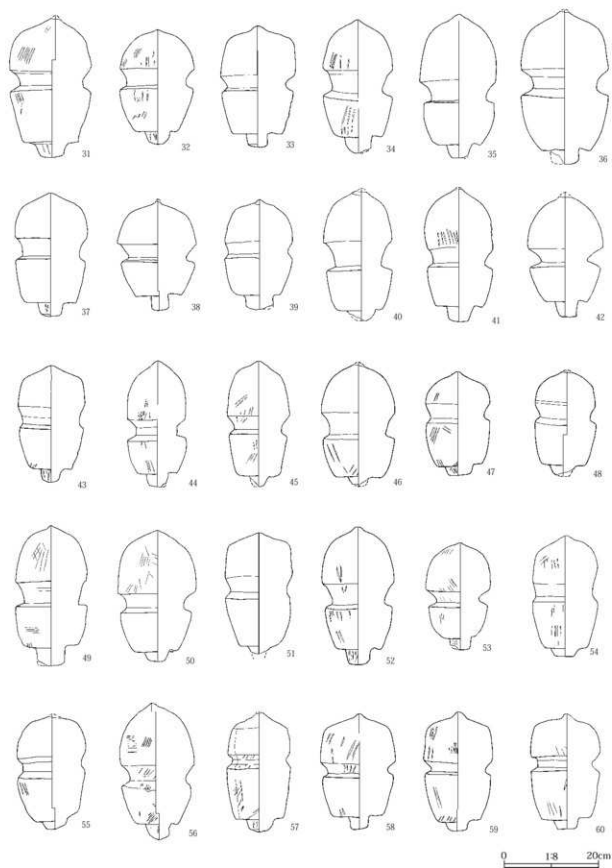


空風輪

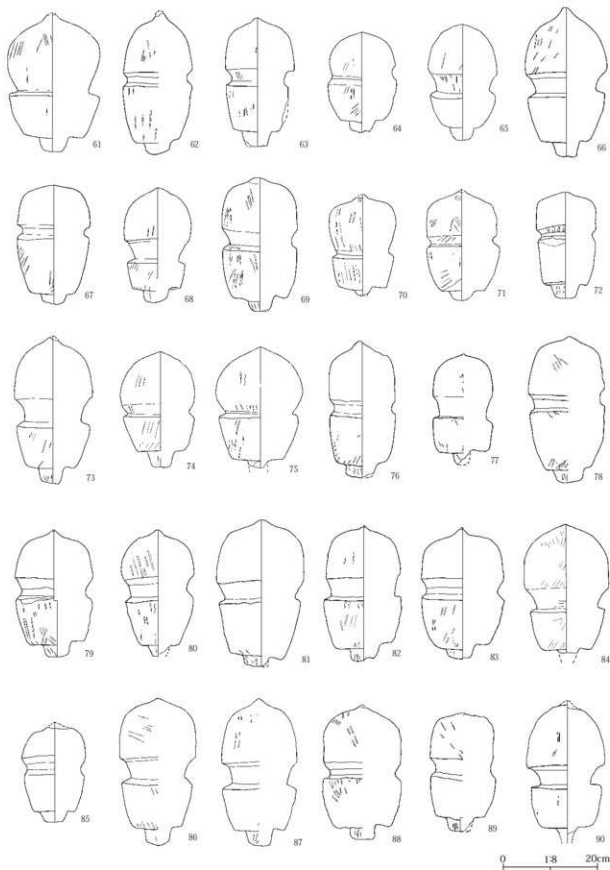


第699図 瓦蓋跡および遺構外出土遺物(中世以降)(1)

第3章 検出道構と出土遺物

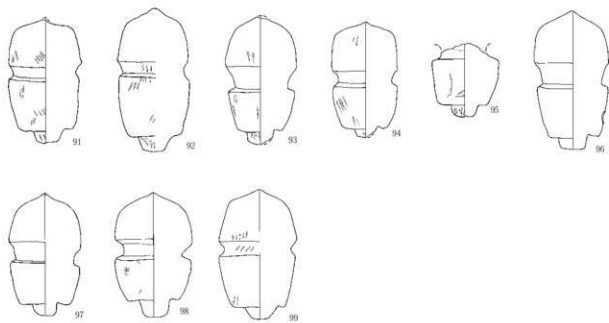


第700図 泥葺跡および遺構外出土遺物(中世以降)(2)

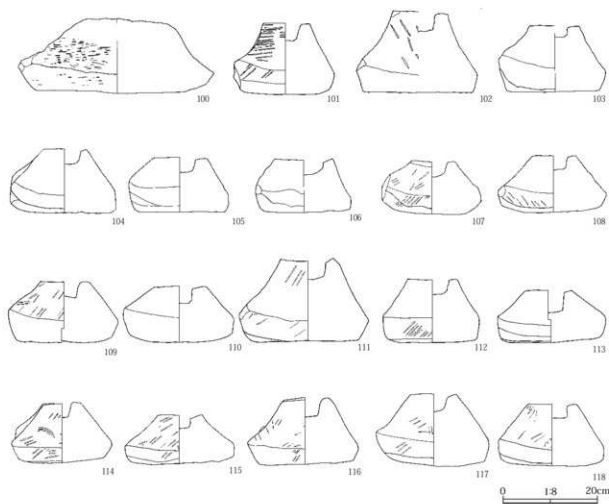


第701図 氾濫跡および遺構外出土遺物(中世以降)(3)

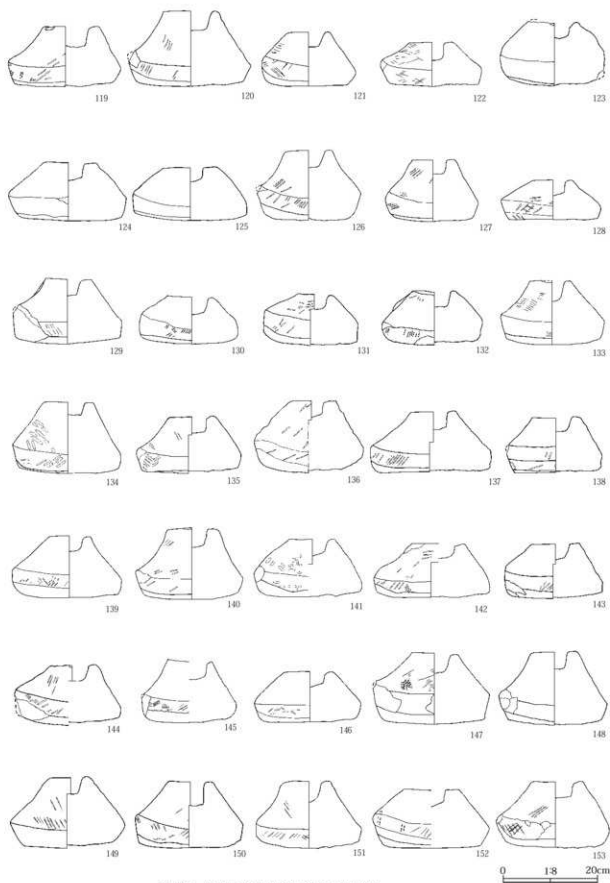
第3章 検出道構と出土遺物



火輪

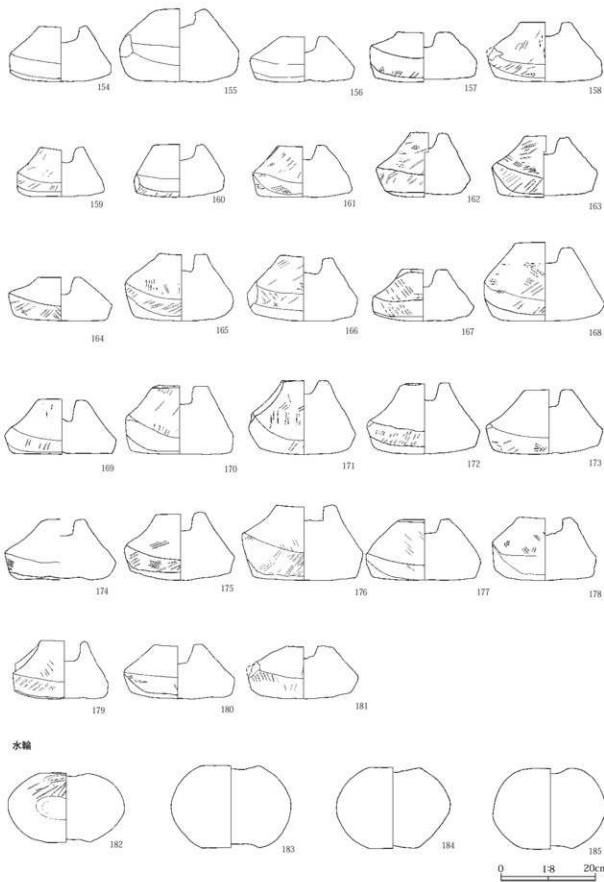


第702回 泥濺跡および遺構外出土遺物(中世以降)(4)

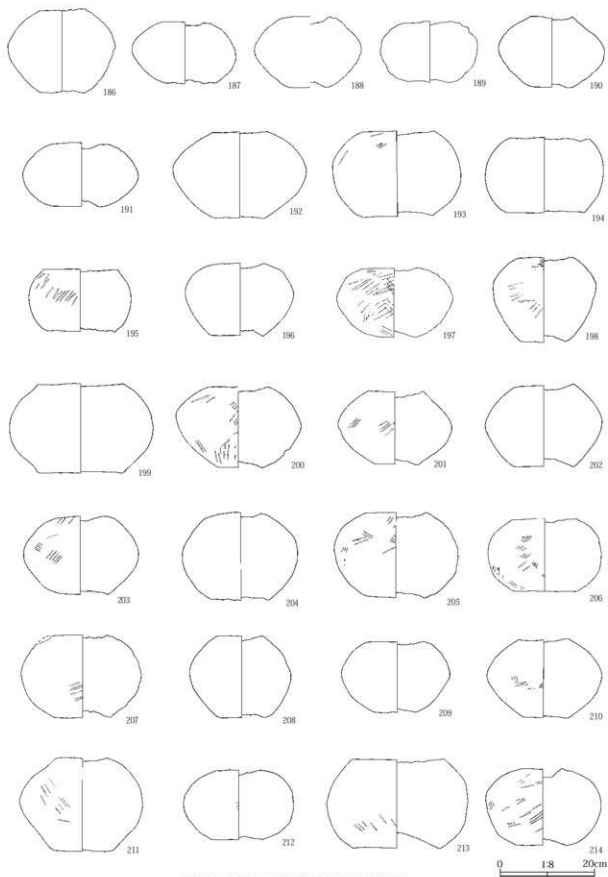


第703図 瓦窯跡および遺構外出土遺物(中世以降)(5)

第3章 検出遺構と出土遺物

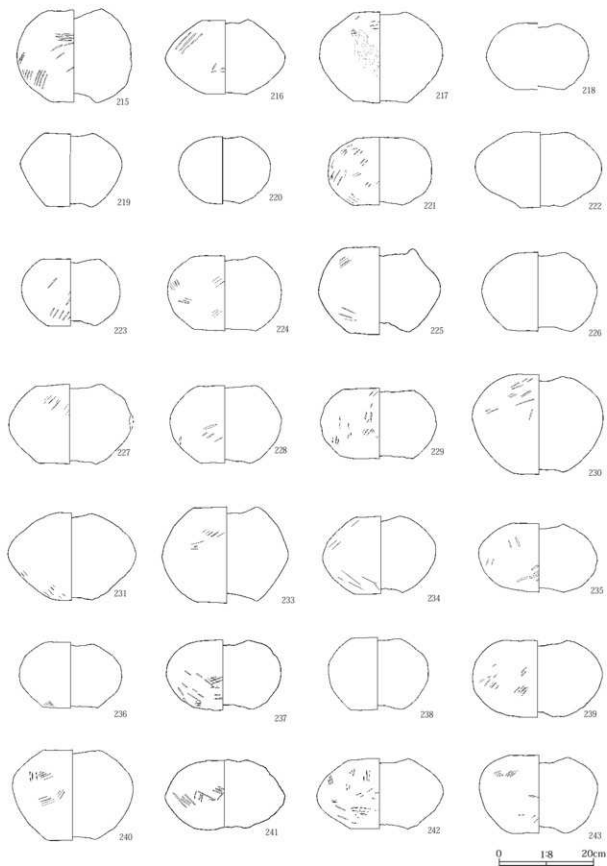


第704図 沱瀝跡および遺構外出土遺物(中世以降)(6)

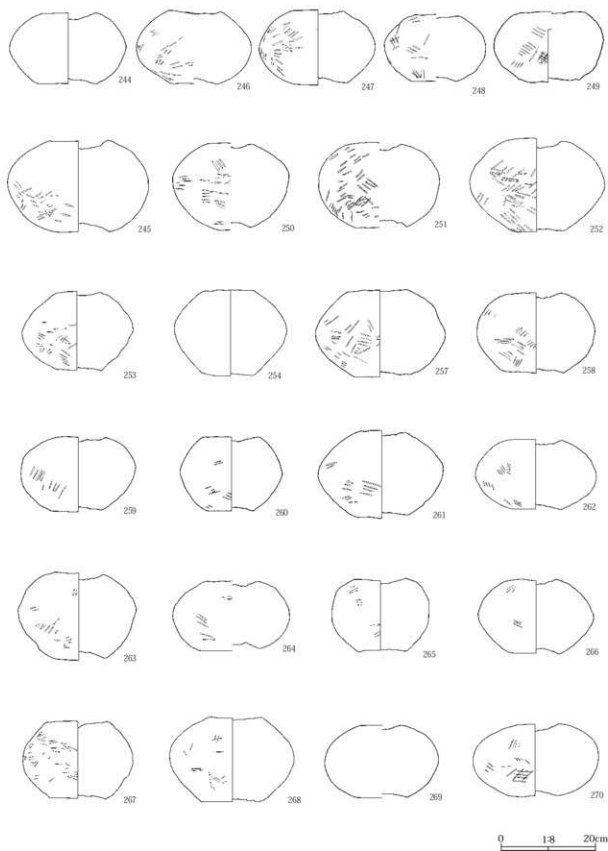


第705図 泡蓋跡および遺構外出土遺物(中世以降)(7)

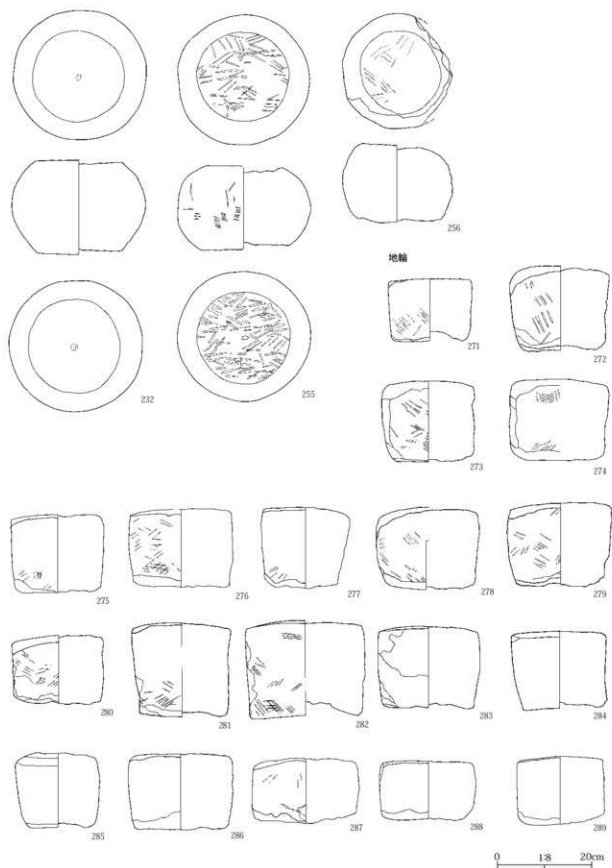
第3章 検出遺構と出土遺物



第706図 汎濫跡および遺構外出土遺物(中世以降)(8)

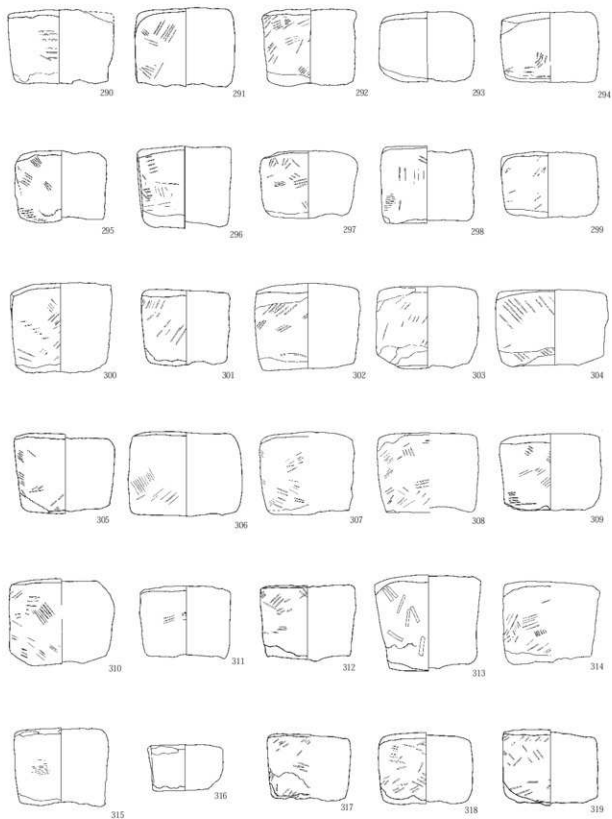


第707図 泥塗跡および遺構外出土遺物(中世以降)(9)



第708図 泥濘跡および遺構外出土遺物(中世以降)(10)

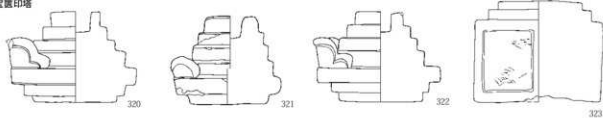
第3節 中世～近代の遺構と遺物



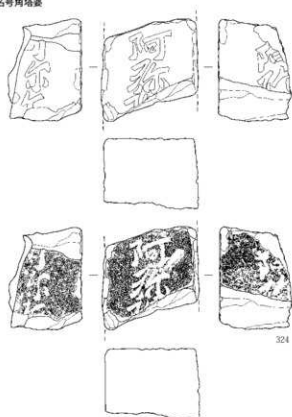
第709図 氾濫跡および遺構外出土遺物(中世以降)(11)

第3章 検出道構と出土遺物

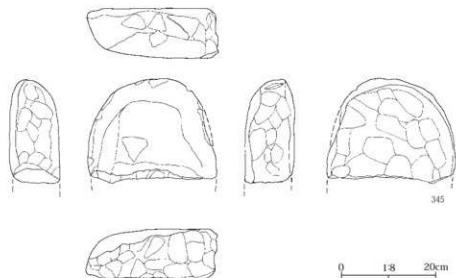
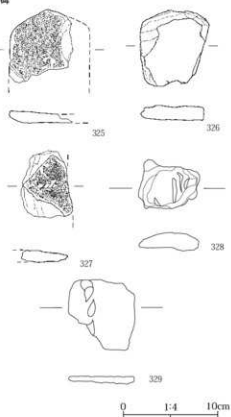
宝篋印塔



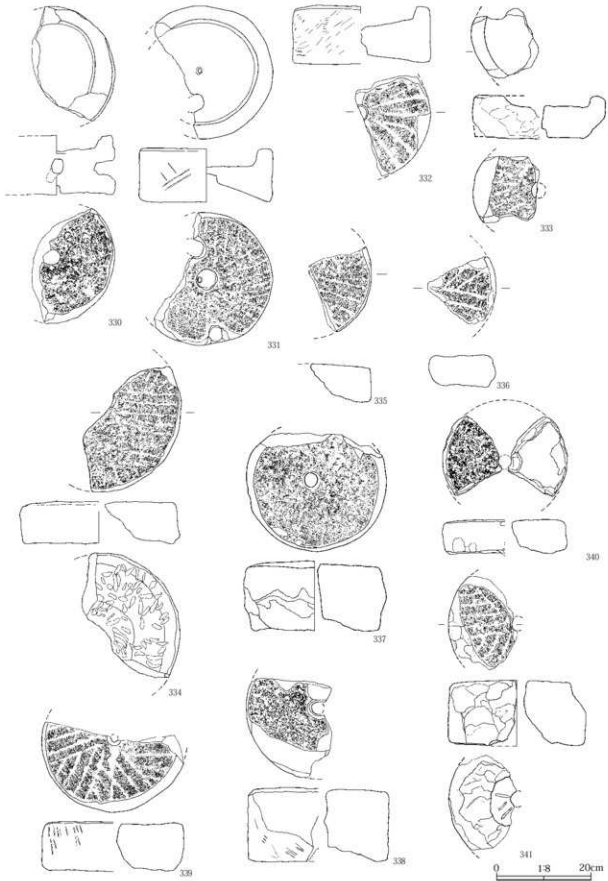
名号角塔婆



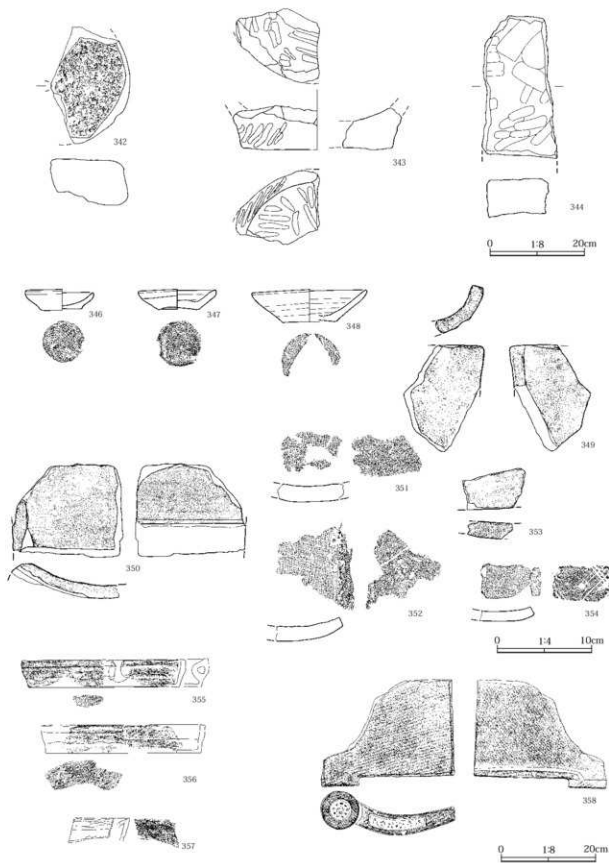
板碑



第710図 汎墓跡および遺構外出土遺物(中世以降)(12)

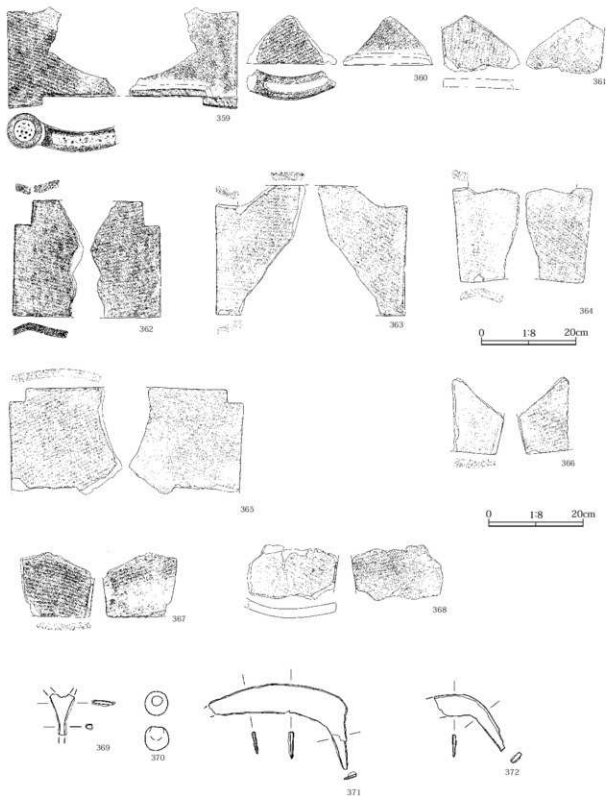


第711図 沼澤跡および遺構外出土遺物(中世以降)(13)



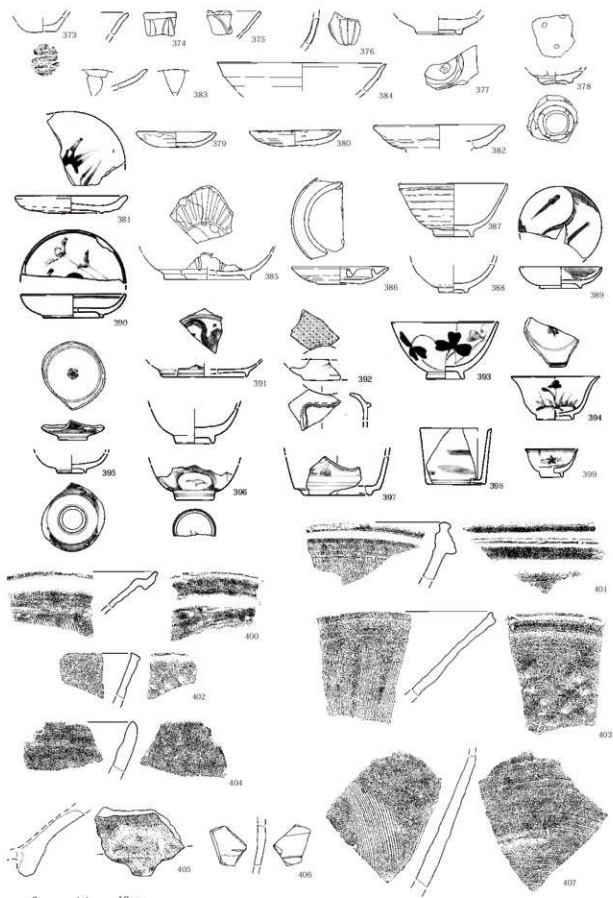
第712図 沼澤跡および遺構外出土遺物(中世以降)(14)

第3節 中世～近現代の遺構と遺物

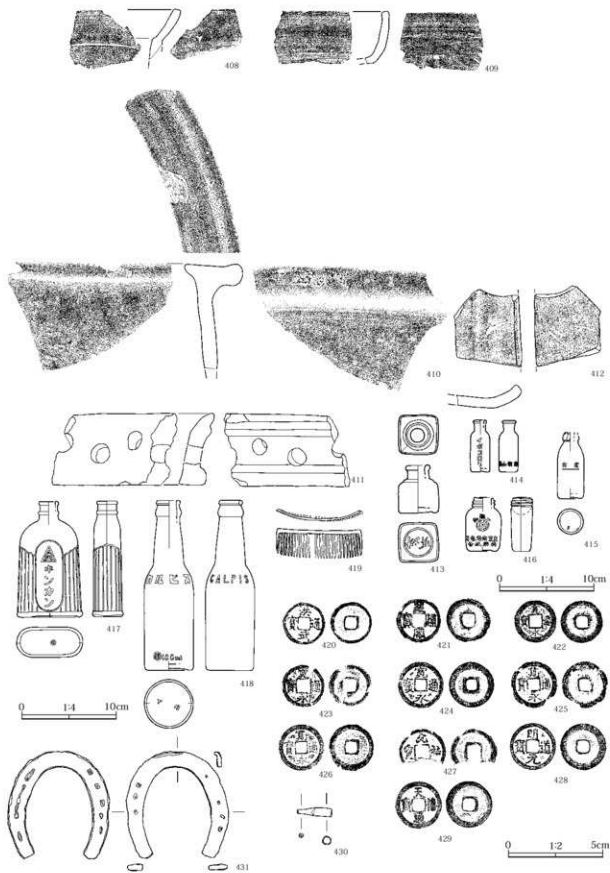


第713図 瓦葺跡および遺構外出土遺物(中世以降)(15)

第3章 検出遺構と出土遺物



第714回 沓淵跡および遺構外出土遺物(中世以降)(16)



第715図 沓淵跡および遺構外出土遺物(中世以降)(17)

第3章 検出遺構と出土遺物

犯瀬跡および遺構外出土遺物観覧表（中世以降）

番号	遺構名	類別	出土位置 残存状態	計測値 種別 cm	①胎土②焼成③色調又 は材質・法量・重量	器形・成形技法等の特徴	備考
1	1号区遺跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 14.6 最小巾 10.3 高さ 24.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：5.50kg	形状はやや歪。空輪宝珠が扁平形を示す。丁寧な加工を施したものとと思われるが、表面の磨減が最大なため、整形の痕跡は残らない。	
2	6区 1号区遺跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 16.8 最小巾 12.1 高さ 27.0	石材：角閃石安山岩 重量：7.36kg	形状は均質。表面の磨減は少。丁寧な成・整形を施し、整形時の縦～斜方向に並行する細い工具(丸鋸歯)を残すに 残す。	
3	6区 1号区遺跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 15.3 最小巾 10.8 高さ 26.5	石材：粗粒輝石安山岩 重量：7.44kg	形状はやや歪。丁寧な成・整形を施すが、表面の磨減・ 割落甚大。	
4	6区 1号区遺跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 17.9 最小巾 11.4 高さ 29.6	石材：粗粒輝石安山岩 重量：9.78kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施す。表面はやや磨減・ 割落する。	
5	6区 1号区遺跡	五輪塔 空風輪	埋土中 下部欠損	最大巾 14.1 最小巾 8.7 高さ (12.3)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：2.26kg	風輪部欠損。空輪部のみ残存。形状は均質で、丁寧な成・ 整形を施す。表面の磨減甚大。	
6	6区 1号区遺跡	五輪塔 空風輪	埋土中 上部欠損	最大巾 (13.4) 最小巾 10.4 高さ (20.4)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：4.12kg	空輪上部欠損。形状は均質で丁寧な成・整形を施す。表 面の磨減少。	
7	6区 1号区遺跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 14.0 最小巾 8.4 高さ 25.7	石材：粗粒輝石安山岩 重量：6.32kg	形状はやや歪で、成・整形も粗雑。表面はやや磨減する。	
8	6区 1号区遺跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 (13.0) 最小巾 10.3 高さ (21.6)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：3.96kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の縦～ 斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸歯)を残す。表 面の磨減少。	
9	8区 表探	五輪塔 空風輪	表土中 一部欠損	最大巾 20.8 最小巾 14.0 高さ 35.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：18.44kg	大型空風輪。形状は均質。丁寧な成・整形を施す。表面 はやや磨減し、一部割落する。	
10	6区 1号区遺跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 (14.0) 最小巾 9.1 高さ (24.0)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：4.73kg	空輪宝珠部一部欠損。形状は均質。成・整形はやや粗 雑で、表面の磨減甚大。	
11	6区 1号区遺跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 14.0 最小巾 5.0 高さ 25.7	石材：粗粒輝石安山岩 重量：5.56kg	下端突起の一部欠損。形状は均質。丁寧な成・整形を施し、 一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具 (丸鋸歯)を残す。表面はやや磨減。	
12	4区 2号区遺跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 15.8 最小巾 3.3 高さ 27.2	石材：粗粒輝石安山岩 重量：6.35kg	形状は均質で、空輪と風輪の接れが深い。丁寧な成・整 形を施し、整形時の縦方向に並行する細い工具(丸鋸歯) を残す。表面はやや磨減し、一部割落する。	
13	7区 1号区遺跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 14.2 最小巾 5.1 高さ 27.1	石材：粗粒輝石安山岩 重量：6.80kg	形状はやや歪で扁平な顔面立方体状を示す。丁寧な整 形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する 細い工具(丸鋸歯)を残す。表面はやや磨減。	
14	7区 1号区遺跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 13.1 最小巾 9.6 高さ 30.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：6.54kg	形状はやや歪で扁平な顔面立方体状を示す。丁寧な整 形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する 細い工具(丸鋸歯)を残す。表面はやや磨減。	
15	7区 1号区遺跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 15.4 最小巾 5.5 高さ 27.1	石材：粗粒輝石安山岩 重量：7.22kg	形状は均質で、風輪部の比率がやや大きい。丁寧な成・ 整形を施し、僅かに整形時の斜方向の規則的に並行する 細い工具(丸鋸歯)を残す。表面はやや磨減。	
16	7区 1号区遺跡	五輪塔 空風輪	埋土中 空輪1/3欠	最大巾 13.8 最小巾 11.0 高さ 23.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：3.42kg	空輪部1/3欠損。形状は均質で、丁寧な成・整形を施し、 僅かに整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸 鋸歯)を残す。表面はやや磨減。	
17	7区 1号区遺跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 15.0 最小巾 4.1 高さ 28.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：7.74kg	形状は均質で、空輪と風輪の接れが深い。丁寧な成・整 形を施し、整形時の縦～斜方向に並行する細い工具(丸 鋸歯)を残す。表面の磨減は少ない。	
18	7区 1号区遺跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 15.7 最小巾 8.8 高さ 28.3	石材：粗粒輝石安山岩 重量：8.70kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の縦～ 斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸歯)を残す。表 面はやや磨減。	
19	7区 1号区遺跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 15.7 最小巾 4.6 高さ 25.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：5.94kg	空輪部下部の一部欠損。形状は均質。丁寧な成・整形を 施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する 細い工具(丸鋸歯)を残す。表面はやや磨減。	
20	7区 1号区遺跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 14.0 最小巾 8.5 高さ 24.4	石材：角閃石安山岩 重量：4.60kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施す。表面は磨減・割落甚 大。	
21	7区 1号区遺跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 15.0 最小巾 11.7 高さ 27.0	石材：角閃石安山岩 重量：6.30kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施す。表面はやや磨減・ 割落する。	
22	7区 1号区遺跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 13.7 最小巾 10.2 高さ (24.9)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：5.10kg	空輪風輪部一部欠損。形状は均質。丁寧な成・整形を施し、 一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具 (丸鋸歯)を残す。表面はやや磨減。	
23	7区 1号区遺跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 12.8 最小巾 9.6 高さ 21.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：4.78kg	形状は均質で風輪部の比率がやや大きい。丁寧な成・整 形を施す。頂部宝珠部欠損。表面もやや磨減・割落する。	
24	7区 1号区遺跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 16.5 最小巾 10.6 高さ 25.1	石材：粗粒輝石安山岩 重量：6.44kg	形状はやや歪。丁寧な整形を施す。表面はやや磨減する。	
25	7区 1号区遺跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 14.2 最小巾 10.0 高さ (27.8)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：5.76kg	形状はやや歪で扁平な顔面立方体状を示す。丁寧な整 形を施す。表面はやや磨減する。	
26	7区 1号区遺跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 18.6 最小巾 12.0 高さ 29.5	石材：粗粒輝石安山岩 重量：9.08kg	形状は均質で、空輪は宝珠形を示し、突起も大きい。丁 字な成・整形を施し、一部に整形時の縦方向の規則的に 並行する細い工具(丸鋸歯)を残す。表面の磨減少。	
27	7区 1号区遺跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 16.4 最小巾 9.8 高さ 27.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：8.54kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の縦 方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸歯)を残す。表面 の磨減少。	

第3節 中世～近現代の遺構と遺物

番号	遺構名	種別 遺物	出土位置 保存状況	計測値 cm	①軸土の焼成り色調又は 材質・法量・重量	器形・成型技法等の特徴	備考	
28	7区 1号旧溝跡	五輪塔 空風輪	埋土中 略定形	最大巾 最小巾 高さ	13.4 10.6 (26.0)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：5.42kg	形状は均質。丁字不成・整形を施す。表面の磨滅少。下端突起一部欠損。	
29	7区 1号旧溝跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	13.6 9.3 31.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：7.02kg	形状は縦長で均質。丁字不成・整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具丸動痕を残す。表面の磨滅少。	
30	7区 1号旧溝跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 最小巾 高さ	15.0 12.5 (24.3)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：6.38kg	形状は均質で、空輪は歪形状を呈す。丁字不成・整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具丸動痕を残す。表面の磨滅少。上下端部一部欠損。	
31	6区 1号旧溝跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 最小巾 高さ	16.6 11.7 (29.4)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：8.32kg	形状は均質。丁字不成・整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具丸動痕を残す。表面はやや磨滅する。	
32	6区 1号旧溝跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	15.7 9.4 24.2	石材：粗粒輝石安山岩 重量：5.28kg	形状は均質で、空輪と風輪の柄がやや広い。丁字不成・整形を施し、整形時の縦～斜方向に並行する細い工具丸動痕を縦らに残す。表面の磨滅は少ない。	
33	6区 1号旧溝跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	16.0 10.5 25.3	石材：粗粒輝石安山岩 重量：5.70kg	形状は均質。丁字不成整形を施し、整形時の縦～斜方向に並行する細い工具丸動痕を縦らに残す。表面はやや磨滅する。	
34	6区 1号旧溝跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 最小巾 高さ	14.7 10.3 28.3	石材：粗粒輝石安山岩 重量：7.38kg	形状は均質で、空輪と風輪の柄がやや広い。丁字不成・整形を施し、整形時の縦～斜方向に並行する細い工具丸動痕を縦らに残す。表面の磨滅は少ない。	
35	6区 1号旧溝跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 最小巾 高さ	16.0 12.0 32.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：7.82kg	形状は均質で、空輪と風輪の柄がやや広い。丁字不成・整形を施し、整形時の縦～斜方向に並行する細い工具丸動痕を縦らに残す。表面の磨滅は少ない。	
36	6区 1号旧溝跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 最小巾 高さ	16.0 11.3 (32.5)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：12.38kg	形状は均質で、空輪と風輪の柄がやや広い。丁字不成・整形を施し、整形時の縦～斜方向に並行する細い工具丸動痕を縦らに残す。表面の磨滅は少ない。	
37	6区 1号旧溝跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	15.8 10.8 26.5	石材：粗粒輝石安山岩 重量：6.14kg	形状は均質。丁字不成・整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具丸動痕を残す。表面の磨滅少。	
38	6区 1号旧溝跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 最小巾 高さ	16.2 10.2 (22.8)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：4.10kg	形状は全高が低く均質。丁字不成・整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具丸動痕を残す。表面の磨滅少。	
39	6区 1号旧溝跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 最小巾 高さ	14.2 10.4 23.2	石材：粗粒輝石安山岩 重量：4.24kg	形状は均質。丁字不成・整形を施したものと推定されるが、表面の磨滅が著しく整形の痕跡は残らない。	
40	6区 1号旧溝跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 最小巾 高さ	14.4 10.5 (27.9)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：6.30kg	形状は均質で、空輪と風輪の柄が広い。丁字不成・整形を施し、整形時の縦～斜方向に並行する細い工具丸動痕を残す。表面の磨滅は少ない。上下端部欠損。	
41	6区 1号旧溝跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 最小巾 高さ	14.3 9.4 (27.6)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：6.56kg	形状は均質。丁字不成・整形を施し、整形時の縦～斜方向に並行する細い工具丸動痕を縦らに残す。表面はやや磨滅する。	
42	6区 1号旧溝跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 最小巾 高さ	15.9 9.5 (25.4)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：6.80kg	形状は均質で、空輪と風輪の柄がやや広い。丁字不成・整形を施し、整形時の縦～斜方向に並行する細い工具丸動痕を残す。表面はやや磨滅する。	
43	6区 1号旧溝跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	14.2 9.2 24.2	石材：粗粒輝石安山岩 重量：4.44kg	形状は均質。丁字不成・整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具丸動痕を残す。表面はやや磨滅する。	
44	6区 1号旧溝跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 最小巾 高さ	12.6 8.2 27.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：3.92kg	上下二分割。空輪下方一部欠損。形状は均質。丁字不成・整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具丸動痕を残す。表面はやや磨滅する。	No.141と組合。
45	6区 1号旧溝跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 最小巾 高さ	13.0 8.8 26.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：4.94kg	形状は縦長で均質。丁字不成・整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具丸動痕を残す。表面はやや磨滅する。	
46	6区 1号旧溝跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 最小巾 高さ	15.5 10.0 (25.5)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：7.04kg	上下端部欠損。形状は均質で、空輪と風輪の柄がやや広い。丁字不成・整形を施し、整形時の縦～斜方向に並行する細い工具丸動痕を残す。表面はやや磨滅する。	
47	6区 1号旧溝跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	13.6 9.5 22.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：4.38kg	形状はやや歪。空輪部の比率がやや小さい。丁字不成整形を施し、整形時の縦～斜方向に並行する細い工具丸動痕を縦らに残す。表面はやや磨滅する。	
48	6区 1号旧溝跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 最小巾 高さ	12.6 9.6 (21.4)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：4.72kg	空輪と風輪部・風輪下部突起の一部欠損。形状は均質で、空輪と風輪の柄がやや広い。丁字不成・整形を施したものと推定されるが、表面が磨滅しているため整形の詳細は不明。	
49	6区 1号旧溝跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 最小巾 高さ	14.8 11.7 29.3	石材：粗粒輝石安山岩 重量：6.74kg	形状は均質で、空輪と風輪の柄がやや広い。丁字不成・整形を施し、整形時の縦～斜方向に並行する細い工具丸動痕を縦らに残す。表面はやや磨滅する。	
50	6区 1号旧溝跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	16.5 9.8 28.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：8.30kg	形状は均質。丁字不成・整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具丸動痕を残す。表面の磨滅少。	
51	6区 1号旧溝跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 最小巾 高さ	14.4 8.4 (25.6)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：6.34kg	形状はやや歪。成・整形ともにやや粗雑。表面の磨滅甚大。	
52	6区 1号旧溝跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	15.0 9.6 29.3	石材：粗粒輝石安山岩 重量：6.52kg	形状は均質で、空輪と風輪の柄がやや広い。丁字不成・整形を施し、整形時の縦～斜方向に並行する細い工具丸動痕を縦らに残す。表面はやや磨滅する。	
53	6区 1号旧溝跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 最小巾 高さ	13.7 9.3 22.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：3.90kg	形状は均質。丁字不成・整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具丸動痕を残す。表面はやや磨滅する。	
54	6区 1号旧溝跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	13.5 10.2 25.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：5.14kg	形状は均質で、空輪と風輪の柄がやや広い。丁字不成・整形を施し、整形時の縦～斜方向に並行する細い工具丸動痕を縦らに残す。表面はやや磨滅する。	

第3章 検出遺構と出土遺物

番号	遺構名	種別 遺物	出土位置 残存状態	計測値 cm	①土土・②焼成 ③色調又は 材質・分量・重量	形状・成形技法等の特徴	備考
55	6区 1号区遺跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大市 14.5 最小市 10.2 高さ (23.6)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：5.46kg	形状はやや歪。やや粗粒な成形で、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細かい工具(丸鋸歯)を窺わせる。表面は磨滅具合。	
56	6区 1号区遺跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大市 15.6 最小市 9.5 高さ 29.2	石材：粗粒輝石安山岩 重量：6.06kg	形状は均質。丁寧な成形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細かい工具(丸鋸歯)を窺わせる。表面の磨滅は少ない。やや、一部に粗粒な自然の凹凸をそのまます。	
57	6区 1号区遺跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大市 13.4 最小市 10.4 高さ (24.4)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：5.32kg	形状は均質な圓錐四角柱状を呈する。丁寧な成形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細かい工具(丸鋸歯)を窺わせる。表面の磨滅は少ない。	
58	6区 1号区遺跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大市 15.2 最小市 11.3 高さ 24.1	石材：粗粒輝石安山岩 重量：5.56kg	形状はやや歪。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細かい工具(丸鋸歯)を窺わせる。表面はやや磨滅する。	
59	6区 1号区遺跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大市 14.6 最小市 10.3 高さ 25.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：5.58kg	形状は均質。丁寧な成形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細かい工具(丸鋸歯)を窺わせる。表面の磨滅は少ない。	
60	6区 1号区遺跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大市 14.7 最小市 10.3 高さ 24.2	石材：粗粒輝石安山岩 重量：5.42kg	形状はやや歪。丁寧な成形を施し、整形時の縦～斜方向に並行する細かい工具(丸鋸歯)を窺わせる。表面はやや磨滅する。	
61	7区 1号区遺跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大市 20.6 最小市 12.6 高さ (30.8)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：14.42kg	大型。空輪室殊端部欠損。形状は均質で、極めて丁寧な成形を施す。一部に整形時の縦方向の規則的に並行する細かい工具(丸鋸歯)を窺わせる。表面の磨滅は少ない。	
62	7区 1号区遺跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大市 14.6 最小市 9.6 高さ (30.0)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：6.02kg	形状は均質だが、空輪室本体方圓。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の縦方向の規則的に並行する細かい工具(丸鋸歯)を窺わせる。表面はやや磨滅する。	
63	7区 1号区遺跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大市 14.4 最小市 9.6 高さ 27.2	石材：粗粒輝石安山岩 重量：6.16kg	形状は均質。丁寧な成形を施し、一部に整形時の縦方向の規則的に並行する細かい工具(丸鋸歯)を窺わせる。表面の磨滅は少ない。	
64	7区 1号区遺跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大市 14.4 最小市 9.0 高さ 21.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：4.05kg	形状は均質で、全体に円みをおび、空輪と風輪の括弧がやや広い。丁寧な成形を施し、整形時の縦～斜方向に並行する細かい工具(丸鋸歯)を窺わせる。表面はやや磨滅する。	
65	6区 1号区遺跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大市 14.8 最小市 8.7 高さ 24.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：4.88kg	形状は均質で、空輪と風輪の括弧がやや広い。丁寧な成形を施し、整形時の縦～斜方向に並行する細かい工具(丸鋸歯)を窺わせる。表面はやや磨滅する。	
66	6区 1号区遺跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大市 17.2 最小市 10.8 高さ 31.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：9.94kg	大型。空輪室殊端部欠損。形状は均質で、極めて丁寧な成形を施す。一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細かい工具(丸鋸歯)を窺わせる。表面の磨滅は少ない。	
67	6区 1号区遺跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大市 15.3 最小市 10.3 高さ 25.3	石材：粗粒輝石安山岩 重量：7.02kg	形状は均質で、空輪に比し風輪部がやや広い。丁寧な成形を施し、整形時の縦～斜方向に並行する細かい工具(丸鋸歯)を窺わせる。表面はやや磨滅する。	
68	6区 表探	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大市 15.8 最小市 9.9 高さ 24.5	石材：粗粒輝石安山岩 重量：4.84kg	形状は均質で、空輪と風輪の括弧がやや広い。丁寧な成形を施す。一部に整形時の縦～斜方向に並行する細かい工具(丸鋸歯)を窺わせる。表面の磨滅は少ない。	
69	6区 1号区遺跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大市 16.1 最小市 11.4 高さ 28.1	石材：粗粒輝石安山岩 重量：6.16kg	形状は均質で、空輪と風輪の括弧がやや広い。丁寧な成形を施す。一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細かい工具(丸鋸歯)を窺わせる。表面の磨滅は少ない。	
70	7区 1号区遺跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大市 14.2 最小市 11.4 高さ 25.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：5.02kg	空輪室殊端部欠損。形状は均質。丁寧な成形を施し、一部に整形時の縦方向の規則的に並行するやや太い工具(丸鋸歯)を窺わせる。表面の磨滅は少ない。	
71	7区 1号区遺跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大市 15.6 最小市 9.8 高さ (24.1)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：6.82kg	空輪室殊端部欠損。形状は均質で、空輪と風輪の括弧がやや広い。丁寧な成形を施す。一部に整形時の縦～斜方向に並行する細かい工具(丸鋸歯)を窺わせる。表面の磨滅は少ない。	
72	7区 1号区遺跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大市 12.8 最小市 9.8 高さ 22.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：4.70kg	形状はやや歪で、扁平な圓錐四角柱状を呈する。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行するやや太い工具(丸鋸歯)を窺わせる。表面はやや磨滅する。	
73	7区 1号区遺跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大市 16.6 最小市 11.3 高さ (31.0)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：6.08kg	空輪室殊端部欠損。形状は均質で、空輪と風輪の括弧がやや広い。丁寧な成形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細かい工具(丸鋸歯)を窺わせる。表面の磨滅は少ない。	
74	7区 1号区遺跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大市 15.0 最小市 11.0 高さ 24.2	石材：粗粒輝石安山岩 重量：5.88kg	形状は均質。丁寧な成形を施し、全体に整形時の縦方向の規則的に並行する細かい工具(丸鋸歯)を窺わせる。表面の磨滅は少ない。	
75	7区 1号区遺跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大市 18.0 最小市 11.6 高さ (25.3)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：8.20kg	下縁突起一部欠損。形状は均質。丁寧な成形を施し、全体に整形時の縦方向の規則的に並行する細かい工具(丸鋸歯)を窺わせる。表面はやや磨滅する。	
76	7区 1号区遺跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大市 14.0 最小市 10.6 高さ 28.6	石材：粗粒輝石安山岩 重量：6.80kg	形状はやや歪。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細かい工具(丸鋸歯)を窺わせる。表面はやや磨滅する。	
77	7区 1号区遺跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大市 12.6 最小市 10.0 高さ (23.6)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：4.20kg	下縁突起一部欠損。形状は均質で、空輪と風輪の括弧が広い。丁寧な成形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細かい工具(丸鋸歯)を窺わせる。表面はやや磨滅する。	
78	7区 1号区遺跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大市 15.6 最小市 10.6 高さ 31.7	石材：粗粒輝石安山岩 重量：8.96kg	形状はやや歪。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向に並行する細かい工具(丸鋸歯)を窺わせる。表面はやや磨滅する。	
79	6区 1号区遺跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大市 16.4 最小市 11.0 高さ 26.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：7.52kg	空輪室殊端部欠損。形状は均質で、空輪と風輪の括弧が広い。丁寧な成形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細かい工具(丸鋸歯)を窺わせる。表面は磨滅・剥落甚大。	

第3節 中世～近現代の遺構と遺物

番号	遺構名	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①軸土の焼成②色調又は 材質・分量・重量	器形・成形技法等の特徴	備考
80	6E 1号旧厩跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 15.3 最小巾 8.4 高さ 27.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：5.04kg	形状は均質で空輪と風輪の括弧がやや広い。丁寧な成形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
81	6E 1号旧厩跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 18.6 最小巾 11.2 高さ 31.7	石材：粗粒輝石安山岩 重量：12.36kg	大型。形状は均質。丁寧な成形を施したと思われるが、表面の磨滅が甚大なため、整形時の工具痕跡は残らない。	
82	7E 1号旧厩跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 15.8 最小巾 11.0 高さ 28.3	石材：粗粒輝石安山岩 重量：7.34kg	形状は均質で空輪と風輪の括弧がやや広い。丁寧な成形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
83	6E 1号旧厩跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 17.6 最小巾 11.2 高さ 27.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：9.32kg	形状は均質。丁寧な成形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸)痕を残す。表面は磨滅する。	
84	7E 1号旧厩跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 18.0 最小巾 11.8 高さ 26.9	石材：粗粒輝石安山岩 重量：10.94kg	下端突起部欠損。形状は均質。極めて丁寧な成形を施し、整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸)痕を残す程度に磨滅を施す。表面の磨滅は少ない。	
85	6E 1号旧厩跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 13.5 最小巾 9.6 高さ 19.2	石材：粗粒輝石安山岩 重量：3.32kg	室床端部欠損。形状はやや平直。丁寧な成形を施したものとと思われるが、表面の磨滅により整形の跡跡は残らない。	
86	6E 1号旧厩跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 16.3 最小巾 10.3 高さ 31.3	石材：粗粒輝石安山岩 重量：9.06kg	大型。形状はほぼ均質で、空輪と風輪の括弧がやや広い。丁寧な成形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
87	6E 1号旧厩跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 16.2 最小巾 10.4 高さ 31.3	石材：粗粒輝石安山岩 重量：8.98kg	形状は均質で、空輪と風輪の括弧がやや広い。丁寧な成形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
88	6E 1号旧厩跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 16.6 最小巾 11.4 高さ 27.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：7.48kg	形状は均質。丁寧な成形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸)痕を残す。表面は磨滅する。	
89	6E 1号旧厩跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 13.4 最小巾 10.1 高さ 25.1	石材：粗粒輝石安山岩 重量：5.74kg	形状は直。丁寧な成形を施したと思われるが、下端差込み部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行するのみで、表面は磨滅する。	
90	6E 1号旧厩跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 16.5 最小巾 11.6 高さ 27.9	石材：粗粒輝石安山岩 重量：7.96kg	上下端部欠損。形状は均質。空輪と風輪の括弧がやや広い。丁寧な成形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
91	7E 1号旧厩跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 15.4 最小巾 11.4 高さ 25.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：6.62kg	上端室床突起部欠損。形状は均質。丁寧な成形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
92	7E 1号旧厩跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 14.4 最小巾 5.6 高さ 29.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：5.88kg	形状は均質で、縦長な方体状を呈する。丁寧な成形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
93	6E 1号旧厩跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 15.2 最小巾 9.3 高さ 26.9	石材：粗粒輝石安山岩 重量：6.94kg	空輪室床端部欠損。形状は均質で、空輪と風輪の括弧が広い。丁寧な成形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸)痕を残す。表面は磨滅・剥落甚大。	
94	6E 1号旧厩跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 13.8 最小巾 9.7 高さ 24.3	石材：粗粒輝石安山岩 重量：4.94kg	下端突起部欠損。形状は均質。丁寧な成形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
95	6E 1号旧厩跡	五輪塔 空風輪	埋土中 1/2 高さ 15.7 11.3 27.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：2.42kg	空輪部欠損。丁寧な成形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸)痕を残す。表面はやや磨滅する。		
96	7E 1号旧厩跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 15.8 最小巾 10.8 高さ 29.3	石材：粗粒輝石安山岩 重量：8.32kg	形状は均質。空輪と風輪の括弧がやや広い。丁寧な成形を施し、全面に磨滅を施す。表面はやや磨滅する。	
97	7E 1号旧厩跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 15.2 最小巾 11.4 高さ 26.1	石材：粗粒輝石安山岩 重量：7.30kg	空輪室床端部欠損。形状は均質で、空輪と風輪の括弧が広い。丁寧な成形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
98	7E 1号旧厩跡	五輪塔 空風輪	埋土中 一部欠損	最大巾 16.4 最小巾 10.6 高さ 26.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：7.34kg	空輪室床端部欠損。形状は均質で、空輪と風輪の括弧がやや広い。丁寧な成形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
99	7E 1号旧厩跡	五輪塔 空風輪	埋土中 完形	最大巾 15.7 最小巾 11.3 高さ 27.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：7.78kg	形状はやや平直。表面磨滅は縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸)痕を一部に残す。表面はやや磨滅する。	
100	8E 1号旧厩跡	五輪塔 火輪	埋土中 原高部一部欠損	最大巾 43.0 最小巾 22.0 高さ 15.5	石材：粗粒輝石安山岩 重量：23.62kg	形状は均質。筒輪部が広く開き、反りは少ない。丁寧な成形を施すが、水研ぎはせず。縦～斜方向の規則的に並行する磨滅した細い工具(丸鋸)痕を残す。側面・欠損部が大きく磨滅は少ない。	
101	1号旧厩跡	五輪塔 火輪	埋土中 絶頂形	最大巾 20.8 最小巾 10.4 高さ 14.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：9.28kg	形状は均質。筒輪部は開かず、やや反る。丁寧な成形を施し、縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸)痕を残す。	
102	6E 1号旧厩跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 23.6 最小巾 12.4 高さ 17.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：12.78kg	形状は均質。表面の磨滅は少。筒輪部は開かず、反り多少。丁寧な成形を施し、縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸)痕を残す。	
103	6E 1号旧厩跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 21.2 最小巾 10.8 高さ 14.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：9.54kg	形状は均質。筒輪部は開かず、大きく反る。丁寧な成形を施し、表面の磨滅は少ない。	
104	7E 1号旧厩跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 21.2 最小巾 9.7 高さ 13.5	石材：二ツ石 重量：9.70kg	形状は均質。筒輪部はやや開き、反りは少ない。丁寧な成形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸)痕を残す。表面はやや磨滅する。	

第3章 検出遺構と出土遺物

番号	遺構名	種別 種類	出土位置 残存状態	計測値 cm	①土土・②焼成 ③色調又は 材質・分量・重量	形状・成形技法等の特徴	備考
105	7K 1号区高跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大 18.9 最小 11.2 高さ 11.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：8.62kg	形状は均質。隅線部は開き、反りは少ない。丁字不成・整形を施すが、表面はやや磨滅。	
106	7K 1号区高跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大 18.4 最小 10.8 高さ 11.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：6.78kg	形状はやや歪。隅線部は開かず、反りも少ない。丁字不成・整形を施すが、表面はやや磨滅し一部欠損。	
107	7K 1号区高跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大 21.0 最小 10.0 高さ 11.2	石材：粗粒輝石安山岩 重量：7.50kg	形状は均質。隅線部は開き、反りは少ない。丁字不成・整形を施し、整形時の斜方向に並行する縦い工具(丸鋸歯)を認めらる。表面は一部欠損。	
108	7K 1号区高跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大 22.2 最小 10.5 高さ 12.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：8.46kg	形状はやや歪。丁字不成を施し、整形時の横～斜方向に並行する縦い工具(丸鋸歯)を認めらる。表面はやや磨滅し一部磨滅する。	
109	7K 1号区高跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大 10.0 最小 10.0 高さ 12.7	石材：粗粒輝石安山岩 重量：8.62kg	形状は均質。裾はやや開き反る。丁字不成・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する縦い工具(丸鋸歯)を認む。表面はやや磨滅する。	
110	7K 1号区高跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大 21.1 最小 11.0 高さ 11.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：7.54kg	形状はやや歪。丁字不成を施し、整形時の横～斜方向に並行する縦い工具(丸鋸歯)を認めらる。表面はやや磨滅する。	
111	6E 1号区高跡	五輪塔 火輪	埋土中 一部欠損	最大 23.0 最小 10.4 高さ 10.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：10.70kg	形状は歪。隅線部は開き反りは少ない。丁字不成・整形を施し、整形時の斜方向に並行する縦い工具(丸鋸歯)を僅かに認む。表面の磨滅は少ない。隅線部一部欠損。	
112	6E 1号区高跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大 18.3 最小 12.8 高さ 8.7	石材：粗粒輝石安山岩 重量：5.29kg	形状はやや歪。隅線部は開かず、反りも少ない。丁字不成・整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する縦い工具(丸鋸歯)を認む。表面の磨滅する。	
113	6E 1号区高跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大 21.3 最小 9.5 高さ 10.5	石材：粗粒輝石安山岩 重量：5.14kg	形状は均質。隅線部は開き、反りは少ない。丁字不成・整形を施すが、表面は磨滅甚大。	
114	6E 1号区高跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大 21.0 最小 12.6 高さ 12.6	石材：粗粒輝石安山岩 重量：7.42kg	形状はやや歪。隅線部は開き反りは少ない。丁字不成・整形を施し、整形時の横～斜方向の規則的に並行する縦い工具(丸鋸歯)を認む。表面の磨滅する。	
115	6E 1号区高跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大 23.1 最小 9.5 高さ 11.4	石材：角閃石安山岩 重量：7.74kg	形状は歪。隅線部は開き、反りは少ない。丁字不成・整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する縦い工具(丸鋸歯)を認む。表面はやや磨滅する。	
116	6E 1号区高跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大 22.4 最小 10.4 高さ 14.2	石材：粗粒輝石安山岩 重量：10.42kg	形状はやや歪。丁字不成・整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する縦い工具(丸鋸歯)を認む。表面の磨滅少。	
117	6E 1号区高跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大 23.6 最小 15.2 高さ 13.6	石材：粗粒輝石安山岩 重量：11.96kg	形状はやや歪。隅線部は開き反り少ない。丁字不成・整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する縦い工具(丸鋸歯)を認む。表面の磨滅少。	
118	6E 1号区高跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大 22.0 最小 10.0 高さ 13.7	石材：粗粒輝石安山岩 重量：9.76kg	形状は均質。隅線部は開き反り少ない。丁字不成・整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する縦い工具(丸鋸歯)を僅かに認む。表面の磨滅少。	
119	6E 1号区高跡	五輪塔 火輪	埋土中 一部欠損	最大 23.0 最小 11.5 高さ 11.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：8.04kg	形状はやや歪。隅線部は開き反り少ない。丁字不成・整形を施し、整形時の横～斜方向に並行する縦い工具(丸鋸歯)を僅かに認む。表面の磨滅は少ない。隅線部一部欠損。	
120	6E 1号区高跡	五輪塔 火輪	埋土中 一部欠損	最大 22.0 最小 15.0 高さ 15.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：8.28kg	形状は均質。隅線部は開き反り少ない。丁字不成・整形を施し、整形時の横～斜方向に並行する縦い工具(丸鋸歯)を認む。表面の磨滅は少ない。隅線部一部欠損。	
121	6E 1号区高跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大 18.0 最小 8.4 高さ 10.9	石材：粗粒輝石安山岩 重量：6.06kg	形状はやや歪。隅線部は開き反り少ない。丁字不成・整形を施し、整形時の斜方向に並行する縦い工具(丸鋸歯)を認めらる。表面の磨滅は少ない。	
122	6E 1号区高跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大 20.9 最小 9.1 高さ 8.7	石材：粗粒輝石安山岩 重量：3.78kg	形状はやや歪で、成・整形もやや粗雑。隅線部は大きく開き、反りは少ない。整形時の斜方向に並行する縦い工具(丸鋸歯)を認めらる。表面はやや磨滅する。	
123	6E 1号区高跡	五輪塔 火輪	埋土中 上部欠損	最大 19.4 最小 (9.5) 高さ (12.0)	石材：粗粒輝石安山岩 重量：6.28kg	上部欠損。形状は歪。丁字不成を施し、整形時の横～斜方向に並行する縦い工具(丸鋸歯)を僅かに認む。表面は磨滅甚大。	
124	6E 1号区高跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大 23.6 最小 12.3 高さ 12.3	石材：粗粒輝石安山岩 重量：10.36kg	形状はやや歪。隅線部は開き反り少ない。丁字不成・整形を施し、整形時の横～斜方向に並行する縦い工具(丸鋸歯)を僅かに認む。表面はやや磨滅する。	
125	6E 1号区高跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大 22.0 最小 11.2 高さ 11.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：8.84kg	形状はやや歪。隅線部は開き反り少ない。丁字不成・整形を施し、整形時の斜方向に並行する縦い工具(丸鋸歯)を認む。表面は磨滅少。	
126	6E 1号区高跡	五輪塔 火輪	埋土中 一部欠損	(21.1) 最大 9.8 最小 高さ 14.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：8.22kg	形状は均質。隅線部はあまり開かず反りは少ない。丁字不成・整形を施し、整形時の斜方向に並行する縦い工具(丸鋸歯)を認む。表面の磨滅は少ない。隅線部一部欠損。	
127	6E 1号区高跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大 19.0 最小 8.8 高さ 12.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：6.46kg	形状はやや歪。隅線部は開き、反りは少ない。丁字不成・整形を施し、整形時の横～斜方向に並行する縦い工具(丸鋸歯)を僅かに認む。表面はやや磨滅する。	
128	6E 1号区高跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大 22.0 最小 8.8 高さ 8.2	石材：粗粒輝石安山岩 重量：4.92kg	形状はやや歪。隅線部は開き反りほとんどない。丁字不成・整形を施し、整形時の横～斜方向に並行する縦い工具(丸鋸歯)を認む。表面の磨滅は少ない。	
129	6E 1号区高跡	五輪塔 火輪	埋土中 一部欠損	最大 22.0 最小 10.0 高さ 12.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：8.46kg	形状は均質。隅線部は開き反り少ない。丁字不成・整形を施し、一部に整形時の斜方向に並行する縦い工具(丸鋸歯)を認む。表面の磨滅は少ない。	
130	6E 1号区高跡	五輪塔 火輪	埋土中 一部欠損	最大 19.0 最小 9.5 高さ 9.7	石材：粗粒輝石安山岩 重量：6.32kg	形状はやや歪。裾は一部欠損。隅線部は開き反り少ない。一部に整形時の斜方向に並行する縦い工具(丸鋸歯)を認む。表面は磨滅する。	
131	6E 1号区高跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大 18.0 最小 10.4 高さ 8.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：4.66kg	形状は歪。隅線部は開き、反りは少ない。丁字不成・整形を施し、整形時の横～斜方向の規則的に並行する縦い工具(丸鋸歯)を認む。表面はやや磨滅する。	

第3節 中世～近現代の遺構と遺物

番号	遺構名	種別 遺跡	出土位置 残存状況	計測値 cm	①軸土の焼成 ②色調又は 材質・法量・重量	形状・成型技法等の特徴	備考
132	6区 1号旧高跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 19.4 最小巾 9.0 高さ 10.6	石材：煎粒輝石安山岩 重量：6.46kg	形状は志で、成・整形もやや粗雑。一部に整形時の縦～斜方向に並行する細い工具(丸動痕)を残す。表面は磨減する。	
133	6区 1号旧高跡	五輪塔 火輪	埋土中 一部欠損	最大巾 21.7 最小巾 9.3 高さ (3.0)	石材：煎粒輝石安山岩 重量：7.84kg	形状は均質。隣接部分は開き、反りは少ない。極めて丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸動痕)を残す。表面の磨減は少ない。	
134	6区 1号旧高跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 23.4 最小巾 9.3 高さ 15.0	石材：煎粒輝石安山岩 重量：10.42kg	形状は均質。隣接部分はあまり開かず、反りは少ない。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行するやや太い工具(丸動痕)を残す。表面の磨減は少ない。	
135	7区 1号旧高跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 21.3 最小巾 9.5 高さ 11.8	石材：煎粒輝石安山岩 重量：7.24kg	形状は均質。隣接部分はやや開き、反りは少ない。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸動痕)を残す。表面の磨減は少ない。	
136	7区 1号旧高跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 22.4 最小巾 9.6 高さ 14.6	石材：煎粒輝石安山岩 重量：7.38kg	形状は志。隣接部分はあまり開かず、やや反る。成・整形も粗雑だが、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸動痕)を残す。表面は磨減する。	
137	7区 1号旧高跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 24.8 最小巾 9.6 高さ 12.8	石材：煎粒輝石安山岩 重量：8.84kg	形状は均質。隣接部分はあまり開かず、反りは少ない。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸動痕)を残す。表面の磨減は少ない。	
138	7区 1号旧高跡	五輪塔 火輪	埋土中 一部欠損	最大巾 (20.8) 最小巾 9.8 高さ 11.8	石材：煎粒輝石安山岩 重量：7.34kg	形状は均質。隣接部分は開かず、中心一段を有し、反りも少ない。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸動痕)を残す。表面の磨減は少ない。	
139	7区 1号旧高跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 22.0 最小巾 9.0 高さ 12.6	石材：煎粒輝石安山岩 重量：8.20kg	形状はやや志。隣接部分は開き、反りは少ない。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸動痕)を残す。表面の磨減は少ない。	
140	7区 1号旧高跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 20.6 最小巾 9.8 高さ 14.4	石材：煎粒輝石安山岩 重量：8.16kg	形状は均質。隣接部分はあまり開かず、反りも少ない。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸動痕)を残す。表面の磨減は少ない。	
141	7区 1号旧高跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 23.3 最小巾 10.2 高さ 12.1	石材：煎粒輝石安山岩 重量：7.80kg	形状は志。全体に扁平で、隣接部分は開き、反る。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行するやや太い工具(丸動痕)を残す。表面の磨減は少ない。	
142	7区 1号旧高跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 22.0 最小巾 10.3 高さ 10.8	石材：煎粒輝石安山岩 重量：7.36kg	形状はやや志。隣接部分は開き、反りは少ない。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸動痕)を残す。表面はやや磨減する。	
143	7区 1号旧高跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 20.4 最小巾 10.6 高さ 11.6	石材：煎粒輝石安山岩 重量：6.70kg	形状はやや志。隣接部分はあまり開かず、反りも少ない。丁寧な面整形を施し、整形時の斜方向に並行する細い工具(丸動痕)を残す。表面はやや磨減する。	
144	7区 1号旧高跡	五輪塔 火輪	埋土中 一部欠損	最大巾 20.5 最小巾 10.0 高さ 12.0	石材：煎粒輝石安山岩 重量：7.62kg	形状は志。隣接部分はやや開き、反りは少ない。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸動痕)を残す。表面はやや磨減する。	
145	6区 1号旧高跡	五輪塔 火輪	埋土中 一部欠損	最大巾 (8.8) 最小巾 9.0 高さ 12.3	石材：煎粒輝石安山岩 重量：(4.90kg)	形状は志。端部欠損。隣接部分はあまり開かず、反りは少ない。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸動痕)を残す。表面はやや磨減する。	
146	6区 1号旧高跡	五輪塔 火輪	埋土中 一部欠損	最大巾 24.9 最小巾 10.6 高さ 10.0	石材：煎粒輝石安山岩 重量：7.48kg	形状は志。端部欠損。隣接部分はやや開き、反りは少ない。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行するやや太い工具(丸動痕)を残す。表面はやや磨減する。	
147	6区 1号旧高跡	五輪塔 火輪	埋土中 一部欠損	最大巾 24.9 最小巾 10.6 高さ 14.6	石材：煎粒輝石安山岩 重量：11.34kg	形状は均質。隣接部分はやや開き、反る。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行するやや太い工具(丸動痕)を残す。表面は一部剥落みられるが、磨減は少ない。	
148	6区 1号旧高跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 22.0 最小巾 12.5 高さ 15.0	石材：煎粒輝石安山岩 重量：9.96kg	形状はやや志。隣接部分はあまり開かず、反りも少ない。丁寧な面整形を施し、整形時の縦～斜方向に並行する細い工具(丸動痕)を残す。表面は一部剥落がみられるが、磨減は少ない。	
149	6区 1号旧高跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 22.2 最小巾 10.3 高さ 14.0	石材：煎粒輝石安山岩 重量：8.58kg	形状はほぼ均質。隣接部分はやや開き、反りは少ない。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸動痕)を残す。表面の磨減は少ない。	
150	6区 1号旧高跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 21.2 最小巾 9.0 高さ 13.1	石材：煎粒輝石安山岩 重量：8.22kg	形状は均質。隣接部分はやや開き、反る。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸動痕)を残す。表面の磨減は少ない。	
151	6区 1号旧高跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 21.2 最小巾 10.0 高さ 13.9	石材：煎粒輝石安山岩 重量：8.50kg	形状はやや志。隣接部分はやや開き、反りは少ない。やや粗雑な面整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸動痕)を残す。表面はやや磨減する。	
152	6区 1号旧高跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 24.0 最小巾 11.6 高さ 12.0	石材：煎粒輝石安山岩 重量：11.22kg	形状は志。斜～斜下部分がやや大きく、隣接部分は開き、反る。丁寧な面整形を施し、整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸動痕)を残す。表面はやや磨減する。	
153	6区 1号旧高跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 22.0 最小巾 10.6 高さ 13.8	石材：煎粒輝石安山岩 重量：9.54kg	形状はほぼ均質。隣接部分はやや開き、反る。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸動痕)を残す。表面の磨減は少ない。	
154	6区 1号旧高跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 20.2 最小巾 10.0 高さ 11.0	石材：煎粒輝石安山岩 重量：6.94kg	形状は均質。隣接部分はやや開き、反る。丁寧な成・整形を施したものとと思われるが、表面の磨減が大きく、整形の跡跡は残らない。	
155	6区 1号旧高跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 24.6 最小巾 12.8 高さ 14.9	石材：煎粒輝石安山岩 重量：12.96kg	形状はやや志。隣接部分はやや開き、反りは少ない。丁寧な面整形を施したものとと思われるが、表面の磨減が大きく、整形の跡跡は残らない。	

第3章 検出遺構と出土遺物

番号	遺構名	種別 器種	出土位置 残存状態	計測値 cm	①土土の焼成 ②色調又は 材質・法量・重量	形状・成型技法等の特徴	備考
156	7K 1号伝馬跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 21.9 最小巾 9.0 高さ 10.5	石材：相輪舞石安山岩 重量：6.24kg	形状は扁平でやや歪。隅輪部は開き、反りは少ない。丁寧な面整形を施したためと思われるが、表面の磨耗が甚大のため、整形の痕跡は残らない。	
157	7K 1号伝馬跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 22.0 最小巾 9.4 高さ 9.5	石材：相輪舞石安山岩 重量：7.08kg	形状は扁平で、やや歪。隅輪部は開き、反る。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
158	7K 1号伝馬跡	五輪塔 火輪	埋土中 一部欠損	最大巾 22.0 最小巾 12.2 高さ 12.2	石材：相輪舞石安山岩 重量：9.52kg	形状は扁平で、やや歪。隅輪部は開き、反る。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
159	7K 1号伝馬跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 18.4 最小巾 9.4 高さ 10.6	石材：相輪舞石安山岩 重量：5.09kg	形状はやや歪。隅輪部ははやや開き、反りは少ない。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸)痕を残す。表面の磨耗甚大。	
160	7K 1号伝馬跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 18.4 最小巾 10.2 高さ 11.0	石材：相輪舞石安山岩 重量：5.62kg	形状はやや歪。隅輪部はあまり開かず、反りも少ない。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸)痕を残す。表面の磨耗は少ない。	
161	7K 1号伝馬跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 21.0 最小巾 10.4 高さ 11.0	石材：相輪舞石安山岩 重量：5.76kg	形状はやや歪。隅輪部ははやや開き、反りは少ない。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸)痕を残す。表面の磨耗は少ない。	
162	6E 1号伝馬跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 20.3 最小巾 7.8 高さ 12.8	石材：相輪舞石安山岩 重量：6.08kg 断面：12.5cm	形状は均質。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
163	6E 1号伝馬跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 20.4 最小巾 9.2 高さ 12.4	石材：相輪舞石安山岩 重量：6.06kg 断面：11.8cm	形状は均質。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸)痕を残す。表面の磨耗減少。	
164	6E 1号伝馬跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 21.1 最小巾 9.4 高さ 9.4	石材：相輪舞石安山岩 重量：7.14kg 断面：9.2cm	形状は扁平でやや歪。隅輪部は開き、反りは少ない。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
165	6E 1号伝馬跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 22.5 最小巾 10.6 高さ 13.5	石材：相輪舞石安山岩 重量：10.16kg 断面：13.4cm	形状は均質。隅輪部はあまり開かず、反る。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
166	6E 1号伝馬跡	五輪塔 火輪	埋土中 一部欠損	最大巾 22.4 最小巾 11.4 高さ 13.6	石材：相輪舞石安山岩 重量：9.46kg	隅輪下部一部割欠失。形状はやや歪。隅輪部はあまり開かず、反りは少ない。丁寧な面整形を施し、整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
167	6E 1号伝馬跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 20.4 最小巾 10.0 高さ 10.6	石材：相輪舞石安山岩 重量：6.72kg	形状はやや歪。隅輪部は開き、反りは少ない。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
168	6E 1号伝馬跡	五輪塔 火輪	埋土中 一部欠損	最大巾 24.4 最小巾 12.0 高さ 16.0	石材：相輪舞石安山岩 重量：13.24kg 断面：15.1cm	隅輪下部一部割欠失。形状はやや歪。隅輪部はあまり開かず、反る。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
169	6E 1号伝馬跡	五輪塔 火輪	埋土中 一部欠損	最大巾 23.3 最小巾 10.7 高さ 11.2	石材：相輪舞石安山岩 重量：8.64kg	隅輪下部一部割欠失。形状は均質。隅輪部は開き、反りは少ない。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
170	6E 1号伝馬跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 22.0 最小巾 11.4 高さ 13.9	石材：相輪舞石安山岩 重量：10.68kg	形状は均質。隅輪部はあまり開かず、大き反りも少ない。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
171	6E 1号伝馬跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 20.9 最小巾 10.9 高さ 12.6	石材：相輪舞石安山岩 重量：10.26kg	形状はやや歪。隅輪部はあまり開かず、反る。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
172	6E 1号伝馬跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 22.6 最小巾 9.3 高さ 14.6	石材：相輪舞石安山岩 重量：9.85kg	形状は均質。隅輪部ははやや開き、反る。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
173	6E 1号伝馬跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 22.6 最小巾 10.4 高さ 13.2	石材：相輪舞石安山岩 重量：10.00kg	形状は均質。隅輪部ははやや開き、反りは少ない。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
174	6E 1号伝馬跡	五輪塔 火輪	埋土中 一部欠損	最大巾 22.8 最小巾 9.4 高さ 12.6	石材：相輪舞石安山岩 重量：7.09kg	隅輪部一部欠損。形状はやや歪。隅輪部ははやや開き、反りは少ない。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸)痕を残す。表面の磨耗は少ない。	
175	6E 1号伝馬跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 22.7 最小巾 9.5 高さ 13.9	石材：相輪舞石安山岩 重量：8.84kg	形状は均質。隅輪部ははやや開き、反る。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
176	6E 1号伝馬跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 24.6 最小巾 12.7 高さ 15.2	石材：相輪舞石安山岩 重量：14.54kg	形状は均質。隅輪部ははやや開き、反り、斜角が厚い。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸)痕を残す。表面の磨耗は少ない。	
177	7K 1号伝馬跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 23.0 最小巾 11.0 高さ 12.4	石材：相輪舞石安山岩 重量：9.10kg 断面：11.8cm	形状は均質。隅輪部ははやや開き、反る。丁寧な面整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
178	7K 1号伝馬跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 20.8 最小巾 10.8 高さ 13.1	石材：相輪舞石安山岩 重量：7.74kg	形状はほぼ均質。隅輪部ははやや開き、反り、斜角は厚い。面整形はやや粗雑で一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
179	7K 1号伝馬跡	五輪塔 火輪	埋土中 完形	最大巾 20.4 最小巾 9.2 高さ 11.5	石材：相輪舞石安山岩 重量：4.74kg	形状はやや歪。隅輪部ははやや開き、反りは少ない。面整形はやや粗雑で一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
180	4E 表探	五輪塔 火輪	表土中 完形	最大巾 22.7 最小巾 11.3 高さ 11.3	石材：相輪舞石安山岩 重量：7.14kg	形状はやや歪。隅輪部ははやや開き、反りは少ない。面整形はやや粗雑で一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸)痕を残す。表面はやや磨滅する。	

第3節 中世～近現代の遺構と遺物

番号	遺構名	種別 遺跡	出土位置 残存状況	計測値 cm	①軸土の焼成・色調又は 材質・法量・重量	形状・成型技法等の特徴	備考
181	7K 1号旧厩跡	五輪塔 火輪	埋土中 略完形	最大巾 最小巾 高さ	22.0 12.8 10.9	石材：粗粒輝石安山岩 重量：6.589g	輪縁端の一部欠損。形状はやや歪。輪縁部は開き、反りはない。面形状はやや粗面と一面に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸歯)を残す。表面はやや磨滅する。
182	5号旧厩跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	24.5 10.5 14.5	石材：粗粒輝石安山岩 重量：11.388g	形状は均質。表面はやや磨滅。輪面一部剥落。軸石自然面の凹凸を一部に残す。整形時の斜方向に並行する細い工具(丸鋸歯)を残す。上下面にも並行する工具痕が残る。
183	7K 1号旧厩跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	25.8 12.0 17.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：14.068g	形状は均質。表面はやや磨滅する。丁寧な成・整形を施し、整形時の縦～斜方向に並行する細い工具(丸鋸歯)を残す。上下面にも並行する工具痕が残る。
184	6E 1号旧厩跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	24.0 10.5 17.1	石材：二ツ岳輝石 重量：12.144g	形状はやや歪。表面はやや磨滅する。整形時の縦～斜方向に並行する細い工具(丸鋸歯)を残す。上下面にも並行する工具痕が残る。
185	5号旧厩跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	23.8 10.4 17.1	石材：粗粒輝石安山岩 重量：12.066g	形状は均質。表面はやや磨滅。輪面一部剥落。整形時の縦～斜方向に並行する細い工具(丸鋸歯)を残す。上下面にも並行する工具痕が残る。
186	6E 1号旧厩跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	22.6 10.0 17.8	石材：角閃石安山岩 重量：11.068g	形状は均質。表面の磨滅は少。丁寧な成・整形を施し、整形時の縦～斜方向に並行する細い工具(丸鋸歯)を残す。
187	6E 1号旧厩跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	21.6 8.0 13.1	石材：粗粒輝石安山岩 重量：7.224g	形状はやや不揃い。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸歯)を残す。
188	6E 1号旧厩跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	27.5 8.1 15.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：7.688g	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、整形時の整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸歯)を残す。表面の磨滅は少。
189	6E 1号旧厩跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	20.4 9.0 12.6	石材：粗粒輝石安山岩 重量：5.944g	形状はやや歪。成・整形も粗雑。表面は剥落甚大。
190	6E 1号旧厩跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	22.8 8.0 15.0	石材：角閃石安山岩 重量：8.768g	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸歯)を残す。表面はやや磨滅。
191	6E 1号旧厩跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	8.6 4.0 13.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：10.308g	形状はやや歪。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸歯)を残す。表面はやや磨滅。
192	6E 1号旧厩跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	27.6 11.8 17.6	石材：粗粒輝石安山岩 重量：16.768g	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸歯)を残す。表面の磨滅は少。
193	6E 1号旧厩跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	27.0 15.0 17.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：18.368g	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸歯)を残す。表面の磨滅は少。
194	7K 1号旧厩跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	24.8 10.3 14.2	石材：粗粒輝石安山岩 重量：13.568g	形状はやや歪。丁寧な成・整形を施し、整形時の斜方向に並行する細い工具(丸鋸歯)を残す。表面はやや磨滅。
195	7K 1号旧厩跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	22.0 15.2 13.2	石材：粗粒輝石安山岩 重量：8.768g	形状はやや歪。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸歯)を残す。表面の一部剥落。
196	7K 1号旧厩跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	22.1 9.5 14.7	石材：粗粒輝石安山岩 重量：8.524g	形状は均質。丁寧な成・整形を施す。表面はやや磨滅。
197	7K 1号旧厩跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	26.5 11.2 14.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：10.228g	形状はやや歪。丁寧な成・整形を施し、整形時の縦～斜方向に並行する細い工具(丸鋸歯)を残す。表面はやや磨滅する。
198	7K 1号旧厩跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	22.9 11.0 18.1	石材：粗粒輝石安山岩 重量：12.748g	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸歯)を残す。表面の磨滅は少。
199	7K 1号旧厩跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	30.8 18.6 18.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：24.644g	大形。形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸歯)を残す。表面の磨滅は少。
200	7K 1号旧厩跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	27.2 10.4 17.3	石材：粗粒輝石安山岩 重量：15.328g	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸歯)を残す。表面の磨滅は少。
201	7K 1号旧厩跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	24.0 10.2 15.5	石材：粗粒輝石安山岩 重量：12.608g	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸歯)を残す。表面の磨滅は少。
202	7K 1号旧厩跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	26.5 14.4 17.5	石材：粗粒輝石安山岩 重量：14.968g	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸歯)を残す。表面の磨滅は少。
203	7K 1号旧厩跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	25.4 11.0 16.7	石材：粗粒輝石安山岩 重量：13.488g	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸歯)を残す。表面の磨滅は少。
204	7K 1号旧厩跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	24.0 12.0 18.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：10.708g	形状はやや歪。やや粗雑な成・整形。表面はやや磨滅する。
205	7K 1号旧厩跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	26.4 12.5 16.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：17.588g	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸歯)を残す。表面の磨滅は少。
206	6E 1号旧厩跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	24.2 13.2 15.5	石材：粗粒輝石安山岩 重量：12.868g	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸歯)を残す。表面の磨滅は少。
207	6E 1号旧厩跡	五輪塔 水輪	埋土中 一部欠損	最大巾 最小巾 高さ	25.0 10.3 17.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：14.288g	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸歯)を残す。表面はやや磨滅し、上縁部の一部欠損。

第3章 検出遺構と出土遺物

番号	遺構名	種別 遺物	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土②焼成③色調又は 材質・分量・重量	器形・成型技法等の特徴	備考	
208	6区 1号旧高跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大市 最小市 高さ	20.8 8.8 16.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：9.20g	形状はやや歪。丁寧な整形を施し、整形時の横～斜方向に並行する細い工具(丸鋸歯)を僅かに残す。表面はやや磨滅する。	
209	6区 1号旧高跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大市 最小市 高さ	22.4 15.4 22.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：9.34g	形状は均質。丁寧な成型・整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸歯)を残す。表面の磨滅少。	
210	6区 1号旧高跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大市 最小市 高さ	25.0 15.0 16.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：12.54g	形状は均質。丁寧な成型・整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸歯)を残す。表面の磨滅少。	
211	6区 1号旧高跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大市 最小市 高さ	26.8 11.0 20.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：13.16g	形状はやや歪。丁寧な整形を施し、整形時の横～斜方向に並行する細い工具(丸鋸歯)を僅かに残す。表面はやや磨滅する。	
212	6区 1号旧高跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大市 最小市 高さ	23.3 9.0 14.7	石材：粗粒輝石安山岩 重量：10.74g	形状は均質。丁寧な成型・整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸歯)を僅かに残す。表面の磨滅少。	
213	6区 1号旧高跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大市 最小市 高さ	30.6 19.2 20.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：26.22g	大型。形状は均質。丁寧な成型・整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸歯)を残す。表面の磨滅少。	
214	6区 1号旧高跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大市 最小市 高さ	25.2 15.2 16.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：13.06g	形状は均質。丁寧な整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸歯)を残す。表面の磨滅少。	
215	6区 1号旧高跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大市 最小市 高さ	24.2 9.0 20.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：12.56g	形状は均質。丁寧な成型・整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸歯)を残す。表面の磨滅少。	
216	6区 1号旧高跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大市 最小市 高さ	25.4 9.0 16.2	石材：粗粒輝石安山岩 重量：11.68g	形状は均質。丁寧な成型・整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸歯)を残す。表面の磨滅少。	
217	6区 1号旧高跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大市 最小市 高さ	26.5 10.6 19.5	石材：粗粒輝石安山岩 重量：16.96g	形状は均質。原石自然の凹凸を残す。丁寧な成型・整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸歯)を残す。表面の磨滅少。	
218	6区 1号旧高跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大市 最小市 高さ	21.2 9.5 14.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：8.16g	形状は均質。丁寧な成型・整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸歯)を残す。表面の磨滅少。	
219	6区 1号旧高跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大市 最小市 高さ	21.2 10.0 15.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：8.44g	形状はやや歪。丁寧な整形を施したものと認められるが、表面の磨滅のため、整形痕は残らない。	
220	6区 1号旧高跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大市 最小市 高さ	20.2 6.0 13.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：6.50g	形状はやや歪。丁寧な整形を施し、整形時の横～斜方向に並行する細い工具(丸鋸歯)を僅かに残す。表面はやや磨滅する。	
221	6区 1号旧高跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大市 最小市 高さ	22.4 11.0 8.5	石材：粗粒輝石安山岩 重量：8.50g	形状はやや歪。丁寧な整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸歯)を残す。表面の磨滅少。	
222	6区 1号旧高跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大市 最小市 高さ	26.4 9.4 13.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：12.94g	形状は均質。丁寧な成型・整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸歯)を残す。表面の磨滅少。	
223	6区 1号旧高跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大市 最小市 高さ	21.0 10.4 14.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：8.24g	形状は均質で、極めて丁寧な成型・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸歯)を残す。表面の磨滅は少ない。	
224	7区 1号旧高跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大市 最小市 高さ	24.2 13.8 15.9	石材：粗粒輝石安山岩 重量：13.82g	形状は均質。極めて丁寧な成型・整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸歯)を残す。表面の磨滅は少ない。	
225	6区 1号旧高跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大市 最小市 高さ	25.2 12.8 17.5	石材：粗粒輝石安山岩 重量：13.64g	形状は均質。極めて丁寧な成型・整形を施し、一部に整形時の横～斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸歯)を残す。表面はやや磨滅する。	
226	7区 1号旧高跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大市 最小市 高さ	25.2 11.4 17.6	石材：粗粒輝石安山岩 重量：13.22g	形状は均質。丁寧な成型・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸歯)を残す。表面の磨滅は少ない。	
227	7区 1号旧高跡	五輪塔 水輪	埋土中 一部欠損	最大市 最小市 高さ	26.3 11.8 17.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：14.48g	形状はやや歪。極めて丁寧な成型・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸歯)を残す。表面の磨滅は少ない。	
228	7区 1号旧高跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大市 最小市 高さ	24.2 10.2 16.6	石材：粗粒輝石安山岩 重量：12.32g	形状はやや歪。丁寧な整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸歯)を残す。表面はやや磨滅する。	
229	7区 1号旧高跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大市 最小市 高さ	24.2 14.4 18.2	石材：粗粒輝石安山岩 重量：10.54g	形状は均質で扁平形を呈する。丁寧な成型・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸歯)を残す。表面の磨滅少。	
230	7区 1号旧高跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大市 最小市 高さ	26.4 10.0 19.6	石材：粗粒輝石安山岩 重量：16.90g	形状は均質。丁寧な成型・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸歯)を残す。表面の磨滅は少ない。	
231	7区 1号旧高跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大市 最小市 高さ	27.2 8.8 38.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：14.66g	形状はやや歪。丁寧な成型・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸歯)を残す。表面の磨滅は少ない。	
232	7区 1号旧高跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大市 最小市 高さ	28.3 18.3 19.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：21.96g	大型。形状は均質。極めて丁寧な成型・整形を施し、斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸歯)による面整形の後、全面にわたって水磨きを施す。上下面中心部に目立としてトンボの凹みを残す。表面の磨滅は少ない。	
233	7区 1号旧高跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大市 最小市 高さ	25.8 12.0 19.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：14.76g	形状はやや歪。丁寧な成型・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸歯)を残す。表面の磨滅は少ない。	
234	7区 1号旧高跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大市 最小市 高さ	25.3 14.6 16.3	石材：粗粒輝石安山岩 重量：13.18g	形状はやや歪。丁寧な成型・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具(丸鋸歯)を残す。表面の磨滅は少ない。	

第3節 中世～近現代の遺構と遺物

番号	遺構名	種別 遺跡	出土位置 保存状態	計測値 cm	①軸土の焼成り色調又は 材質・法量・重量	器形・成型技法等の特徴	備考	
235	6E 1号旧厩跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	24.8 10.4 13.8	石材：胆輪舞石安山岩 重量：9.74kg	形状は均質。全体に扁平を呈する。丁字断面整形を施し、一部に整形時の斜方向の規制的に並行するやや太い工具(丸鋸)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
236	6E 1号旧厩跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	21.4 10.0 13.6	石材：胆輪舞石安山岩 重量：6.02kg	形状はほぼ均質。丁字断面整形を施し、一部に整形時の縦方向の規制的に並行する細い工具(丸鋸)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
237	6E 1号旧厩跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	24.8 12.3 14.6	石材：胆輪舞石安山岩 重量：11.20kg	形状はほぼ均質。丁字断面整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規制的に並行する細い工具(丸鋸)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
238	6E 1号旧厩跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	21.4 10.4 15.5	石材：胆輪舞石安山岩 重量：7.52kg	形状はほぼ均質。側面に転石自然面の凹凸を一部に残す。丁字断面整形を施し、整形時の縦方向に並行する細い工具(丸鋸)痕を疎らに残す。表面はやや磨滅する。	
239	6E 1号旧厩跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	28.0 11.6 16.3	石材：胆輪舞石安山岩 重量：12.08kg	形状はやや扁平で歪。表面には面整形を施し整形時の斜方向に並行する細い工具(丸鋸)痕を疎らに残すものの細かい凹凸が残る。平坦ではない。表面はやや磨滅する。	
240	6E 1号旧厩跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	25.8 10.0 18.5	石材：胆輪舞石安山岩 重量：14.30kg	形状は均質。丁字断面整形を施し、一部に整形時の斜方向の規制的に並行する細い工具(丸鋸)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
241	6E 表採	五輪塔 水輪	表土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	24.8 9.8 14.6	石材：胆輪舞石安山岩 重量：11.38kg	形状はほぼ均質。丁字断面整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規制的に並行する細い工具(丸鋸)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
242	6E 1号旧厩跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	27.4 12.1 15.0	石材：胆輪舞石安山岩 重量：14.32kg	形状は均質。丁字断面整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規制的に並行する細い工具(丸鋸)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
243	6E 1号旧厩跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	25.0 12.2 16.4	石材：胆輪舞石安山岩 重量：10.54kg 断面：16.1cm	形状はほぼ均質。表面に転石自然面の凹凸を呈するもの、丁字断面整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規制的に並行する細い工具(丸鋸)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
244	7E 1号旧厩跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	24.8 11.6 19.6	石材：胆輪舞石安山岩 重量：11.90kg	形状は均質。極めて丁字断面整形を施し、全体に整形時の規制的な細い工具(丸鋸)による削突痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
245	7E 1号旧厩跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	29.6 12.8 19.4	石材：胆輪舞石安山岩 重量：19.14kg 断面：18.8cm	大型で形状は均質。極めて丁字断面整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規制的に並行する細い工具(丸鋸)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
246	7E 1号旧厩跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	24.0 10.6 16.0	石材：胆輪舞石安山岩 重量：11.19kg 断面：15.5cm	形状はやや歪。丁字断面整形を施し、一部に整形時の斜方向の規制的に並行する細い工具(丸鋸)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
247	7E 1号旧厩跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	24.6 11.0 15.3	石材：胆輪舞石安山岩 重量：12.76kg	形状は均質。丁字断面整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規制的に並行する細い工具(丸鋸)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
248	7E 1号旧厩跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	21.8 8.8 14.0	石材：胆輪舞石安山岩 重量：8.70kg	形状は均質。表面に原石凹凸を多く残す。丁字断面整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規制的に並行する細い工具(丸鋸)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
249	7E 1号旧厩跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	23.3 12.0 14.8	石材：胆輪舞石安山岩 重量：11.62kg	形状はやや歪。表面に原石凹凸を多く残す。丁字断面整形を施し、一部に整形時の斜方向の規制的に並行する細い工具(丸鋸)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
250	6E 1号旧厩跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	25.2 8.8 18.0	石材：胆輪舞石安山岩 重量：12.76kg	形状は均質。丁字断面整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規制的に並行する細い工具(丸鋸)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
251	6E 1号旧厩跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	25.3 9.8 17.2	石材：胆輪舞石安山岩 重量：14.92kg 断面：17.7cm	形状は均質。極めて丁字断面整形を施し、整形時の縦～斜方向の規制的に並行する細い工具(丸鋸)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
252	6E 1号旧厩跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	28.5 9.4 19.8	石材：胆輪舞石安山岩 重量：16.76kg	形状は均質。極めて丁字断面整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規制的に並行する細い工具(丸鋸)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
253	6E 1号旧厩跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	23.6 10.0 16.6	石材：胆輪舞石安山岩 重量：11.08kg	形状は歪。丁字断面整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規制的に並行する細い工具(丸鋸)痕を残す。表面の磨滅は少ない。	
254	6E 1号旧厩跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	24.8 9.8 18.5	石材：胆輪舞石安山岩 重量：12.94kg	形状は均質。丁字断面整形を施したのと思われるが、表面の磨滅は加工痕跡が明確ではない。	
255	6E 1号旧厩跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	27.9 19.5 19.0	石材：胆輪舞石安山岩 重量：18.04kg	大型。形状は均質。極めて丁字断面整形を施し、斜方向の規制的に並行する細い工具(丸鋸)による面整形の後、側面は水書きを施す。上下面中心部と1/2位置とのトコトコ凹凸を残す。	
256	6E 1号旧厩跡	五輪塔 水輪	埋土中 一部欠損	最大巾 最小巾 高さ	24.3 13.0 16.2	石材：馬見岡燧岩 重量：8.36kg	形状は均質。丁字断面整形を施し、上面の一部に整形時の斜方向の規制的に並行する細い工具(丸鋸)痕を僅かに残す。表面はやや磨滅・磨滅する。石から中世五輪塔の可能性が高い。	中世
257	6E 1号旧厩跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	27.6 13.5 18.2	石材：胆輪舞石安山岩 重量：17.32kg	形状は均質。丁字断面整形を施し、側面の一部に整形時の縦～斜方向の規制的に並行する細い工具(丸鋸)痕を疎らに残す。表面はやや磨滅する。	
258	6E 1号旧厩跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	25.0 11.0 17.0	石材：胆輪舞石安山岩 重量：12.50kg	形状は均質。丁字断面整形を施し、側面の一部に整形時の縦～斜方向の規制的に並行する細い工具(丸鋸)痕を疎らに残す。表面は若干磨滅する。	
259	6E 1号旧厩跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	24.2 10.5 15.5	石材：胆輪舞石安山岩 重量：12.62kg	形状はやや歪。丁字断面整形を施し、一部に整形時の斜方向の規制的に並行する細い工具(丸鋸)痕を残す。表面はやや磨滅する。	
260	6E 1号旧厩跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	21.6 10.5 15.6	石材：胆輪舞石安山岩 重量：8.98kg	形状は均質。丁字断面整形を施し、空輪と縦輪の持目がやや歪。丁字断面整形を施し、一部に整形時の縦方向の規制的に並行する細い工具(丸鋸)痕を残す。表面はやや磨滅する。	

第3章 検出遺構と出土遺物

番号	遺構名	種別	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土②焼成③色調又は 材質・法量・重量	器形・成形技法等の特徴	備考	
261	6区 1号出藍跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	26.4 10.4 17.6	石材：粗粒輝石安山岩 重量：14.82kg	形状は均質。丁寧な成形を施し、側面の一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具丸動痕を疎らに残す。表面は磨減する。	
262	6区 1号出藍跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	25.8 11.0 14.5	石材：粗粒輝石安山岩 重量：11.70kg	形状はやや歪。河原転石を石材とし、最小径の加工か、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具丸動痕を疎らに残す。表面はやや磨減する。	
263	7区 1号出藍跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	24.8 10.8 17.7	石材：粗粒輝石安山岩 重量：13.76kg	形状はやや歪。河原転石を石材とし、自然面の凹凸が残る。一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具丸動痕を疎らに残す。表面はやや磨減する。	
264	6区 1号出藍跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	24.9 12.4 14.7	石材：粗粒輝石安山岩 重量：11.04kg	形状はやや歪。丁寧な成形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具丸動痕を疎らに残す。表面は磨減する。	
265	7区 1号出藍跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	21.5 10.6 15.9	石材：粗粒輝石安山岩 重量：9.88kg 断面：15.6cm	形状はやや歪。河原転石を石材とし、自然面の凹凸が残る。一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具丸動痕を疎らに残す。表面はやや磨減する。	
266	7区 1号出藍跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	25.6 12.0 15.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：11.00kg	形状はやや歪。河原転石を石材とし、自然面の凹凸が残る。一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具丸動痕を疎らに残す。表面はやや磨減する。	
267	6区 1号出藍跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	24.2 12.4 16.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：12.68kg	形状は均質。丁寧な成形を施し、面整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具丸動痕を疎らに残す。表面は磨減する。	
268	6区 1号出藍跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	26.4 12.1 18.0	石材：角閃石安山岩 重量：15.22kg 断面：17.9cm	形状は均質。丁寧な成形を施し、面整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具丸動痕を疎らに残す。表面は磨減する。	
269	7区 1号出藍跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	24.4 9.7 15.3	石材：粗粒輝石安山岩 重量：12.44kg	形状は均質。丁寧な成形を施し、全体に整形時の規則的に並行する細い工具丸動痕を残し、研磨を施す。表面の磨減は少ない。	
270	7区 1号出藍跡	五輪塔 水輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	27.0 12.0 15.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：13.64kg	形状はやや歪で平。自然面の凹凸が残る。一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具丸動痕を疎らに残す。表面はやや磨減する。	
271	6区 1号出藍跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	17.7 16.0 13.5	石材：粗粒輝石安山岩 重量：8.32kg	形状は均質。丁寧な成形を施し、上面は研磨を施す。側面には整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具丸動痕を疎らに残す。表面の磨減は少ない。	
272	6区 1号出藍跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	20.1 17.3 17.3	石材：粗粒輝石安山岩 重量：12.54kg	形状は均質。丁寧な成形を施し、上面は研磨を施す。側面には整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具丸動痕を疎らに残す。表面の磨減は少ない。	
273	7区 1号出藍跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	19.4 18.4 17.1	石材：粗粒輝石安山岩 重量：12.52kg 断面：15.5cm	形状はやや歪。上面のみ丁寧に整形・研磨を施し、側面は粗削り後に一部面整形。整形時の縦～斜方向の並行する細い工具丸動痕を疎らに残す。下面は粗削り成形のまま。表面の磨減は少ない。	
274	7区 1号出藍跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	21.4 19.0 17.1	石材：粗粒輝石安山岩 重量：14.16kg	形状は均質。上面のみ丁寧に整形・研磨を施し、側面は粗削り後に一部面整形。整形時の縦～斜方向の並行する細い工具丸動痕を疎らに残す。下面は粗削り成形のまま。表面の磨減は少ない。	
275	7区 1号出藍跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	19.6 19.4 16.7	石材：粗粒輝石安山岩 重量：14.24kg	形状は均質。下面を除き丁寧な成形を施し、上面のみ研磨を施す。側面の一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具丸動痕を残す。表面の磨減は少ない。	
276	7区 1号出藍跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	22.0 10.4 16.7	石材：粗粒輝石安山岩 重量：15.36kg	形状は均質。下面を除き丁寧な成形を施し、上面のみ研磨を施す。側面の一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具丸動痕を残す。表面の磨減は少ない。	
277	7区 1号出藍跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	18.6 18.0 17.3	石材：粗粒輝石安山岩 重量：10.84kg	形状はやや歪。上面のみ丁寧に整形・研磨を施し、側面は粗削り後に一部面整形。整形時の斜方向の並行する細い工具丸動痕を疎らに残す。下面は粗削り成形のまま。表面の磨減は少ない。	
278	6区 1号出藍跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	21.4 19.4 16.9	石材：粗粒輝石安山岩 重量：15.14kg	形状は均質。丁寧な成形を施し、上面のみ研磨を施す。側面の一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具丸動痕を残す。表面の磨減は少ない。	
279	6区 1号出藍跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	22.0 16.2 16.1	石材：粗粒輝石安山岩 重量：12.36kg	形状はやや歪。丁寧な成形を施し、上面のみ研磨を施す。側面の一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具丸動痕を残す。表面はやや磨減する。	
280	7区 1号出藍跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	19.1 18.0 14.7	石材：粗粒輝石安山岩 重量：11.02kg	形状はやや歪。丁寧な成形を施し、上面のみ研磨を施す。側面の一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具丸動痕を残す。表面はやや磨減する。	
281	7区 1号出藍跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	20.8 19.2 19.7	石材：粗粒輝石安山岩 重量：13.22kg	形状は均質。丁寧な成形を施し、上面のみ研磨を施す。側面の一部に整形時の斜方向の規則的に並行する細い工具丸動痕を残す。底面は中央部を粗削りで環状に抉る。表面の磨減は少ない。	
282	7区 1号出藍跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	25.4 24.2 20.6	石材：粗粒輝石安山岩 重量：20.48kg	形状は均質。丁寧な成形を施し、上面のみ研磨を施す。側面の一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具丸動痕を残す。底面は中央部を粗削りで環状に抉る。表面の磨減は少ない。	
283	1号出藍跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	21.4 20.0 17.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：11.70kg	形状は均質。表面はやや磨減し、側面一部面整形。丁寧な成形を施し、縦～斜方向の並行する工具丸動痕を疎らに残す。	
284	6区 1号出藍跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	19.2 16.7 15.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：7.92kg	形状はやや歪。丁寧な成形を施し、整形時の縦～斜方向に並行する細い工具丸動痕を疎らに残す。	
285	6区 1号出藍跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	17.2 11.5 15.2	石材：粗粒輝石安山岩 重量：7.26kg	小型。形状は均質。丁寧な成形を施し、上面縁部には面加工を施す。表面はやや磨減する。	
286	7区 1号出藍跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	21.3 19.7 15.7	石材：粗粒輝石安山岩 重量：14.56kg	形状は均質。丁寧な成形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する細い工具丸動痕を残す。表面の磨減は少ないが、一部割れ跡がある。	

第3節 中世～近現代の遺構と遺物

番号	遺構名	種別 遺構	出土位置 残存状態	計測値 cm	①軸土の焼成り色調又は 材質・法量・重量	形状・成型技法等の特徴	備考
287	7K 1号旧蔵跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	23.0 22.5 13.9	石材：龍輪舞石安山岩 重量：11.52kg	形状はやや歪。丁寧な成・整形を施す方、表面はやや磨滅し一部剥落する。
288	7K 1号旧蔵跡	五輪塔 地輪	埋土中 一部欠損	最大巾 最小巾 高さ	20.4 20.0 12.6	石材：龍輪舞石安山岩 重量：0.629kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、上面のみ丁寧な研磨を施す。側面及び下部は僅かに剥落し、欠損する。
289	7K 1号旧蔵跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	19.2 18.4 14.7	石材：龍輪舞石安山岩 重量：10.04kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、上面のみ丁寧な研磨を施す。側面は僅かに剥落する。
290	7K 1号旧蔵跡	五輪塔 地輪	埋土中 一部欠損	最大巾 最小巾 高さ	23.2 21.1 15.8	石材：龍輪舞石安山岩 重量：11.529kg	形状は均質。上面・側面共に丁寧な成・整形を施す。側面の一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する縦い工具(丸鋸)痕を残す。表面の磨滅少。
291	7K 1号旧蔵跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	20.0 19.0 16.0	石材：龍輪舞石安山岩 重量：13.36kg	形状は均質。下面を除き丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する縦い工具(丸鋸)痕を残す。表面の磨滅少。
292	6E 1号旧蔵跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	19.0 18.0 16.2	石材：龍輪舞石安山岩 重量：10.60kg	形状は均質。下面は無彫形。側面はやや削れ面な成・整形、上面は丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する縦い工具(丸鋸)痕を残す。表面の磨滅少。
293	6E 1号旧蔵跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	19.2 19.8 14.5	石材：龍輪舞石安山岩 重量：10.78kg	形状は均質。下面を除き丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する縦い工具(丸鋸)痕を残す。表面の磨滅少。
294	6E 1号旧蔵跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	20.5 18.5 16.3	石材：龍輪舞石安山岩 重量：13.98kg	形状はやや歪。丁寧な成・整形を施し、特に上面は研磨を施す。側面の一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する縦い工具(丸鋸)痕を残す。表面の磨滅少。
295	6E 1号旧蔵跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	19.0 17.8 14.8	石材：角閃石安山岩 重量：10.44kg	形状は均質。上面のみ丁寧な成・整形を施す。側面は原自然面の凹凸を残すやや削れ面な成・整形を施し、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する縦い工具(丸鋸)痕を残す。表面の磨滅少。
296	6E 1号旧蔵跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	20.0 18.4 17.0	石材：角閃石安山岩 重量：13.54kg	形状は均質。上面と共に側面に至るまで丁寧な成・整形を施し、整形時の縦～斜方向に並行する縦い工具(丸鋸)痕を一部に残す。表面の磨滅少。
297	6E 1号旧蔵跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	20.0 19.0 14.0	石材：角閃石安山岩 重量：11.80kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、側面に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する縦い工具(丸鋸)痕を残す。表面はやや磨滅する。
298	7K 1号旧蔵跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	20.0 18.6 15.8	石材：龍輪舞石安山岩 重量：13.28kg	形状は均質。極めて丁寧な成・整形を施し、上面は研磨、一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する縦い工具(丸鋸)痕を残す。表面の磨滅少。
299	7K 1号旧蔵跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	21.0 21.0 14.8	石材：龍輪舞石安山岩 重量：11.72kg	形状はやや歪。丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する縦い工具(丸鋸)痕を残す。表面はやや磨滅する。
300	7K 1号旧蔵跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	21.8 19.6 19.4	石材：龍輪舞石安山岩 重量：16.84kg	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、上面は研磨、一部に整形時の斜～縦方向の規則的に並行する縦い工具(丸鋸)痕を残す。表面の磨滅は少ない。
301	6E 1号旧蔵跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	18.6 16.8 15.6	石材：龍輪舞石安山岩 重量：9.34kg	形状はほぼ均質。上面と共に側面に至るまで丁寧な成・整形を施し、整形時の縦～斜方向に並行する縦い工具(丸鋸)痕を一部に残す。表面はやや磨滅する。
302	7K 1号旧蔵跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	22.2 22.1 18.5	石材：龍輪舞石安山岩 重量：17.12kg	形状は均質。下面を除き丁寧な成・整形を施し、一部に整形時の斜方向の規則的に並行する縦い工具(丸鋸)痕を残す。表面の磨滅少。
303	7K 1号旧蔵跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	21.4 15.0 17.0	石材：龍輪舞石安山岩 重量：13.78kg	形状は均質。下面を除き丁寧な成・整形を施し、上面のみ研磨を施す。一部に整形時の斜方向の規則的に並行する縦い工具(丸鋸)痕を残す。表面の磨滅少。
304	6E 1号旧蔵跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	22.3 20.8 15.9	石材：龍輪舞石安山岩 重量：15.78kg	形状はほぼ均質。下面を除き丁寧な成・整形を施し、上面のみ研磨を施す。一部に整形時の斜方向の規則的に並行する縦い工具(丸鋸)痕を残す。表面の磨滅少。
305	6E 1号旧蔵跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	21.0 21.3 17.0	石材：龍輪舞石安山岩 重量：12.22kg	形状はほぼ均質。下面を除き丁寧な成・整形を施し、上面のみ研磨を施す。一部に整形時の斜方向の規則的に並行する縦い工具(丸鋸)痕を残す。表面の磨滅少。
306	6E 1号旧蔵跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	24.0 22.0 17.8	石材：龍輪舞石安山岩 重量：20.06kg	大型。形状はほぼ均質。下面に至るまで丁寧な成・整形を施し、上面のみ研磨を施す。一部に整形時の斜方向の規則的に並行する縦い工具(丸鋸)痕を残す。表面の磨滅少。
307	6E 1号旧蔵跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	19.4 17.6 17.1	石材：龍輪舞石安山岩 重量：12.46kg	形状は均質。下面に至るまで丁寧な成・整形を施し、上面のみ研磨を施す。一部に整形時の斜方向の規則的に並行する縦い工具(丸鋸)痕を残す。表面の磨滅少。
308	6E 1号旧蔵跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	20.5 18.8 15.6	石材：龍輪舞石安山岩 重量：12.94kg 断面：15.2cm	形状は均質。下面に至るまで丁寧な成・整形を施し、上面のみ研磨を施す。一部に整形時の斜～縦方向の規則的に並行する縦い工具(丸鋸)痕を残す。表面は一部剥落、磨滅は少ない。
309	7K 1号旧蔵跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	21.2 19.2 15.0	石材：龍輪舞石安山岩 重量：13.80kg	形状はほぼ均質。下面を除き丁寧な成・整形を施し、上面のみ研磨を施す。一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する縦い工具(丸鋸)痕を残す。表面の磨滅少。
310	7K 1号旧蔵跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	22.0 20.2 17.6	石材：龍輪舞石安山岩 重量：15.38kg 断面：16.6cm	形状はほぼ均質。下面を除き丁寧な成・整形を施し、上面のみ研磨を施す。一部に整形時の斜方向の規則的に並行する縦い工具(丸鋸)痕を残す。表面の磨滅少。
311	6E 1号旧蔵跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	19.1 17.5 15.4	石材：龍輪舞石安山岩 重量：8.94kg 断面：14.0cm	形状は均質。丁寧な成・整形を施し、上面のみ研磨を施す。側面の一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する縦い工具(丸鋸)痕を残す。表面の磨滅少。
312	6E 1号旧蔵跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大巾 最小巾 高さ	17.6 15.6 16.1	石材：龍輪舞石安山岩 重量：12.78kg	形状は均質。下面を除き丁寧な成・整形を施し、上面のみ研磨を施す。側面の一部に整形時の縦～斜方向の規則的に並行する縦い工具(丸鋸)痕を残す。表面の磨滅少。

第3章 検出遺構と出土遺物

番号	遺構名	種別 遺物	出土位置 残存状態	計測値 cm	①胎土②焼成③色調又 は材質・法量・重量	器形・成型技法等の特徴	備考	
313	7区 1号区遺跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ	22.8 18.0 20.6	石材：角閃石安山岩 重量：15.96kg	形状はやや歪。上面のみ丁寧に整形・研磨を施し、下面は粗削り成形のまま。側面には、面整形時の縦方向の半周間隔がやや大きいノミ状工具(平動削り)を施す。表面の磨痕は少ない。	
314	7区 1号区遺跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ	21.0 17.2 18.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：14.80kg	形状はほぼ円筒。下面を除き丁寧な成型・整形を施し、上面のみ研磨を施す。側面の一部に整形時の斜方向の定期的に行なわれる縦方向の工具(丸動削)を施す。表面の磨痕は少ない。	
315	7区 1号区遺跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ	20.0 18.0 16.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：12.56kg 断面：15.6cm	形状は均質。下面を除き丁寧な成型・整形を施し、上面のみ研磨を施す。側面の一部に整形時の斜方向の定期的に行なわれる縦方向の工具(丸動削)を施す。表面の磨痕は少ない。	
316	7区 1号区遺跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ	16.0 13.5 9.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：4.32kg 断面：8.5cm	形状はやや歪。上面のみ丁寧に整形・研磨を施し、側面は粗削り成形のまま。表面の磨痕は少ない。	
317	7区 1号区遺跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ	17.2 15.2 14.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：7.68kg	形状は均質。下面は粗削り、側面は粗削りの後に部分的に縦方向の削りを行なう。工具(丸動削)を施す。表面の磨痕は少ない。	
318	7区 1号区遺跡	五輪塔 地輪	埋土中 一部欠損	最大中 最小中 高さ	19.6 18.4 14.5	石材：粗粒輝石安山岩 重量：11.50kg	形状は均質。下面を除き丁寧な成型・整形を施し、上面のみ研磨を施す。一部に整形時の斜方向の定期的に行なわれる縦方向の工具(丸動削)を施す。表面の磨痕は少ない。	
319	7区 1号区遺跡	五輪塔 地輪	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ	20.0 19.6 15.3	石材：角閃石安山岩 重量：11.60kg	形状は均質。下面を除き丁寧な成型・整形を施し、上面のみ研磨を施す。一部に整形時の斜方向の定期的に行なわれる縦方向の工具(丸動削)を施す。表面の磨痕は少ない。	
320	7区 1号区遺跡	宝篋印塔 願極(空)部	埋土中 略完形	最大中 最小中 高さ	23.6 10.8 19.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：14.88kg 径28.6cm、底形径17.4cm	願極部一部欠損。形状は均質。面は水磨き。角は面取されるなど丁寧な成型・整形を施す。側面には磨痕はない。表面はやや歪磨す。	
321	7区 1号区遺跡	宝篋印塔 屋蓋部	埋土中 一部欠損	最大中 最小中 高さ	21.6 10.8 18.7	石材：粗粒輝石安山岩 重量：11.82kg	願極部一部欠損。形状は均質。面は水磨き。角は面取されるなど丁寧な成型・整形を施す。側面には磨痕はない。表面はかなり磨す。	
322	7区 1号区遺跡	宝篋印塔 屋蓋部	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ	25.5 9.0 19.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：12.58kg	願極部一部欠損。形状は均質。面は水磨き。角は面取されるなど丁寧な成型・整形を施す。側面には磨痕はない。表面はかなり磨す。	
323	7区 1号区遺跡	宝篋印塔 基礎部	埋土中 完形	最大中 最小中 高さ	27.3 18.1 21.7	石材：粗粒輝石安山岩 重量：32.50kg	願極部一部欠損。形状は均質。面は水磨き。角は面取されるなど丁寧な成型・整形を施す。側面には磨痕はない。表面はかなり磨す。	
324	7区 1号区遺跡	角塔婆	埋土中 破片	長さ 巾 厚さ	021.8 020.7 (15.7)	石材：馬尾洞凝灰岩 重量：7.26kg	六字名号角塔婆。上下欠損。研磨による丁寧な面整形を施す。二側面に篆研りの「阿弥仏」の文字が残り、一面は削落のため判読不可。紀年銘は不明。【詳細は別記参照】	中世
325	6区 1号区遺跡	板碑	埋土中 上部破片	長さ 巾 厚さ	05.0 13.2 (2.4)	石材：緑色片岩 重量：0.72kg	小型阿弥陀種子板碑上部破片。二条線に浅い、浅い篆研りノリキーク(阿弥陀如来)種子の一部が残る。碑面はやや歪磨す。	中世
326	6区 1号区遺跡	板碑	埋土中 破片	長さ 巾 厚さ	06.2 13.5 (3.3)	石材：緑色片岩 重量：0.26kg	破片。厚さより中大型板碑の破片か。端部側面に研磨による転用の痕跡が残る。	中世
327	6区 1号区遺跡	板碑	埋土中 破片	長さ 巾 厚さ	03.9 10.5 (2.4)	石材：緑色片岩 重量：0.50kg	小型阿弥陀種子板碑、浅い篆研りの種子アケ点の一部及び蓮座の一部のみ残存。石材の石目と厚さが類似していることから、同道構出たの破片(部、台)と同一体の可能性はある。	中世
328	6区 区遺	板碑	埋土中 破片	長さ 巾 厚さ	05.0 13.5 (2.0)	石材：緑色片岩 重量：0.72kg	阿弥陀三尊板碑の脇付種子～蓮座の一部か。	中世
329	7区 区遺	板碑	埋土中 破片	長さ 巾 高さ	07.3 06.9 08.8	石材：緑色片岩 重量：0.54kg	主尊蓮座の一部か。表面面・側面に酸化物質が着により赤褐色に変色。	中世
330	6区 1号区遺跡	石臼 上白	埋土中 1/3	最大中 最小中 高さ	05.0 04.0 12.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：0.50kg	2/3欠損。上面縁一部欠損。白面は偏削りし、溝(白)は磨減する。側面に後き手の孔あり。	
331	6区 1号区遺跡	石臼 上白	埋土中 2/3	径 内径厚 厚さ	38.2 5.38kg 11.4	石材：粗粒輝石安山岩 重量：0.58kg 孔径：3.6cm	1/3欠損。丁寧な成型・整形を施す。後き手孔・もの入れ孔あり。使用による摩耗著しく、側面及び孔付直近まで磨減。白面はやや偏削りし摩耗するものの僅かに溝(白)を残す。	
332	6区 1号区遺跡	石臼 上白	埋土中 3/4欠損	径 高さ	09.6 12.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：4.08kg	3/4欠損。白面は片減りは無く均質に摩耗する。溝(白)は僅かに残るものの、量は少なく残存する。側面に整形時の斜方向に並行する縦方向の工具(丸動削)を施す。	
333	6区 1号区遺跡	石臼 上白	埋土中 1/5	最大中 最小中 高さ	03.6 9.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：0.22kg	4/5欠損。形状は均質。白面は均等に摩耗し、溝(白)は僅かに残る。側面は丁寧な面整形を施し、側面に面整形時の斜方向の定期的に行なわれる縦方向の工具(丸動削)を施す。全体にやや歪磨す。	
334	6区 1号区遺跡	石臼 下白	埋土中 1/3	径 高さ	06.8 9.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：0.08kg	2/3欠損。丁寧な成型・整形を施す。白面は偏削りではなく、一部に溝(白)を残し、ほぼ均等に摩耗。	
335	6区 1号区遺跡	石臼 下白	埋土中 1/4	最大中 最小中 高さ	00.0 08.0 08.2	石材：粗粒輝石安山岩 重量：0.20kg	3/4欠損。下面縁部を面加工するなどの溝(白)丁寧な成型・整形を施す。白面は偏削りではなく、若干の溝(白)を残し、ほぼ均等に摩耗。	
336	6区 1号区遺跡	石臼 下白	埋土中 破片	径 高さ	28.0 32.0	石材：粗粒輝石安山岩 重量：0.58kg	5/6欠損。白面は使用による摩耗著しく、僅かに溝(白)を残す。	
337	6区 区探	石臼 下白	表土中 1/4欠損	径 高さ	32.0 14.8	石材：粗粒輝石安山岩 重量：13.82kg	1/4ほど欠損。白面は片減りは無く均質に摩耗する。溝(白)は残らず磨減する。側面の上半部は面の整形を施すが、下半部は粗削り、中央の軸受け孔は、段差を同様のまま貫通する。	

第3節 中世～近現代の遺構と遺物

番号	遺構名	種別	出土位置 残存状態	計測値 cm	①軸土②焼成③色調又は 材質・分量・重量	器形・成型技法等の特徴	備考
338	6区 表段	石臼 白下	表土中 1/4	径 高さ 14.2 15.8	①軸土：粗粒輝石安山岩 重量：6.960g	3/4程欠失。形状は均整。白面は均等に摩耗し、溝目には磨減し残らない。側面は丁寧な面整形を施し、底面は粗く振り鉢状に理む。	
339	6区 1号出籠跡	石臼 白下	埋土中 1/2	最大巾 最小巾 高さ 14.2 10.1	石材：粗粒輝石安山岩 重量：8.009g	1/2欠失。白面は片減り無く均等に摩耗する。溝目は僅かに残る。側面の一部に面整形時の履方向に並行する細い工具丸磨痕を残す。	
340	6区 1号出籠跡	石臼 白下	埋土中 破片	最大巾 最小巾 高さ 11.8 9.6 8.2	石材：粗粒輝石安山岩 重量：0.888g	3/4欠失。白面は使用による磨減で目調は残らず、側面～底面は破断後に剥落する。	
341	6区 1号出籠跡	石臼 白下	埋土中 1/3	最大巾 最小巾 高さ 11.8 11.3	石材：粗粒輝石安山岩 重量：4.968g	2/3欠失。形状は均整。白面は均等に摩耗し、溝目は僅かに残る。側面は丁寧な面整形を施し、底面は粗く振り鉢状に理む。	
342	6区 1号出籠跡	石臼 白下	埋土中 1/3	径 高さ 14.0 10.2	石材：粗粒輝石安山岩 重量：4.959g	2/3欠失。白面は使用による磨減が著しく、溝目を残さない。	
343	7区 1号出籠跡	石鉢	埋土中 破片	径 高さ 14.0 7.2	石材：粗粒輝石安山岩 重量：0.089g	底部破片。丁寧な面・整形を施し、外面側～底面は面整形時の斜方向の履印等に並行する巾の工具(平型)痕を認められる。内面は外面同様の整形後に磨減を施す。全体にやや磨減する。	
344	6区 1号出籠跡	石製品 不明	埋土中 破片	長さ 巾 厚さ 10.3 15.9 8.4	石材：馬見川凝灰岩 重量：0.568g	同遺構出土の角塔笠(No.324)と同じ石材であることから、角塔笠等の中世石遺物の一部と考えられる。	
345	6区 1号出籠跡	石製品 不明	埋土中 1/2	長さ 巾 厚さ 7.3 9.9 5.5	石材：二ツ岳軽石 重量：0.408g	不明石製品。1/2欠損か。上面は平坦に成型され、側面は鋭利な巾の平型でコロコ状に粗く切り出す。	

番号	遺構名	器種・部位 出土位置	①軸土②焼成③色調	文様の特徴等	備考
349	1号大溝跡	土製品 丸瓦	破片 ① 細砂粒 ② 焼締 ③ にぶい・橙 (7.5YR6/4)	厚さ105cm	表面に鉄分付着
350	1号大溝跡	土製品 軒平瓦	破片 ① 細砂粒 ② 焼締 ③ にぶい・黄緑 (10YR5/4)	瓦当ての跡確認が認められる。	
351	1号大溝跡	土製品 平瓦	破片 ① 細砂粒・粗砂粒・細漚 ② 焼締 ③ にぶい・黄緑 (10YR5/3)	厚さ1.7cm 表面布目痕が残る。	
352	1号大溝跡	土製品 平瓦	破片 ① 細砂粒・粗砂粒 ② 焼締 ③ にぶい・黄緑 (10YR7/3)	裏面に線刻あり	
353	1号大溝跡	土製品 平瓦	破片 ① 細砂粒・粗砂粒・細漚 ② 焼締 ③ 灰黄 (2.5Y6/2)	厚さ1.4cm 表面布目痕が残る	
354	1号大溝跡	土製品 平瓦	破片 ① 細砂粒・粗砂粒・細漚 ② 焼締 ③ 黄灰 (2.5Y6/1)	厚さ1.9cm 表面布目と折り組痕が残る。	
355	1号大溝跡	軟質土器 内耳鍋	破片 ① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 ③ 黒炭 (10YR3/1)	1号瓦部は平型でやや内湾する。1号鉢部～胴部は横ナデ。底平部は平底。	
356	1号大溝跡	軟質土器 内耳鍋	破片 ① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 ③ 黒炭 (10YR3/1)	1号瓦部は平型でやや内湾する。1号鉢部～胴部は横ナデ。底平部は平底。	
357	1号大溝跡	軟質土器 内耳鍋	破片 ① 細砂粒・粗砂粒 ② 還元焼 ③ 黒炭 (10YR3/1)	1号瓦部は平型でやや内湾する。1号鉢部～胴部は横ナデ。底平部は平底。	

番号	種別器形	区	面	遺構名	形・成型態等	備考
346	カワラケ	6	1溝	左回転糸切無調整。内底凹で。	中世	
347	カワラケ	6	1溝	右回転糸切。裏面凹で。	中世	
348	カワラケ	6	1溝	右回転糸切無調整。内底凹で。	中世	

358	軒瓦	7	大溝	凹文・唐草文共に型摩滅。軒部左に□内に「谷ト」押印	時期不詳
359	軒瓦	7	大溝	表面平ら付着。裏面凹で。	時期不詳
360	軒瓦	7	大溝	万十部剥落。	
361	瓦瓦	7	大溝	裏面磨目多し。	時期不詳
362	瓦瓦	7	大溝	表面キラ付着。裏面凹で。	時期不詳
363	瓦瓦	7	大溝	表瓦部に重ね直。裏面波状線。	時期不詳
364	瓦瓦	7	大溝	表面キラ付着。裏面凹で。	時期不詳
365	瓦瓦	7	大溝	表にキラ付着。尻部欠損。	時期不詳
366	瓦瓦	7	大溝	裏面波線。	時期不詳
367	瓦瓦	7	大溝	両面キラ付着。焼し顕著。裏面磨目。	時期不詳
368	瓦瓦	7	大溝	両面キラ付着。焼し顕著。裏面磨目。	時期不詳

番号	区	遺構	出土位置 (NO.)	種別	器種	状態	長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	備考
369	7	1号大溝跡		鉄器	鏝	刃部下半	4.4	2.7	0.7	9.0	原文献。残存状態は比較的良好。
370	7	1号大溝跡		金属器	鉄砲玉	完形	1.3	1.3		10.0	
371	7	1号大溝跡		鉄器	鏝	刃部先端欠損	14.7	3.4	0.6	46.0	近世以降のものか残存状態良好。
372	7	1号大溝跡		鉄器	鏝	柄と刃部基部	9.2	2.6	0.9	21.0	錆化が進んでいる。

第3章 検出遺構と出土遺物

番号	種別器形	区	面	遺構名	形・成調整等	備考
373	カワラケ	5・7	1	溝	底部外面回転糸切痕正直。	中世
374	青磁 碗	5・7	1	溝	龍泉窯系。蓋造弁文。	13世紀中～14世紀前半
375	青磁 碗	5・7	1	溝	龍泉窯系。蓋による造弁文。	14世紀後～15世紀前
376	青磁 碗	5・7	1	溝	龍泉窯系。蓋造弁文。	13世紀中～14世紀前半
377	青磁 碗	5・7	1	溝	龍泉窯系。蓋造弁文。	13世紀中～14世紀前半
378	磁器 面取蓋	5・7	1	溝	中国製。持ち高台。内底滑着痕。	15世紀前半
379	陶器 灯明皿	5・7	1	溝	瀬戸・美濃。筋軸。	17世紀後半～18世紀初
380	陶器 灯明皿	5・7	1	溝	瀬戸・美濃。筋軸。底部外面拭い取る。	19世紀前～中
381	陶器 鉄胎皿	5・7	1	溝	瀬戸・美濃。	17世紀中～後半
382	陶器 皿	5・7	1	溝	瀬戸・美濃。内面から体部外面上半灰釉。	江戸時代
383	陶器 平碗	5・7	1	溝	内面から体部外面上位灰釉。	古瀬戸後中期
384	陶器 平碗	5・7	1	溝	灰釉。	古瀬戸後中期
385	陶器 菊皿	5・7	1	溝	瀬戸・美濃。内面刷縁軸成し？	17世紀前半
386	陶器 灯明受皿	5・7	1	溝	瀬戸・美濃。筋軸。底部外面拭い取る。	19世紀前半
387	磁器 碗	5・7	1	溝	瀬戸・美濃。茶色に灰釉の模焼。機械輪軸。	近現代
388	陶器 碗	5・7	1	溝	瀬戸・美濃。内面から体部外面高台輪軸。	江戸時代
389	磁器 皿	5・7	1	溝	製作地不詳。染付。	近現代
390	磁器 皿	5・7	1	溝	製作地不詳。染付。	近現代
391	染付 皿	5・7	1	溝	丹国製。内外面染付。	中世
392	染付 皿	5・7	1	溝	肥前。型紙。	18世紀前半
393	磁器 碗	5・7	1	溝	瀬戸・美濃。輪下彩。機械輪軸	近現代
394	染付 菊反碗	5・7	1	溝	瀬戸・美濃。	19世紀前～中
395	磁器 丸皿	5・7	1	溝	肥前。染付。	18世紀中～後
396	磁器 碗	5・7	1	溝	肥前。波佐見系。染付。	18世紀後半～19世紀初
397	磁器 火入？	5・7	1	溝	肥前。内面無軸。	江戸時代
398	磁器 蓋口	5・7	1	溝	肥前。口縁。染付。	18世紀
399	磁器 蓋	5・7	1	溝	瀬戸・美濃。吹き寄せと輪。砂室彫反記念か	近現代
400	陶器 すり鉢	5・7	1	溝	瀬戸・美濃。筋軸。	17世紀後半
401	陶器 すり鉢	5・7	1	溝	堺・明石。	18世紀後半
402	陶器 片鉢	5・7	1	溝	常滑？日皿。	中世
403	陶器 すり鉢	5・7	1	溝	丹波。体部外面指状正直。	17世紀前半
404	土器 不詳	5・7	1	溝	土鉢部に歪みがあり、片鉢状を呈する可能性あり。	中世？
405	在土土器 火鉢	5・7	1	溝	内面磨擦痕。外面黒灰色。	中世
406	陶器 蓋類	5・7	1	溝	体部外面上位灰釉。	古瀬戸後1・2期
407	陶器 すり鉢	5・7	1	溝	瀬戸・美濃。筋軸。	中世から江戸
408	内耳鍋	5・7	1	溝	土鉢部内湾。	15世紀
409	土器 焙烙	5・7	1	溝	体部内湾。	江戸時代
410	陶器 甕	5・7	1	溝	常滑。	19世紀？
411	在土土器 蓋輪	5・7	1	溝	内面襷形痕。	近現代
412	十徳瓦	5・7	1	溝	外面型痕。周縁凹で。	近現代
413	ガラス瓶	5・7	1	溝	インク瓶。外底に「オシドリ」の浮き文字。	近現代
414	ガラス瓶	5・7	1	溝	イボコロリ。「横山製菓」の浮き文字。薄い硝青色。	近現代
415	ガラス瓶	5・7	1	溝	薬瓶か。コルク栓。「定容」の浮き文字と線。茶色。	近現代
416	ガラス瓶	5・7	1	溝	「東京市電気局共済組合」の「一粒丸」瓶。	明治44～昭和18年
417	ガラス瓶	5・7	1	溝	キンカン瓶。初期に近い。茶色。	昭和
418	ガラス瓶	5・7	1	溝	カルピス180ミリリットル瓶。王冠。茶色。	昭和？
419	樹脂製 壺	5・7	1	溝		近現代

番号	区	遺構	種別	器種	状態	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)	概要
427	6	1号大溝跡	金属器	古銭	2/3	2.50		0.15	1.82	孔徑0.7「元祐通宝」北宋銭
428	6	1号大溝跡	金属器	古銭	完形	2.50		0.12	1.81	孔徑0.64「開元通宝」唐銭
424	7	2号溝跡	金属器	古銭	完形	2.47		0.18	3.50	孔徑0.55「寛永通宝」裏紋なし
426	7	3号溝跡	金属器	古銭	完形	2.46		0.10	1.73	孔徑0.59「寛永通宝」裏紋なし
420	7	1号溝跡	金属器	古銭	完形	2.25		0.14	1.56	孔徑0.60「洪武通宝」
423	7	1号溝跡	金属器	古銭	完形	2.26		0.11	1.29	孔徑0.67 不明
422	7	1号溝跡	金属器	古銭	完形	2.28		0.11	2.05	孔徑0.6「寛永通宝」裏紋なし小型
421	7	水田跡	金属器	古銭	完形	2.35		0.11	1.77	孔徑0.7「皇宋通宝」
425	7	表探	金属器	古銭	完形	2.50		0.13	1.50	孔徑0.6「寛永通宝」裏紋なし
429	8	表探	金属器	古銭	完形	2.51		0.10	2.51	孔徑0.67「天禧通宝」北宋銭

番号	種別	器種	状態	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)	概要
430	銅製品	キセル	完形	3.7	0.9	0.9	2.0	残存状態良好。
431	鉄製品	鋸鉄	完形	11.3	0.9	0.7	130.0	残存状態良好。

報告書抄録

書名ふりがな	かしまうらいせき
書名	鹿島浦遺跡
副書名	北関東自動車道(伊勢崎～県境)地域埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	第1分冊 本文・挿図編、第2分冊 写真図版編
シリーズ名	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 調査報告書
シリーズ番号	496
編著者名	新倉明彦・田村邦宏
編集機関	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
発行機関	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
発行年月日	20100319
作成法人ID	21005
郵便番号	377-8555
電話番号	0279-52-2511
住所	群馬県渋川市北碓町下箱田784番地2
遺跡名ふりがな	かしまうらいせき
遺跡名	鹿島浦遺跡
所在地ふりがな	ぐんまけんおおたしひがしいまいずみまち
遺跡所在地	群馬県太田市東今泉町506他
市町村コード	10205
遺跡番号	T0450
北緯(日本測地系)	361934
東経(日本測地系)	1392334
北緯(世界測地系)	361945
東経(世界測地系)	1392322
調査期間	20030801-20050331
調査面積	48483
調査原因	道路建設
種別	集落
主な時代	縄文/奈良/平安/近現代
遺跡概要	その他・縄文・埋蔵・土坑+遺構外・縄文土器+縄文石器/ 集落-奈良+平安-竪穴住居+掘立柱建物+溝+道路-須恵器+土師器+石製品+金属製品/その他-中世+近世+近現代-自然災害-石製品+石造物+陶器+磁器
特記事項	東山道駅路跡、獣脚付円面硯
要約	北関東自動車道太田桐生インターチェンジ下の遺跡。東山道駅路跡・古代基幹用水路跡および同時期の集落跡の調査。

財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団 調査報告 第496集

鹿島浦遺跡 — 第1分冊 本文・挿図編 —

北関東自動車道(伊勢崎～県境)地域埋蔵文化財発掘調査報告書

平成22(2010)年 3月2日 印刷

平成22(2010)年 3月19日 発行

発行/編集 財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
〒377-8355 群馬県吉川市北極町下筋田784番地の2

TEL 0279-52-2511(代表)

ホームページアドレス <http://www.gunmaibun.org>

印刷/川島美術印刷株式会社
